熊本県文化財調査報告第188集

祇園遺跡（ぎおんいせき）

県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財の調査

2000. 3

熊本県教育委員会

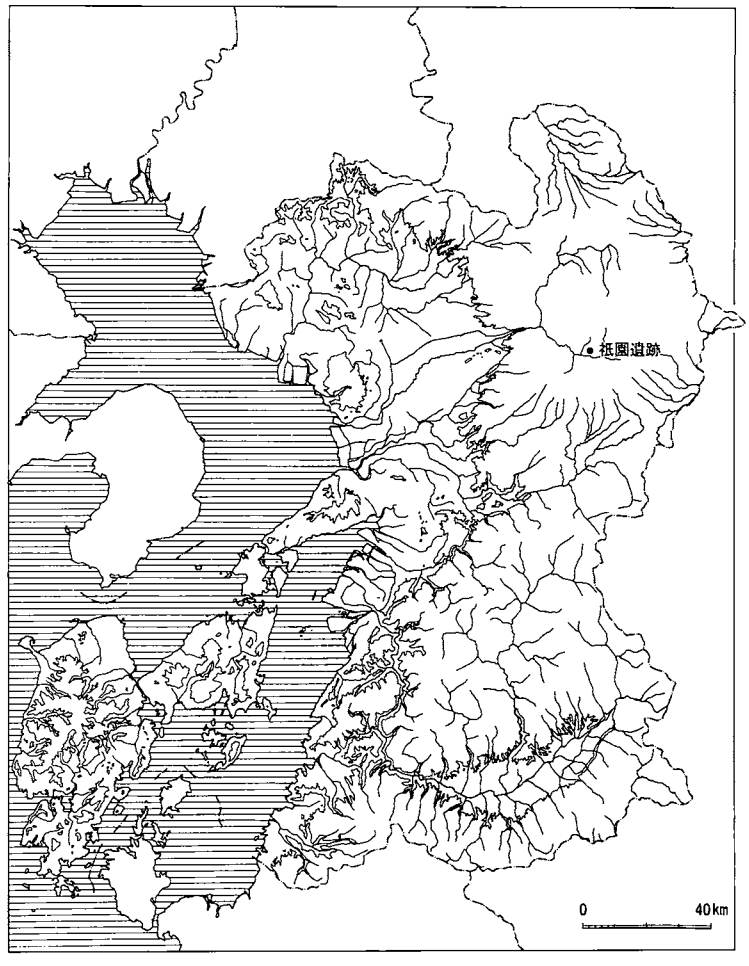
（1）祇園遺跡全景写真

（2）磁州窯系鉄絵壺

（3）Ⅷ層出土青白磁合子（1／1）

祇園遺跡（ぎおんいせき）

熊本県阿蘇郡白水村大字一関字祇園所在の遺跡



2000.3

熊本県教育委員会

序　文

熊本県教育委員会では、県営圃場整備事業（白水西部地区）に伴う埋蔵文化財調査として、阿蘇郡白水村に所在する祇園遺跡の発掘調査を実施しました。

調査の結果、鎌倉時代から南北朝時代にかけての館跡と思われる大規模な遺構が確認されました。併せて中世の遺物が大量に出土し、中でも輸入陶磁器の量の多さと種類の豊富さは目を見張るものがあります。ここは平成６、７年度に調査の行われた二本木前遺跡と指呼の間にあり、両遺跡は同一の性格を持つ遺跡として、肥後の有力武士団の一つである阿蘇氏の館と位置づけることが可能かと思われます。

このたび、祇園遺跡報告書を刊行することになりましたが、本報告書が広く県民の皆様の埋蔵文化財に対する認識と理解を深め、さらには学術研究の進展にいささかでも寄与することができれば、誠に喜びに堪えません。

なお、本調査を実施するにあたり、文化財保護の観点から多大の御協力を惜しまれなかった県農政部、県阿蘇事務所耕地課、白水村教育委員会及び地元の関係者の皆様、また御指導御助言をいただきました諸先生方に深く感謝申し上げたいと思います。

平成12年３月31日

熊本県教育長　　佐々木　正典

例　言

1　本書は、県営圃場整備事業に伴って実施した埋蔵文化財発掘調査の調査報告書である。

2　発掘調査は、熊本県阿蘇郡白水村に所在する祇園遺跡が対象となり、県農政部の依頼を受けて、熊本県教育委員会が実施した。

3　遺物の整理は、熊本県文化財収蔵庫で行った。なお、遺物の保管も文化財収蔵庫である。

4　遺跡の発掘調査は、平成７年度に実施し、整理は平成９年度、10年度に行った。

5　本書の地形図は、県農政部から提供を受けたものをもとにして作成した。

6　現地調査での実測及び写真撮影は、水野哲郎・戸田清恵が行った。また、遺構実測の一部を㈲埋蔵文化財サポートシステムに委託した。

7　遺物の実測は水野・竹田知美・横山明代・宮嵜まい子・上山光美・前屋敷和美が行った。また、遺物実測の一部を㈲埋蔵文化財サポートシステムに委託した。土器拓影は整理作業員12名であたった。遺構製図及び遺物製図は竹田・横山・宮嵜・林ゆり・上山・前屋敷が行った。遺物の写真は村田百合子・水野・竹田が撮影した。

8　木器の樹種同定は㈱パリノサーベイと吉田生物研究所に依頼した。

9　本書の執筆は水野が行った。

10　本書の編集は水野があたり、校正に際しては竹田・宮嵜・前屋敷が補助した。

凡　例

1　現地での実測図は、以下の縮尺で作成した。

礎石建物・掘立柱建物	20分の１
土坑・竪穴式住居	20分の１
井戸・土器溜	10分の１

また、本書収録の際には以下の縮尺となった。

礎石建物・掘立柱建物	80分の１
土坑・竪穴式住居	40分の１
井戸	30分の１
土器溜	20分の１

2　遺構の方位は真北である。

3　遺構は以下のように記号化した。

礎石建物・掘立柱建物＝ＳＢ

柱列＝ＳＡ　　土坑＝ＳＫ

井戸＝ＳＥ　　溝＝ＳＤ

不明遺構＝ＳＸ　　集石＝ＳＧ

4　出土遺物の番号は、各図版ごとに通して付した。例えば、第20図の１番の遺物であれば20－１のように表記した。なお縮尺は、古銭・小型の青銅器は１分の１、青銅器・鉄器は２分の１、他は３分の１で一部が６分の１である。

5　出土遺物の解説は本文中に記した。

祇園遺跡目次

序文

例言・凡例

第Ⅰ章　調査の概要

第１節　調査に至る経緯 3

1　調査の契機 3

2　事業照会と予備調査の経過 3

3　発掘調査の進捗 3

4　調査の組織 3

第２節　調査の方法と経過 6

1　調査の方法 6

2　調査の経過 7

第Ⅱ章　遺跡の概要

第１節　遺跡の環境 11

1　地理的環境 11

2　歴史的環境 11

第２節　遺跡の概要 16

第３節　遺跡の層位と包含層 18

第Ⅲ章　調査とその成果

第１節　遺構とそれに伴う遺物 27

1　はじめに 27

2　礎石建物（ＳＢ） 27

－１　遺構 27

－２　遺物 29

3　掘立柱建物（ＳＢ） 36

－１　遺構 36

－２　遺物 81

4　柱列（ＳＡ） 87

5　土坑（ＳＫ）・集石（ＳＧ） 91

－１　遺構 91

－２　遺物 97

6　竪穴式住居（ＳＩ） 98

7　井戸（ＳＥ） 99

－１　遺構 99

－２　遺物 101

8　溝（ＳＤ） 106

－１　遺構 106

－２　遺物 106

9　土器溜 ―― 108
－1　土器溜1 ―― 109
－2　土器溜2 ―― 112
－3　土器溜3 ―― 113
－4　土器溜4 ―― 115
－5　土器溜5 ―― 116
－6　土器溜6 ―― 117
－7　土器溜7 ―― 121
第2節　包含層に伴う遺物 ―― 127
1　はじめに ―― 127
2　Ⅸ層の遺物 ―― 127
3　Ⅷ層の遺物 ―― 130
4　Ⅶ層の遺物 ―― 143
5　Ⅵ層の遺物 ―― 174
6　Ⅴ層の遺物 ―― 179
7　Ⅳ層の遺物 ―― 182
8　Ⅲ層の遺物 ―― 185
9　Ⅲ’層の遺物 ―― 187
10　その他の遺物 ―― 208
11　銅銭 ―― 224
第Ⅳ章　自然科学分析
祇園遺跡から出土した木器等の樹種 ―― 233
第Ⅴ章　まとめ
第1節　遺構の変遷 ―― 247
第2節　出土遺物の傾向 ―― 253
遺物観察表 ―― 275
参考文献 ―― 291
写真図版 ―― 295
あとがき ―― 339

挿図目次

第1図　周辺地形図（事業前）
第2図　周辺地形図（事業後）
第3図　周辺遺跡地図（1）
第4図　周辺遺跡地図（2）
第5図　全体遺構配置図①
第6図　土層断面位置図
第7図　土層断面図（1）
第8図　土層断面図（2）
第9図　土層断面図（3）
第10図　SB01平面図
第11図　SB01土層断面図
第12図　SB01内配石遺構図
第13図　磁州窯系鉄絵壺出土状態実測図
第14図　磁州窯系鉄絵壺実測図①
第15図　磁州窯系鉄絵壺実測図②
第16図　磁州窯系鉄絵壺実測図③

第17図　磁州窯系鉄絵壺実測図④
第18図　磁州窯系鉄絵壺実測図⑤
第19図　ＳＸ01実測図
第20図　ＳＢ01出土遺物実測図①
第21図　ＳＢ01出土遺物実測図②
第22図　ＳＢ02，03、ＳＫ20実測図
第23図　ＳＢ04，05、ＳＫ07，08実測図
第24図　ＳＢ06、ＳＫ07実測図
第25図　ＳＢ07実測図
第26図　ＳＢ08実測図
第27図　ＳＢ09，10実測図
第28図　ＳＢ11実測図①
第29図　ＳＢ11実測図②
第30図　ＳＢ12実測図
第31図　ＳＢ13実測図
第32図　ＳＢ14，16、ＳＫ18，19実測図
第33図　ＳＢ15実測図
第34図　ＳＢ17実測図
第35図　ＳＢ18実測図
第36図　ＳＢ19実測図
第37図　ＳＢ20，23実測図
第38図　ＳＢ21実測図
第39図　ＳＢ22実測図
第40図　ＳＢ24、ＳＫ05，06実測図
第41図　ＳＢ25，26実測図
第42図　ＳＢ27，28実測図
第43図　ＳＢ29，30実測図
第44図　ＳＢ31，32実測図
第45図　ＳＢ33，34実測図
第46図　ＳＢ35，36実測図
第47図　ＳＢ37，38実測図
第48図　ＳＢ39実測図
第49図　ＳＢ出土遺物実測図①
第50図　ＳＢ出土遺物実測図②
第51図　ＳＢ出土遺物実測図③
第52図　ＳＢ出土遺物実測図④
第53図　ＳＡ実測図①
第54図　ＳＡ実測図②
第55図　全体遺構配置図②
第56図　ＳＫ実測図①
第57図　ＳＫ実測図②
第58図　ＳＫ実測図③
第59図　ＳＫ09実測図
第60図　ＳＧ01（集石）実測図
第61図　ＳＫ出土遺物実測図
第62図　ＳＫ09出土遺物実測図
第63図　ＳＩ01実測図
第64図　ＳＥ01実測図①
第65図　ＳＥ01実測図②
第66図　ＳＥ02実測図①
第67図　ＳＥ02実測図②
第68図　ＳＥ出土遺物実測図
第69図　ＳＤ出土遺物実測図
第70図　土器溜１実測図
第71図　土器溜１出土遺物実測図
第72図　土器溜２実測図
第73図　土器溜２出土遺物実測図
第74図　土器溜３実測図
第75図　土器溜３出土遺物実測図
第76図　土器溜４実測図
第77図　土器溜４出土遺物実測図
第78図　土器溜５出土遺物実測図
第79図　土器溜６実測図
第80図　土器溜６出土遺物実測図①
第81図　土器溜６出土遺物実測図②
第82図　土器溜７実測図
第83図　土器溜７出土遺物実測図
第84図　Ⅸ層出土遺物実測図①
第85図　Ⅸ層出土遺物実測図②
第86図　Ⅷ層出土遺物実測図①
第87図　Ⅷ層出土遺物実測図②
第88図　Ⅷ層出土遺物実測図③
第89図　Ⅷ層出土遺物実測図④
第90図　Ⅷ層出土遺物実測図⑤
第91図　Ⅷ層出土遺物実測図⑥
第92図　Ⅷ層出土遺物実測図⑦
第93図　Ⅶ層出土遺物実測図①
第94図　Ⅶ層出土遺物実測図②
第95図　Ⅶ層出土遺物実測図③
第96図　Ⅶ層出土遺物実測図④

第97図　Ⅶ層出土遺物実測図⑤
第98図　Ⅶ層出土遺物実測図⑥
第99図　Ⅶ層出土遺物実測図⑦
第100図　Ⅶ層出土遺物実測図⑧
第101図　Ⅶ層出土遺物実測図⑨
第102図　Ⅶ層出土遺物実測図⑩
第103図　Ⅶ層出土遺物実測図⑪
第104図　Ⅶ層出土遺物実測図⑫
第105図　Ⅶ層出土遺物実測図⑬
第106図　Ⅶ層出土遺物実測図⑭
第107図　Ⅶ層出土遺物実測図⑮
第108図　Ⅶ層出土遺物実測図⑯
第109図　Ⅶ層出土遺物実測図⑰
第110図　Ⅶ層出土遺物実測図⑱
第111図　Ⅵ層出土遺物実測図①
第112図　Ⅵ層出土遺物実測図②
第113図　Ⅵ層出土遺物実測図③
第114図　Ⅵ層出土遺物実測図④
第115図　Ⅴ層出土遺物実測図①
第116図　Ⅴ層出土遺物実測図②
第117図　Ⅴ層出土遺物実測図③
第118図　Ⅳ層出土遺物実測図①
第119図　Ⅳ層出土遺物実測図②
第120図　Ⅳ層出土遺物実測図③
第121図　Ⅲ層出土遺物実測図①
第122図　Ⅲ層出土遺物実測図②
第123図　Ⅲ’層出土遺物実測図①
第124図　Ⅲ’層出土遺物実測図②
第125図　Ⅲ’層出土遺物実測図③
第126図　Ⅲ’層出土遺物実測図④
第127図　Ⅲ’層出土遺物実測図⑤
第128図　Ⅲ’層出土遺物実測図⑥
第129図　Ⅲ’層出土遺物実測図⑦
第130図　Ⅲ’層出土遺物実測図⑧
第131図　Ⅲ’層出土遺物実測図⑨
第132図　Ⅲ’層出土遺物実測図⑩
第133図　Ⅲ’層出土遺物実測図⑪
第134図　Ⅲ’層出土遺物実測図⑫
第135図　Ⅲ’層出土遺物実測図⑬
第136図　その他の出土遺物実測図①
第137図　その他出土遺物実測図②
第138図　その他出土遺物実測図③
第139図　その他出土遺物実測図④
第140図　その他出土遺物実測図⑤
第141図　その他出土遺物実測図⑥
第142図　その他出土遺物実測図⑦
第143図　その他出土遺物実測図⑧
第144図　その他出土遺物実測図⑨
第145図　銅銭拓本①
第146図　銅銭拓本②
第147図　銅銭拓本③
第148図　銅銭拓本④
第149図　遺構変遷図（1）
第150図　遺構変遷図（2）

表　目　次

第1表　周辺遺跡地名表（1）
第2表　周辺遺跡地名表（2）
第3表　土器溜出土土師器坏・皿観察表
第4表　銅銭観察表
第5表　樹種同定表
第6表　ＳＢ観察表
第7表　ＳＢ消長表
第8表　出土遺物数量表
第9表　出土遺物観察表

図 版 目 次

（1）祇園遺跡全景写真
（2）磁州窯系鉄絵壺
（3）Ⅷ層出土青白磁合子
（4）図版1　ＳＥ01

（５）　ＳＥ02
（６）図版２　土器溜１
（７）　土器溜４
（８）　土器溜６
（９）図版３　ＳＢ01
（10）　ＳＸ01
（11）図版４　ＳＢ07，08
（12）　ＳＢ12，13
（13）図版５　ＳＢ17
（14）　ＳＢ18
（15）図版６　ＳＢ19
（16）　ＳＢ21
（17）図版７　ＳＢ22
（18）　ＳＢ23
（19）図版８　ＳＢ25
（20）　ＳＢ26
（21）図版９　ＳＢ27
（22）　ＳＢ28，29
（23）図版10　ＳＢ30
（24）　ＳＢ31
（25）図版11　ＳＢ32
（26）　ＳＢ33
（27）図版12　ＳＢ34
（28）　ＳＢ35
（29）図版13　Ⅷ層出土白磁
（30）　Ⅷ層出土青磁
（31）　Ⅶ層出土白磁碗
（32）図版14　Ⅶ層出土白磁皿
（33）　Ⅶ層出土白磁水柱
（34）　Ⅶ層出土青磁碗
（35）図版15　Ⅶ層出土青磁皿
（36）　Ⅶ層出土青磁小碗・坏
（37）　Ⅶ層出土青白磁碗・皿
（38）図版16　Ⅶ層出土青白磁梅瓶
（39）　Ⅶ層出土瀬戸窯製品
（40）　Ⅶ層出土青白磁合子
（41）図版17　Ⅶ層出土黄釉四耳壺
（42）　Ⅶ層出土黄釉盤
（43）　Ⅶ層出土緑釉盤
（44）図版18　Ⅵ層出土青磁・白磁
（45）　Ⅲ’層出土青磁碗
（46）　Ⅲ’層出土青磁碗
（47）図版19　Ⅲ’層出土青磁盤
（48）　ＳＢ01溝出土土師器坏・皿
（49）　ＳＤ02出土白磁碗・皿
（50）図版20　土器溜１出土遺物
（51）　土器溜２出土遺物
（52）　土器溜３出土遺物
（53）図版21　土器溜４出土遺物
（54）　土器溜５出土遺物
（55）　土器溜６出土遺物
（56）図版22　土器溜７出土遺物
（57）　龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類
（58）　龍泉窯系青磁碗Ⅲ類
（59）　龍泉窯系青磁坏Ⅲ４類
（60）　高麗青磁碗
（61）図版23　初期龍泉窯・同安窯系青磁碗０類
（62）　白磁皿Ⅱ１ｂ類
（63）　白磁皿Ⅷ１ａ類
（64）　白磁碗Ⅴ４類
（65）　白磁碗Ⅷ２類
（66）　白磁碗Ｘ類
（67）図版24　白磁水注
（68）　青白磁水注
（69）　白磁壺
（70）　龍泉窯系青磁小壺
（71）　越州窯系青磁小壺
（72）　越州窯系青磁壺
（73）図版25　青白磁小碗・皿
（74）　褐釉茶入
（75）　黒釉壺
（76）　天目碗（瀬戸）
（77）　天目碗（中国）
（78）　天目碗（中国）
（79）図版26　瀬戸瓶子・碗
（80）　瀬戸合子
（81）　官窯様青磁
（82）　白色土師器皿・坏
（83）　ガラス玉
（84）　螺鈿

(85) 図版27 緑釉盤
(86) 初期龍泉窯・同安窯系青磁碗0類
(87) 須恵質捏鉢
(88) 図版28 須恵質捏鉢
(89) 須恵質捏鉢
(90) 須恵質捏鉢
(91) 図版29 須恵質捏鉢
(92) 瓦質火鉢
(93) 瓦質火鉢
(94) 図版30 瓦質火鉢
(95) 常滑窯甕
(96) 瓦器椀
(97) 図版31 瓦器椀
(98) 瓦器皿
(99) 瓦器皿
(100) 図版32 滑石製石鍋
(101) 青銅製水滴
(102) 青銅製品
(103) 図版33 青銅製品
(104) 青銅製盤
(105) 青銅製仏像
(106) 図版34 青銅製鈴
(107) 青銅製耳掻き
(108) 青銅製品
(109) 図版35 青銅製笄
(110) 鉄製鎧（部分）
(111) 鉄製刀
(112) 図版36 鉄製刀
(113) 鉄製狩俣
(114) 滑石製仏像・スタンプ原体
(115) 図版37 白色土師器椀・皿
(116) 土師器坏・皿
(117) 白色土師器椀・皿
(118) 図版38 ＳＢ07，Pit39柱材
(119) ＳＢ08，Pit04柱材
(120) ＳＢ08，Pit06柱材
(121) ＳＢ08，Pit20柱材
(122) ＳＢ08，Pit34柱材
(123) ＳＢ09，Pit02柱材
(124) 図版39 ＳＢ09，Pit07柱材
(125) ＳＢ09，Pit10柱材
(126) ＳＢ10，Pit02柱材
(127) ＳＢ11，Pit14柱材
(128) ＳＢ11，Pit14敷板
(129) ＳＢ11，Pit17柱材
(130) 図版40 ＳＢ11，Pit20柱材
(131) ＳＢ11，Pit26柱材
(132) ＳＢ11，Pit29柱材
(133) ＳＢ12，Pit07敷板
(134) ＳＢ13，Pit31柱材
(135) ＳＢ13，Pit33柱材
(136) 図版41 ＳＢ15，Pit11柱材
(137) ＳＢ18，Pit11柱材
(138) ＳＢ21，Pit02柱材
(139) ＳＢ21，Pit18柱材
(140) ＳＢ21，Pit03柱材
(141) ＳＢ21，Pit04柱材
(142) 図版42 ＳＢ21，Pit05柱材
(143) ＳＢ21，Pit07柱材
(144) ＳＢ21，Pit09柱材
(145) ＳＢ21，Pit09柱材
(146) ＳＢ21，Pit10柱材
(147) ＳＢ21，Pit16柱材
(148) 図版43 ＳＢ21，Pit17柱材
(149) ＳＢ22，Pit11柱材
(150) ＳＢ22，Pit22柱材
(151) ＳＢ23，Pit06柱材
(152) ＳＢ23，Pit09柱材
(153) ＳＢ39，Pit03柱材
(154) 図版44 ＳＢ39，Pit04柱材
(155) ＳＢ39，Pit05柱材
(156) ＳＡ08，Pit01柱材
(157) ＳＡ09，Pit02柱材

第Ⅰ章　調査の概要

第１節　調査に至る経緯

1　調査の契機

2　事業照会と予備調査の経過

3　発掘調査の進捗

4　調査の組織

第２節　調査の方法と経過

1　調査の方法

2　調査の経過

第１節　調査に至る経緯

１　調査の契機

1989（平成元）年度より県営圃場整備事業白水西部地区の事業が計画された。これは「区画形状の改善、道路網の配置、用排水の分離、暗渠排水等の総合的な整備を行い、大型機械化営農体系の確立と農地の高度利用並びに流動化を推進して、中核的担い手農家の利用集積、生産組織の強化、生産コストの低減を図り、農家経営の安定を目指す。」という、いわゆる農業の近代化を図る目的で着手されたものである。受益面積は265haの大規模な農業基盤整備事業である。

２　事業照会と予備調査の経過

県農政部から同事業の計画が提出されたことを受けて、文化課では1989（平成元）年度に遺跡台帳の照合と現地踏査を実施した。その結果、杉の本遺跡、二本木前遺跡、祇園遺跡、南鶴遺跡、吉田城跡などの地点を埋蔵文化財包蔵地が存在する可能性が高いところと判断した。その後速やかに踏査結果を県農政部に報告し、試掘・確認調査の必要な旨を通知した。

祇園遺跡の確認調査は、平成５年12月に実施した（文化財保護主事　古森政次、学芸員　長谷部善一）。その結果、多数の柱穴や土坑、青磁・白磁・擂鉢など中世の遺物が多く確認され、当該地に埋蔵文化財包蔵地の存在が認められることと、その範囲や深度を明示した報告書を農政部に通知した。また、今後の措置として、工事施工の上で埋蔵文化財包蔵地を掘削する地域については、発掘調査が必要である旨を農政部局へ通知した。

その後の協議で、遺跡保存のために耕地設計の変更を要請し、設計上やむなく掘削せざる得ない面（第１、２図スクリーントーン部分）については発掘調査を実施することとなった。

３　発掘調査の進捗

調査は1995（平成７）年10月より調査着手。同年度の前半には二本木前遺跡Ⅱ区2,100㎡の調査を行うが、調査区の拡大などもあって調査期間が延長され、予定より遅れての着手である。調査面積は1,600㎡。調査着手後間もなく、調査地が３面の良好な中世の文化層を持つ遺跡であることがわかった。各文化層の調査や、包含層の除去などに予想外の時間が掛かるために、速やかに県農政部と協議を行った。その結果、当初の調査完了予定を３ヶ月延長し、1996（平成８）年３月末日には全ての調査を完了した。

４　調査の組織

【1993（平成５）年度　試掘調査】

調査責任者　大塚正信（首席教育審議員兼文化課長）
　　平野芳久（教育審議員兼課長補佐）
調 査 総 括　島津義昭（調査第１係長）
調 査 担 当　古森政次（文化財保護主事）
　　長谷部善一（学芸員）
調査事務局　松崎厚生（課長補佐）
　　木下英治（主幹兼経理係長）
　　高濱保子（参事）
　　相馬治久（参事）
　　中村幸宏（参事）

【1995（平成７）年度　本調査】

調査責任者　桑山裕好（文化課長）
　　丸山秀人（課長補佐）
調 査 総 括　島津義昭（主幹兼調査第１係長）
調 査 担 当　水野哲郎（文化財保護主事）
　　戸田清恵（嘱託）
調査事務局　白井哲哉（教育審議員兼課長補佐）
　　高濱保子（参事）
　　高宮優美（主任主事）
　　東　　修（主事）

調査指導・助言及び協力者（敬称略・順不同）

山本信夫（太宰府市教育委員会）
狭川真一（太宰府市教育委員会）
美濃口雅朗（熊本市教育員会）
鶴島俊彦（人吉市教育委員会）

【1997（平成９）年度　報告書作成】

調査責任者　豊田貞二（文化課長）
　　丸山秀人（教育審議員兼課長補佐）

第1図　周辺地形図（事業前）（1／3000）

第２図　周辺地形図（事業後）（1／3000）

調 査 総 括　松本健郎（主幹兼調査第１係長）
調 査 担 当　水野哲郎（文化財保護主事）
　　竹田知美（嘱託）
　　林　ゆり（臨時）
　　隈部香織（嘱託）
調査事務局　石原昭宏（課長補佐）
　　江尻靖子（総務係長）
　　岸本誠司（主事）
　　川口久夫（主事）
　　東　　修（主事）
調査指導・助言及び協力者（敬称略・順不同）
　長谷部樂爾（出光美術館）
　楢崎彰一（瀬戸市埋蔵文化財センター）
　藤沢良祐（　　〃　　）
　城ヶ谷和広（　　〃　　）
　桜木晋一（下関市立大学）
　江浦久志（天草創磁久窯）
　原田昭一（大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館）
【1998（平成10）年度　報告書作成】
調査責任者　豊田貞二（教育審議員兼文化課長）
　　川上康治（課長補佐）
調 査 総 括　松本健郎(課長補佐　調査第１係担当)
調 査 担 当　水野哲郎（文化財保護主事）
　　竹田知美（嘱託）
　　横山明代（臨時）
　　上山光美（臨時）
調査事務局　伊津野博（課長補佐）
　　小斉久代（総務係長）
　　岸本誠司（主事）
　　川口久夫（主事）
　　東　　修（主事）
調査指導・助言及び協力者（敬称略・順不同）
　山本信夫（太宰府市教育委員会）
　美濃口雅朗（熊本市教育委員会）
　中原幹彦（植木町教育委員会）

第２節　調査の方法と経過

１　調査の方法

まず重機による表土剥ぎを行い、作業員の手作業による清掃を行った。引き続き、実測図作成のために、国土座標軸にあわせたグリッドを調査区内に設定した。設定したグリッドの一辺の長さは10mであり、これを大グリッドと呼ぶ。また、それぞれの大グリッドには北から南にＡ～Ｈ、東から西へ０～４までの番号を振り分け遺構の場所を示す基準とした。また、それぞれの大グリッドを１ｍ四方の小グリッドに分割し実測の基準とした（第５図参照）。

調査地は遺物包含層が厚く、表土剥ぎも、遺物が頻出する黒ボク土で止めている。その後、土層の確認のために、トレンチを数本入れ堆積状況の確認を行う。その結果、包含層は20～80㎝にわたり、約３枚の中世の文化層が有ることを確認した。土層は後述のようにⅨ層まで分割することができ、各大グリッドを更に16分割した小グリッド(2.5m×2.5m)に分けて、各小グリッドごとに上層から包含層を除去して遺物を取り上げ、遺構を確認できる面まで掘り下げた。しかし、結果的に遺構を明確に確認できたのは第Ⅷ層上面であり、特に上層の各文化層での遺構確認はできなかった。

遺構には掘立柱建物、柱列、土坑、井戸、土器溜、溝などがあった。以下、それぞれについて調査方法を示す。

掘立柱建物、柱列は、調査区の清掃後に柱穴を観察し、柱穴の大きさ、埋土の状態、柱穴の配列・間隔などを考え併せて建物の単位を確定した。柱穴同士の切り合いより新旧が判断できたものもあった。その後、柱痕跡を確認し、写真撮影を行った。それぞれの柱穴について埋土を半割し、堆積状況を観察した上で平面図・断面図を完成させた。実測方法は、調査区全域に柱穴が広がっていたため、掘立柱建物の柱穴も含めてグリッドに合わせて調査区全域の平面図をとり、その後個別の掘立柱建物の遺構平面図・断面図を作成した。実測図の縮尺率は１／20である。

土坑は、遺構の平面形を確認の後、土層堆積の状

況を確認するためにベルトを残して発掘を行う。次に土層観察と土層断面図の作成、そして写真撮影をし、その後にベルトを取り除いて平面図及び断面図を完成させる。実測図の縮尺率は１／20である。

井戸の調査も、基本的には土坑などと同様の方法でなされた。ただ、遺構の性格上かなり深いものがあり、完掘できなかったものもある。また、埋土が泥炭質のためベルトが設けにくく、深度の深いところまで観察するまでに、ベルトがくずれたものもあった。縮尺率は１／10である。

溝の調査は、遺構の平面形を確認の後、土層の堆積状況を確認するためのベルトを残して発掘を行う。その後に土層の堆積状況を確認し、土層断面図と平面図を作成。縮尺率は１／20である。

写真はモノクロとカラースライドの２種類で撮影した。写真機の種類は35㎜の一眼レフと、重要遺構については中型カメラを用いた。撮影はそれぞれの遺構について２方向から３枚ずつを基本としている。また、調査の最終段階でラジコンヘリによる空中撮影を行った。

2　調査の経過

本調査は1995（平成７）年の９月より始まり、1996（平成８）年の３月に終了している。以下その経過を月ごとに記したい。

1995（平成７）年度

【９月】

調査開始の月。二本木前遺跡Ⅱ区の調査を行っているが、二本木前遺跡が調査区の拡張のために調査期間が延長されたため、祇園遺跡も先行して調査に着手し、両現場平行して調査を進めることとする。表土剥ぎを行うが、耕作土、床土を取り除いた後、夥しい遺物が出土し始めたため、重機による表土剥ぎは黒ボク上層で止め、手堀りに切り替える。土層の確認のため北側に東西のトレンチを入れる。包含層の除去のため、大グリッドを16の小グリッドに分割し掘り下げることにする。祇園遺跡にあてる作業員は、二本木前遺跡と半々に割り当てる。

【10月】

秋を迎えた阿蘇は風も涼やかで、山々を覆うススキの穂が秋の日に照らされてまぶしい。

Ｄ、Ｅ区の包含層の掘り下げを行う。瀬戸の茶入れや緑釉の盤など多種の陶磁器が出土し、遺物の豊富さを伺うことができる。

【11月】

包含層の除去のできた部分より掘立柱建物の検出を行う。包含層の発掘は、Ｅ，Ｆ区などの南側を行う。南側は包含層が厚く、遺物の出土も多い。包含層の除去など、予想外に時間がかかるため、県農政部と協議の結果３月まで調査期間を延長することを確認。

【12月】

遺跡南側より、石組みの雨落溝に簡易な基壇を持つ大型建物を検出。遺構中央より磁州窯系鉄絵壺が出土。同壺が完形で出土するのは全国で初めてであり、新聞・テレビ等の取材を受ける。調査区に隣接する地域での排水路の掘削工事も、遺跡にかかることがわかったために緊急調査に入る。

【１月】

年が明けて阿蘇の冬は厳しさを増して、現場は毎日のように凍結をしている。包含層の掘り下げも遺構の精査も、昼の氷解を待たなければできない。調査面の氷が無くなった後、今度は現場がぬかるみ、いずれにしろ困難な状況が続く。

包含層を掘り進める一方で掘立柱建物などの遺構を検出し、実測を進める。

【２月】

調査期間もあと２ヶ月となり調査も大詰めに入る。包含層を掘り下げて、遺構が検出できるところは検出をして確定し、一方で実測を続けるという自転車操業の毎日。

遺構も掘立柱建物が20棟を越え、土器溜７基、井戸２基など充実をしている。

冬の寒さも本格化し、強い北風に身を縮める。降霜、凍結、降雪はざらで、悪天候に作業を中断することもしばしば。そんな中、地元の作業員さんはさすがに寒さに強く、横殴りの雪の中、作業の中止を呼びかけると、「まだまだ序の口」と言いながら作

業を止めないということもよくあった。調査日程の逼迫に悩まされる中、とてもありがたいことであった。

【３月】

北風が吹き付ける合間にしばしば暖かい南風も吹きはじめ、厳しい寒さが続く中にも春が近づいていることを感じる。

包含層は全域掘り上げ、残るは夥しい遺構の実測。遺構実測の一部を㈲文化財サポートシステムに委託をするとともに文化課からも手助けを得て、ひたすら実測にあたる。調査終了予定日のぎりぎりまで実測を続け、全日程を終了する。

第Ⅱ章　遺跡の概要

第１節　遺跡の環境

１　地理的環境

２　歴史的環境

第２節　遺跡の概要

第３節　遺跡の層位と包含層

第１節　遺跡の環境

１　地理的環境

祇園遺跡は、熊本県阿蘇郡白水村大字一関字祇園に所在する。阿蘇郡は熊本県の北東部に位置しており、世界最大の阿蘇カルデラ、すなわち阿蘇山とその外輪山を中心とした地域である。郡内を地域的に大別すれば、阿蘇カルデラ火山内部の中央火口丘山麓と火口原、および外輪山内壁斜面、外輪山外麓斜面とすることができる。内部の火口原は、中央火口丘を境として、北部の阿蘇谷と南部の南郷谷に分かれる。阿蘇谷は取り囲む外輪山頂部が平たく、その懐には広大な平坦地が広がっているのに対し、南郷谷の外輪山頂部は凹凸が激しく、しかも高い。後者では、火口丘と外輪山が迫っているために平坦部が狭く、東西に細長く弧を描いた谷部を形成している。谷中央部を切るようにして白川が流れ、南郷谷西端で阿蘇谷より流れ来る黒川と合流し、熊本平野へと流れ落ちる。集落は北の火口丘斜面、及び外輪山内壁斜面と平坦部の接点に発達し、白川に沿うように続いている。

白水村はこのような南郷谷のほぼ中央部に位置し、北部の御竈門山や烏帽子岳などの1,100～1,300m級の山々を背にした緩傾斜地上にある。

一帯は、溶結凝灰岩を基盤として火山灰質の酸性土が覆い、土地は決して肥沃ではない。また、阿蘇山系の裾野にあたるため、村内至る所に湧水池が多く、古代より生活や農業・文化の面で村を潤す一方、同時に災厄ももたらしてきた。阿蘇山に降り注いだ大雨は土石流となって、谷の迫ったこの地域を何度となく襲い被害を与えてきた。中岳の噴火によってもたらされ、家畜や農作物に被害を与える火山灰とともに、この地域の人々の生活は古来、自然との闘いであったことは想像に難くない。

２　歴史的環境

旧石器・縄文時代

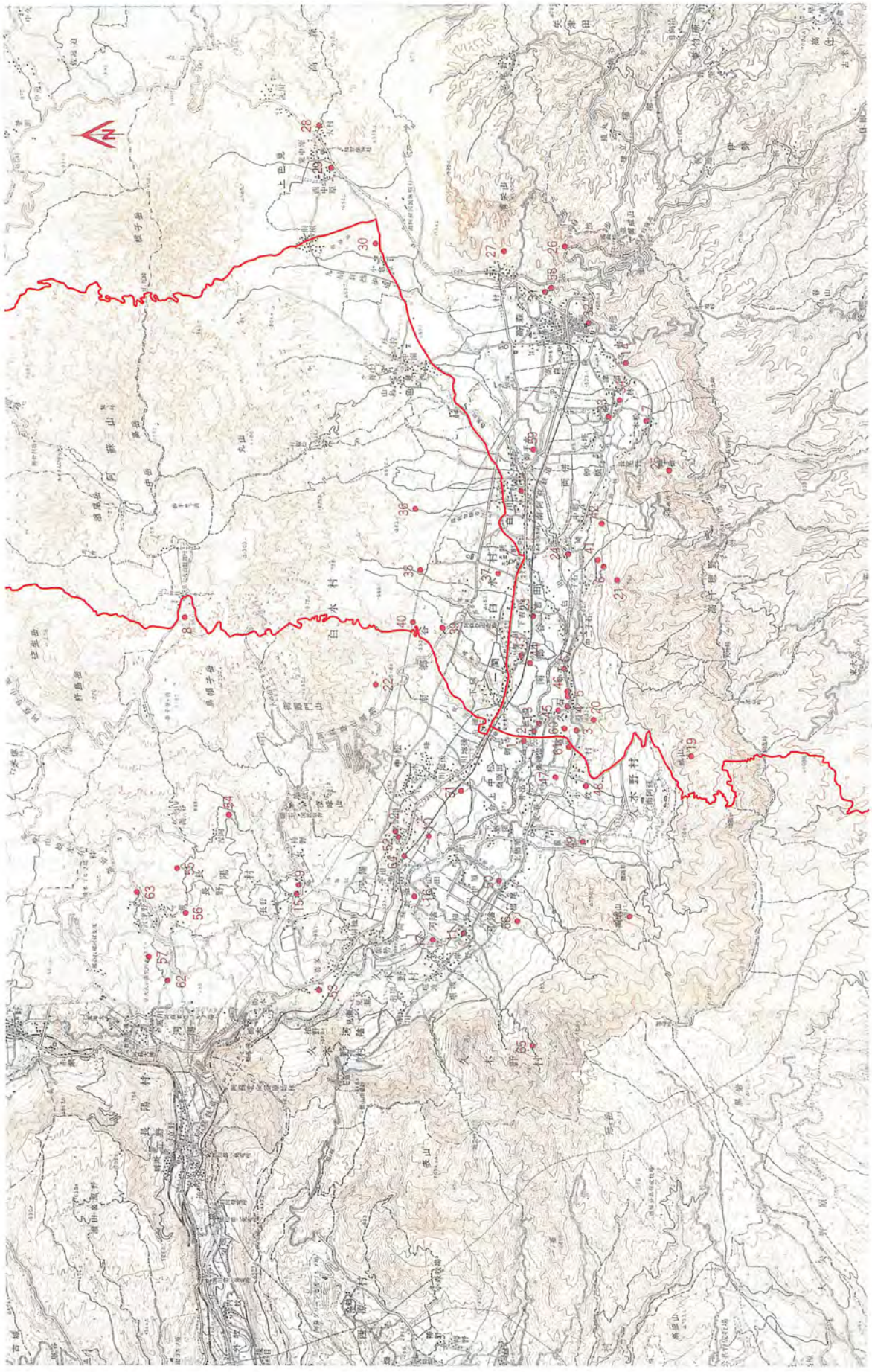
阿蘇地方を概観した場合、旧石器時代の遺跡は外輪山内壁斜面・外麓斜面に点々と見られる。外輪山北部では大観望遺跡、湯浦遺跡、長倉坂遺跡（阿蘇町）などがそれであるが、外輪山南西部では大矢野原（矢部町～西原村）には十数カ所の遺跡群がある。しかし、カルデラ内においては旧石器の遺跡は発見されておらず、実態は不明である。

縄文時代の遺跡は、早期から晩期まで間断なく見られ、出土地点の粗密はあるが、この地方のほぼ全域に縄文人の痕跡を認めることができる。遺跡の傾向を概観すると、２種類に分けることができる。ひとつは各期土器が出土して長い期間存続したと見られる生活遺跡である。もうひとつは１時期の土器しか出土しない遺跡で、この中には土器を伴わず、石鏃を中心に石器のみ出土する外輪山高所の小遺跡も含む。この２つの遺跡のあり方は、センター的役割を持った拠点集落と狩猟採集中の短期間の滞在を示すものと解釈できる。南郷谷では、点的な土器採集例はあるが、集落跡などのまとまった遺跡はなく、その実態は明らかでない。

弥生時代

南郷谷において、前期・中期の実態は明らかでなく、現在知られているものは、概して弥生後期の遺跡である。遺跡は主に、低地に臨む麓に立地するものと、丘陵地に立地するものがある。低地の遺跡を代表するものは、白水村の南鶴遺跡がある。後期の集落跡と考えられ、1974（昭和49）年の耕地整理作業中に大量の壺・甕・石斧・鏃などの遺物が発見され、1999（平成11）年より圃場整備事業に伴い白水村教育委員会により調査が行われている。一方丘陵地の遺跡では、西原村の谷頭遺跡がある。この遺跡は外輪山の西斜面標高約450mの高所にあり、水田耕作には不適の地である。注目されるのは、竪穴住居の中より多量の磨製石鏃の製品・未製品とともに、石包丁の完成品と未製品が出土したことである。長陽村沢津野遺跡も同様の性格の遺跡と思われるが、平坦部の水田耕作を中心とする集落との交流を想起させるものである。

先の南鶴遺跡に見るように、南郷谷に稲作が始まり、集落が形成されるのは少なくとも弥生後期からである。立地は火口丘より谷部へ延びる台地の先端部、もしくは外輪山内壁斜面であり、平坦部との境



第3図　周辺遺跡図（1）

第1表　周辺遺跡地名表（1）

No.	遺跡名称	遺跡	時代	所在地
1	二本木前遺跡	館跡・寺院	鎌倉・室町・江戸	白水村中松（通称　御寺）
2	祇園遺跡	館跡・寺院	鎌倉・室町	白水村一関　祇園
3	片山寺	寺院	鎌倉・室町	久木野村久石　桑原鶴（大四郎さん）
4	妙音寺	寺院	室町	久木野村久石　本田
5	天徳寺跡	寺院	平安・鎌倉	久木野村久石　西一丁田
6	東福寺跡	寺院		久木野村久石(通称　上二子石)・五の小石
7	無量寺跡	寺院	鎌倉	白水村両併　寺山
8	古坊中僧坊跡（西巌殿寺跡）	寺院	平安	白水村中松　古坊中
9	長徳寺跡	寺院		長陽村長野　中江ノ前
10	光雲寺	寺院	鎌倉	長陽村河陽　宮寺鶴
11	柿野釈迦堂跡	寺院		久木野村河陰　西鶴
12	西野宮社（吉祥寺）	寺院	平安	長陽村東下田
13	祇園社（下市八坂神社）	神社	飛鳥	白水村祇園
14	高森阿蘇神社	神社	平安	高森町冬野
15	長野城跡	城跡		長陽村長野　陣内
16	下田城跡	城跡	鎌倉・室町	長陽村河陽　正伝寺
17	鼠土城跡	城跡	中世山城	久木野村河陰　東屋　外
18	滋水城跡	城跡	中世山城	久木野村河陰　猶須原
19	駒返城跡	城跡	鎌倉	久木野村城山
20	白禿山城跡	城跡	鎌倉・室町	久木野村久石　上駄原
21	陳林遺跡			久木野村久石　陳林
22	峰城跡（塁城跡）	城跡	鎌倉・室町	白水村中松　塁城
23	吉田城跡	城跡	鎌倉・室町	白水村吉田　城後
24	竹崎屋敷跡	館跡	鎌倉	白水村両併　（通称　竹崎）
25	市下城跡	城跡	鎌倉・室町	白水村両併　城山
26	高森城跡	城跡	鎌倉・室町	高森町城山
27	村山城跡	城跡		高森町城平
28	上色見古墳群（中大村古墳）	古墳	古墳	高森町上色見　大村
29	上色見石棺	古墳	古墳	高森町上色見　下大邑
30	狩塚古墳	古墳	古墳	高森町色見　小倉原
31	内山遺跡	散布地		高森町城山下
32	上の園古墳群	古墳	古墳	高森町上園　穿戸
33	前畑横穴群	横穴古墳	古墳	白水村前畑
34	年の神遺跡	散布地		高森町小鶴
35	白川水源遺跡	散布地		白水村白川　出口
36	倶利加羅谷遺跡	散布地		白水村白川　倶利加羅谷
37	新町遺跡	散布地	縄文	白水村吉田　城後
38	上積遺跡	板碑群・散布地	鎌倉	白水村吉田　上積
39	遺跡名不明	散布地	縄文・弥生	白水村一関
40	遺跡名不明	散布地	平安	白水村一関
41	六の小石古墳群	古墳	古墳	久木野村久石　六の小石
42	二子石遺跡	散布地	弥生	久木野村久石（通称　上二子石）
43	南鶴遺跡	散布地	弥生	白水村吉田　南鶴
44	遺跡名不明	散布地	弥生	白水村一関
45	本田遺跡	集落跡	平安・鎌倉	久木野村本田
46	西一丁田遺跡	集落跡	弥生・古墳・平安	久木野村西一丁田
47	柏木谷遺跡	散布地	弥生・古墳・中世	白水村久石
48	平原遺跡	散布地		久木野村久石　平原
49	猶須遺跡	散布地		久木野村河陰　猶須原
50	阿弥陀堂板碑	板碑	平安	久木野村河陰　摺野
51	杉の本遺跡	集落跡	奈良	白水村中松
52	河陽遺跡	埋蔵銭	鎌倉	長陽村河陽　村の上
53	長陽中学校遺跡	集落跡	弥生	長陽村河陽　村下
54	吉岡の経塚	経塚	平安	長陽村長野吉岡
55	湯大迫の宝篋印塔	篋印塔	鎌倉	長陽村長野　湯大迫
56	乙ヶ瀬遺跡	散布地		長陽村長野　（通称　乙ヶ瀬）
57	京大火山研究所遺跡	散布地		長陽村河陽　高野
58	含蔵寺	寺院	室町	高森町須坂
59	御手水遺跡	散布地	弥生	白水村御手水
60	ナンゾウ坊		縄文・弥生・古墳・中世	久木野村ナンゾウ
61	小無田鶴	集落跡	縄文・弥生	久木野村小無田鶴
62	佐川官兵衛の墓	墳墓		長陽村河陽　黒川
63	山久保遺跡	散布地		長陽村山久保
64	下田東城跡	城跡		長陽村河陽　東下田
65	隠谷御所遺跡			久木野村河陰　柿野の上
66	摺ノ尾遺跡	散布地	弥生	久木野村河陰　摺ノ尾
67	東一丁田遺跡	集落跡		久木野村東一丁田

第4図　周辺遺跡図（2）（1/400,000）

第２表　周辺遺跡地名表（２）

No.	遺跡名称	遺跡	時代	所在地
1	満願寺	寺院		南小国町
2	国造神社	神社		一の宮町手野
3	阿蘇神社（神陵古墳）	神社		一の宮町宮地　宮園
4	西巌殿寺（現）	寺院		阿蘇町黒川　坊中
5	古坊中僧坊跡（西巌殿寺跡）	寺院	平安	白水村中松　古坊中
6	蜂城跡（壇城跡）	城跡	鎌倉・室町	白水村中松　壇城
7	二本木前遺跡	館跡・寺院	鎌倉・室町・江戸	白水村中松（通弥　御寺）
8	駒返城跡	城跡	鎌倉	久木野村城山
9	浜の館跡	館跡	室町	矢部町城平　東前田
10	岩尾城跡	城跡		矢部町城原　本丸　二の丸
11	囲城跡	城跡	中世	矢部町菅　野添
12	福城寺	寺院		砥用町甲佐平
13	甲佐社	神社		甲佐町上揚
14	豊内城跡	城跡		甲佐町豊内　南谷川
15	陣内館跡	館跡		甲佐町豊内　陣の内
16	御船城跡	城跡		御船町下囲
17	健軍社	神社		健軍本町
18	郡浦社	神社		三角町郡浦

に湧き出す湧水を利用した水田耕作であったことが想像される。他に久木野村の西一丁田遺跡、柏木谷遺跡、摺尾遺跡、小無田鶴遺跡、二子石遺跡など、外輪山内壁斜面に弥生の集落が多く見られる。また、長陽村の長陽中学校遺跡や京大火山研究所遺跡も集落跡として知られる。

古墳時代

古墳時代になると南郷谷にも古墳が作られるが、阿蘇谷が中通古墳群を中心とした多くの古墳群によって華やかな古墳文化を形作るのに対して、南郷谷の方は分布が希薄で系統的な整理に至っていない。大まかな分布は、谷中央部から東側部分にかけての外輪山丘陵尾根部や斜面に立地している。

高森町の上色見古墳群は６基以上の石棺が分布し、人骨とともに鉄剣が出土した。同町の上ノ園古墳群は、１基の円墳と２基の箱式石棺からなり、太刀、銀環、鉄鏃、馬具などが出土した。久木野村の六ノ小石古墳群は４基の円墳からなり、１号墳から金銅製鈴、水晶製切子玉、刀子、鉄鏃が出土し、遺物より６世紀後半のものと思われる。また、同村柏木谷遺跡では圃場整備にともなう調査が実施され、方形周溝墓12基、円形周溝墓９基、円墳１基の存在が確認された。円墳は４世紀代のものと推定されており、外径34.5mで、南郷谷では最大規模のものである。

古　代

古代律令制において南郷谷は阿蘇郡に属し、本遺跡の位置する白水村は、『和妙抄』の中の知保郷にあたるものと考えられている。国造の伝統を持つ阿蘇氏は、阿蘇社神主と郡司を兼任する存在であったと思われ、南郷にもその影響力は及んでいたものであろう。

白河天皇の承暦年間に、阿蘇荘が四至を定めて立荘された(阿蘇文書)。すなわち、奈良・平安初期以来私営田領主として出発した阿蘇氏は、古代末期には、阿蘇郡においてその領主権を確立したのである。荘園の形態としては本家は王家領（鳥羽院→美福門院→安楽寿院)領であり、領家職は村上源氏が伝領した。阿蘇氏は下司的地位を確保したのである。

古代の遺跡は不明な点が多いが、1992（平成４）年度に調査が為された杉の本遺跡（白水村）は奈良時代の大規模な掘立柱建物や竪穴住居の住居群が検出された。特に掘立柱建物は規模が大きく、当時の開発領主層の建物跡と推測され、南郷谷において本格的な荘園支配が始まる前の集落形態を示す遺跡として注目される。また、南郷谷には古代から中世にかけての神社・寺院が多く、中岳噴火口西方の西巌殿寺（古坊中）は８世紀に起源を持つと伝えられ、白水村の祇園社は９世紀に起源をもつものという伝承がのこる。

中　世

文献上の「南郷大宮司」の初見は、『吾妻鏡』の治承５(1181)年の記述である。すなわち、南郷大宮司惟泰が菊池隆直とともに平家に背く、という記述であり、この時期までに阿蘇氏が阿蘇谷より南郷の地へ

移り住んでいることが判る。鎌倉幕府が成立すると、北条氏が阿蘇本社領及び甲佐、健軍、郡浦の三末社領の地頭職並びに預所職を有し、阿蘇氏に安堵状を与えている。南北朝期になると中央の政治情勢を反映して、南郷谷も複雑な政争に巻き込まれる。阿蘇氏は当初南朝方に属し、鎮西探題を襲撃するなど積極的な行動を見せる。しかし、足利尊氏の九州下向時に庶流坂梨孫熊丸を大宮司に補任したため、時の大宮司惟時は矢部に拠り、ここに阿蘇氏は南郷（北朝）矢部（南朝）の両大宮司家に分立することになる。

南郷谷には中世城や寺院跡、板碑などの石碑類が点在し、数も多い。その多くが本遺跡の周辺に分布しており、当該地域が中世において重要な地域であったことが想像される。1994,5（平成６，７）年度に調査の行われた二本木前遺跡からは、方一町の大規模な濠にかこまれた方形居館跡が検出されており、本遺跡とあわせて「南郷大宮司館」と推定することができる。またこの地域は、北部の阿蘇谷から阿蘇中岳（古坊中）、南郷谷、さらに南外輪の駒返峠を越えて矢部町の「浜の館」を繋ぐ街道が走っている（第３・４図）。「浜の館」は発掘調査によって戦国期の阿蘇氏の居館跡であったことがわかっており、阿蘇氏発祥の阿蘇谷東部から矢部町浜の館まで、「阿蘇氏」をキーワードに歴史の道をたどることができるのである。

近　世

天正15年、豊臣秀吉の九州出仕後、南郷は佐々領となり、その後加藤、細川領と変遷する。細川藩政では手永制が敷かれるが、現白水村は高森手永に属する。手永会所は最初高森に置かれたが、後に吉田新町に移され、白水村を中心とする南郷谷中央部は政治・経済の中心地と位置づけることができる。

南郷谷の近世の遺跡はほとんど知られておらず、考古学的なアプローチがほとんど為されていないのが現状である。今後の資料の集積・整理が待たれる。

第２節　遺跡の概要

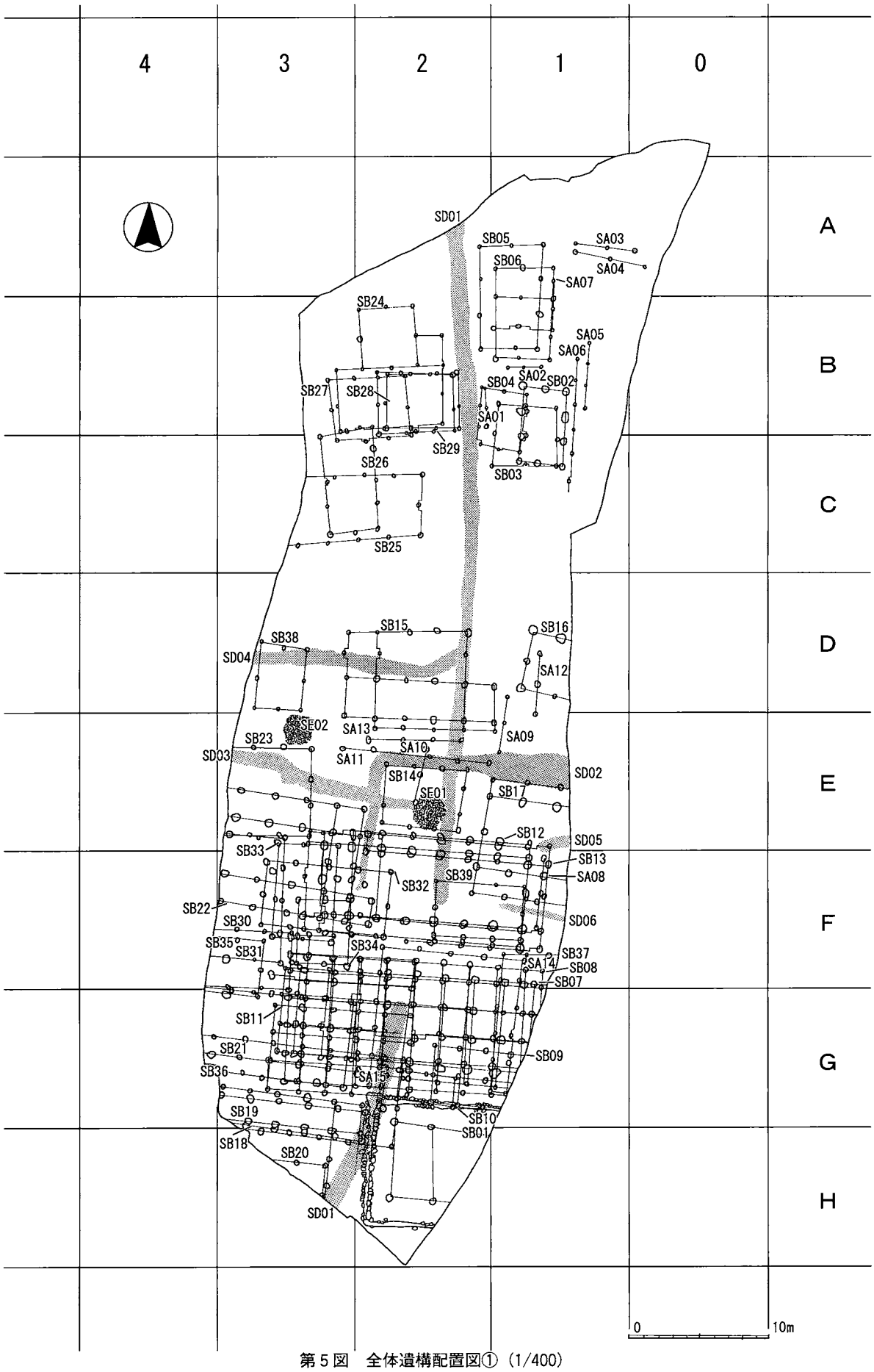
今回発掘した祇園遺跡は、熊本県阿蘇郡白水村大字一関に所在している。前節でも見たように、立地する場所は阿蘇南郷谷中央、阿蘇五岳が白川に向けて緩やかに下降する末端に位置する。遺跡は１級河川白川と支流高木川に挟まれ、白川までは南へ120m、支流高木川まで北へ20mである。大規模な方形の濠に囲まれた館遺構である二本木前遺跡とは指呼の間にあり、祇園社や白禿山城など中世の遺跡が集中するところである。標高は約407～411mである。

発掘調査は県営圃場整備事業（白水西部地区）に伴って1985（平成７）年度に実施された。その結果、鎌倉時代初期～室町時代、さらには縄文時代、弥生時代、平安時代の遺物が検出された。遺跡の中心は中世の遺構と遺物であるが、以下にその概要を示したい。

僅か1,600㎡の調査区であるが、同遺跡には12世紀から15世紀にかけての濃密な包含層があり、時代相が顕著なものだけで３つのピークを認めることができる。すなわち、12世紀半ば、13世紀半ば、14世紀半ばのものである。包含層からは輸入陶磁器、東播系須恵器・常滑窯・瀬戸窯・備前窯などの国内広域流通品、土師器・須恵質土器などの在地土器を中心に夥しい遺物が出土した。特に、12世紀から14世紀にわたる輸入陶磁器は、その質・量・バリエーションともに特筆に値し、その集積度と内容は、熊本県の他の調査事例にないものである。貿易港博多の都市遺跡群に匹敵するその内容は、阿蘇という地域性も考え併せてきわめて異彩を放っている。また、国内広域流通品の種類も豊富で、東海・東播・京都・吉備・筑紫・肥前など様々な地域の流通品が早い段階で阿蘇の地にもたらされていることがわかる。

一方、遺構も、その規模や密度は注目に値する。遺跡の中心の掘立柱建物は、大型建物を中心に38棟が確認され、立て替えをしながら数百年間存続していることがわかる。その規模や構成はまさに中世の武士の居館にふさわしい内容のものである。また、水分を保った遺跡であるため、掘立柱建物の柱が廃棄された状態で残っているのも特徴的である。

『吾妻鏡』などの文献資料によれば、平安時代末期には阿蘇氏が南郷の地に居を移して「南郷大宮司」と呼称されたことがわかるが、今回の発掘調査の結果により本遺跡は、先述の二本木前遺跡とともにそ



第５図　全体遺構配置図①（1/400）

の有力な候補地としてあげることができるだろう。

第３節　遺跡の層位と包含層

本遺跡は厚い包含層に覆われており、時代幅は12～15世紀というほぼ中世のみにかぎられている。遺跡の立地が阿蘇山裾野の緩斜面の末端にあり、白川と高木川に挟まれた地理的環境から、土石流の常襲地であったという地域性にもよると思われ、土層のほとんどは基本的に砂質土である。調査に先駆けて、遺跡内の基本土層をとらえるために９ヶ所にトレンチを設定した（第６図）。各トレンチにより層の粗密があるが、基本的に９層に分層することができる。ここでは、最初に基本土層を示し、次に９箇所の土層断面図を示して遺跡の大まかな包含層の状況を捉えたい。

なお、調査の初期の段階ではⅢ層以下をⅢ’ Ⅲ”と分類していたが、特にⅢ’を細分化できることがわかり以下のように確定した。

【基本土層】

第Ⅰ層　表土層

耕作土。粘質で小粒の砂が混じる。

第Ⅱ層　床土層

細かい砂質で、ザラザラとしており、鉄分が多く堅い。層が厚く、数枚の床土の集合層である。

第Ⅲ層　淡灰色土層

砂質で締まっており、鉄分も混じるが床土層にはなっていない。カーボンや遺物も混じる。

第Ⅳ層　灰色土層（旧Ⅲ’）

粘質で柔らかい。カーボンや遺物が混じる。東側には少ない。14世紀半ば～15世紀初頭の層を包含する。

第Ⅴ層　黄褐色土層（旧Ⅲ’）

きめ細やかな砂質で、粘りもある。整地のために人為的に作られた層で、遺構に伴い南側に多く堆積する。14世紀初頭～半ばの遺物を包含する。

第Ⅵ層　黒褐色土層

砂質でザラザラしており、しまりがある。遺物やカーボンが多い。14世紀初頭～半ばの遺物を包含する。

Ⅰ
Ⅱ
Ⅲ
Ⅳ
Ⅴ
Ⅵ
Ⅶ
Ⅷ・Ⅸ

第Ⅶ層　黒褐色土層（旧Ⅲ’）

粘質で層上面にはカーボンが著しく多い。カーボン上位に砂利を敷いた部分もあり、火災後の整地層である。遺物夥しい。13世紀初頭～後半の遺物を包含する。

第Ⅷ層　暗褐色土層（旧Ⅲ”）

砂質で柔らかい。カーボンがしばしば混じり、遺物も多い。12世紀半ば～後半の遺物を包含する。

第Ⅸ層　灰黒色土層

砂質でしまりがある。遺跡北側でＸ層の上位層である。Ⅷ層とほぼ同位であると思われ12世紀半ば～後半の遺物を包含する。

第Ｘ層　灰褐色土層

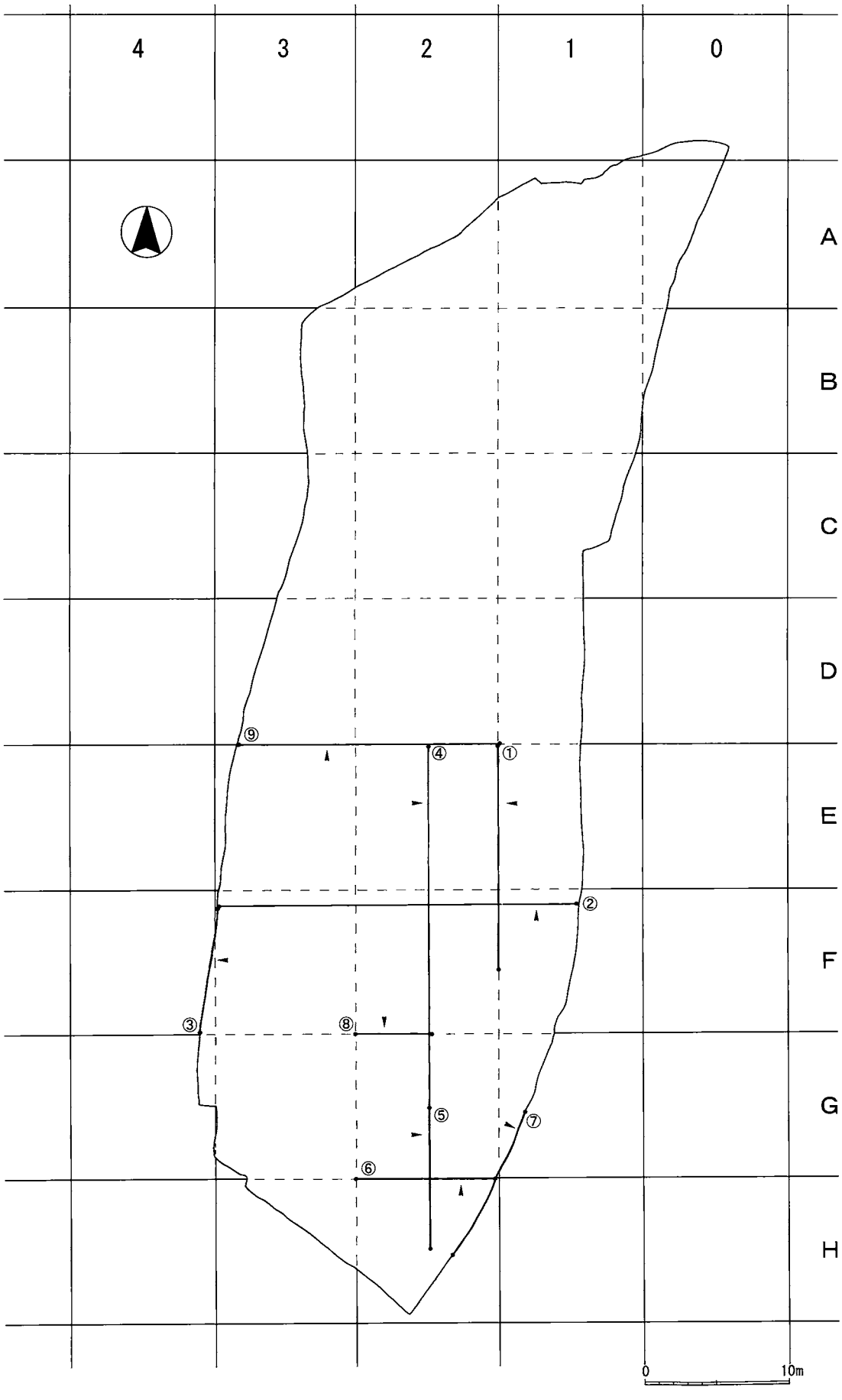
砂質で鉄分がカチカチに固まる。地山。

土層断面図①（第７図）

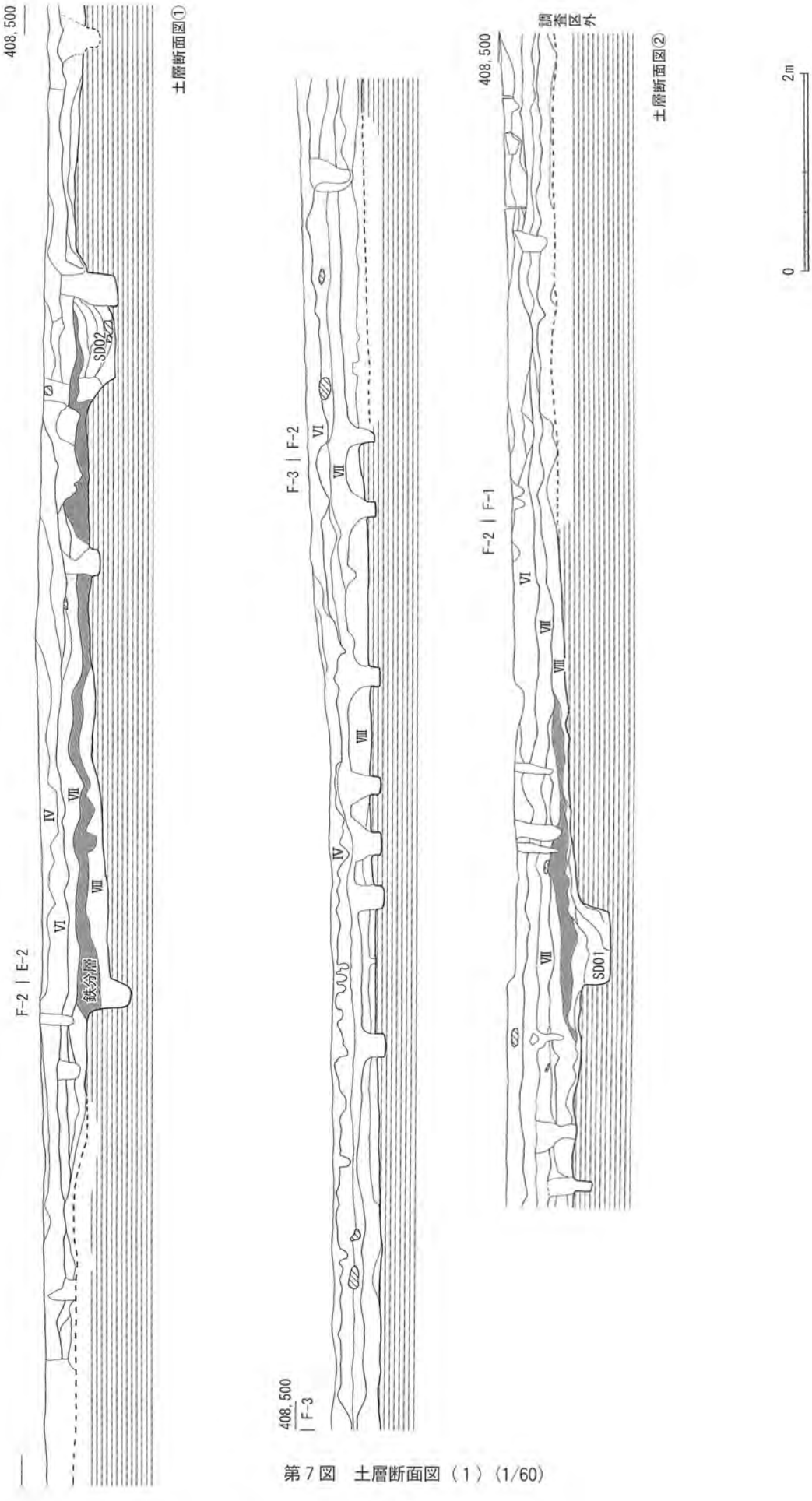
Ｅ・Ｆ区の１・２区の境に設けたトレンチの観察図。観察は東側より。層序はⅧ～Ⅳ層まで観察できる。ＳＤ02の断面を切っており、同遺構がⅧ層の下層より掘り込まれていることが判る。すなわち、Ⅷ層上層の漸移層がＳＤ02の上層に堆積するため、この遺構が遺跡の最古期にあたることが判る。Ｅ－２区のⅧ層上面には鉄分の堆積した硬化層がある。土層の堆積はＦ－２区で乱れるが、ＳＢ12、13等の大型建物の切り合いの激しいところであり、建物建築時の地均しによる攪乱を見ることができる。

土層断面図②（第７図）

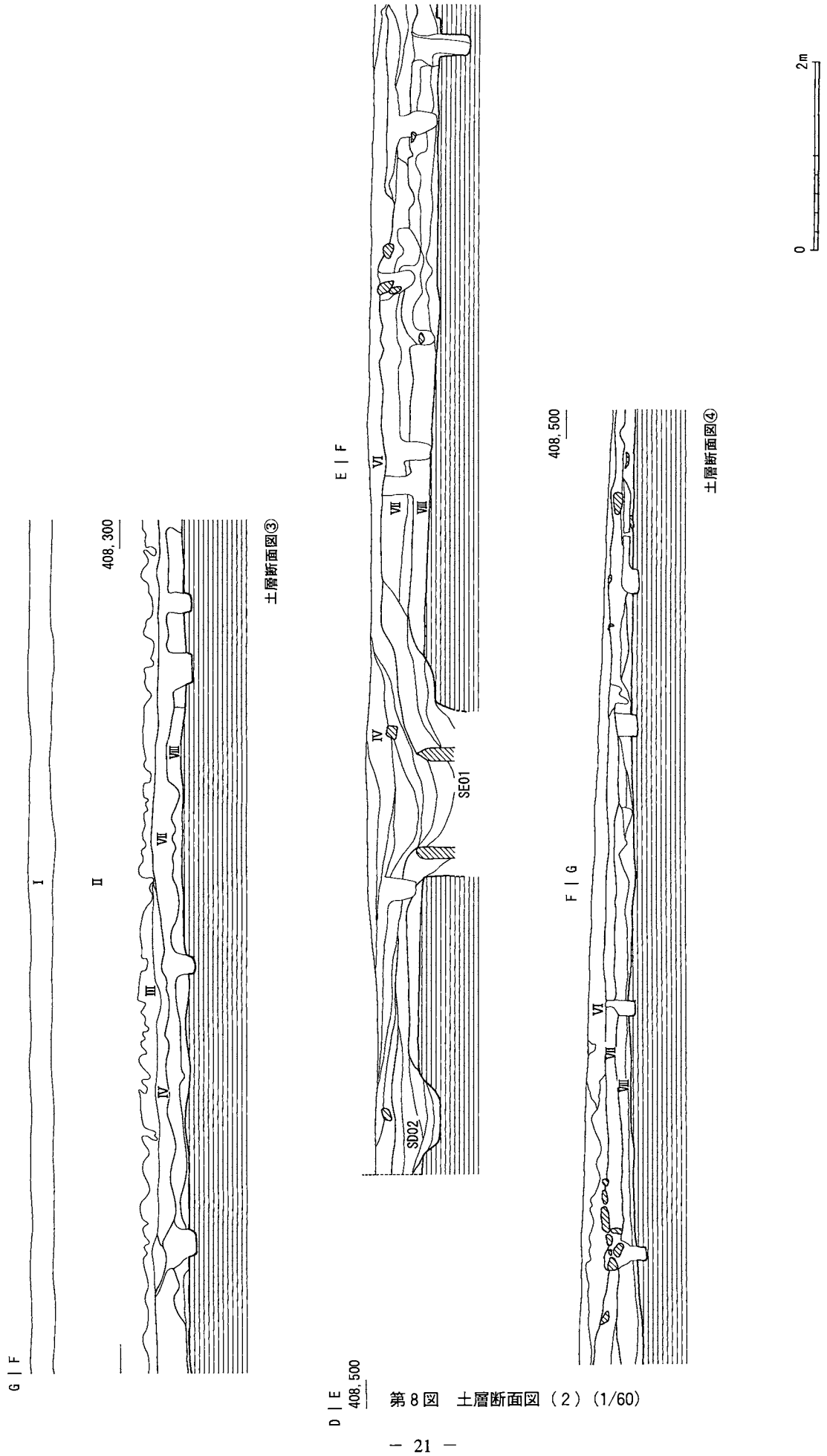
Ｆ－１・２・３区の北側に設けたトレンチの観察図。観察は南側より。層序はⅧ～Ⅳ層まで観察できる。ＳＤ01の断面を切っており、同遺構がⅧ層の下層より掘り込まれていることが判る。ほとんど地山に近いところからの掘り込みで、この遺構が遺跡の最古期にあたることが判る。ＳＤ01上層は鉄分の堆積で硬化している。また、建物群の集中するところで柱穴が多く、Ｆ－１区では地均しによる土層の攪



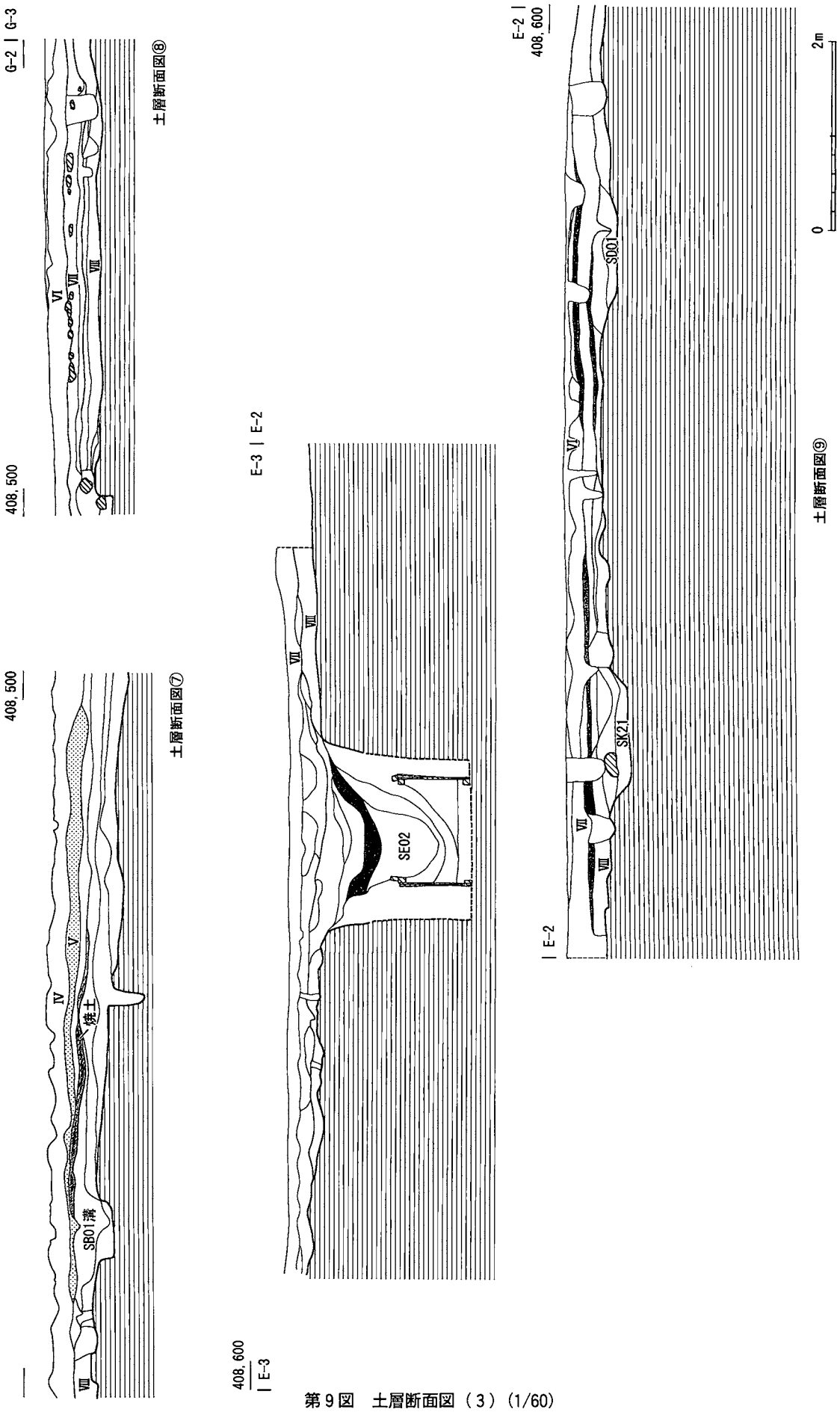
第６図　土層断面位置図



第7図　土層断面図（1）(1/60)



第8図　土層断面図（2）(1/60)



第９図　土層断面図（３）(1/60)

乱を見ることができる。

土層断面図③（第８図）

Ｆ－３・４区の西側壁面に設けたトレンチの観察図。観察は東側より。層序はⅧ～Ⅰ層まで観察できる。遺構の疎な部分で、柱穴を観察することができるが、土層の攪乱は少ない。Ⅶ層より上層の包含層が薄く、Ⅵ・Ⅴ層は消失している。逆にⅡ層の床土層が厚いため、砂層の浸食により上層の包含層が消失したものと見ることができる。

土層断面図④（第８図）

Ｅ・Ｆ・Ｇ－２区の中央に設けたトレンチの観察図。観察は西側より。層序はⅧ～Ⅳ層まで観察できる。ＳＤ02の断面を切っており、同遺構がⅧ層の下層より掘り込まれていることが判る。また、ＳＥ01の断面も切っており、Ⅶ層上面から掘りこみがあり、Ⅴ・Ⅳ層の堆積があることが判る。また、建物群の集中するＦ区では、柱穴や、地均しによる土層の攪乱を見ることができる。また、Ｆ・Ｇ区のⅦ層上面には川原石を多く見ることができる。

土層断面図⑤⑥（第11図）

Ｇ・Ｈ－２区の中央及びＧ・Ｈ－２区の境に設けたトレンチの観察図。ＳＢ01の断面を切っているためＳＢ01の観察の所で詳述する。

土層断面図⑦（第９図）

Ｇ－１区の東側壁面に設けたトレンチの観察図。観察は西側より。層序はⅧ～Ⅳ層まで観察できる。ＳＢ01の断面を切っており、同遺構がⅦ層より掘り込まれていることが判る。また、ＳＢ01内の基壇部分は、後述のＳＸ01を埋めて作っているために副次的な層を見ることができる。また、基壇部分上層にはⅤ層（黄褐色土層）を見ることができる。また、Ⅴ層下には焼土層があり、両者はＳＢ01の雨落溝を跨いでおり、建物廃棄後形成もしくは敷かれたものと見ることができるだろう。焼土の広がりは、平面図は第12図に示した。

土層断面図⑧（第８図）

Ｆ・Ｇ－２区の境に設けたトレンチの観察図。観察は北側より。層序はⅧ～Ⅵ層まで観察できる。建物群の集中するところであるため、地均しによる土層の攪乱を見ることができる。また、Ⅶ層上面には川原石を多く見ることができる。

土層断面図⑨（第８図）

２・３区のＥ・Ｄ区境に設けたトレンチの観察図。観察は南側より。層序はⅧ～Ⅵ層まで観察できる。ＳＤ01の断面を切っており、同遺構がⅧ層の下層より掘り込まれていることが判る。また、ＳＫ21の断面を切っており、同遺構はⅦ層から掘り込んでいる。また、ＳＥ02の断面も切っており、同遺構はⅧ層上面からの掘りこみがあり、Ⅶ層の堆積があることが判る。Ⅷ層下層とⅦ層下層には鉄分の堆積層があり、硬化している。

第Ⅲ章　調査とその成果

第１節　遺構とそれに伴う遺物

１　はじめに
２　礎石建物（ＳＢ）
－１　遺構
－２　遺物
３　掘立柱建物（ＳＢ）
－１　遺構
－２　遺物
４　柱列（ＳＡ）
５　土坑（ＳＫ）・集石（ＳＧ）
－１　遺構
－２　遺物
６　竪穴式住居（ＳＩ）
７　井戸（ＳＥ）
－１　遺構
－２　遺物
８　溝（ＳＤ）
－１　遺構
－２　遺物
９　土器溜
－１　土器溜１
－２　土器溜２
－３　土器溜３
－４　土器溜４
－５　土器溜５
－６　土器溜６
－７　土器溜７

第２節　包含層に伴う遺物

１　はじめに
２　Ⅸ層の遺物
３　Ⅷ層の遺物
４　Ⅶ層の遺物
５　Ⅵ層の遺物
６　Ⅴ層の遺物
７　Ⅳ層の遺物
８　Ⅲ層の遺物
９　Ⅲ′層の遺物
10　その他の遺物
11　銅銭

第１節　遺構とそれに伴う遺物

１　はじめに（第５図）

当該調査区は、前章前節で述べたように、12～14世紀の包含層が良好に残っているが、包含層の堆積が北に薄く南に厚いこと、遺構の検出がⅧ層上面でしか押さえられなかったこと、冬場の阿蘇地区での発掘という悪条件などが重なって、中世の各時期に対応する遺構を明確に押さえることができなかった。それでも、遺構に含まれている遺物や、検出状況より、時期の判明する遺構も多くあるため、ここでは各遺構を命名のナンバー順に取り上げ、その都度、判明する時代層について述べて行きたい。また、それぞれの遺構に伴う遺物については各項ごとに取り上げて行きたい。

遺構の中心を為すものは柱穴群で、遺跡全体にわたって無数に多様な時期のものが切り合っている。その中から、柱穴の埋土の土色が同じのもので建物としての単位を為すものを掘立柱建物とし、全部で38棟を検出した。また、雨落溝を配する礎石建物も１棟検出した。柱列は全部で15基で掘立柱建物と同じく時期のわかるものとそうでないものがある。土坑は全部で33基で、明らかに墓坑であることが判るものは無かった。竪穴式住居は１棟検出しているが、小規模なものである。井戸は２基検出したが、両方とも木製の井戸枠がしっかりと残るもので、それぞれ、12世紀、14世紀にあたるものである。また、土器溜が全部で７基検出できた。それぞれ各時代の土器の様相を示すものとして注目できる。溝は全部で５条あり、切り合っている。

２　礎石建物（ＳＢ）

２－１　遺構

ＳＢ01（第10、11図）

遺跡南側（Ｈ－２区）に位置する遺構で、ＳＢ10、18、19、21と重複しており、ＳＢ01が全てを切っている。遺構東側が調査区外に入っているため遺構の全容は不明であるが、遺構周辺に雨落溝を回す長方形の礎石建物である。検出範囲で雨落溝の長軸は9.6ｍ（32尺）、短軸は９ｍ（30尺）である。溝の幅は24㎝程で、欠落している部分もあるが、溝の両脇に直径20㎝大の川原石を配している。溝の西側には砂利が敷き詰めてある部分も有り、溝の底の全域に敷いてあった可能性もある。溝の内側には礎石を配し大型の建物を建立していたようで、礎石は失われているものの、礎石の基礎になるグリ石を埋めた柱穴が４カ所検出できた。検出範囲で桁行6.9m(23尺)、梁行5.4ｍ（18尺）で、検出範囲内で、（２）間×１間の東西棟建物である。桁行方向はＥ７°Ｓである。

柱間寸法は桁行２～１で3.2ｍ（約10.7尺)、桁行３～４で2.7ｍ（９尺）であり、柱４の東隣は消失している可能性がある。梁行３～２も間の礎石が消失している可能性がある。

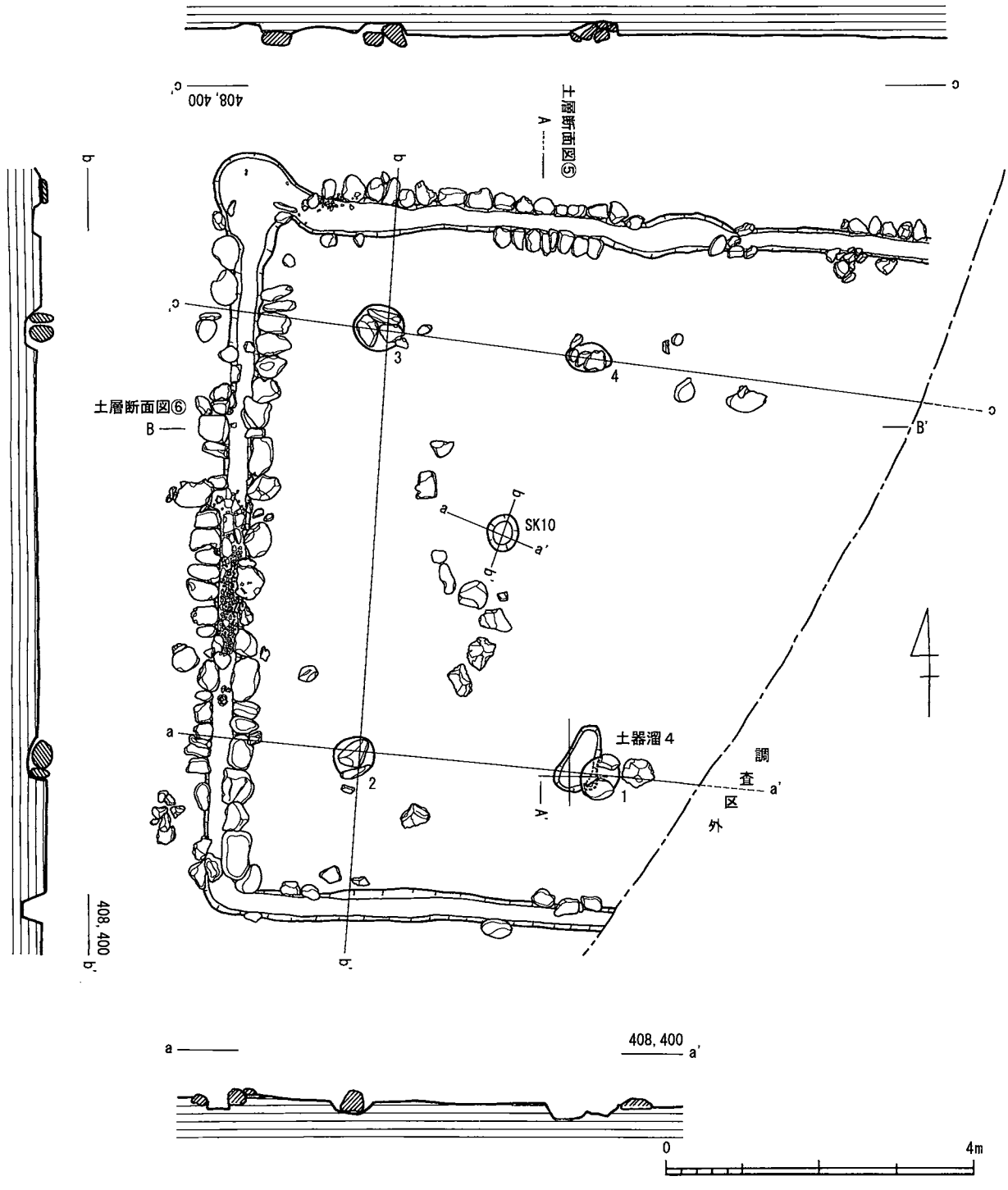
グリ石を配した柱穴は直径40～60㎝、深さ16～20㎝である。グリ石の大きさは６～24㎝程である。柱列はほぼ直線に整列する。

柱１の下には**土器溜４**がある。土器溜４については第１節９項で詳述する。

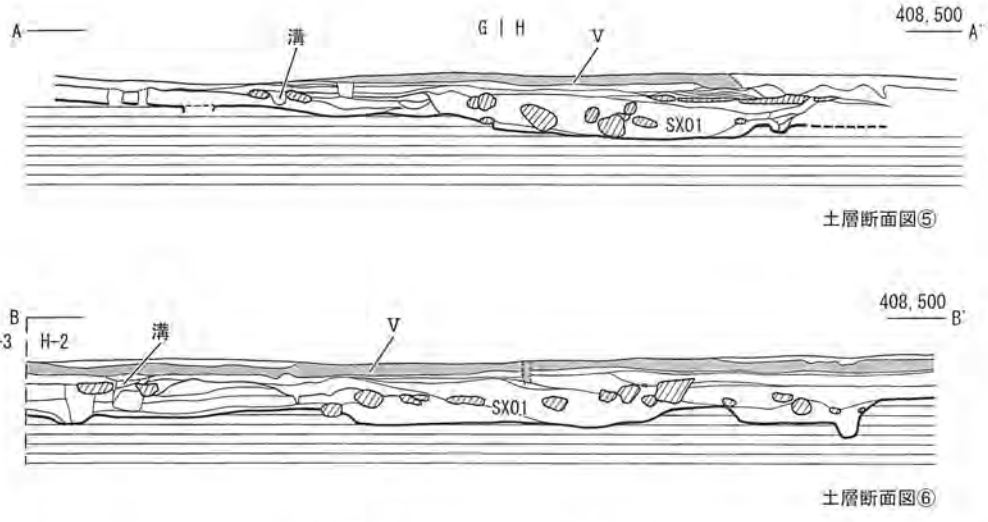
遺構中央西よりの**ＳＫ33**からは磁州窯系鉄絵壺が完形で出土した（第10、13図)。土坑は長軸が50㎝、短軸が40㎝の楕円形で長軸の軸はＮ17°Ｅである。深さは、検出面より25㎝である。壺は口を南西方向に向けて横たえて埋納してあった。口縁部には布または紙のようなもので封をした痕跡があり、封を破って黒褐色土が壺の下半分に流入している。壺内には宋銭が数枚納められており、この建物の地鎮などの目的で納められた可能性がある。

遺構上面にはキメの細かい黄褐色の砂質土(Ⅵ層)が客土として敷いてある（第11図)。簡易な基壇の化粧土と思われるが、黄褐色土の占める範囲は遺構面面を越えて広がっている。先述のＳＫ33の埋土上半には、この黄褐色土（Ⅵ層）が入っており、雨落溝より内側に基壇状高く積み、礎石建物を建立したものと思われる。先述のＳＫ33は、黄褐色土上面では彫り込みを確認できなかったため、同土坑に壺を埋納したあと黄褐色土を敷き詰めたものと思われる。

ＳＢ01の基壇内には２枚の遺構面を含んでいる。ひとつは黄褐色土を除去した面で確認できるもので（第12図)、遺構中央部に板石を配し、所々に漆喰



第10図　ＳＢ01平面図（１/80）



第11図　ＳＢ01土層断面図（1/80）

状の白色粘質土を張り付ける。遺構東側には焼土が集中し、土層断面図⑦（第９図）に見ることができる。どの様な性格を持つかは不明である。

その下の地山上にはＳＸ01がある。（第19図）長軸3.3m（11尺）、短軸３m（10尺）の方形の堀方を持つ遺構を中心に、幅60～140㎝の溝が取り巻く様にまわる。方形の堀方の周りには直径20㎝位の川原石が配してあり、西側には残りが良い。方形の堀方部分は深さが15㎝ほどである。遺構内には川原石を大量に入れ込んであり、それに黒色土が埋土として入り、ＳＢ01の基壇部分を形成している。これも同様に遺構の性格は不明だが、ＳＢ01を作るために造成したような石や土の入り方などを見ると、重要建物のＳＢ01がこの遺構を埋めた上に形成されたことが興味深い。

２－２　遺物

ＳＢ01は礎石建物とともに基壇内部の遺物、ＳＸ01の遺構と時期の違うものがあるが、一括の出土遺物として紹介をしたい。

磁州窯系鉄絵壺（第14～18図）

口径12.7㎝、器高30.5㎝、最大径32.5㎝を測る陶器の壺で、白化粧をした上に鉄釉で文様が描かれ、透明釉で焼き上げている。胎土はキメの細かい黄白色土で、よく焼き締まっている。文様は横線で全体を５分割し、頸部と胴部中央には弓状の組み合わせ文、胴部上半には３カ所に鳥の絵を描き、鳥の絵の背景に草文を配する。胴部下半にはラマ式の蓮弁文を描き、底部付近は無文である。筆使いは大胆で、勢い良く描き上げている。鳥を描く筆と、他の文様を描く筆は異質なもののようで、工人による描き分けがあるようである。

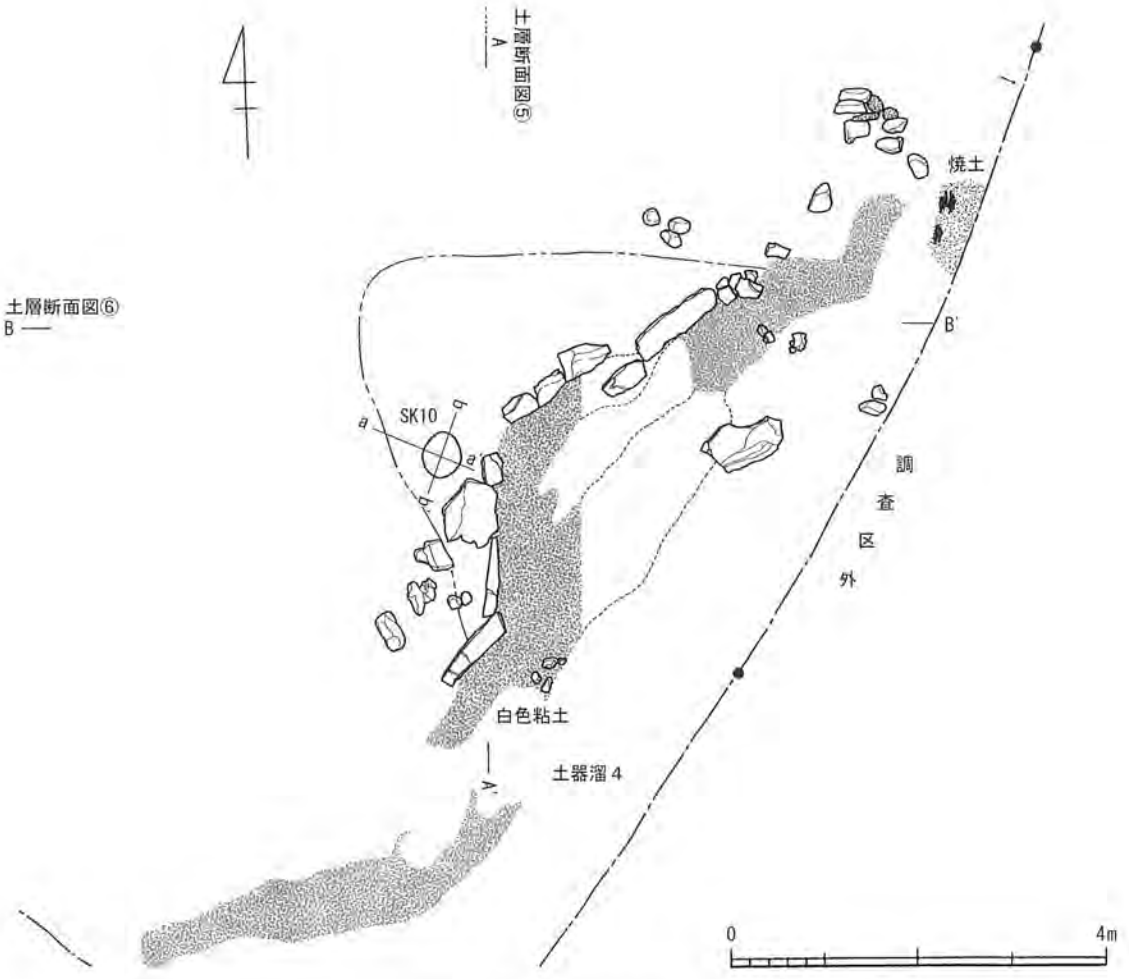
壺は使用時に肩部から全体に割れたようで（第17、18図）、漆付けで丁寧に接着補修をしてある。出土時にはこの割れ面を上面にして埋納してあった。

20－１　基壇部分より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅳ１ａ類。復原口径16.4㎝。器高7.0㎝。外面は口縁部付近まで回転ヘラ削りを行う。見込みに沈線有り。釉は灰白色で体部中位まで施釉。

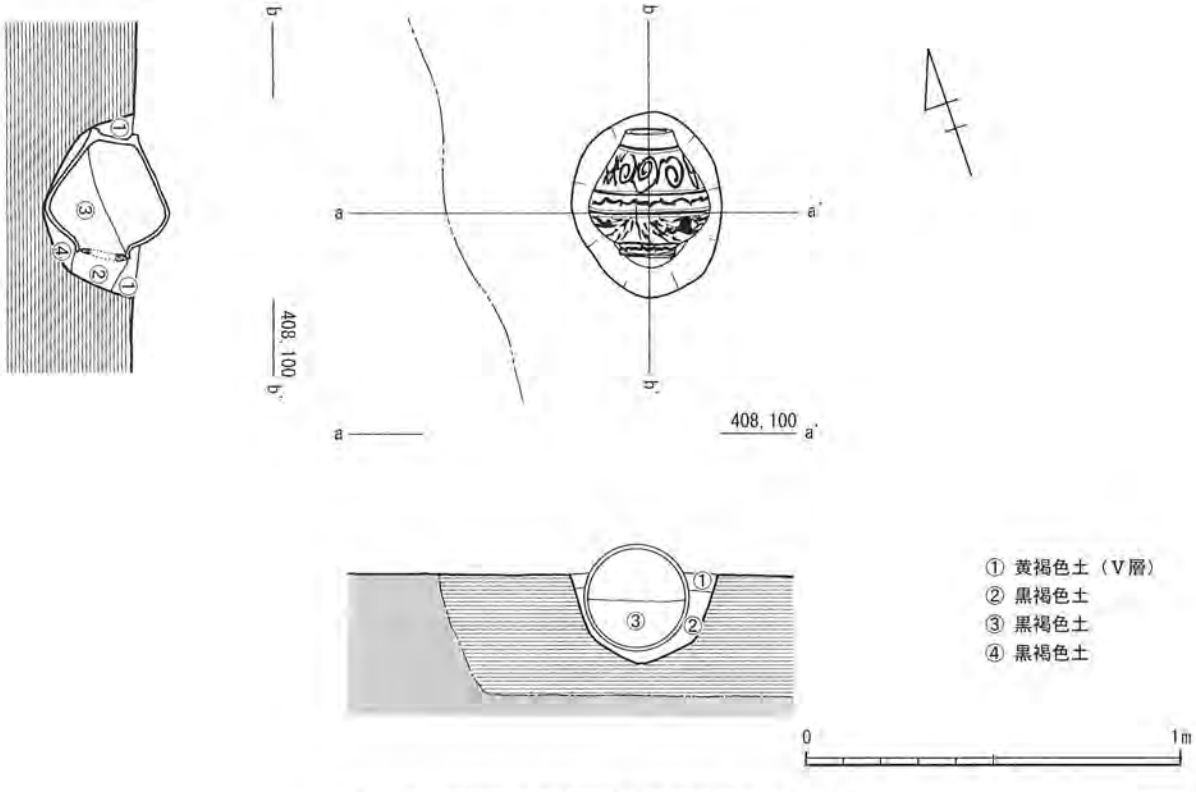
20－２　遺構内の柱穴より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ類。外面は回転ヘラ削りを行う。釉は灰白色。高台内には墨書がある。異体字で「部」という字。

20－３　雨落溝より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ類。外面体部は回転ヘラ削りを行う。底部の器肉が厚い。見込みに沈線有り。釉は灰白色で高台付近まで施釉。

20－４　基壇部分より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ類。外面は回転ヘラ削りを行う。内面は９本単位のクシで施文。釉は灰白色。高台内には焼台痕がある。



第12図　ＳＢ01内配石遺構図（1/80）



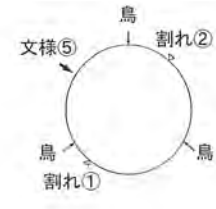
第13図　磁州窯系鉄絵壺出土状態実測図（1/20）

第14図　磁州窯系鉄絵壺実測図①

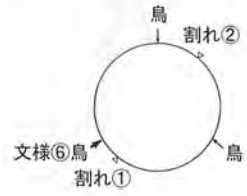
第15図　磁州窯系鉄絵壺実測図②

文様④

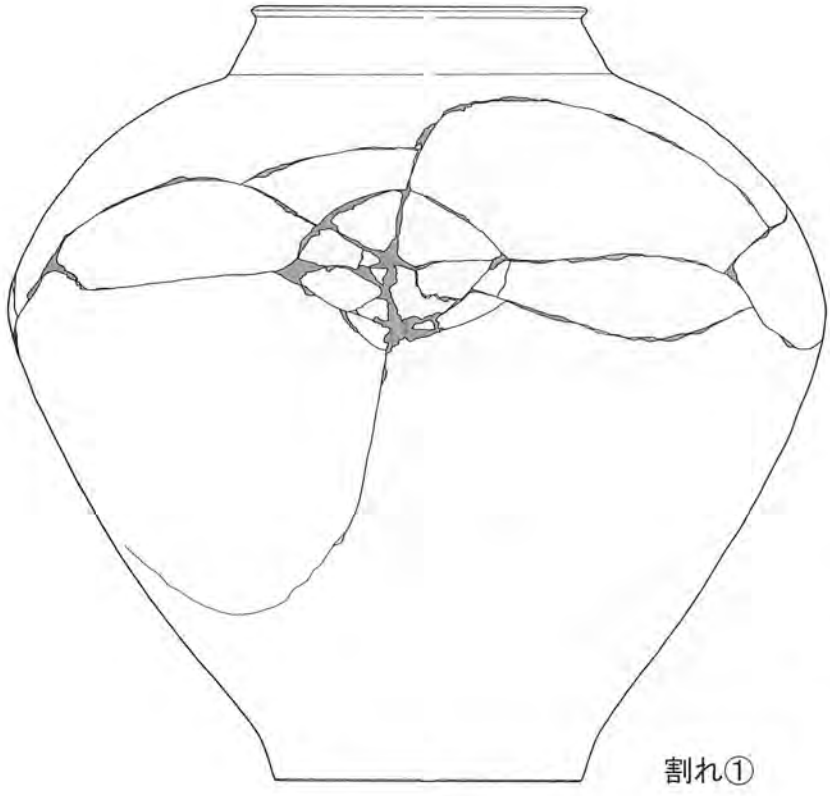
文様⑤

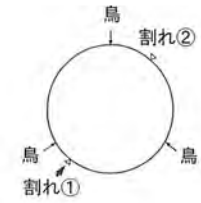


第16図　磁州窯系鉄絵壺実測図③



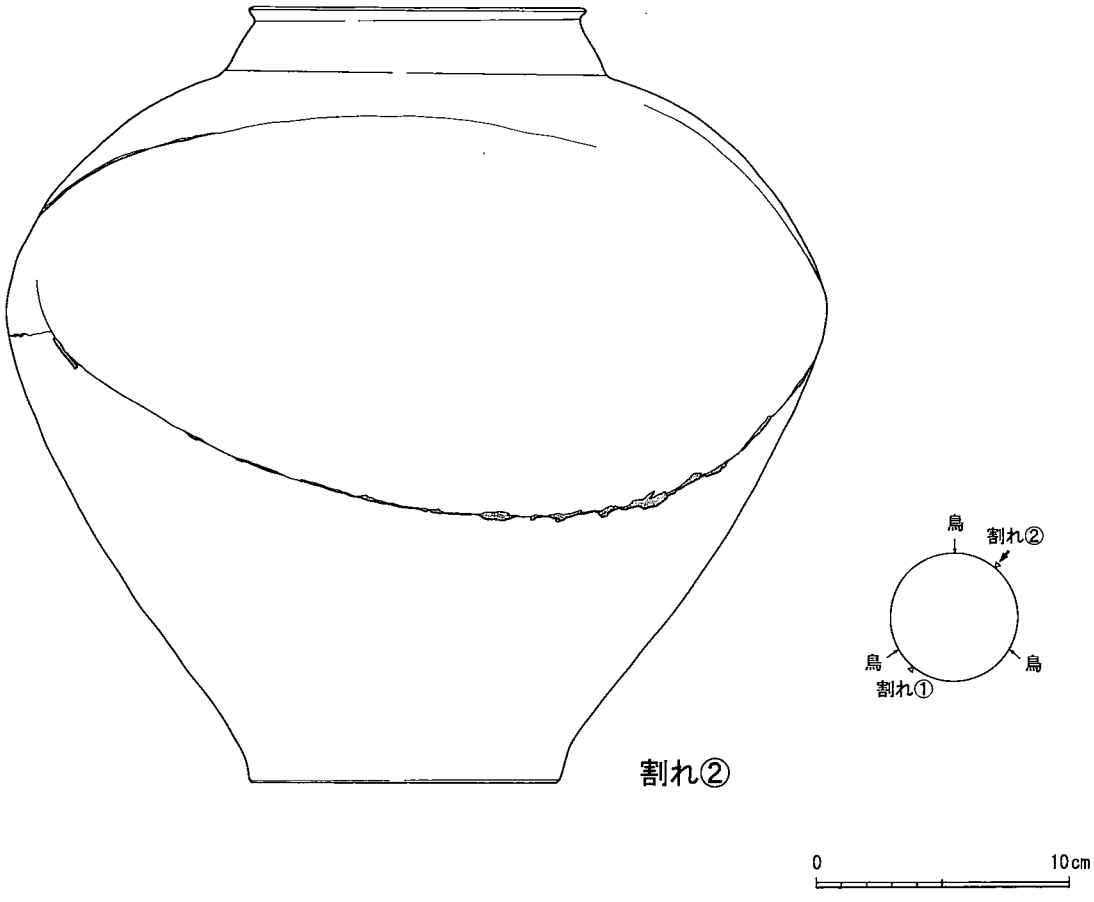
文様⑥





割れ①

第17図　磁州窯系鉄絵壺実測図④



第18図　磁州窯系鉄絵壺実測図⑤

20－5、6　溝部分より出土した白磁碗で、外面は回転ヘラ削りを行う。見込み及び体部内面に隆線がある。内面にはヘラ彫りによる施文も行われる。釉は灰白色。

20－7　柱穴3より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅱ1b類。復原口径8.6cm。器高2.9cm。外面は回転ヘラ削りを行う。釉は灰白色で体部中位まで施釉。

20－8　溝部分より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅲ1a類。外面体部は回転ヘラ削りを行い、ヘラにより縦に施文を行う。釉はオリーブ黄で体部中位まで施釉。

20－9　基壇部分より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅰ1b類。復原口径16.4cm。器高7.1cm。外面は回転ヘラ削りを行ったあとクシで施文。内面はクシと二叉工具で施文する。釉はオリーブ色で体部下層まで施釉。

20－10　基壇内土坑より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ1類。復原口径17cm。外面体部は回転ヘラ削りを行い、見込みに沈線を描く。内外面とも無文。釉はオリーブ黄で畳付まで施釉。

20－11　溝部分より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅲ3a類。復原口径11cm。器高3.6cm。内外面とも無文。釉は厚く、全面施釉の後畳付部分の釉を掻き取る。釉は暗オリーブ色。

20－12　基壇部分より出土した白磁水注または四耳壺。内面にはロクロ目がのこり外面は回転ヘラ削りを行う。釉は灰白色。

20－13　基壇部分より出土した青白磁合子の身。復原口径4.8cm。器高2.1cm。外面は型押しで菊花弁を象どる。釉は青白色。

20－14　基壇及び土坑より出土した青白磁碗。外面体部は回転ヘラ削りを行い、内面は8本単位のクシで流水状に施文する。釉は灰白色。

20－15　基壇部分より出土した褐釉壺。口縁部は玉縁状。肩部には1条の堆線を付ける。釉は暗緑色。

20－16　基壇部分より出土した瓦質火鉢。復原底径29.3cm。円筒状で足を3つ付ける。胴部下半に菊花

のスタンプと乳を連続で付ける。胎土は砂粒、小石などが混じり粗い灰白色。焼成は黒灰色。

21－1　雨落溝外側より出土した土師器坏。口径11.8cm。器高３cm。底部は糸切り。体部は開く。色調は橙色。胎土は砂粒が混じり粗い。見込みはナデない。

21－2　雨落溝内より出土した土師器坏。口径12.4cm。器高3.2cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じる。口縁部にはカーボンが付着する。色調はにぶい橙色。見込みは横ナデをしない。

21－3　雨落溝内より出土した土師器坏。口径12.7cm。器高3.3cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じる。色調はにぶい橙色。器肉は厚手で、見込みは横ナデをしない。

21－4　雨落溝内より出土した土師器皿。復原口径9.1cm。器高1.3cm。底部は糸切り。胎土は比較的細やか。見込みは軽く横にナデる。色調はにぶい黄橙色。

21－5　雨落溝内より出土した土師器皿。口径8.9cm。器高1.3cm。底部は糸切り。胎土は比較的細やか。色調はにぶい黄橙色。見込みは横方向に軽くナデる。

21－6　基壇より出土した土師器皿。復原口径8.9cm。器高1.3cm。底部は糸切り。胎土は比較的細やか。色調はにぶい橙色。見込みはナデない。

21－7　基壇より出土した土師器皿。復原口径8.7cm。器高1.4cm。底部は糸切り。胎土は比較的細やか。見込みは軽く横にナデる。色調はにぶい黄橙色。

21－8　基壇より出土した土師器皿。復原口径7.8cm。器高1.0cm。底部は糸切り。胎土は比較的細やか。色調はにぶい黄橙色。見込みは横方向に軽くナデる。全体に器肉が薄く、口縁部も薄く引き上げる。

21－9　基壇より出土した土師器皿。復原口径8.2cm。器高1.0cm。底部は糸切り。胎土は比較的細やか。色調はにぶい橙色。見込みはナデない。

21－10　ＳＸ01より出土した土師器皿。復原口径9.7cm。器高1.3cm。底部は糸切り。胎土は比較的細やかで堅く焼き締まる。色調はにぶい橙色。器肉が薄く、口縁部も薄く開き気味。見込みは数回ナデる。

21－11　基壇より出土した瓦器椀。復原底径８cm。外面は回転ヘラ磨きを為し、内面はナデにより極めて平滑。胎土は細やか。内外面の色調は黒灰色。

３　掘立柱建物（ＳＢ）

３－１　遺構

ＳＢ02（第22図）

遺跡北側（Ｂ・Ｃ－１区）に位置する遺構。ＳＢ03、04と重複しており、ＳＢ04に切られている。ＳＢ03との切り合い関係は不明。桁行5.4m（約18尺）、梁行3.2m（約10.6尺）の３間×２間の南北棟建物で、桁行方向はＮ５°Ｅである。

柱間寸法は桁行１～４、９～６で1.8m（６尺）の等間隔である。桁行４～６では1.6m（約5.3尺）の等間隔であるが、１～９では1.4m（約4.6尺）＋1.8m（６尺）で等間隔ではない。

柱穴は直径48～60cm、深さ60～80cmである。柱穴の下端のレベルはほぼ一定で、柱穴２、３以外は直径３～40cmの礎盤を配する。柱列はほぼ直線に整列する。柱痕跡は確認できなかった。

建物中央には長軸2.4m（８尺）、短軸２m（約6.7尺）の大きな土坑（**ＳＫ20**）がある。柱穴７において切り合いが確認できず、建物に伴う土坑と考えられる。土坑からは鉄製品が多く出土し、工房的な建物と考えられる。

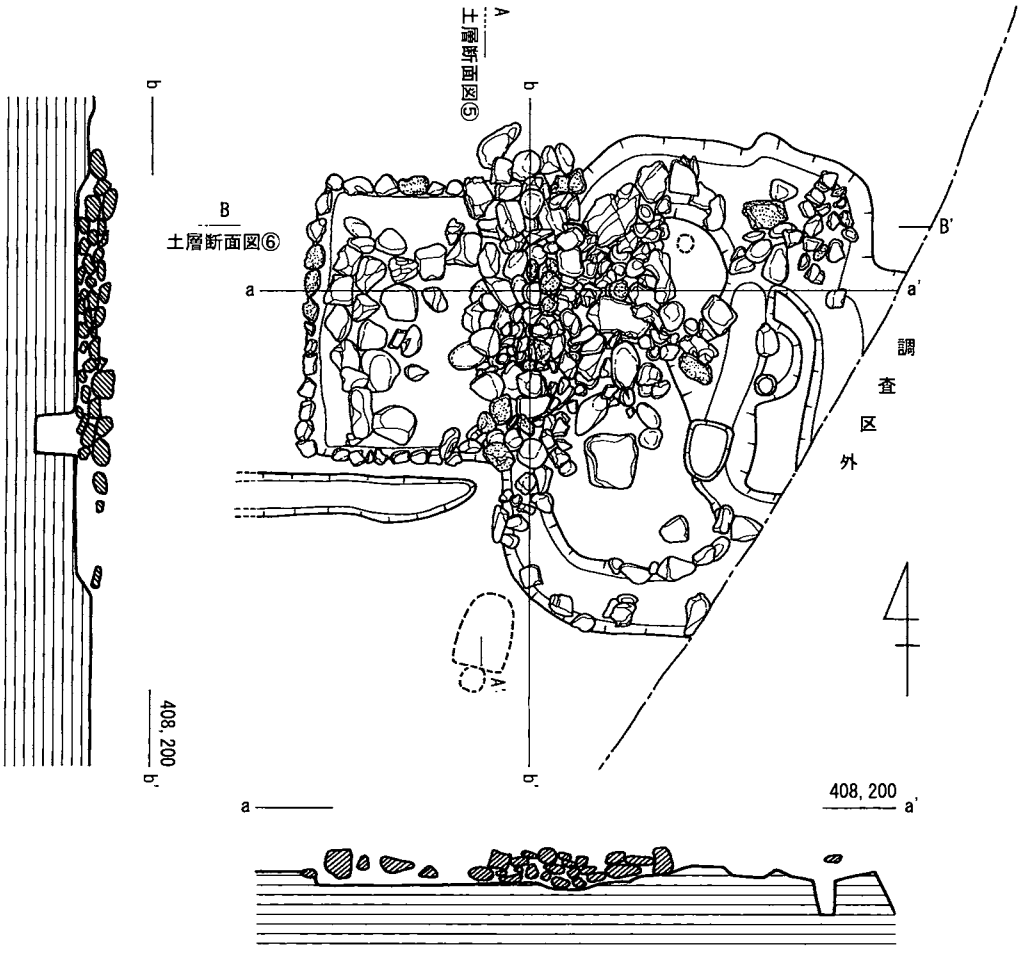
ＳＢ03（第22図）

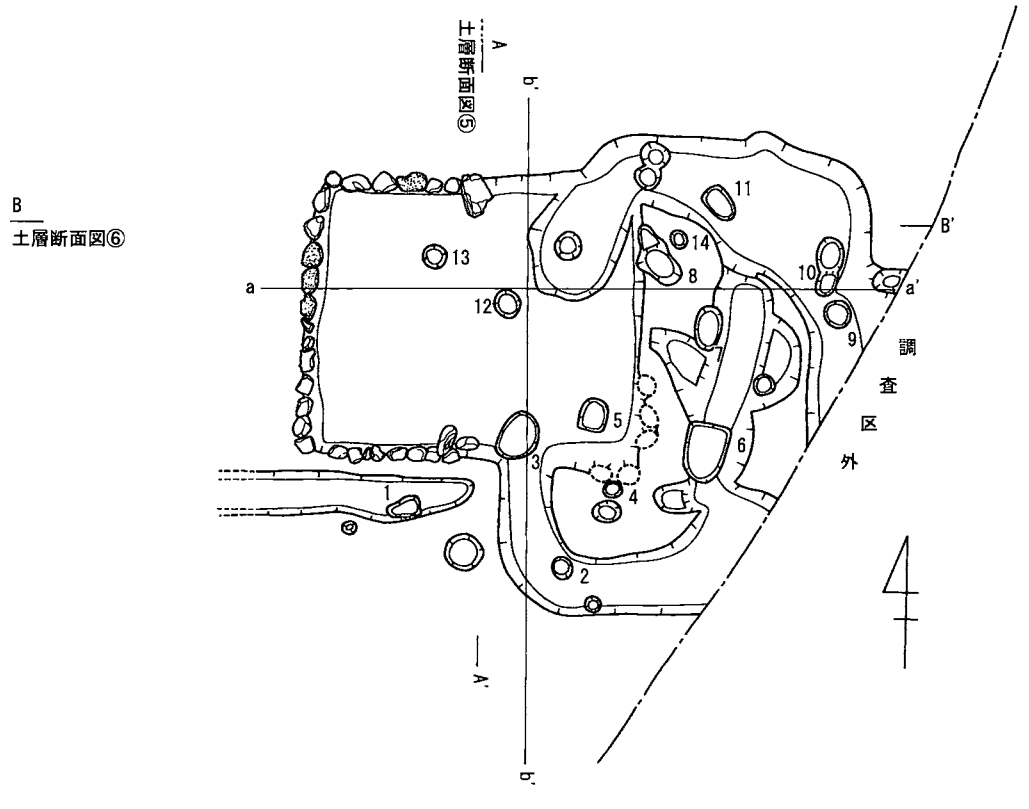
遺跡北側（Ｂ・Ｃ－１区）に位置する遺構で、ＳＢ02、04と重複しているが切り合いは不明。約4.4m（約14.7尺）、２間×２間の不定形の方形建物。南北を軸にした桁行方向はＮ５°Ｅである。

柱間寸法は梁行１～７、３～５で2.2m（約7.3尺）の等間隔であるが、桁行７～５で1.8m（６尺）＋2.2m（約7.3尺）、１～３で2.6m（約8.7尺）＋2.2m（約7.3尺）であり、不均等である。

柱穴は直径24～32cm、深さ20～28cmである。柱穴下端のレベルはほぼ一定であるが、底径の堀方をしない柱穴もある。柱列は３、６がややずれるがほぼ直線に整列する。

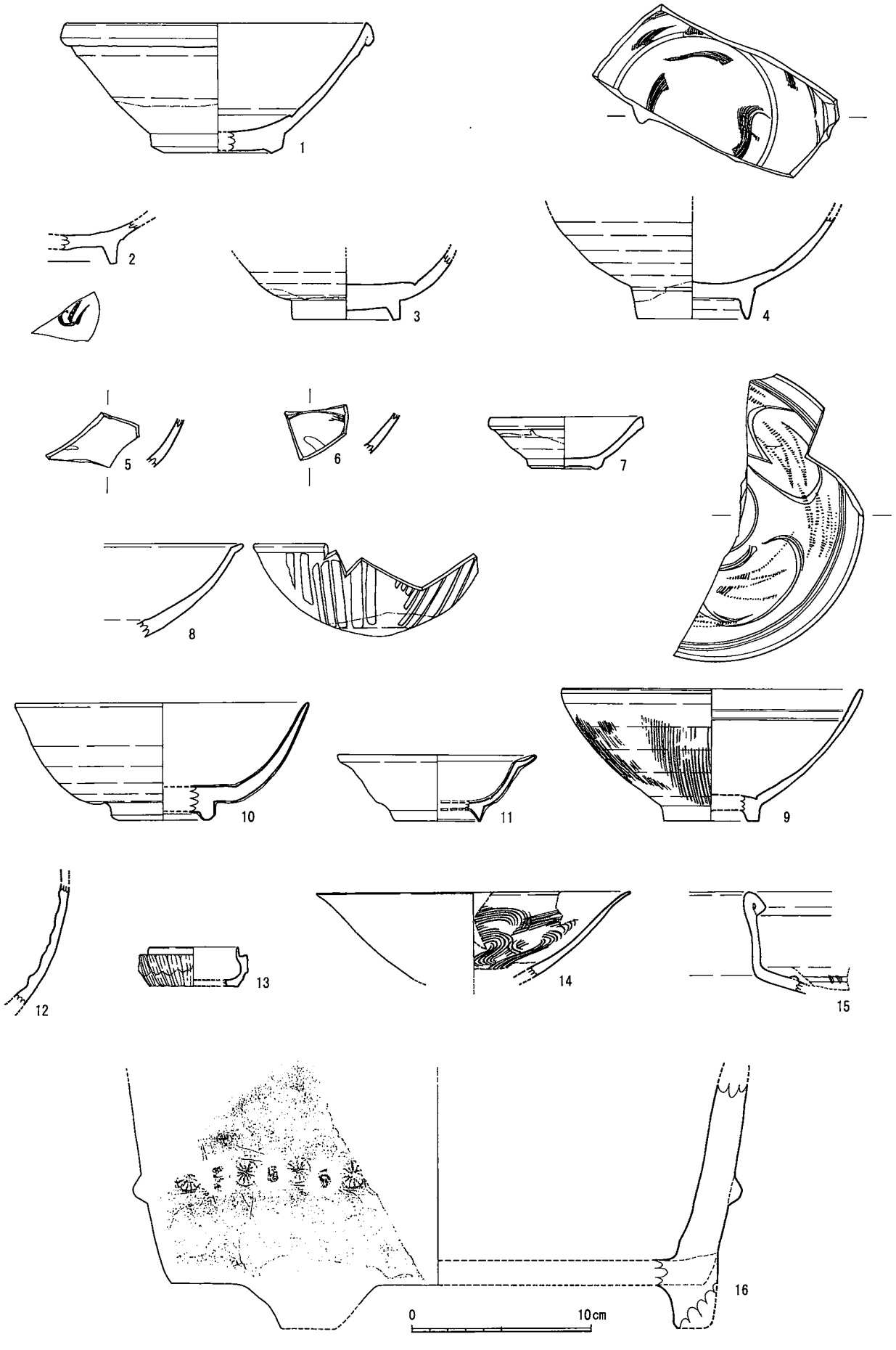
柱痕跡は確認できなかった。



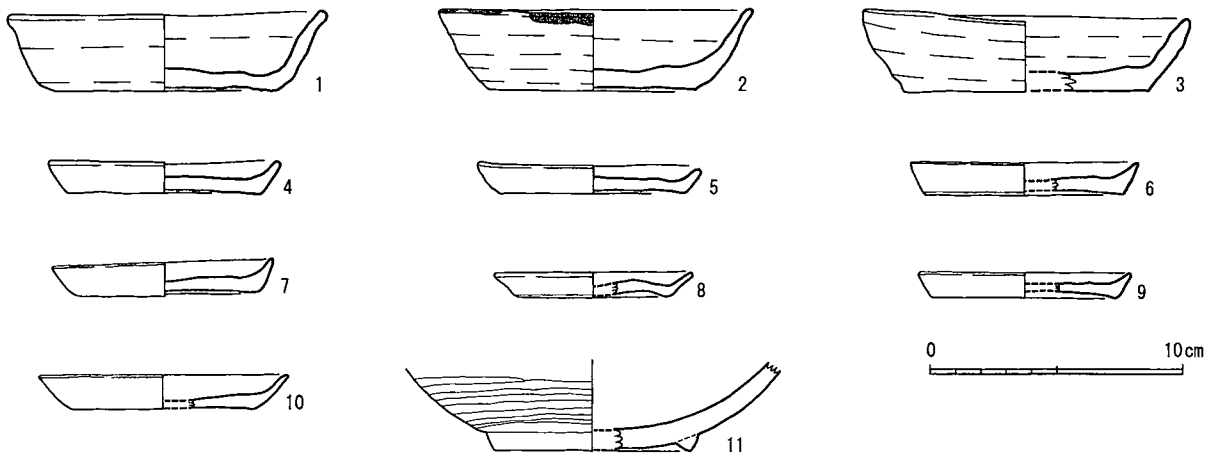


0　4m

第19図　ＳＸ01実測図（1/80）



第20図　ＳＢ01出土遺物実測図①（1/3）



第21図　ＳＢ01出土遺物実測図②（1/3）

ＳＢ04（第23図）

遺跡北側（Ｂ・Ｃ－１・２区）に位置する遺構で、ＳＢ02、ＳＢ03及びＳＤ01と重複している。ＳＤ01、ＳＢ02を切るＳＢ03との切り合い関係は不明。桁行4.1m（約13.7尺）、梁行3.0m（10尺）の３間×２間の南北棟建物で、桁行方向はＮ５°Ｅである。

柱間寸法は桁行１～４で1.4m（約4.7尺）＋1.4m（約4.7尺）＋1.3m（4.3尺）である。桁行９～６は1.2m（４尺）＋1.8m（６尺）＋1.2m（４尺）で両桁行は不均等である。

梁行９～１では1.6m（約5.3尺）＋1.4m（約4.7尺）で、梁行６～４は1.7m（約5.7尺）の等間隔であり、両梁行きは不均等である。

柱穴は直径20～32㎝、深さ20～44㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列は10、１、７、８が外にはずれる。

柱穴に柱痕跡は確認できなかった。

建物内の**ＳＫ08**は遺構に伴うものと思われるが、実測に足る遺物は出土しなかった。

ＳＢ05（第23図）

遺跡北側（Ａ・Ｂ－１・２区）に位置する遺構で、ＳＢ06と重複しているが切り合い関係は不明。**ＳＡ07**と桁行方向を同じくして平行に建っているため、両者は同時期に存在するものと思われる。桁行7.3m（約24.3尺）、梁行4.2m（約14尺）の３間×２間の南北棟建物で、桁行方向はＮ１°Ｗである。

柱間寸法は桁行１～４で2.3m（約7.7尺）＋2.6m（約8.7尺）＋2.3m（約7.7尺）である。桁行９～６では2.5m（約8.3尺）の等間隔であり、両桁行は不均等である。

一方、梁行９～１では1.9m（約6.3尺）＋2.2m（約7.3尺）で、梁行６～４では2.3m（約7.7尺）の等間隔であり、北側にやや開いている。

柱穴は直径20～40㎝、深さ20～78㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列は10、２、３がややはずれるが、他はほぼ直線に整列する。柱痕跡は観察できなかった。

建物内の**ＳＫ07**は遺構に伴うものと思われるが実測に足る遺物は出土しなかった。

ＳＢ06（第24図）

遺跡北側（Ａ・Ｂ－１区）に位置する遺構である。ＳＢ05、ＳＡ07と重複をしているが、切り合い関係は不明。桁行6.3m（21尺）、梁行4.2m（14尺）の３間×２間の南北棟総柱建物で、桁行方向は真北である。

柱間寸法は桁行３～12で2.1m（７尺）の等間隔。桁行２～11で2.3m（約7.7尺）＋2.1m（７尺）＋2.1m（７尺）。桁行１～10で2.1m（７尺）＋2.2m（約7.3尺）＋2.2m（約7.3尺）で、桁行は東側にやや開く。

梁行の寸法は1～3で2.3m（約7.7尺）＋1.8m（6尺）で、梁行10～12は2.2m（約7.3尺）＋2.0m（約6.7尺）となり、北に向けて梁行を開いて行く傾向にある。

柱穴は直径20～40cm、深さ20～64cmである。柱穴の下端のレベルは一定ではなく、南側の柱列が深い。柱列の並びは、柱穴5、6がはずれるが、他はほぼ整列する。

柱痕跡は確認できなかった。

ＳＢ07（第25図）

遺跡南側（Ｆ・Ｇ－1・2・3区）に位置する遺構で、ＳＢ08、09、10、11、21、34、36、37と重複して建っている。ＳＢ08とはほとんどの柱穴が切り合っており、ＳＢ08の梁行きを縮小する形で柱穴をずらして建て替えている。ＳＢ01とＳＢ12とは桁行をほぼ平行して立っており、同時期に存在したものと思われる。南東側が調査区外に掛かり遺構の全容は不明であるが、検出する限り桁行18.2m（約60.7尺）、梁行6.4m（約21.3尺）の（8）間×3間南西2面庇の東西棟総柱建物で、桁行方向はＥ5°Ｓである。

柱間寸法は桁行26～42で2.2m（約7.3尺）＋2.1m（7尺）＋2.1m（7尺）＋2.1m（7尺）＋2.2m（約7.3尺）＋2.1m（7尺）＋2.2m（約7.3尺）＋2.1m（7尺）＋1.1m（約3.7尺）である。他に3本通る桁行も基本的に1間2.1m（7尺）を基準に設けてある。南側庇は3間分しか検出していないが、西側が削平され消失している可能性がある。

梁行34～8では2.2m（約7.3尺）＋2.1m（7尺）＋2.1m（約7.3尺）である。他に8本通る梁行も基本的には2.1m（7尺）を基準に設けてある。南側庇へは1.1m（約3.7尺）を設けている。

柱穴は身舎のもので直径40～60cm、深さ0～68cmである。庇の柱は24～40cm、深さ20～50cmである。遺構の検出面がⅧ層上であったが、柱穴の直径及深さは地山からのものである。地山が西側方向へ傾斜しているが柱穴の下端のレベルは元来一定ではない。柱穴のほとんどには礎盤が敷いてあり、重量のある建造物が上屋としてあったことが想像できる。柱列は12、13、24、23がずれるが基本的には直線に整列する。

柱痕跡は17、19、20、21、24、27、28、31で確認できる。24は一辺12cmの方形の柱痕跡で、他は16～24cmの円、楕円の柱痕跡である。

また、遺跡に保水性があるため、柱穴39には柱材が遺存していた（写真図版118）。礎盤上面に敷板が遺存し、8×13cm、厚さ3.5cmの長方形で、材質はカヤ。

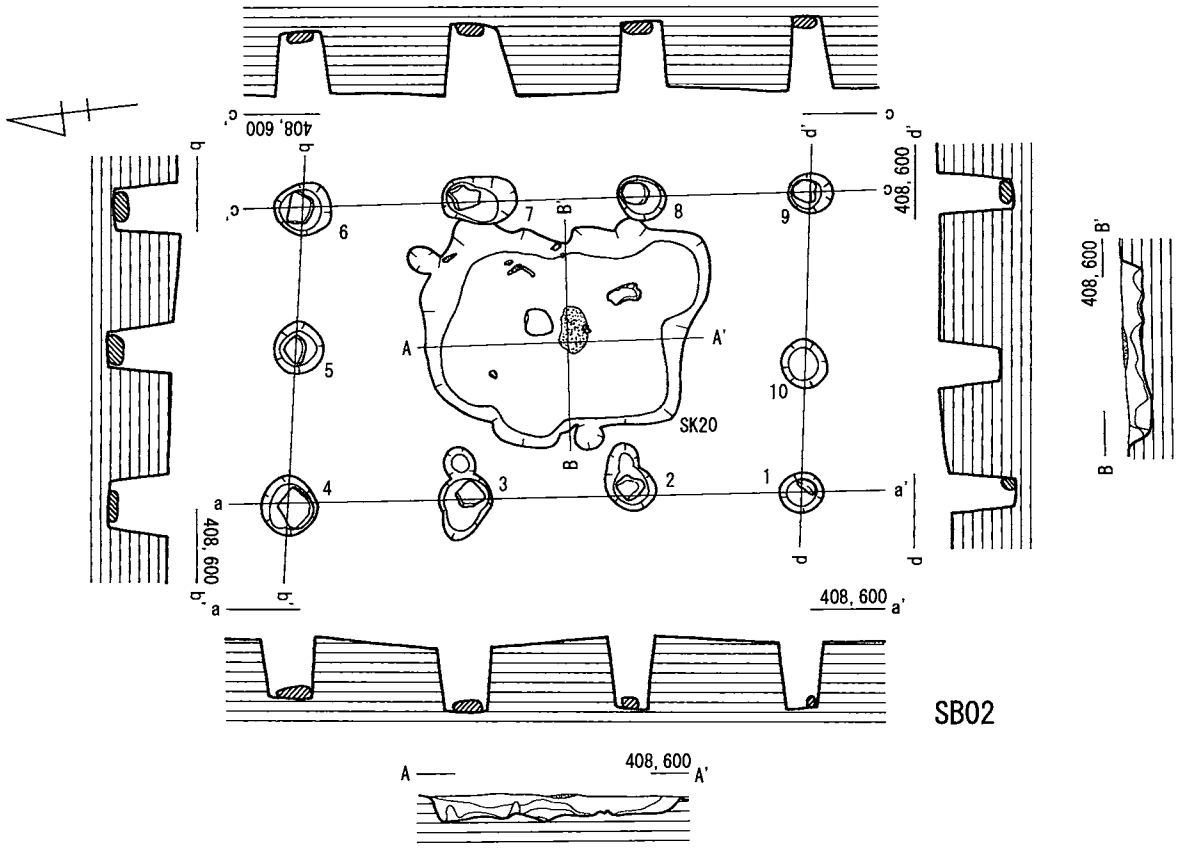
ＳＢ08（第26図）

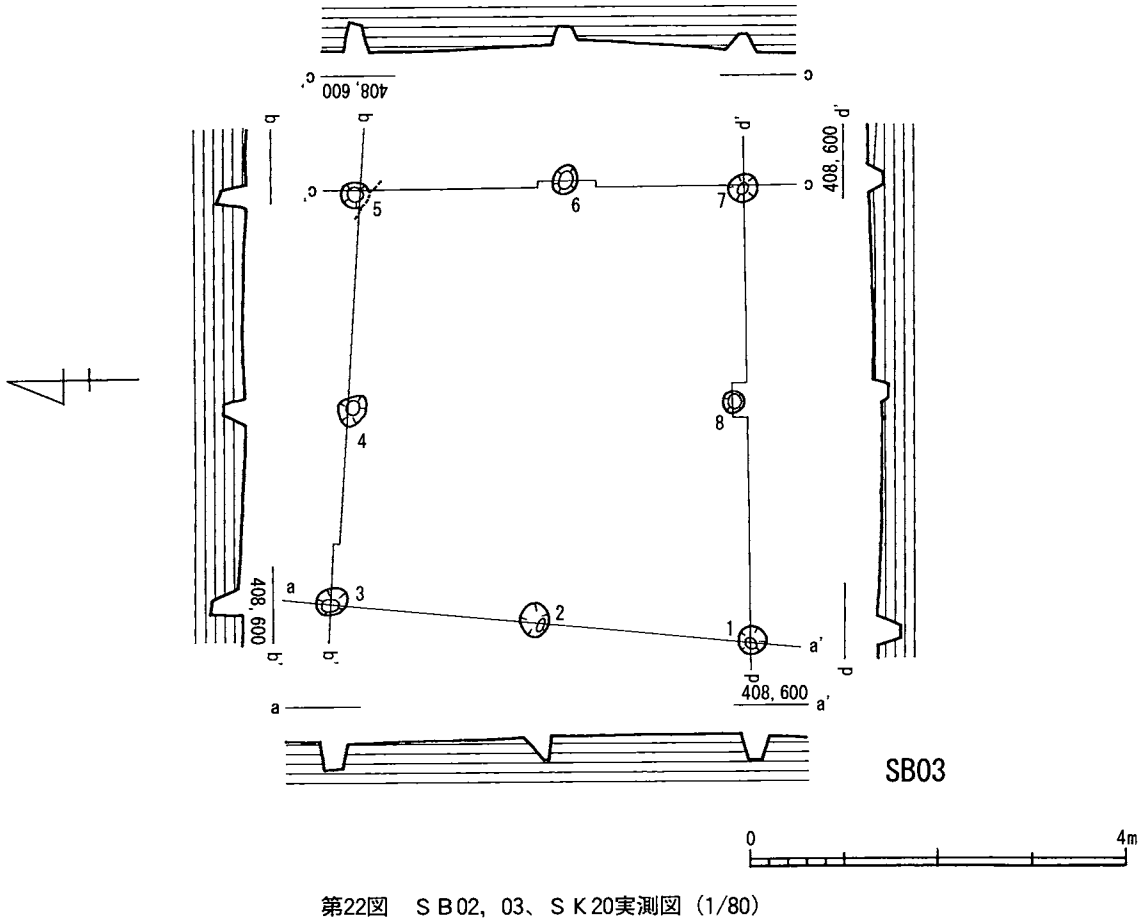
遺跡南側（Ｆ・Ｇ－1・2・3区）に位置する遺構で、ＳＢ07、09、10、11、21、34、36、37と重複して建っている。ＳＢ07とはほとんどの柱穴が切り合っており、ＳＢ07に先行する建物である。ＳＢ13とは桁行をほぼ平行して立っており、同時期に存在したものと思われる。南東側が調査区外に掛かり遺構の全容は不明であるが、検出する限り桁行18.4m（約61.3尺）、梁行9.0m（30尺）の（8）間×4間北東西3面庇の東西棟総柱建物で、桁行方向はＥ5°Ｓである。

柱間寸法は桁行58～46では1.2m（4尺）＋2.0m（約6.7尺）＋2.0m（約6.7尺）＋2.0m（約6.7尺）＋2.0m（約6.7尺）＋2.0m（約6.7尺）＋2.0m（約6.7尺）＋1.8m（6尺）＋2.2m（約7.3尺）＋1.2m（4尺）である。他に5本通る桁行も基本的に1間2.0m（約6.7尺）を基準に設けてある。

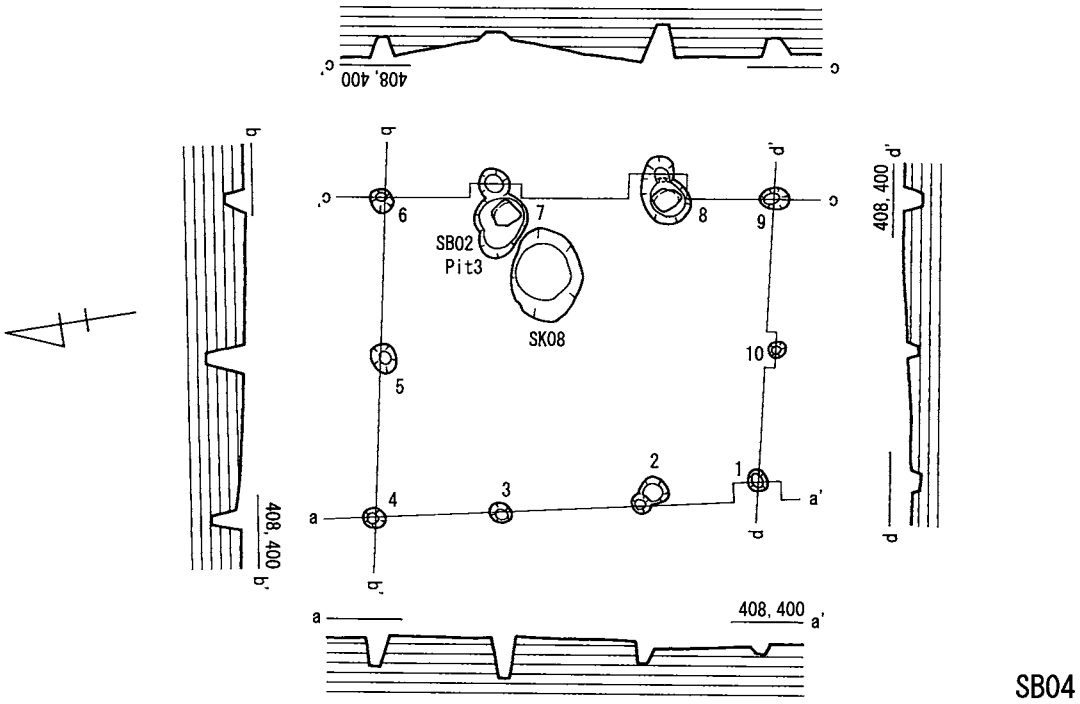
梁行48～8では1.2m（4尺）＋2.0m（約6.7尺）＋2.0m（約6.7尺）＋2.0m（約6.7尺）＋2.0m（約6.7尺）である。他に10本通る梁行も基本的には2.0m（約6.7尺）を基準に設けてある。

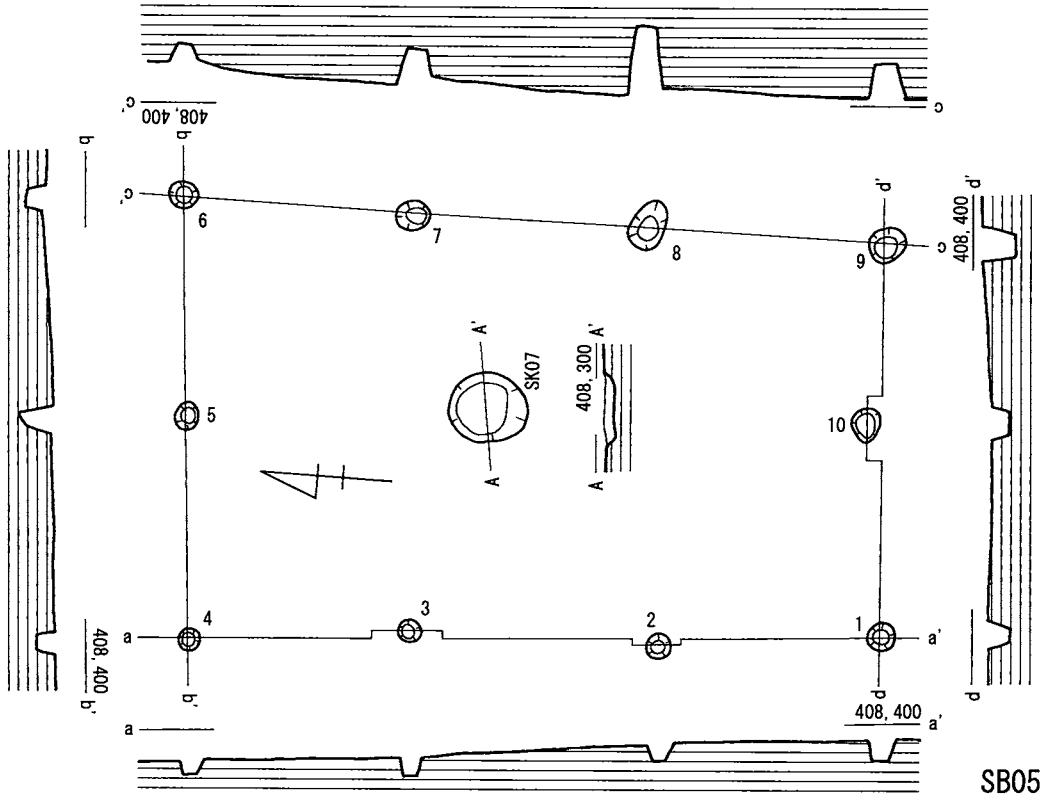
柱穴は身舎のもので直径28～60cm、深さ20～68cmである。庇の柱は32～48cm、深さ20～52cmである。遺構の検出面がⅧ層上であったが、柱穴の直径及深さは地山からのものである。地山が西側方向へ傾斜しているが柱穴の下端のレベルは元来一定ではない。柱穴のほとんどには礎盤が敷いてあり、重量のある建造物が上屋としてあったことが想像できる。柱列は31がずれ、20～21間はないが基本的には直線に整列する。

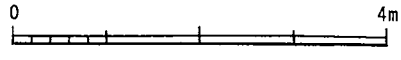




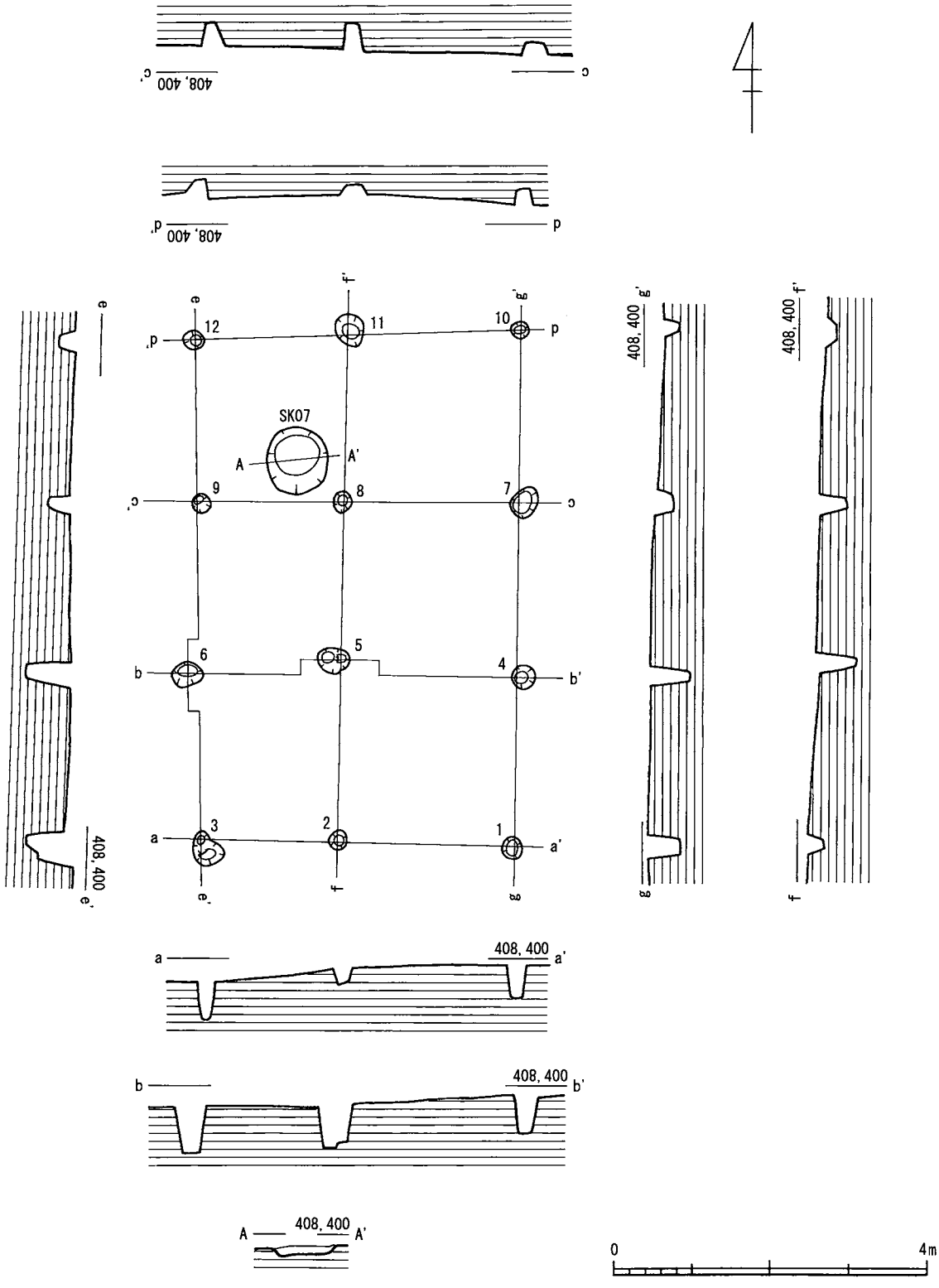
第22図　ＳＢ02，03、ＳＫ20実測図（1/80）







第23図　ＳＢ04，05、ＳＫ07，08実測図（1/80）



第24図　ＳＢ06、ＳＫ07実測図（1/80）

柱痕跡は25、33、56、53、52で確認できる。直径は18～20cm の円、楕円の柱痕跡である。

また、遺跡に保水性があるため、柱穴20、34、４、６には柱材が遺存していた。柱穴20のもの（写真図版121）は11×12cm の方形の柱で、長さは15cm。４隅をやや広めに面取りをしてある。材質はクリ。痛みが激しい。柱穴34のもの（写真図版122）は16×10cm の長方形の柱で長さは22cm。１面の面取りは確認できるため方形の柱と思われるが、他は痛みが激しく形状が不明である。材質はサワグルミ。柱穴１

のものは17×18㎝の方形で１面に面取りが見られるが、他の面は痛みが激しく確認できない。長さは18㎝で先端は欠けている。材質はクリ。柱穴４（写真図版119）は13×13㎝の方形で、四隅を面取りしてある。遺存状態は良好で、長さは73㎝。先端は尖ったような形で腐食しており、廃棄の際に切り取られたようである。材質はカヤ。柱穴６（写真図版120）は12×14㎝、長さ25㎝の楕円形の柱で、面取りは不明。遺存状態は悪い。先端は尖ったような形で腐食しており、廃棄の際に切り取られたようである。材質はカヤ。

ＳＢ09（第27図）

遺跡南側（Ｇ－１・２区）に位置する遺構で、ＳＢ01、07、08、10、37と重複しているが、それぞれの切り合い関係は不明。遺構東側が調査区外となっているが、検出する限りでは桁行5.4m（18尺）、梁行4.1m（約13.7尺）の（３）間×２間の東西棟建物で、桁行方向はＥ12°Ｓである。

柱間寸法は桁行７～10で、1.8m（６尺）の等間隔である。他の桁行は、５～６、２～３がやや開き気味なものの、ほぼ1.8m（６尺）を基準にしている。

梁行は10～３で、2.1m（７尺）+2.0m（約6.7尺）である。他の２本の梁行もほぼ同じ間隔を持っている。

柱穴は直径36～44㎝、深さ60～80㎝である。柱穴の下端のレベルはほぼ一定している。柱列はほとんど直線に整列する。

柱痕跡は確認できなかった。

また、遺跡に保水性があるため、柱穴２、７、10に柱材が遺存していた。柱穴２のもの（写真図版123）は13×12㎝の方形の柱である。長さは41㎝で柱の両端が痛んでいる。材質はクリ。柱穴７のもの（写真図版124）は８×４㎝、長さ51㎝の長方形の木材であるが、材がゆがんでおり、柱を支える補助的な材だったものと思われる。材質はヤマモモ。柱穴10のもの（写真図版125）は13×11㎝の方形で４面に面取りが見られ、４角をさらに面取りしてある。長さは40㎝で先端は欠けている。先端は尖ったような形で腐食しており、廃棄の際に切り取られたようである。材質はクリ。

ＳＢ10（第27図）

遺跡南側（Ｇ－２区）に位置する遺構で、ＳＢ01、07、08、09、11と重複しているが切り合い関係は不明。桁行4.0m（約13.3尺）、梁行2.1m（７尺）の２間×１間の東西棟建物で、桁行方向はＥ10°Ｓである。

柱間寸法は桁行１～３、６～４で2.2m（約7.3尺）+1.8m（９尺）である。

梁行６～１、４～３は１間2.1m（９尺）である。

柱穴は直径28～36㎝、深さ20～68㎝である。柱穴の下端のレベルは不均等である。柱列は直線に整列する。

柱痕跡は確認できなかったが、柱穴２において柱材が遺存する（写真図版126）。柱材は、直径10㎝の円柱形で長さ41㎝。先端は切り取られた後腐食したように、鈍く尖っている。材質はシキミ。

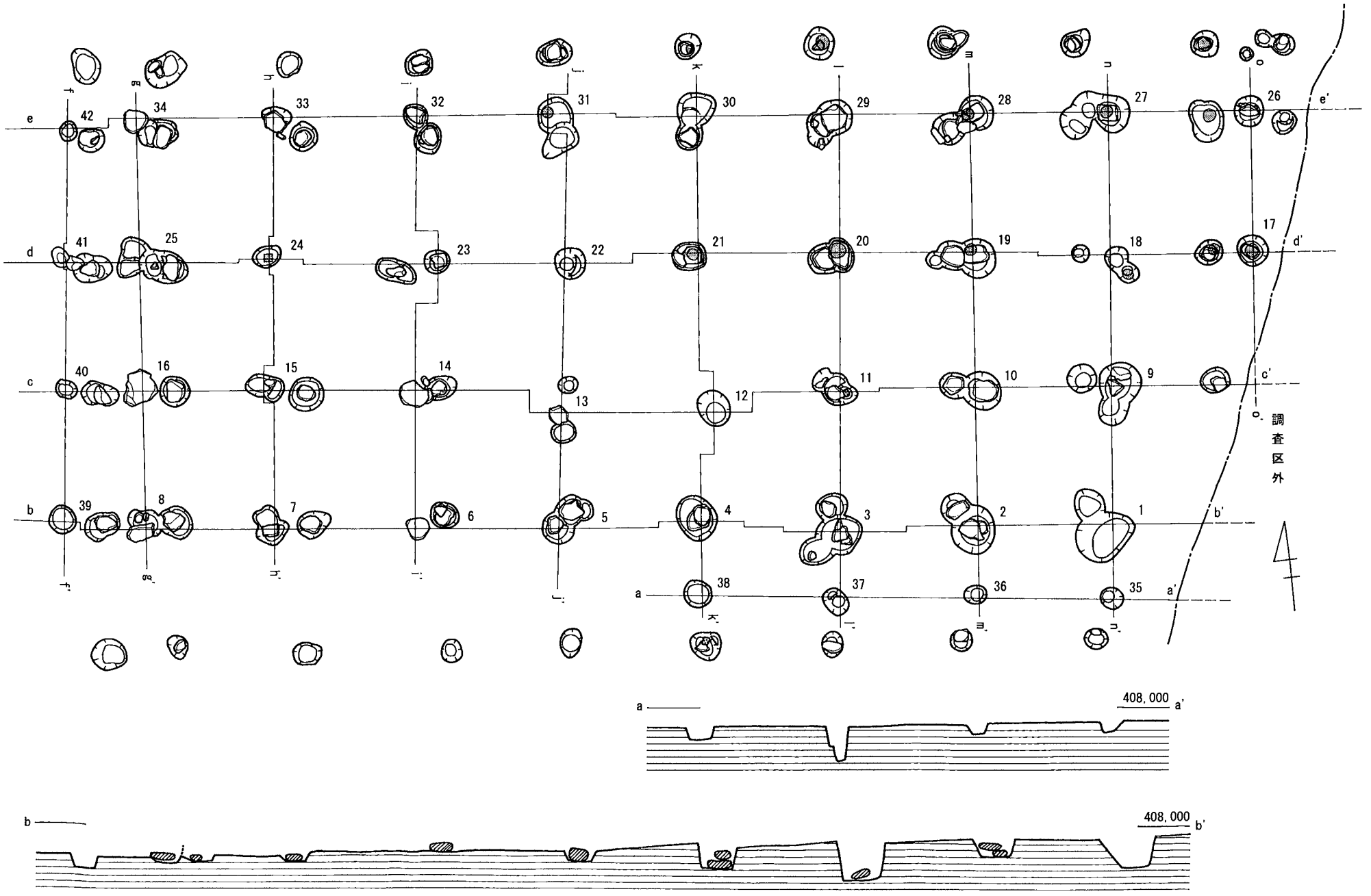
ＳＢ11（第28、29図）

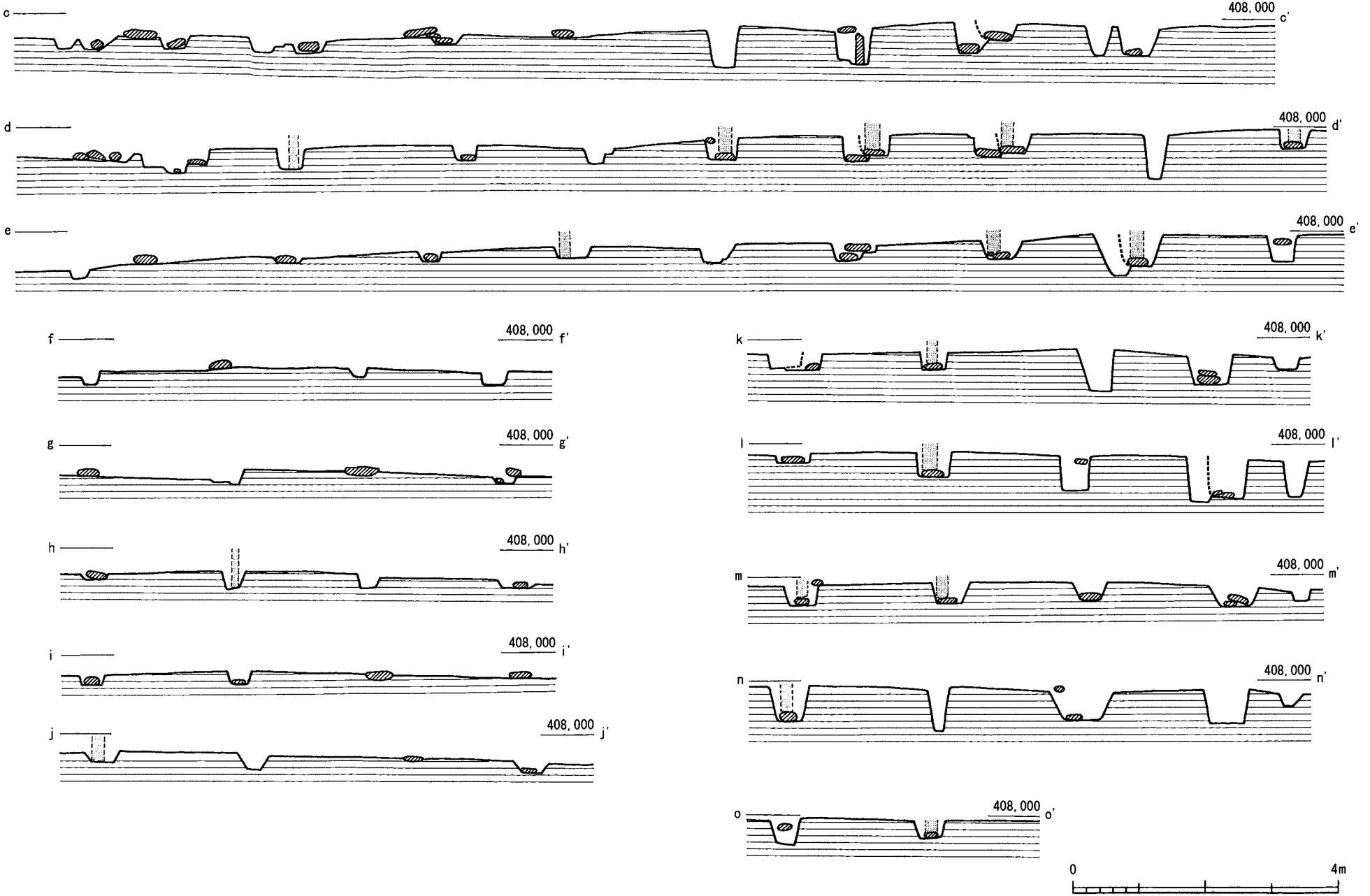
遺跡南西側（Ｆ・Ｇ－２・３区）に位置する遺構で、ＳＢ07、09、10、21、34、36、と重複して建っている。桁行11.2m（約37.3尺）、梁行10.3m（約34.3尺）の５間×４間の北西面庇南北棟建物で、桁行方向はＮ５°Ｅである。

柱間寸法は桁行４～37では2.0m（約6.7尺）+2.0m（約6.7尺）+2.0m（約6.7尺）+1.8m（６尺）+1.8m（６尺）+1.6m（約5.3尺）である。他に５本桁行が通っているが、同様の間隔で通っている。

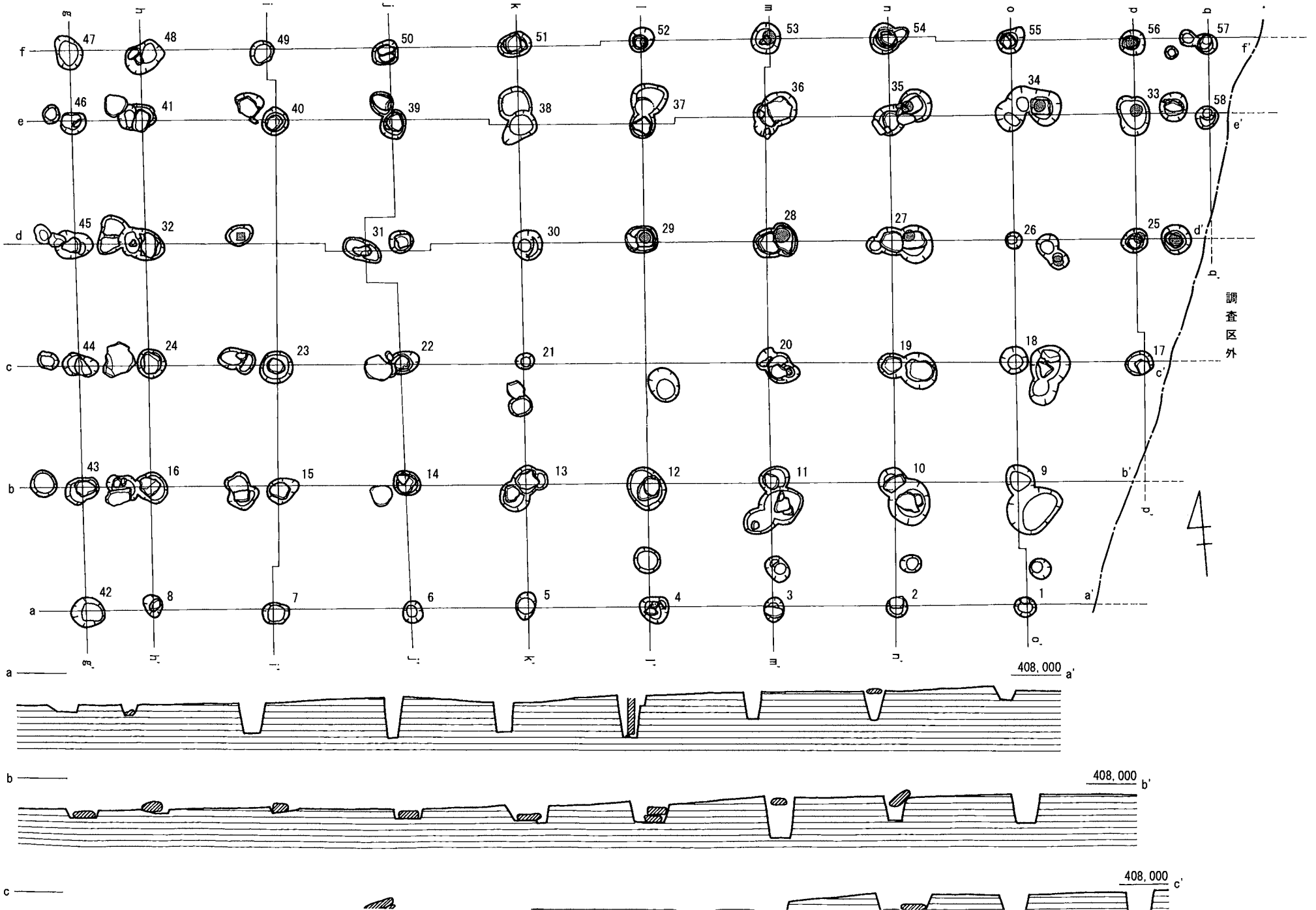
梁行１～６では2.0m（約6.7尺）+2.1m（７尺）+1.9m（約6.3尺）+2.0m（約6.7尺）+2.3m（約7.7尺）である。他に６本梁行が通っているが、ｅ－ｅ’では29～30間が2.6m（約8.7尺）、ｆ－ｆ’、ｇ－ｇ’では35～36、38～39間が1.4m（約4.7尺）で不均等である。ｇ－ｇ’は柱穴が削平されているようで、東側が欠損している。

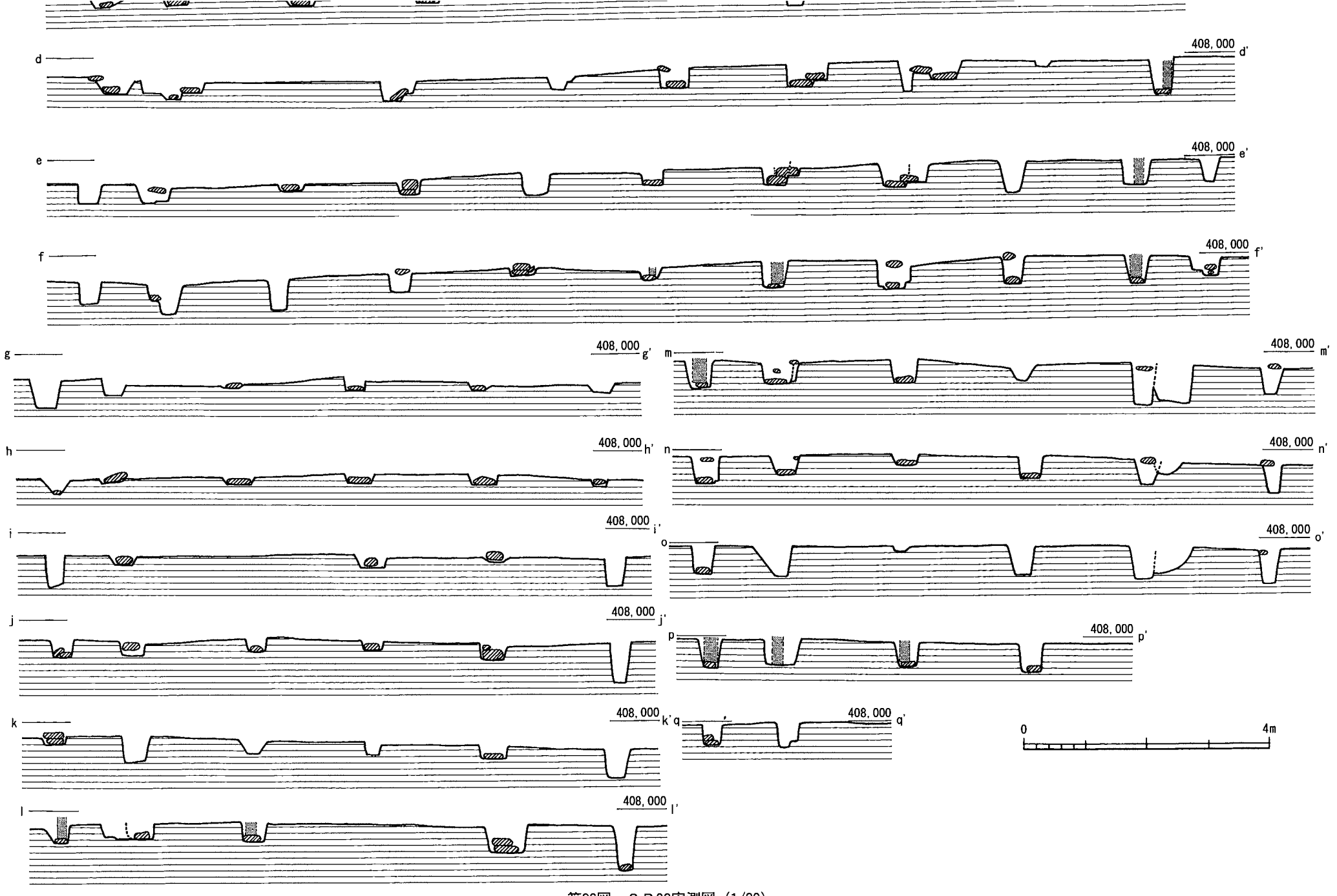
柱穴は身舎のもので直径30～60㎝、深さ20～60㎝である。庇の柱は30～34㎝、深さ10～30㎝である。遺構の検出面がⅧ層上であったが、柱穴の直径及び深さは地山からのものである。柱穴下端のレベルは


a
a'
408.000
b
b'
408.000
調査区外

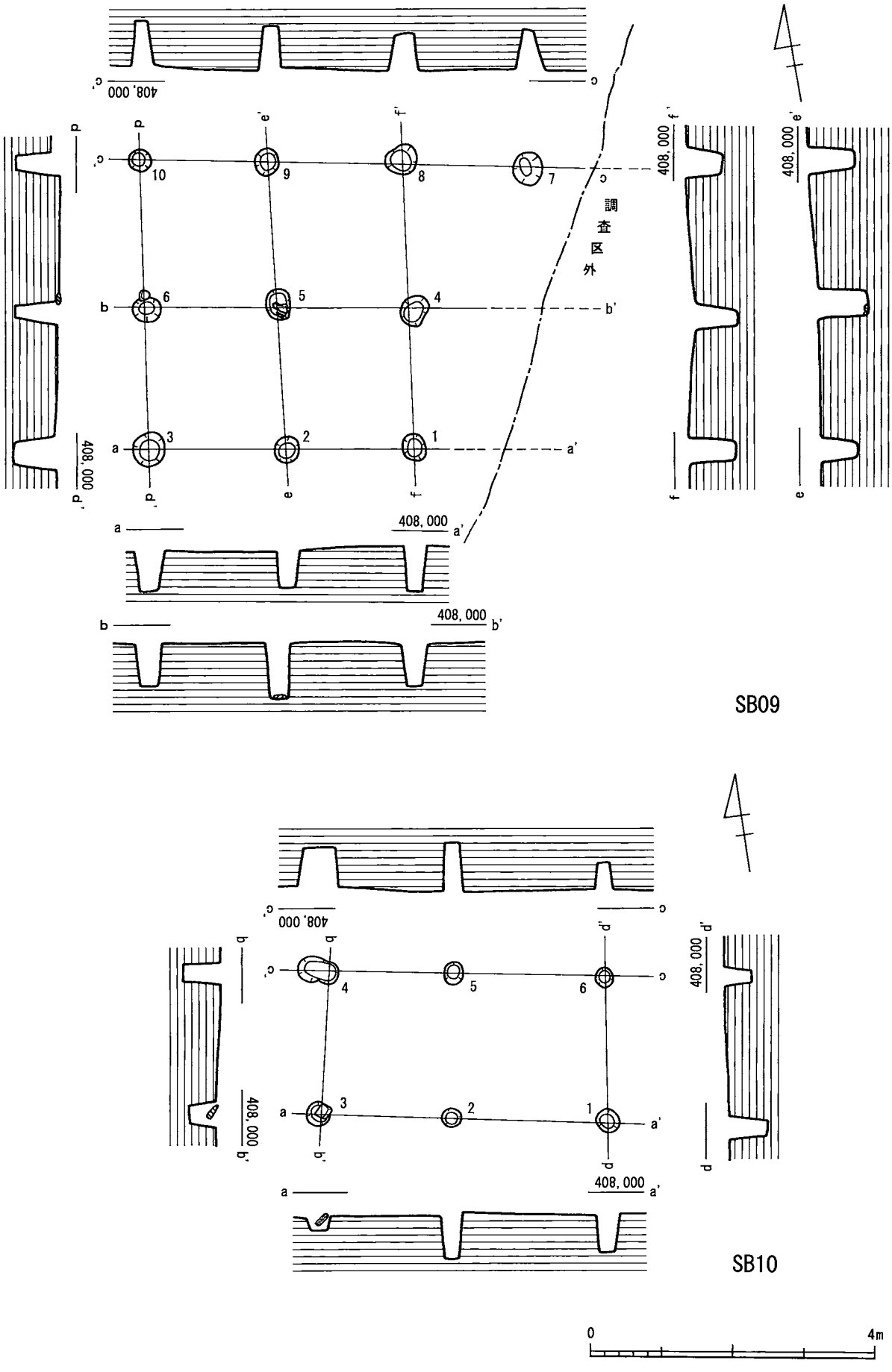


第25図　ＳＢ07実測図（1/80）

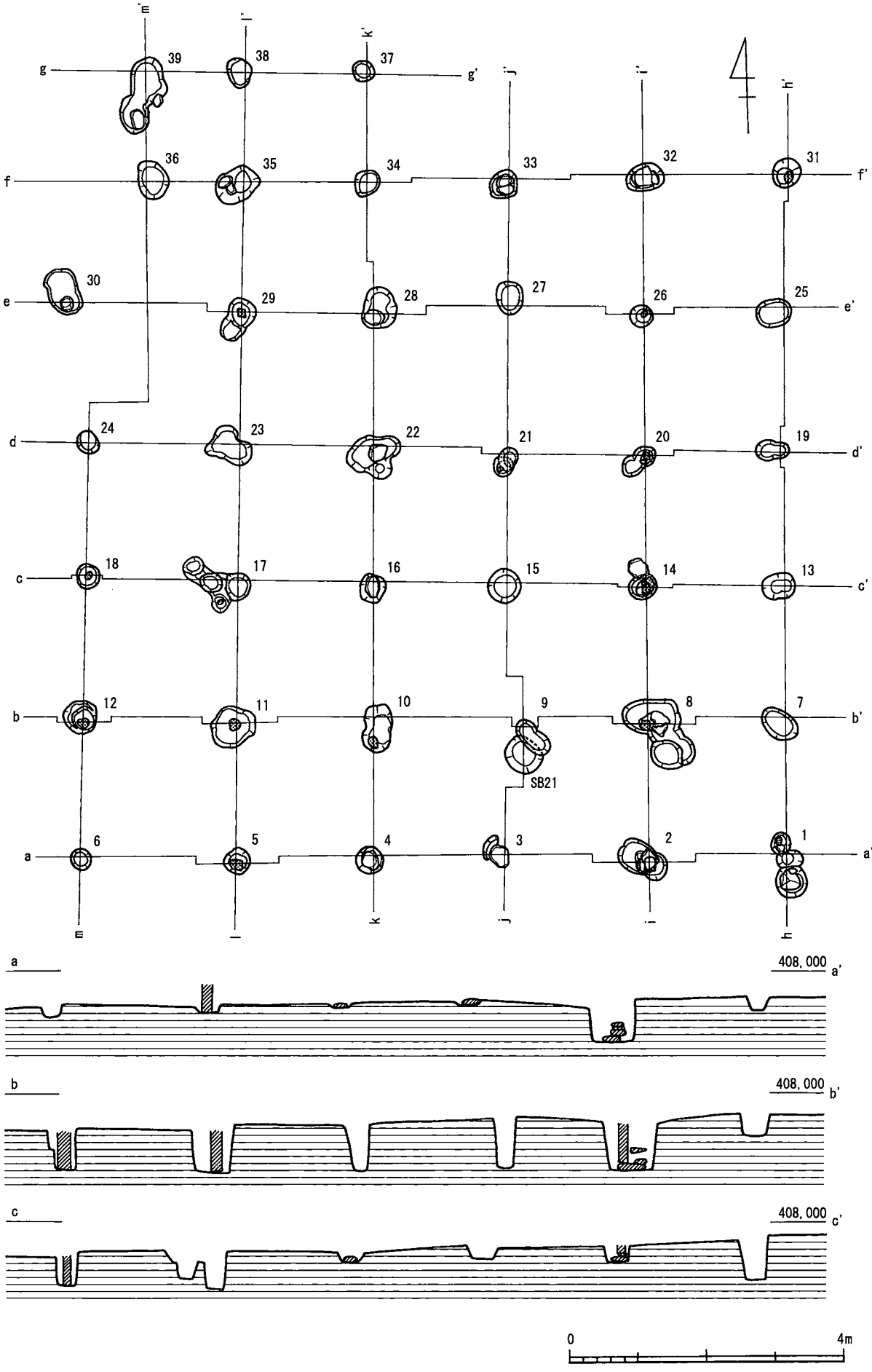

調査区外
408.000
a'
408.000
b'
408.000
c'



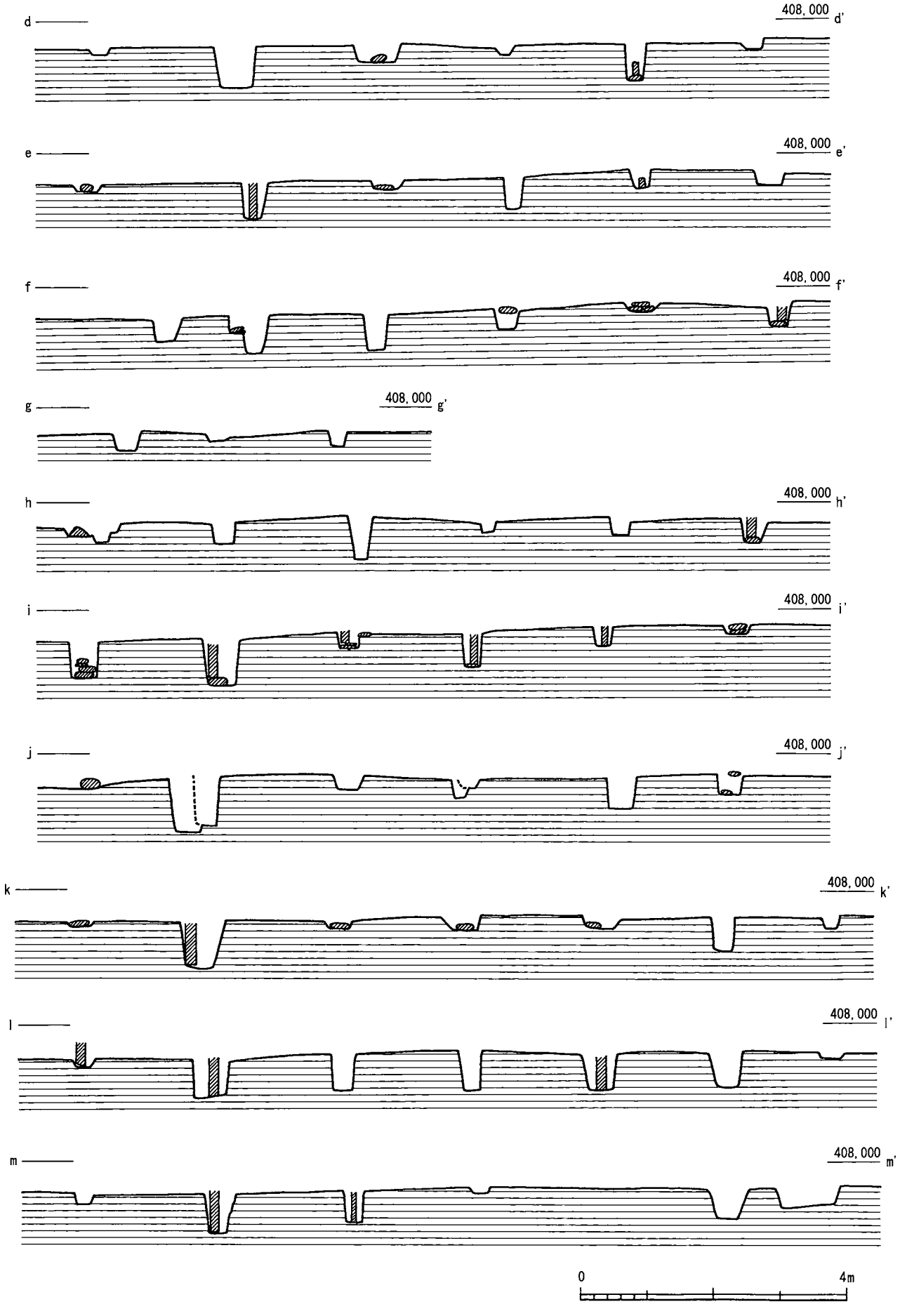
第26図　ＳＢ08実測図（1/80）



第27図　ＳＢ09，10実測図（1/80）



第28図　ＳＢ11実測図①



第29図　ＳＢ11実測図②

元来一定ではない。柱穴２、３、４、８、14、16、20、22、28、30、31、32には礎盤が敷いてある。柱列はずれるものもあるが基本的には直線に整列する。

また、遺跡に保水性があるため、柱穴５、８、10、11、12、14、18、20、26、29には柱材が遺存していた。柱穴14のもの（写真図版127）は直径約14㎝の円形で、一部が欠損している。８面にわたり面取りを行い円形を作る。長さは19㎝。材質はカヤ。他に柱穴14（写真図版128）には16×13.5㎝の方形の板である。厚さは2.5㎝で、柱の敷板にしたものと思われる。材質はスギ。柱穴17のもの（写真図版129）は、16×17㎝の方形の柱で、４面の面取りを行い、更に４隅の面取りを行う。長さは46㎝。材質はブナ属。柱穴20のもの（写真図版130）は、14×13.5㎝の方形の柱で、４面の面取りを行い、遺存状態は良い。長さは52㎝。材質はアサダ。柱穴26のもの（写真図版131）は12×11㎝、長さ34㎝の方形の柱で、４面の面取りを行っているが欠損する部分があり痛みが激しい。材質はクリ。柱穴29のもの（写真図版132）は12×15㎝、長さ56㎝の方形の柱で、４面の面取りを行っている。遺存状態はよい。材質はサクラ属。

ＳＢ12（第30図）

遺跡南側（Ｅ・Ｆ－１・２・３区）に位置する遺構で、ＳＢ13、17、22、32、33、34、39と重複して建っている。ＳＢ13とはほとんどの柱穴が切り合っており、ＳＢ13の桁行を２間伸ばす形で柱穴を北側にずらして建て替えている。ＳＢ01とＳＢ08とは桁行をほぼ平行して立っており、同時期に存在したものと思われる。桁行15.8m（約52.7尺）、梁行7.5m（25尺）の７間×２間西南北３面庇の東西棟建物で、桁行方向はＥ５°Ｓである。

柱間寸法は桁行でａ－ａ’では１～６間で2.1m（７尺）の等間隔。６～７間で2.0m（約6.7尺）。７～８間で1.9m（約6.3尺）。８～28間で1.4m（約4.6尺）である。ｅ－ｅ’では、20～24間で１柱を欠くものの2.1m（７尺）の等間隔。24～25間で1.8m（６尺）。25～26間で2.3m（約7.7尺）。26～27間で1.3m（約4.3尺）と不均等である。ｃ－ｃ’は17～10間で2.1m（７尺）の等間隔、10～30間は1.2m（４尺）である。ｇ－ｇ’は、39～33間は2.1m（７尺）の等間隔であるが、33～32間は2.2m（約7.3尺）。32～31間は1.0m（約3.3尺）と、やや北西に開く形になっている。

梁行ｄ－ｄ’では、20～39で1.3m（約4.3尺）＋2.55m（8.5尺）＋2.55m（8.5尺）＋1.1m（約3.7尺）である。ｈ－ｈ’でも同じ間隔であるが、ｂ－ｂ’は、26～32間で1.2m（４尺）＋2.6m（約8.7尺）＋2.3m（約7.7尺）＋0.9m（３尺）であり、ｆ－ｆ’は、27～31間で0.8m（約2.6尺）＋2.9m（約9.7尺）＋2.3m（約7.7尺）＋0.9m（３尺）である。

柱穴は身舎のもので直径50～70㎝、深さ20～50㎝である。庇の柱は直径30～50㎝、深さ10～40㎝である。遺構の検出面がⅧ層上であったが、柱穴の直径及深さは地山からのものである。柱穴の下端のレベルは元来一定ではない。身舎の柱穴のほとんどには礎盤が敷いてあり、ＳＢ13の礎盤に重ねるように新しい礎盤が敷いてある。重量のある建造物が上屋としてあったことが想像できる。柱列は西側庇部分で梁行の間隔を狭めるが、基本的には直線に整列する。

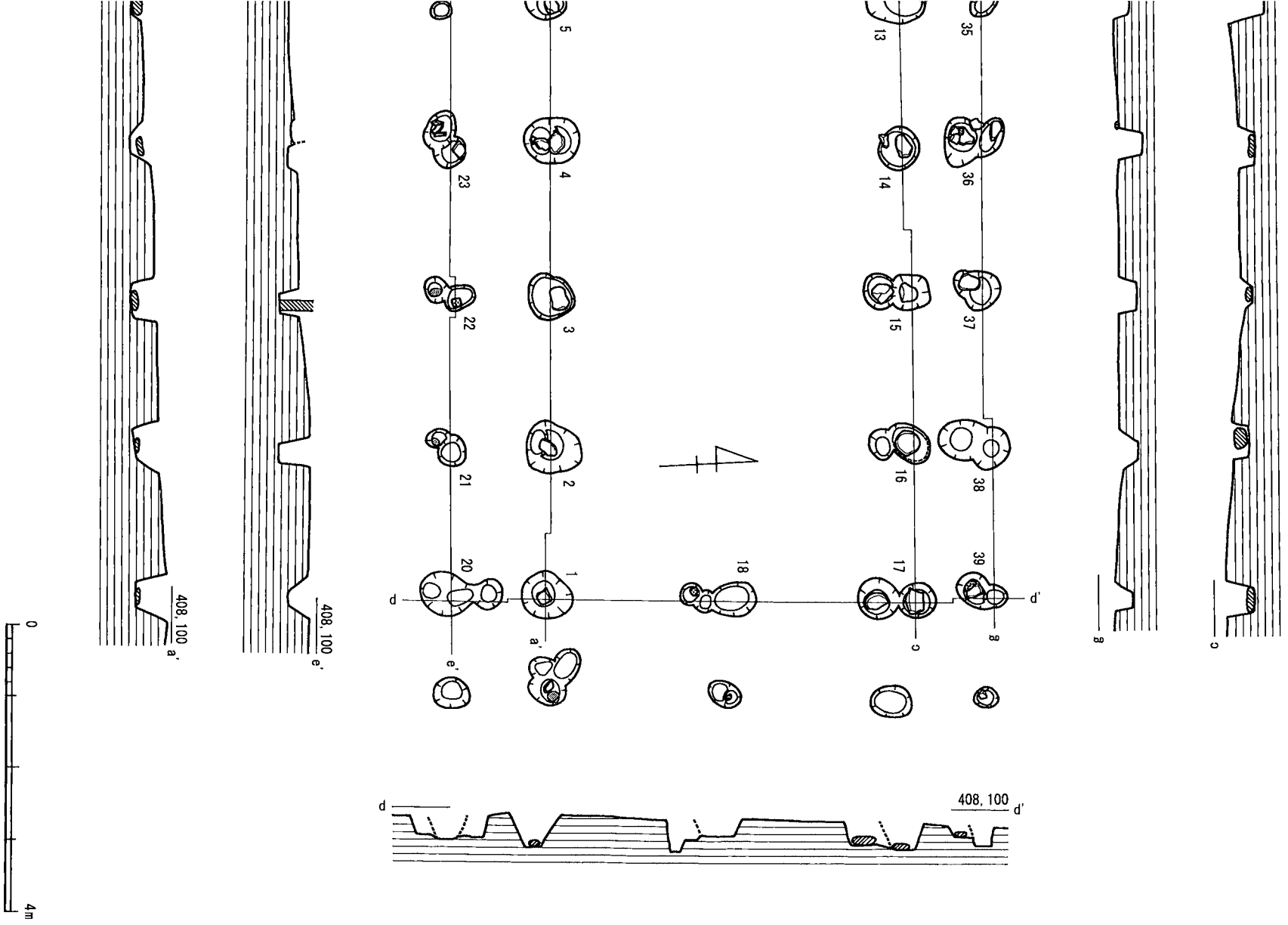
柱痕跡は確認できなかったが、柱穴に柱材が残るものは柱穴７、22の２カ所あった。柱穴７は礎盤上面に敷板が遺存（写真図版133）。12×18㎝、厚さ3.5㎝の長方形で、材質はカヤである。

ＳＢ13（第31図）

遺跡南側（Ｅ・Ｆ－１・２・３区）に位置する遺構で、ＳＢ12、17、22、32、33、34、39と重複して建っている。ＳＢ12とはほとんどの柱穴が切り合っており、ＳＢ12に先行する建物である。ＳＢ07とは桁行をほぼ平行して立っており、同時期に存在したものと思われる。桁行13m（約43.3尺）、梁行7.4m（約24.7尺）の５間×２間４面庇の東西棟建物で、桁行方向はＥ５°Ｓである。

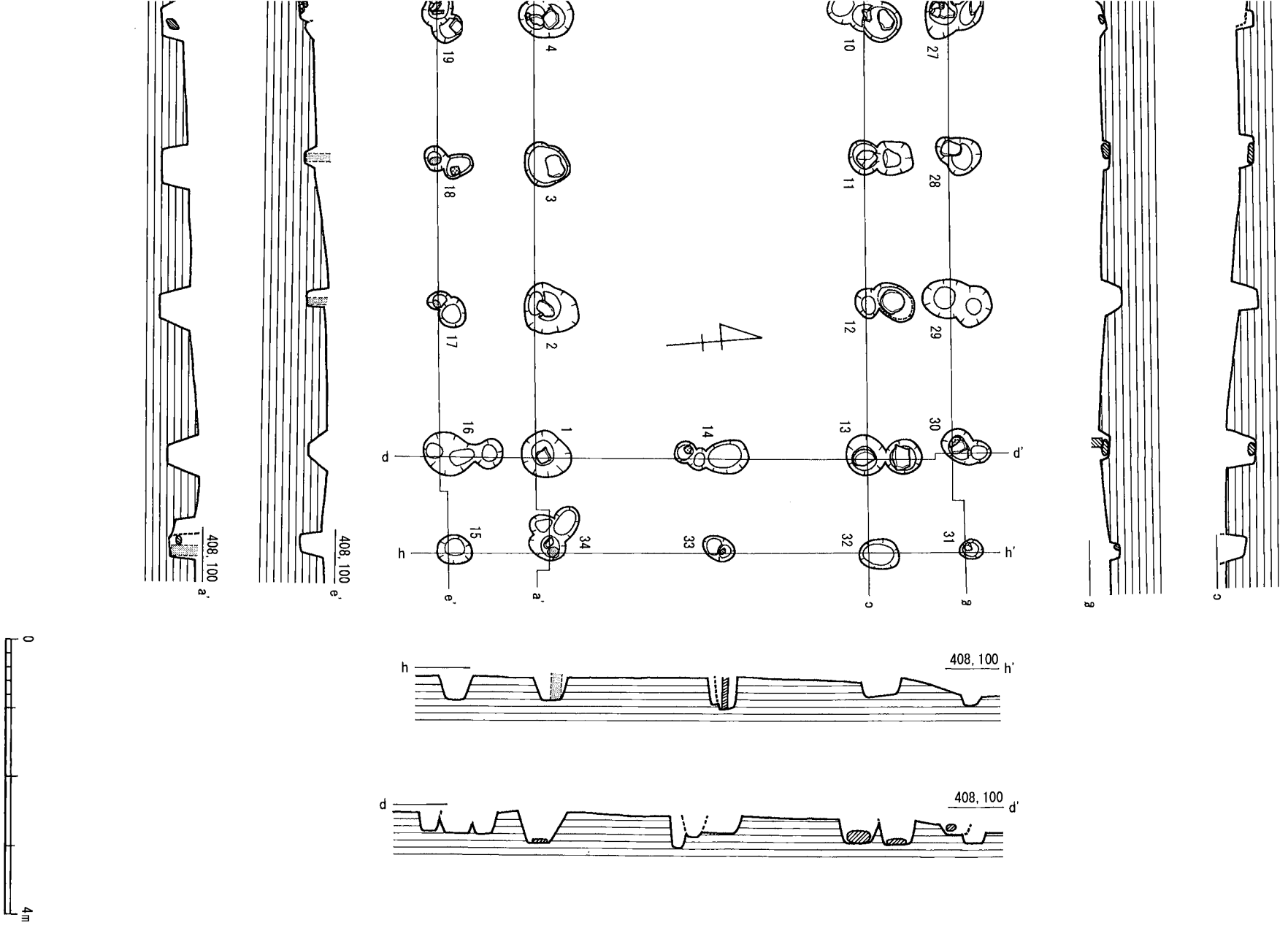
柱間寸法は桁行でａ－ａ’では34～１が1.4m（約4.7尺）。１～６間で2.1m（７尺）の等間隔。６～12間で1.1m（約3.7尺）である。ｅ－ｅ’では18～19間が長く、19～20間が短いものの、ほぼａ－ａ’

408.100
c'
408.100
g'
h
f
b
g
c
a
e
33
34
31
32
30
10
11
12
29
9
19
8
7
6
28
27
26
25
24
f'
b'
h'
h
b
f
408.100
h'
408.100
b'
408.100
f'
e
a

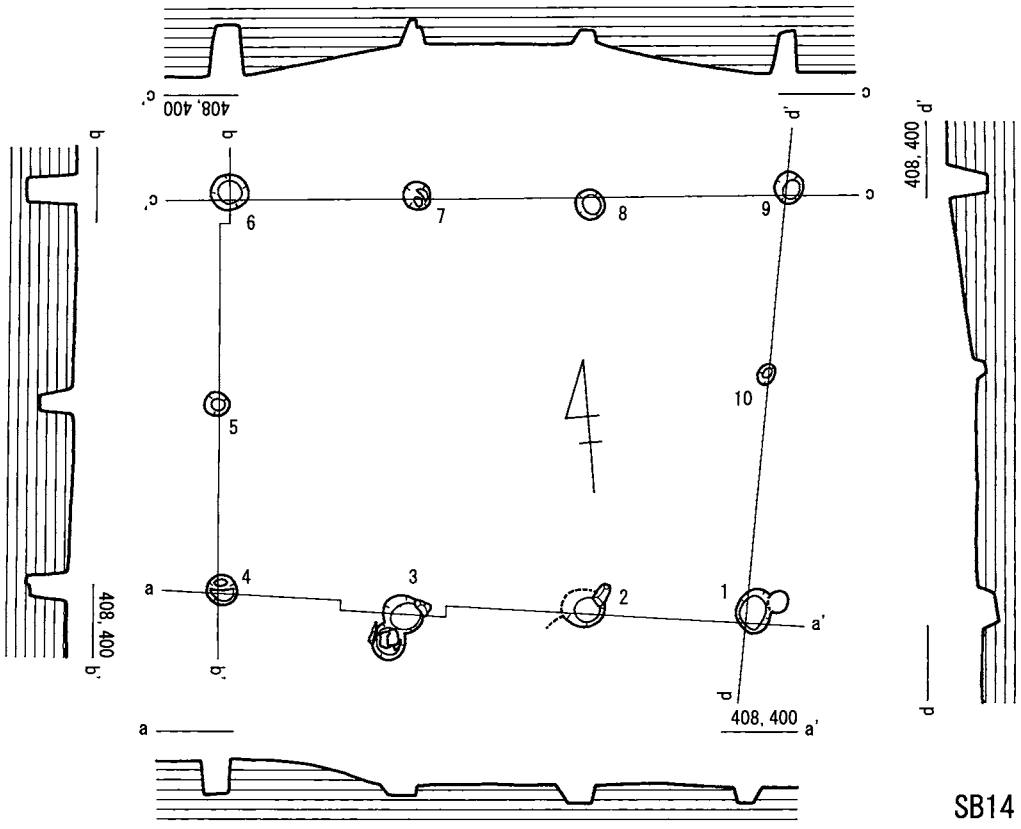


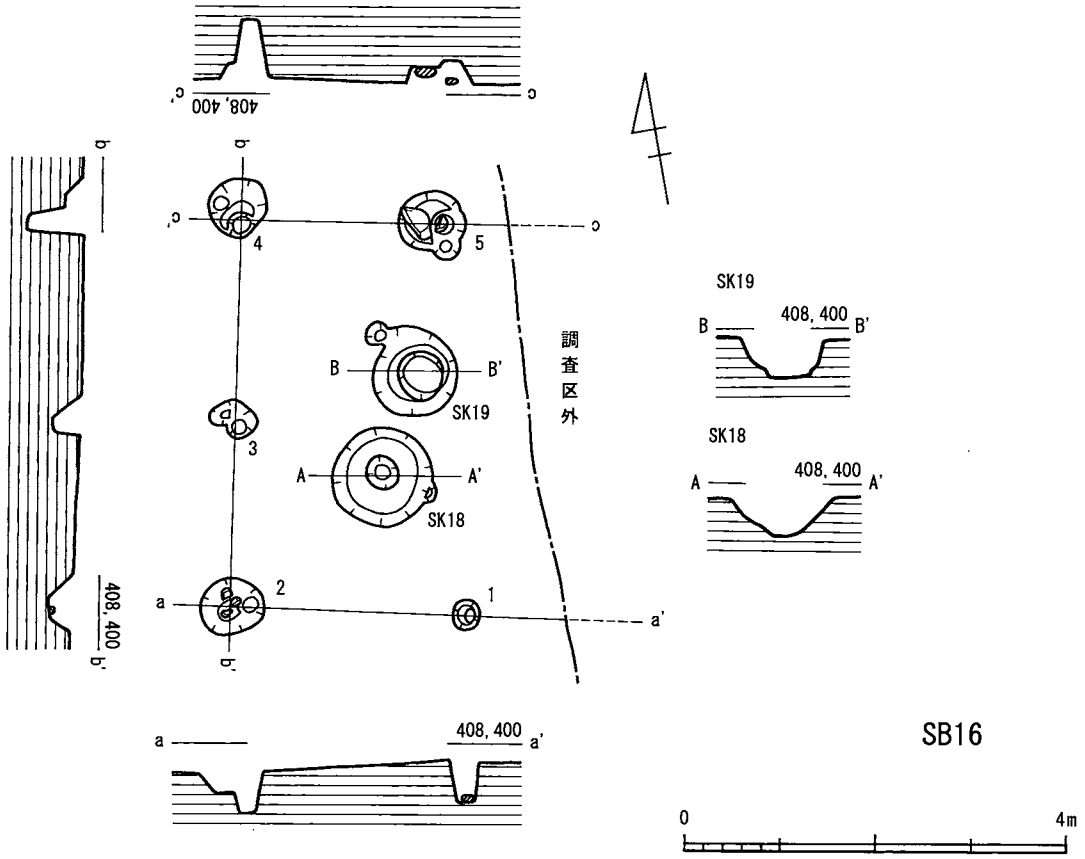
第30図　ＳＢ12実測図（1/80）

408.100
c'
408.100
a'
b
f
a
c
24
25
26
23
8
9
22
7
21
6
5
20
e
f'
b'
b
408.100
b'
f
408.100
f'
e
a



第31図　ＳＢ13実測図（1/80）





第32図　ＳＢ14、16、ＳＫ18、19実測図（1/80）

と同じ間隔である。20以西の柱穴は削平されている。c－c'は32～23間で1.4m（約4.7尺）＋2.2m（約7.3尺）＋2.1m（7尺）＋2.1m（7尺）＋2.1m（7尺）＋2.1m（7尺）＋1.1m（約3.7尺）である。g－g'もc－c'とほぼ同様の間隔である。

梁行d－d'では16～30で1.5m（5尺）＋2.3m（約7.7尺）＋2.4m（8尺）＋1.2m（4尺）である。h－h'、b'－b、f'－fもほぼ同じ間隔である。

柱穴は身舎のもので直径36～60cm、深さ20～50cmである。庇の柱は直径28～48cm、深さ10～68cmである。遺構の検出面がⅧ層上であったが、柱穴の直径及深さは地山からのものである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。身舎の柱穴には礎盤が敷いてあるものもあるが、SB12を建て替える際に取り外したものも多くあるようである。柱列は基本的には直線に整列する。

柱穴に柱材が残るものが2カ所あった。柱穴33、31で、柱穴33のもの（写真図版135）は12×13cmの方形に面取りをした柱で、長さは21cm。痛みが激しく、1カ所欠損している。先端は尖ったような形で腐食しており、廃棄の際に切り取られたようである。材質はクリ。柱穴31のもの（写真図版134）は13×13cmの正方形で、4面を面取りしたあと4隅の角をとってある。長さは50cmで、先端は尖ったような形で腐食している。材質はニガキ。

SB14（第32図）

遺跡中央部（E－2区）に位置する遺構で、SA10、SD01、02、03、SE01と重複して建ち、SDは切っている。桁行5.6m（約18.7尺）、梁行4.2m（14尺）の3間×2間の東西棟建物で、桁行方向はE9°Sである。

柱間寸法は桁行1～4で1.7m（約5.7尺）＋1.9m（約6.3尺）＋2.0m（約6.7尺）である。桁行9～6では9～8間がひろくなり、北側に開く形で不均等となる。

梁行4～6は2.0m（約6.7尺）＋2.2m（約7.3尺）である。1～9は柱間が広がり、東に広がる形となる。

柱穴は直径20～40cm、深さ20～52cmである。柱穴の下端のレベルはほぼ一定する。柱列はほぼ直線に整列する。柱痕跡は確認できなかった。

SB15（第33図）

遺跡中央（D・E－1・2・3区）に位置する遺構で、SD01、04と重複して建っており、同遺構を切っている。桁行10.8m（36尺）、梁行6.8m（約22.7尺）の5間×3間南面庇の東西棟変則総柱建物で、桁行方向はE2°Sである。

柱間寸法は桁行1～6では2.2m（約7.3尺）＋2.2m（約7.3尺）＋2.1m（7尺）＋2.1m（7尺）＋2.2m（約7.3尺）である。他に3本通る身舎の桁行もほぼ同じ間隔であるが、d－d'で2本の柱穴が欠ける。また、e－e'では東隅の隅の柱穴が欠ける。また、庇にあたるa－a'では西隅の柱が欠け、それぞれはもともとなかったものと思われる。

梁行26～20では0.7m（約2.3尺）＋2.8m（約9.3尺）＋1.8m（9尺）＋1.5m（5尺）である。他に5本梁行が通るが、いずれも似たような間隔であり、西側に梁行が広がる形で建っている。

柱穴は身舎のもので直径28～44cm、深さ20～80cmである。庇の柱の直径は20～30cm、深さ44～50cmである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列はややずれるものもあるが、基本的には直線に整列する。

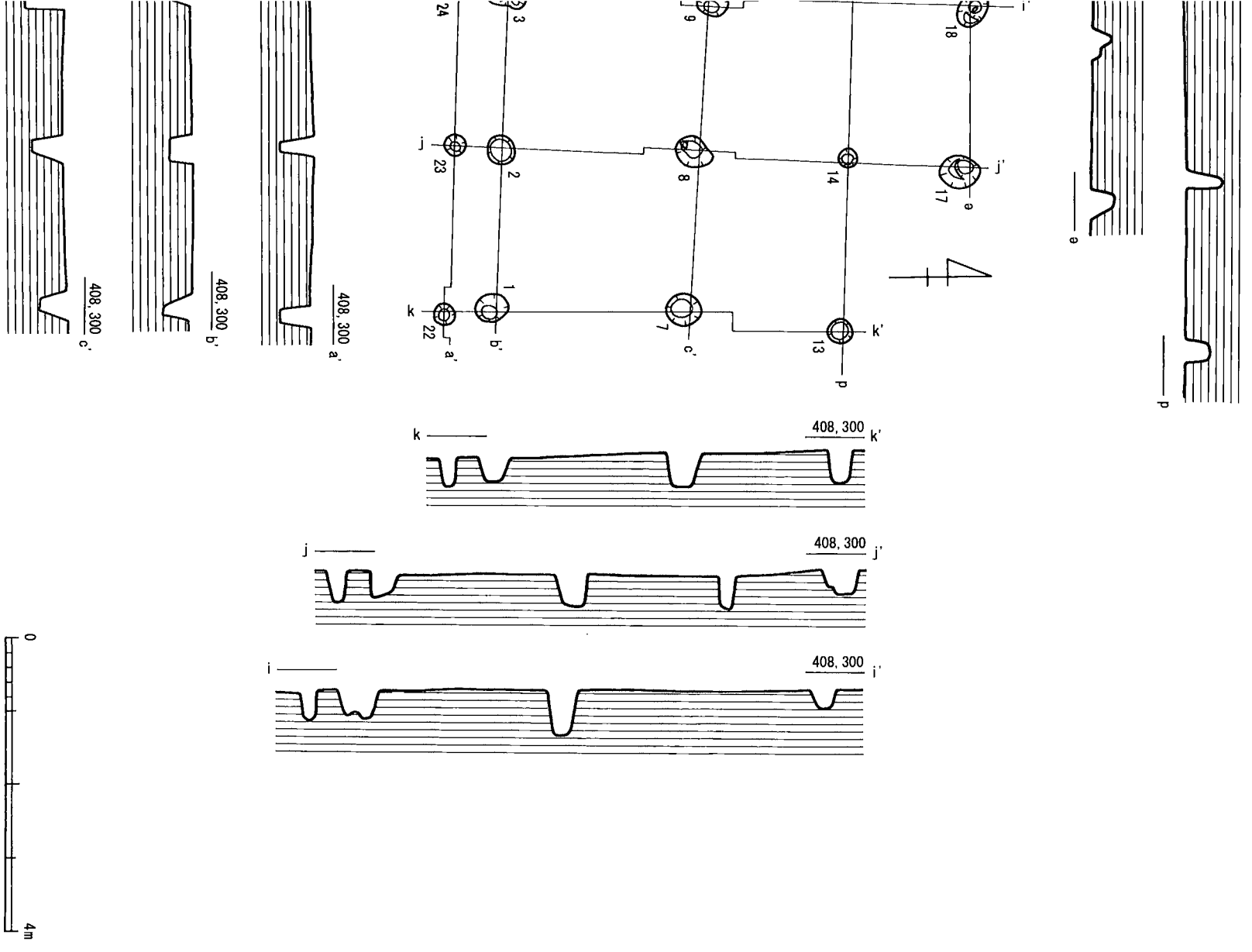
柱痕跡は15のみで確認できた。直径は12cmの円形の柱痕跡である。

柱穴11には柱材が遺存した（写真図版136）、直径約12cmの円形で11面の面取りをした柱で、長さは38cm。切断面は痛みが激しいが、下半分の遺存状態は良い。材質はモミ属。柱穴11の下部に遺存し、上には新しいSB15の埋土が入る。すなわちSB15は同じ柱穴を利用して建て替えられたもので、この柱材自体は12C代の建物のものである。

SB16（第32図）

遺跡中央東側（D－1区）に位置する遺構で、SA12と重複しているが、切り合い関係は不明。遺構の東側が調査区外に懸かっているため遺構の全容は不明であるが、検出された範囲では桁行3.4m（約

408, 300
d'
408, 300
e'
f
g
h
e'
d'
c
b
a
21
20
19
16
15
12
11
10
6
5
4
26
25
f'
g'
h'
408, 300
f'
408, 300
g'
408, 300
h'
a
b
c



第33図　ＳＢ15実測図（1/80）

11.3尺)、梁行4.1m（約13.7尺）の（２）間×２間の東西棟建物で、桁行方向はＥ12°Ｓである。

柱間寸法は桁行５～４で、2.1m（７尺）で、１～２では開く。

梁行は２～４で1.9m（約6.3尺）＋2.2m（約7.3尺）である。

柱穴は直径26～60㎝、深さ30～50㎝である。柱穴２、４、５ではかなり切り合いが多いが、本来の柱穴は直径30㎝程度のものと思われる。柱穴の下端のレベルは一定しない。柱列はほぼ直線に整列する。

柱痕跡は確認できなかった。

建物内部には**ＳＫ18、19**があり、甕等を埋め込んだ土坑ではないかと思われる。

ＳＢ17（第34図）

遺跡北東端（Ｅ・Ｆ－１・２区）に位置する遺構で、ＳＢ12、13、39、ＳＡ08、ＳＤ02、05と重複し、切り合い関係は不明であるが、ＳＢ、ＳＡには先行し、ＳＤ02を切る。遺構東側は調査区外となるため、遺構の全容は不明であるが、検出範囲で桁行6.7m（約22.3尺)、梁行8.3m（約27.7尺）の（３）間×２間の南北２面庇の東西棟建物で、桁行方向はＥ８°Ｓである。

柱間寸法は桁行１～３で2.3m（約7.7尺）の等間隔である。桁行７～５のほぼ同等の間隔である。

梁行10～11は1.8m（６尺）＋2.6m（約8.7尺）＋2.6m（約8.7尺）＋1.2m（４尺）である。

身舎の柱穴は直径50～64㎝、深さ50～80㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱穴７には礎盤がある。柱列はほぼ直線に並ぶ。柱痕跡は確認できない。

ＳＢ18（第35図）

遺跡南端（Ｇ・Ｈ－２・３区）に位置する遺構で、ＳＢ01、19、20、ＳＤ01と重複しする。ＳＢ01、19に切られており、ＳＤ01を切っている。遺構南東側は調査区外となるため、遺構の全容は不明であるが、検出範囲で桁行10.9m（約36.3尺)、梁行2.8m（約9.3尺)の北面庇の東西棟建物で検出面では桁行は５間である。桁行方向はＥ７°Ｓである。

柱間寸法は桁行１～５で2.1m（７尺）＋2.1m（７尺）＋2.3m（約7.7尺）＋1.9m（約6.3尺）である。庇部分の桁行もほぼ同様である。

梁行11～５は2.1m（７尺）である。

柱穴は直径48～56㎝、深さ16～80㎝であり、柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列はほぼ直線に並ぶ。柱痕跡は３、５、９で確認できた。直径は16㎝ほどである。

柱穴11には柱材が遺存する（写真図版137)。直径約18.5㎝の円形に16面の面取りをした柱で、長さは59㎝。切断面は腐食し、先端が尖っているが、下半分の遺存状態は良い。材質はカヤ。

ＳＢ19（第36図）

遺跡南側（Ｇ・Ｈ－２・３区）に位置する遺構で、ＳＢ01、18、20、21、ＳＤ01と重複している。ＳＢ18とはほとんどの柱穴が切り合っており、ＳＢ19が切っている。ＳＢ01には切られており、ＳＤ01は切っている。ＳＢ20との切り合い関係は不明。遺構南側と西側が調査区外であるため遺構の全容は不明であるが、検出範囲で桁行10.4m（約34.7尺)、梁行7.0m（約23.3尺）の（４）間×（３）間の北東２面庇の東西棟建物で、桁行方向はＥ４°Ｓである。

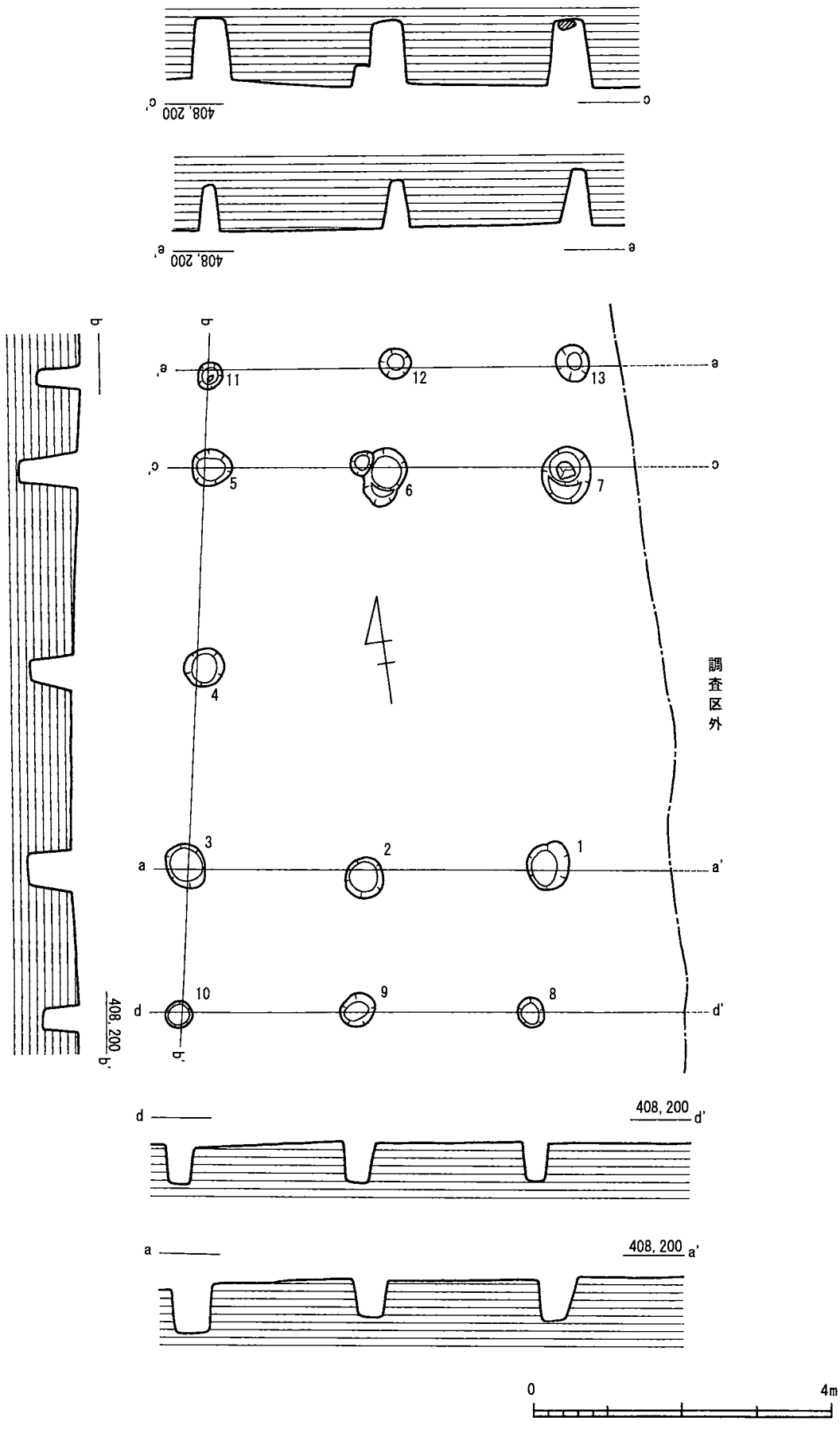
柱間寸法は桁行１～４で2.1m（７尺）の等間隔である。庇にあたる４～13は、1.9m（約6.3尺）である。また、桁行７～12は、2.1m（７尺）＋2.0m（約6.7尺）＋2.1m（７尺）＋2.0m（約6.7尺）＋2.0m（約6.7尺）である。

梁行６～11は2.0m（約6.7尺）＋2.1m（７尺）＋2.0m（約6.7尺）である。

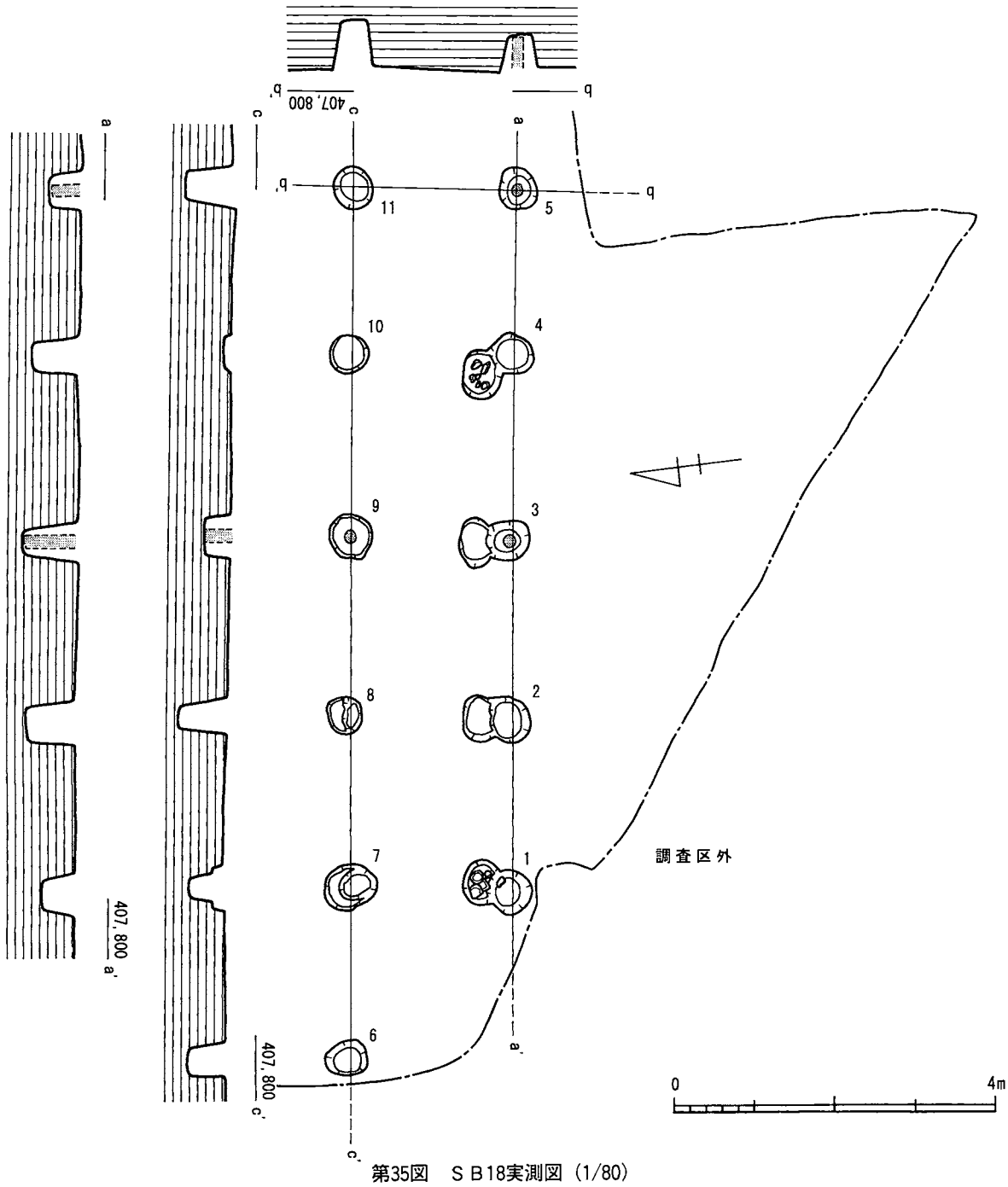
身舎の柱穴は直径50～60㎝、深さ24～48㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱穴８、９、12には礎盤がある。柱列はほぼ直線に並ぶ。柱痕跡は２、３、４、５で確認できた。いずれも方形の痕跡で、一辺が16～18㎝である。

ＳＢ20（第37図）

遺跡南端（Ｈ－３区）に位置する遺構で、ＳＢ18、19と重複しする。切り合い関係は不明。遺構南側と西側は調査区外となるため、遺構の全容は不明であ



第34図　ＳＢ17実測図（1/80）



第35図　ＳＢ18実測図（1/80）

るが、検出範囲で桁行3.9m（11尺）、梁行1.2m（4尺）の（2）×（1）間の東西棟建物である。桁行方向はＥ6°Ｓである。

柱間寸法は桁行１～２で2.1m（７尺）である。

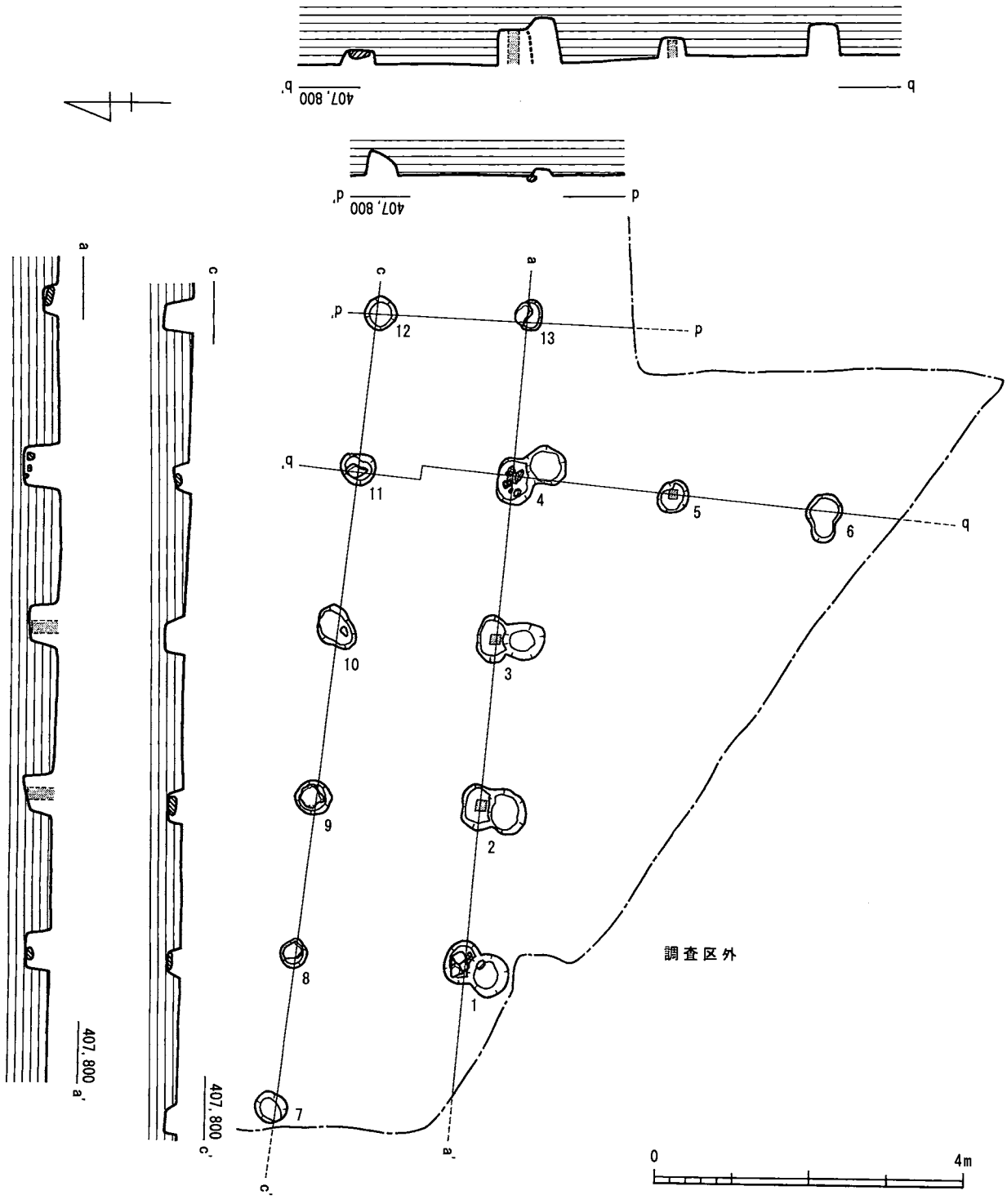
梁行２～３は2.2m（約7.3尺）である。

柱穴は直径40㎝、深さ20～60㎝であり、柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列はほぼ直線に並ぶ。柱痕跡は確認できなかった。

ＳＢ21（第38図）

遺跡南側（Ｇ・Ｈ－２・３・４区）に位置する遺構で、ＳＢ01、07、08、11、18、19、36、ＳＤ01と重複して建っている。ＳＢ01には切られているが、ＳＢ11、ＳＤ01は切っている。遺構西側が調査区外に懸かるため、遺構の全容は不明であるが、検出範囲では、桁行14.7m（49尺）、梁行6.1m（約20.3尺）の（6）間×２間北東２面庇の東西棟建物で、桁行方向はＥ６°Ｓである。

柱間寸法は桁行でａ－ａ’では22～１が1.2m（４尺）+2.1m（７尺）+2.1m（７尺）+2.1m（７尺）+2.2m（約7.3尺）+2.2m（約7.3尺）+2.1m（約７尺）である。ｄ－ｄ’では21～20が1.4m（約



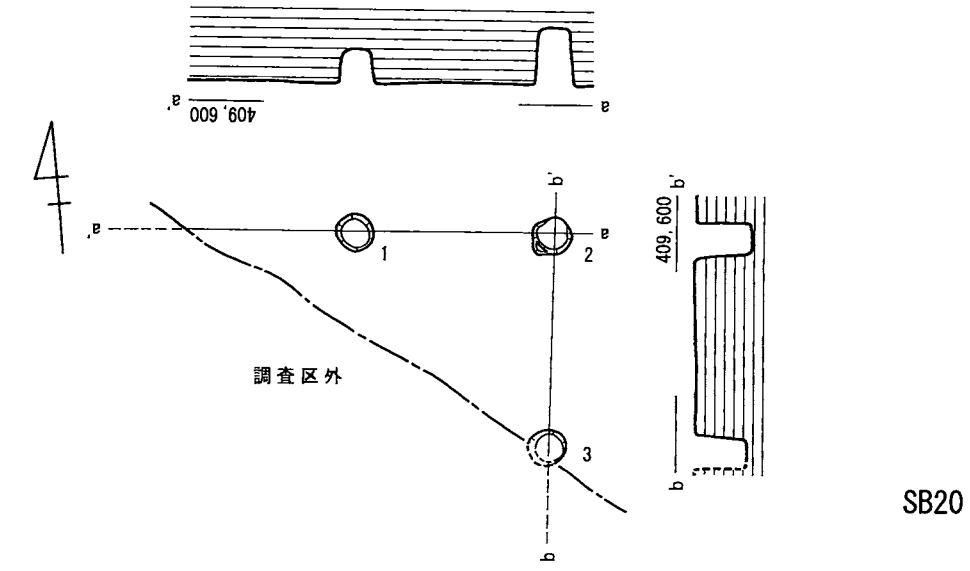
第36図　ＳＢ19実測図（1/80）

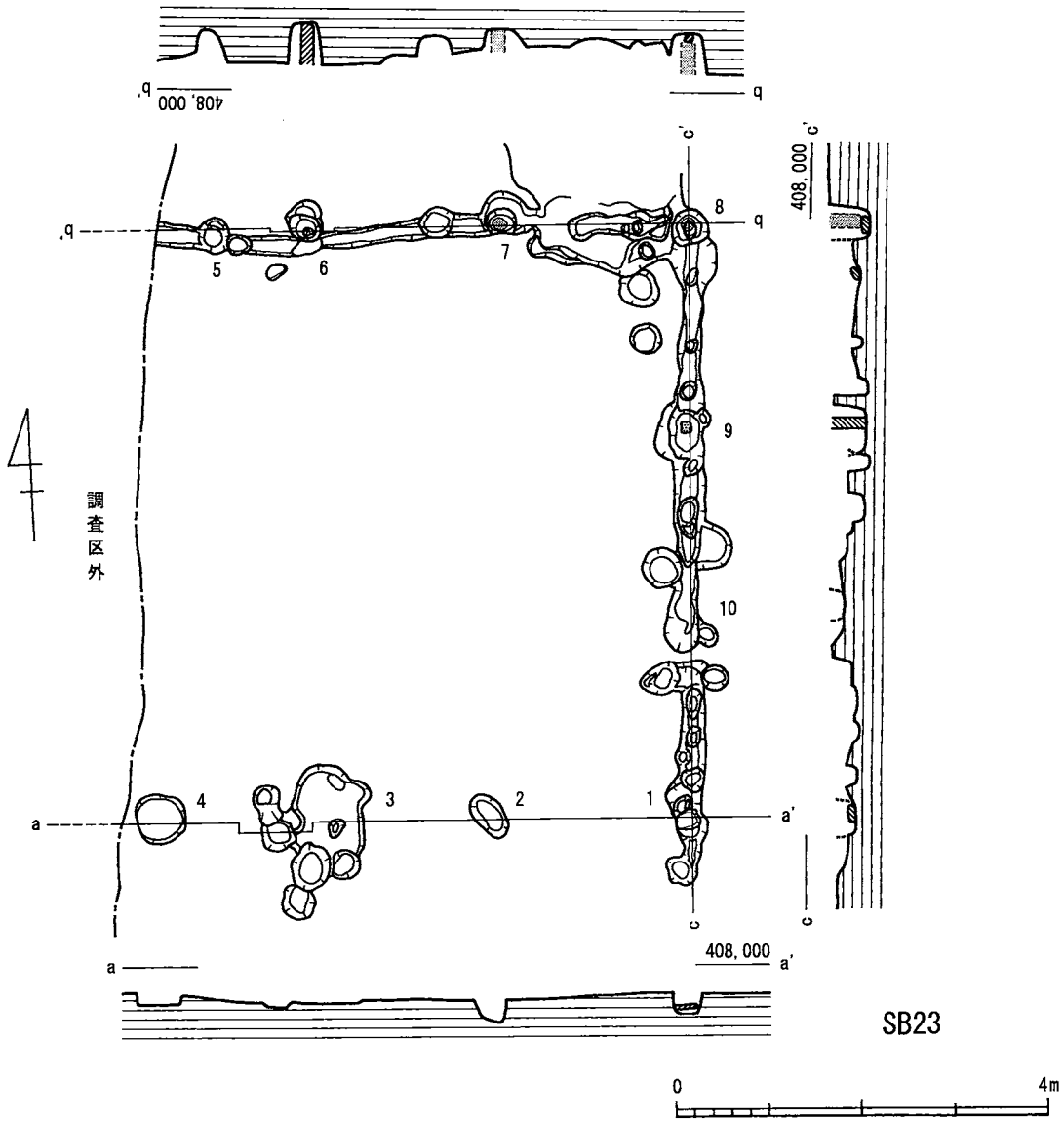
4.7尺）とやや開き気味であるが、他は2.1m（７尺）を基準としているようである。ｃ－ｃ’も2.1m（７尺）の間隔を基本としている。

梁行ｂ－ｂ’では20～９で1.2m（0.4尺）+2.5m（約8.3尺）+2.5m（約8.3尺）である。ｅ－ｅ’もほぼ同じ間隔である。

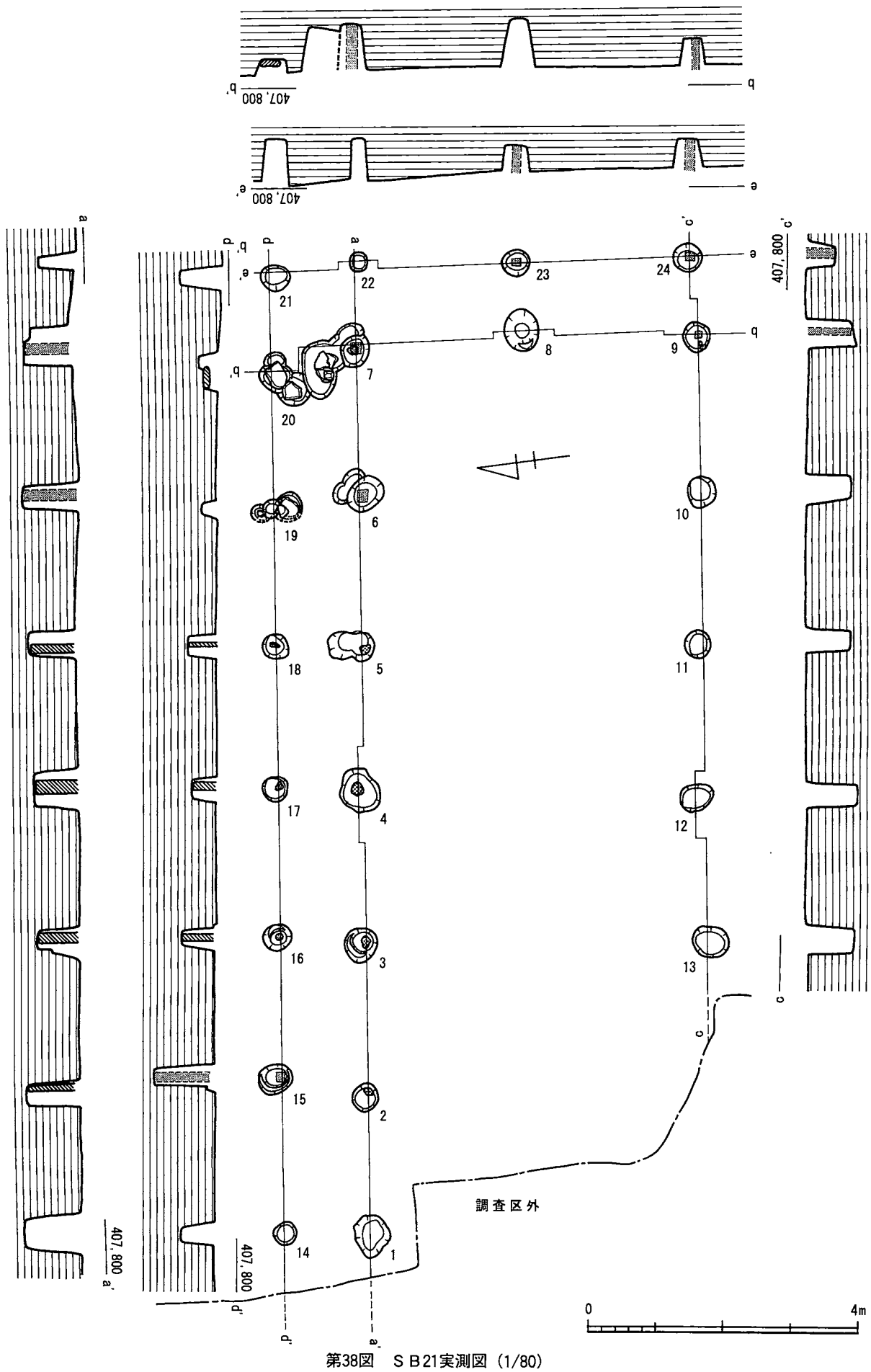
柱穴は身舎のもので直径40～64㎝、深さ70㎝ほどである。庇の柱は直径36～44㎝、深さ20～80㎝である。遺構の検出面がⅧ層上であったが、柱穴の直径及深さは地山からのものである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列は基本的には直線に整列する。

柱穴に柱材が残るものが10カ所あり、柱痕跡があるものが９カ所である。柱痕跡の直径は16～18㎝である。柱材が残る物は柱穴２、３、４、５、７、９、10、16、17、18。柱穴２のもの（写真図版138）は





第37図　ＳＢ20，23実測図（1/80）



第38図　ＳＢ21実測図（1/80）

12×14cm、長さ62cmの隅丸長方形に面取りをした柱で、材質はカヤ。表面の痛みが激しく、面取りの単位が不明確。先端は尖ったような形で腐食しており、廃棄の際に切り取られたようである。柱穴３のもの（写真図版140）は直径約16cm、長さ77cmの円形に近い断面多面形面取りをした柱で、材質はクリ。表面が痛み、面取りの単位が不明確。先端は尖ったような形で腐食しており、廃棄の際に切り取られたようである。柱穴４のもの（写真図版141）は16×18.5cm、長さ57cmの長方形に面取りをした柱で４隅の角を落としてある。材質はアサダ。遺存状態は良い。先端は尖ったような形で腐食しており、廃棄の際に切り取られたようである。柱穴５のもの（写真図版142）は14×14cm、長さ60cmの方形に面取りをした柱で４隅の角を落としてある。材質はクリ。遺存状態は良い。先端は尖ったような形で腐食している。柱穴７のもの（写真図版143）は13.5×13.5cm、長さ65cmの方形に面取りをした柱。材質はタブノキ。遺存状態は良い。先端は尖ったような形で腐食している。柱穴９のもの（写真図版144）は直径12cm、長さ76cmの円形の柱。面取りの単位は不明確。材質はクリ。先端は尖ったような形で腐食しているとともに、基部は破損している。柱穴９のもの（写真図版145）のものは直径14cm、長さ76cmの円形の柱。外皮が付き原木に近い。材質はクスノキ属。柱穴10のもの（写真図版146）は約直径15cm、長さ69cmの円形に面取りをした断面多面体の柱で13面に面取りを行っている。材質はクリ。遺存状態は良い。先端は尖ったような形で腐食している。柱穴16のもの（写真図版147）は11×14cm、長さ49cmの断面隅丸長方形柱で、表面の面取りの単位は不明確である。材質はクリ。側面は比較的残りがいいが、両端が腐食している。柱穴17のもの（写真図版148）は12.5×10cm、長さ38cmの長方形に面取りをした柱で、一部が欠損している。材質はカヤ。先端は尖ったような形で腐食している。

ＳＢ22（第39図）

遺跡中央（Ｅ・Ｆ－２・３区）に位置する遺構で、ＳＢ12、13、23、31、32、33、34、と重複して建っている。その全部のＳＢに切られており、ＳＢ22は遺跡の初期の遺構である。遺構西側が調査区外に懸かるため、遺構の全容は不明であるが、検出範囲内では桁行9.4m（約31.3尺）、梁行8.2m（約27.3尺）の（３）間×２間南北東３面庇の東西棟建物で東側には１間分張り出しのある変則的な建物である。桁行方向はＥ９°Ｓである。

柱間寸法は桁行でａ－ａ’では23～４が1.8m（６尺）＋1.8m（６尺）＋2.4m（８尺）＋2.4m（８尺）＋2.4m（８尺）である。他に３本通る桁行も、庇が1.8m（６尺）、身舎は2.4m（８尺）を基準としている。

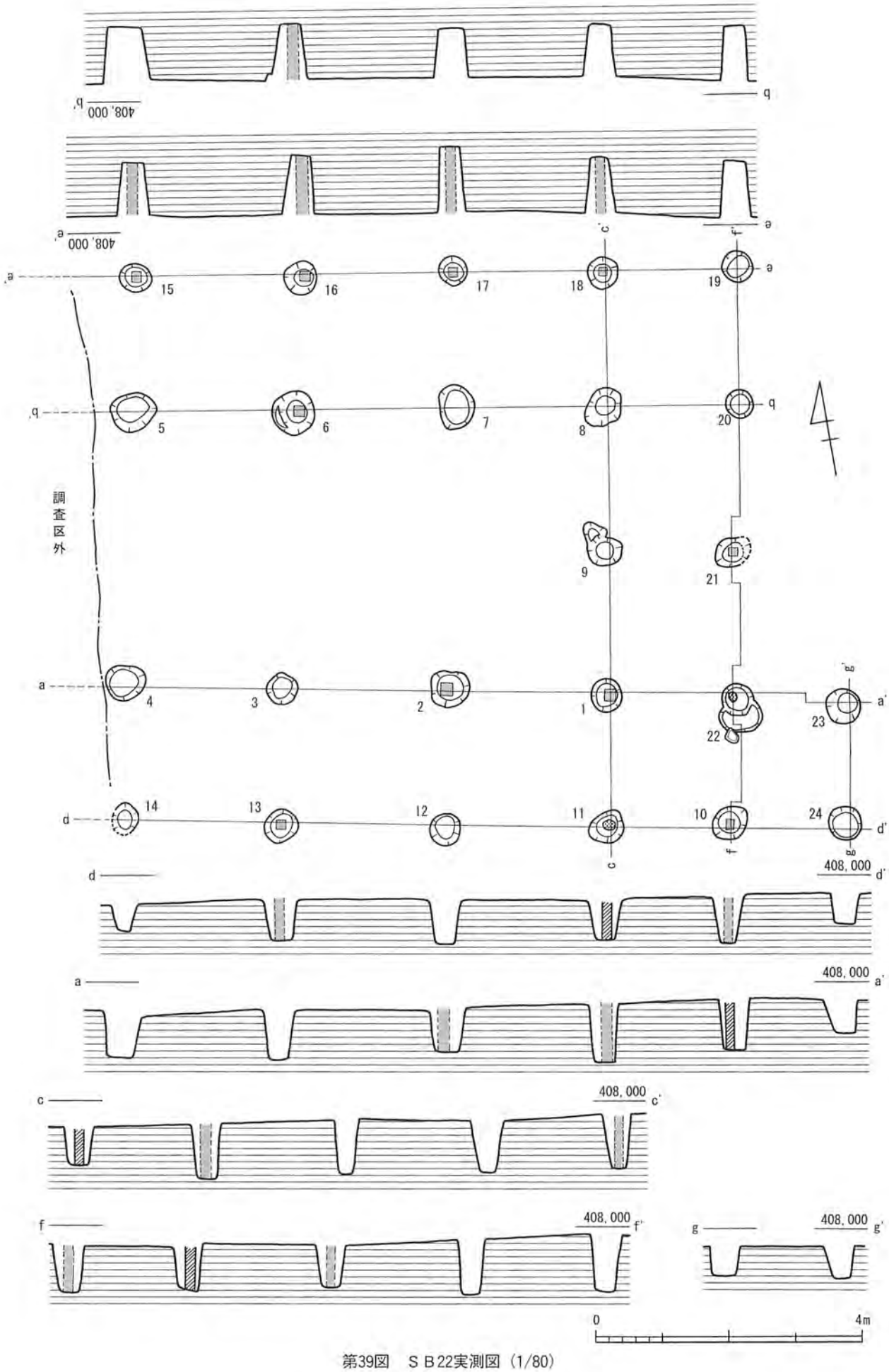
梁行ｃ－ｃ’では11～18で2.1m（７尺）の等間隔で、ｆ－ｆ’、ｇ－ｇ’では10～22間、24～23間が縮み加減だが、ほぼ同じ基準が守られている。

柱穴は身舎のもので直径48～68cm、深さ64～80cmほどである。庇の柱は直径44～46cm、深さ44～70cmである。遺構の検出面がⅧ層上であったが、柱穴の直径及深さは地山からのものである。柱穴の下端のレベルはほぼ一定する。柱列は基本的には直線に整列する。

柱穴に柱材が残るものが２カ所あり、柱痕跡があるものが10カ所である。柱痕跡の直径は16～18cmである。柱材が残る物は柱穴11、22の２カ所である。柱穴11のもの（写真図版149）は直径約16cm、長さ37cmで、多面的に面取りを行い、断面がほぼ円形をなす柱で、材質はクリ。遺存状態は良く、先端は尖ったような形で腐食しており、廃棄の際に切り取られたようである。柱の基部近くに４×６cmの穴を穿っている。柱穴22のもの（写真図版150）は直径約15cm、長さ42cmで、13面に面取りを行い、断面がほぼ円形をなす柱で、材質はクリ。遺存状態は良く、先端は尖ったような形で腐食している。

ＳＢ23（第37図）

遺跡中央部（Ｅ－３区）に位置する遺構で、ＳＢ22、31、ＳＤ03と重複する。ＳＢ22、ＳＤ03を切っており、ＳＢ31との切り合い関係は不明。遺構西側は調査区外となるため、遺構の全容は不明であるが、検出範囲で桁行6.1m（約20.3尺）、梁行6.3m（21



第39図　ＳＢ22実測図（1/80）

尺）の東西棟建物で検出面では桁行は３間である。桁行方向はＥ２°Ｓである。

柱間寸法は桁行８～５で2.1m（７尺）+2.1m（７尺）+1.1m（約3.7尺）である。１～４は2.1m（７尺）+1.8m（６尺）+1.8m（６尺）であり、柱間隔は不均等である。

梁行８～１は2.1m（７尺）の等間隔である。

柱穴は直径20～36㎝、深さ16～40㎝であり、柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列はほぼ直線に並ぶ。ｂ－ｂ’、ｃ－ｃ’の軸には深さ20㎝ほどの布堀の溝状遺構があり、柱穴は溝中にある。柱痕跡は１で確認できた。直径は16㎝ほどである。

柱穴に柱材が残る物は柱穴６、９の２カ所である。柱穴６のもの（写真図版151）は18×13.5㎝の長方形のもので一部が欠損する。長さ65㎝で、先端が尖り腐食する。材質はカヤ。柱穴９のもの（写真図版152）は14.5×14㎝、長さ52㎝で、４面に面取りを行い、断面が方形をなす柱で、材質はカヤ。遺存状態は良く、先端は尖ったような形で腐食している。

ＳＢ24（第40図）

遺跡北側（Ａ・Ｂ－２・３区）に位置する遺構で、ＳＢ26、27、28、29と重複している。切り合い関係は不明。桁行7.8m（26尺）、梁行4.5m（15尺）の４間×２間の東西棟建物と、桁行4.3m（約14.3尺）、梁行4.1m（約13.7尺）の２間×２間の方形建物を複合したような変形建物である。２間の切り合いという可能性もあるが、両者の桁、梁をそれぞれ１間伸ばした柱穴18や、ＳＫ05の関係から同一の建物とみたい。桁行方向はＥ１°Ｓである。

柱間寸法は桁行７～11で1.9m（約6.3尺）+2.1m（７尺）+1.9m（約6.3尺）+1.9m（約6.3尺）である。桁行５～１は、1.5m（５尺）+1.9m（約6.3尺）+2.3m（約7.7尺）+1.9m（約6.3尺）である。桁行14～８で2.1m（７尺）+2.4m（８尺）である。また、17～18では1.9m（約6.3尺）である。

梁行７～５は2.6m（約8.7尺）+1.9m（約6.3尺）である。梁行11～１は2.1m（７尺）+2.2m（約7.3尺）である。梁行14～16は2.1m（７尺）+2.0m（約6.7尺）である。梁行８～10もやや開き気味ながら同様の間隔である。

柱穴は直径18～44㎝、深さ16～36㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列は２、４、６でずれており、プランも正確な長方形を為さない。柱痕跡は確認できない。

ＳＢ25（第41図）

遺跡北側（Ｃ－２・３区）に位置する遺構で、ＳＢ26と重複している。切り合い関係は不明。遺構西側が調査区外となるため、遺構の全容は不明であるが、検出範囲内で桁行9.8m（約32.7尺）、梁行4.3m（約14.3尺）の（４）間×２間の東西棟建物である。桁行方向はＥ３°Ｎである。

柱間寸法は桁行５～１で2.3m（約7.7尺）+2.3m（約7.7尺）+2.2m（約7.3尺）+2.3m（約7.7尺）である。桁行６～９は、2.2m（約7.3尺）+2.1m（７尺）+2.1m（７尺）であり、両者の柱間隔は不均等である。

梁行９～１は2.1m（７尺）+2.2m（約7.3尺）である。

柱穴は直径24～40㎝、深さ24～42㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列は10、７でずれるものの、ほぼ直線に整列する。

柱痕跡は確認できない。

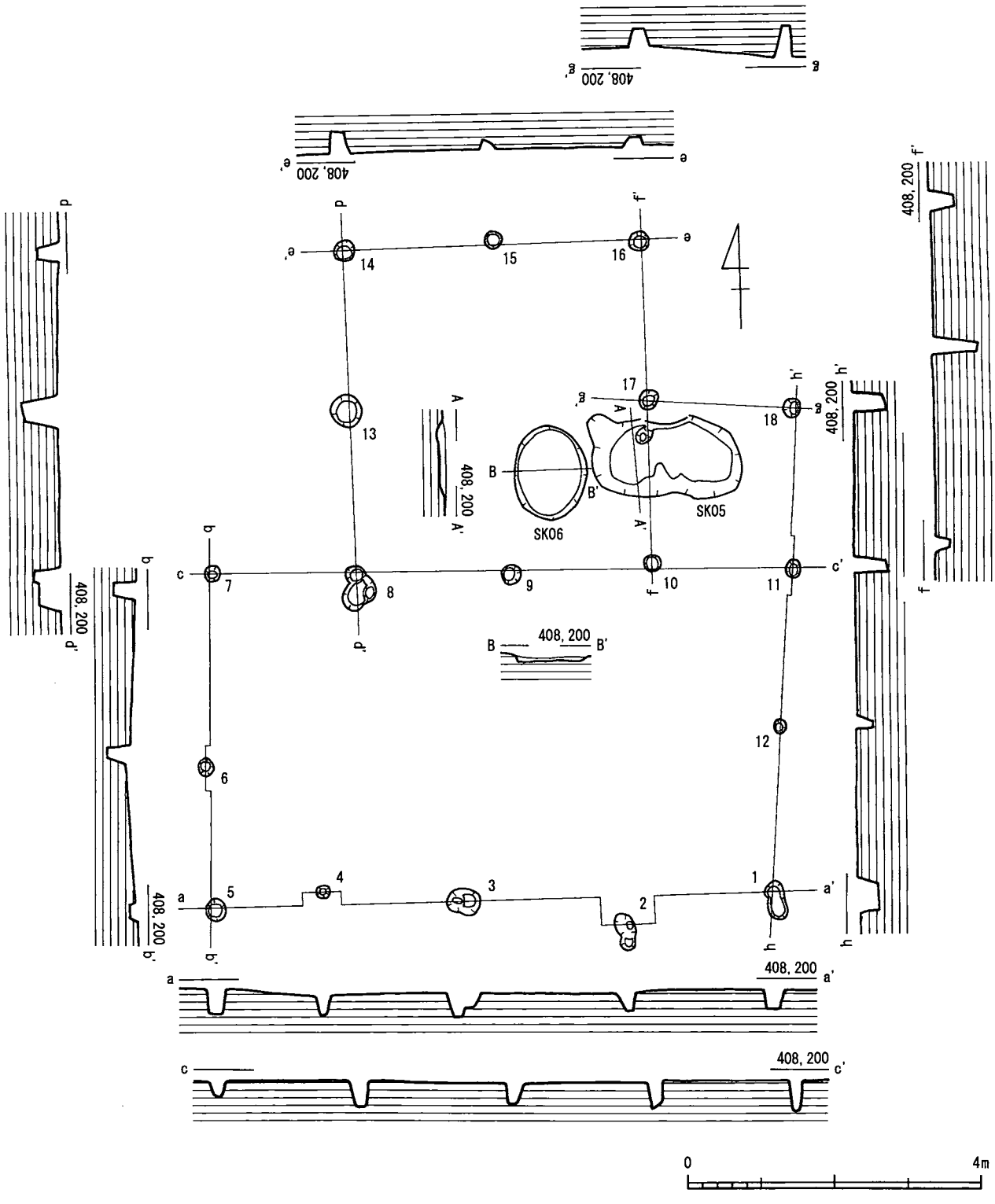
ＳＢ26（第41図）

遺跡北側（Ｂ・Ｃ－２・３区）に位置する遺構で、ＳＢ24、25、27と重複している。切り合い関係は不明。桁行7.2m（24尺）、梁行3.6m（12尺）の４間×２間の南北棟建物である。桁行方向はＮ５°Ｗである。

柱間寸法は桁行６～10で1.6m（約5.3尺）+2.1m（7尺）+1.7m（約5.7尺）+1.8m（６尺）である。桁行４～１は3.3m（11尺）+1.7m（約5.7尺）+2.1m（７尺）であり、４～３間に柱穴を欠き、南側桁行が狭まる。

梁行10～１は1.7m（約5.7尺）+1.9m（約6.3尺）である。

柱穴は直径20～40㎝、深さ24～56㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列は３でややず



第40図　ＳＢ24、ＳＫ05，06実測図（1/80）

れるものの、ほぼ直線に整列する。

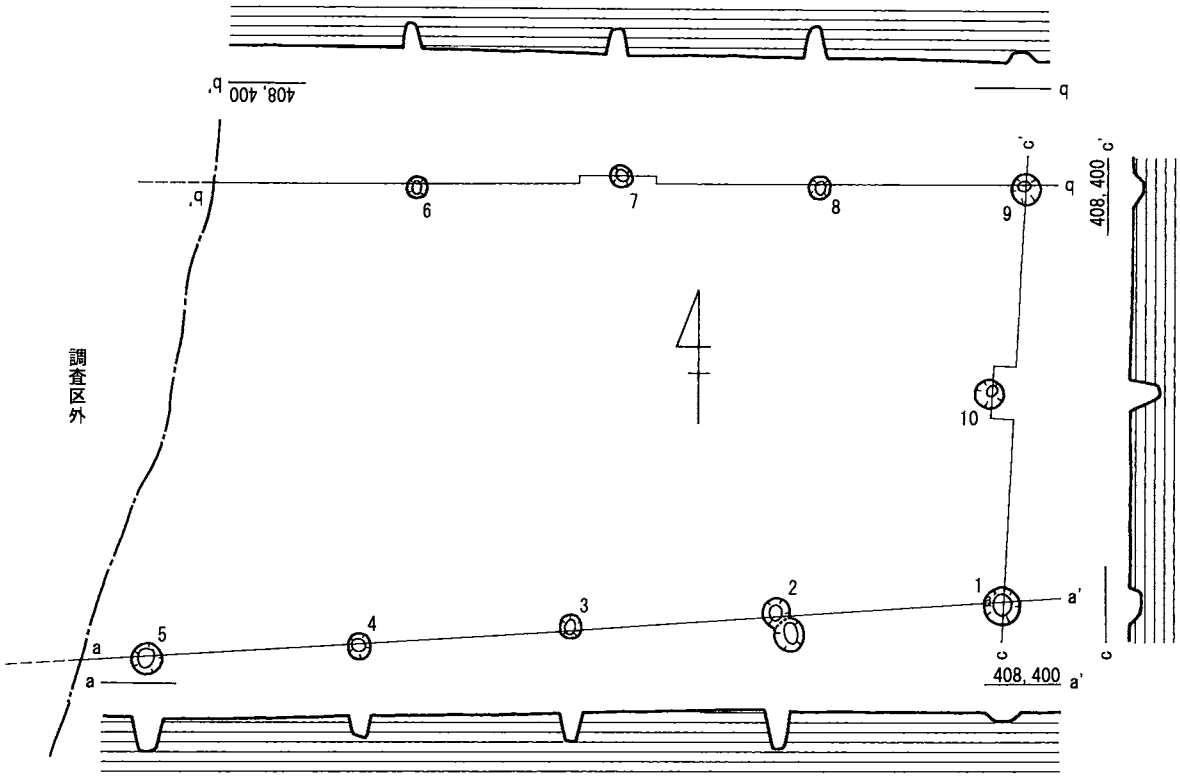
柱痕跡は確認できない。

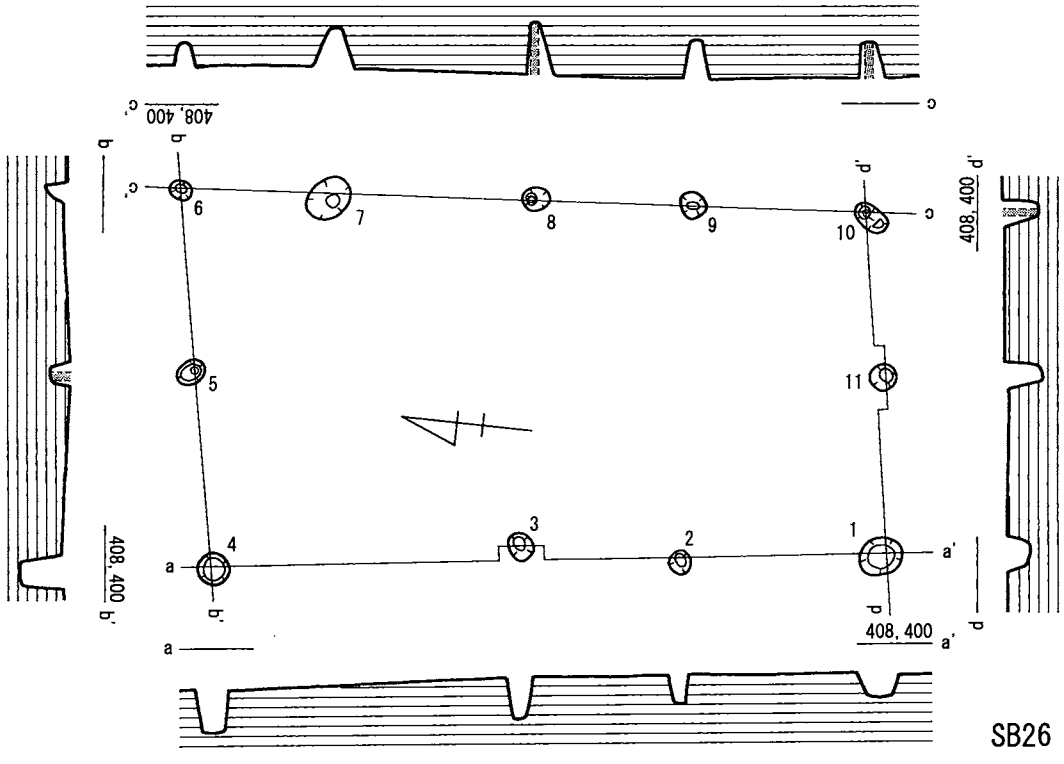
ＳＢ27（第42図）

遺跡北側（Ｂ・Ｃ－２・３区）に位置する遺構で、ＳＢ24、26、28、29と重複している。切り合い関係は不明。桁行5.4m(18尺)、梁行4.3m(約14.3尺)の３間×２間の東西棟建物である。桁行方向はＥ１°Ｎである。

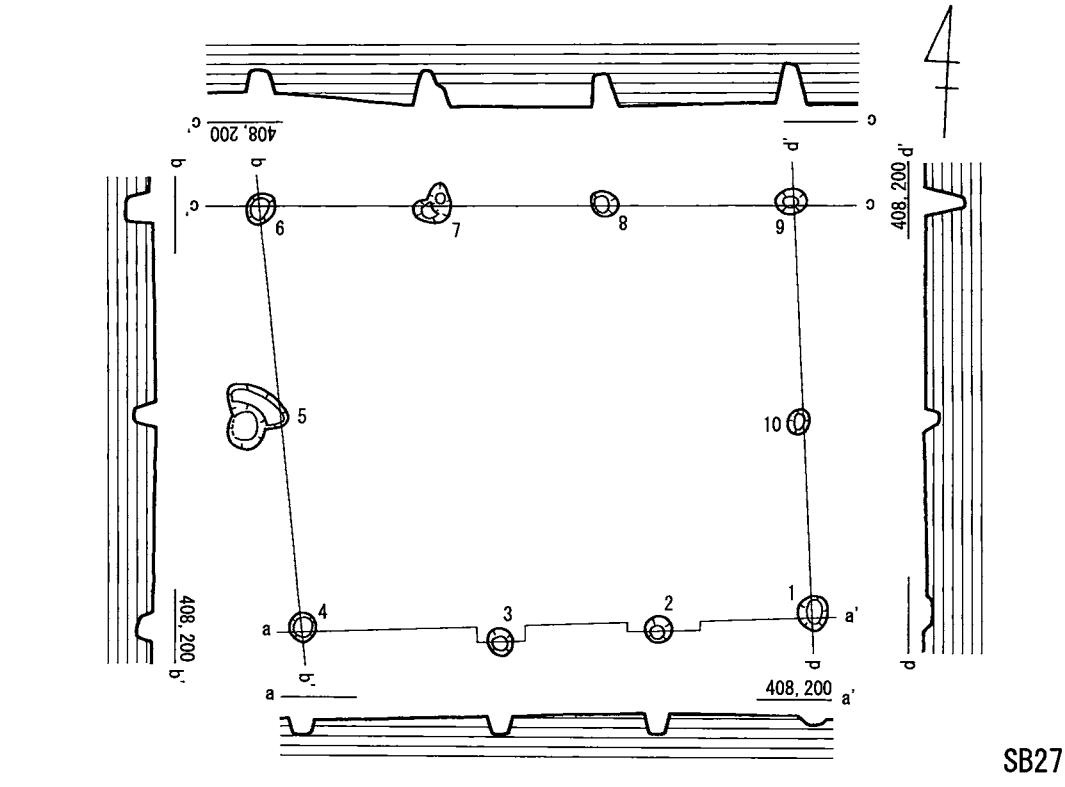
柱間寸法は桁行４～１で2.1m（７尺）+1.6m（約5.3尺）+1.7m（約5.7尺）である。桁行６～９は1.8m（６尺）+1.8m（６尺）+2.1m（７尺）であり、桁行は北に開いている。

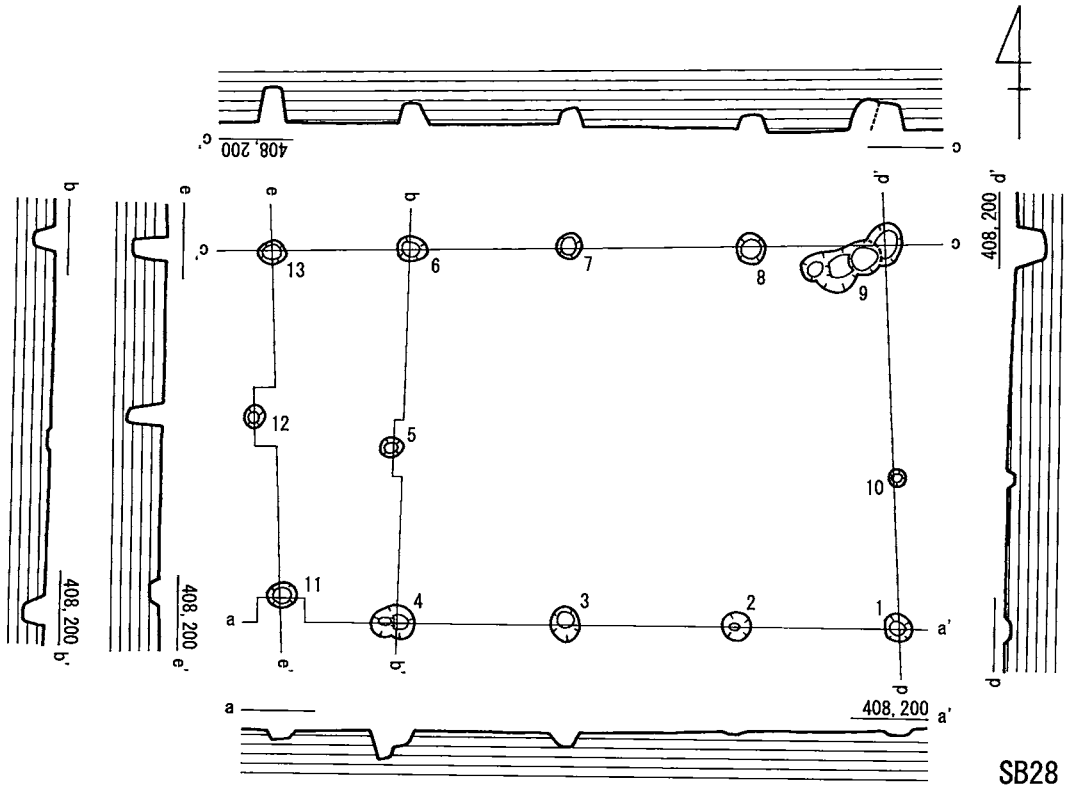
梁行10～１は1.7m（約5.7尺）+1.9m（約6.3尺）

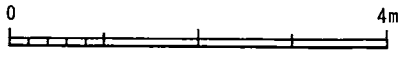




第41図　ＳＢ25，26実測図（1/80）







第42図　ＳＢ27，28実測図（1/80）

である。

柱穴は直径20～40㎝、深さ24～56㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列は３でややずれるものの、ほぼ直線に整列する。

柱痕跡は確認できない。

ＳＢ28（第42図）

遺跡北側（Ｂ－２・３区）に位置する遺構で、ＳＢ24、27、29と重複している。切り合い関係は不明。桁行6.6m(22尺)、梁行4.0m(約13.3尺)の３間×２間西面庇の東西棟建物である。桁行方向はＥ１°Ｎである。

柱間寸法は桁行11～１で1.2m（４尺）+1.8m（６尺）+1.8m（６尺）+1.7m（約5.7尺）である。桁行13～９は1.5m（５尺）+1.7m（約5.8尺）+1.9m（約6.3尺）+1.4m（約4.7尺）であり、両桁行は不均等である。

梁行９～１は2.4m（８尺）+1.6m（約5.3尺）である。梁行６～４は2.1m（７尺）+1.8m（1.2尺）+1.7m（約5.7尺）、梁行13～11は1.7m（約5.7尺）+1.9m（約6.3尺）と不均等である。

柱穴は直径18～38㎝、深さ８～36㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列は５、11、12でずれるものの、ほぼ直線に整列する。

柱痕跡は確認できない。

ＳＢ29（第43図）

遺跡北側（Ｂ－２・３区）に位置する遺構で、ＳＢ24、27、28と重複している。切り合い関係は不明。桁行5.5m(約18.3尺)、梁行4.4m（約14.7尺）の３間×２間の東西棟建物である。桁行方向はＥ１°Ｓである。

柱間寸法は桁行４～１で2.0m（約6.7尺）+1.9m（約6.3尺）+1.6m（約5.3尺）である。桁行６～９は1.7m（約5.6尺）+2.1m（７尺）+1.7m（約5.7尺）であり、両桁行は不均等である。

梁行９～１は2.5m（約8.3尺）+1.6m（約5.3尺）である。梁行６～４は2.3m（約7.7尺）+2.1m（７尺）と不均等であり、西側に梁が開いている。

柱穴は直径24～40㎝、深さ20～48㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列はほぼ直線に整列する。

柱痕跡は６、８で確認でき、直径は10～12㎝である。

ＳＢ30（第43図）

遺跡南側（Ｆ－３区）に位置する遺構で、ＳＢ07、08、11、31、33と重複している。切り合い関係は不明。遺構西側が調査区外に入っているが、検出範囲で桁行6.1m（約20.3尺）、梁行4.2m（14尺）の（３）間×２間の東西棟建物である。桁行方向はＥ１°Ｓである。

柱間寸法は桁行３～１で2.4m（８尺）+2.0m（約6.7尺）である。桁行４～６は2.0m（約6.7尺）の等間隔であり、両桁行は不均等である。

梁行６～１は2.2m（約7.3尺）+2.0m（約6.7尺）である。

柱穴は直径30～40㎝、深さ20～44㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱列はほぼ直線に整列する。

柱痕跡は４以外は全て確認でき、全て方形の柱痕跡であった。痕跡の一辺は10～12㎝である。

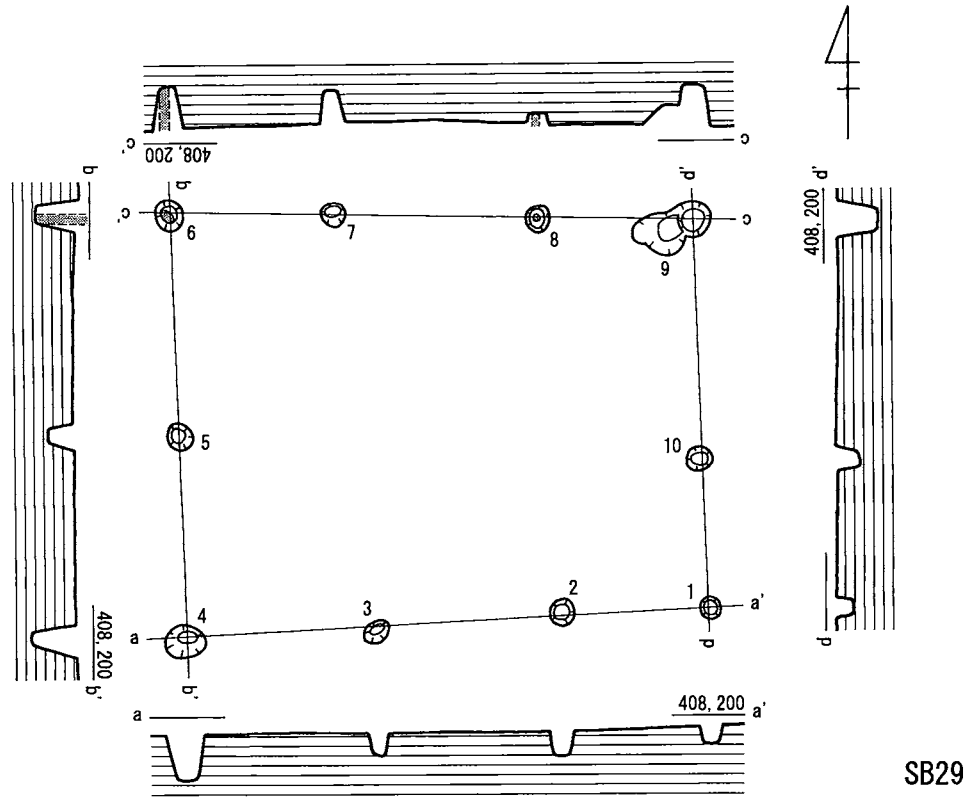
ＳＢ31（第44図）

遺跡南側（Ｅ・Ｆ－３区）に位置する遺構で、ＳＢ22、23、30、32、33、35と重複している。切り合い関係は不明。遺構西側が調査区外に入っているが、検出範囲で桁行9.0m（30尺）、梁行5.0m（約16.7尺）の４間×（３）間の南北棟建物である。桁行方向はＮ１°Ｅである。

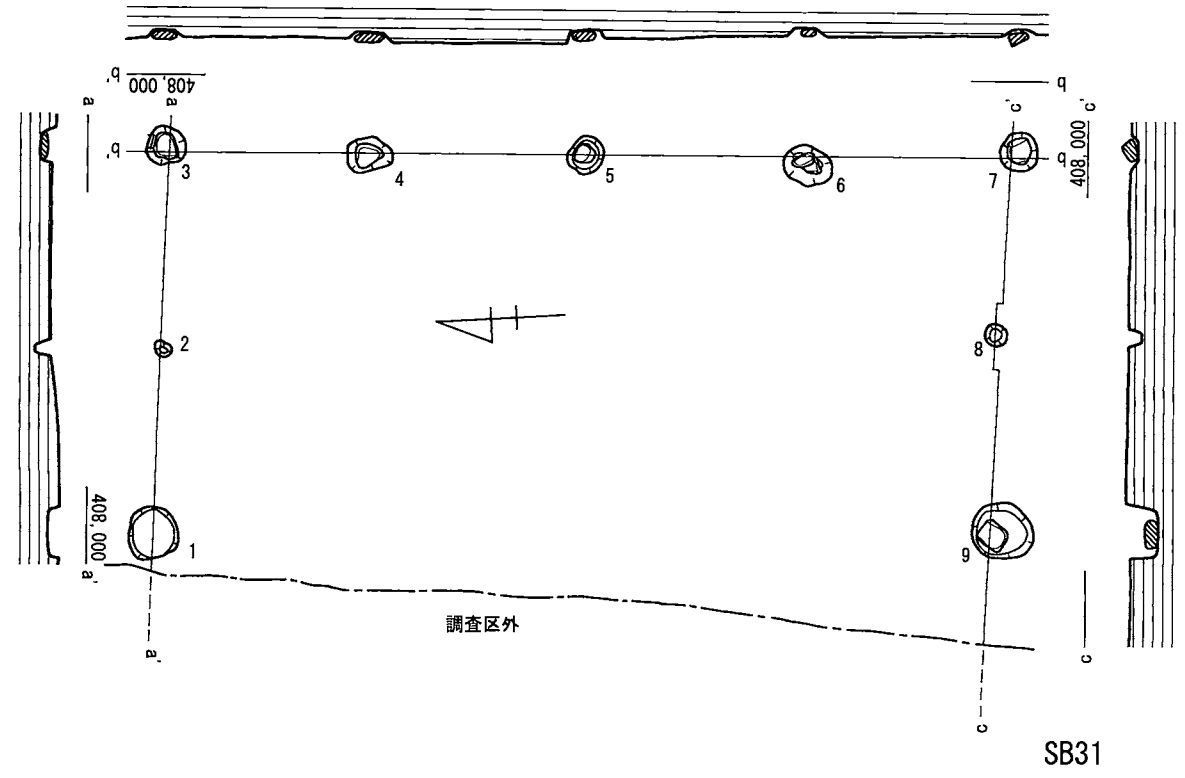
柱間寸法は桁行３～７で2.1m（７尺）+2.3m（約7.7尺）+2.3m（約7.7尺）+2.3m（約7.7尺）である。

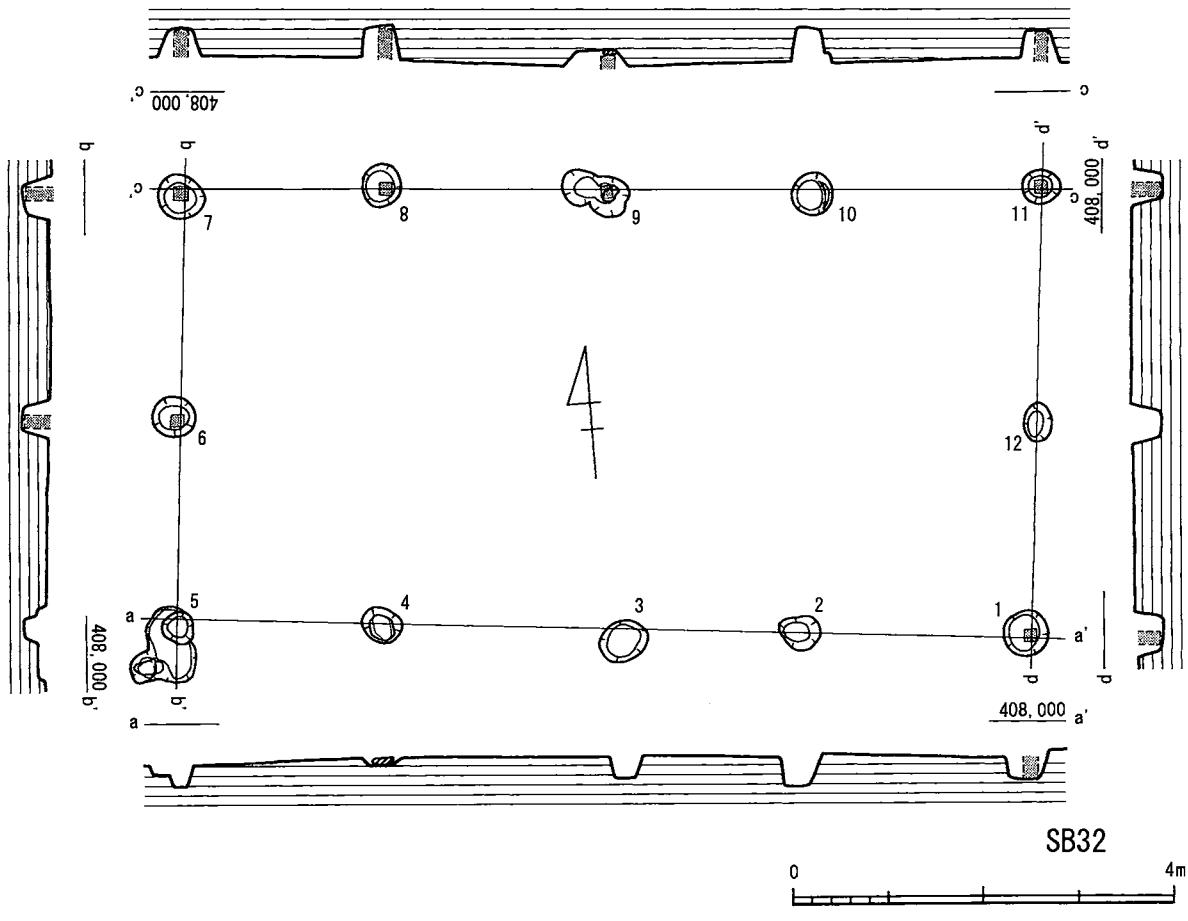
梁行７～９は1.9m（約6.3尺）+2.1m（７尺）である。梁行き３～１は2.1m（７尺）+1.9m（約6.3尺）である。

柱穴は直径24～64㎝、深さ８～24㎝である。梁行の２、８の柱が極端に小さいが、他は直径40㎝程度のものである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱穴１、２、８以外は礎盤が敷いてある。柱列はほ



第43図　ＳＢ29，30実測図（1/80）





第44図　ＳＢ31，32実測図（1/80）

ぼ直線に整列する。

柱痕跡は確認できなかった。

ＳＢ32（第44図）

遺跡南側（Ｆ－２・３区）に位置する遺構で、ＳＢ12、13、22、31、33、34と重複している。切り合い関係は不明。桁行9.0m（30尺）、梁行4.5m（15尺）の４間×２間の東西棟建物である。桁行方向はＥ７°Ｓである。

柱間寸法は桁行５～１で2.1m（７尺）+2.6m（約8.7尺）+1.8m（６尺）+2.5m（約8.3尺）である。桁行７～11は2.1m（７尺）+2.4m（８尺）+2.1m（７尺）+2.5m（約8.3尺）である。

梁行７～５は2.4m（８尺）+2.1m（７尺）である。梁行11～12は2.5m（約8.3尺）+2.2m（約7.3尺）であり、東にやや開き気味である。

柱穴は直径32～48㎝、深さ12～36㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱穴４は穴が浅く礎盤が敷いてある。柱列はほぼ直線に整列する。

柱痕跡は１、６、７、８、９、11で確認できた。全て方形の痕跡で、一辺が12～14㎝である。

ＳＢ33（第45図）

遺跡南側（Ｅ・Ｆ－３区）に位置する遺構で、ＳＢ12、13、22、31、32と重複している。切り合い関係は不明。桁行6.8m（約22.7尺）、梁行4.8m（16尺）の３間×２間の南北棟建物である。桁行方向はＮ５°Ｅである。

柱間寸法は桁行４～１で2.0m（約6.7尺）+2.0m（約6.7尺）+2.8m（約9.3尺）である。桁行６～９は2.3m（約7.7尺）+2.5m（約8.3尺）+2.1m（７尺）である。

梁行９～１は2.1m（７尺）+2.3m（約7.7尺）である。梁行６～４は2.3m（約7.7尺）+2.1m（７尺）である。

柱穴は直径28～52㎝、深さ８～36㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱穴３ずれるが、他はほぼ直線に整列する。

柱材が柱穴１に残り、柱痕跡は10以外は全て確認できた。柱痕跡は全て方形の痕跡で、一辺が12～14㎝である。

ＳＢ34（第45図）

遺跡南側（Ｆ－３区）に位置する遺構で、ＳＢ07、08、11、12、13、22、32、33と重複している。切り合い関係は不明。桁行4.6m（約15.3尺）、梁行3.8m（約12.7尺）の２間×２間の南北棟建物である。桁行方向はＮ５°Ｅである。

柱間寸法は桁行３～１で2.5m（約8.3尺）+2.1m（７尺）である。桁行５～７は1.9m（約6.3尺）+2.7m（９尺）であり、両桁行は不均等である。

梁行７～１は1.8m（６尺）+2.0m（約6.7尺）である。梁行５～３も同様の柱間隔である。

柱穴は直径36～64㎝、深さ８～44㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱穴１には礎盤を置く。柱穴はほぼ直線に整列する。

柱材が柱穴２に残り、柱痕跡は１、８以外は全て確認できた。柱痕跡は全て方形の痕跡で、一辺が15㎝である。

ＳＢ35（第46図）

遺跡南側（Ｆ・Ｇ－３区）に位置する遺構で、ＳＢ30、31、36と重複している。切り合い関係は不明。遺構の西側が調査区外に入るため、遺構の全容は不明であるが、検出範囲より、桁行3.9m（13尺）、梁行4.2m（14尺）の（２）間×２間の東西棟建物である。桁行方向はＥ５°Ｓである。

柱間寸法は桁行２～１で2.3m（約7.7尺）。桁行３～４は1.9m（約6.3尺）であり、両桁行は不均等である。

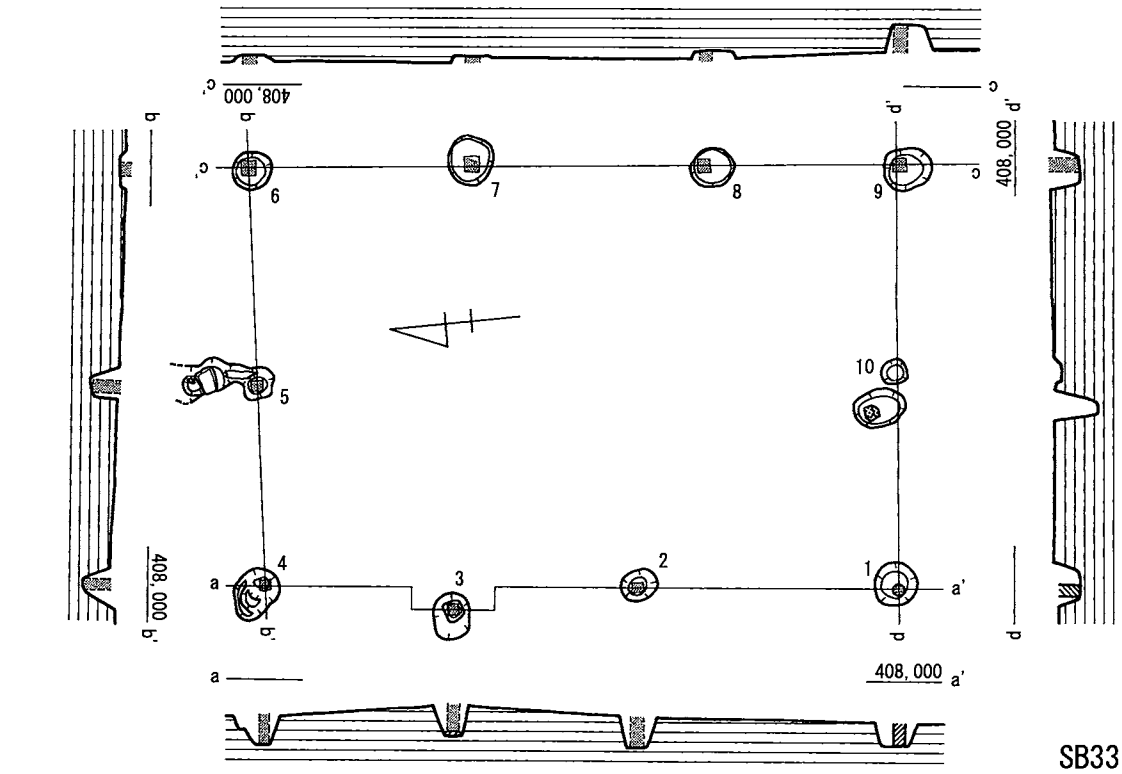
梁行４～１は2.1m（７尺）の等間隔である。

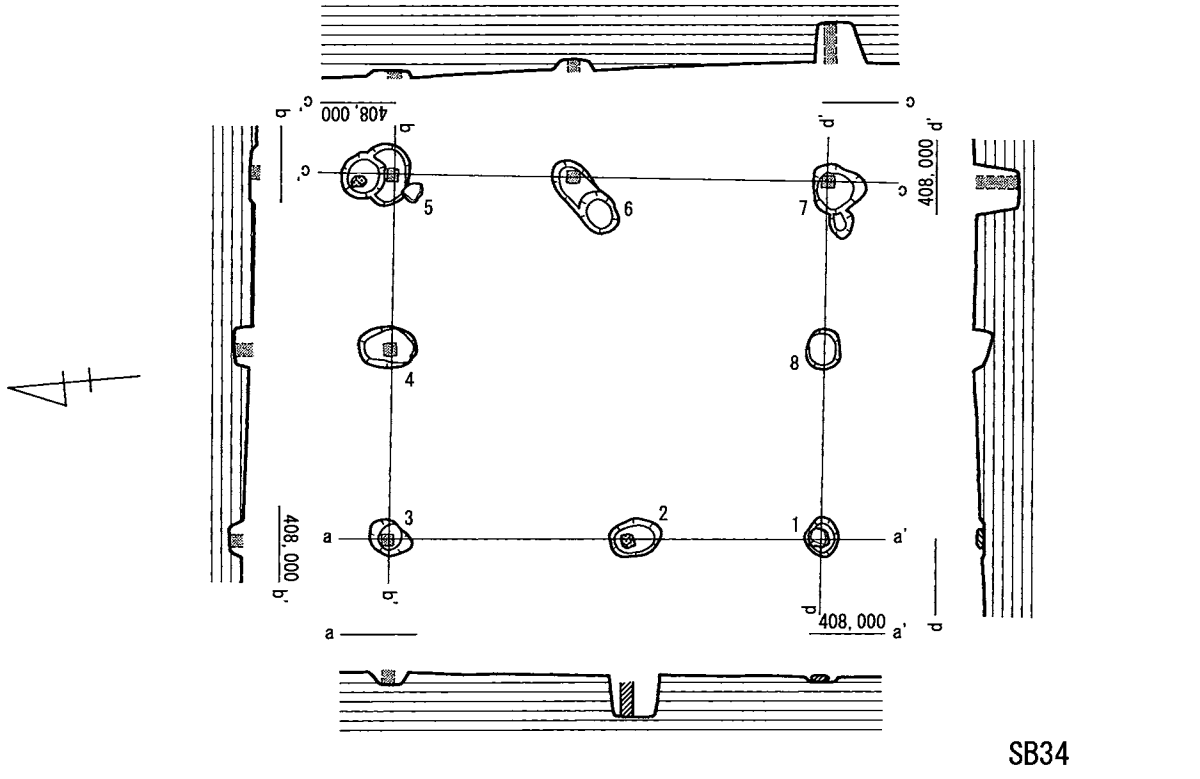
柱穴は直径36～44㎝、深さ20～44㎝である。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱穴はほぼ直線に整列する。

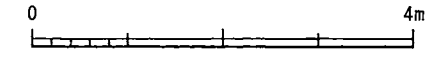
柱痕跡は１、３、５で確認できた。全て方形の痕跡で、一辺が12～14㎝である。

ＳＢ36（第46図）

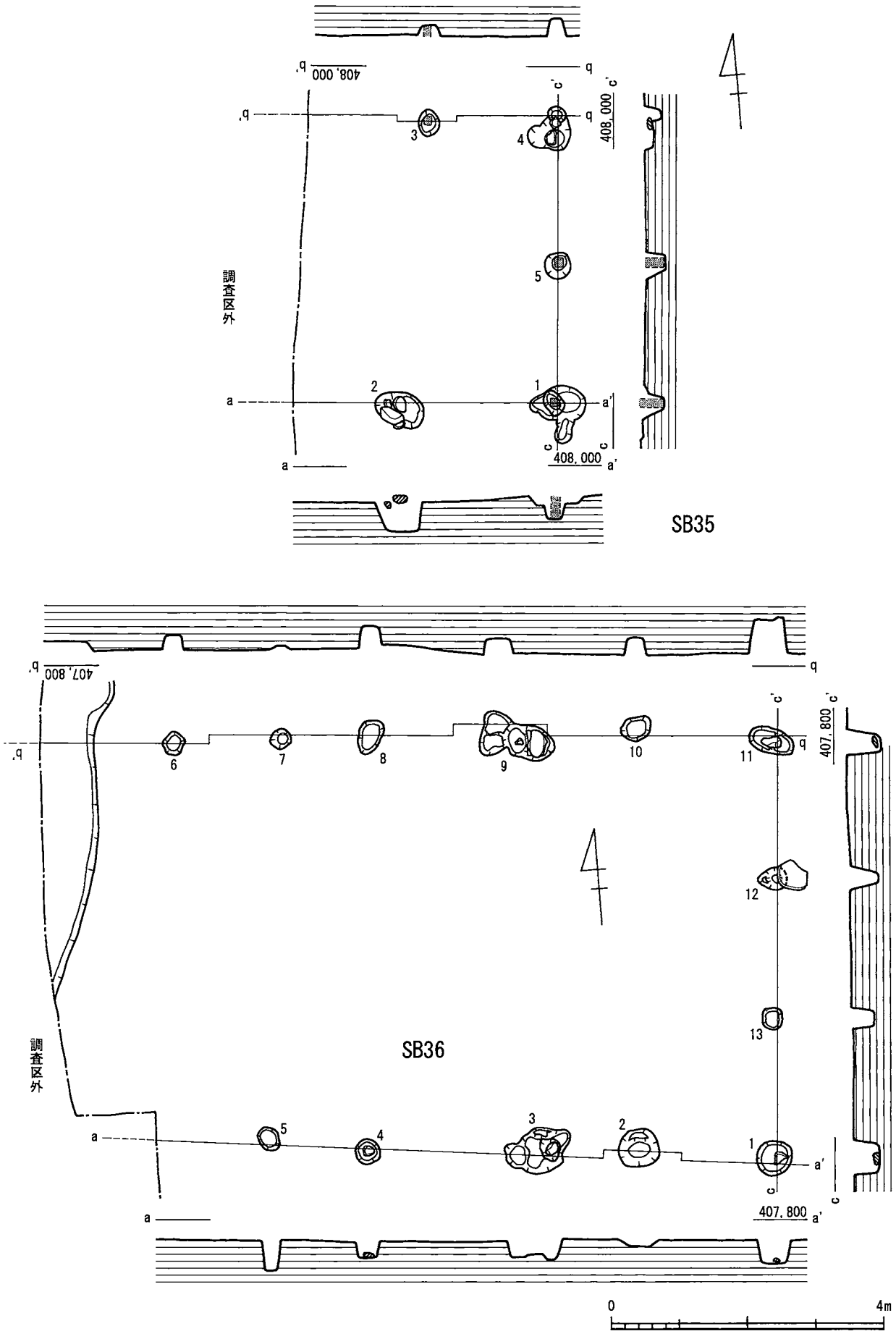
遺跡南側（Ｆ・Ｇ－３区）に位置する遺構で、ＳＢ07、08、11、21、30、35と重複している。切り合







第45図　ＳＢ33，34実測図（1/80）



第46図　ＳＢ35，36実測図（1/80）

い関係は不明。遺構の西側が調査区外に入るため、遺構の全容は不明であるが、検出範囲より、桁行10.8m（36尺）、梁行6.2m（約20.7尺）の（6）間×3間の東西棟建物である。桁行方向はE5°Sである。

柱間寸法は桁行5～1で1.4m（約4.7尺）+2.2m（約7.3尺）+1.8m（6尺）+2.0m（約6.7尺）。桁行6～11は1. 6m（約5.3尺）+1.3m（約4.3尺）+1.8m（6尺）+2.1m（7尺）+1.9m（約6.3尺）であり、両桁行は不均等である。

梁行11～1は2.0m（約6.7尺）+2.0m（約6.7尺）+2.1m（7尺）である。

柱穴は直径24～50cm、深さ20～48cmである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱穴はほぼ直線に整列する。

柱痕跡は確認できなかった。

SB37（第47図）

遺跡南側（F－1、G－1・2区）に位置する遺構で、SB07、08、09、SA14と重複している。切り合い関係は不明。遺構の東側が調査区外に入るため、遺構の全容は不明であるが、検出範囲より、桁行10m（約33.3尺）、梁行3.9m（13尺）の5間×（2）間の西面庇南北棟建物である。桁行方向はN9°Eである。

柱間寸法は桁行6～1で1.8m（6尺）+2.1m（7尺）+2.0m（約6.7尺）+2.0m（約6.7尺）+2.1m（7尺）。桁行13～8は1.9m（約6.3尺）+1.9m（約6.3尺）+1.9m（約6.3尺）+1.9m（約6.3尺）+2.2m（約7.3尺）であり、庇部分でやや桁行が狭まる。

梁行7～13は1.9m（約6.3尺）+1.3m（約4.3尺）である。1～8の庇部分も同様の柱間隔である。

柱穴は直径24～44cm、深さ20～64cmである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱穴はほぼ直線に整列する。

柱痕跡は確認できなかった。

SB38（第47図）

遺跡中央（D－3区）に位置する遺構で、SD04と重複している。SD04を切っている。桁行4.6m（約15.3尺）、梁行3.4m（約11.3尺）の2間×2間の南北棟建物である。桁行方向はN10°Eである。

柱間寸法は桁行3～1で2.5m（約8.3尺）+2.1m（7尺）。桁行5～7は2.2m（約7.3尺）+2.1m（7尺）であり、東側に桁行が開く。

梁行5～3は1.7m（約5.7尺）の等間隔である。梁行7～1も同様の柱間隔である。

柱穴は直径28～40cm、深さ20～32cmである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱穴はほぼ直線に整列する。

柱痕跡は確認できなかった。

SB39（第48図）

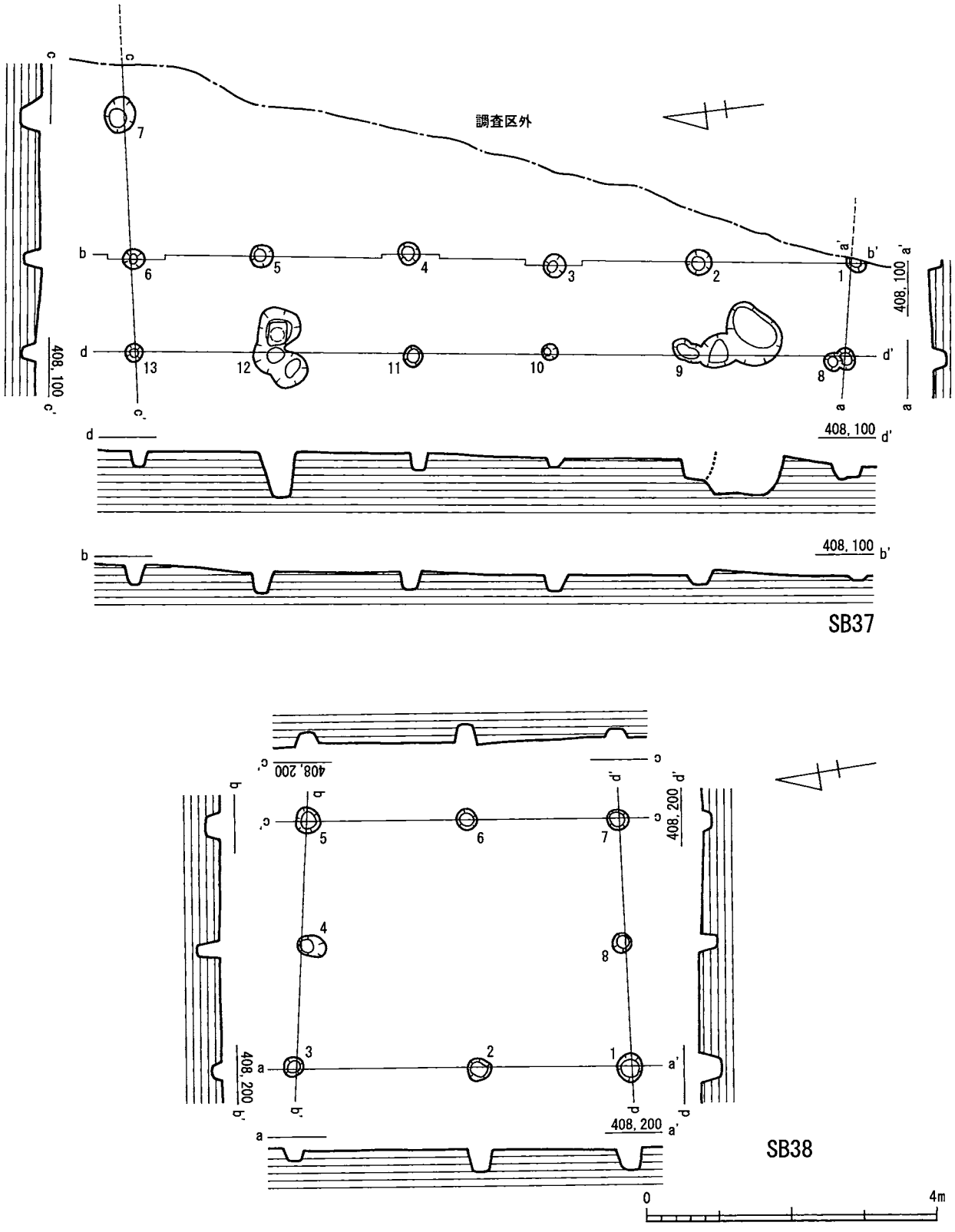
遺跡南側（F－1・2区）に位置する遺構で、SB12、13、17、SD01、06と重複している。SD01は切っているが、SBとの切り合い関係は不明。桁行6.2m（約20.7尺）、梁行3.9m（11尺）の3間×2間の東西棟建物である。桁行方向はE3°Sである。

柱間寸法は桁行4～1で2.1m（7尺）+2.1m（7尺）+2.0m（約6.7尺）。桁行6～8は4.3m（約14.3尺）+2.1m（7尺）であり、桁行は北側は開いている。尚、6～7間の柱穴は削平により消失しているものと思われる。

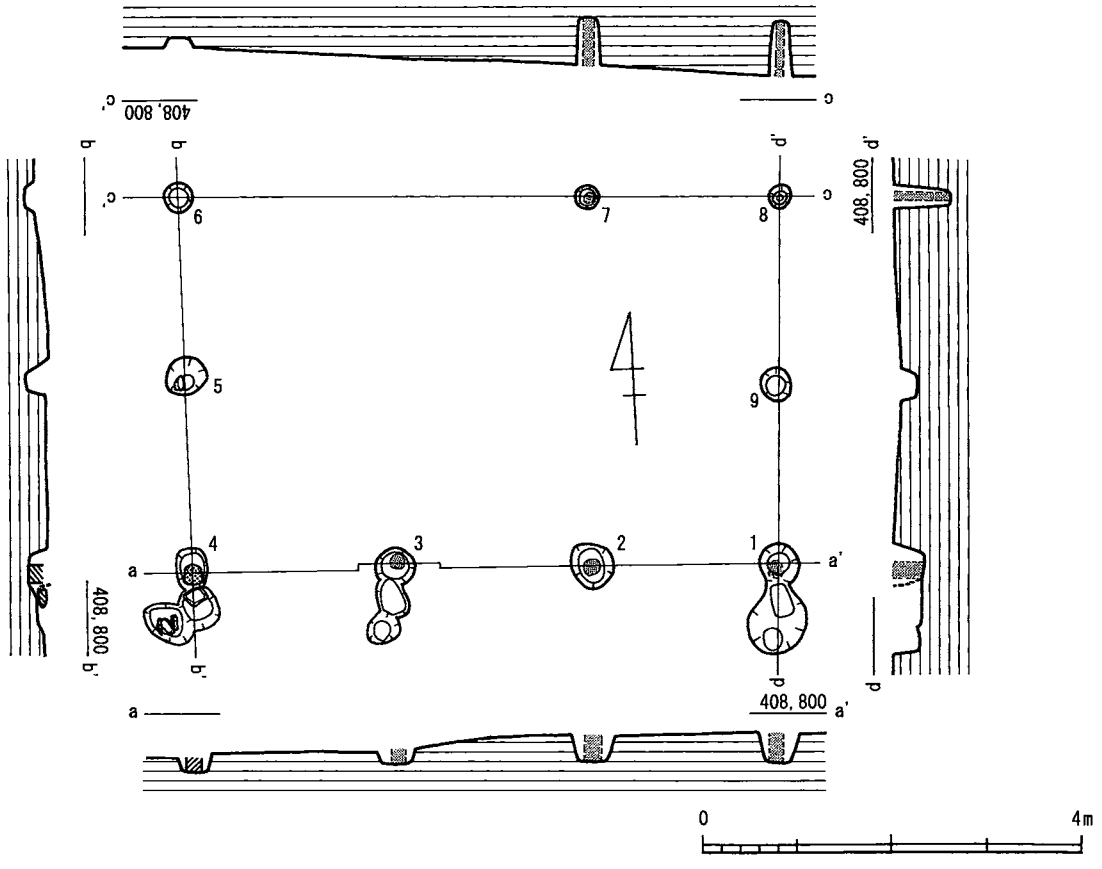
梁行6～4は1.9m（約6.3尺）の等間隔である。梁行8～1も同様の柱間隔である。

柱穴は直径24～48cm、深さ16～36cmである。柱穴の下端のレベルは一定ではない。柱穴はほぼ直線に整列する。

柱材が遺存するものは柱穴3、4、5、7、8の5カ所であり、柱痕跡があるものが2カ所である。柱痕跡の直径は16～18cmである。柱穴3に遺存する柱材は（写真図版153）、直径約16cm、長さ16cmで、多面的に面取りを行い、断面がほぼ円形をなす柱で、材質はクリ。痛みが激しく、面取りの単位は不明。先端は尖ったような形で腐食しており、廃棄の際に切り取られたようである。柱穴4のもの（写真図版154）は19×18cmの方形に面取りを行い、4隅の角を削り取った、断面隅丸方形の柱で、長さ18cm。材質はモミ属。遺存状態は良く面取りの単位は比較的判りやすい。先端は尖ったような形で腐食している。



第47図　ＳＢ37，38実測図（1/80）



第48図　ＳＢ39実測図（1/80）

柱穴５のもの（写真図版155）は12×12㎝の２面に面取りを行った断面方形の柱材で他の２面は欠損している。長さ27㎝。材質はオニグルミ。２枚の礎盤に挟まれた様な形で埋まっており、立て替え以前の柱材である。先端は尖ったような形で腐食している。

３－２　遺物

38棟ある掘立柱建物からは、破片を中心に柱穴から多くの遺物が出土している。埋土に混入したと思われる土師器片が最も多かったが、ここでは、その中で図化に足る物を遺構別に紹介したい。

49－１　ＳＢ07より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅲ１類。復原口径9.2㎝。器高2.3㎝。体部は回転ヘラ削りを行う。見込み周辺には沈線を刻み、その内側をヘラで掻き取る。釉は灰オリーブ色で、高台畳付付近まで施釉する。

49－２　ＳＢ08柱穴22より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅷ１ａ類。口径9.2㎝。器高2.0㎝。体部は回転ヘラ削りを行い、見込み内にはヘラで草文を描く。釉は灰黄白色で、全面施釉の後、底部の釉を掻き取る。底部には墨書があり、「一上」と読める。

49－３　ＳＢ08柱穴20より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅷ２類。復原口径16㎝。器高5.8㎝。外面は口縁部付近まで回転ヘラ削りを行う。見込みは蛇の目状に釉を掻き取る。釉はオリーブ黄色で体部中位まで施釉。貫入多し。

49－４　ＳＢ08柱穴22より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅷ２類。口径16.1㎝。外面は口縁部付近まで回転ヘラ削りを行う。見込みは蛇の目状に釉を掻き取る。釉は明オリーブ灰色で高台付近まで施釉。

49－５　ＳＢ08柱穴１より出土した青白磁碗。復原口径16.9㎝。外面体部は回転ヘラ削りを行い、内面は８本単位のクシで流水状に施文する。釉は明緑灰色。

49－６　ＳＢ08柱穴23より出土した青白磁碗。外面体部はヘラ削りを行い、内面は８本単位のクシで流水状に施文する。見込みにはヘラで魚文を描く。釉

は明緑灰色。

49－7　ＳＢ08柱穴11より出土した白色土師器埦。吉備産か。口径13㎝。灰白色のきめ細かな胎土を持つ。口縁部内外面は回転ナデを施すが、押し出しにより底部を丸底化する。体部中位以下は内外面とも手持ちナデを施す。外面には縦に墨痕の様なものが認められる。

49－8　ＳＢ08より出土した土師器皿。口径8.0㎝。器高1.7㎝。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じる。色調はにぶい橙色。見込みは１度強い横ナデを施す。器高が高く、体部が開く。

49－9　ＳＢ08柱穴36より出土した土師器皿。口径8.6㎝。器高1.2㎝。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じる。色調はにぶい橙色。見込みは横ナデをしない。

49－10　ＳＢ08柱穴６より出土した土師器皿。口径7.8㎝。器高1.3㎝。底部は糸切り。胎土は比較的細やか。色調はにぶい橙色。見込みは軽く横にナデる。

49－11　ＳＢ08柱穴18より出土したは土師器皿。口径9.6㎝。器高1.6㎝。底部は糸切り。胎土は比較的細やか。色調はにぶい橙色。見込みは横方向に軽く数回ナデる。口縁部は薄く引き上げ、体部は開く。

49－12　ＳＢ08柱穴17より出土した土師器皿。復原口径8.6㎝。器高1.3㎝。底部は糸切り。底部に板目圧痕がある。胎土は比較的細やか。色調はにぶい橙色。内面は黒色土器Ａ類のようにカーボンを付着させている。見込みは軽く横にナデる。

49－13　ＳＢ08柱穴56より出土した木器椀。口径13.2㎝。器高3.5㎝。体部内外面は回転ノミ削りで、底部内外面にはノミ削り痕が明確に残る。底部は厚く、口縁部は薄く引き上げる。木取りは板目。材質はカツラ。

49－14　ＳＢ08柱穴６より出土した木器。面子の底状のもので、一部欠損をしているが、円の周辺は斜めに面取りをしている。直径8.4㎝。厚み1.1㎝。木取りは板目。材質はカツラ。

49－15　ＳＢ02内ＳＫ20より出土した鉄製刀。長さ14.9㎝。腐食により、かなり錆で膨張しているが、中心の地金の部分は2.0×1.0㎝の断面長方形。

49－16　ＳＢ11柱穴23より出土したは木器椀。底部だけが残る。底径7.0㎝。体部内外面は回転ノミ削りを行う。木取りは板目。材質はケヤキ。

49－17　ＳＢ12柱穴10より出土した青白磁碗。底径5.3㎝。外面体部はヘラ削りを行う。見込みに沈線有り。釉は濁った灰白色で高台付近まで施釉。高台は低く削り上げ、高台内部には赤変した焼台痕が残る。

49－18　ＳＢ12柱穴６より出土した青白磁梅瓶。外面体部は４本目のクシで渦巻き状に施文。釉は明青白色。

49－19　ＳＢ12柱穴13より出土した褐釉壺で、胴部のみ出土。Ⅲ’層より出土した127－24の壺口縁部と同一固体の可能性がある。外面は轆轤目の外にハケ目のようなものが斜めに入っている。

49－20　ＳＢ12柱穴37より出土した瓦質火鉢。復原口径48.0㎝。内外面ともに回転ナデ調整。底部の粘土板と胴部の接合面に指頭圧痕あり。出土破片は脚を付けたものであった。合計で３つ付くものと思われる。外面口縁部には直径2.8㎝ の菊花のスタンプを押す。破片では２個連続になっているが、数個単位の固まりを為すものと思われる。

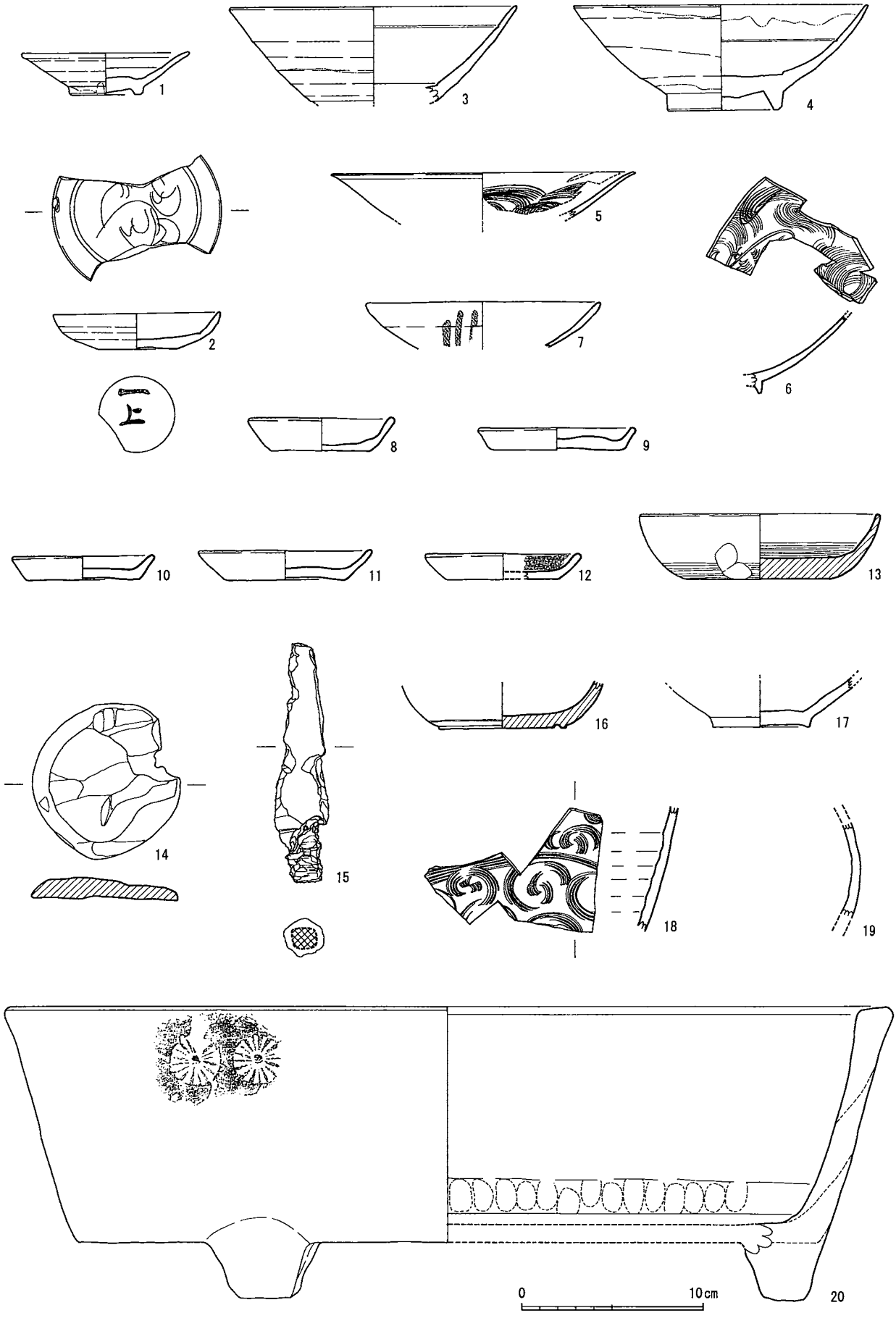
50－1　ＳＢ12柱穴13より出土した土師器皿。復原口径8.4㎝。器高1.4㎝。底部は糸切り。比較的細かい胎土。色調は橙色。見込みはナデない。底部周辺は丁寧にナデられ、丸みをおびる。

50－2　ＳＢ12柱穴19より出土した土師器皿。口径7.9㎝。器高1.5㎝。底部は糸切り。胎土は比較的細かい胎土。色調はにぶい橙色。見込みは横ナデをしない。

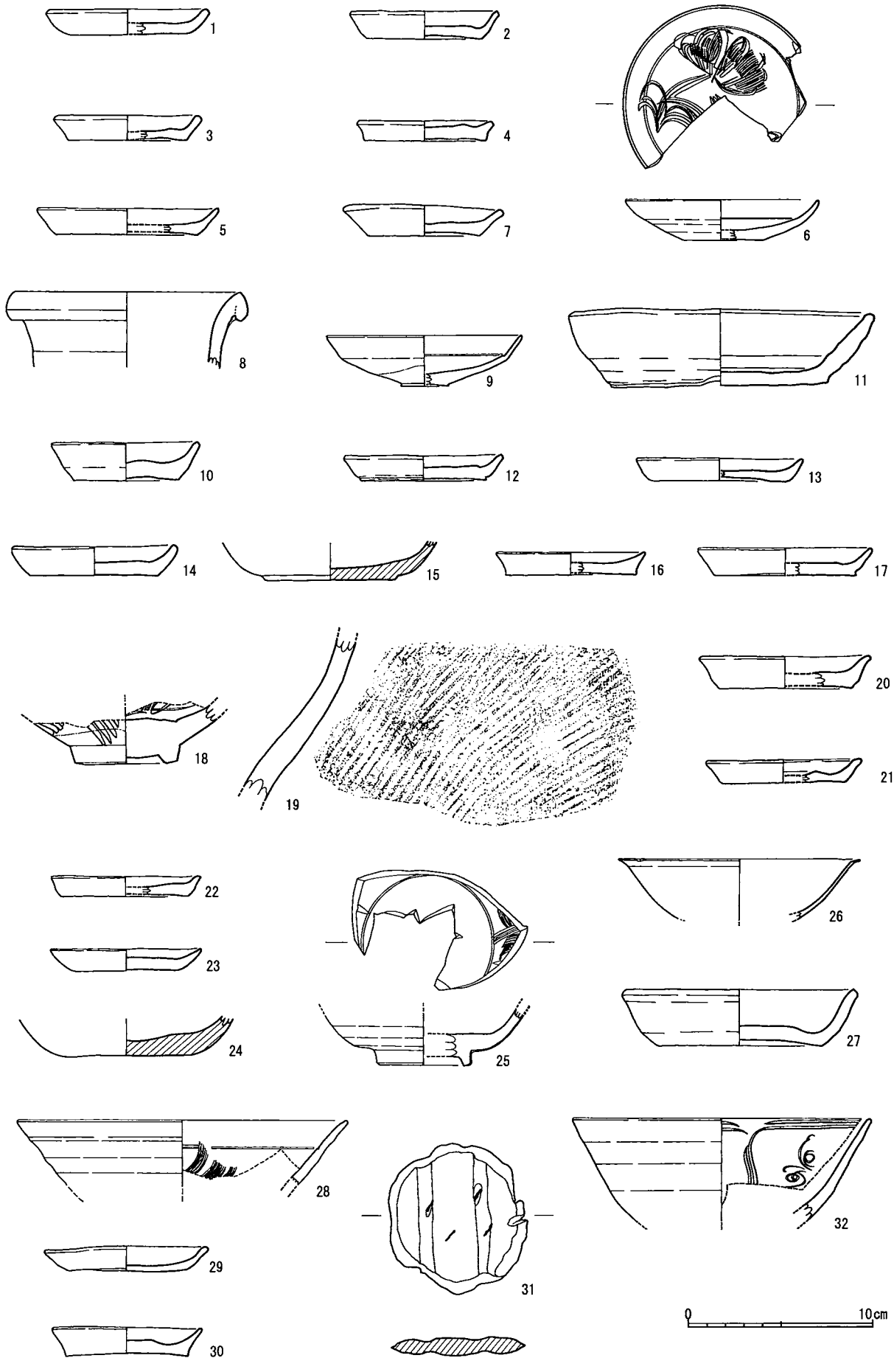
50－3　ＳＢ12柱穴９より出土した土師器皿。復原口径7.4㎝。器高1.4㎝。底部は糸切り。胎土は砂目が多く粗い。色調は橙色。見込みは軽く横にナデる。

50－4　ＳＢ12柱穴19より出土した土師器皿。復原口径7.3㎝。器高1.1㎝。底部は糸切りで、板目圧痕有り。胎土は砂目が多く粗い。色調は橙色。見込みは横方向に軽く２回ナデる。口縁部はあまり立ち上がらず扁平。

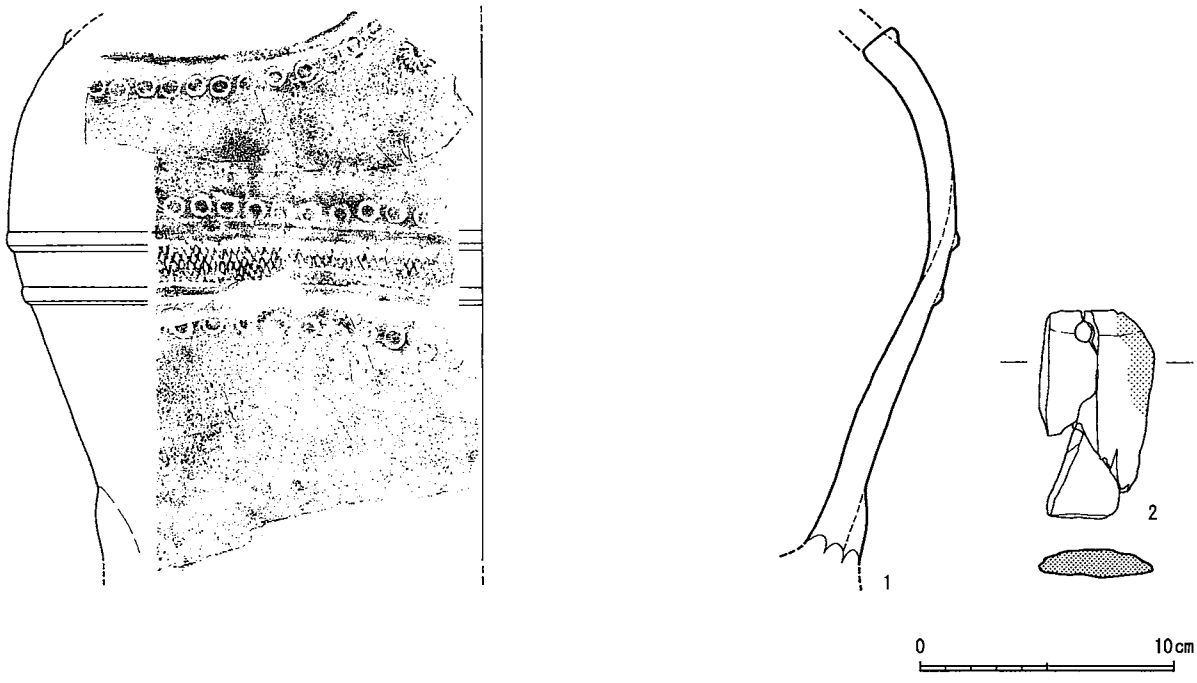
50－5　ＳＢ12柱穴９より出土した土師器皿。復原口径9.7㎝。器高1.4㎝。底部は糸切り。胎土は細やか。色調は明灰色。見込みは軽く横にナデる。



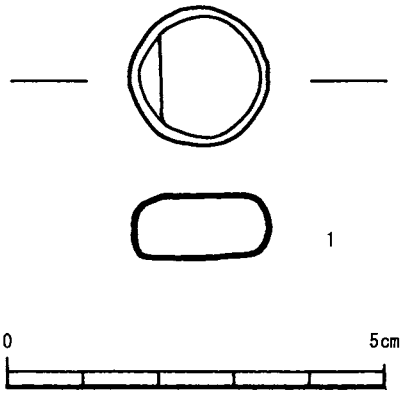
第49図　ＳＢ出土遺物実測図①（1/3）



第50図　ＳＢ出土遺物実測図②（1/3）



第51図　ＳＢ出土遺物実測図③（1/3）



第52図　ＳＢ出土遺物実測図④（1/1）

50－6　ＳＢ08柱穴７より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅷ１ｂ類。外面は回転ヘラ削りを行う。見込み周辺に沈線を施し、内部にはクシと二叉工具で蓮華を描く。釉は明灰色で底部まで施釉し、底部の釉は掻きとる。

50－7　ＳＢ14柱穴９より出土した土師器皿。口径8.5cm。器高1.7cm。底部は糸切り。胎土は砂目が多く粗い。色調はにぶい橙色。見込みは横方向に軽くナデる。口縁部は薄く引き上げ、体部は開く。

50－8　ＳＢ16柱穴20より出土した白磁水注または四耳壺。復原口径13.1cm。外面は回転ヘラ削りを行い、口唇部は玉縁状に肥厚する。釉は灰白色。

50－9　ＳＢ17柱穴７より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅵ１ａ類。外面は回転ヘラ削りを行う。見込みが広く、口縁部近くに沈線を施す。釉はオリーブ灰色で体部中位まで施す。

50－10　ＳＢ16柱穴５より出土した土師器皿。復原口径7.8cm。器高2.0cm。底部は糸切り。胎土は細やか。色調はにぶい橙色。見込み周辺を押さえくぼめる。見込みの横ナデは行わない。

50－11　ＳＢ17柱穴６より出土した土師器坏。口径16.0cm。器高3.1cm。底部は糸切り。胎土はやや細やか。色調はにぶい橙色。見込みに横ナデは行わない。

50－12　ＳＢ12柱穴５より出土した土師器皿。復原口径8.5cm。器高1.4cm。底部は糸切り。胎土は比較的細やか。色調は浅黄橙色。見込み周辺をヘラ状のもので押さえくぼめる。見込みは横ナデを２～３回行っている。

50－13　ＳＢ17柱穴７より出土した土師器皿。復原口径8.8cm。器高1.2cm。底部は糸切り。胎土は比較的細やか。色調はにぶい橙色。見込みは数回横ナデを行う。

50－14　ＳＢ18柱穴10より出土した土師器皿。復原

口径9.0cm。器高1.6cm。底部は糸切り。胎土は比較的細やか。色調は橙色。見込みは数回横ナデを行う。

50－15　ＳＢ18柱穴５より出土したは木器椀。底部だけが残存。底径7.4cm。体部内外面は回転ノミ削りを行う。木取りは板目。材質はケヤキ。

50－16　ＳＢ19柱穴13より出土した土師器皿。復原口径8.2cm。器高1.2cm。底部は糸切りで、板目圧痕がある。胎土は比較的細やか。色調は橙色。見込みのナデは摩滅して不明。

50－17　ＳＢ19柱穴２より出土した土師器皿。口径9.4cm。器高1.5cm。底部は糸切り。胎土は砂目が多く粗い。色調はにぶい橙色。見込み周辺は押しくぼめる。見込みは２～３回横ナデを行う。

50－18　ＳＢ27柱穴５より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅲ１類。外面体部は回転ヘラ削りを行った後、ヘラにより縦に施文を行う。内面はクシ、ヘラにより施文。釉はオリーブ灰で体部下半まで施釉。

50－19　ＳＢ21柱穴12より出土した須恵質土器で、壺または甕。胴部で、内面は当具痕をナデ消し、外面は格子目叩き。胎土は比較的砂目が少ない。色調は青灰色。

50－20　ＳＢ21柱穴４より出土した土師器皿。復原口径9.0cm。器高1.7cm。底部は糸切り。胎土は砂目が多く粗い。色調はにぶい橙色。見込みの横ナデは不明。器肉が厚く、口縁部は外反する。

50－21　ＳＢ21より出土した土師器皿。復原口径8.2cm。器高1.2cm。底部は糸切り。胎土は砂目が少なく比較的細やか。色調はにぶい橙色。見込み周辺を押しくぼめ、横ナデは行わない。器肉は薄く、体部は外に開く。

50－22　ＳＢ22柱穴９より出土した土師器皿。復原口径7.9cm。器高1.1cm。底部は糸切り。胎土は砂目が少なく比較的細やか。色調はにぶい橙色。見込みに横ナデを数回行う。

50－23　ＳＢ22柱穴２より出土した土師器皿。復原口径8.2cm。器高1.2cm。底部は糸切りで、板目圧痕あり。胎土は砂目が多く粗い。色調はにぶい橙色。見込みに横ナデを数回行う。

50－24　ＳＢ22柱穴２より出土したは木器椀。底部だけが残存。底径7.0cm。体部内外面は回転ノミ削りを行う。木取りは板目。材質はケヤキ。

50－25　ＳＢ23より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ６ｂ類。復原底径5.2cm。外面は回転ヘラ削りを行ったあとヘラとクシで蓮弁文を描く。内面はクシとヘラで施文する。釉はオリーブ灰色。

50－26　ＳＢ23より出土した青白磁碗。復原口径13.0cm。外面はヘラ削りを行う。口縁部は外反させ平らにする。口唇部には輪花あり。器肉は薄い。釉は淡青色。

50－27　ＳＢ23より出土した土師器坏。復原口径12.1cm。器高3.1cm。底部は糸切り。胎土は砂目が少なく比較的細かい。色調はにぶい橙色。見込み周辺をくぼめ、内部に横ナデは行わない。

50－28　ＳＢ33柱穴９より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ１ｃ類。復原口径18.1cm。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内面口縁近くに沈線を描き、沈線下にクシで文様をランダムに入れる。釉は灰白色。

50－29　ＳＢ29柱穴７より出土した土師器皿。口径8.6cm。器高1.4cm。底部は糸切りで、板目圧痕あり。胎土は砂目が少なく細かい。色調は橙色。見込みは丁寧に横ナデを行う。器肉が薄く、良く焼き締まる。体部は開き、口唇部でやや外反する。

50－30　ＳＢ37柱穴５より出土した土師器皿。復原口径8.2cm。器高1.5cm。底部は糸切り。胎土は砂目が少なく比較的細かい。色調は灰褐色。見込み周辺を押しくぼめ、内部は横ナデを行わない。口縁部は薄く器肉を引き上げる。

50－31　ＳＢ39柱穴２より出土したは木器。面子の底状のもので、一部欠損をしている。円の周辺は両面を斜めに面取りをしている。面の表裏には２本の溝を彫る。直径8.0cm。厚み0.8cm。木取りは板目。材質はヒノキ。

50－32　ＳＢ32柱穴４より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ４ａ類。復原口径16.2cm。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内面はヘラで分割し、施文する。釉はオリーブ色。

51－１　ＳＢ39柱穴１より出土した瓦質風炉。口縁

部、底部を欠く。復原胴部径37.8㎝。内外面ともに回転ナデ調整。胴部には２本の隆線を回し、隆線の間には斜め格子状のスタンプを連続で押す。格子の原体は0.5×1.8㎝の板状のもの。隆線の上下には直径0.8㎝の竹管状の原体で連続文を押す。肩部上には大きめの窓を持つ。窓の横には菊花のスタンプを押す。

51－2　ＳＫ21より出土した滑石製温石。縦8.1㎝。横4.5㎝。石鍋を長方形に２次加工し、直径７㎜の穴を穿つ。カーボンの付着有り。

52－1　ＳＢ12柱穴13より出土した双六の駒。直径1.8㎝。

4　柱列（ＳＡ）

多くの掘立柱建物とともに15基の柱列も検出された。柱列は掘立柱建物との位置関係が重要であるが、遺構配置図（第５図）を参照し個別の平・断面図で考えたい。（第53、54図）

ＳＡ01

遺跡北側（Ｂ－２区）に位置し、ＳＢ04と重複する。長さは2.7m（９尺）で、柱間隔は1.4m（約4.7尺）＋1.3m（約4.3尺）の２間である。柱列の軸は真北である。柱穴は直径20～36㎝。深さは20～44㎝。下端のレベルは一定でない。

ＳＡ02

遺跡北側（Ｂ－１区）に位置し、ＳＢ05との関連性が考えられる。長さは2.4m（８尺）で、柱間隔は1.2m（４尺）の等間隔である。柱列の軸はＥ１°Ｓである。柱穴の直径は20～28㎝。深さは36～44㎝で下端のレベルは一定でない。

ＳＡ03

遺跡北側（Ａ－０、１区）に位置しする。長さは4.3m（約14.3尺）で、柱間隔は2.1m（７尺）＋2.3m（約7.7尺）の２間である。柱列の軸はＥ８°Ｓである。柱穴の直径は20～26㎝。深さは24～28㎝で、下端のレベルはほぼ一定である。

ＳＡ04

遺跡北側（Ａ－０、１区）に位置する。長さは5.0m（約16.7尺）で、柱間隔は2.5m（約8.3尺）の２間で等間隔である。柱列の軸はＥ12°Ｓである。柱穴の直径は24～36㎝。深さは16～20㎝で、下端のレベルはほぼ一定する。

ＳＡ05

遺跡北側（Ｂ－１区）に位置し、ＳＢ02、05、06との関連性が考えられる。長さは4.3m（約14.3尺）で、柱間隔は1.5m（５尺）＋1.5m（５尺）＋1.3m（約4.3尺）の３間である。柱列の軸はＮ８°Ｅである。柱穴の直径は16～32㎝。深さは24～36㎝で、下端のレベルは一定でない。

ＳＡ06

遺跡北側（Ｂ・Ｃ－１区）に位置し、ＳＢ02、03、04との関連性が考えられる。長さは8.7m（29尺）で、柱間隔は1.5m（５尺）＋1.7m（約5.7尺）＋1.8m（６尺）＋1.7m（約5.7尺）＋2.0m（約6.7尺）の５間である。柱列の軸はＮ５°Ｅである。柱穴の直径は24～28㎝。深さは16～36㎝で、下端のレベルは一定でない。

ＳＡ07

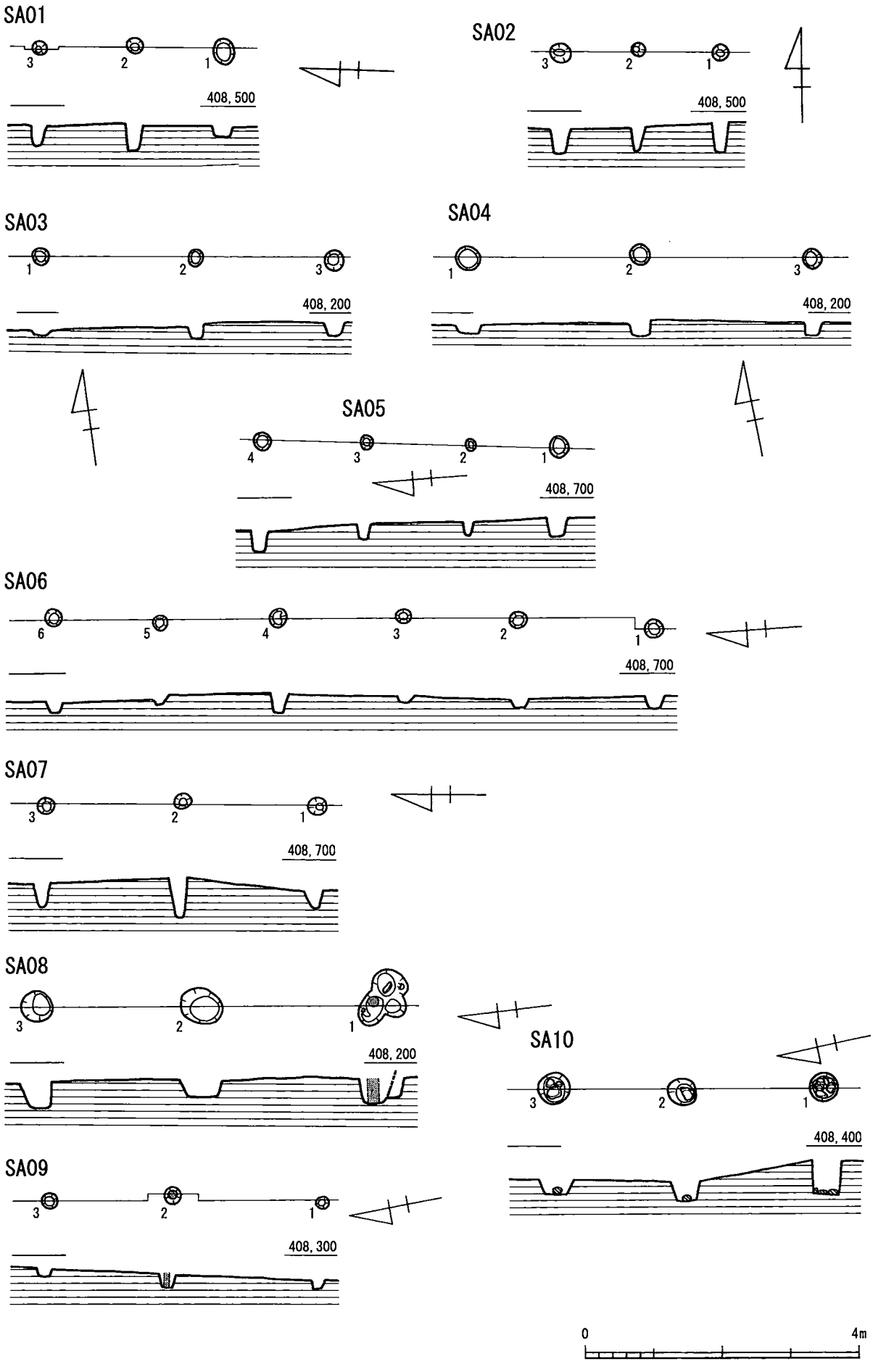
遺跡北東側（Ａ・Ｂ－１区）に位置し、ＳＢ06と重複するが、切り合い関係は不明。ＳＢ05の塀の役割を果たしたものと思われる。長さは3.9m（13尺）で、2.0m（約6.7尺）＋1.9m（約6.3尺）である。柱列の軸はＮ１°Ｅである。柱穴の直径は24～28㎝。深さは32～60㎝で、下端のレベルは一定でない。

ＳＡ08

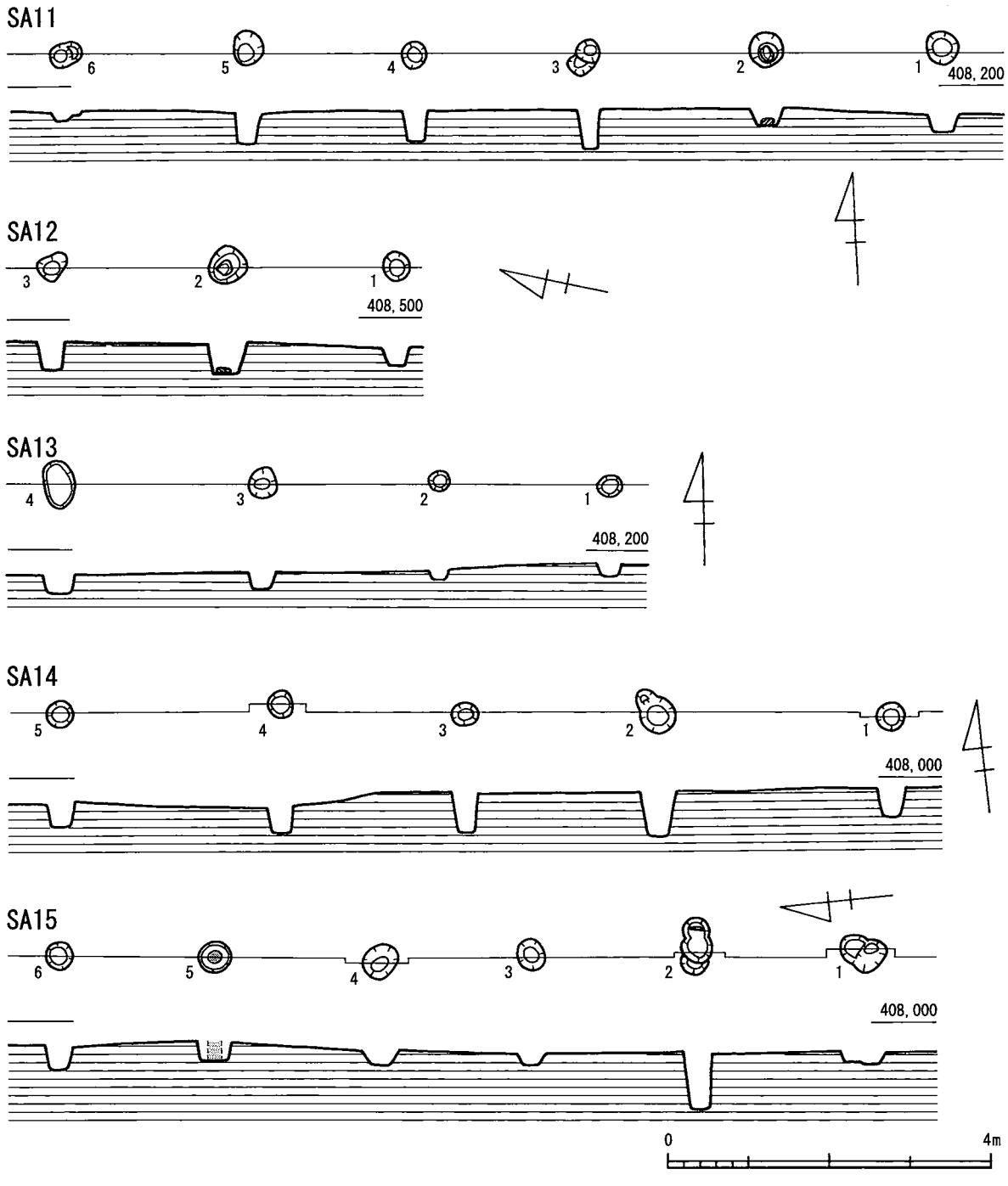
遺跡中央部よりやや南側（Ｆ－１区）に位置し、ＳＢ13と重複しており、ＳＢ13に切られている。ＳＢ12の塀の役割を果たしたものと思われる。長さは4.8m（16尺）で、柱間隔は2.4m（８尺）の等間隔。柱列の軸はＮ８°Ｅである。柱穴の直径は36～52㎝。深さは24～40㎝で、下端のレベルは一定でない。柱穴１には柱材が遺存する（写真図版156）。直径15㎝、断面丸の柱材で、面取りは観察できない。樹種はクリである。

ＳＡ09

遺跡中央部（Ｄ、Ｅ－１区）に位置する。長さは3.9m（13尺）で、柱間隔は1.8m（６尺）＋2.1m（７尺）である。柱列の軸はＮ12°Ｅである。柱穴の直径は16～20㎝。深さは12～20㎝で、下端のレベルは一定でない。柱穴２には柱材が遺存する（写真



第53図　ＳＡ実測図①（1/80）



第54図　ＳＡ実測図②（1/80）

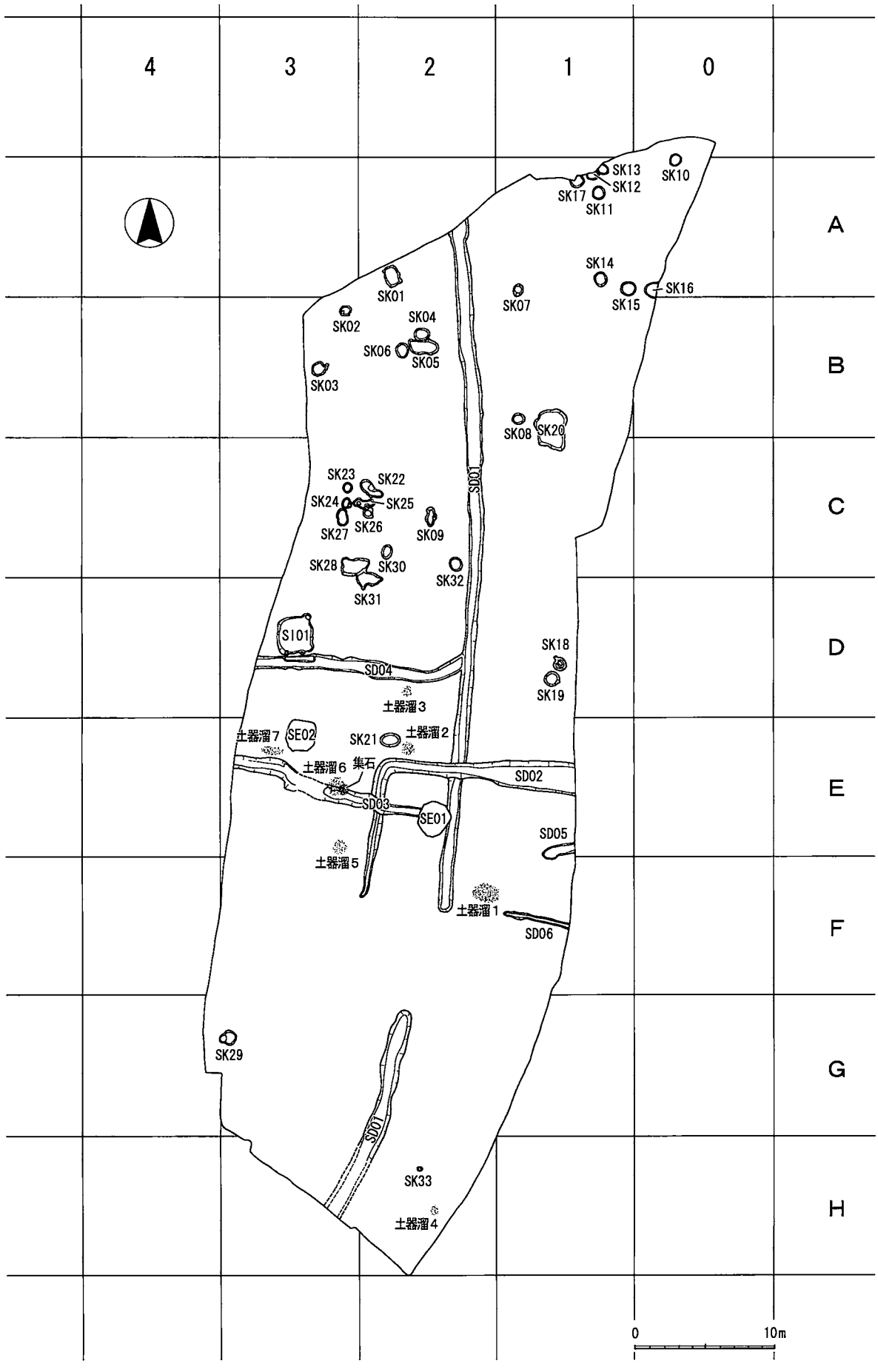
図版157）。直径11㎝、断面丸の柱材で、面取りは観察できない。樹種はモミ属。

ＳＡ10

遺跡中央部（Ｅ－２区）に位置し、ＳＢ14、ＳＡ11と重複する。ＳＢ12、22両者の塀の役割を果たしたものと思われる。長さは3.9m（13尺）で、柱間隔は1.9m（約6.3尺）＋2.0m（約6.7尺）の２間。柱列の軸はＮ12°Ｅである。柱穴の直径は44～48㎝である。深さは28～52㎝で、下端のレベルは一定である。それぞれの柱穴の底には石を敷き詰める。

ＳＡ11

遺跡中央部（Ｅ－２、３区）に位置し、ＳＡ10、ＳＤ02と重複する。ＳＢ12、13の塀の役割を果たしたものと思われる。長さは11m（約36.7尺）で、柱間隔は2.3m（約7.7尺）＋2.1m（７尺）＋2.2m（約7.3尺）＋2.2m（約7.3尺）＋2.2m（約7.3尺）の５間。柱列の軸はＥ４°Ｓである。柱穴の直径は28～44㎝。深さは16～48㎝で、下端のレベルは一定ではない。



第55図　全体遺構配置図②（1/400）

ＳＡ12

遺跡中央（Ｄ・Ｅ－１区）に位置し、ＳＢ16と重複するが切り合い関係は不明。長さは4.3m(約14.3尺）で、柱間隔は2.1m（７尺）＋2.2m（約7.3尺）である。柱列の軸はＮ８°Ｗである。柱穴の直径は36～48cm。深さは28～40cmで、下端のレベルはほぼ一定する。

ＳＡ13

遺跡中央部（Ｅ－２、３区）に位置し、ＳＤ01を切っている。長さは6.9m（23尺）で、柱間隔は2.5m（約8.3尺）＋2.2m（約7.3尺）＋2.2m（約7.3尺）の３間。柱列の軸はＥ２°Ｓである。柱穴の直径は24～52cm。深さは12～24cmで、下端のレベルはほぼ一定する。

ＳＡ14

遺跡南側（Ｆ－１、２区）に位置し、ＳＢ37と重複するが切り合い関係は不明。長さは10.3m(約34.3尺）で、柱間隔は2.7m（９尺）＋2.3m（約7.7尺）＋2.4m（8尺）＋2.9m（約9.7尺）である。柱列の軸はＥ７°Ｓである。柱穴の直径は28～32cm。深さは40～56cmで、下端のレベルは一定しない。

ＳＡ15

遺跡南側（Ｆ、Ｇ－２区）に位置し、ＳＢ07、08、11と重複するが切り合い関係は不明。長さは10.1m（約33.7尺）で、柱間隔は1.9m（約6.3尺）＋2.1m（７尺）＋1.9m（約6.3尺）＋2.1m（７尺）＋2.1m（７尺）である。柱列の軸はＮ５°Ｅである。柱穴の直径は32～36cm。深さは16～76cmで、下端のレベルは一定しない。柱穴５には、柱痕跡があり、直径は12cmである。

５　土坑（ＳＫ）・集石（ＳＧ）

５－１　遺構

遺跡全体で33の土坑が検出されたが（第55図）、明らかに墓壙と確認できるものは無かったため全て土坑として扱いたい。なお、建物に伴うものは建物の図面上に示している。個別の遺構配置図は、切り合い関係を示すために順不同である。

ＳＫ01（第56図）は遺跡北側（Ａ－２区）に位置する。軸は南北に取り、Ｎ33°Ｗ。隅丸長方形で、長軸1.5m、短軸1.1mである。深さは20cmと浅い。

ＳＫ02（第56図）は遺跡北側（Ｂ－２区）に位置する。直径0.9mのほぼ円形の土坑で、深さ20cmである。

ＳＫ03（第56図）は遺跡北側（Ｂ－３区）に位置する。長軸1.0m、短軸0.8mの楕円形の土坑で、深さ20cmである。

ＳＫ04（第56図）は遺跡北側（Ｂ－２区）に位置する。ＳＫ05を切っている。軸は東西に取り、Ｅ10°Ｎ。楕円形で、長軸1.3m、短軸1.0mである。深さは20cm。

ＳＫ05（第40、56図）は遺跡北側（Ｂ－２区）に位置し、ＳＫ04に切られている。軸を東西に取り、Ｅ５°Ｎ。長軸の長い楕円形で、長軸2.0m、短軸1.0mである。深さ10cmである。ＳＢ24に伴う。

ＳＫ06（第40、56図）は遺跡北側（Ｂ－３区）に位置する。軸を南北に取り、Ｎ６°Ｗ。長軸1.2m、短軸0.96mの楕円形の土坑で、深さ10cmである。ＳＢ24に伴う。

ＳＫ07（第23、56図）は遺跡北側（Ａ－１区）に位置する。直径0.8mのほぼ円形の土坑で、深さ10cmである。ＳＢ05に伴う。

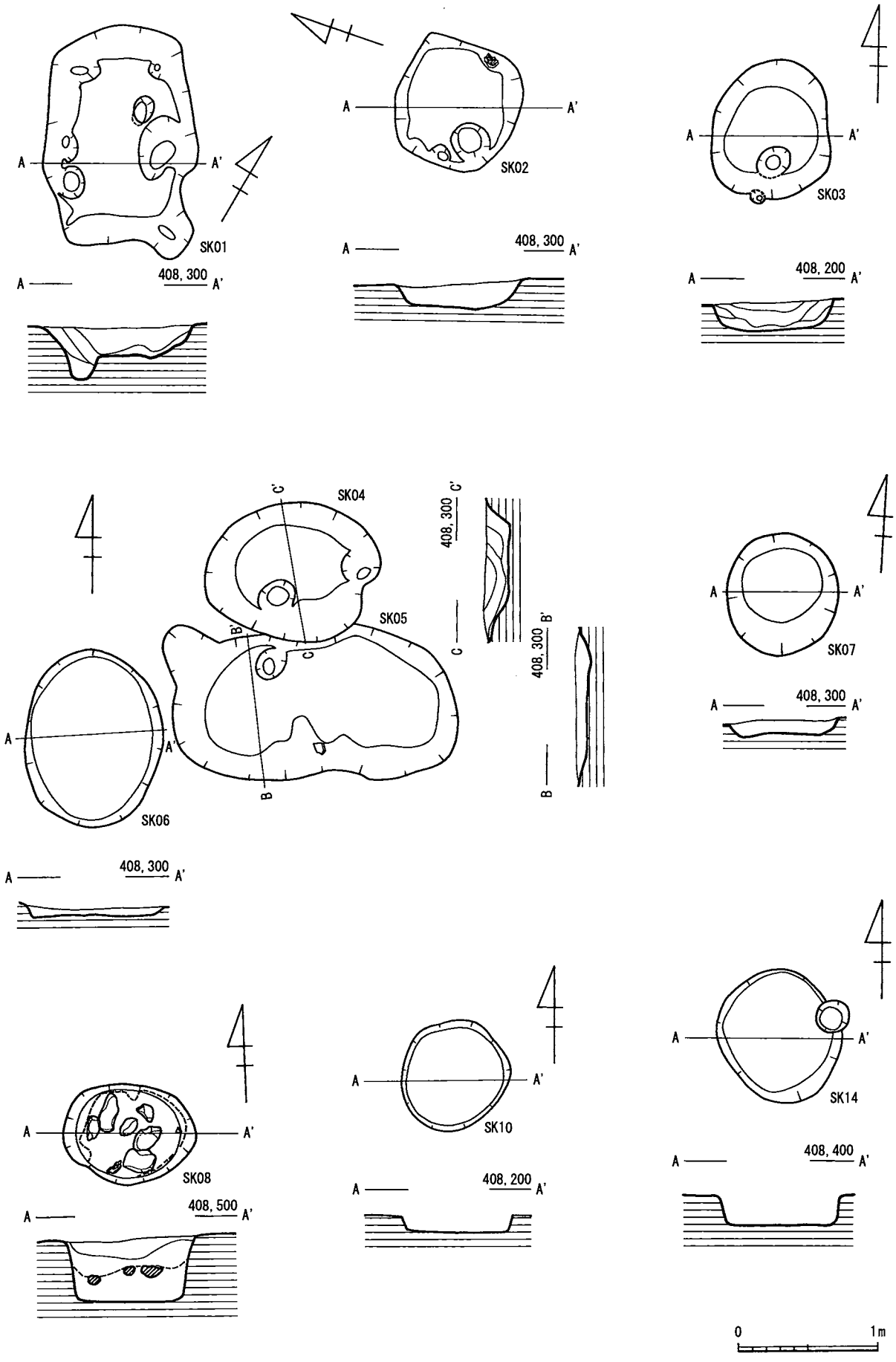
ＳＫ08（第23、56図）は遺跡北側（Ｂ－１区）に位置する。軸を東西に取る楕円形の土坑で、Ｅ３°Ｓ。長軸0.96m、短軸0.7m。深さ40cmで、埋土中位に鉄分の堆積層があり、礫とともに硬化している。鉄分の硬化面下は黒緑色の柔らかい砂質土である。ＳＢ04に伴う。

ＳＫ09（第59図）は遺跡北側（Ｃ－２区）に位置する。南北軸0.85m、東西軸0.75m、深さ10cmの土坑。土坑内部には常滑窯の甕が崩れた状態で埋まるが、半分以上が失われている。

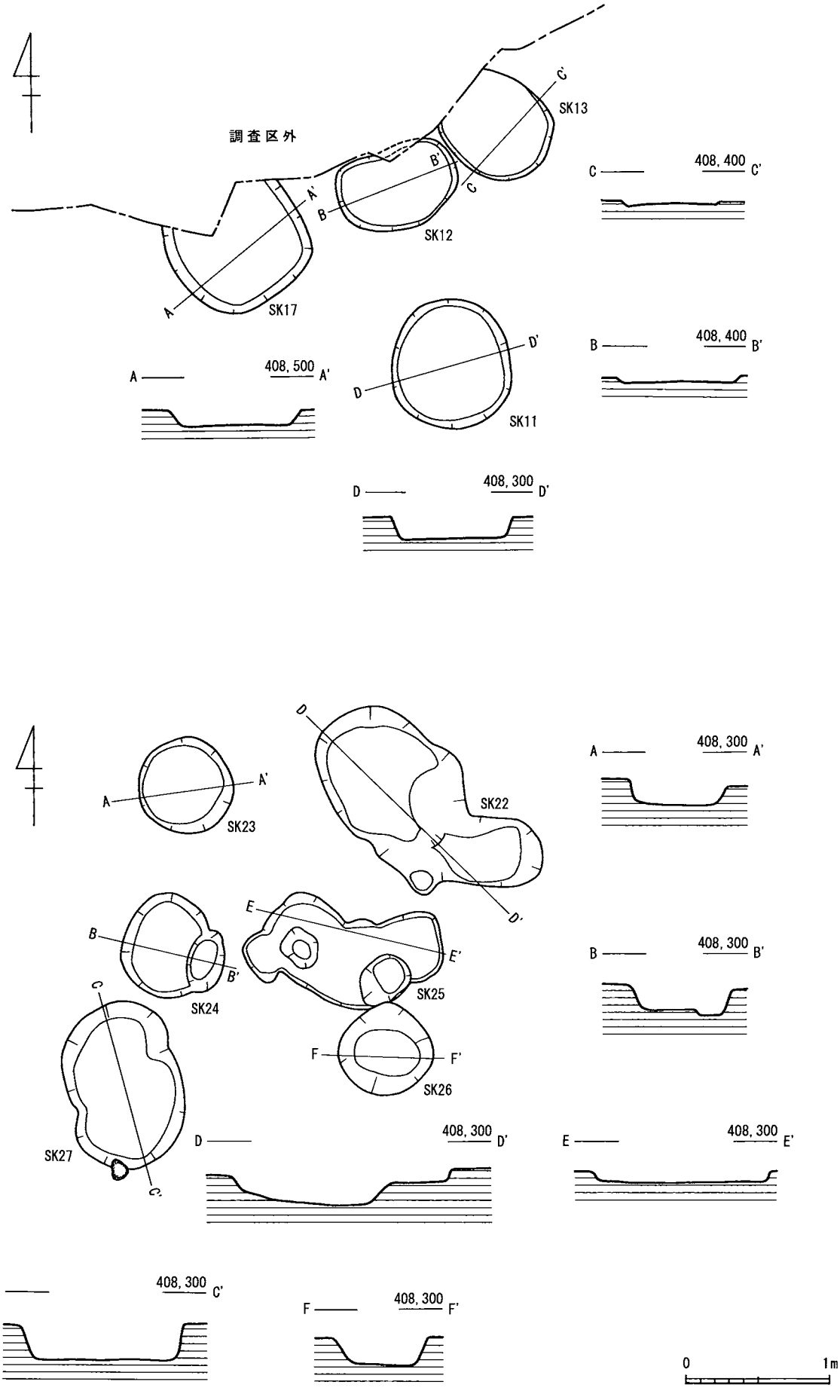
ＳＫ10（第56図）は遺跡北側（Ａ－０区）に位置する。直径0.8mのほぼ円形の土坑で、深さ10cmである。

ＳＫ11（第57図）は遺跡北側（Ａ－１区）に位置する。直径0.85mのほぼ円形の土坑で、深さ15cmである。

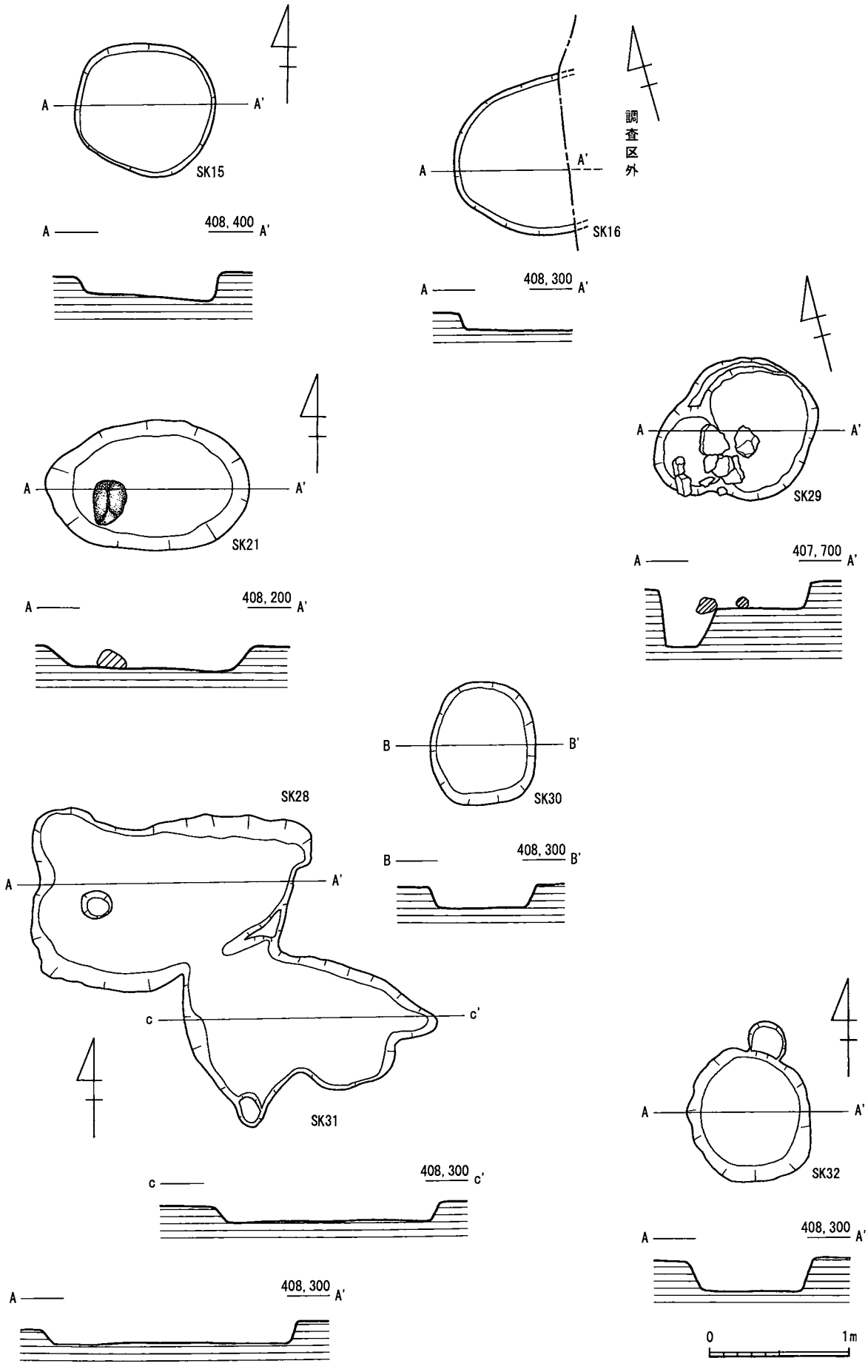
ＳＫ12（第57図）は遺跡北側（Ａ－１区）に位置



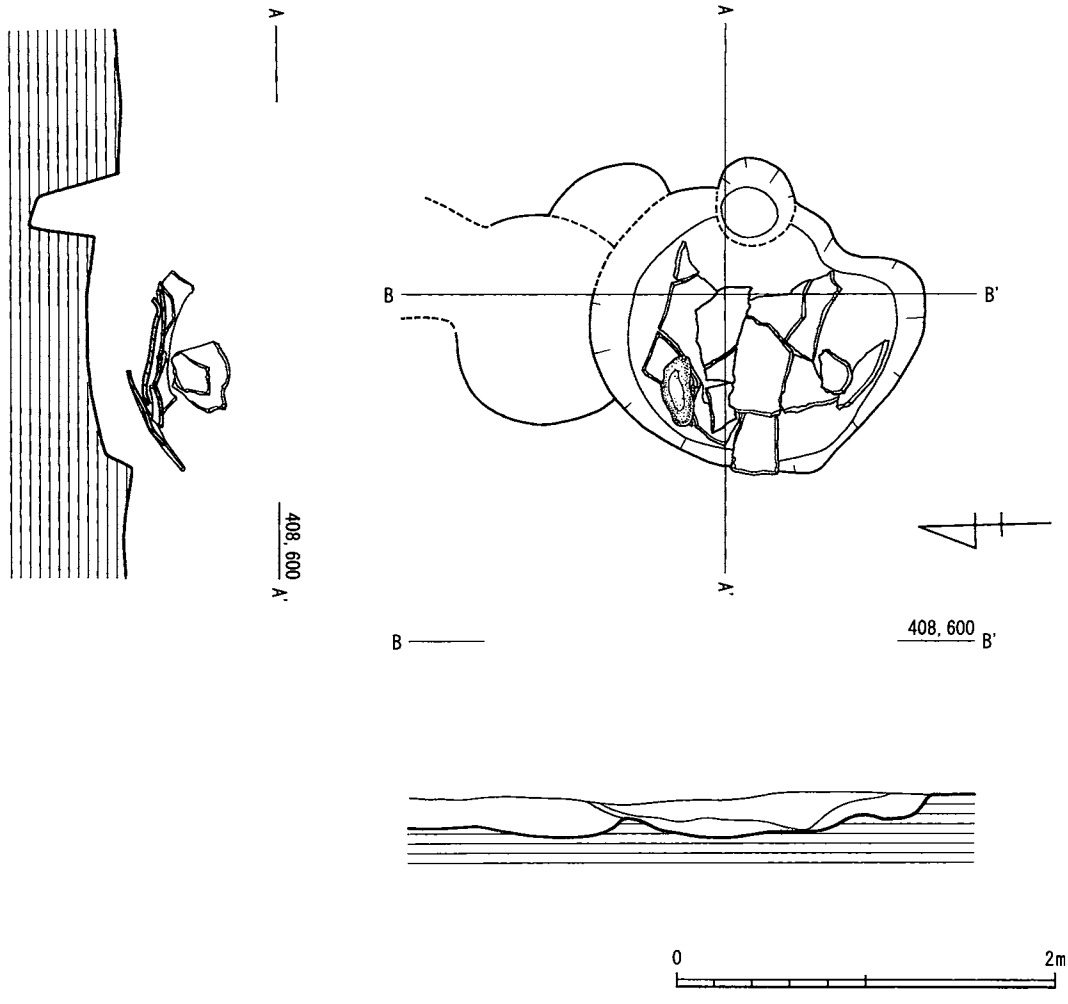
第56図　ＳＫ実測図①（1/40）



第57図　ＳＫ実測図②（1/40）



第58図　ＳＫ実測図③（1/40）



第59図　ＳＫ09実測図（1/20）

する。軸は東西に取り、Ｅ19°Ｎ。長軸0.85m、短軸0.6mの楕円形の土坑で、深さ５㎝である。

ＳＫ13（第57図）は遺跡北側（Ａ－１区）に位置する。直径0.8mのほぼ円形の土坑で、深さ10㎝である。

ＳＫ14（第56図）は遺跡北側（Ａ－１区）に位置する。直径0.8mのほぼ円形の土坑で、深さ20㎝である。

ＳＫ15（第58図）は遺跡北側（Ａ－１区）に位置する。直径1.0mのほぼ円形の土坑で、深さ20㎝である。

ＳＫ16（第58図）は遺跡北側（Ａ－０区）に位置する。遺構東側が調査区外であるが、南北軸は1.1mである。深さ12㎝である。

ＳＫ17（第57図）は遺跡北側（Ａ－１区）に位置する。遺構北側が調査区外であるが、東西軸は0.9mであり、隅丸方形になるものと思われる。深さ10㎝である。

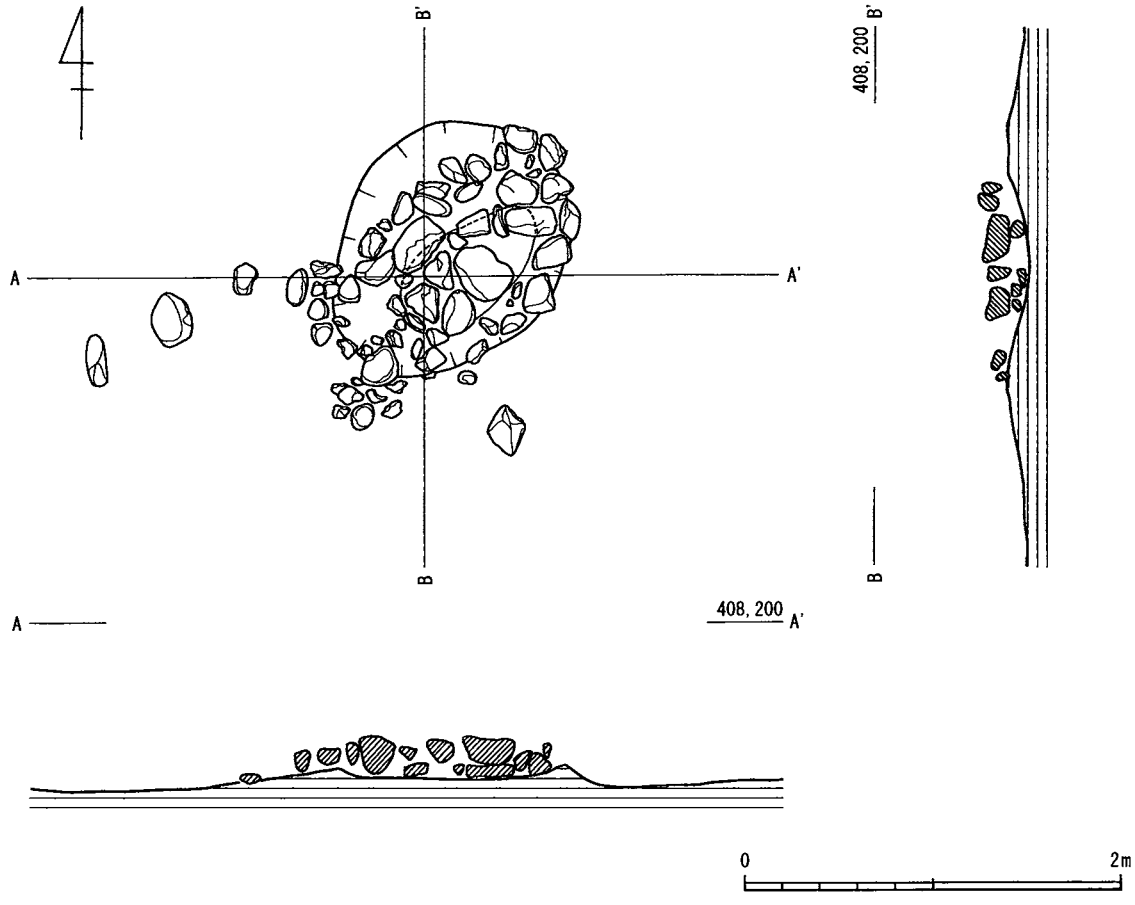
ＳＫ18（第32図）は遺跡中央部（Ｄ－１区）に位置し、ＳＢ16に付属する。直径1.0mの円形の土坑で、深さ48㎝である。基底部は２段掘りになっており、大甕などを固定した土坑と思われる。

ＳＫ19（第32図）は遺跡中央部（Ｄ－１区）に位置し、ＳＢ16に付属する。直径1.0mの円形の土坑で、深さ48㎝である。基底部は２段掘りになっており、ＳＫ18と同様に大甕などを固定した土坑と思われる。

ＳＫ20（第22図）は遺跡中央部（Ｂ・Ｃ－１区）に位置し、ＳＢ02に付属する。長軸2.4m、短軸2.0m、深さ30㎝の隅丸長方形の土坑。軸は東西に取り、Ｅ５°ＳでＳＢ02の桁行方向に合っている。土坑内からは鉄器８点出土している。

ＳＫ21（第58図）は遺跡中央部（Ｅ－２区）に位置する。軸は東西に取る。長軸1.5m、短軸0.9mの楕円形の土坑で、深さ15㎝である。

ＳＫ22（第57図）は遺跡北側（Ｃ－２・３区）に位置する。軸を南北に取り、Ｎ42°Ｗ。長軸1.7m、



第60図　ＳＧ01（集石）実測図（1/20）

短軸0.8m、深さ10㎝不定形土坑。２つの土坑が重複するが、切り合い関係は不明。

ＳＫ23（第57図）は遺跡北側（Ｃ－２・３区）に位置する。直径0.65mのほぼ円形の土坑で、深さ15㎝である。

ＳＫ24（第57図）は遺跡北側（Ｃ－２・３区）に位置する。直径0.65mのほぼ円形の土坑で、深さ20㎝である。

ＳＫ25（第57図）は遺跡北側（Ｃ－２・３区）に位置する。軸を南北に取り、Ｎ31°Ｓ。長軸1.2m、短軸0.5m、深さ８㎝の楕円形土坑。複数の土坑の切り合いで不定形になっているが、切り合い関係は不明。

ＳＫ26（第57図）は遺跡北側（Ｃ－２・３区）に位置する。直径0.65mのほぼ円形の土坑で、深さ20㎝である。

ＳＫ27（第57図）は遺跡北側（Ｃ－３区）に位置する。軸を南北に取り、Ｎ15°Ｗ。長軸1.2m、短軸0.8m、深さ25㎝の楕円形土坑。２つの土坑の切り合いと思われるが、切り合い関係は不明。

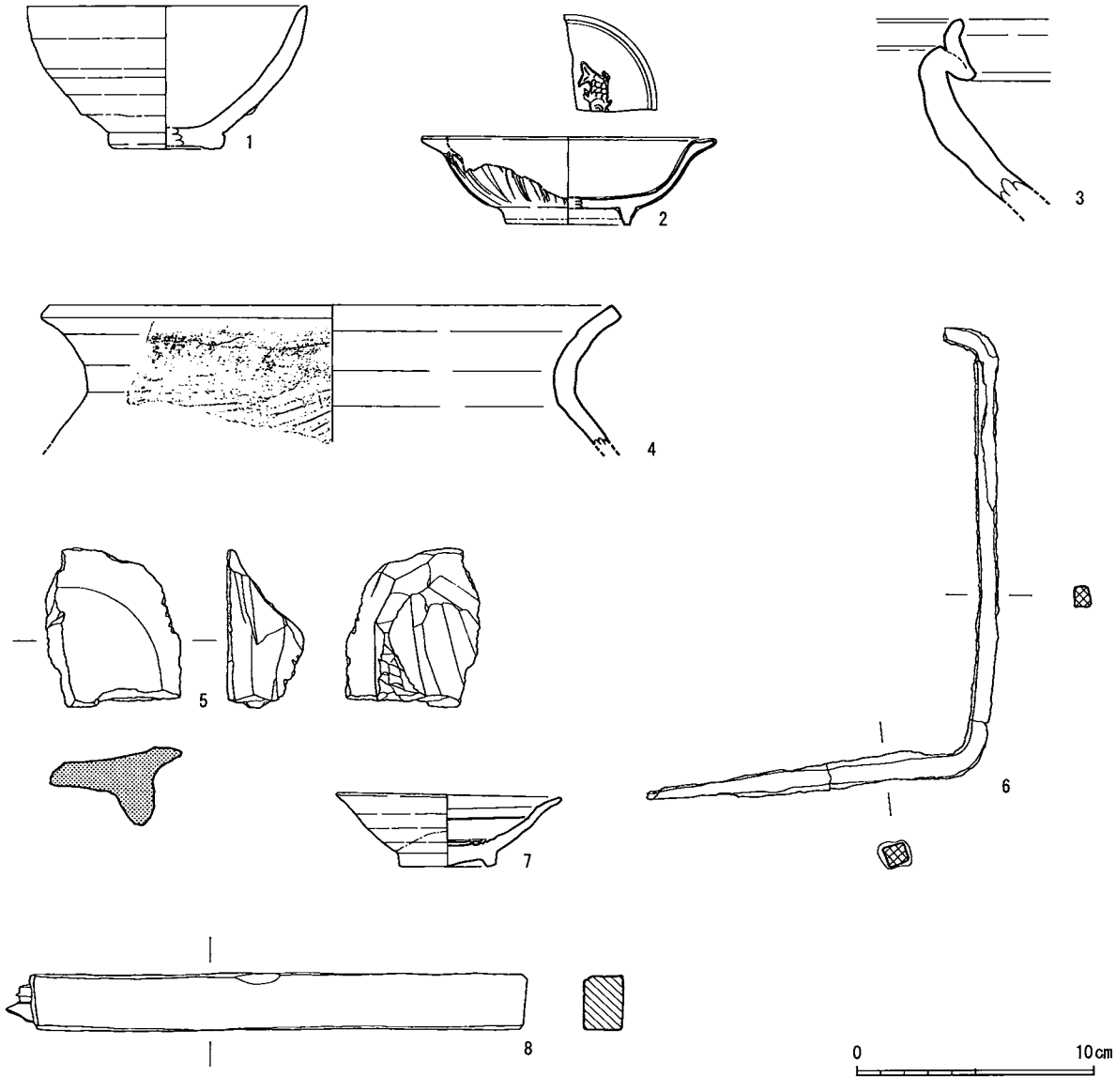
ＳＫ28（第58図）は遺跡北側（Ｃ－２・３区）に位置する。軸を東西に取り、Ｅ１°Ｎ。長軸1.8m、短軸1.1m、深さ12㎝の不定形土坑。ＳＫ31と切り合うが、切り合い関係は不明。

ＳＫ29（第58図）は遺跡南側（Ｇ－３・４区）に位置する。直径1.0mのほぼ円形の土坑で、深さ20㎝である。柱穴と切り合っている。

ＳＫ30（第58図）は遺跡北側（Ｃ－２区）に位置する。直径0.8mのほぼ円形の土坑で、深さ20㎝である。

ＳＫ31（第58図）は遺跡北側（Ｃ・Ｄ－２区）に位置する。軸を東西に取り、Ｅ２°Ｎ。長軸1.8m、短軸0.8m、深さ12㎝の不定形土坑。ＳＫ28と切り合うが、切り合い関係は不明。

ＳＫ32（第58図）は遺跡北側（Ｃ－２区）に位置する。直径0.9mのほぼ円形の土坑で、深さ25㎝で



第61図　ＳＫ出土遺物実測図（1/3）

ある。柱穴と切り合っている。

ＳＫ33（第13図）は遺跡南側（Ｈ－２区）に位置し、ＳＢ01内にある。軸を南北に取り、Ｎ17°Ｅ。長軸0.5m、短軸0.4m、深さ50cmの楕円形土坑。磁州窯系鉄絵壺が出土する。

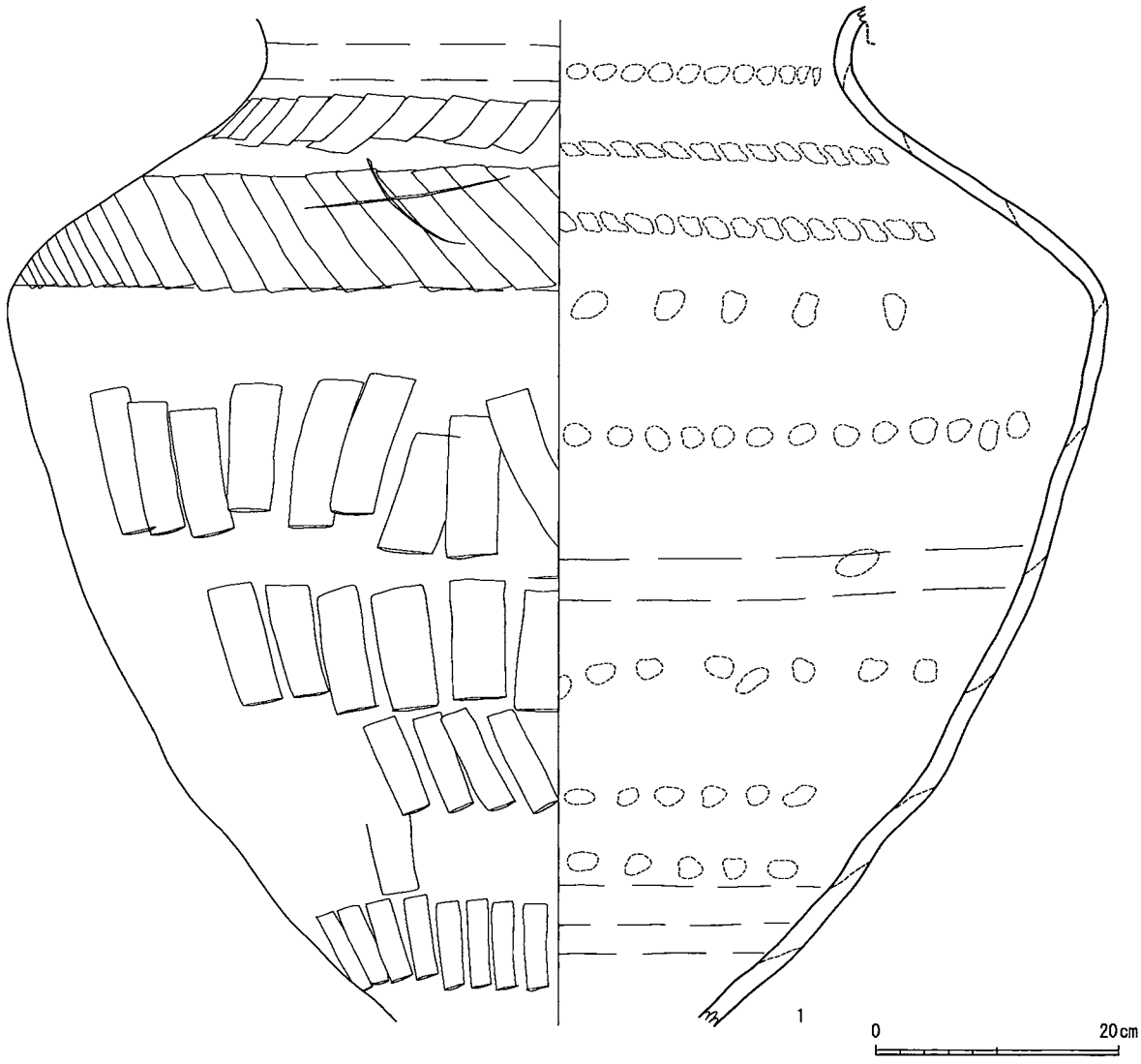
ＳＧ01（第60図）は遺跡中央（Ｅ－３区）に位置する。土器溜６の下より検出された遺構で、土器溜６に伴うものと思われる。位置は、土器溜６の中心よりよりややずれている。軸を東西に取り、Ｅ30°Ｎ。長軸0.75m、短軸0.6m、深さ10cmの楕円形の堀形をもち、直径３～15cmの礫が集中する。

５－２　遺物

61－１　ＳＫ01より出土した天目碗。瀬戸の製品である。復原口径11.8cm。器高6.0cm。釉は体部下位までかける。釉調は黒褐色で、口縁部付近の内外面が暗褐色であり、光沢がない。。

61－２　ＳＫ04より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅲ４類。復原口径12.6cm。器高3.7cm。体部外面はヘラ彫りで蓮弁を象る。体部内面は見込み周辺に沈線をめぐらし、中央には双魚文のスタンプを押す。釉は青緑色で滑らか。

61－３　ＳＫ20より出土した常滑窯甕。口縁部はＮ字型に折り返し肥厚する。



第62図　ＳＫ09出土遺物実測図（1/6）

61－4　ＳＫ20より出土した須恵質土器で甕。復原口径24.0cm。内面はナデ調整。外面は頸部付近まで格子目タタキを施し、頸部付近はタタキを消すようにナデる。

61－5　ＳＫ20より出土した滑石加工品。石鍋を加工しており、カーボンが付着している。破片であるが、取っ手の付く面と、加工により彫り窪めた面がある。

61－6　ＳＫ20より出土した鉄製品。断面が１cmほどの方形で、「コ」の字形に折り曲げ、先端を尖らせてある。片方の先端は欠損している。

61－7　ＳＫ21より出土した白磁皿で、大宰府編年白磁皿Ⅲ１類。復原口径9.7cm。器高3.1cm。外面は回転ヘラ削りを行い、見込は周辺をヘラで釉を蛇の目状に掻き取る。釉は灰白色で高台近くまで施す。

61－8　ＳＸ01より出土した、建材と思われる木器。縦22.0cm。横2.4cm。片方の先端に枘を作る。

62－1　ＳＫ09より出土した常滑窯甕。復原口径50.0cm。復原最大径90.0cm。内面は、ナデ調整で粘土紐の継ぎ目には指頭圧痕が残る。外面はナデ調整のあとに縦方向にヘラ調整を行う。肩部にはヘラ記号が付く。

6　竪穴式住居（ＳＩ）（第63図）

遺跡中央部（Ｄ－３区）に位置する遺構。一辺約2.5mの正方形のプランを持つが、攪乱により不定形

を為している。深さは18cm程で中央に１つの柱穴を持つ。柱の直径は34cmで、深さは30cmである。遺物の出土はない。

7　井戸（ＳＥ）

7－1　遺構

ＳＥ01（第64、65図）

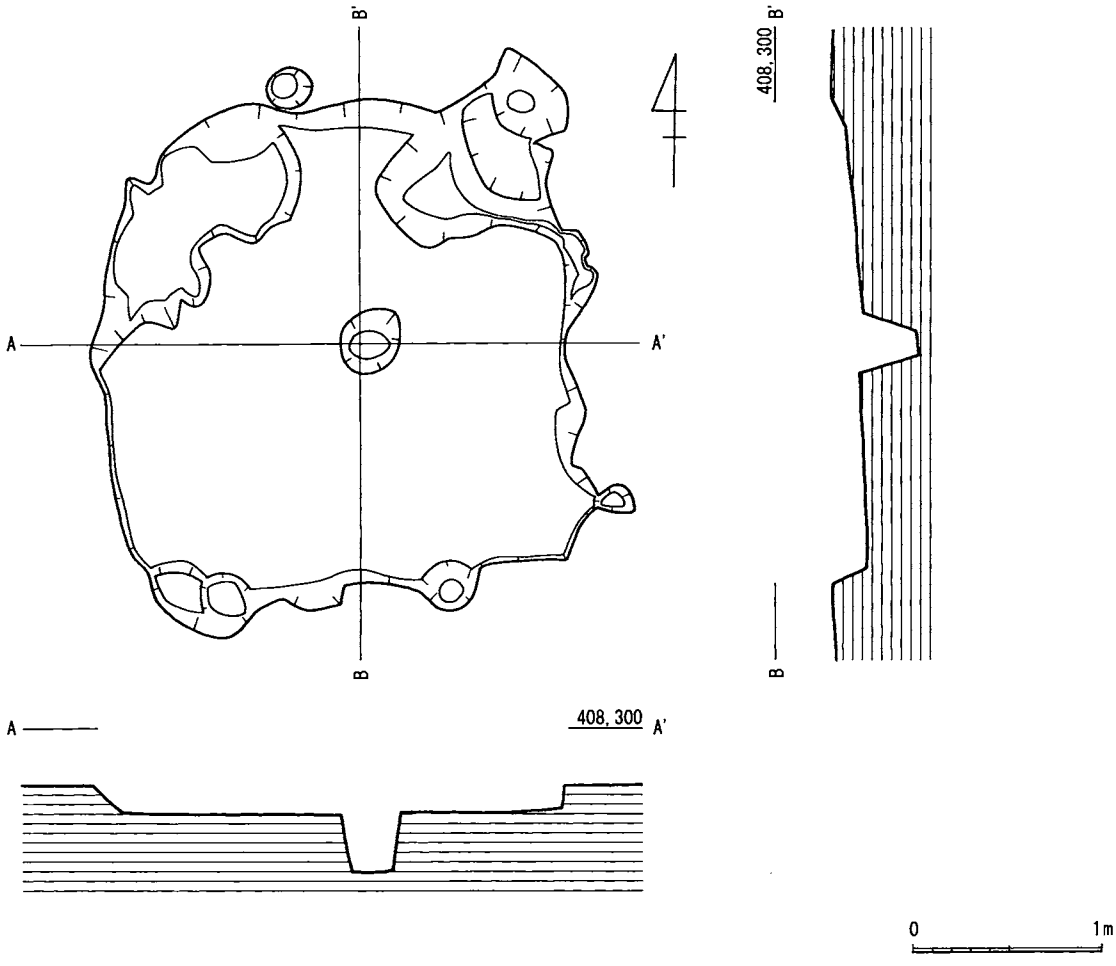
遺跡中央部（Ｅ－２区）に位置し、ＳＢ14、ＳＡ10、ＳＤ01、03と重複する。遺構の掘りこみはⅦ層からで、13Ｃ代の井戸である。埋土上面にはⅤ・Ⅵ層がレンズ状に堆積しており、その時期に廃棄されたものであろう。特にⅤ層は、ＳＢ01基壇に見られる化粧土で、井戸廃棄時の祭祀的な意味が考えられる。ＳＤ01、02、03を切っており、ＳＢ14、ＳＡ10との切り合い関係は不明である。

井戸の構造は、方形隅柱縦板型井戸で、堀形は1.6m（約5.3尺）四方の隅丸方形である。深さは2.0m掘った時点で、崩落の危険があったため発掘を断念した。堀形の中央には、四隅約15cm四方の柱を立て、約70cmおきに横桟を渡して1.2m（４尺）四方の木枠作る。横桟は枘を作って、四隅の柱と組み合わせる。枠の４面には板を縦に並べ井戸枠を作る。縦板は、幅30cm、厚さ６cm前後で長さは不明で８枚遺存する。その後、井戸枠と地山の間には濁った黒褐色土を入れて、木枠を固定している。

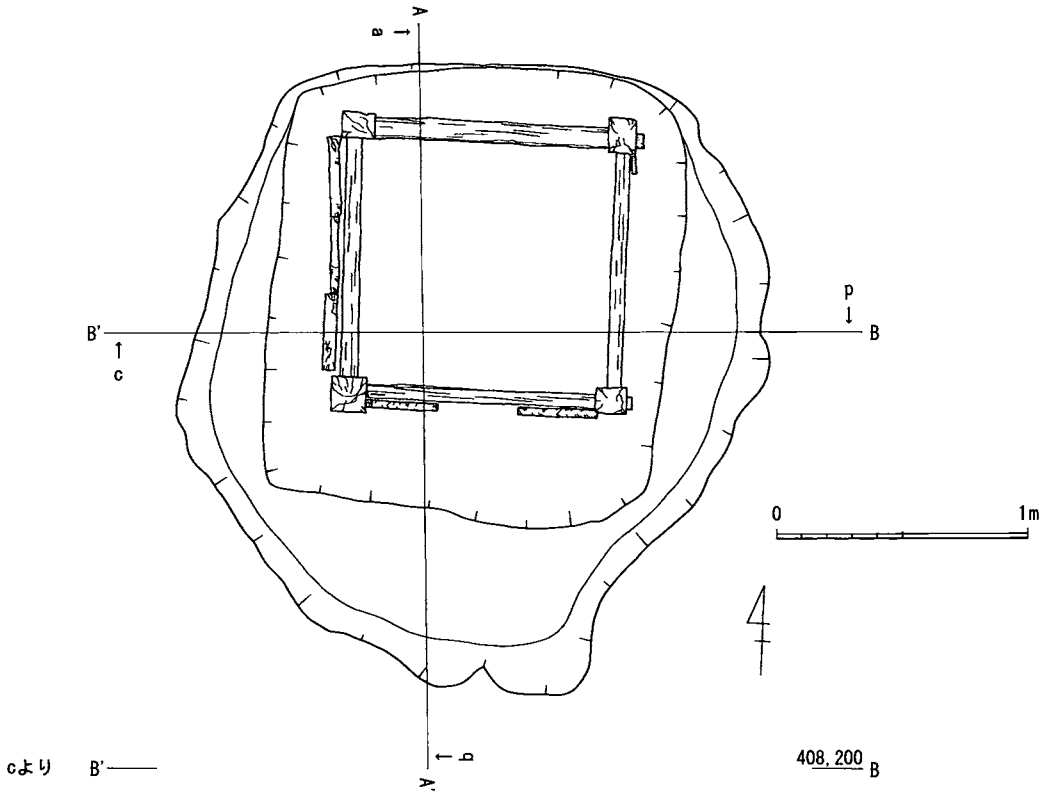
ＳＥ02（第66、67図）

遺跡中央部（Ｅ－３区）に位置し、遺構の切り合いはないが、ＳＢ23、38とは接しており、同時期ではない。土層断面よりⅨ層からの掘りこみが確認でき、12Ｃ代の井戸ということができる。

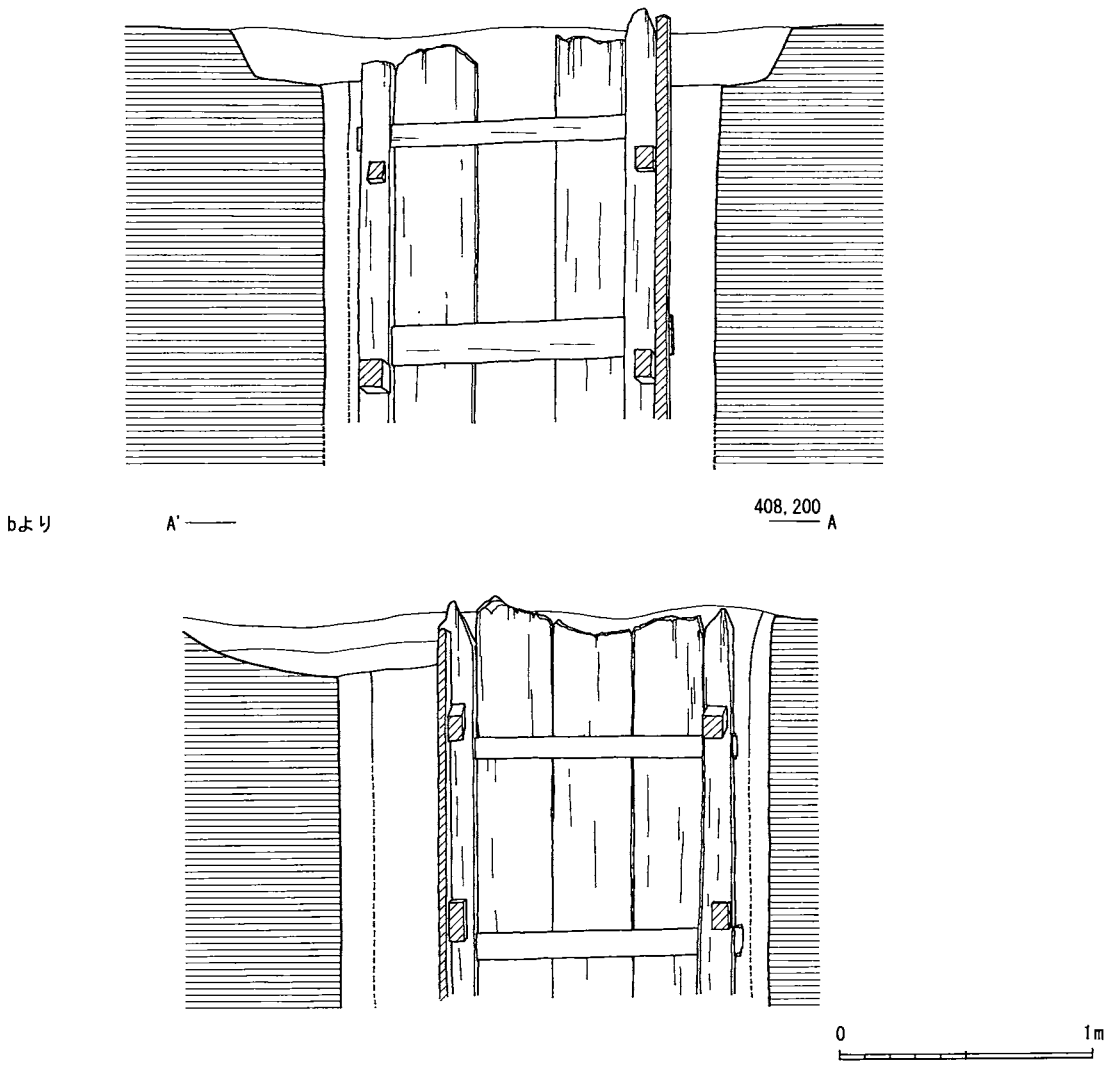
井戸の構造は、方形縦板柱型井戸で、二本木前遺跡のＳＥ01と同種の構造である。堀形は1.9(約6.3尺）×2.1m（７尺）四方の方形。深さは1.7m。中央部に1.2m（４尺）四方の木枠を埋め込んで、地山と木枠の間に濁った黒褐色土（Ⅸの土）を入れて、木枠を固定している。縦板は、幅20～30cm、厚さ１



第63図　ＳＩ01実測図（1/40）



第64図　ＳＥ01実測図①（1/30）



第65図　ＳＥ01実測図②（1/30）

cm前後で、長さは約80cm。各辺に縦板を５枚組み合わせて内側を２段組の横桟（幅６×６cm・長さ1.1m前後）で固定する。横桟の固定は枘を組む。横桟は縦板の継ぎ目のところにあり上方へ延びる縦板は、下方のそれの外側にある。横桟と横桟の間には、80～40cm幅の断面台形の柱で支える。縦板の部材は、枘穴などの使用痕が残り、建材等の再利用が考えられる。井戸を作る部材は、一部を樹種同定したところ、縦の断面台形の柱がモミ属、横桟はクリであった。角材が井戸の底部には目の細かい砂があり、木枠の固定後に埋められたもののようである。その砂層の直上には土師器坏が置いてあり、井戸の使用開始時の供献物と思われる。砂層上部の埋土は自然堆積で、井戸内には黒青色の粘質土が堆積する。土層断面の⑨はカーボン層である。

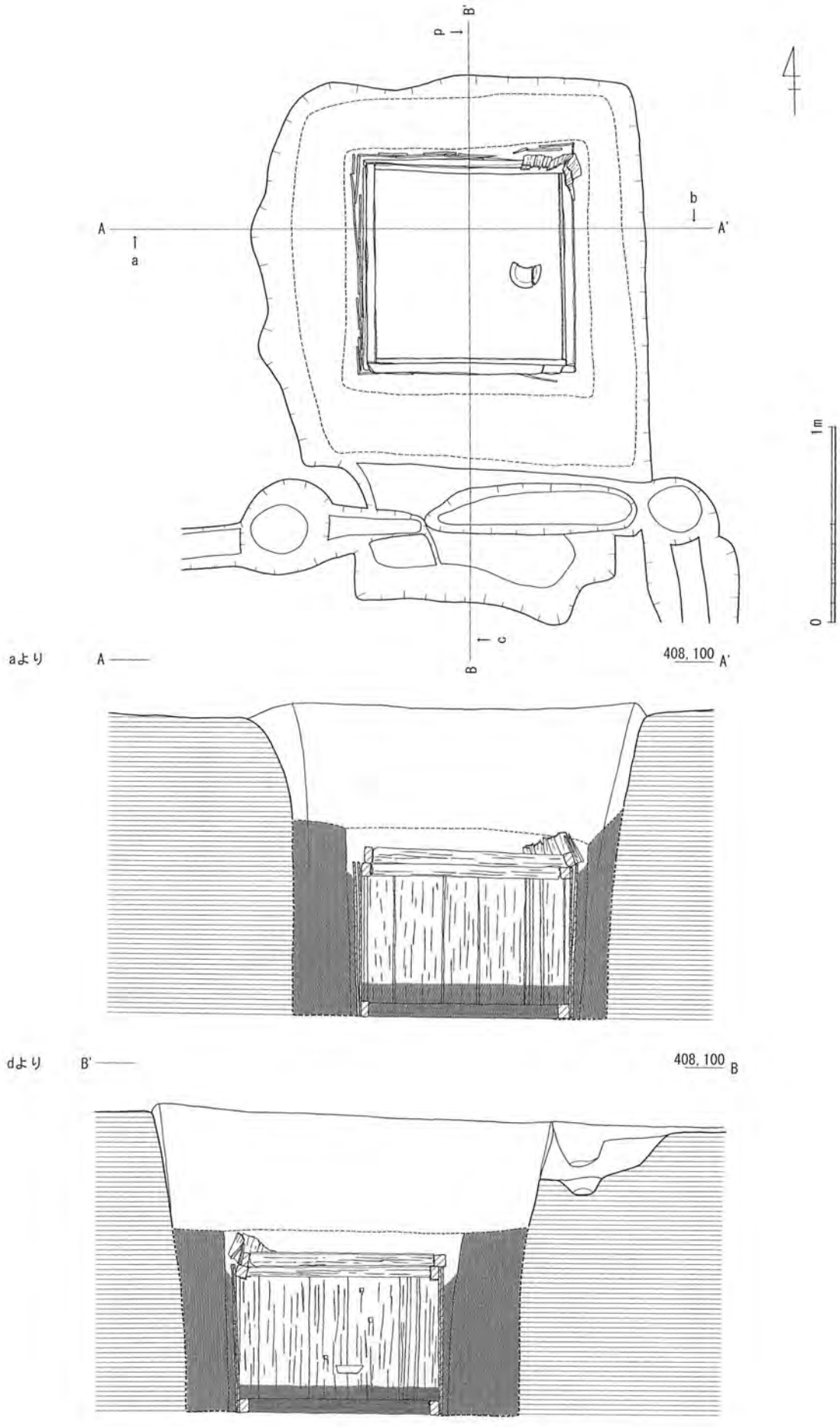
７－２　遺物

68－１　ＳＥ01より出土した青磁碗で、大宰府編年の初期龍泉窯・同安窯系青磁碗０類。外面体部は回転ヘラ削りを行った後、クシ状の施文具で縦に調整。内面はクシと二叉工具で施文。見込み周辺には沈線。釉は灰緑青色で高台近くまで施釉。

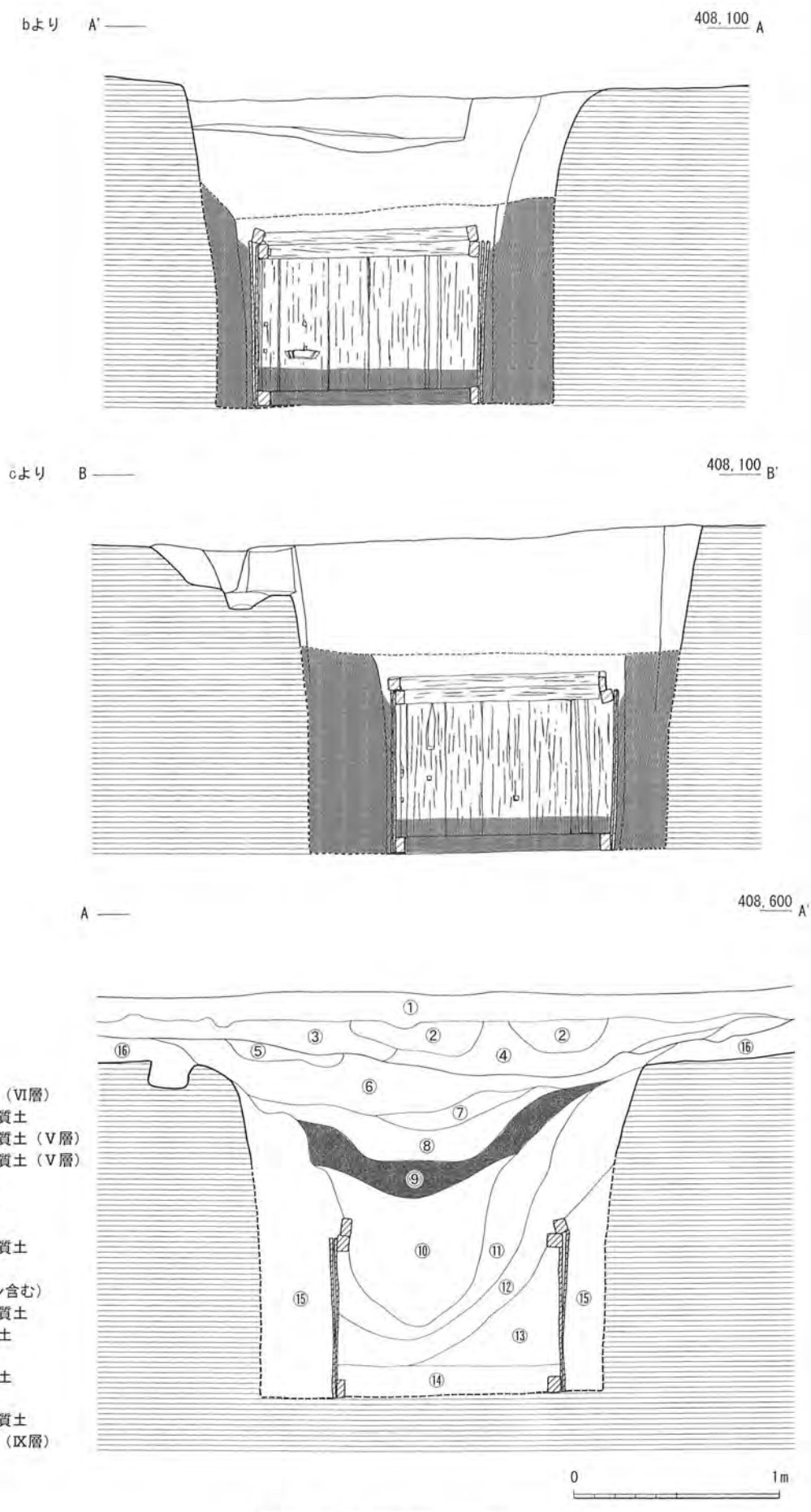
68－２　ＳＥ01より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅳ類。内外面をヘラで大きく縦に削り、花弁を象る。釉は暗オリーブ灰色。

68－３　ＳＥ01より出土した青白磁梅瓶。内面は回転ナデ。外面はクシで渦巻き状に施文。釉は明青白色。

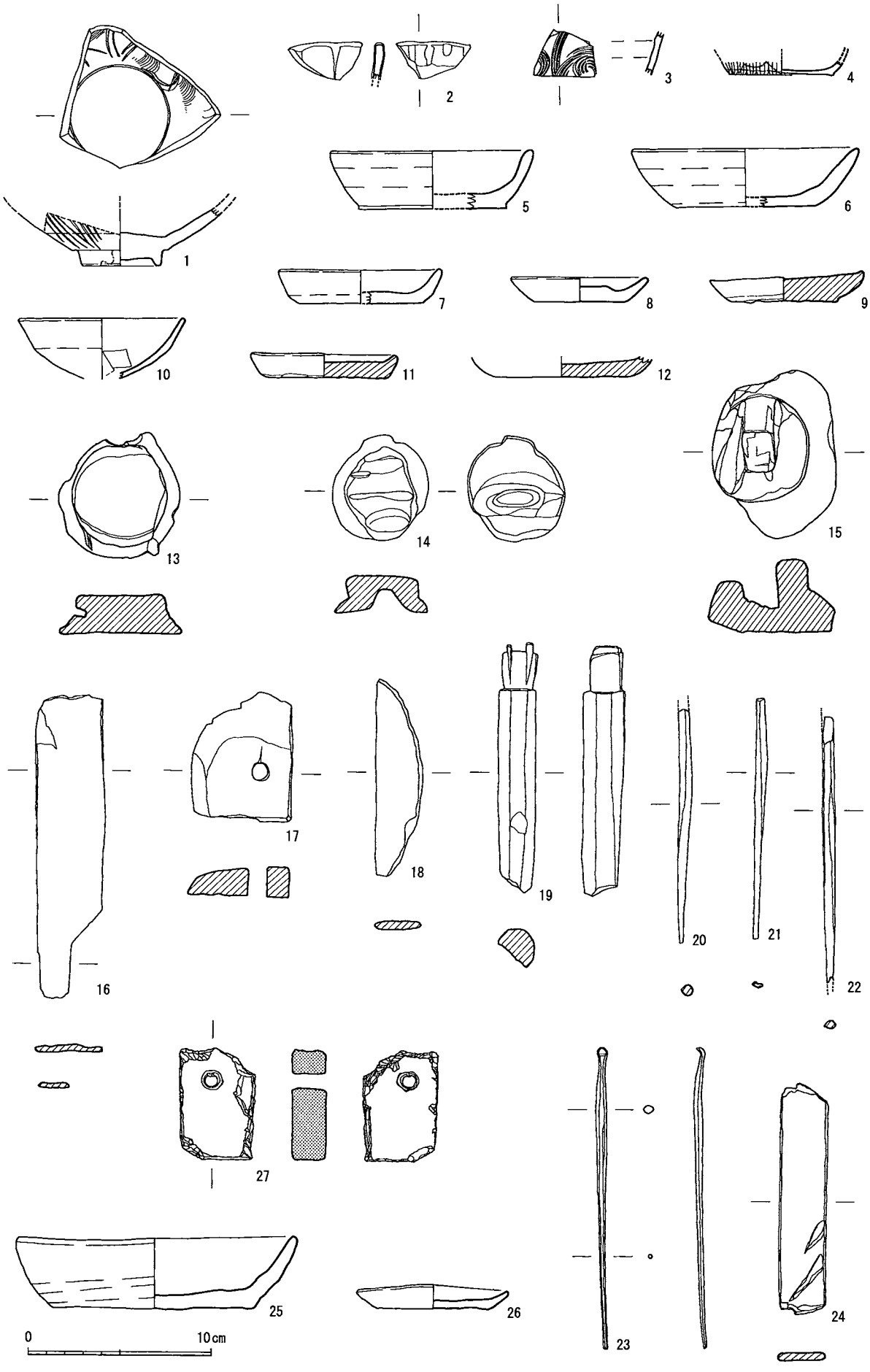
68－４　ＳＥ01より出土した白磁合子身。外面は型押しにより菊花弁を作り出す。釉は外面体部下位ま



第66図　ＳＥ02実測図①（1/30）



第67図　ＳＥ02実測図②（1/30）



第68図　ＳＥ出土遺物実測図（1/3）

で施す。釉調は灰白色。

68－5　ＳＥ01より出土した土師器坏。復原口径11.0cm。器高3.1cm。底部は糸切り。色調は橙色。胎土は砂粒が混じり粗い。見込みのナデは不明。

68－6　ＳＥ01より出土した土師器坏。復原口径12.0cm。器高3.1cm。底部は糸切り。色調はにぶい黄橙色。胎土は砂粒が混じり粗い。見込みは軽く横ナデを施す。

68－7　ＳＥ01より出土した土師器皿。復原口径9.0cm。器高1.8cm。底部は糸切り。色調はにぶい橙色。胎土は砂粒が少なく比較的細かい。見込みは軽く横ナデを施す。

68－8　ＳＥ01より出土した土師器皿。復原口径7.6cm。器高1.3cm。底部は糸切り。色調はにぶい橙色。胎土は砂粒が多く粗い。見込み周辺はナデくぼめる。中央は横ナデをしない。

68－9　ＳＥ01より出土した木器皿。口径8.4cm。器高1.6cm。内面を彫りくぼめず平坦。木取りは板目。材質はカツラ。

68－10　ＳＥ01より出土した白色土師器埦。復原口径9.0cm。内面は丁寧なナデ。外面は体部上位は回転ナデで、押し出しで丸底化する。体部下位はナデ調整。色調は暗灰白色。胎土は砂粒が少なく比較的細かい。

68－11　ＳＥ01より出土した木器皿。口径8.0cm。器高1.3cm。内面は浅く彫りくぼめる。木取りは板目。材質はカツラ。

68－12　ＳＥ01より出土した木器椀。底径7.4cm。底部しか残らない。木取りは板目。材質はカツラ。

68－13　ＳＥ01より出土した木器。円盤状で突起を持つ。直径6.7cm。器高2.0cm。木取りは板目。材質はカツラ。

68－14　ＳＥ01より出土した木器。円盤状で突起を持ち、突起の対面はくぼむ。直径5.6cm。器高2.0cm。木取りは板目。材質はカツラ。

68－15　ＳＥ01より出土した木器。円盤状で突起を持ち、一部を欠損する。突起面は方形に穴を穿つ。直径9.0cm。器高3.8cm。木取りは板目。材質はモクレン属。

68－16　ＳＥ01より出土した羽子板状木器。一部を欠損する。縦16.3cm。横3.7cm。木取りは板目。材質はモミ属。

68－17　ＳＥ01より出土した不明木器。一部を欠損する。縦7.0cm。横5.4cm。木取りは板目。材質はヒノキ。

68－18　ＳＥ01より出土した面子底。一部を欠損する。縦10.5cm。横2.6cm。木取りは板目。材質はヒノキ。

68－19　ＳＥ01より出土した木器で、建材の楔と思われる。縦13.5cm。横2.0cm。木取りは板目。材質はモミ属。

68－20　ＳＥ01より出土した木器箸。一部を欠損する。縦12.5cm。横0.7cm。木取りは板目。

68－21　ＳＥ01より出土した木器箸。一部を欠損する。縦13.0cm。横0.6cm。木取りは板目。

68－22　ＳＥ01より出土した木器箸。一部を欠損する。縦14.4cm。横0.7cm。木取りは板目。材質はモミ属。

68－23　ＳＥ01より出土した耳掻き。材質は骨角質のもので、完形品。縦16.5cm。横0.6cm。

68－24　ＳＥ01より出土した木簡。上部の抉りを入れる部分が欠損する。一面に墨痕らしきものが認められたが、解読はできなかった。縦12.5cm。横2.5cm。木取りは板目。材質はモミ属。

68－25　ＳＥ02最下層より出土した土師器坏。口径15.0cm。器高4.0cm。底部は糸切り。色調はにぶい橙色。胎土は砂粒が混じり粗い。見込みは軽く２回横ナデを施す。井戸の使用開始に伴う祭祀的なものとも思われるが、いずれにしろ、ＳＥ02の使用開始時の遺物であろう。

68－26　ＳＥ02より出土した土師器皿。復原口径8.5cm。器高1.3cm。底部は糸切り。色調はにぶい橙色。胎土は砂粒が混じり粗い。見込みは軽い横ナデを施す。体部は開き、薄く引き上げる。

68－27　ＳＥ02より出土した滑石製温石。石鍋を加工している。方形に加工し、端部を穿孔する。欠損している部分が多いが、温石に使用されたものと思われる。

8　溝（ＳＤ）

8－1　遺構

ＳＤ01（第５・55図）

遺跡中央を南北に走る溝で、Ｆ－２区では消滅しているが、Ｇ－２区より再び検出できる。全域幅1.0ｍ、深さ20～80㎝の蒲鉾状の堀形をもつ溝である。この遺構は多くの建物群と重複をしているが、中層にはかたい鉄分層があり、その上層と下層で遺構の時期を２つに分けることができる。下層は12世紀段階の溝と思われ、遺構の南北を走るが、上層はＤ－２区より流路を西にとり、ＳＤ04となっている。

ＳＤ02（第５・55図）

遺跡中央を東西に走る溝で、Ｅ－２区で流路を90°南に曲げ、Ｆ－２区で消滅する。ＳＤ01を切っているが、ＳＤ02も12世紀段階の溝と思われる。幅0.6～2.0ｍ、深さ15～80㎝の蒲鉾状の堀形をもつ溝である。

ＳＤ03（第５・55図）

遺跡中央を東西に走る溝で、Ｅ－２区に始まり、ＳＥ01に伴う排水路と思われる。ＳＤ02を切っており、13世紀段階の溝と思われる。幅0.6～1.4ｍ、深さ20～60㎝の蒲鉾状の堀形をもつ溝である。

ＳＤ04（第５・55図）

遺跡中央を東西に走る溝で、Ｄ－２区に始まり、ＳＤ01が流路を改変したものと思われる。幅0.8～1.0ｍ、深さ20～40㎝の蒲鉾状の堀形をもつ溝である。

ＳＤ05（第５・55図）

遺跡中央を東西に走る溝で、Ｅ－１区に始まり、３ｍ程で消滅する。幅0.8ｍ、深さ20㎝の不定形の堀形をもつ溝である。

ＳＤ06（第５・55図）

遺跡中央を東西に走る溝で、Ｆ－１区に始まり、５ｍ程で消滅する。幅0.4ｍ、深さ20㎝の不定形の堀形をもつ溝である。

8－2　遺物

69－1　ＳＤ01より出土した土師器坏。復原口径14.0㎝。器高3.2㎝。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく比較的細やか。色調は橙色。見込みは軽い横ナデを行う。

69－2　ＳＤ01より出土した土師器坏。口径15.1㎝。器高4.2㎝。底部は糸切りで板目圧痕が付く。胎土は砂粒が少なく細やか。色調はにぶい橙色。見込みは横ナデを行い、たわんでいる。

69－3　ＳＤ01より出土した土師器坏。口径15.4㎝。器高3.2㎝。底部は糸切りで板目圧痕が付く。胎土は砂粒が多く粗い。色調は明褐灰色。見込みは軽い横ナデを２回行う。全体に器肉が厚く、体部は外に開く。

69－4　ＳＤ01より出土した土師器皿。復原口径7.8㎝。器高1.3㎝。底部は糸切りで板目圧痕が付く。胎土は砂粒が少なく比較的細かい。色調は浅黄橙色。見込みは軽い横ナデを数回行う。全体に器肉が薄い。

69－5　ＳＤ01より出土した土師器皿。口径8.5㎝。器高1.6㎝。底部は糸切りで板目圧痕が付く。胎土は砂粒が少なく比較的細かい。色調はにぶい橙色。見込み周辺はなでくぼめ、見込み内側は軽い横ナデを２～３回行う。口縁部は薄く引き上げる。

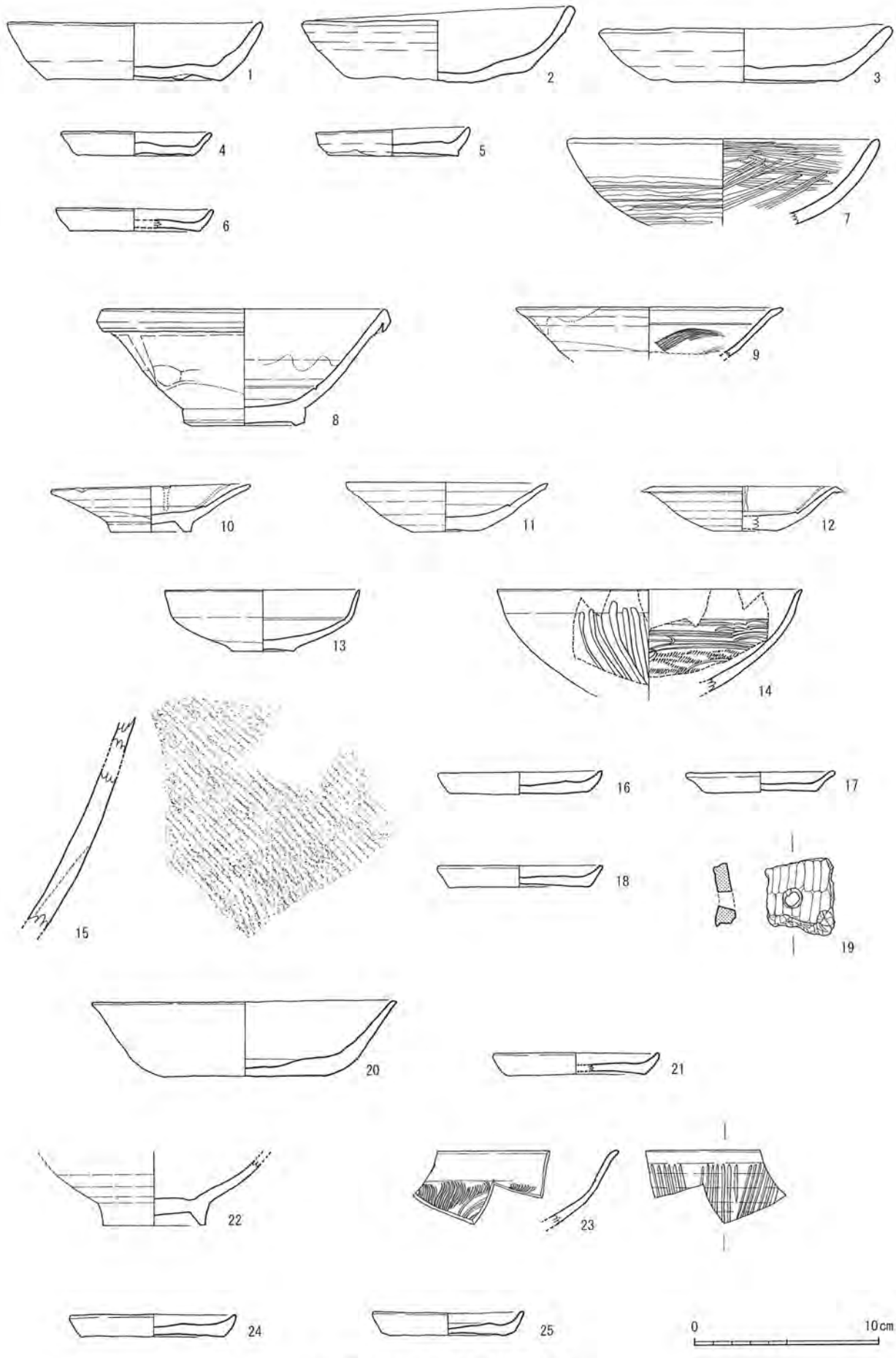
69－6　ＳＤ01より出土した土師器皿。復原口径8.5㎝。器高1.2㎝。底部は糸切り。胎土は砂粒が多くいが、比較的細かい。色調はにぶい黄橙色。見込みは軽く横ナデを行う。口縁部は薄く引き上げる。

69－7　ＳＤ01より出土した瓦器埦。復原口径17.2㎝。内外面とも手持ちヘラ磨きにより丁寧に仕上げてある。体部外面中位にはヘラによる沈線が３本まわる。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。色調は内面は灰白色、外面は灰色。

69－8　ＳＤ02より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅳ１ａ類。復原口径15.2㎝。器高6.2㎝。体部外面は回転ヘラ削り。口縁部は玉縁状に肥厚する。見込み周辺には沈線を施す。釉はオリーブ灰色で、体部下位まで施釉する。

69－9　ＳＤ02より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅵ１ｂ類。復原口径10.5㎝。体部外面は回転ヘラ削り。口縁部は外反し、端部を平らにする。内面はクシによりランダムに施文。釉はオリーブ灰色で、体部中位まで施釉する。

69－10　ＳＤ02より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅲ２類のバリエーション。口径10.8㎝。器



第69図　ＳＤ出土遺物実測図（1/3）

高2.6cm。体部外面は回転ヘラ削り。内面には５本の堆線を施し、口縁部はそれに伴って５つの輪花を付ける。見込み周辺に沈線を施す。釉はオリーブ灰色で、体部中位まで施釉する。

69－11　ＳＤ02より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅳ１ａ類。口径11.0cm。器高3.1cm。体部外面は回転ヘラ削り。見込み周辺には沈線を施す。釉は灰白色で、底部位まで施釉し、底部は掻き取る。貫入多し。

69－12　ＳＤ02より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅳ２ｂ類。復原口径10.8cm。器高2.4cm。体部外面は回転ヘラ削り。口縁部は外反させ、口唇部は下方へ角度を持つ。体部内面には５本の堆線を施し、見込み周辺には沈線をめぐらす。釉は灰白色で、底部位まで施釉し、底部は掻き取る。

69－13　ＳＤ02より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅵ１ａ類。復原口径10.8cm。器高3.3cm。体部外面は回転ヘラ削り。体部内面高位に沈線をめぐらす。釉はオリーブ灰色で、底部位まで施釉する。

69－14　ＳＤ02より出土した青磁碗で、大宰府編年の初期龍泉窯・同安窯系青磁碗０類。復原口径16.6cm。体部外面は回転ヘラ削りののち、縦方向にヘラで施文。内面はクシとヘラ先で複雑な文様を施す。釉はオリーブ色。

69－15　ＳＤ02より出土した須恵質土器で、壺または甕。内面はナデ調整。外面は格子目タタキを施す。胎土は砂粒が少なく、胎土は比較的細やか。

69－16　ＳＤ02より出土した土師器皿。口径9.0cm。器高1.1cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なくきめ細やか。色調は橙色。器肉は薄手で、見込みは軽く一度横ナデをする。

69－17　ＳＤ02より出土した土師器皿。復原口径8.0cm。器高1.0cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が比較的多く、やや粗い。色調はにぶい橙色。器肉は薄手で、体部は開く。見込みは数回横ナデをする。

69－18　ＳＤ02より出土した土師器皿。口径9.0cm。器高1.1cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なく、比較的細やか。色調はにぶい橙色。口縁部は薄く引き上げる。見込みは横ナデをしない。

69－19　ＳＤ02より出土した滑石製温石。石鍋を加工し、片面には石鍋の加工面を残している。方形に加工し、端部は穿孔する。欠損している部分が多いが、温石に使用されたものと思われる。

69－20　ＳＤ03より出土した土師器坏。復原口径16.6cm。器高4.0cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なく、比較的細やか。良く焼き締まる。色調は橙色。底部は小さく、体部は外に開く。口縁部は薄く引き上げる。見込みは数回横ナデをする。

69－21　ＳＤ03より出土した土師器皿。復原口径9.0cm。器高1.2cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込みは軽く横になでる。色調は橙色。

69－22　ＳＤ04より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅱ類。底径5.6cm。体部外面は回転ヘラ削り。内外面無文。見込み周辺に沈線を施す。釉はオリーブ灰色で、体部中位まで施釉。

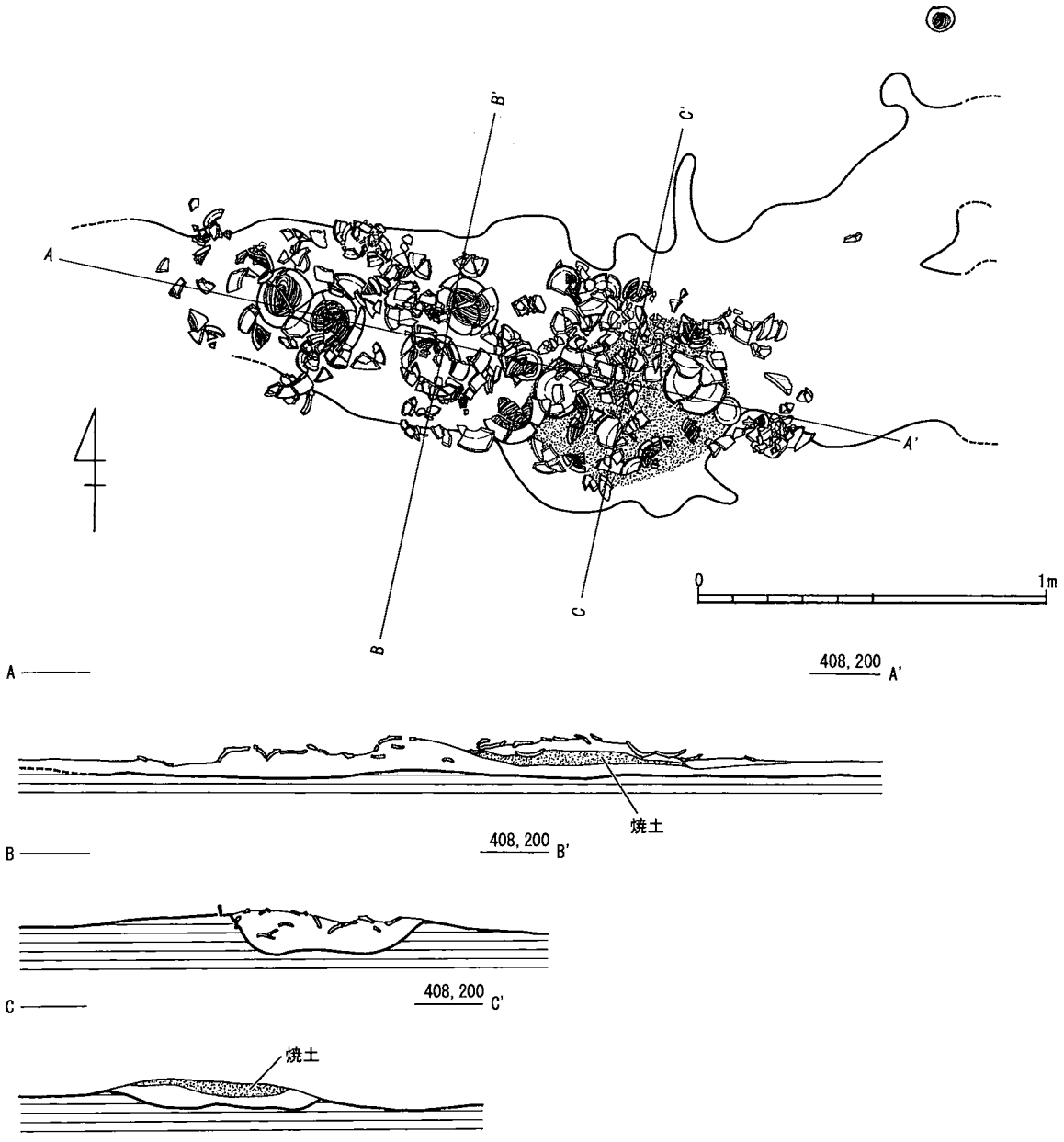
69－23　ＳＤ04より出土した青磁碗で、大宰府編年の初期龍泉窯・同安窯系青磁碗０類。体部外面は回転ヘラ削りの後、広めのクシで縦方向に施文。内面はクシとヘラで複雑に施文。釉はオリーブ灰色。

69－24　ＳＤ04より出土したは土師器皿。復原口径9.0cm。器高1.2cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細やか。色調はにぶい橙色。見込みは横方向に数回ナデる。

69－25　ＳＤ04より出土した土師器皿。復原口径8.3cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細やか。色調はにぶい橙色。見込みは数回横ナデを施す。

９　土器溜

遺跡内で明確な形で土器溜と認識できるものが７基あった。遺物の構成は土師器の坏・皿が中心であるが、陶磁器を含む物もあり遺物の一括性に注目される。遺跡の中心となる３つの時代の様相を示す遺物を見ることができるため、ここではそれぞれの遺構を示しながら、遺物も紹介していきたい。



第70図　土器溜１実測図（1/20）

９－１　土器溜１

【遺構】（第70図）

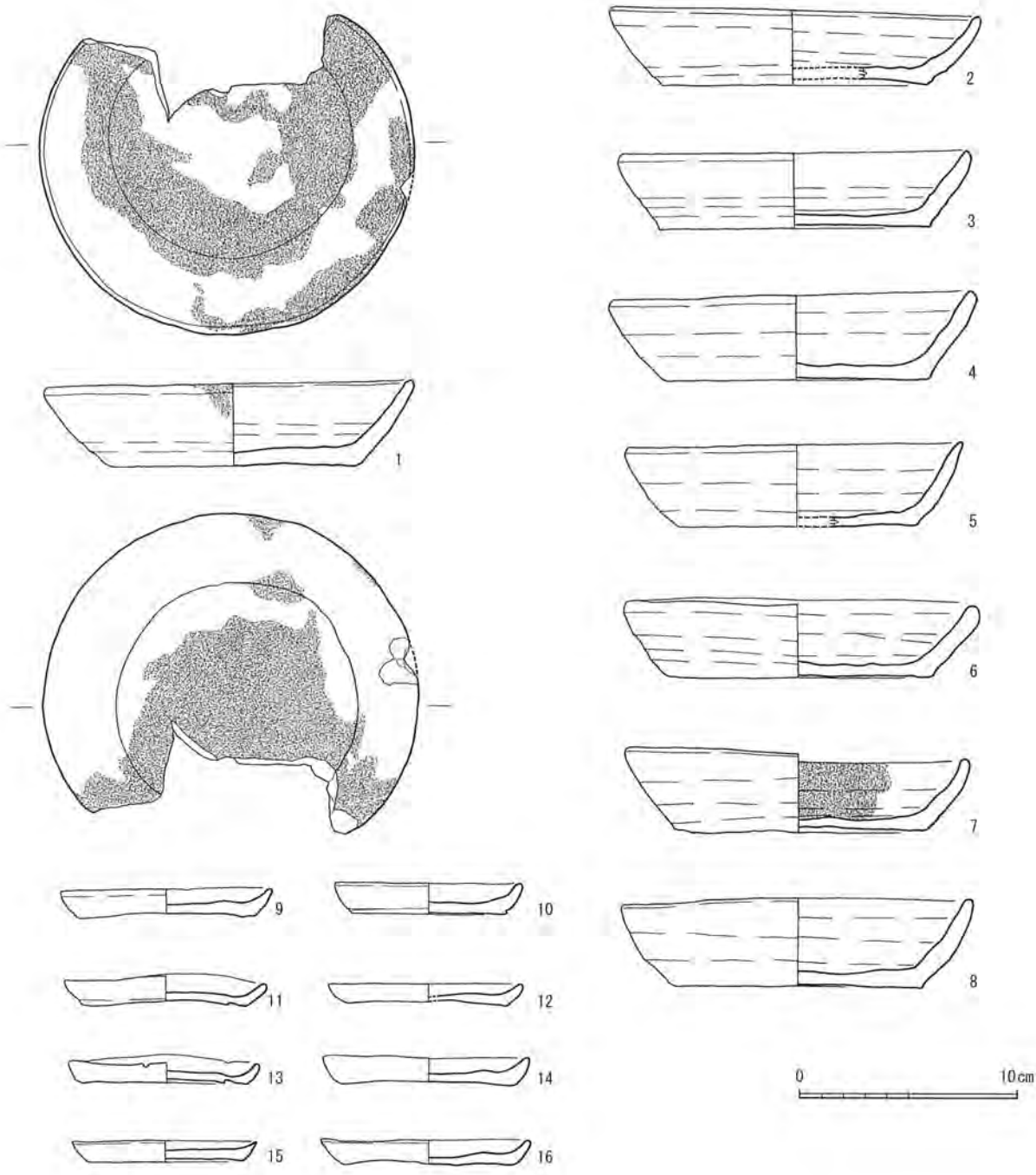
Ｆ－１・２区に位置する遺構。Ⅷ層中にある遺構で12世紀末段階の様相を示す土器溜と思われる。Ⅷ層中には灰赤褐色の厚い焼土層があり、焼土下にはⅧ層の土と、地山には浅い溝状の遺構があった。溝の流路は明確には追うことができなかった。焼土の上面には土師器坏・皿類が大量に廃棄されていた。完形のものと破片のものが混在しており、何らかの祭祀に関係する遺構と思われる。遺構の位置は、12世紀代の掘立柱建物であるＳＢ17の中にあり、関連性が考えられる。土師器坏13点と土師器皿75点があり、坏の口径の平均直径16.0cm、皿の口径の平均直径9．3cm である。

【遺物】（第71図）

71－１　土師器坏。口径16.9cm。器高3.7cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込みは軽く横にナデる。色調はにぶい黄橙色。内外面と底部にカーボンが付着する。

71－２　土師器坏。口径16.9cm。器高3.6cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込みは数回横にナデる。色調はにぶい橙色。

71－３　土師器坏。復原口径15.8cm。器高3.4cm。



第71図　土器溜1出土遺物実測図（1/3）

底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込みは数回横にナデ、底部の器肉は薄い。色調はにぶい橙色。

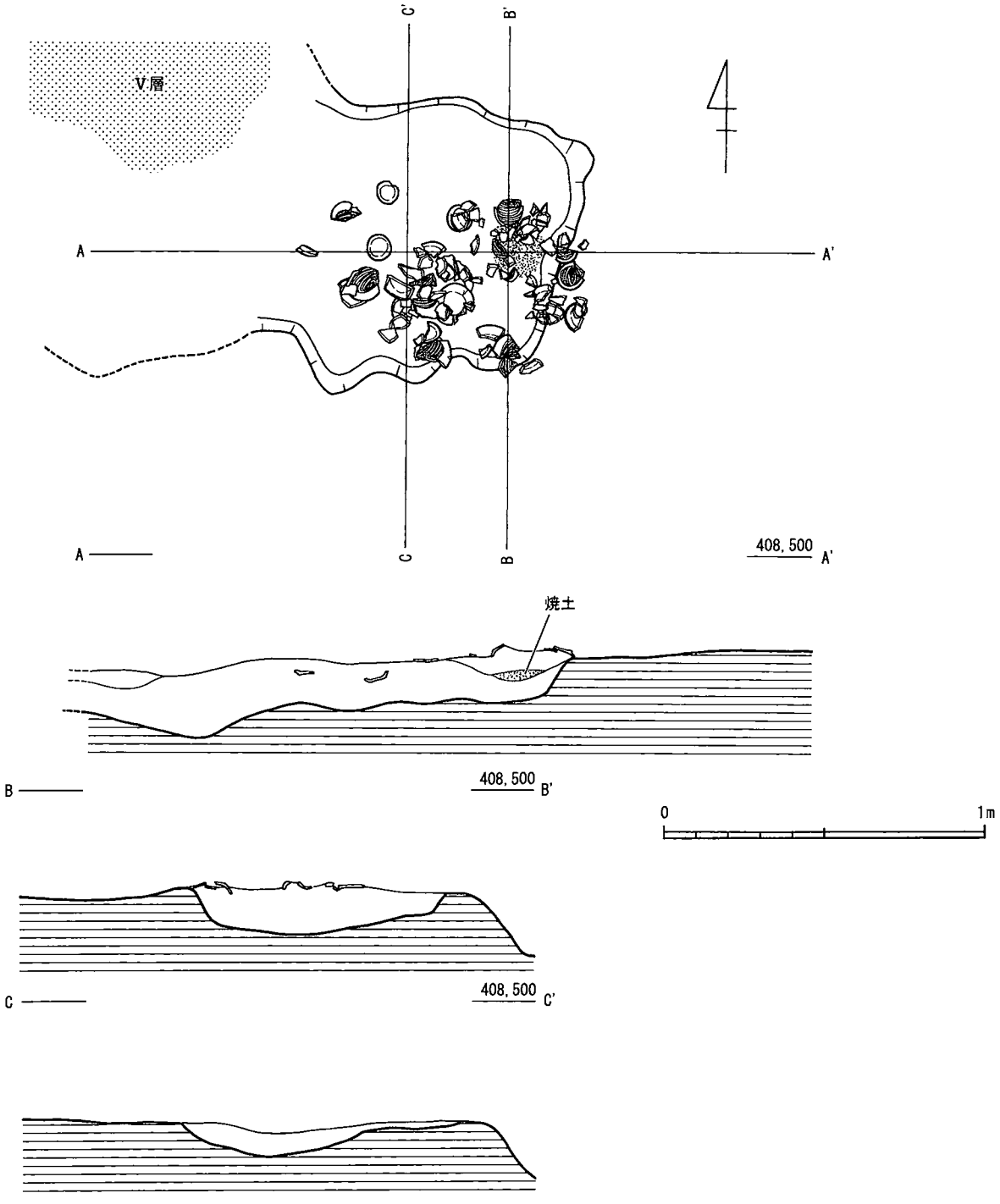
71－4　土師器坏。口径16.4cm。器高4.0cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込みは軽く1回横ナデを施す。色調はにぶい橙色。

71－5　土師器坏。口径15.3cm。器高3.6cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込みのナデは不明。色調はにぶい橙色。

71－6　土師器坏。口径16.0cm。器高3.4cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込みは数回横ナデを施す。色調はにぶい橙色。

71－7　土師器坏。口径15.5cm。器高3.8cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込みは数回横ナデを施す。色調は橙色。

71－8　土師器坏。口径15.9cm。器高3.6cm。底部



第72図　土器溜２実測図（1/20）

は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込みは１回軽く横ナデを施す。色調はにぶい橙色。

71－9　土師器皿。口径9.6cm。器高1.2cm。底部は糸切り。胎土は比較的細やか。見込みは横方向に軽くナデる。色調はにぶい黄橙色。

71－10　土師器皿。復原口径8.6cm。器高1.4cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込みは横ナデを数回施す。色調はにぶい黄橙色。

71－11　土師器皿。口径9.3cm。器高1.1cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やかで堅く焼き締まる。見込みは１回軽くナデる。色調はにぶい橙色。

71－12　土師器皿。口径9.0cm。器高1.0cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やかで堅く焼き締まる。見込みは１回軽くナデる。色調はにぶい橙色。

71－13　土師器皿。口径8.8cm。器高1.0cm。底部は

糸切りで、板目圧痕が付く。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込み周辺をナデくぼめ、見込み内は横ナデを１回施す。色調は橙色。

71－14　土師器皿。口径9.6cm。器高1.2cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込み周辺はナデくぼめ、見込み内部は横ナデを１回施す。色調はにぶい橙色。

71－15　土師器皿。口径8.5cm。器高1.0cm。底部は糸切りで、板目圧痕がつく。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込みは横ナデを数回施す。色調はにぶい橙色。

71－16　土師器皿。口径9.8cm。器高1.2cm。底部は糸切りで、深い板目圧痕がつく。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込みは強い横ナデを１～２回施す。色調はにぶい橙色。

９－２　土器溜２

【遺構】（第72図）

Ｅ－２区に位置する遺構。Ⅵ層中にある遺構で14世紀段階の様相を示す土器溜と思われる。Ⅵ層中には灰赤褐色の薄い焼土層があり、焼土下にはⅥ層の土と、Ⅶ層に掘り込んだ浅い溝状の遺構があった。溝の流路は明確には追うことができなかった。焼土の上面には坏・皿類が廃棄されていた。完形のものと破片のものが混在しており、何らかの祭祀に関係する遺構と思われる。土師器坏19点と土師器皿14点があり、坏の口径の平均直径11.8cm、皿の口径の平均直径8.0cmである。

【遺物】（第73図）

73－１　土師器坏。口径12.7cm。器高3.2cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が多く、やや粗い。体部外面に回転ナデの目が明確に残る。見込みの横ナデはしない。色調はにぶい橙色。内外面と底部にカーボンが付着する。

73－２　土師器坏。口径12.3cm。器高3.0cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が多く、やや粗い。体部外面に回転ナデの目が明確に残る。見込みは１～２回横にナデる。口唇部と外面にカーボンが付着する。糸切り時の底部のナデ処理は行わない。色調はにぶい橙色。

73－３　土師器坏。口径11.8cm。器高2.6cm。底部は糸切り。胎土は比較的砂粒が多く、やや粗い。体部外面に回転ナデの目が明確に残る。見込み周辺はナデくぼめ、見込み内は横ナデを１回施す。色調はにぶい橙色。

73－４　土師器坏。口径11.6cm。器高3.2cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が多く、やや粗い。見込み周辺はナデくぼめ、見込み内は１～２回横にナデる。体部は直立する。色調はにぶい橙色。

73－５　土師器坏。口径12.0cm。器高3.2cm。底部は糸切り。胎土は比較的砂粒が多く、やや粗い。見込み周辺はナデくぼめ、見込み内は横ナデを行わない。体部は直立気味。色調はにぶい橙色。

73－６　土師器坏。口径12.0cm。器高2.7cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土は砂粒が比較的多く、やや粗い。見込み周辺はナデくぼめ、見込み内は１回横にナデる。体部は直立気味。糸切り時の底部のナデ処理は行わない。体部内面にカーボンが付着。色調はにぶい橙色。

73－７　土師器皿。口径8.1cm。器高2.1cm。底部は糸切り。胎土は砂粒は少ないが、やや粗い。見込みは横方向に軽くナデる。体部は直立する。色調はにぶい橙色。

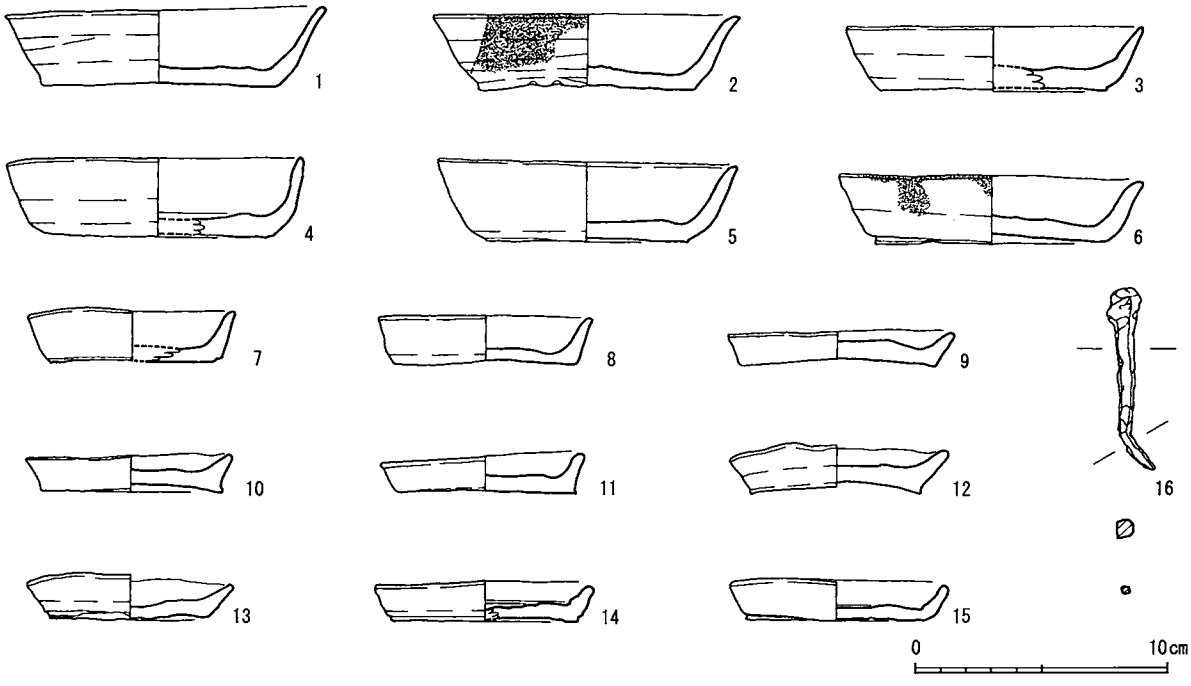
73－８　土師器皿。口径8.6cm。器高1.9cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込み周辺はナデくぼめ、内部の横ナデは行わない。体部は直立する。色調はにぶい橙色。

73－９　土師器皿。口径9.0cm。器高1.3cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が多く粗い。見込み周辺は深くナデくぼめ、内部の横ナデは不明。体部はやや開く。色調は橙色。

73－10　土師器皿。口径7.9cm。器高1.5cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が多く、やや粗い。見込み周辺はややナデくぼめ、内部に横ナデは行わない。色調は橙色。

73－11　土師器皿。口径8.2cm。器高1.5cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が多く、やや粗い。見込み周辺をナデくぼめ、見込み内に横ナデはしない。色調はにぶい橙色。

73－12　土師器皿。口径8.1cm。器高2.0cm。底部は



第73図　土器溜２出土遺物実測図（1/3）

糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込みに横ナデは行わない。底部がたわみ、体部は開き気味。色調は橙色。

73－13　土師器皿。口径8.1cm。器高1.9cm。底部は糸切りで、板目圧痕がつく。胎土は砂粒が多いが、比較的細やか。見込みは強い横ナデを１回施す。色調は橙色。

73－14　土師器皿。復原口径8.6cm。器高1.4cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少ないが、やや粗い。見込み周辺をヘラで削り、段をつける。見込み内は円形にナデくぼめる。色調はにぶい橙色。

73－15　土師器皿。口径8.4cm。器高1.7cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少ないが、やや粗い。見込み周辺をヘラで削り、段をつける。見込み内の横ナデは行わない。色調は橙色。

73－16　鉄器で鍛造の釘。長さ7.2cm。断面は一辺0.6cmの方形。

９－３　土器溜３

【遺構】（第74図）

Ｄ－２区に位置する遺構。Ⅵ層中にある遺構で14世紀段階の様相を示す土器溜と思われる。Ⅵ層掘り下げ時完形の土師器坏・皿類が散在していたため、その集中部分を土器溜と認識したものである。そのため、明確な堀形を確認することができなかった。遺物は完形のものと破片のものが混在している。土師器坏８点と土師器皿18点があり、坏の口径の平均直径12.5cm、皿の口径の平均直径8.4cmである。

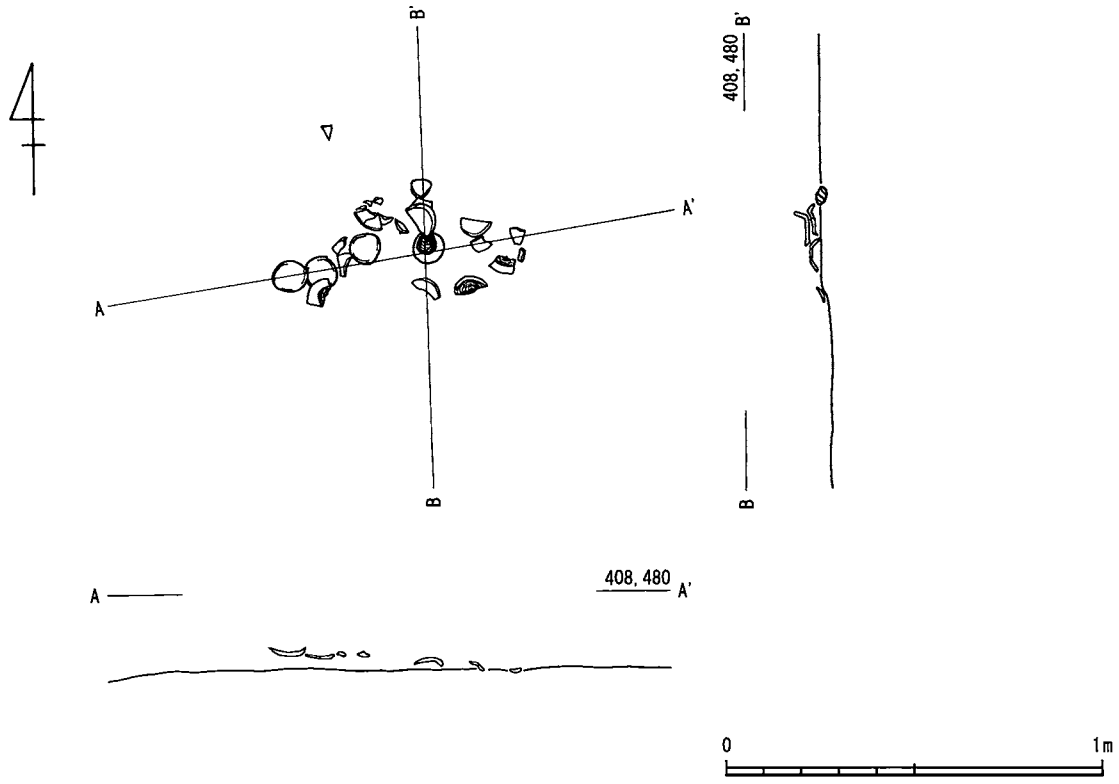
【遺物】（第75図）

75－１　土師器坏。口径12.2cm。器高3.4cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。体部外面に回転ナデの目が明確に残る。見込み周辺は深くナデくぼめ、内部の横ナデはしない。体部は開く。色調はにぶい橙色。

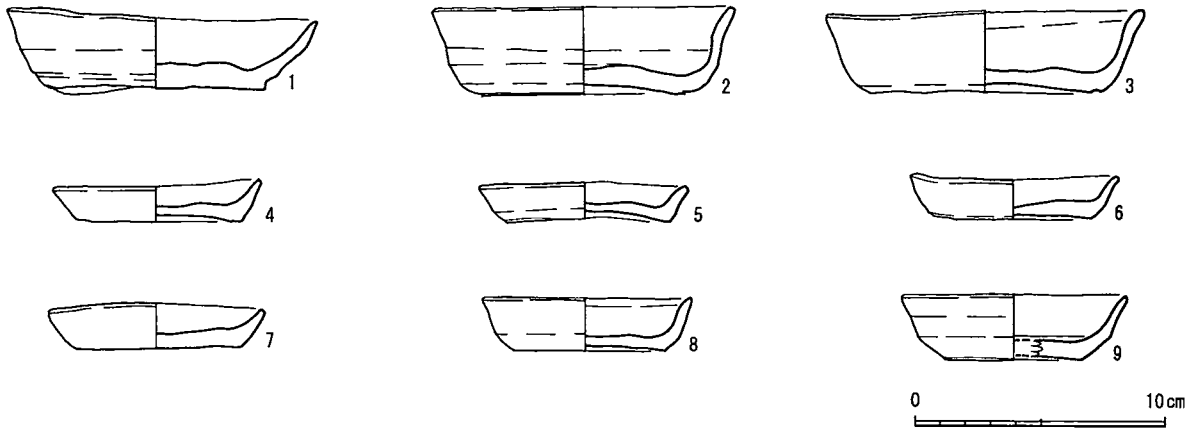
75－２　土師器坏。復原口径11.8cm。器高3.4cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。体部外面に回転ナデの目が明確に残る。見込み周辺を深くナデくぼめ、内部に横ナデは施さない。体部は直立し、口縁部で外反する。色調はにぶい橙色。

75－３　土師器坏。口径12.6cm。器高3.2cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、やや細やか。体部外面に回転ナデの目が明確に残る。見込み周辺はナデくぼめ、見込み内は横ナデを行わない。色調はにぶい橙色。

75－４　土師器皿。口径8.2cm。器高1.6cm。底部は糸切り。胎土は砂粒は多いが、比較的細かい。見込



第74図　土器溜３実測図（1/20）



第75図　土器溜３出土遺物実測図（1/3）

み周辺をナデくぼめ、見込み内は横方向に一度軽くナデる。色調はにぶい橙色。

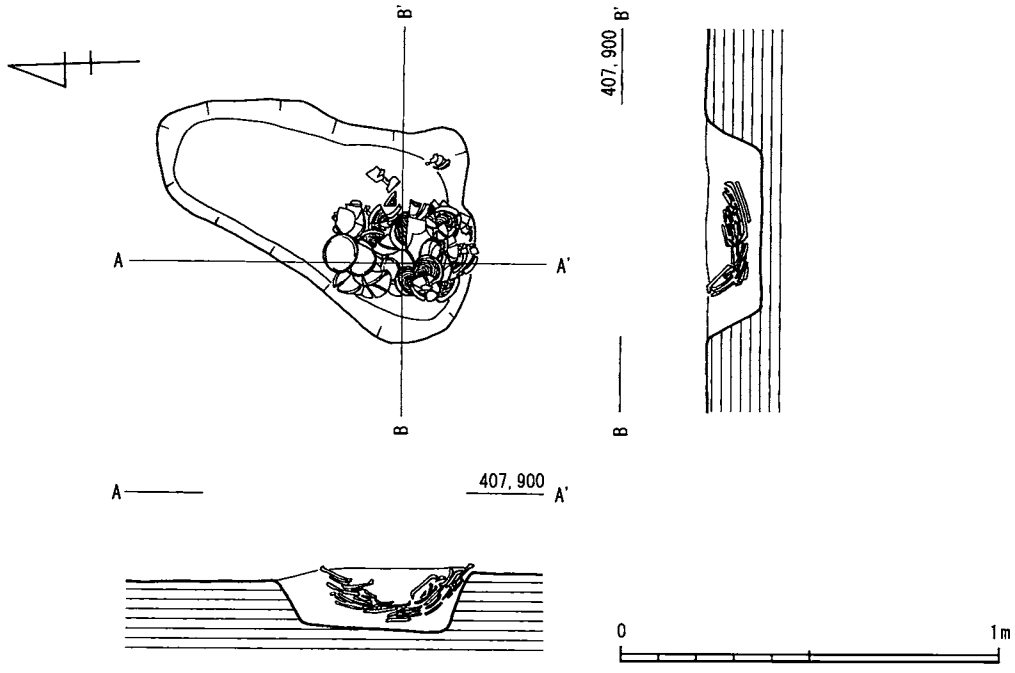
75－５　土師器皿。口径8.3cm。器高1.6cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細やか。見込み周辺はナデくぼめ、内部の横ナデは行わない。色調はにぶい橙色。

75－６　土師器皿。口径8.0cm。器高1.6cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土は砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み周辺はナデくぼめ、内部は強い横ナデを３回施す。口縁部はやや外反する。色調はにぶい橙色。

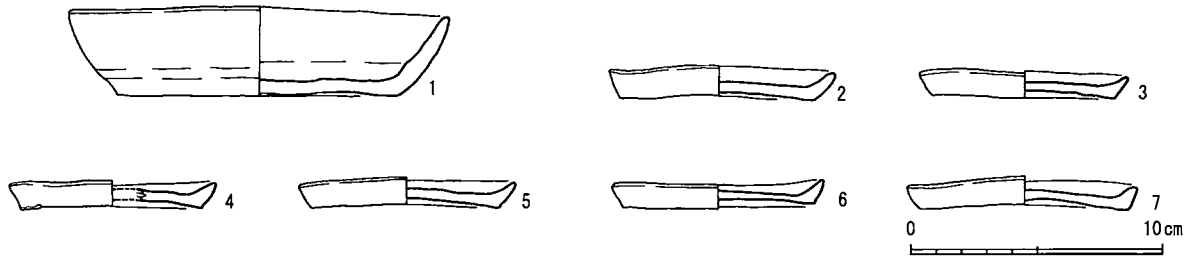
75－７　土師器皿。口径8.4cm。器高1.8cm。底部は糸切りで、板目圧痕がつく。胎土に砂粒は少ないが、やや粗い。見込み内は数回ナデる。色調はにぶい黄橙色。

75－８　土師器皿。口径8.4cm。器高2.1cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。見込み周辺を軽くナデくぼめ、見込み内に横ナデはしない。色調はにぶい橙色。

75－９　土師器皿。復原口径8.9cm。器高2.6cm。底



第76図　土器溜４実測図（1/20）



第77図　土器溜４出土遺物実測図（1/3）

部は糸切り。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。比較的細やか。見込みに軽い横ナデを行う。体部は開き気味。色調はにぶい黄橙色。

９－４　土器溜４

【遺構】（第76図）

Ｈ－２区、ＳＢ01内に位置する遺構。ＳＢ01基壇下層のⅧ層中にある遺構で12世紀末段階の様相を示す土器溜と思われる。長軸0.8m、短軸0.5mの不定形の土坑内に廃棄されている。土師器の坏・皿類が廃棄されているが、皿の割合が多い。何らかの祭祀に関係する遺構と思われる。土師器坏１点と土師器皿67点があり、坏の口径の平均直径15.2cm、皿の口径平均直径8.5cmである。

【遺物】（第77図）

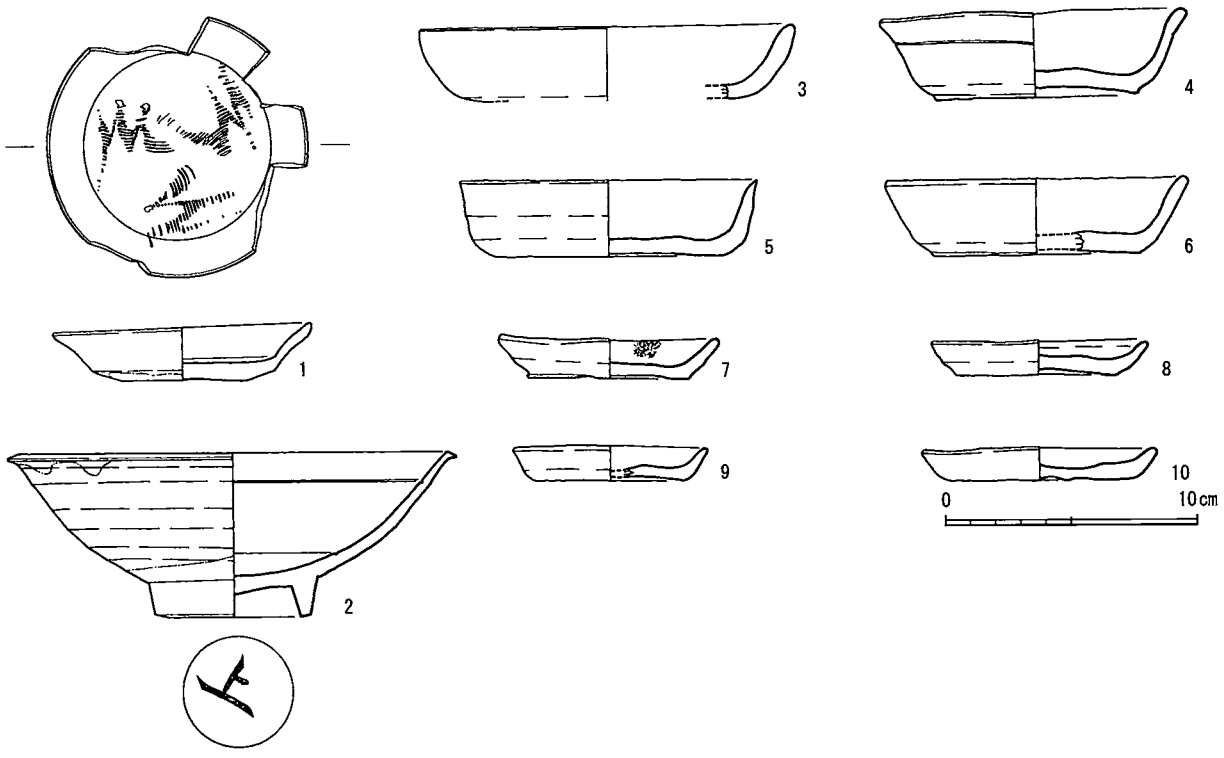
77－１　土師器坏。口径15.1cm。器高3.5cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細やか。見込み周辺は浅くナデくぼめ、内部の横ナデを１度施す。体部は開く。色調は浅黄橙色。

77－２　土師器皿。口径8.9cm。器高1.3cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細かい。見込み内は横方向に軽くナデる。色調はにぶい黄橙色。

77－３　土師器皿。口径8.2cm。器高1.2cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細やか。見込み周辺は浅くナデくぼめ、内部の横ナデは軽く１度施す。色調は橙色。

77－４　土師器皿。口径8.1cm。器高1.1cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み内部は軽い横ナデを１回施す。色調はにぶい橙色。

77－５　土師器皿。口径8.6cm。器高1.2cm。底部は糸切りで、板目圧痕がつく。胎土に砂粒が混じるが、



第78図　土器溜５出土遺物実測図（1/3）

比較的細やか。見込み内は軽く２回ナデる。色調はにぶい橙色。

77－６　土師器皿。口径8.3cm。器高1.0cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み周辺は軽くナデくぼめ、見込み内は軽く２回横ナデを施す。色調はにぶい橙色。

77－７　土師器皿。口径9.0cm。器高1.3cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細やか。見込みに２度ほど軽い横ナデを行う。色調はにぶい黄橙色。

９－５　土器溜５

【遺構】

Ｅ－３区に位置する遺構。Ⅶ層中にある遺構で13世紀中葉段階の様相を示す土器溜と思われる。実測中に霜で崩れたため、遺構を確認することができなかったが、陶磁器も混じり、一括性が重要である。土師器坏14点と土師器皿24点があり、坏の口径の平均直径13.4cm、皿の口径の平均直径9.6cmである。

【遺物】（第78図）

78－１　大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ１ｂ類。口径10.2cm。器高2.2cm。体部外面は回転ヘラ削り。見込み周辺には沈線を施し、見込み内部にはクシで雷光状に施文する。釉はオリーブ灰色で、体部下位まで施釉する。

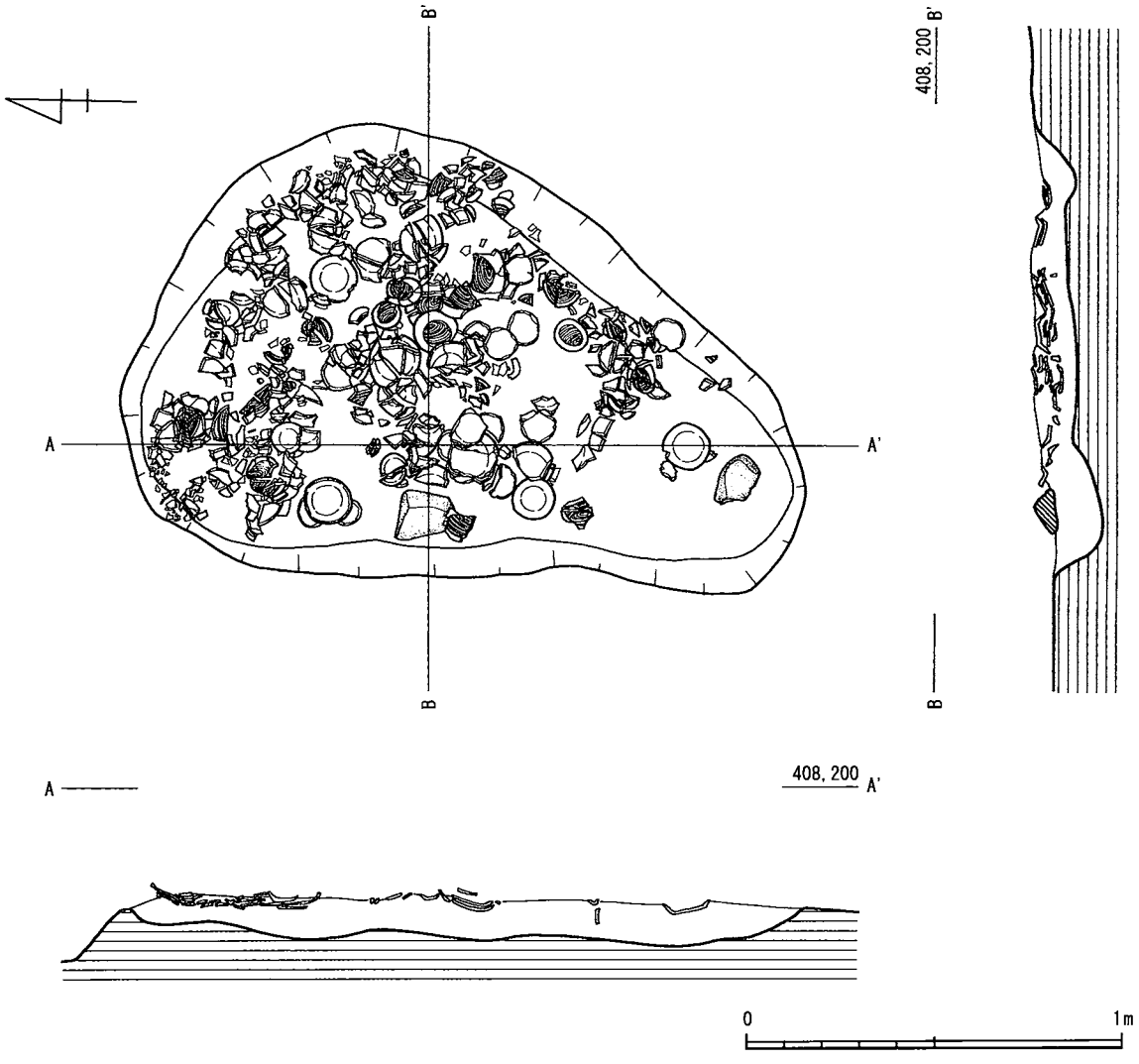
78－２　大宰府編年の白磁碗Ⅴ４ａ類。復原口径18.0cm。器高6.5cm。体部外面は回転ヘラ削り。口縁部は外反し、端部を平らにする。内外面とも無文。釉は明オリーブ灰色で、体部下半まで施釉する。高台内には墨書があり「上」と読むことができる。

78－３　土師器坏。復原口径15.0cm。器高2.9cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。見込みの横ナデは不明。体部は丸みを持つ。色調は橙色。

78－４　土師器坏。復原口径12.2cm。器高3.3cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、やや粗い。見込み周辺は浅くナデくぼめ、内部の横ナデはしない。口縁部はやや外反する。色調はにぶい橙色。

78－５　土師器坏。復原口径12.0cm。器高3.0cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細やか。体部外面に回転ナデの目が明確に残る。見込み周辺を浅くナデくぼめ、内部に横ナデは施さない。体部は直立する。色調はにぶい橙色。

78－６　土師器坏。復原口径11.9cm。器高3.0cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。体部外面に回転ナデの目が明確に残る。見込みの中心



第79図　土器溜６実測図（1/20）

部分を丸くナデくぼめる。色調はにぶい橙色。

78－７　土師器皿。口径8.6cm。器高1.7cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。見込みの横ナデは行わない。色調はにぶい黄橙色。

78－８　土師器皿。口径8.4cm。器高1.3cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細やか。見込み内の横ナデは行わない。色調はにぶい橙色。

78－９　土師器皿。復原口径7．8cm。器高1．4cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み内はナデくぼめる。色調はにぶい橙色。

78－10　土師器皿。復原口径9.2cm。器高1.2cm。底部は糸切りで、板目圧痕がつく。胎土に砂粒が混じるが、比較的細やか。見込み内は横ナデを数回施す。底部外面のナデ調整も丁寧に行っている。色調はにぶい橙色。

９－６　土器溜６

【遺構】（第79図）

Ｅ－３区に位置する遺構。Ⅶ層中にある遺構で13世紀中葉段階の様相を示す土器溜と思われる。長軸1.8m、短軸1.2mの不定形の土坑内に廃棄されている。土師器の坏・皿類が廃棄されており、何らかの祭祀に関係する遺構と思われる。掘り込みの下からは集石（第60図）が検出され、土坑下に石を敷いたものと思われる。土師器坏21点と土師器皿15点があり、坏の口径の平均直径12.0cm、皿の口径の平均直径8.2cmである。

【遺物】（第80図）

80－１　大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類。底径6.3cm。体部外面は回転ヘラ削り。見込み周辺には沈線を施し、内面にはヘラの片彫りとクシで施文す

る。釉はオリーブ灰色で、高台畳付まで施釉する。

80－2　土師器坏。口径12.6cm。器高3.2cm。底部は糸切り。胎土は砂粒少なく、やや細かい。見込みの横ナデは行わない。体部は開く。色調はにぶい橙色。

80－3　土師器坏。復原口径11.9cm。器高3.0cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が多く、やや粗い。見込み内の横ナデは不明。体部は開く。色調はにぶい橙色。

80－4　土師器坏。復原口径11.3cm。器高2.4cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細やか。見込み周辺を浅くナデくぼめ、内部に横ナデは施さない。体部は開く。色調はにぶい橙色。

80－5　土師器坏。口径13.2cm。器高3.1cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細かい。見込み周辺をナデくぼめ、内部に横ナデは施さない。色調はにぶい橙色。

80－6　土師器坏。復原口径12.1cm。器高2.9cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。見込みの横ナデは行わない。体部は直立気味。色調はにぶい橙色。

80－7　土師器坏。復原口径11.8cm。器高3.7cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。見込み周辺をナデくぼめ、内部の横ナデは施さない。体部は丸みを持ちながら開く。色調はにぶい橙色。

80－8　土師器坏。復原口径13.4cm。器高3.1cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細やか。見込み周辺を浅くナデくぼめ、内部に横ナデは施さない。体部は直立する。色調はにぶい橙色。

80－9　土師器坏。復原口径10.4cm。器高3.0cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細かい。見込み内に横ナデは施さない。体部は開く。色調はにぶい橙色。

80－10　土師器坏。復原口径11.9cm。器高3.3cm。底部は糸切り。胎土は砂粒少なく、やや細かい。見込み周辺を浅くナデくぼめ、内部の横ナデは行わない。体部は直立する。色調はにぶい橙色。

80－11　土師器坏。口径11.6cm。器高3.2cm。底部は糸切りで、板目圧痕がつく。胎土は砂粒が混じるが、比較的細やか。見込み内は強い横ナデを1度施す。体部はやや開く。色調はにぶい橙色。

80－12　土師器坏。口径12.8cm。器高2.9cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細かい。見込み周辺をナデくぼめ、内部の横ナデは不明。体部は開く。色調はにぶい橙色。

80－13　土師器坏。復原口径12.2cm。器高3.7cm。底部は糸切りで、板目圧痕がつく。胎土は砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み周辺をナデくぼめ、内部に横ナデは施さない。体部は直立する。色調はにぶい橙色。

80－14　土師器坏。口径12.3cm。器高3.4cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。体部に回転ナデの痕跡がはっきり残る。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。見込みの横ナデは行わない。体部は直立する。色調はにぶい橙色。

80－15　土師器坏。口径11.6cm。器高2.7cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混るが、やや細かい。見込み周辺をナデくぼめ、内部の横ナデは施さない。体部直立する。色調はにぶい橙色。

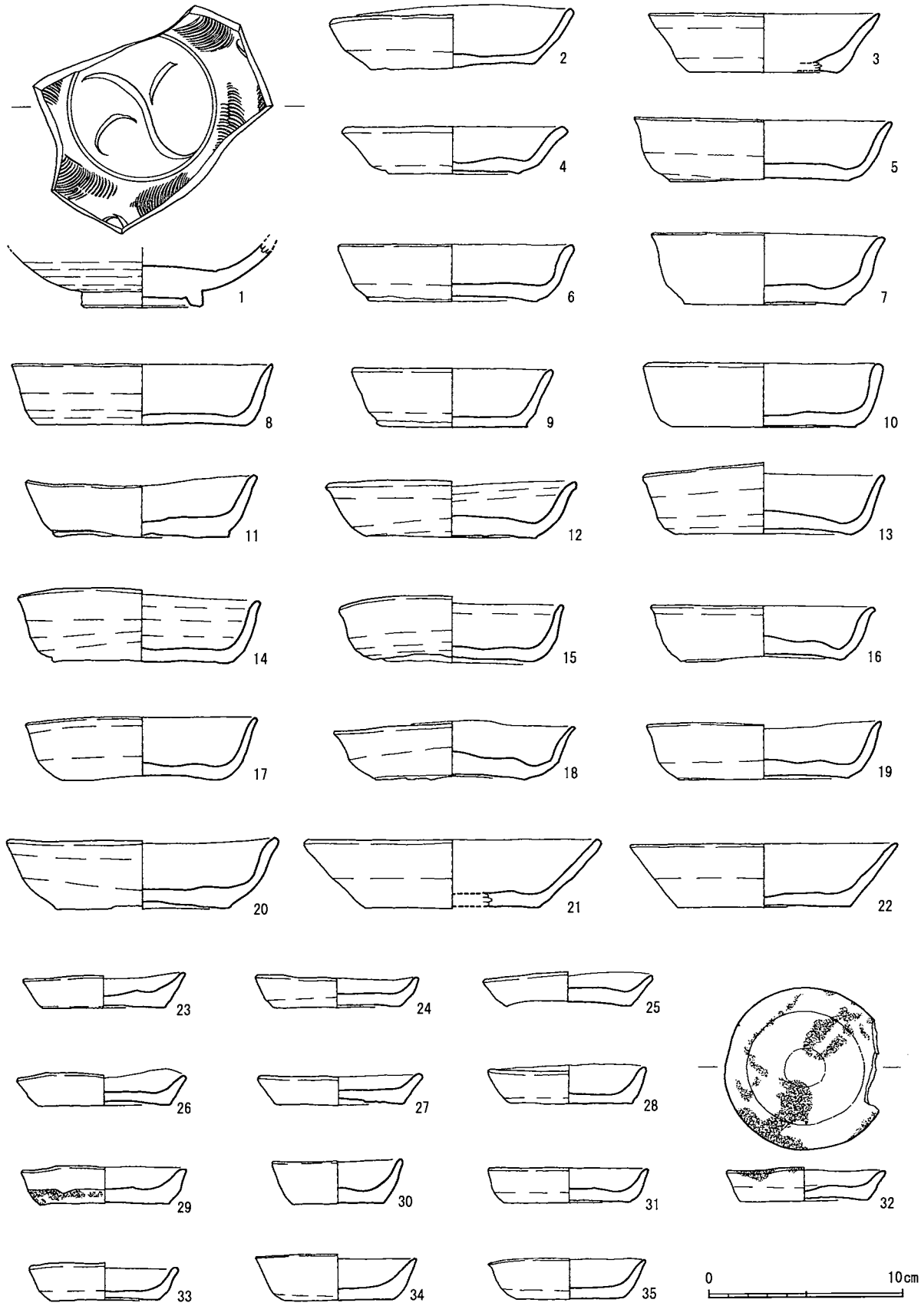
80－16　土師器坏。口径11.5cm。器高2.9cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み周辺を深くナデくぼめ、内部に横ナデは施さない。体部は開く。色調は橙色。

80－17　土師器坏。口径12.0cm。器高3.2cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じり、比較的細かい。見込み周辺をナデくぼめ、内部に横ナデは施さない。体部は直立気味で、口縁部は外反する。色調は橙色。

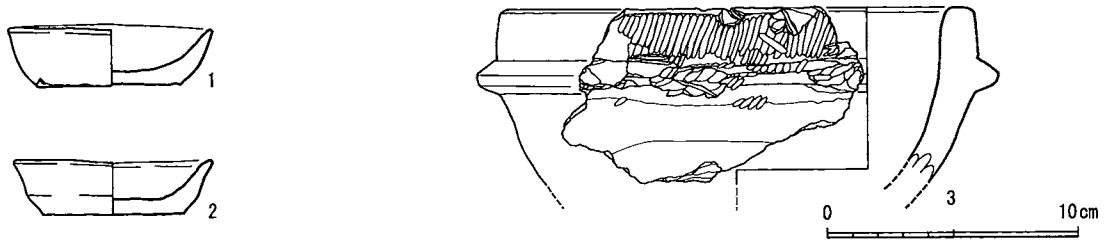
80－18　土師器坏。口径12.6cm。器高2.6cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。見込み周辺は深くナデくぼめ、内部の横ナデは行わない。体部は開き、口縁部で外反する。色調は橙色。

80－19　土師器坏。口径12.0cm。器高2.9cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混るが、やや細かい。見込み周辺をナデくぼめ、内部の横ナデは施さない。体部直立する。体部内側にはカーボンが付着する。色調は橙色。

80－20　土師器坏。復原口径13.8cm。器高3.6cm。底部は糸切りで、板目圧痕がつく。胎土は砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み周辺を浅くナデくぼめ、内部に横ナデは施さない。体部は開く。色調は



第80図　土器溜６出土遺物実測図①（1/3）



第81図　土器溜６出土遺物実測図②（1/3）

にぶい橙色。

80－21　土師器坏。復原口径15.2cm。器高3.5cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細かい。見込み周辺をナデくぼめ、内部には１度横ナデを施す。体部は大きく開く。色調はにぶい橙色。

80－22　土師器坏。復原口径13.7cm。器高3.3cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少なく、比較的細かい。見込み周辺をナデくぼめ、内部に１度横ナデを施す。体部は大きく開く。色調はにぶい橙色。

80－23　土師器皿。口径8.3cm。器高1.8cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み周辺と中央をナデくぼめ、内部の横ナデは行わない。色調は橙色。

80－24　土師器皿。口径8.3cm。器高1.7cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み内の横ナデは行わない。体部外面にカーボンが付着する。色調はにぶい橙色。

80－25　土師器皿。口径8.6cm。器高1.8cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が多く混じるが、比較的細かい。見込み周辺は浅くナデくぼめ、内部に横ナデは施さない。色調はにぶい橙色。

80－26　土師器皿。口径8.6cm。器高1.7cm。底部は糸切り。胎土に砂粒が多く混じるが、比較的細かい。見込み内に横ナデは施さない。色調はにぶい橙色。

80－27　土師器皿。口径8.3cm。器高1.5cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。見込み周辺はナデくぼめ、内部に強い横ナデを１度施す。色調はにぶい橙色。

80－28　土師器皿。口径8.1cm。器高2.0cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じり、比較的粗い。見込み内に強い横ナデを３回行う。色調はにぶい橙色。

80－29　土師器皿。口径8.4cm。器高2.0cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土は砂粒が混じるが、比較的細やか。見込みは数回横ナデを施す。体部外面にはカーボンが付着する。色調はにぶい橙色。

80－30　土師器皿。復原口径6.7cm。器高2.2cm。底部は糸切り。胎土に砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み周辺をナデくぼめ、内部に横ナデは施さない。色調は浅黄橙色。

80－31　土師器皿。口径8.2cm。器高1.6cm。底部は糸切り。胎土に砂粒は少ないが、比較的粗い。見込み内に横ナデは施さない。色調は橙色。

80－32　土師器皿。口径8.1cm。器高1.7cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が少ないが、やや粗い。見込み周辺を軽くナデくぼめ、内部に横ナデは行わない。口縁部と見込みにカーボンが付着する。色調はにぶい橙色。

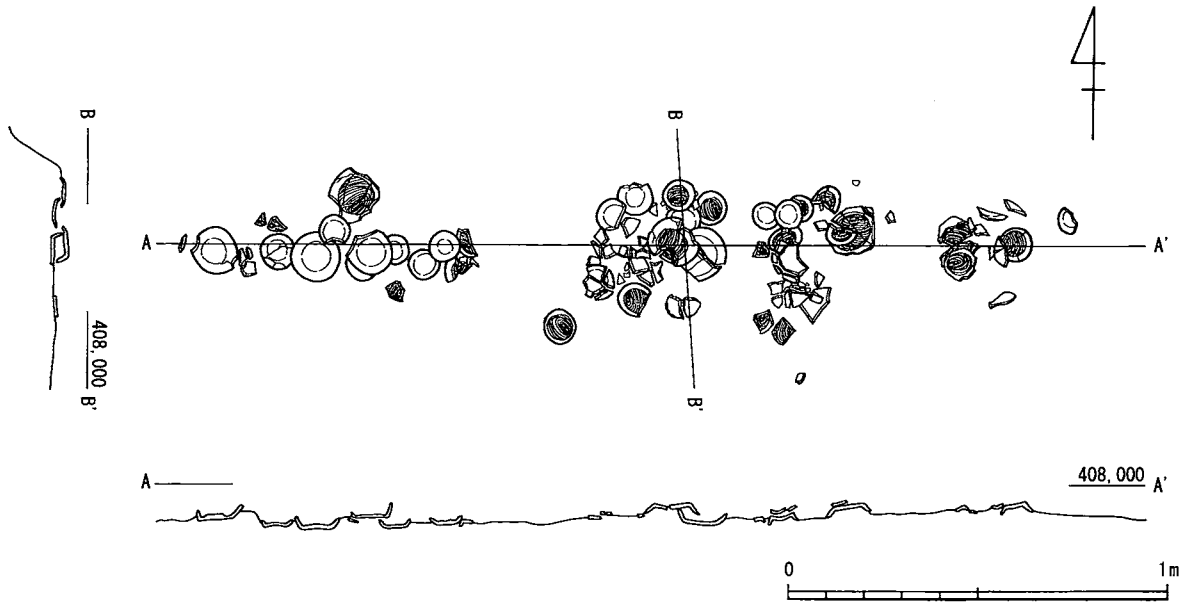
80－33　土師器皿。口径7.7cm。器高1.8cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じりるが、比較的細かい。見込み内は横ナデを回行わない。色調はにぶい橙色。

80－34　土師器皿。口径8.3cm。器高2.2cm。底部は糸切りで、細かな板目圧痕が付く。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。見込みは数回横ナデを施す。色調はにぶい橙色。

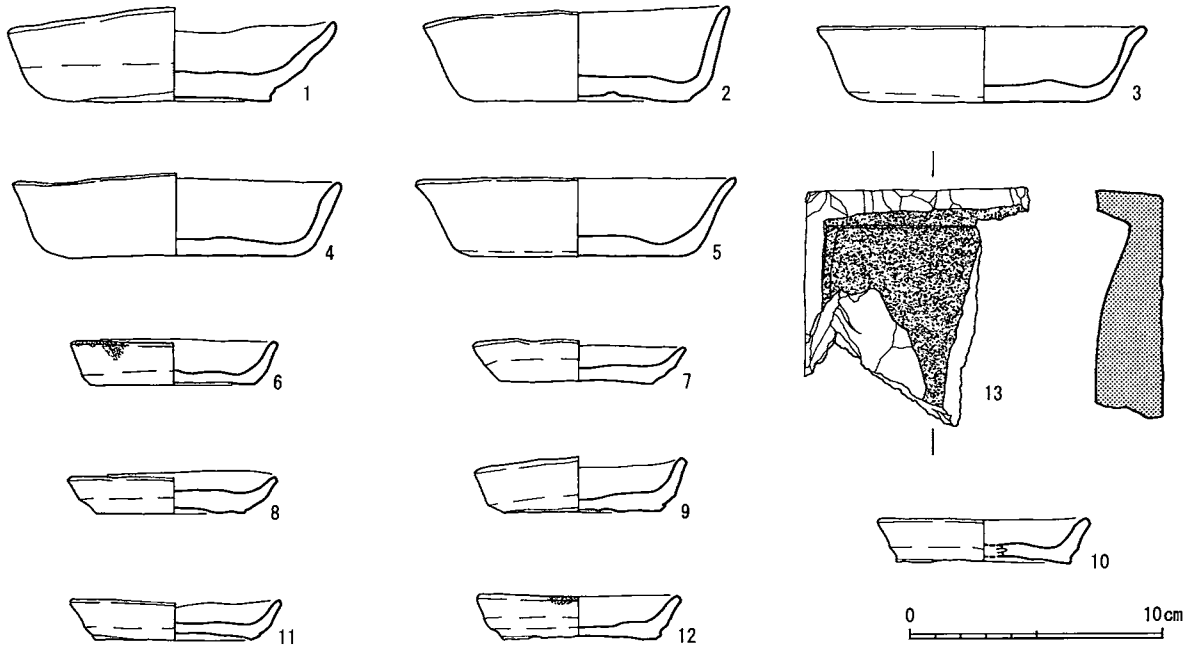
80－35　土師器皿。口径8.1cm。器高2.0cm。底部は糸切り。胎土に砂粒が混じり、やや粗い。見込みは数回に横ナデを施す。色調は橙色。

81－1　土師器皿。口径8.1cm。器高2.3cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。見込みは２～３回横ナデを施す。色調はにぶい橙色。

81－2　土師器皿。復原口径7.8cm。器高2.1cm。底部は糸切りで、細かな板目圧痕が付く。胎土に砂粒



第82図　土器溜７実測図（1/20）



第83図　土器溜７出土遺物実測図（1/3）

が混じり、やや粗い。見込み周辺は沈線が付くようにナデる。見込み内部は３回ほど横ナデを施す。色調はにぶい橙色。

81－3　滑石製石鍋。復原口径18.4cm。口縁部は直立し、胴部下位は内湾する。口縁部下位に削りだした鍔がつく。口縁部周辺は縦に細かなノミ削りを行う。鍔の下位には大きな幅のノミ削りを横に行う。体部外面にはカーボンが付着する。

９－７　土器溜７

【遺構】（第82図）

Ｅ－３区に位置する遺構。Ⅶ層中にある遺構で13世紀初頭の様相を示す土器溜と思われる。Ⅶ層掘り下げ時完形の土師器坏・皿類が散在していたため、その集中部分を土器溜と認識したものである。そのため、明確な堀形を確認することができなかった。遺物は完形のものと破片のものが混在している。土

師器坏22点と土師器皿16点があり、坏の口径の平均直径14.6cm、皿の口径の平均直径8.5cmである。

【遺物】（第83図）

83－1　土師器坏。口径12.9cm。器高3.7cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。底部は粘土塊切り離し後の調整を行わない。胎土は砂粒多く粗い。見込みの横ナデは1度行う。体部は開く。色調はにぶい橙色。

83－2　土師器坏。口径12.2cm。器高3.6cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が多いが、比較的細かい。見込み周辺は軽くナデくぼめ、見込み内の横ナデは行わない。体部は直立する。色調はにぶい橙色。

83－3　土師器坏。口径13.0cm。器高3.0cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み周辺を浅くナデくぼめ、内部に横ナデは施さない。体部は直立し、口縁部は外反する。色調はにぶい橙色。

83－4　土師器坏。口径13.0cm。器高3.0cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じりるが、比較的細かい。見込み周辺をナデくぼめ、内部に横ナデは施さない。色調はにぶい橙色。

83－5　土師器坏。口径12.8cm。器高3.1cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が多く粗い。見込み周辺はナデくぼめ、見込み内の横ナデは行わない。体部は開き、口縁部は外反する。色調は橙色。

83－6　土師器皿。口径8.2cm。器高1.8cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。見込みに横ナデは行わない。色調はにぶい橙色。

83－7　土師器皿。口径8.4cm。器高1.8cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込み内の横ナデは行わない。体部は開く。色調はにぶい褐色。

83－8　土師器皿。口径8.2cm。器高1.8cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じり粗い。見込みに横ナデは施さない。色調はにぶい橙色。

83－9　土師器皿。口径8.3cm。器高2.2cm。底部は糸切り。胎土に砂粒が混じり、やや粗い。見込み内に横ナデは施さない。色調はにぶい橙色。

83－10　土師器皿。復原口径8.2cm。器高1.7cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、やや細かい。見込みに横ナデは行わない。色調はにぶい橙色。

83－11　土師器皿。口径8.2cm。器高1.6cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み内に横ナデは行わない。色調はにぶい橙色。

83－12　土師器皿。口径8.0cm。器高1.9cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。見込みは数回横ナデを施す。色調はにぶい橙色。

83－13　硯。長さ9.2cm。幅8.8cm。海の部分の破片で、丁寧に成形を行う。石材は暗赤灰色の頁岩。

第３表　土器溜出土土師器坏・皿観察表

図版No.	整理No.	種　別	口径	底径	器高	図版No.	整理No.	種　別	口径	底径	器高
71－1		土器溜１（坏）	16.9	11.3	3.7		53	土器溜１（皿）	8.4	7.4	1.0
71－2		（坏）	17.0	12.1	3.5		54	（皿）	8.2	7.2	1.1
71－3		（坏）	15.1	12.2	3.3		55	（皿）	8.6	7.8	1.3
71－4		（坏）	16.8	12.0	3.6		56	（皿）	9.2	8.0	1.1
71－5		（坏）	15.5	10.9	3.4		57	（皿）	9.8	8.0	1.1
71－6		（坏）	16.0	11.9	3.1		58	（皿）	8.8	7.6	1.2
71－7		（坏）	15.7	11.4	3.0		59	（皿）	11.2	10.0	1.2
71－8		（坏）	15.9	11.4	3.6		60	（皿）	9.8	9.0	1.1
	68	（坏）	16.0	10.6	3.5		61	（皿）	10.6	9.8	1.2
	69	（坏）	16.0	12.0	3.4		62	（皿）	8.8	7.6	1.2
	70	（坏）	15.6	11.0	3.6		63	（皿）	8.2	6.0	1.2
	71	（坏）	16.4	8.8	4.0		64	（皿）	10.0	8.8	1.2
	72	（坏）	15.2	10.8	4.3		65	（皿）	9.4	8.4	1.1
		総数13点	16.0	11.3	3.5		66	（皿）	9.8	8.6	1.2
							67	（皿）	9.0	8.6	1.3
71－9		土器溜１（皿）	9.5	8.0	1.3			総数75点	9.3	8.0	1.2
71－10		（皿）	9.2	7.1	1.2						
71－11		（皿）	9.0	7.5	1.0	73－1		土器溜２（坏）	12.5	9.5	3.0
71－12		（皿）	9.0	7.4	1.0	73－2		（坏）	12.2	8.6	3.1
71－13		（皿）	8.5	7.5	0.9	73－3		（坏）	11.6	8.9	2.4
71－14		（皿）	9.6	8.0	1.2	73－4		（坏）	11.5	9.2	3.2
71－15		（皿）	8.3	7.2	0.9	73－5		（坏）	11.6	8.2	2.9
71－16		（皿）	9.6	7.8	1.1	73－6		（坏）	11.9	9.0	2.6
	1	（皿）	9.0	7.5	1.2		6	（坏）	13.4	8.4	2.8
	2	（皿）	9.6	7.7	1.4		7	（坏）	12.8	9.0	2.8
	3	（皿）	8.5	7.2	0.9		8	（坏）	12.2	9.0	3.7
	4	（皿）	9.8	8.4	1.2		9	（坏）	12.6	9.4	3.2
	5	（皿）	9.3	7.6	1.2		10	（坏）	11.6	8.8	3.2
	6	（皿）	9.0	8.0	1.1		11	（坏）	14.0	12.0	2.7
	7	（皿）	9.5	8.0	1.2		12	（坏）	12.0	9.0	2.8
	8	（皿）	9.6	8.0	1.5		13	（坏）	11.9	8.9	3.3
	9	（皿）	11.8	9.6	1.4		14	（坏）	10.2	9.8	3.0
	10	（皿）	10.6	9.0	1.4		15	（坏）	10.0	8.3	3.1
	11	（皿）	9.6	8.2	1.3		16	（坏）	11.4	8.8	3.2
	12	（皿）	9.6	8.6	1.1		17	（坏）	10.4	9.0	2.6
	13	（皿）	9.3	8.0	1.3		18	（坏）	9.6	8.4	3.2
	14	（皿）	9.3	7.8	1.4			総数19点	11.8	9.1	3.0
	15	（皿）	9.2	7.6	1.3						
	16	（皿）	9.0	8.0	1.2	73－7		土器溜２（皿）	8.1	6.9	2.0
	17	（皿）	10.0	8.8	1.3	73－8		（皿）	8.5	7.1	1.9
	18	（皿）	9.0	8.0	1.1	73－9		（皿）	8.7	7.4	1.6
	19	（皿）	9.0	8.2	1.3	73－10		（皿）	8.0	7.2	1.5
	20	（皿）	9.2	7.7	1.3	73－11		（皿）	8.0	7.3	1.3
	21	（皿）	9.4	8.1	1.3	73－12		（皿）	8.4	6.7	1.7
	22	（皿）	8.6	7.0	1.3	73－13		（皿）	8.2	6.2	1.5
	23	（皿）	9.6	9.2	1.0	73－14		（皿）	4.3	3.5	1.5
	24	（皿）	10.0	8.6	1.1	73－15		（皿）	8.6	7.0	1.6
	25	（皿）	9.0	7.6	1.1		1	（皿）	8.0	7.1	2.0
	26	（皿）	8.6	6.4	1.0		2	（皿）	8.6	7.0	1.7
	27	（皿）	9.0	7.6	1.1		3	（皿）	8.6	6.8	1.7
	28	（皿）	9.0	6.8	1.3		4	（皿）	8.3	6.1	1.7
	29	（皿）	9.6	8.6	1.0		5	（皿）	7.7	6.0	1.5
	30	（皿）	9.6	8.4	1.1			総数14点	8.0	6.6	1.7
	31	（皿）	9.6	9.0	1.3						
	32	（皿）	9.0	7.0	1.4	75－1		土器溜３（坏）	12.3	8.8	2.6
	33	（皿）	9.0	8.0	1.2	75－2		（坏）	13.0	8.0	3.3
	34	（皿）	9.2	8.0	1.1	75－3		（坏）	12.7	8.5	3.1
	35	（皿）	8.2	6.8	1.0		1	（坏）	12.3	8.0	3.1
	36	（皿）	10.4	8.6	1.1		2	（坏）	15.5	11.0	2.2
	37	（皿）	9.4	8.0	1.3		3	（坏）	9.0	7.0	2.2
	38	（皿）	10.0	8.6	1.2		4	（坏）	12.5	10.0	2.1
	39	（皿）	10.0	9.0	1.3		5	（坏）	12.0	9.0	3.2
	40	（皿）	8.0	6.6	1.0			総数８点	12.5	8.8	2.7
	41	（皿）	9.0	8.6	1.1						
	42	（皿）	9.0	7.0	1.0	75－4		土器溜３（皿）	8.3	6.5	1.5
	43	（皿）	8.8	7.4	1.3	75－5		（皿）	8.4	6.5	1.3
	44	（皿）	9.0	7.6	1.1	75－6		（皿）	8.1	6.1	1.7
	45	（皿）	10.0	8.2	1.1	75－7		（皿）	8.6	6.6	1.6
	46	（皿）	9.2	7.8	1.1	75－8		（皿）	8.4	6.0	2.0
	47	（皿）	9.8	8.0	1.0	75－9		（皿）	9.0	5.8	2.4
	48	（皿）	9.0	7.4	1.2		6	（皿）	8.4	6.6	1.6
	49	（皿）	9.8	8.2	1.3		7	（皿）	8.6	6.6	1.6
	50	（皿）	9.6	8.2	1.2		8	（皿）	8.8	6.0	1.7
	51	（皿）	8.6	8.0	1.3		9	（皿）	9.0	8.0	1.7
	52	（皿）	8.2	7.2	1.3		10	（皿）	7.0	5.0	1.2

図版No.	整理No.	種　別	口径	底径	器高	図版No.	整理No.	種　別	口径	底径	器高
	11	土器溜３（Ⅲ）	8.2	6.3	1.6		58	土器溜４（Ⅲ）	8.8	7.7	1.2
	12	（Ⅲ）	8.6	6.4	1.2		59	（Ⅲ）	8.7	7.4	1.2
	13	（Ⅲ）	8.2	6.1	1.5		60	（Ⅲ）	8.9	7.4	1.2
	14	（Ⅲ）	8.2	5.8	1.5		61	（Ⅲ）	9.0	7.3	1.3
	15	（Ⅲ）	8.5	6.4	1.6			**総数67点**	**8.5**	**7.4**	**1.0**
	16	（Ⅲ）	8.8	7.2	1.1						
	17	（Ⅲ）	8.0	5.9	1.2	78－3		土器溜５（坏）	15.0	10.0	2.7
		総数18点	**8.4**	**6.3**	**1.6**	78－4		（坏）	13.0	8.5	3.2
						78－5		（坏）	12.0	9.0	3.2
77－1		土器溜４（坏）	15.2	10.8	3.1	78－6		（坏）	12.0	8.1	3.4
		総数１点					1	（坏）	12.6	10.0	3.6
							3	（坏）	15.1	10.6	3.5
77－2		土器溜４（Ⅲ）	8.8	7.5	1.2		4	（坏）	15.5	14.0	3.6
77－3		（Ⅲ）	8.1	7.0	1.0		5	（坏）	15.2	14.0	3.7
77－4		（Ⅲ）	8.1	7.0	1.0		6	（坏）	15.1	10.2	3.6
77－5		（Ⅲ）	8.5	7.4	0.9		8	（坏）	12.8	9.4	2.9
77－6		（Ⅲ）	8.3	7.5	1.1		9	（坏）	12.0	11.0	3.1
77－7		（Ⅲ）	9.0	8.0	1.0		10	（坏）	11.2	10.0	3.4
	1	（Ⅲ）	8.4	7.4	1.0		11	（坏）	11.5	10.0	2.1
	2	（Ⅲ）	8.3	7.6	1.1		12	（坏）	15.0	12.0	3.1
	3	（Ⅲ）	8.8	7.0	1.1			**総数14点**	**13.4**	**10.5**	**3.2**
	4	（Ⅲ）	8.6	6.8	1.1						
	5	（Ⅲ）	9.2	8.0	1.0	78－7		土器溜５（Ⅲ）	9.0	6.5	1.5
	6	（Ⅲ）	8.2	7.0	1.1	78－8		（Ⅲ）	8.4	6.1	1.4
	7	（Ⅲ）	8.4	7.0	0.9	78－9		（Ⅲ）	8.0	7.0	1.2
	8	（Ⅲ）	9.0	7.6	1.0	78－10		（Ⅲ）	9.0	6.0	1.1
	9	（Ⅲ）	8.3	7.2	0.9		2	（Ⅲ）	9.2	8.0	1.1
	10	（Ⅲ）	8.8	7.6	1.0		4	（Ⅲ）	15.5	14.0	3.6
	11	（Ⅲ）	7.8	6.9	1.0		5	（Ⅲ）	15.2	14.0	3.7
	12	（Ⅲ）	7.8	6.7	0.8		6	（Ⅲ）	15.1	10.2	3.6
	13	（Ⅲ）	8.1	7.4	1.2		7	（Ⅲ）	9.6	9.0	1.2
	14	（Ⅲ）	8.5	7.3	0.8		13	（Ⅲ）	9.0	7.6	1.1
	15	（Ⅲ）	8.6	7.0	1.1		14	（Ⅲ）	8.9	7.8	1.0
	16	（Ⅲ）	8.5	7.2	1.1		15	（Ⅲ）	9.2	8.0	1.2
	17	（Ⅲ）	8.4	7.2	1.0		16	（Ⅲ）	9.4	8.8	1.1
	18	（Ⅲ）	8.5	7.6	1.1		17	（Ⅲ）	8.6	8.0	1.1
	19	（Ⅲ）	8.3	7.2	1.0		18	（Ⅲ）	10.0	8.8	1.2
	20	（Ⅲ）	8.4	7.5	1.0		19	（Ⅲ）	8.2	7.0	1.4
	21	（Ⅲ）	8.7	7.4	1.2		20	（Ⅲ）	8.2	5.8	1.1
	22	（Ⅲ）	8.2	7.0	1.1		21	（Ⅲ）	9.0	7.0	1.2
	23	（Ⅲ）	8.8	7.9	1.0		22	（Ⅲ）	9.6	7.4	1.2
	24	（Ⅲ）	8.8	7.7	1.0		23	（Ⅲ）	8.4	7.0	1.5
	25	（Ⅲ）	8.2	7.2	1.0		24	（Ⅲ）	8.0	6.8	1.3
	26	（Ⅲ）	8.0	6.8	0.9		25	（Ⅲ）	8.8	7.0	1.3
	27	（Ⅲ）	8.4	7.5	1.2		26	（Ⅲ）	8.0	7.0	0.8
	28	（Ⅲ）	8.6	7.1	1.2		27	（Ⅲ）	7.6	6.0	1.5
	29	（Ⅲ）	8.2	7.0	0.9			**総数24点**	**9.6**	**8.0**	**1.5**
	30	（Ⅲ）	8.5	7.5	1.0						
	31	（Ⅲ）	8.3	6.9	1.0	80－2		土器溜６（坏）	12.5	8.5	2.9
	32	（Ⅲ）	8.3	7.0	1.2	80－3		（坏）	13.0	9.0	3.4
	33	（Ⅲ）	8.3	7.0	1.0	80－4		（坏）	11.0	7.0	2.2
	34	（Ⅲ）	8.5	7.1	1.1	80－5		（坏）	13.0	9.8	3.0
	35	（Ⅲ）	8.3	7.0	0.9	80－6		（坏）	13.0	8.8	3.0
	36	（Ⅲ）	8.4	7.5	0.9	80－7		（坏）	11.9	8.1	3.5
	37	（Ⅲ）	8.4	6.0	1.1	80－8		（坏）	12.0	9.0	3.1
	38	（Ⅲ）	8.7	9.0	1.2	80－9		（坏）	9.6	7.8	3.0
	39	（Ⅲ）	8.3	7.3	1.0	80－10		（坏）	14.4	9.0	3.2
	40	（Ⅲ）	8.5	7.3	1.0	80－11		（坏）	11.9	8.9	3.1
	41	（Ⅲ）	8.5	7.1	1.0	80－12		（坏）	12.9	8.5	2.9
	42	（Ⅲ）	8.5	7.5	0.9	80－13		（坏）	9.0	13.0	3.0
	43	（Ⅲ）	8.3	7.4	1.0	80－14		（坏）	12.3	9.0	3.5
	44	（Ⅲ）	8.3	7.0	1.0	80－15		（坏）	11.7	8.5	3.1
	45	（Ⅲ）	7.2	8.0	0.9	80－16		（坏）	11.5	8.5	2.9
	46	（Ⅲ）	8.2	7.0	1.0	80－17		（坏）	11.9	8.5	3.1
	47	（Ⅲ）	8.8	8.0	0.9	80－18		（坏）	12.5	7.7	2.3
	48	（Ⅲ）	10.2	9.0	0.8	80－19		（坏）	12.0	8.5	2.9
	49	（Ⅲ）	9.8	8.0	0.9	80－20		（坏）	13.2	8.7	3.5
	50	（Ⅲ）	8.0	7.0	0.8	80－21		（坏）	8.5	15.4	3.5
	51	（Ⅲ）	9.0	7.8	0.8	80－22		（坏）	13.8	9.3	3.4
	52	（Ⅲ）	8.8	7.5	1.3			**総数21点**	**12.0**	**9.1**	**3.1**
	53	（Ⅲ）	8.9	7.5	1.0						
	54	（Ⅲ）	8.5	7.8	1.2	80－23		土器溜６（Ⅲ）	8.2	6.3	1.7
	55	（Ⅲ）	8.8	7.3	1.3	80－24		（Ⅲ）	8.5	6.5	1.6
	56	（Ⅲ）	8.8	7.9	1.0	80－25		（Ⅲ）	8.8	6.3	1.3
	57	（Ⅲ）	8.9	7.7	1.0	80－26		（Ⅲ）	8.7	6.7	1.5

図版No.	整理No.	種　別	口径	底径	器高
80－27		土器溜６（皿）	8.5	6.6	1.5
80－28		（皿）	8.1	6.3	1.7
80－29		（皿）	8.5	6.5	1.8
80－30		（皿）	6.2	4.5	2.1
80－31		（皿）	8.2	6.5	1.8
80－32		（皿）	8.3	6.5	1.5
80－33		（皿）	7.7	5.5	1.6
80－34		（皿）	8.4	5.7	2.3
80－35		（皿）	8.2	5.5	2.0
80－１		（皿）	8.1	5.5	2.1
80－２		（皿）	8.0	6.0	2.2
		総数15点	8.2	6.1	1.8
83－１		土器溜７（坏）	12.3	8.0	2.7
83－２		（坏）	12.3	8.5	3.0
83－３		（坏）	12.8	8.5	3.0
83－４		（坏）	12.9	8.5	3.0
83－５		（坏）	12.5	8.8	2.8
	8	（坏）	10.0	7.6	1.3
	11	（坏）	16.2	11.0	3.6
	12	（坏）	15.4	11.0	3.4
	13	（坏）	15.6	11.5	3.9
	14	（坏）	14.0	12.0	3.7
	15	（坏）	16.0	13.0	3.9
	16	（坏）	16.0	12.0	3.9
	17	（坏）	13.9	11.0	3.7
	18	（坏）	15.2	11.6	3.6
	19	（坏）	16.2	11.8	3.8
	20	（坏）	15.0	11.0	3.9
	21	（坏）	17.0	11.6	4.1
	22	（坏）	15.7	11.6	3.6
	23	（坏）	15.9	11.8	3.8
	24	（坏）	16.0	11.3	3.8
	25	（坏）	15.3	11.3	3.3
	26	（坏）	15.0	10.8	3.7
		総数22点	14.6	10.6	3.4
83－６		土器溜７（皿）	8.0	6.5	1.6
83－７		（皿）	8.4	6.0	1.4
83－８		（皿）	8.2	5.8	1.3
83－９		（皿）	8.4	6.4	1.6
83－10		（皿）	8.4	7.0	1.7
83－11		（皿）	8.3	6.5	1.5
83－12		（皿）	8.0	6.2	1.7
	1	（皿）	7.9	7.0	1.1
	2	（皿）	8.6	6.4	1.6
	3	（皿）	8.4	6.6	1.2
	4	（皿）	8.6	7.0	1.3
	5	（皿）	9.6	7.4	0.9
	6	（皿）	9.2	8.0	1.3
	7	（皿）	9.2	8.2	1.1
	9	（皿）	9.0	7.6	1.0
	10	（皿）	8.2	7.2	0.9
		総数16点	8.5	6.9	1.3

調査風景

雪に覆れた調査現場

第２節　包含層に伴う遺物

１　はじめに

祇園遺跡は遺跡全体が厚い包含層に覆われ、その成立は、白川と高木川の冠水でもたらされた砂層によるものと思われる。第Ⅱ章第３節に詳述したように、その包含層は全て中世のもので、12～15世紀に該当するものである。調査に際し、包含層を上層から除去しながら遺構を検出していったため、各層ごとに大量に遺物が出土した。祇園遺跡を特徴付ける多種多量の中世遺物は、この包含層出土によるものである。

ここでは、第Ⅱ章第３節で分層した層序に基づき、下層よりその出土遺物を紹介していきたい。遺物の出土はⅨ～Ⅲ層で、再分層する以前のⅢ'層および、層位不明のその他の層の遺物も取り上げている。遺物の配列は、白磁供膳具、青磁供膳具、白磁貯蔵具・嗜好品、青磁貯蔵具・嗜好品、青白磁、陶器（黒釉・褐釉・黄釉・緑釉）、国内広域流通品（瀬戸窯・常滑窯・備前窯・東播系須恵器）、在地産須恵器・瓦質土器、土師器供膳具、瓦器、石製品（滑石他）、青銅製品、鉄製品の順に並べた。

２　Ⅸ層の遺物

Ⅸ層は地山直上の層で、砂質で締まりのある灰黒色土である。遺跡の中央部より北側に偏在し、Ⅷ層と同位層にあたるものと思われ、相当する年代は12世紀末段階と思われる。遺跡北側は堆積層自体が薄いため、Ⅸ層には遺物の混じりが多く、ここで紹介するものは必ずしも同一の時代を示すものとは言えない。

84－1　Ｅ－２区より出土。大宰府編年の白磁碗Ⅱ２・４類。復原底径5.3cm。外面は回転ヘラ削りを行う。見込みは段を設ける。釉は淡黄色で体部中位まで施釉する。

84－2　Ｄ－３区より出土。大宰府編年の白磁碗Ⅱ３・４類。外面は回転ヘラ削りを行う。釉はオリーブ黄色。

84－3　Ｅ－３区より出土。大宰府編年の初期龍泉窯・同安窯系青磁碗０類。外面体部は回転ヘラ削りを行い、縦方向に幅広のクシ目を施す。内面にはヘラとクシで複雑な施文をする。釉はオリーブ灰色。

84－4　Ｄ－３区より出土。大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ａ類。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより蓮弁文を象る。主弁の幅は3.2cm で、間弁は半分ほどの幅である。鎬はない。釉はオリーブ灰色。

84－5　Ｅ－３区より出土。大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂ類。外面は回転ヘラ削りを行う。体部外面はヘラ彫りで鎬蓮弁を象る。釉は緑灰色で、高台畳付まで施釉する。

84－6　Ｅ－２区より出土。大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。外面は回転ヘラ削りを行い、内面はクシと二叉工具で施文をする。釉はオリーブ灰色で畳付まで施釉し、底部はていねいに掻き取る。底部には墨書があり、「大」と読める。

84－7　Ｄ－３区より出土した、青磁合子の蓋。外面体部は型押しで連子状に施文し、上面は花文。釉は暗青緑色で体部外面全体に施釉。

84－8　Ａ－２区他より出土した青白磁合子の蓋。復原口径5.6cm。器高1.5cm。外面は型押しで菊花を施文。釉は淡青緑色で体部外面全体と内面上部のみに施釉。

84－9　Ｄ－２区より出土した青磁盤で、大宰府編年の龍泉窯系青磁盤Ⅳ類。外面体部は回転ヘラ削りを行う。釉は青緑色で全面施釉。高台内部は蛇の目状に釉を掻き取る。

84－10　Ｅ－２区より出土した青白磁碗。内面にはヘラとクシで施文。釉は淡青白色で貫入多し。

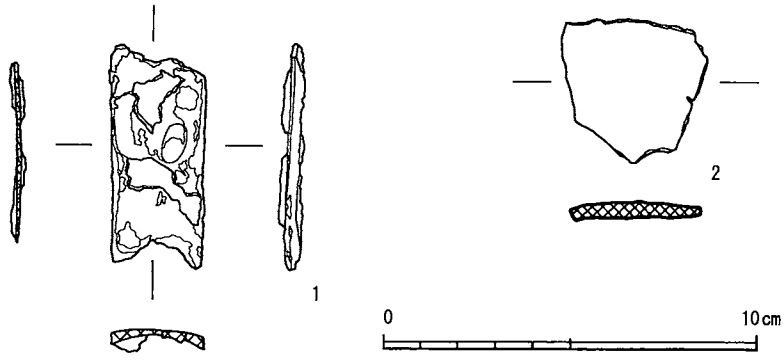
84－11　Ｅ－３区より出土した褐釉壺。外面は回転ヘラ削りを行ったのち沈線を巡らし、花文のスタンプを押す。釉は暗褐色。

84－12　Ｆ－２区より出土した東播系須恵質捏鉢。復原口径28.0cm。内外面とも回転ナデ。口縁部は肥厚し、口唇部は直立する。

84－13　Ｅ－２区より出土した常滑窯甕。口縁部は大きく外反し、口唇部は僅かに立ち上がる。

84－14　Ｅ－１区他より出土した擂鉢。胎土の目が

第84図　Ⅸ層出土遺物実測図①（1/3）



第85図　Ⅸ層出土遺物実測図②（1/2）

細かく硬質に焼き上がる。体部外面は縦にハケ目調整をした後、ナデ調整を行う。内面は横・斜め方向にハケ目調整を行い、縦にクシで擂り目を入れる。

84－15　Ｅ－３他区より出土した常滑窯甕。口縁部は肥厚し、Ｎ字状になる。

84－16　Ｅ－３区より出土した土師器坏。復原口径12.2cm。器高3.5cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み周辺はナデくぼめ、見込み内は軽く横ナデを２回施す。色調はにぶい橙色。

84－17　Ｂ－２区他より出土した土師器坏。復原口径9.7cm。器高3.3cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み周辺はナデくぼめる。色調はにぶい橙色。

84－18　Ｅ－２区より出土した灰釉皿で東海産のものか。口径6.1cm。器高1.7cm。底部はヘラ切り。胎土には砂粒が少なく細かい。器肉は薄手で、見込みは横ナデをしない。口縁・内面に自然釉が斑点状付く。硬質に焼き上がり、色調は灰白色。

84－19　Ｅ－３区より出土した土師器皿。口径8.4cm。器高2.2cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土は砂粒が混じるが比較的細かい。見込みは数回軽く横にナデる。色調はにぶい橙色。

84－20　Ｅ－３区より出土したは土師器皿。口径7.7cm。器高2.0cm。底部は糸切り。胎土は砂粒が混じり比較的粗い。見込み周辺はナデくぼめ、見込み内に横ナデは施さない。口縁部内外面にカーボンが付着する。色調はにぶい橙色。

84－21　Ａ－２区他より出土した土師器皿。口径8.8cm。器高1.4cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土は比較的細かい。見込みは数回横ナデを施す。体部は薄く引き上げ、開く。色調は橙色。

84－22　Ｄ－３区より出土した土師器皿。復原口径8.8cm。器高2.8cm。底部は糸切り。砂粒が混じり、胎土は比較的細かい。見込みに横ナデはしない。体部は薄く、内湾する。色調は橙色。

84－23　Ｂ－２区他より出土した土師器皿。復原口径8.4cm。器高2.0cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土は砂目が混じり、比較的細かい。見込みは横ナデを行わない。体部は直立する。色調はにぶい橙色。

84－24　Ｄ－１区より出土した滑石製石鍋。復原口径9.0cm の小型のものである。口縁部下に鍔が付き、鍔より下位の胴部は丸みを持ち、内傾していく。

84－25　Ｇ－２区より出土した滑石製石鍋。復原口径13.5cm。口縁部直下に縦型の耳が４つ付き、胴部の最大径は中位にあたる。胴部は縦にノミ削り痕が残る。

84－26　Ｄ－３区より出土した滑石加工品。縦3.4cm。横6.0cm。石鍋旧内面中央には穿つ途中の穴があり、旧外面にはカーボンが付着する。

85－１　Ｄ－３区より出土した青銅製品。縦5.6cm。横2.4cm。板状の製品で、長軸の両端部を肥厚する。板の中央部には楕円形の金具が埋め込んである。

85－２　Ｅ－３区より出土した鉄器。縦3.8cm。横3.5cm。鍛造の板。

３　Ⅷ層の遺物

Ⅷ層は砂質の柔らかい暗褐色土層で、遺跡南側に多く偏在する。地山直上の層で、12世紀中葉～末の遺物を包含する。

86－１　Ｇ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅱ３ａ類。復原口径14.2㎝。器高6.0㎝。体部は回転ヘラ削りを行う。内外面とも無文。体部中位より口縁部へ内湾する。釉は浅黄色で、体部下位まで施釉する。

86－２　Ｇ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅱ１・２類。体部は回転ヘラ削りを行い、口縁部は肥厚する。釉は灰黄白色。

86－３　Ｅ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅱ３・４類。外面は口縁部付近まで回転ヘラ削りを行う。釉は灰黄白色。

86－４　Ｄ－２区他より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅳ２ａ類。底径5．8㎝。外面は回転ヘラ削りを行う。見込み周辺は沈線を施す。釉は灰白色で体部下半まで施釉。

86－５　Ｇ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ類。外面体部は回転ヘラ削りを行う。釉はオリーブ灰で色高台付近まで施釉。

86－６　Ｆ－２区他より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ類。外面体部は回転ヘラ削りを行い、内外面は無文。高台内に墨書がある。釉は浅黄色で、高台付近まで施釉する。

86－７　Ｅ－２区他より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ類。底径6.3㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面にはクシで施文する。高台内に墨書がある。釉はオリーブ灰色で高台畳付まで施釉する。

86－８　Ｇ・Ｈ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ２ｂ類。復原口径16.6㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、ヘラ先で縦に施文する。内面は無文で、口縁部下に沈線をめぐらす。釉はオリーブ灰色。

86－９　Ｅ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ４ａ類の亜種。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁端部は肥厚し丸くする。内外面は無文。釉は明オリーブ灰色。

86－10　Ｆ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ４類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁端部は水平にする。内外面は無文。釉は明オリーブ灰色。

86－11　Ｆ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅵ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は外反する。内外面は無文。釉は浅黄色。

86－12　Ｇ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅶ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はクシとヘラで施文する。釉はオリーブ灰色。

86－13　Ｅ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ４ｃ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、外面はヘラ先で縦に施文、内面はクシで施文する。釉はオリーブ灰色。

86－14　Ｅ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅶ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。見込み周辺には沈線を施す。釉は灰白色。

86－15　Ｆ－１区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅲ１類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みの釉を蛇の目状に掻き取る。釉は明オリーブ色で体部下半まで施釉する。

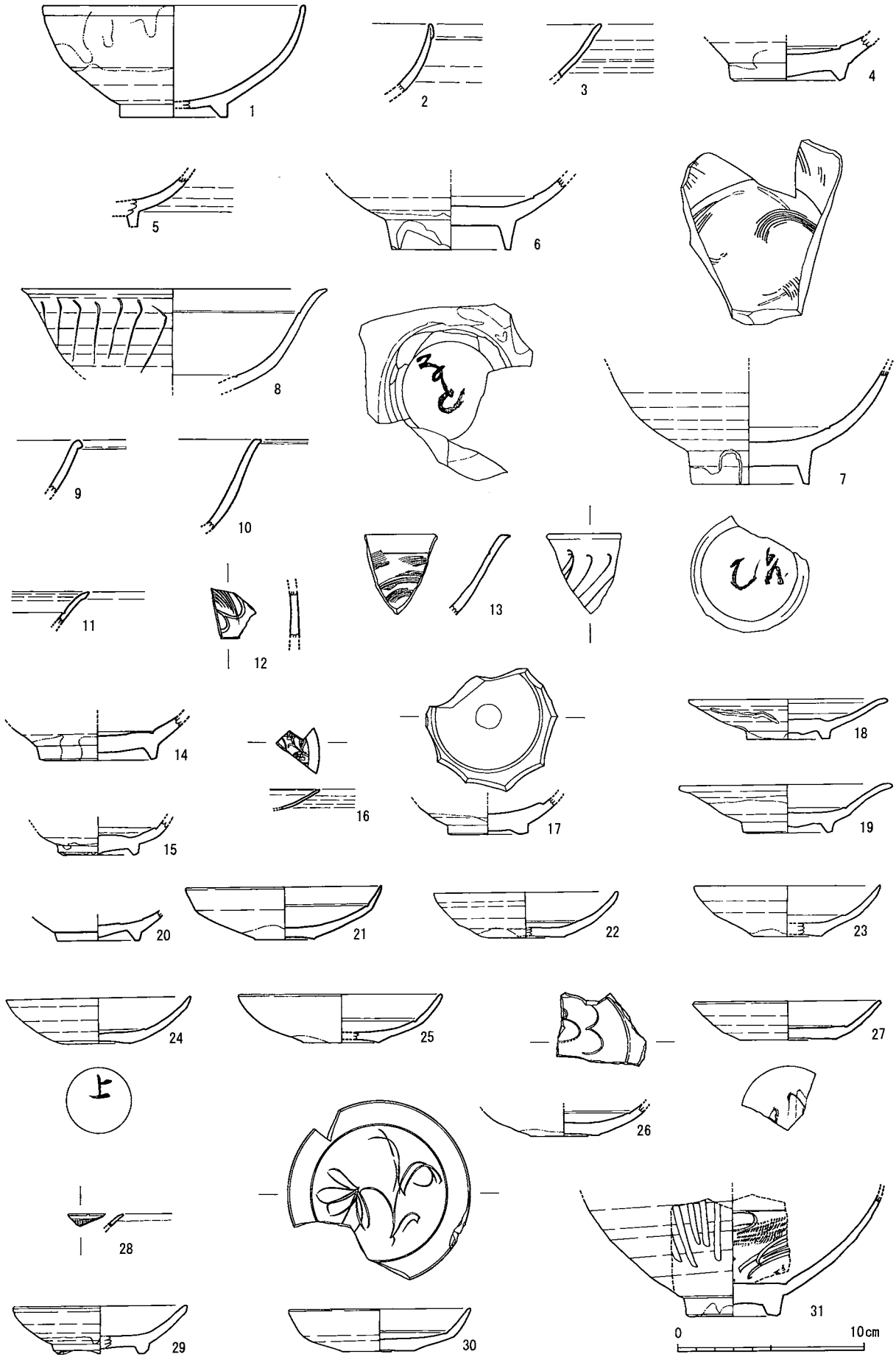
86－16　Ｇ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅹ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面には型押しで花文を描く。器肉が薄い。釉は灰白色。

86－17　Ｇ－３区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅱ１ａ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面には見込み周辺に沈線を巡らす。釉は灰白色で体部下位まで施釉する。

86－18　Ｆ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅲ１類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みの釉を蛇の目状に掻き取る。釉は灰白色で、高台付近まで施釉する。

86－19　Ｅ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅲ２類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みの釉の掻き取りは行わない。釉は灰白色で、体部中位まで施釉する。

86－20　Ｇ－３区より出土した白磁皿で、大宰府編



第86図　Ⅷ層出土遺物実測図①（1/3）

年の白磁皿Ⅲ１類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みの釉を蛇の目状に掻き取る。釉は明オリーブ灰色。

86－21　Ｇ－３区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅵ１ａ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。体部上位で内湾し、屈曲点に沈線を回す。釉はオリーブ灰色で体部下半まで施釉する。

86－22　Ｆ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅵ１ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。体部中位より口縁部へ緩く内湾し、見込み周辺に沈線を回す。釉は灰白色で底部付近まで施釉する。

86－23　Ｆ－１区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅵ１ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。体部中位より口縁部へ緩く内湾し、見込み周辺に沈線を回す。釉は灰白色で底部付近まで施釉する。

86－24　Ｇ－２・３区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅵ１ｂ類。体部外面はヘラ削りを行う。体部中位より口縁部へ緩く内湾し、見込み周辺に沈線を回す。釉はオリーブ灰色で底部付近まで施釉する。底部には墨書があり、「上」と読める。

86－25　Ａ－１区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅵ１ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。体部中位より口縁部へ緩く内湾し、見込み周辺に沈線を巡す。釉はオリーブ灰色で底部付近まで施釉する。

86－26　Ｇ－３区他より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅵ２ａ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。体部は緩く内湾し、見込み周辺に沈線を巡す。見込み内にはヘラでランダムに施文。釉はオリーブ黄色で底部付近まで施釉する。

86－27　Ｆ－１区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅷ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。見込み周辺に沈線を回す。釉は灰白色で底部付近まで施釉する。底部には墨書がある。

86－28　Ｅ－３区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁碗Ｘ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内面は型押しで雷文を象る。口縁部は釉を掻き取る。釉調は灰白色。

86－29　Ｆ－３区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿森田分類Ｄ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。高台は４カ所を抉る。釉調は灰白色で、体部下半まで施釉する。

86－30　Ｆ－３区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅷ１ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。体部中位より直立し、見込み周辺に沈線を施す。沈線内部はヘラ先で蓮華を描く。釉調は灰白色で、底部まで施釉する。

86－31　Ｄ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の初期龍泉窯・同安窯系青磁碗０類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、ヘラで縦に施文。内面はヘラとクシで施文する。釉調は明青緑色で、高台付近まで施釉する。

87－１　Ｄ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みにはヘラの片彫りで花文を描く。釉調は明青緑色で、高台付近まで施釉する。

87－２　Ｇ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内面はヘラの片彫りとクシで施文する。釉調はオリーブ灰色で、高台付近まで施釉する。

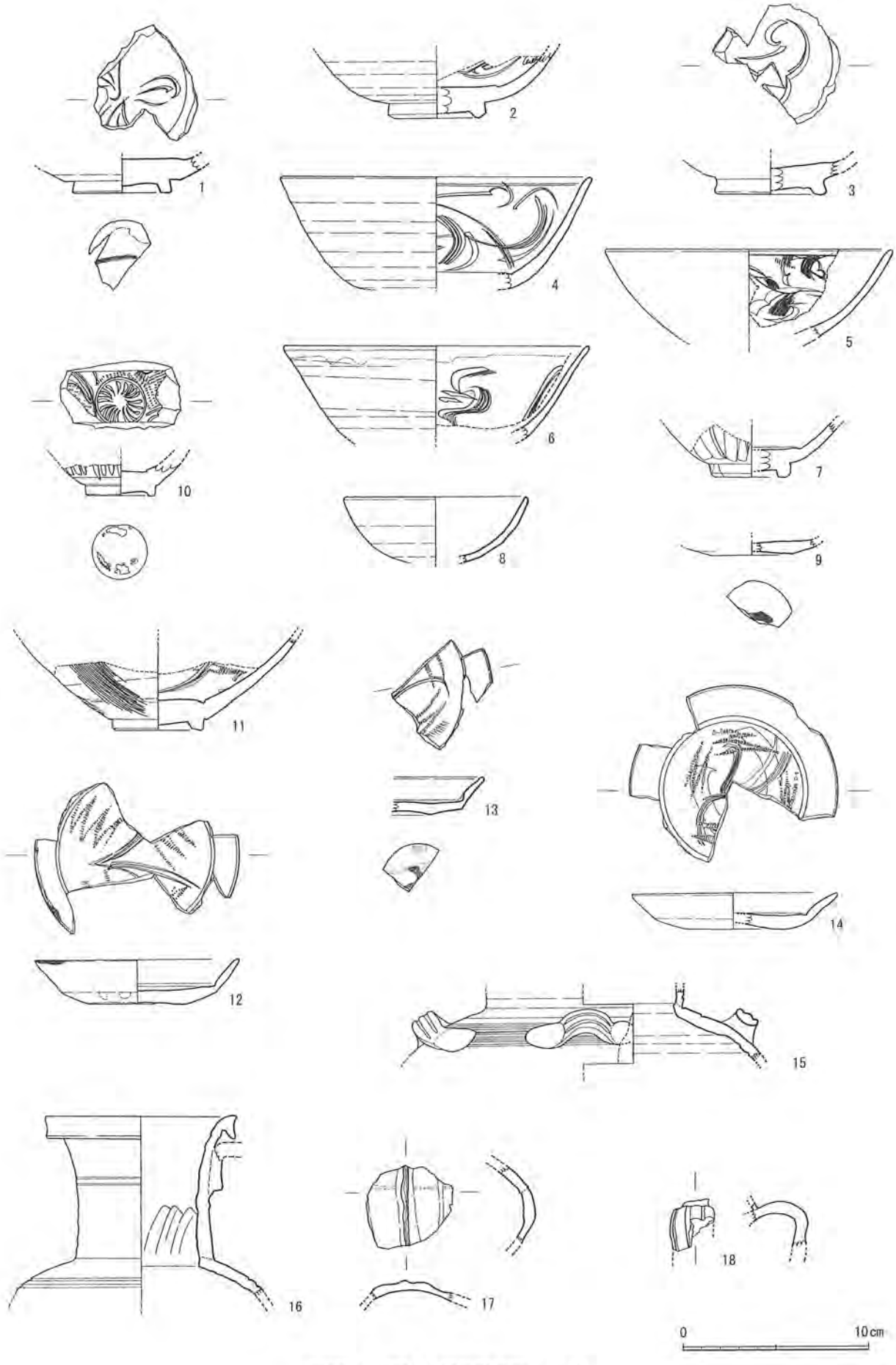
87－３　Ｇ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類。見込みはヘラの片彫りで施文する。釉調は明緑青色で、高台付近まで施釉する。

87－４　Ｆ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りと三叉工具で施文する。釉調は黄緑色。

87－５　Ｇ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内面はヘラの片彫りとクシで施文する。釉調はオリーブ灰色。

87－６　Ｅ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ４ａ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内面は二叉工具で５分割し、内側にＳ字状に四叉工具で施文する。釉調はにぶい黄緑色。

87－７　Ｅ－３区より出土した青磁小碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小碗Ⅰ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、ヘラで蓮弁文を彫り出す。内面は無文。釉調は青緑色。



第87図　Ⅷ層出土遺物実測図②（1/3）

87－８　Ｅ－３区より出土した青磁小碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小碗Ⅳ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内外面無文。釉調は灰緑青色。

87－９　Ｅ－３区より出土した青磁皿で、大宰府編年の龍泉窯系青磁皿Ⅰ１ａ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。釉調は灰青色。底部に墨書あり。

87－10　Ｇ－３区より出土した青磁小碗で、大宰府編年の初期龍泉窯・同安窯系青磁碗０類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、縦にヘラで施文をする。内面はヘラ先とクシで複雑に施文を行う。釉調は淡オリーブ色で高台内部まで施釉。高台内には目積みの跡がある。

87－11　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅰ１ｂ類。体部外面はヘラ削りを行い、クシで縦に施文。内面は二叉工具とクシで施文する。釉調は灰青緑色で、体部下位高台付近まで施釉する。

87－12　Ｆ－２区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅱｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みはクシと二叉工具で施文する。釉調はオリーブ灰色で、全面施釉の後、底部の釉を掻き取る。

87－13　Ｇ－３区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面にはクシと二叉工具で施文。体部外面中位には目積み痕が残る。釉調はオリーブ灰色。底部に墨書あり。

87－14　Ｇ－３区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅱｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みはクシと三叉工具で施文する。釉調はオリーブ灰色で、全面施釉の後、底部の釉を掻き取る。

87－15　Ｈ－２区より出土した白磁四耳壺。体部外面は回転ヘラ削りを行い、肩部上位に耳を張り付ける。釉調は灰白色。

87－16　Ｆ－１区より出土した白磁水注。体部外面は回転ヘラ削りを行い、頸部、肩部に沈線をめぐらす。釉調はオリーブ灰色。

87－17、18　Ｆ－２区他より出土した青白磁水注。17は水注の胴部で、瓜型の器形を型押しで作り、胴部中位で接合する。18は把手。手づくねで整形し、外面に沈線を作る。釉調は明青白色。

88－１　Ｈ－３区より出土した白磁の体部。外面はクシで施文する。釉調は明オリーブ灰色。

88－２　Ｆ－３区より出土した白磁。底部にあたり、外面に獣脚を持つ。釉調は明オリーブ灰色。

88－３　Ｄ－３区他より出土した白磁。頸部で下位は胴部に接合しており、口縁部にかけてゆるやかに広がっている。釉調は灰白色で滑らか。

88－４　Ｇ－３区より出土した白磁。蓮弁を象った装飾部分で、88－４と同一の可能性がある。釉調は灰白色で滑らか。

88－５　Ｆ－３他より出土した青白磁の合子蓋。外面は型押しで菊花を象る。釉調は明緑灰色で外面全体と内上面に施釉。

88－６　Ｇ－３区より出土した青白磁の合子蓋。口径6.1cm。上面は型押しで花文を象り、外面は型押しで菊花弁を象る。釉は外面と、内上面に施釉する。釉調は明青白色。

88－７　Ｇ－２区より出土した青白磁の合子蓋。復原口径5.6cm。上面は型押しで花文を象り、外面は菊花弁を象る。釉調は淡青白色で、口縁部内側以外は施釉。

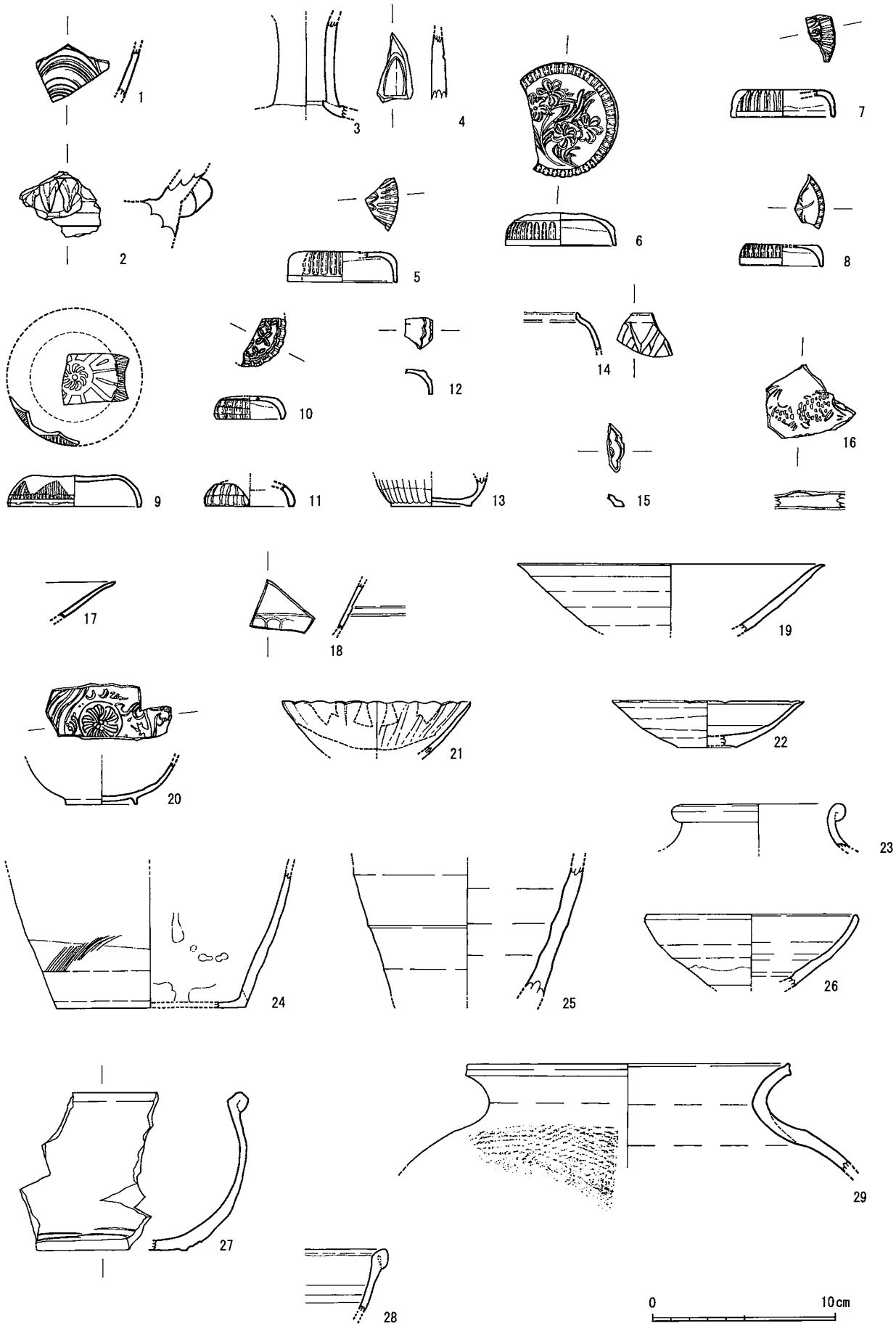
88－８　Ｅ－３区より出土した白磁の合子蓋。復原口径4.5cm。上面は型押しで花文を象り、外面は菊花弁を象る。釉調はオリーブ灰色で、口縁部内側以外は施釉。

88－９　Ｇ－２区他より出土した青白磁の合子蓋。復原口径7.4cm。上面、外面は型押しで菊花弁を象る。釉調は淡青白色で体部内面以外は施釉。

88－10　Ｆ－２区より出土した青白磁の合子蓋。復原口径3.7cm。上面は型押しで花文弁の集合を象る。外面は型押しで、中位に段の付いた菊花を象る。釉調は明青白色で、体部内面以外は施釉。

88－11　Ｆ－２区より出土した青白磁の合子蓋。復原口径4.8cm。外面は型押しで、中位に段の付いた菊花弁を象る。釉調は明青白色で、体部内面以外は施釉。

88－12　Ｅ－３区より出土した青白磁の合子蓋。外



第88図　Ⅷ層出土遺物実測図③（1/3）

面は型押しで菊花弁を象る。釉調は明青白色で内面体部と外面口縁部以外に施釉。

88—13　G－3区より出土した青白磁の合子身。外面は型押しで菊花弁を象る。釉調は明緑灰色で内面と外面体部に施釉。

88—14　H－2区より出土した青白磁の小壺身。外面はヘラ彫りで蓮弁を象る。口縁部の釉は掻き取る。釉調は明青白色。

88—15　F－2区より出土した青白磁の小壺蓋。上面は型押しで花文を象る。釉調にぶい青白色で上面に施釉。

88—16　E－3区より出土した青磁盤で、大宰府編年の龍泉窯系青磁盤Ⅳ類。見込み部分の破片で、粘土を張り付けた上で魚文をスタンプする。暗緑青色で厚い。

88—17　F－2区より出土した青白磁碗。体部外面は回転ヘラ削りを行う。口縁部は緩く外反する。内外面とも無文。釉調は灰緑青色。

88—18　F－3区より出土した青白磁碗。体部外面は回転ヘラ削りを行い、2条の沈線をめぐらす。内面は型押しで菊花弁を象る。釉調は灰青白色。

88—19　E－3区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅶ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面は無文。口縁部は外反。釉調は明緑灰色で濁る。

88—20　F－3区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗X類。内面は型押しで花文を象る。釉調は淡黄白色で全面施釉。

88—21　F－3区より出土した青白磁小碗。復原口径10.4cm。体部内面は縦にヘラ彫りをし、花弁を象る。口縁部は花弁の単位に輪花を入れる。釉調は明緑灰色。

88—22　G－3区より出土した青白磁皿。復原口径10.3cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面は無文。口縁部は外反して水平にし、端部に輪花を設ける。釉調は明緑灰色。

88—23　G－3区より出土した褐釉壺。口縁部は折り返し肥厚する。胎土は灰白色で砂粒が混じるが細やか。釉調は暗褐色。

88—24　G－2区より出土した褐釉壺。底部の破片。胎土は灰白色で砂粒が混じり、細やか。釉調は暗褐色。

88—25　E－2区より出土した褐釉壺。胴部の破片。体部外面は幅の広い回転ヘラ削りを施す。胎土は灰色で砂粒が混じり比較的粗い。釉調は黒褐色。

88—26　F－3区より出土した天目碗。体部外面は回転ヘラ削りを施し、内面はロクロ目が付く。口縁部は内湾する。釉調は黒褐色。

88—27　G－3区他より出土した緑釉盤。口縁部～底部の破片。口縁部は折り返して肥厚し、内湾する。他に同一個体のものと思われる破片が24片ある。見込みにはヘラ先による施文がある。胎土砂粒が多く粗い。釉調は暗緑色。

88—28　G－3区より出土した黄釉盤の口縁部の破片。口縁部は折り返して肥厚し、直立気味。胎土は砂粒が多く粗い。黄色い化粧土を掛けた後は明黄色の釉をかけている。

88—29　F－2区より出土した須恵質土器の壺。体部外面には平行叩きを施し、内面は当て具痕をナデ消す。胎土は灰色で砂粒が混じり比較的粗い。釉調は黒褐色。

89—1　E－3区より出土した須恵質土器で壺または甕の胴部破片。体部外面は格子叩き目が残り、内面はハケでナデ消している。

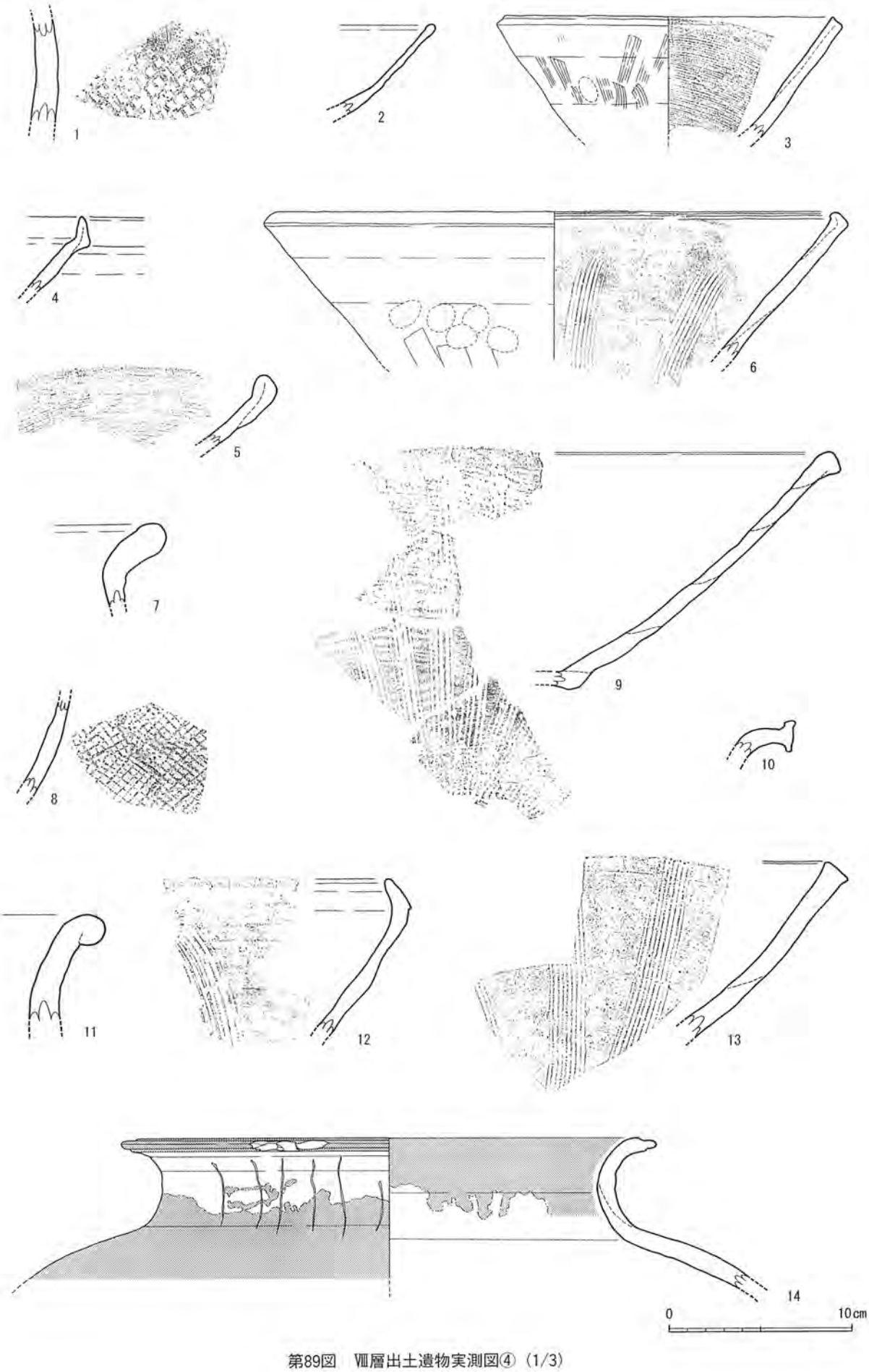
89—2　F－3区より出土した須恵質土器で、東播系の捏鉢。体部内外面は回転ナデ。器肉が薄く、口縁部はまっすぐに引き上げる。

89—3　E－3区他より出土した須恵質土器で、在地系の捏鉢。復原口径18.0cm。体部外面は回転ナデの後ハケで上方へ丹念に調整を行い、口縁部付近は再び回転ナデで調整を行う。外面底部付近は回転台で強いハケナデを行う。内面は横方向にハケ目調整を行い、口縁部は回転ナデ。

89—4　E－2区より出土した須恵質土器で、東播系の捏鉢。体部内外面は回転ナデ。口縁部は肥厚し、口唇部は焼成により、黒変している。

89—5　F－3区他より出土した須恵質土器で、在地系の捏鉢。口縁部は肥厚し、口唇部は回転ナデ。体部外面は静止ナデ。内面は横方向にハケ目調整。

89—6　E－3区より出土した須恵質土器で、在地



第89図　Ⅷ層出土遺物実測図④（1/3）

系の擂鉢。復原口径30.5cm。体部外面は回転ナデの後ハケで上方へ調整を行い、所々をナデ消す。口縁部付近は横にナデ調整。内面は横方向にハケ目調整を行い、擂り目は7本のクシ目を入れる。

89－7　E－3区他より出土した須恵質土器で、在地系の甕。体部外面はハケで上方へ調整を行い、回転ナデでハケ目を消す。内面も回転ナデ調整。

89－8　D－2区より出土した須恵質土器で、壺または甕の胴部破片。体部外面は格子目の叩きを行い、内面は横方向にナデ消している。

89－9　F－3区他より出土した須恵質土器で、在地系の擂鉢。体部外面は静止ナデを行い、口縁部は回転ナデを行う。内面は横方向にハケ目調整を行い、擂り目は5本のクシ目を入れる。焼成が悪く、色調はにぶい橙色。

89－10　D－1区より出土した常滑窯の甕。口縁部を肥厚し、上下方向に口唇部を延ばす。

89－11　E－2区より出土した備前窯の甕。口縁部を肥厚し、玉縁状にする。口唇部、体部外面には自然釉が掛かる。

89－12　E－3区他より出土した備前窯の擂鉢。内外面は回転ナデを行い、口縁部は肥厚し、大きく内湾させる。擂り目は6本のクシ目を入れる。焼成が良く、色調は暗赤色。

89－13　E－2区他より出土した備前窯の擂鉢。内外面は回転ナデを行い、口唇部をやや内側に張り出させる。擂り目は8本のクシ目を入れる。焼成が良く、内面には自然釉が掛かる。

89－14　G－2区他より出土した常滑窯の甕。内外面は回転ナデを行い、口縁部は外反する。頸部は縦にヘラ先で施文する。色調は暗赤褐色で、口縁部と肩部に灰緑色の自然釉がかかる。

90－1　F－1区より出土した土師器坏。復原口径15.8cm。器高3.6cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じるが、比較的細やか。見込みは数回横ナデを施す。色調はにぶい橙色。

90－2　F－2区より出土した土師器坏。復原口径15.3cm。器高3.2cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じるが、比較的細やか。見込みは横ナデを施す。体部は開く。色調は浅黄橙色。

90－3　E－3区より出土した土師器皿。口径8.9cm。器高1.0cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込みは3回横ナデを施す。色調は浅黄橙色。

90－4　E－3区他より出土した土師器皿。復原口径9.8cm。器高1.1cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込みは数回横ナデを施す。色調は橙色。

90－5　F－2区より出土した土師器皿。復原口径7.9cm。器高1.0cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。見込みは数回横ナデを施す。器肉が薄く、体部は開く。色調はにぶい橙色。

90－6　E－3区より出土した土師器皿。復原口径8.3cm。器高1.1cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。見込みは数回横ナデを施す。器肉が薄く、体部は開く。色調はにぶい橙色。

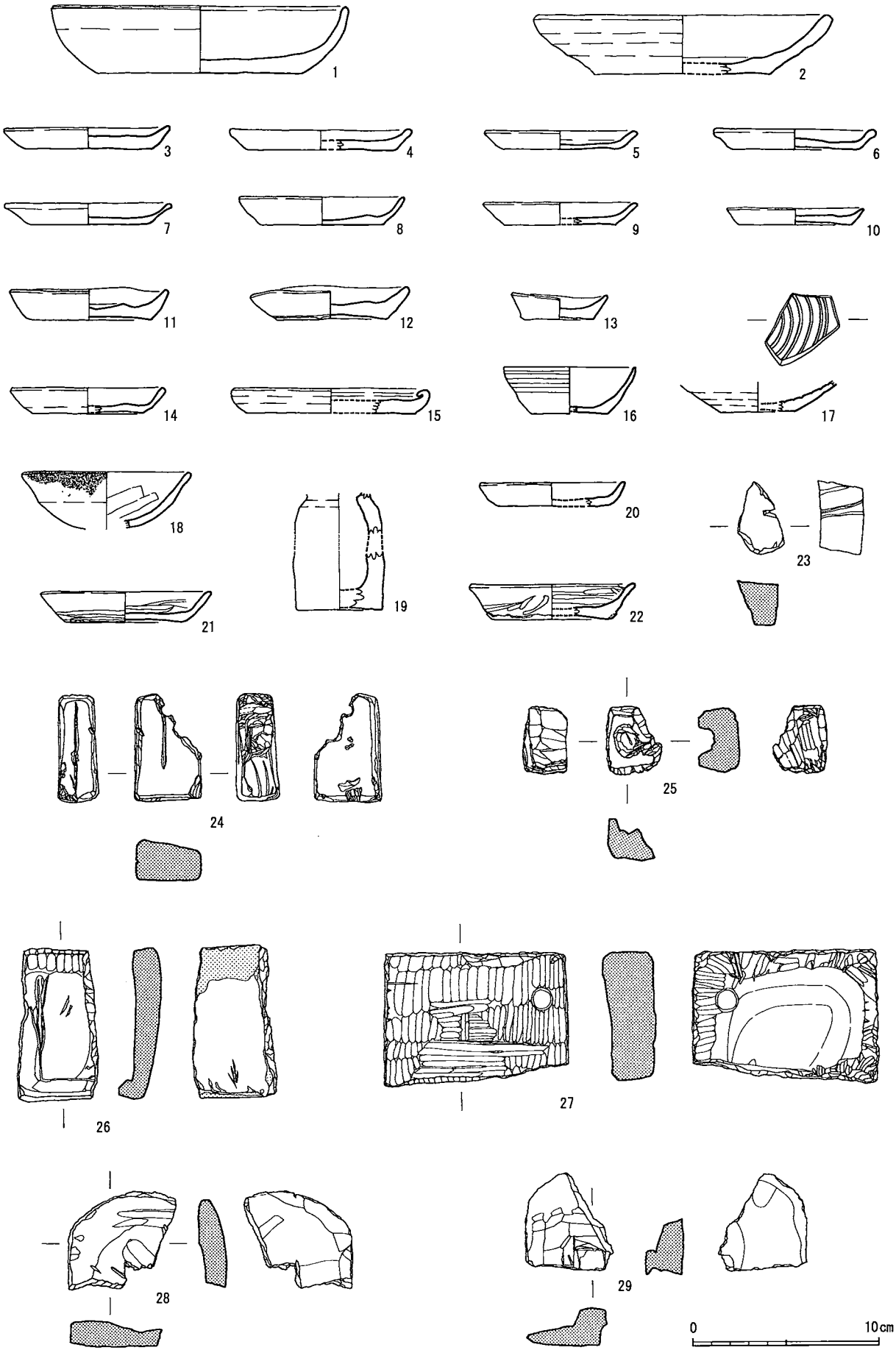
90－7　E－2区より出土した土師器皿。口径9.0cm。器高1.1cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。見込みは数回横ナデを施す。器肉は薄く、体部は開く。色調は橙色。

90－8　F－2区より出土した土師器皿。復原口径9.0cm。器高1.5cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく細やか。見込み周辺を薄くナデくぼめ、内部は数回横ナデを施す。器肉は薄い。体部は開き、口縁部で内湾。色調はにぶい橙色。

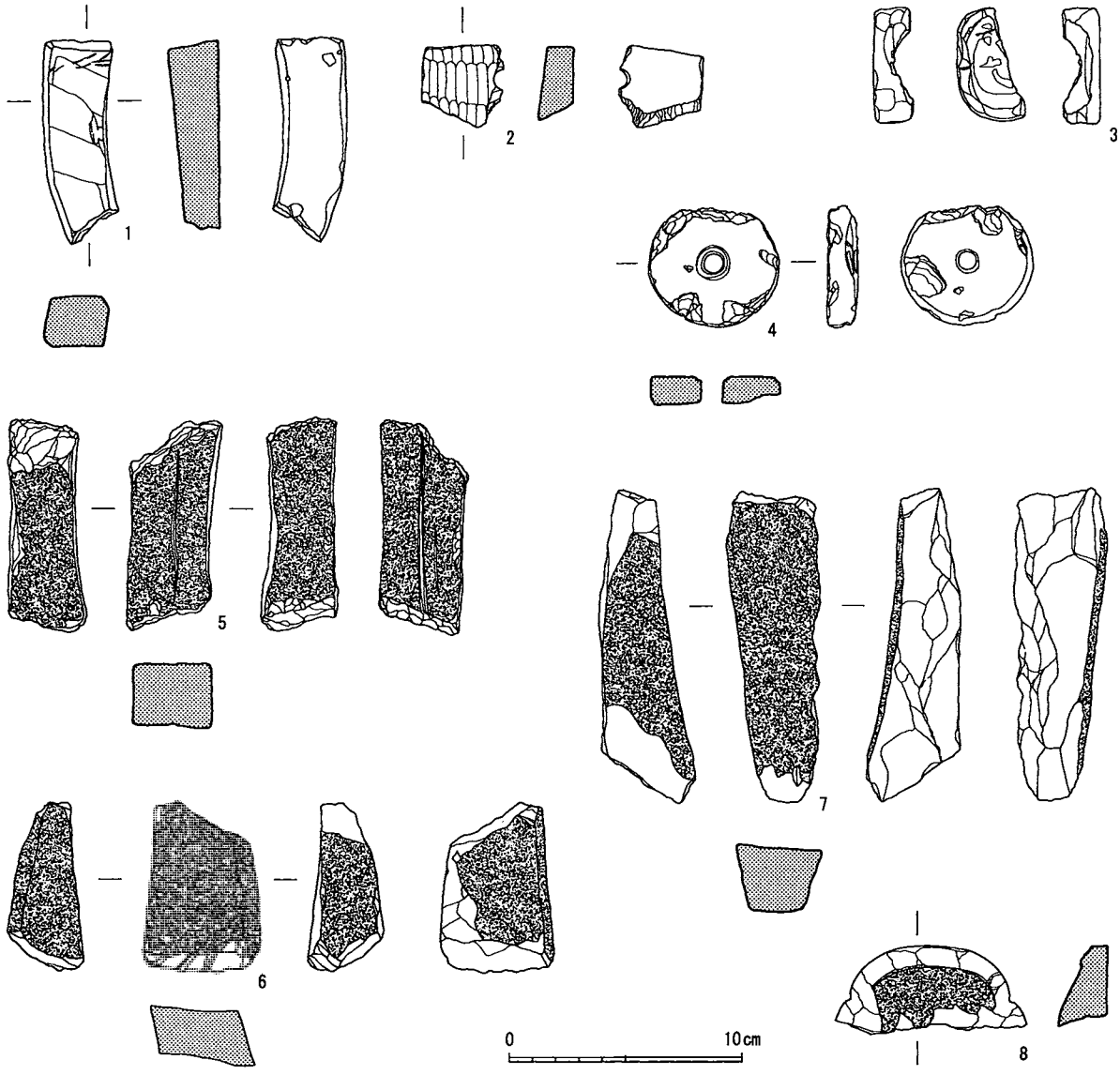
90－9　F－2区より出土した土師器皿。復原口径8.1cm。器高1.2cm。底部は糸切りで、深い板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく細やか。見込みは、数回横ナデを施す。器肉は薄く、体部は開く。色調はにぶい橙色。

90－10　E－1区より出土した土師器皿。復原口径7.2cm。器高0.9cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく細やか。見込みは、数回横ナデを施す。器肉は薄く、口縁部は薄く引き上げ、体部は開く。色調はにぶい褐色。

90－11　E－2区より出土した土師器皿。口径8.4cm。器高1.7cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じるが、比較的細やか。見込み周辺はナデくぼめ、内部の横ナデは行わない。色調はに



第90図　Ⅷ層出土遺物実測図⑤（1/3）



第91図　Ⅷ層出土遺物実測図⑥（1/3）

ぶい橙色。

90—12　Ｅ－２区より出土した土師器皿。口径8.4cm。器高1.8cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込みに横ナデは行わない。色調はにぶい橙色。

90—13　Ｅ－３区より出土した土師器皿。口径5.1cm。器高1.5cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なく、比較的細かい。見込みに横ナデは行わない。色調はにぶい黄褐色。

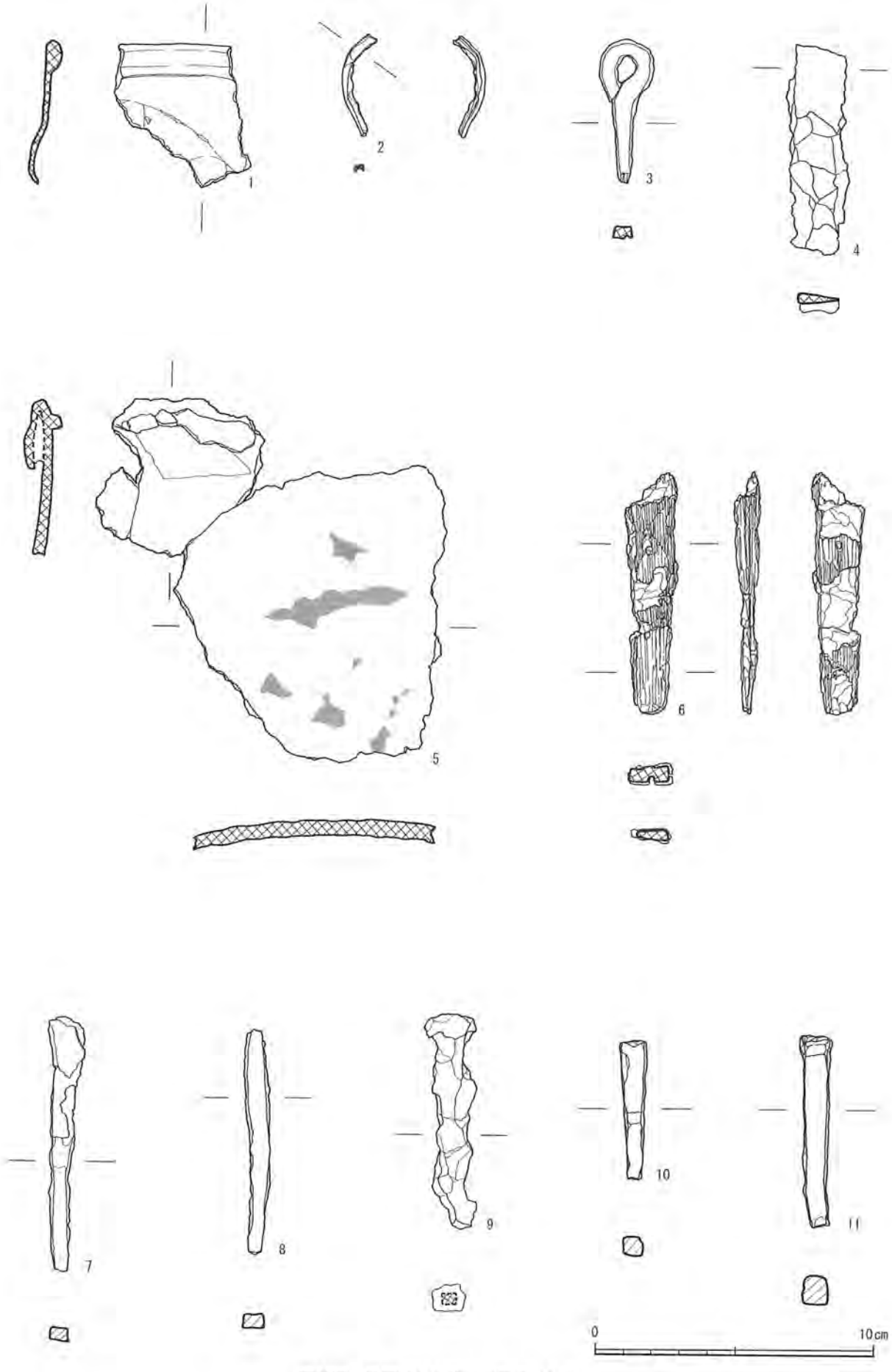
90—14　Ｆ－２区より出土した土師器皿。復原口径8.2cm。器高1.4cm。底部は糸切りで、中央部にナデを施す。胎土には砂粒が少なく細かい。見込みに横ナデを数回行う。色調はにぶい橙色。

90—15　Ｆ－２区より出土した土師器皿。復原口径10.4cm。器高1.3cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく、比較的細やか。見込みの横ナデは不明。口縁部を折り曲げ、京都風をまねた在地の土師器皿である。色調はにぶい橙色。

90—16　Ｆ－３区より出土した白色土師器皿。復原口径7.2cm。器高2.5cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なく細やか。見込みに横ナデはしない。口縁部は薄く引き上げやや内湾する。色調は灰白色。

90—17　Ｅ－３区より出土した白色土師器皿。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なく細やか。見込はヘラで同心円状に沈線を描く。色調は灰白色。

90—18　Ｅ－２区より出土した白色土師器皿。復原口径9.2cm。体部上位は回転ナデで内面より押圧し、丸底化する、体部下位はナデで手づくね風に仕上げ



第92図　Ⅷ層出土遺物実測図⑦（1/2）

る。口縁部にはカーボンが付着する。胎土には砂粒が少ないがやや粗い。色調は灰白色。

90—19　F－3区他より出土した土師器小壺。底部は糸切りで、体部には回転ナデ痕が付く。胎土には砂粒が混じるが、比較的細やか。色調はにぶい黄橙色。

90—20　H－2区より出土した土師器皿。復原口径7.8cm。器高1.3cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく、比較的細やか。見込みに横ナデを数回施す。内面を燻し、黒変させているが、磨きは行っていない。色調は、内面は黒色、外面は灰褐色。

90—21　G－2区より出土した瓦器皿。口径9.3cm。器高1.6cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく細やか。体部内外面と見込みをヘラ磨きする。重ね焼きにより、色調は灰白色と黒色の部分がある。

90—22　F－2区より出土した瓦器皿。復原口径9.0cm。器高1.9cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく細やか。体部内外面と見込みにヘラ磨きを施す。色調は、内面と口縁部付近は黒色で、底部は灰白色。

90—23　E－2区より出土した滑石加工品。石鍋を2次加工中の破片で、切り込みを入れた痕跡がある。旧石鍋外面にはカーボンの付着有り。

90—24　G－3区より出土した滑石製温石。縦5.7cm。横3.5cm。石鍋を長方形に2次加工し、直径7㎜の穴を穿つ。数カ所に切り込みを入れた痕跡がある。

90—25　G－3区より出土した滑石加工品。方形に整形してあり、中央部には直径1.5cmの穴を途中まで穿つ。旧石鍋外面が一部残り、カーボンが付着する。

90—26　F－2区より出土した滑石加工品。縦8.0cm。横3.8cm。石鍋を長方形に2次加工し、内面に方形の窪みを彫る。旧石鍋外面が一部残り、カーボンが付着する。

90—27　C－1区より出土した滑石製温石。縦10.2cm。横6.8cm。石鍋を長方形切り出し、細かなノミ目を入れて加工する。角に直径1.2cmの穴を穿つ。旧石鍋の内外面残り、全体にカーボンが付着する。

90—28　F－3区より出土した滑石加工品。縦5.3cm。横5.3cm。石鍋を楕円形に2次加工した破片。片面に楕円形の窪みを彫る。窪みの対面にはカーボンが付着する。

90—29　F－3区より出土した滑石加工品。石鍋を隅丸方形に2次加工した破片。石鍋の耳の部分をそのまま利用し、耳を通すような形で穴を穿つ。耳のある面にはカーボンが付着する。石鍋の補修部品か。

91—1　E－2区より出土した滑石加工品。石鍋の弧の断面で、全面をみがいている。

91—2　F－2区より出土した滑石加工品。石鍋を方形に加工した破片で、直径0.7cmの穴を穿つ。旧石鍋内外面が残り、外面にはカーボンが付着する。

91—3　D－2区より出土した滑石加工品。楕円形に整形をし、内面に窪みをつける。石鍋の製品面は削り取られている。

91—4　G－2区より出土した紡錘車。直径5.6cm。石材は凝灰岩。

91—5　G－3区より出土した砥石。4面に使用痕がある。

91—6　G－3区より出土した砥石。半分欠損をしている。4面に使用痕がある。

91—7　F－2区より出土した砥石。欠損をした部分が多い。2面に使用痕がある。

91—8　D－2区より出土した四葉形石硯。海の部分の破片で、石材は頁岩。

92—1　E－2区より出土した青銅製盤。縦5.0cm。横4.3cm。口径の大きな物と思われ、口縁部は玉縁状に肥厚する。

92—2　F－2区より出土した青銅製品。縦4.2cm。横0.3cm。板状製品の縁取りに使う金具。

92—3　F－2区より出土した鉄製品。縦5.1cm。断面約0.4cm方形。鍛造による留め具で、頭部を輪状に丸める。

92—4　F－2区より出土した鉄製刀。縦7.6cm。横1.9cm。厚み0.3cm。

92—5　E－3区より出土した鉄製品。縦16.2cm。横10.4cm。厚み0.4cm。板状の製品で、鎧の可能性がある。かなり破損しているが、端部を折り曲げる。板は緩く湾曲する。湾曲した上面は丹を塗る。

92—6　F－3区より出土した鉄製刀。縦8.6cm。

横1.6cm。茎の部分で周りには柄の木質部分と目釘が残る。茎部分の厚みは0.4cm。

92－7　Ｅ－３区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦9.0cm。断面0.7×0.5cm。

92－8　Ｅ－３区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦8.0cm。断面0.7×0.5cm。

92－9　Ｆ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦7.6cm。錆により膨張しているが、地金の部分は断面0.7×0.5cmである。

92－10　Ａ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦4.9cm。断面0.8×0.7cm。

92－11　Ａ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦6.9cm。断面0.9×1.0cm。

4　Ⅶ層の遺物

Ⅶ層は黒褐色土で包含層の中層にあたり、遺物の包含も多い。遺跡の最盛期にもあたり、大型建物が造営された時期でもある。

93－1　Ｂ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅱ１ａ・３ａ類。体部は回転ヘラ削りを行い内外面とも無文。見込みに沈線を巡す。釉は浅黄色で、体部中位まで施釉する。

93－2　Ｇ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅱ３ｂ・４ｂ類。体部は回転ヘラ削りを行い、口縁部は真っ直ぐ引き上げる。内面には堆線がある。釉は灰黄白色。

93－3　Ｆ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅱ１・２類。外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は折り返し、小さな玉縁を作る。釉は灰黄白色。

93－4　Ｄ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅳ１ａ類。復原口径15.6cm。器高7.0cm。外面は回転ヘラ削りをし、口縁部は玉縁に肥厚する。見込み周辺は沈線を施す。釉は灰黄白色で口縁部付近までしか施釉しない。

93－5　Ｆ－３区他より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅳ１ａ類。外面体部は回転ヘラ削りを行う。口縁部は玉縁に肥厚する。釉は灰白色で、体部中位まで施釉。

93－6　Ｆ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ｖ３ｂ類。外面体部は回転ヘラ削りを行い、クシで縦に施文する。釉は灰白色。

93－7　Ｅ－２区他より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ｖ１ｃ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面にはクシで施文する。釉はオリーブ灰色。

93－8　Ｇ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ｖ１類の新。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面には堆線を施す。釉は灰白色。

93－9　Ｇ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ｖ２ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、ヘラで縦に施文。口縁は外反する。釉はオリーブ灰色。

93－10　Ｆ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ｖ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はクシで施文する。見込みは釉を掻き取り文字を書く。釉は灰白色。

93－11　Ｆ－１区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ｖ４ｂ類。復原口径16.2cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は外反し、水平にする。内面はクシで施文。釉は灰白色。

93－12　Ｂ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅵ１ａ類。復原口径14.4cm。器高4.8cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部外反する。釉は浅黄色。

93－13　Ｆ－１区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅵ１ｂ類。復原口径14.0cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、外面はクシでランダムに施文する。釉は淡黄白色。

93－14　Ｆ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅶ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内面にはヘラとクシで施文。釉はオリーブ灰色。

93－15　Ｆ－１区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ｖ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内外面無文。釉は浅黄色。

93－16　Ｆ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅶ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内面にはヘラで施文。釉はオリーブ灰色。

93－17　Ｆ－１区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅶ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。

内面にはヘラで施文。釉はオリーブ灰色。

93－18　Ｇ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ｘ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面には型押しで花文を象る。口縁部は釉の掻き取りを行う。器肉が薄い。釉は灰白色。

93－19　Ｆ－１区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗ＸⅣ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は外反させ水平にする。内面には堆線を施す。釉は明オリーブ色。

93－20　Ｆ－１区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ｅ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は外反させる。釉は失透性の灰白色。

93－21　Ｆ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅱ１ａ類。復原口径10㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込み周辺に段をつける。釉は灰白色で、体部下位まで施釉する。

93－22　Ｆ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅲ１類。復原口径8.9㎝。器高2.1㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みの釉を蛇の目状に掻き取る。釉はオリーブ灰色で体部下位まで施釉。

93－23　Ｆ－３区他より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅲ２類。復原口径11.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みの釉の掻き取りは行わない。釉は灰白色。

93－24　Ｆ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅲ類。口径11.0㎝。器高2.7㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行う。釉は灰オリーブ色で体部下半まで施釉する。

93－25　Ｅ－１区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅲ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。釉調は灰オリーブ色で口縁部直下までしか施釉しない。

93－26　Ｆ－１区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅵ１ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。体部下位より緩く内湾し、見込み周辺に沈線を回す。釉は明オリーブ色で底部付近まで施釉する。

93－27　Ｇ－３区他より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅳ１ａ類。復原口径11.3㎝。器高2.7㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込み周辺に沈線を巡す。釉は灰白色で底部付近まで施釉する。

93－28　Ｅ－１区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅳ１ｂ類。復原口径10.4㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行う。口縁部に輪花。内面輪花下には堆線を施す。釉調は明オリーブ色。

93－29　Ｇ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅳ２ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は折り曲げ、水平に調整を行う。内面には堆線を施す。釉調は明オリーブ灰色。

93－30　Ｇ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅷ１ｃ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。見込みにヘラとクシで花文を描く。釉調は灰白色で、底部まで施釉する。

93－31　Ｆ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅷ１ａ類。復原口径10.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラで施文する。釉調はオリーブ灰色。

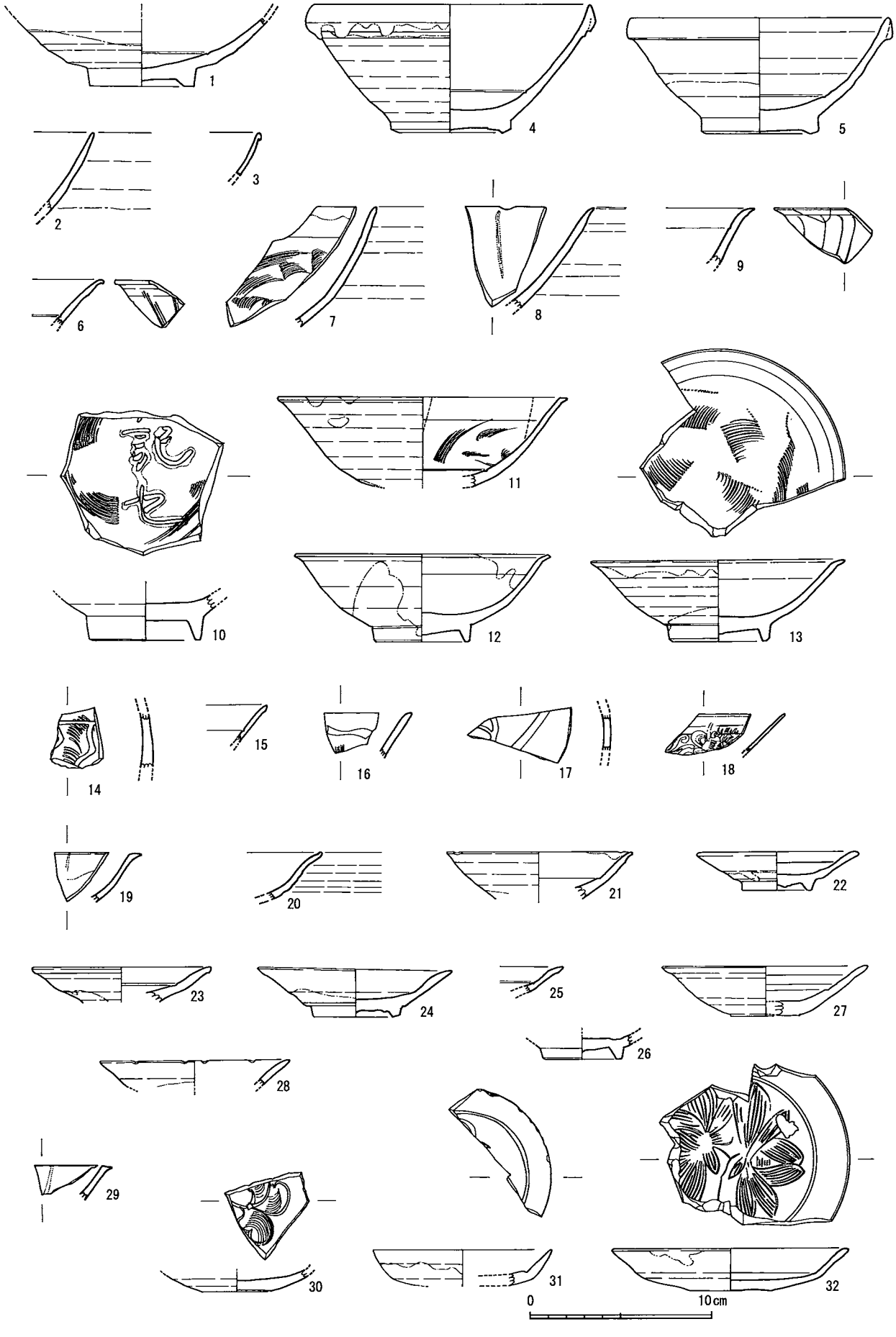
93－32　Ｇ－３区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅷ２ｂ類。復原口径13.0㎝。器高2.4㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みは花文をスタンプする。釉調はオリーブ灰色。

94－１　Ｆ－２区他より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅸ１ａ類。口径8.8㎝。器高1.7㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みに沈線を巡す。釉調は灰白色で、全面施釉ののち口縁部を掻き取る。口縁部にはカーボンが付着。

94－２　Ｆ－３区他より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅸ１ｂ類。復原口径10.8㎝。器高2.5㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。口縁部は真っ直ぐに引き上げ、釉の掻き取りを行う。口縁部にはカーボンが付着する。釉調は灰白色で、底部も施釉する。

94－３　Ｇ－３区他より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅸ１ｃ類。復原口径10.2㎝。器高3.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。口縁部は外反し、釉の掻き取りを行う。口縁部にはカーボンが付着する。釉調はオリーブ灰色で、底部も施釉する。

94－４　Ｇ－３区他より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅸ２ｃ類。復原口径9.0㎝。器高2.8㎝。



第93図　Ⅶ層出土遺物実測図①（1/3）

体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。口縁部は真っ直ぐに引き上げ、釉の掻き取りを行う。釉調は灰白色で、底部付近まで施釉する。

94－５　Ｅ－２区他より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅵ１ａ類。口径9.7㎝。器高2.1㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行う。口縁部は途中で直立気味。釉調は灰黄白色で、体部下半まで施釉する。底部には墨書があり「上」と読める。

94－６　Ｇ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅵ１ａ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。釉調はオリーブ灰色で、体部中位まで施釉する。底部には墨書がある。

94－７　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の初期龍泉窯･同安窯系青磁碗０類。復原口径17.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、その後幅の広いクシ状の施文具で縦に施文。内面はクシで複雑に施文する。釉調はオリーブ色で、体部下位まで施釉する。

94－８　Ｆ－１区より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅰ１ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りののち、クシで縦に施文する。口縁部下に連子状にヘラで施文をする。内部はクシと二叉工具で施文する。釉調はオリーブ色。

94－９　Ｆ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅰ１ａ類。復原口径15.5㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はクシと三叉工具で施文する。釉調はオリーブ灰色。

94－10　Ｆ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅰ１ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、クシで縦に施文。内面はヘラとクシで施文する。釉調はオリーブ黄色。

94－11　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ１類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内外面は無文。釉調はオリーブ灰色。

94－12　Ｅ－１区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ１類。復原口径16.2㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内外面は無文。釉調はオリーブ灰色。

94－13　Ｅ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ１類。復原口径16.8㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内外面は無文。釉調はオリーブ灰色。

94－14　Ｆ－１区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類。復原口径15.8㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内面はヘラの片彫りと三叉工具で蓮華文を描く。釉調はオリーブ灰色。

94－15　Ｇ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ２ａ類。復原口径15.8㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りとクシで蓮華文を描く。釉調はオリーブ色。

94－16　Ｅ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りとクシで蓮華文を描く。釉調はオリーブ灰色。

94－17　Ｆ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類。復原口径16.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りで蓮華文を描く。釉調はオリーブ色。

94－18　Ｅ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類。復原口径16.2㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りと三叉工具で蓮華文を描く。釉調はにぶい黄緑色。

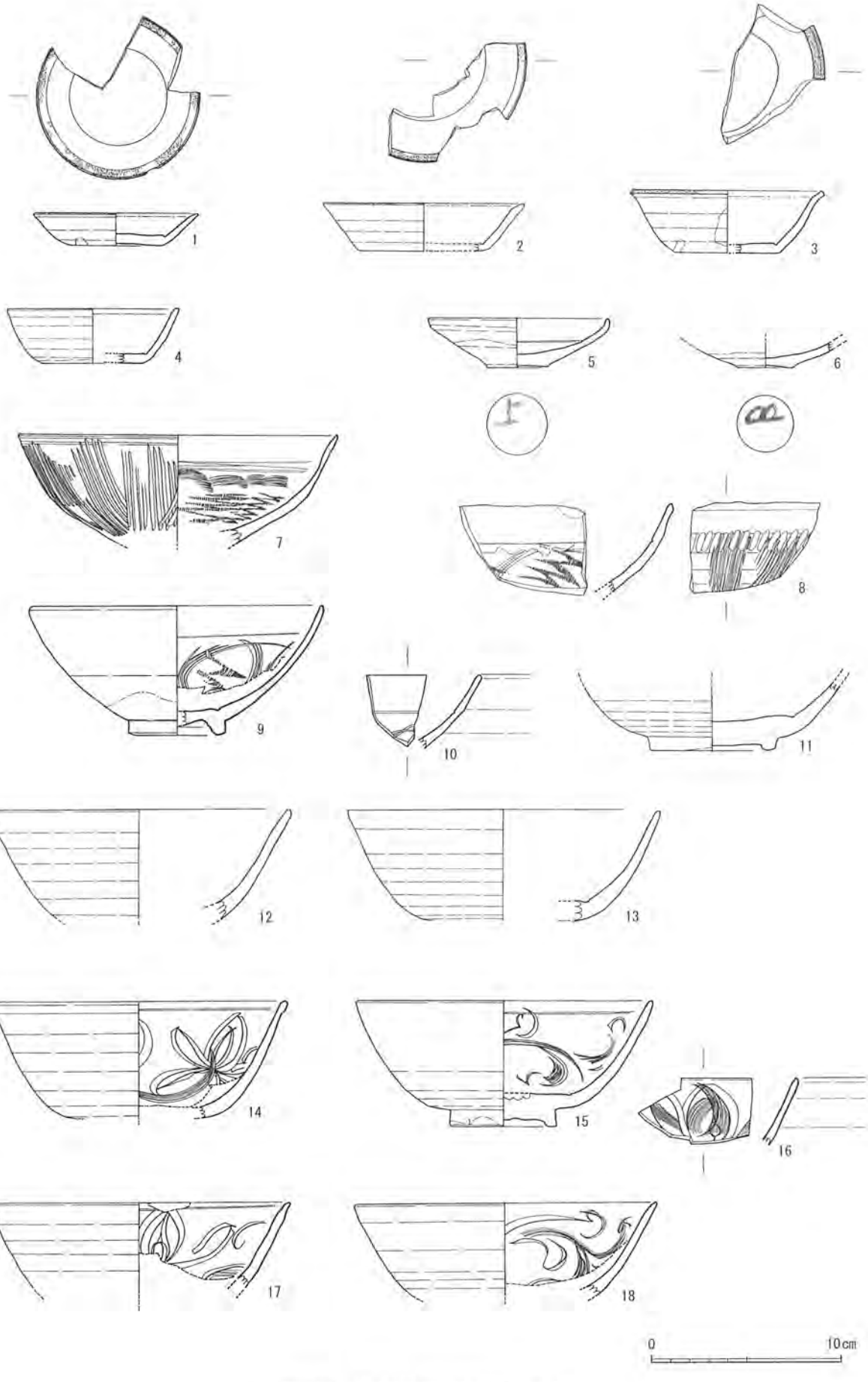
95－１　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ２ｂ類。復原口径16.2㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りで蓮華文を描く。釉調は灰緑色。

95－２　Ｅ－３区他より出土した青磁碗。大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ２ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りと三叉工具で蓮華文を描く。釉調はオリーブ灰色。

95－３　Ｆ－１区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りと三叉工具及びクシで施文する。釉調はオリーブ灰色。

95－４　Ｆ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りとヘラ先及びクシで施文する。釉調は暗緑青色。

95－５　Ｅ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ４ａ類。復原口径16.0㎝。



第94図　Ⅶ層出土遺物実測図②（1/3）

体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は二叉工具で器面を分割し、ヘラの片彫りで施文する。釉調は灰緑色。

95－６　Ｅ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ４ｂ類。復原口径16.2㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は二叉工具で器面を分割し、ヘラの片彫りで施文する。釉調はオリーブ灰色。

95－７　Ｆ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ４ｃ類。復原口径15.2㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は堆線を施す。釉調はオリーブ灰色。

95－８　Ｆ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ４ｃ類。口径16.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は堆線を施す。釉調はオリーブ灰色。

95－９　Ｆ－１区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ４ｃ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は堆線を施す。釉調はオリーブ黄色。

95－10　Ｅ－１区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５類から上田分類Ｂ類に入る物で、14世紀後半の遺物。復原口径16.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラの片彫りにより蓮弁文を描き出す。釉調は灰オリーブ色。

95－11　Ｆ－１区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ａ類。復原口径16.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラの片彫りにより鎬の無い蓮弁文を象る。主弁の幅は3.5㎝で、間弁はほぼ先端のみ。釉調は暗オリーブ色。

95－12　Ｇ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｃ類。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鎬蓮弁文を象る。見込みには花文のスタンプを押す。釉調は暗緑青色。

95－13　Ｅ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂｃｄ類。復原口径17.7㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鎬蓮弁文を象る。主弁の幅は2.5㎝で、間弁は下位まで彫り出し、半分ほどでの幅。釉調はオリーブ灰色。

95－14　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂｃｄ類。復原口径16.4㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鎬蓮弁文を象る。主弁の幅は3.0㎝で、間弁は下位まで広く彫り出し、主弁の２／３。釉調は緑灰色。

96－１　Ｆ－１区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂｃｄ類。復原口径16.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鎬蓮弁文を象る。主弁の幅は2.2㎝ で、間弁は下位まで主弁とほぼ同幅で彫り出す。釉調は緑灰色。

96－２　Ｅ－１区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｃ類。見込みには花文のスタンプを押す。釉調は緑青色。

96－３　Ｅ－１区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｃ類。見込みには花文のスタンプを押す。釉調は緑青色。

96－４　Ｅ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｃ類。見込みには花文のスタンプを押す。釉調はオリーブ灰色。

96－５　Ｆ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅲ１類。内面にヘラ先で施文する。釉調は緑青色。

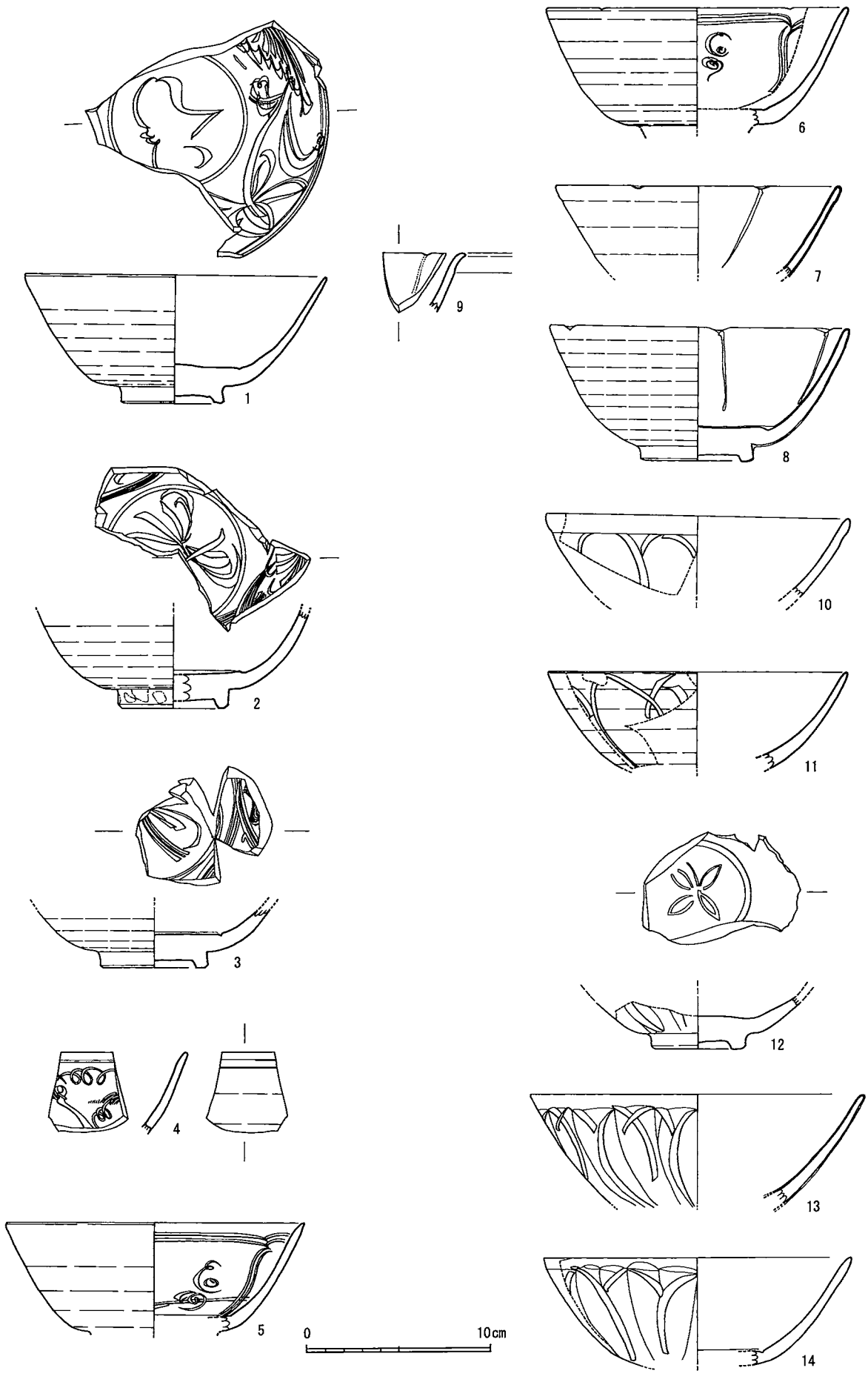
96－６　Ｇ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅳ類。口縁部は外反し、輪花がある。釉調はオリーブ灰色。

96－７　Ｇ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅲ２類。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鎬蓮弁文を象る。主弁の幅は1.2㎝で、間弁は中位まで彫り出し、ほぼ主弁と同幅である。口縁部は外反する。釉調は暗緑色。

96－８　Ｆ－１区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅳ類。外面にはヘラ先で蓮弁状の施文をし、内面はヘラで凹面による蓮弁状の施文を行う。釉調はオリーブ灰色。

96－９　Ｇ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小碗Ⅰ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。釉調は緑青色で高台まで施釉する。

96－10　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅳ類から、上田分類のＢⅡ類までの要素を持つ。復原口径17.0㎝。外面にはヘラに



第95図　Ⅶ層出土遺物実測図③（1/3）

よる蓮弁の施文を線描きで、内面もヘラ先による施文を行う。釉調はにぶい緑青色。

96－11　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅳ類。外面には回転ヘラ削り。内面見込みは菊花のスタンプを押す。釉調はにぶい緑青色で、高台内まで施釉し、高台内は蛇の目状に掻き取る。

96－12　Ｄ－２区より出土した青磁碗で、上田分類の龍泉窯系青磁碗Ｃ類。外面には回転ヘラ削り。外面には線で蓮弁を描き、内面もヘラ先で施文する。釉調は灰緑青色。

96－13　Ｇ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小碗Ⅰ２ｂ類。復原口径11.0cm。外面には回転ヘラ削り。内面は二叉工具で器面を分割する文様を描く。釉調は灰緑青色。

96－14　Ｆ－２区より出土した青磁皿で、大宰府編年の龍泉窯系青磁皿Ⅰ１ｂ類。復原口径13.4cm。器高3.1cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面にヘラの片彫りとクシで花文を描く。釉調は明灰緑色で底部まで施釉し、底部は釉を掻き取る。

96－15　Ｇ－３区より出土した青磁小碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小碗Ⅰ１ｂ類。口径10.4cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面は無文。釉調はオリーブ灰色で高台付近まで施釉。

96－16　Ｇ－３区より出土した青磁碗で、龍泉窯系曲口碗。体部外面はヘラ彫りで蓮弁を削りだし、内面は無文。口縁部は口縁部付近で内湾させ、口縁部を直立させる。釉調は緑青色。

96－17　Ｆ－２区より出土した青磁小碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小碗で蓋付きのものと思われる。復原口径8.7cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。釉調はオリーブ色で全面施釉の後、畳付、口縁部の釉を掻き取る。

96－18　Ｅ－２区より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅲ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部付近を外反させ、口縁部は直立させる。内外面無文。釉調は暗オリーブ色。

96－19　Ｆ－３区より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅲ４類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部を外反させる。内外面無文。釉調は緑青色。

96－20　Ｆ－１区より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅲ４類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部を外反させる。内外面無文。釉調は緑青色で貫入が多い。

96－21　Ｅ－１区より出土した青磁皿で、大宰府編年の龍泉窯系青磁皿Ⅰ１ｂ類。復原口径12.0cm。器高2.9cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面にヘラの片彫りで蓮華を描く。釉調は青緑色で貫入が多い。

96－22　Ｇ－４区より出土した青磁皿で、大宰府編年の龍泉窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。復原口径10.4cm。器高2.6cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みにはクシ状工具で施文する。釉調はオリーブ色で、全面施釉後、底部を掻き取る。

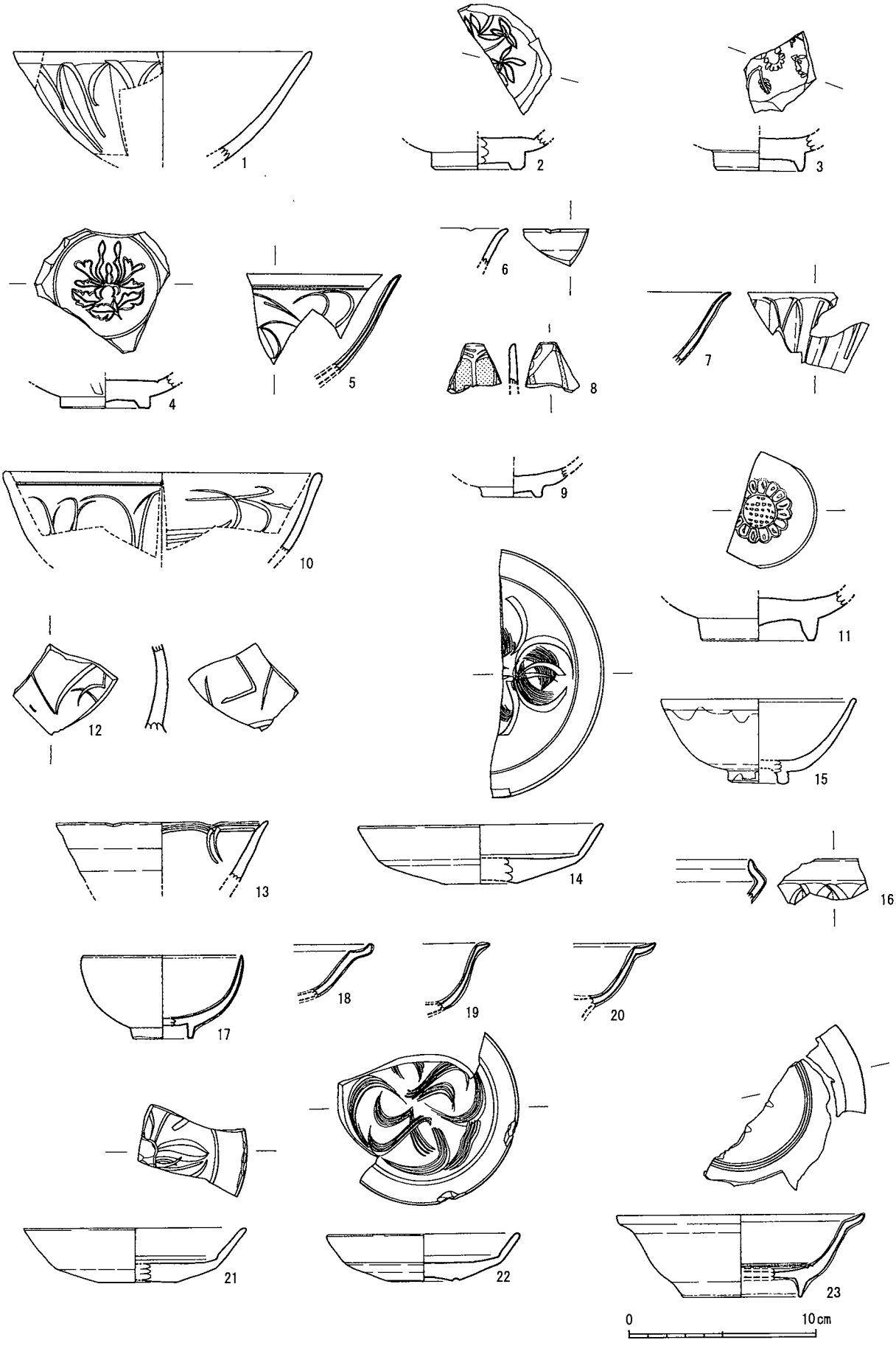
96－23　Ｅ－１区より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅲ２類。復原口径13.2cm。器高4.4cm。口縁部は屈曲して外反し、口唇部は上方へ引き上げる。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。見込み周辺には沈線を回し、内部には双魚文を貼付する。釉調は暗緑色で、全面施釉後畳付部分を掻き取る。

97－１　Ｆ－３区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。口径11.6cm。器高2.6cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みはクシと三叉工具で施文する。釉調は灰オリーブ色で全面施釉後、底部の釉を掻き取る。

97－２　Ｇ－２区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。口径11.0cm。器高2.5cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みはクシと二叉工具で施文する。釉調はオリーブ灰色で、全面施釉後底部の釉を掻き取る。

97－３　Ｆ－１区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。口径11.2cm。器高2.1cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みはクシと二叉工具で施文する。釉調は灰緑青色で、全面施釉後底部の釉を掻き取る。口縁部は一部を打ち欠いたあと、灯明の芯によるカーボンが付着する。底部には墨書がある。

97－４　Ｆ－３区より出土した青磁皿で、大宰府編



第96図　Ⅶ層出土遺物実測図④（1/3）

年の同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。復原口径11.0cm。器高1.9cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面にヘラの片彫りとクシで施文する。釉調は灰緑青色で底部まで施釉し、底部の釉は掻き取る。底部には墨書があり、「十」と読める。

97－５　Ｇ－３区他より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。復原口径10.4cm。器高2.3cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面にクシと三叉工具で施文する。釉調は淡灰青色で底部まで施釉し、底部の釉は掻き取る。底部には墨書がある。

97－６　Ｅ－１区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面にクシと二叉工具で施文する。釉調は明青緑色で底部まで施釉し、底部の釉は掻き取る。底部には墨書があり、「十」と読める。

97－７　Ｆ－２区より出土した白磁四耳壺。肩部の破片で、体部外面は回転ヘラ削りを行い、耳下には沈線をめぐらす。他に同一個体と思われる破片が３個ある。釉調は灰白色。

97－８、９　Ｆ－１区より出土した白磁四耳壺。８は肩部で、体部外面を回転ヘラ削りし、肩部には沈線を巡らす。肩部に穴を穿ち、注口部分を接着する。９は把手で、手づくねによる成形。外面に沈線をつける。釉調はオリーブ白色。

97－10、11　白磁四耳壺の破片。10はＢ－２区より出土した口縁部の破片で、口縁部は折り返し肥厚する。復原口径11.6cm。体部外面は回転ヘラ削りを行う。11はＧ－２区より出土した肩部の破片で、体部外面は回転ヘラ削りを行う。他に同一個体と思われる破片が３個ある。釉調は明オリーブ色。

97－12、13、14　白磁水注の破片で、12はＦ－２区より出土した注口部の破片。13はＥ－２区より出土した肩部の破片で、体部外面は回転ヘラ削りを行い、肩部には沈線をめぐらす。14はＧ－２区他より出土した胴部の破片で、他に同一個体と思われる破片が18個ある。釉調は明オリーブ色。

97－15、16　白磁四耳壺の破片。15はＢ－３区より出土した口縁部の破片で、口縁部は外反させ折り返す。16はＥ－１区より出土した肩部の破片で、体部外面は回転ナデを行う。肩部には２本の沈線がまわる。釉調は明オリーブ色。

98－１　Ｅ－３区他より出土した白磁四耳壺または水注の口縁部の破片。復原口径11.8cm。口縁部は外反し、下方へ折り返す。外面は回転ナデを行う。釉調は明オリーブ色。

98－２、３　白磁水注の破片。２はＤ－３区より出土した口縁部の破片で、口縁部は外反させ、下方へ折り返す。３はＦ－３区より出土した把手の破片で、手ずくねで整形をしてあり、外面には２本の凹線がある。他に同一個体と思われる破片が４個ある。釉調は明白色。

98－４、５　白磁水注の破片。４はＥ－２区より出土した口縁部の破片で、復原口径10.6cm。口縁部は外反させ下方へ折り返す。折り返した口縁部はほぼ垂直に下垂する。５はＦ－１区より出土した胴部の破片で、外面は回転ヘラ削りを行い、体部外面にはヘラで縦に施文する。釉調は灰白色。

98－６　Ｆ－１区より出土した白磁四耳壺または水注の口縁部の破片。復原口径10.3cm口縁部は外反し、下方へ折り返す。他に同一個体と思われる破片が２個ある。釉調は明オリーブ色。

98－７、８　白磁水注の破片で、７はＥ－３区より出土した頸部の破片。11はＧ－３区より出土した把手の破片で手ずくねによる整形で、外面にはヘラ先による２条の沈線が付く。他に同一個体と思われる破片が１個ある。釉調はオリーブ黄色。

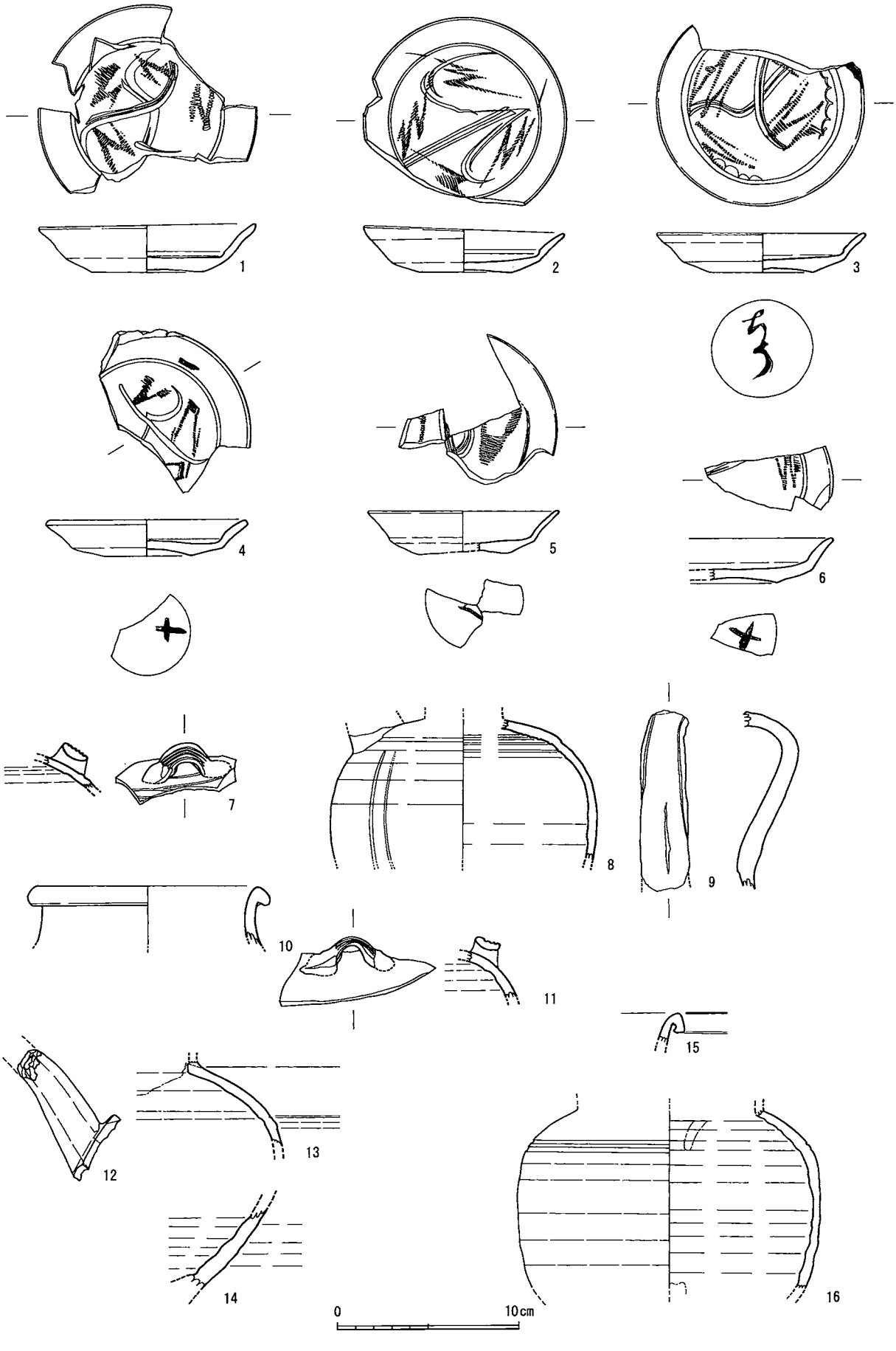
98－９　Ｆ－３区より出土した白磁の合子蓋。復原口径7.4cm。器高2.3cm。外面と上面は型押しで菊花を象る。釉調は灰白色で体部内面以外は施釉。

98－10　Ｅ－１区より出土した白磁の合子蓋。復原口径8.0cm。器高2.2cm。上面は型押しで花文を象る。釉調は灰白色で体部内面以外は施釉。

98－11　Ｇ－３区他より出土した白磁の合子蓋。復原口径6.4cm。器高1.7cm。上面は型押しで花文を象る。釉調はオリーブ灰色で体部内面以外に施釉。

98－12　Ｇ－３区より出土した白磁の合子蓋。復原口径7.2cm。上面は型押しで花文を象る。釉調はオリーブ灰色で外面全体に施釉。

98－13　Ｆ－１区より出土した青白磁の合子蓋。復



第97図　Ⅶ層出土遺物実測図⑤（1/3）

原口径5.2cm。器高1.1cm。外面、上面は型押しで草花文を象る。釉調は明緑灰色で外面全体に施釉。

98－14　Ｇ－３区他より出土した青白磁の合子蓋。八角形で、型押しで中位に段を作り、上面は花文を象る。釉調は淡青白色で体部内面以外に施釉。

98－15　Ｆ－１区より出土した青白磁の合子身。外面は型押しで菊花弁を象る。釉調は淡青緑色で、内面と体部外面中位まで施釉。

98－16　Ｇ－３区より出土した白磁の合子身。口径7.0cm。器高1.6cm。内外面とも無文。釉調はにぶい灰黄色で、体部外面と内面に施釉。

98－17　Ｅ－２区他より出土した青白磁の合子身。復原口径6.2cm。器高2.0cm。八角形で、外面は型押しで花文の集合を作る。釉調は灰青白色で内面と体部外面中位まで施釉。

98－18　Ｆ－３区他より出土した青白磁の合子身。復原口径4.2cm。器高2.1cm。外面は型押しで菊花弁を象る。釉調はにぶい灰青白色で内面と対面体部に施釉。

98－19　Ｅ－２区より出土した青白磁小壺。釉調は明緑灰色で外面に施釉。

98－20　Ｇ－３区他より出土した青白磁小壺。外面は型押しで花文、上面は菊花弁を象る。釉調は明緑灰色で内外面に施釉。

98－21　Ｆ－３区より出土した青白磁小壺の蓋。復原直径9.9cm。上面は型押しで菊花を象る。釉調は明緑灰色で受け部以外は施釉。

98－22　Ｇ－２区より出土した青白磁小壺の身。復原口径6.8cm。外面はヘラ彫りで蓮弁を象る。釉調は明緑灰色で口縁部以外は施釉。

98－23　Ｅ－２区他より出土した青白磁の小壺の身。復原口径9.0cm。外面は型押しで花弁と乳を象る。釉調はにぶい緑灰色で外面全体に施釉。

98－24　Ｇ－２区より出土した青白磁の小壺の身。外面は型押しで花弁を象る。釉調はにぶい緑灰色内面と外面体部下位まで施釉。

98－25　Ｇ－３区より出土した青白磁小壺の身。外面体部は型押しで花弁を象る。上位は蓮華の集合を象り、接合する。釉調は淡緑色で内面と、外面体部下位まで施釉。

99－１　Ｅ－２区より出土した青白磁碗。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内面はヘラの片彫りで魚文を描き、周りをクシ描きで施文する。釉調は明黄緑色。

99－２　Ｆ－１区より出土した青磁盤で、大宰府編年龍泉窯系青磁盤Ⅲ類。体部外面は回転ヘラ削りで蓮弁を作る。内面見込みに型押しの魚文を張り付ける。釉調は青緑色で全面施釉の後、釉を掻き取る。

99－３　Ｇ－３区より出土した青白磁碗。復原口径9.0cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面は無文。釉調は明青白色で、口縁部の内外面の釉を掻き取る。

99－４　Ｆ－２区より出土した青白磁碗。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は型押しで花文を作る。釉調は明緑白色で、口縁部内外面の釉を掻き取る。

99－５　Ｆ－３区他より出土した白磁碗。大宰府編年の白磁碗Ⅸ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面は無文。口縁部は外反し、釉を掻き取る。釉調は明青色。

99－６　Ｇ－２区より出土した青白磁皿。見込み部分の破片で、型押しで魚文を象る。釉調は明青白色。

99－７　Ｆ－２区より出土した青白磁皿。口縁部の破片で、型押しで内面に隆線を作る。口縁部は複数の輪花を作り、花弁状。釉調は淡灰白色。

99－８　Ｆ－２区より出土した青白磁碗。復原口径12.4cm。器高4.1cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りとクシで施文する。釉調は明緑白色で高台付近まで施文する。

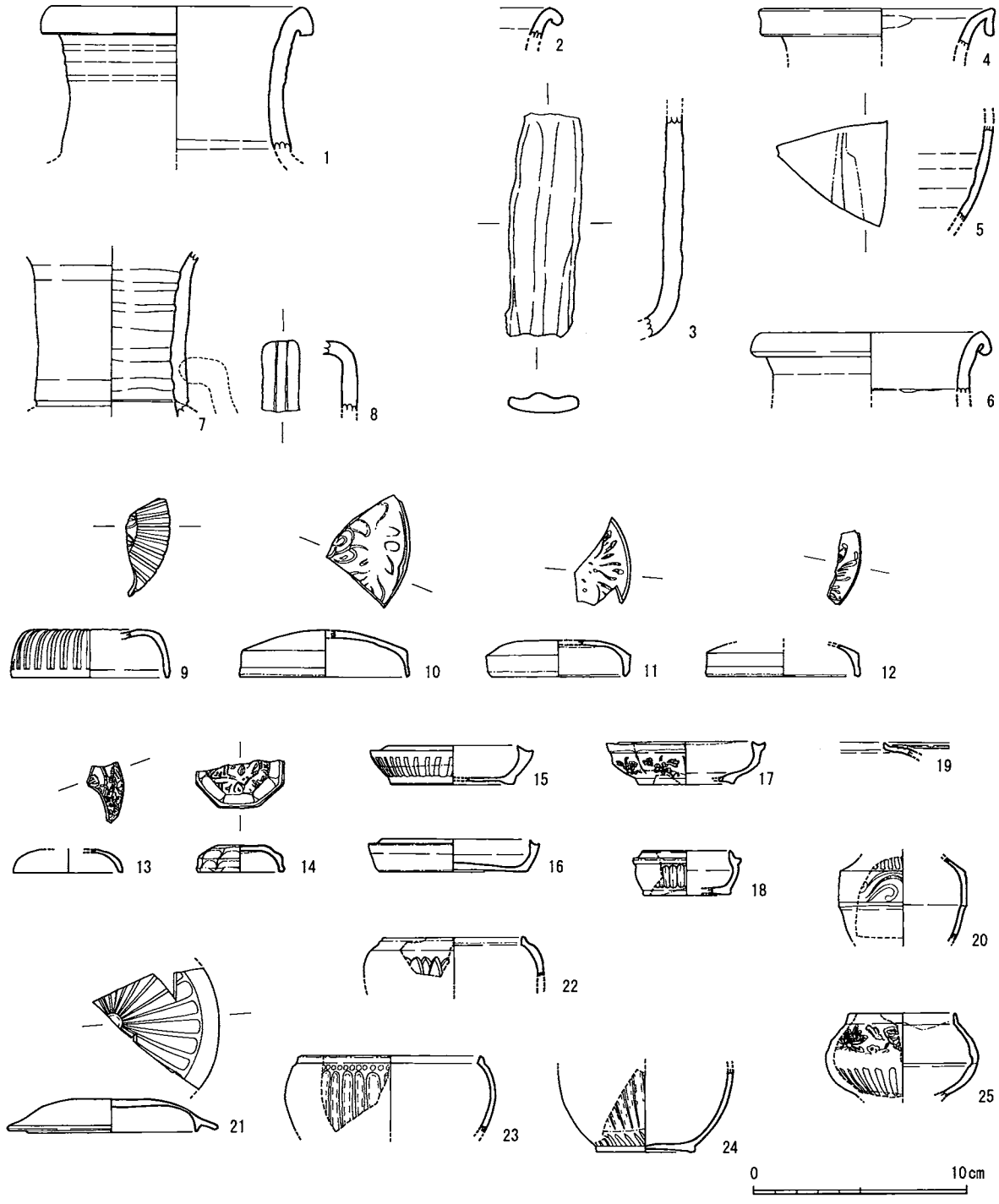
99－９　Ｅ－３区より出土した青白磁皿。見込部分の破片で、型押しで魚文を象る。釉調は明青白色。

99－10　Ｇ－２区より出土した青白磁皿。口縁部は外反し、内外面無文。釉調は明青白色で全面施釉の後、底部を掻き取る。

99－11　Ｆ－３区より出土した青白磁皿。口縁部は外反し、輪花を作る。内外面無文。釉調は明青白色で全面施釉の後、底部を掻き取る。

99－12　Ｅ－１区より出土した青白磁皿。口縁部は外反し、端部を水平にする。器肉が極めて薄い。内外面無文。釉調は青白色。

99－13　Ｇ－３区より出土した青白磁皿。復原口径



第98図　Ⅶ層出土遺物実測図⑥（1/3）

10.3cm。体部外面は回転ヘラ削りをし、内面は型押しで雷文と花弁を象る。釉調は明青白色。

99−14　G－2区より出土した青白磁坏。復原口径11.0cm。器高4.2cm。体部外面はヘラ削りで2条の隆線を削り出す。高台は細く削りだし、低い。釉調は淡青白色で、高台畳付まで施釉し、口縁部も釉を掻き取る。

99−15　G－2区より出土した青白磁皿。内面には型押しで花文を象る。外面は無文。釉調は明青白色で高台まで施釉を行う。

99−16　G－3区より出土した青白磁皿。内面はクシ描きで施文する。外面は無文。釉調は明青白色で全面施釉の後、底部を掻き取る。

99−17　E－2区より出土した青白磁皿。復原口径10.4cm。器高3.4cm。口縁部は薄く引き出し、内外面は無文。釉調は明青白色で体部下位まで施釉する。

底部には焼台痕がつく。

99—18　G－3区より出土した青白磁壺の底部と思われる。内面と外面底部付近まで施釉する。内外面は無文。釉調は灰白色。

99—19、20、21　E－2区より出土した青白磁梅瓶。19は口縁部で、復原口径5.6cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は外反する。20は胴部で、ヘラの片彫りとクシで施文する。21は底部で、同様に施文する。全面施釉の後、畳付部分の釉を掻き取る。

99—22　G－3区より出土した青白磁香炉。口縁部の破片で、胴部に透かしを持ち、口縁部周辺にヘラで施文する。釉調は青白色。

99—23　F－2区他より出土した越州窯系青磁小壺。口縁部は折り返す。胎土は灰色でキメ細かいが、砂粒が混じる。釉調はオリーブ灰色。

99—24　E－2区他より出土した天目碗。復原口径11.2cm。器高5.8cm。体部外面は回転ヘラ削りを施す。口縁部は内湾しくびれをもつ。釉調は黒褐色で、錆釉をしたのちに黒釉を体部中位まで施釉する。

99—25　G－3区他より出土した天目碗。復原口径12.6cm。器高7.7cm。体部外面は回転ヘラ削りを施す。口縁部はやや内湾しくびれをもつ。釉調は黒褐色で、錆釉をしたのちに黒釉を体部中位まで施釉する。

99—26　E－2区より出土した褐釉壺。肩衝の茶入れで、体部中位に沈線が巡る。胎土は褐色で緻密。釉は暗褐色で体部下位まで施釉する。

99—27　E－3区より出土した褐釉壺。肩部の破片で、耳を接合した部分である。胎土は灰色で緻密。釉は黒褐色。

100-1　E－2区より出土した褐釉壺。四耳壺の肩部の破片で、耳の下にはヘラ先により沈線がまわる。胎土は灰白色で砂粒が混じり、粗い。釉調は暗緑褐色。

100-2、3　F－1区他より出土した褐釉壺。2は胴部の破片で、内面はランダムに横ナデをした跡があり、黒変している。胎土は灰白色で砂粒は少なく、やや細かい。外面の釉調は黒褐色。3は把手の破片で、手づくねで整形をする。胎土、釉調ともに2と同様。両者とも2次焼成を受けている。

100-4、5　G－3区他より出土した褐釉壺。4は肩部の破片で、外面は回転ヘラ削りをしている。胎土は灰白色で砂粒は少なく、やや細かい。外面の釉調暗褐色。5は底部の破片。両者とも2次焼成を受けている。

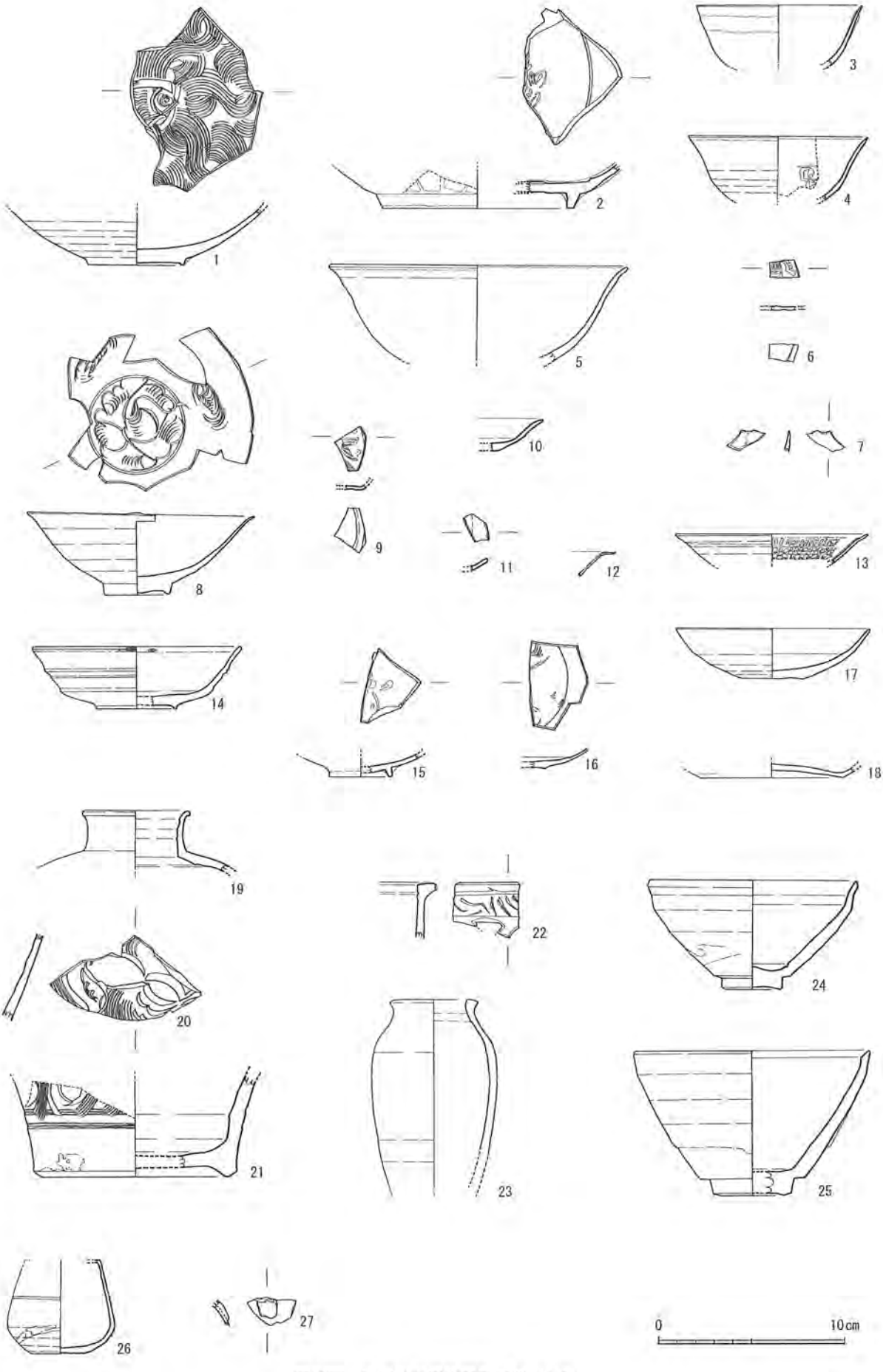
100-6、7、8、9　G－3区他より出土した黄釉四耳壺。6は頸部の破片。7は肩部の破片で耳を付ける。8も肩部の破片で、体部外面は回転ヘラ削り。肩部に鉄釉をかける。9は胴部下半の破片。胎土は灰白色で砂粒が多い。釉は灰黄色で体部下半まで施釉する。

100-10、11　E－3区他より出土した黄釉盤。10は底部の破片。体部外面はナデ調整。見込みには鉄絵がある。胎土は灰白色で砂粒が多く粗い。化粧土を施した後、釉は内面と体部中位まで施釉する。内面は灰黄褐色で、外面は施釉の薄い部分は褐色に変化している。11は口縁部の破片で、口唇部は折り返し、肥厚する。他に同一個体のものと思われる破片が20点ある。

100-12　F－1区他より出土した黄釉盤。口縁部の破片で、口唇部は折り返し、肥厚する。体部外面はナデ調整。胎土は灰黄白色で砂粒が多く粗い。化粧土を施した後、釉は内面と体部中位まで施釉する。内面はにぶい黄色で、外面は施釉の薄い部分は褐色に変化している。口唇部の釉は掻き取り、目積みの跡がある。

100-13、14　E－1区他より出土した黄釉盤。13は口縁部の破片。口縁部は肥厚する。胎土は灰黄白色で砂粒が多く粗い。釉はにぶい黄色で、化粧土を施した後、内面と体部中位まで施釉する。14は底部の破片。他に同一個体のものと思われる破片が10点ある。

100-15、16　E－3区他より出土した黄釉盤。15は口縁部の破片。体部は外面ナデ調整。口唇部は折り返し、肥厚する。胎土は灰白色で砂粒が多く粗い。化粧土を施した後、釉は内面と体部中位まで施釉する。内面はオリーブ黄色で、外面は施釉の薄い部分は褐色に変化している。口唇部の釉は掻き取り、目積みの跡がある。16は底部の破片で、見込みに鉄絵がある。外面は無釉。他に同一個体のものと思われる破片が16点ある。



第99図　Ⅶ層出土遺物実測図⑦（1/3）

100-17　Ｆ－３区他より出土した黄釉盤。口縁部の破片で、口唇部は大きく外反し鍔を作る。体部は外面ナデ調整。胎土は灰白色で砂粒が多く粗い。釉はにぶい黄色で、外面は施釉の薄い部分は褐色に変化している。鍔の屈曲部分には目積みの跡がある。

100-18、19　Ｆ－２区他より出土した黄釉盤。18は口縁部の破片で、断面四角形に肥厚する。胎土は灰白色で砂粒が多く粗い。化粧土を施した後、釉は内面と体部中位まで施釉する。内面はオリーブ黄色で、外面は施釉の薄い部分は褐色に変化している。口唇部の釉は掻き取る。19は底部の破片で、見込みに鉄絵がある。外面は無釉。

100-20　Ｆ－３区他より出土した黄釉盤。口縁部の破片で、口唇部は折り返し、丸く肥厚する。体部外面はナデ調整。胎土は暗灰色で砂粒が多く粗い。釉は化粧土を塗った後、内面と体部中位まで施釉する。内面はにぶい黄色で、外面は無釉の部分は褐色に変化している。口唇部の釉は掻き取り、目積みの跡がある。他に同一個体のものと思われる破片が23個ある。

101-１、２、３　Ｆ－１区他より出土した緑釉盤。１、２は底部の破片。体部は内面はナデ調整。胎土は灰色で砂粒が多く粗い。見込みは魚文をヘラ描きする。釉は暗緑色で内面は施釉。３は口縁部で、断面四角に肥厚する。釉は内外面に施釉する。同一個体と思われる破片が15点ある。

101-４、５　Ｅ－２区より出土した二彩盤。４は口縁部で、断面丸に肥厚する。５は底部。体部外面はナデ調整。胎土は灰色で砂粒が多く粗い。釉は内面と体部中位まで施釉する。内面は褐色でヘラ描き花文を表した所は暗緑色。外面は暗緑色。

101-６、７、８　Ｅ－３区他より出土した緑釉盤。６は底部の破片。見込みにヘラ描きで施文する。７は底部で、外面は回転ヘラ削りを施す。見込み周辺には沈線を施す。釉は底面周辺まで掛け、中心部にむかって釉を掻き取っている。８は口縁部の破片。体部外面は回転ヘラ削り調整。口唇部は折り返し、肥厚する。６、７、８とも胎土は淡灰褐色で砂粒が多く粗い。釉は部位によって若干違うが、淡緑色で銀化している。他に同一個体のものと思われる破片が19点ある。

101-９　Ｇ－３区他より出土した緑釉盤。底部の破片で、体部外面はヘラ削り調整。胎土は暗灰色で砂粒が多く粗い。釉は内面と体部底部まで施釉し、底面にはみ出た釉は掻き取っている。釉調は暗緑色で、内面は銀化し、緑白色に変化している。他に同一個体のものと思われる破片が５点ある。

101-10　Ｆ－３区他より出土した二彩盤。大型の盤の口縁部の破片で、体部外面はナデ調整。口縁部は折り返して肥厚し、肥厚部が角を作り、内向する。胎土は暗灰色で砂粒が多く粗い。釉は内面と体部中位まで施釉する。釉調は暗緑色が中心で、体部内面下位より黄褐色釉を施している。他に同一個体のものと思われる破片が５点ある。

101-11　Ｆ－１区他より出土した緑釉盤。口縁部の破片で、体部外面は回転ヘラ削り調整。口縁部は折り返して肥厚する。体部は丸みを持ち、口縁部は内湾する。比較的小型の盤。胎土は灰褐色で砂粒が多く粗い。釉は内面と体部中位まで施釉する。釉調は暗緑色。他に同一個体のものと思われる破片が２点ある。

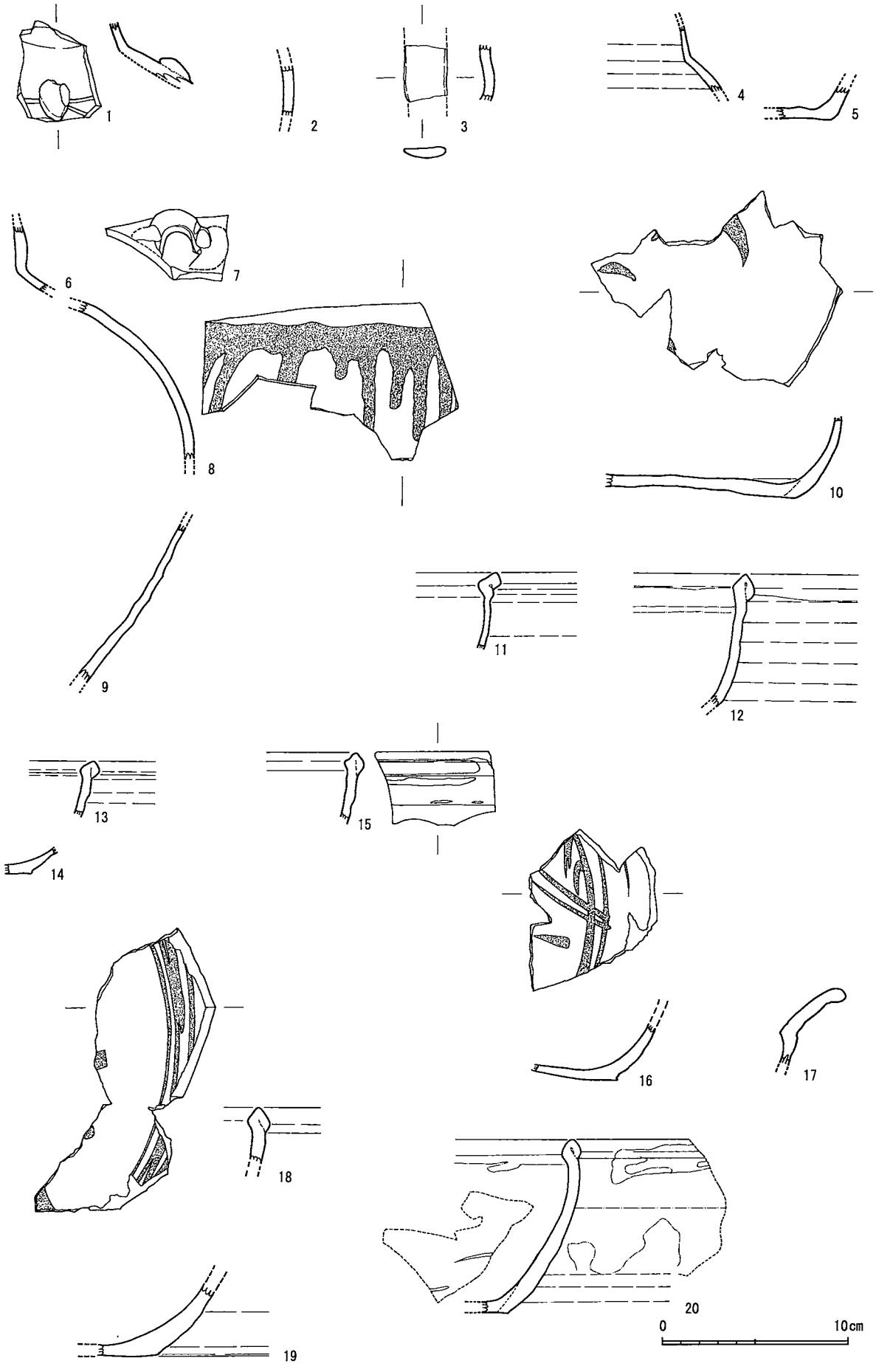
101-12、13、14　Ｇ－３区他より出土した緑釉水注。12は注口部の破片で手づくねで整形。13は胴部で、外面は回転ナデ。一条の沈線を施す。14も胴部の破片で、把手を貼付してある。12、13、14とも胎土は淡灰褐色で砂粒が少なくキメが細かい。釉は部位によって若干違うが、淡緑色で銀化している。

102-１　Ｇ－２区より出土した瀬戸窯の卸皿。復原口径15.2㎝。器高4.1㎝。体部外面には回転ナデ調整。底部は糸切り。見込みにはヘラで格子状に卸目を入れる。体部内外面と見込みに薄い灰釉を掛ける。

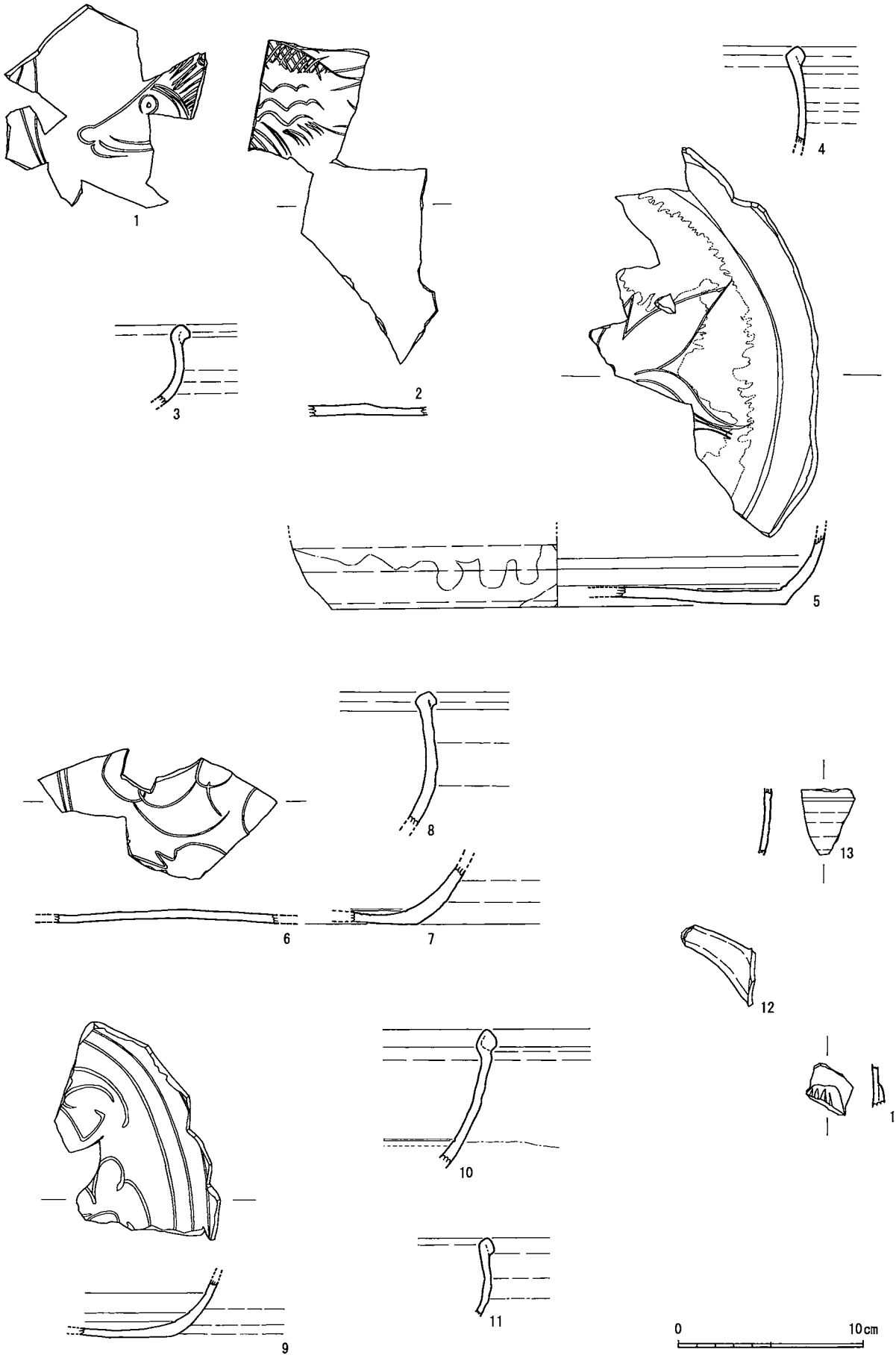
102-２　Ｇ－２区より出土した瀬戸窯の袴腰形香炉。体部外面は回転ナデ調整。底部は糸切りで脚を付ける。肩部、胴部下位にはスタンプを押す。灰釉を底部まで掛ける。

102-３　Ｆ－２区より出土した瀬戸窯の瓶子。胴部の破片で、丸先のヘラで施文する。灰釉を外面に施釉する。

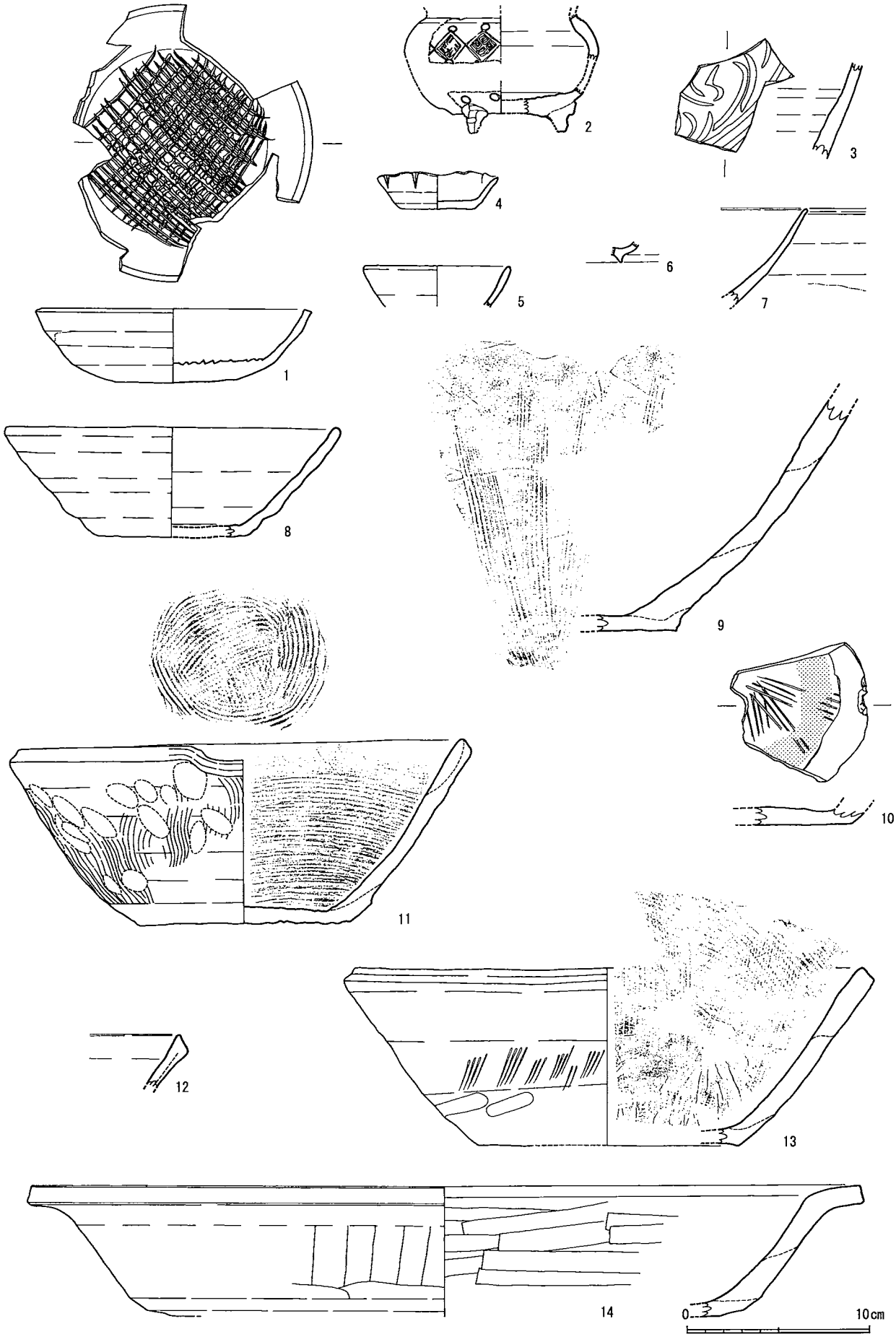
102-４　Ｇ－２区より出土した瀬戸窯の入子。体部外面はナデ調整。口縁部を花弁状にヘラで折り曲げ



第100図　Ⅶ出土遺物実測図⑧（1/3）



第101図　Ⅶ層出土遺物実測図⑨（1/3）



第102図　Ⅶ層出土遺物実測図⑩（1/3）

る。灰釉は口縁部の内外面につく。

102-5　Ｇ－３区より出土した瀬戸窯の仏供。復原口径10㎝。内外面は回転ナデ。口縁部より内面に灰釉を掛ける。釉調は灰白色。

102-6　Ｇ－３区より出土した瀬戸窯の小坏。内外面は回転ナデ。高台は張り付ける。内面に灰釉を掛ける。釉調は灰白色。

102-7　Ｆ－２区より出土した瀬戸窯の碗。内外面は回転ヘラ削り。釉は淡緑色の灰釉を体部中位まで施釉する。

102-8　Ｆ－２区他より出土した須恵質土器で東播系の捏鉢。復原口径18.5㎝。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部は直に引き上げる。口縁部付近は、重ね焼きにより黒変する。色調は灰色。

102-9　Ｅ－２区他より出土した須恵質土器で在地系の擂鉢。体部外面はランダムな静止ナデ、内面は丁寧なロクロナデで、擂り目は７本のクシ目。色調は灰色。

102-10　Ｆ－１区より出土した須恵質土器で在地系の擂鉢。底部外面は横方向にハケ目調整。見込み部分は円形に使用痕が残り、くぼんでいる。擂り目は５本のクシ目。色調は灰白色。

102-11　Ｆ－３区より出土した須恵質土器で在地系の捏鉢。口径24.2㎝。器高10.0㎝。体部外面は縦にハケ目調整。口縁部は回転ナデを行い、底部は回転台による強いハケ目調整。内面はクシ状の工具で横方向に調整。色調は灰色。

102-12　Ｅ－１区より出土した須恵質土器で東播系の捏鉢。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部は三角に肥厚する。口縁部付近は、重ね焼きにより黒変する。色調は灰白色。

102-13　Ｆ－３区より出土した須恵質土器で在地系の擂鉢。復原口径27.8㎝。器高9.7㎝。体部外面は縦にハケ目調整。口縁部は回転ナデを行い、底部は回転台による強いハケ目調整。内面はクシ状の工具で横方向に調整。擂り目は13本のクシ目。色調は灰色。

102-14　Ｆ－２区より出土した須恵質土器で在地系の鉢。口縁部を外折し、水平の鍔状にする。外面は縦方向に幅広のハケ目調整を行い、口縁部付近は回転ナデ調整。底部は回転台による強いハケ目調整。内面は横方向に丁寧なハケ目調整を行う。色調は灰色。

103-1　Ｆ－３区より出土した須恵質土器で捏鉢。口径30㎝。外面は縦方向にナデ調整を行い、口縁部付近は回転ナデ調整。内面は全面に灰釉が付着し調整は観察できない。色調は暗灰色。

103-2　Ｆ－１区他より出土した須恵質土器で東播系の埦。復原口径18㎝。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部は直に引き上げる。口縁部付近は、重ね焼きにより黒変する。色調は灰色。

103-3　Ｇ－２区より出土した須恵質土器で在地系の擂鉢。外面は縦方向にハケ目調整を行う。底部は回転台による強いハケ目調整。内面は横方向に丁寧なハケ目調整を行い、擂り目は１本単位のヘラ。色調は暗灰色。

103-4　Ｆ－２区より出土した須恵質土器で在地系の擂鉢。復原口径21.4㎝。外面は縦方向にハケ目調整を行い、口縁部付近は回転ナデ調整。底部は回転台による強いハケ目調整。内面は横方向に丁寧なハケ目調整を行い、擂り目は２本単位のクシ。内面下半は使用によりすり減っている。色調は灰色。

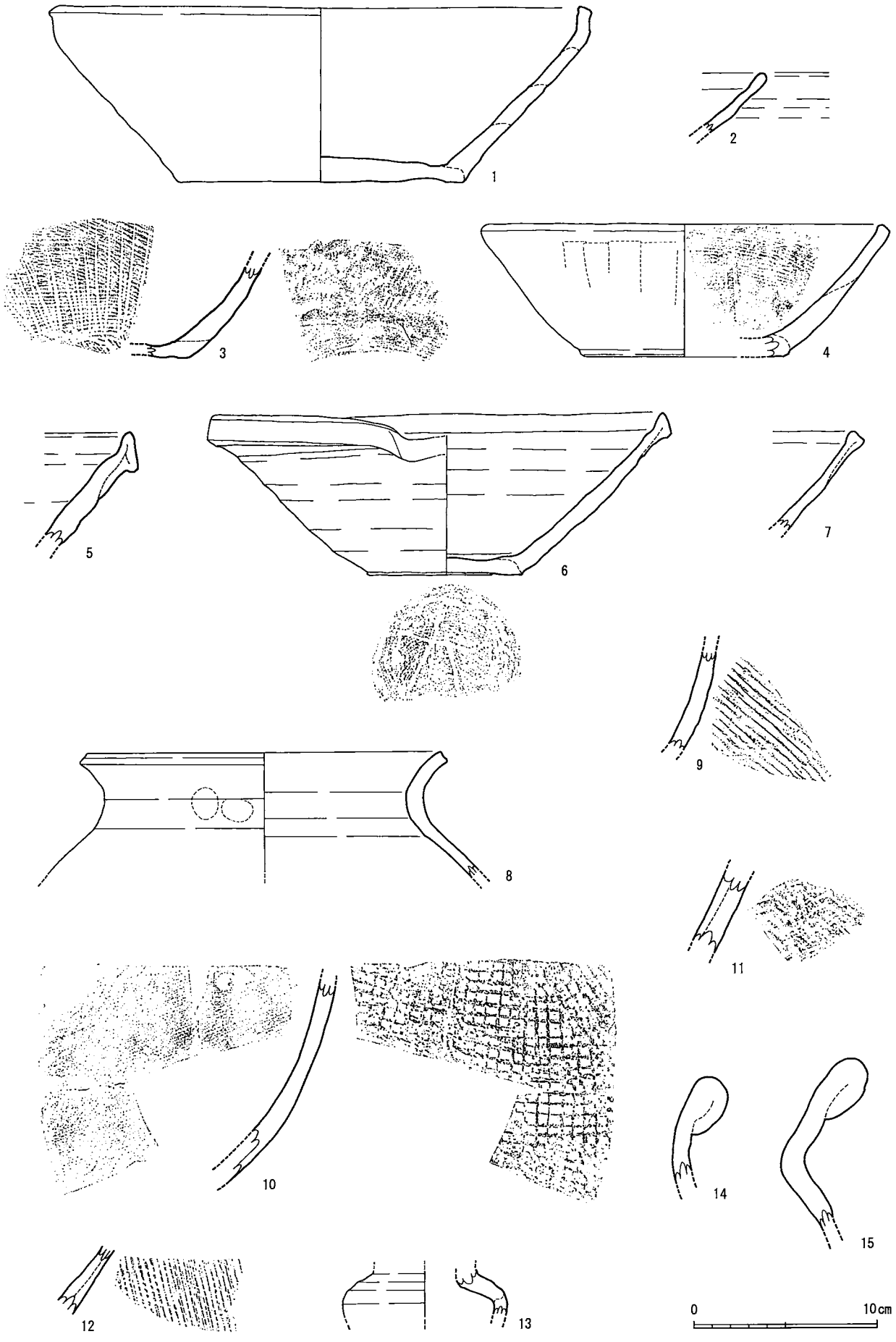
103-5　Ｇ－３区より出土した須恵質土器で東播系の捏鉢。復原口径33.0㎝。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部は肥厚する。口縁部付近は重ね焼きにより黒変する。色調は灰色。

103-6　Ｅ－１区より出土した須恵質土器で東播系の捏鉢。口径24.6㎝。器高9.7㎝。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部は肥厚する。口縁部付近は重ね焼きにより黒変する。底部にはヘラ記号あり。色調は灰色。

103-7　Ｅ－３区より出土した須恵質土器で東播系の捏鉢。復原口径28.0㎝。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部は肥厚する。口唇部付近は重ね焼きにより黒変する。色調は灰色。

103-8　Ｅ－１区より出土した須恵質土器で甕。復原口径19.4㎝。体部外面は格子目タタキを施す。内面は横にハケ目調整。口縁部は回転ナデ調整。色調は灰色。

103-9　Ｆ－１区より出土した須恵質土器で壺また



第103図　Ⅶ層出土遺物実測図⑪（1/3）

は甕。体部外面は平行叩きを施し、内面はナデ調整。外面は良く焼き締まり、黒変する。内面は灰色。

103-10　Ｅ－３区他より出土した須恵質土器で壺または甕。外面は格子目叩きを施し、内面は横方向にハケ目調整。色調は暗灰色。

103-11　Ｇ－３区より出土した須恵質土器で壺または甕。外面は山形叩きを施し、内面は横方向にナデる。色調は暗灰色。

103-12　Ｆ－１区より出土した須恵質土器で壺または甕。外面は平行叩きを施し、内面は横方向にナデる。色調は灰色。

103-13　Ｇ－２区より出土した須恵質土器で小壺。外面は山形叩きを施し、内面は横方向にナデる。

103-14　Ｆ－２区より出土した備前窯の甕。内外面は回転ナデを行い、口縁部は折り返し肥厚する。色調は暗赤褐色。

103-15　Ｆ－１区より出土した備前窯の甕。内外面は回転ナデを行い、口縁部は折り返し肥厚する。色調は暗赤褐色。

104-1　Ｆ－３区より出土した瓦質土器で風炉の破片。体部内面はハケ目調整。体部外面は磨きを施す。口縁部は直立し、口唇部は肥厚する。口縁部外面には連続してスタンプを押す。体部外面には窓を作る。色調は橙色。

104-2　Ｆ－２区より出土した瓦質土器で鉢の破片。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部を外折して平らにし、鍔状にする。上面には菊花状のスタンプを連続して押す。口縁部外面には連続してスタンプを押す。色調は外面は黒色で、内面はにぶい橙色。

104-3　Ｇ－３区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部内外面は回転ナデ調整。口唇部は肥厚し、口唇部下には凸帯を回す。間には三つ葉と連子状のスタンプを連続して押す。色調は外面は黒色で、内面は灰色。

104-4　Ｇ－３区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部内外面は回転ナデ調整。屈曲した面には大きなスタンプを押し文様を作る。色調は黒褐色。

104-5　Ｆ－３区より出土した瓦質土器で鉢。復原口径50.0㎝。口縁部を外折し、鍔状にする。平らにした鍔上には菊花状のスタンプを連続して押す。体部外面はハケで縦に調整。口縁の折り曲げ部分は回転ナデ調整。内面はクシ状の工具で横方向に調整する。

104-6　Ｆ－１区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。器形は方形になると思われる。体部外面はナデ調整を行い、体部下半は横にハケ目調整をする。体部内面はハケ目調整の後にナデ調整を行い、下半にハケ目が残る。体部外面の口縁部下には大きな菊花のスタンプを押す。口唇部は肥厚。色調は黒色。

104-7　Ｅ－２区より出土した瓦質土器で鉢の破片。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部を外折し、鍔状にする。平らにした鍔上には花文のスタンプを押す。色調は灰色。

104-8　Ｅ－３区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部内外面は磨きを加える。口縁部付近には乳状の突起と梅花のスタンプを交互に配置する。色調は外面が黒色、内面は黒色と灰色。

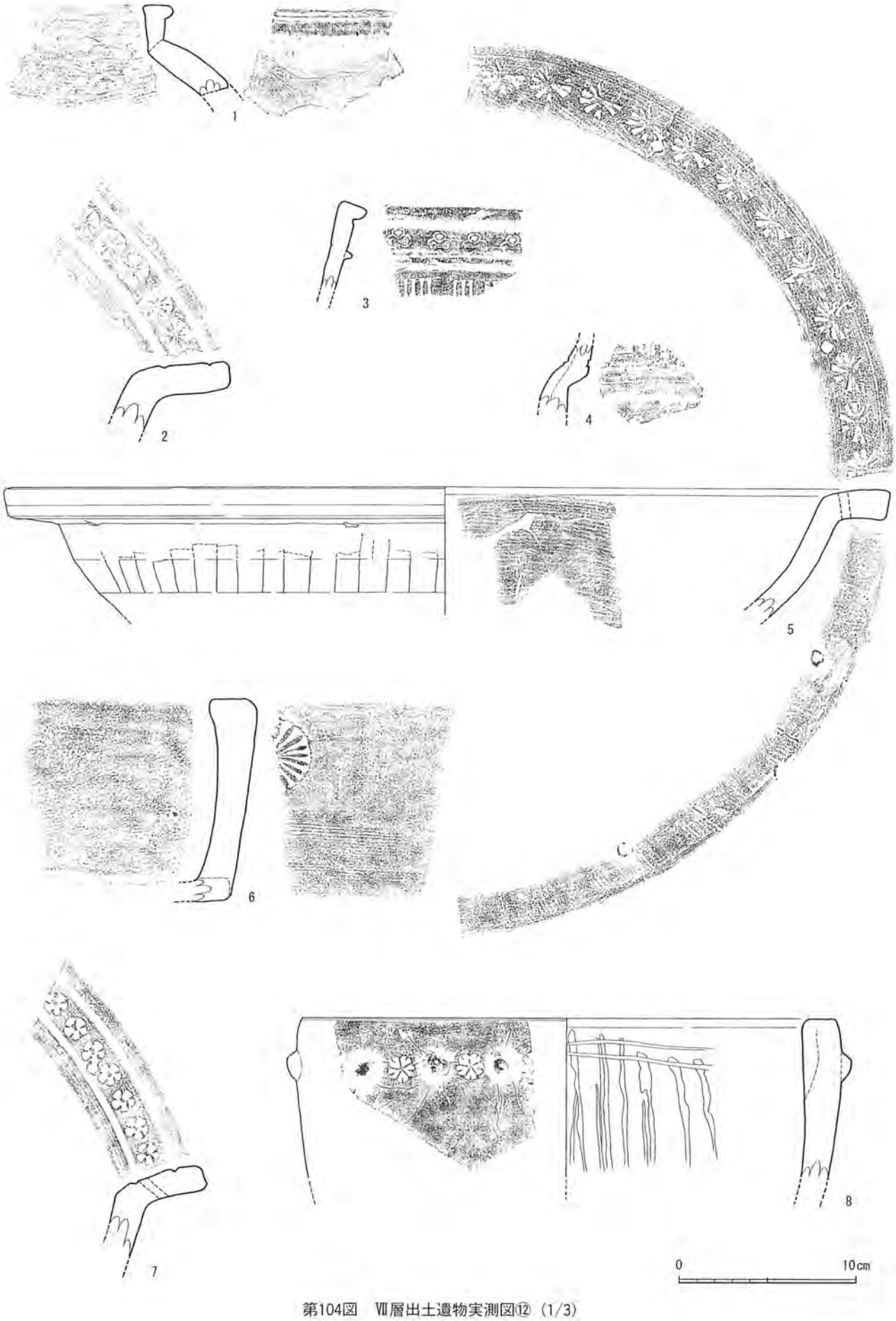
105-1　Ｇ－３区より出土した瓦質土器で風炉の破片。体部内はハケ目を施し、外面は磨きを加える。体部上位に窓を設け、窓に掛かるように菊花のスタンプを押す。色調は灰色。

105-2　Ｆ－３区より出土した瓦質土器で火鉢。復原口径33.1㎝。器高19.5㎝。口縁部は内湾気味で、脚を付ける。体部内面及び見込みは横方向にハケ目調整する。外面は横方向にハケ目調整をした後、丁寧に横に回転ナデ調整を加え、口縁部付近には菊花状のスタンプを押す。色調は外面が黒色で、内面が灰色。

105-3　Ｇ－３区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部内面はハケ目を施し、外面は横ナデを加える。口縁部下に菊花のスタンプを押す。色調は灰色。

105-4　Ｆ－２区より出土した瓦質土器で鉢の破片。口縁部を外折し、鍔状にする。平らにした鍔上には菊花のスタンプを連続して押す。体部内面と口縁部は回転ナデ、体部外面は静止ナデを施す。色調は灰色。

106-1　Ｅ－３区より出土した土師器坏。口径15.0㎝。器高3.6㎝。底部は糸切りで、板目圧痕がつく。胎土には砂粒が少なくやや細やか。見込みは数回横ナデを施す。色調は浅黄橙色。



第104図　Ⅶ層出土遺物実測図⑫（1/3）

106-2　Ｅ－３区より出土した土師器坏。口径12.8cm。器高3.7cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込みは横ナデを数回施す。器高が高く、体部はやや開き気味。色調はにぶい橙色。

106-3　Ｅ－３区より出土した土師器坏。口径12.4cm。器高3.5cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込みは横ナデを数回施す。器高が高く、体部はやや開き気味。色調はにぶい橙色。

106-4　Ｆ－１区より出土した土師器坏。口径15.5cm。器高3.3cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じるが、やや細やか。見込みは横ナデを数回施す。色調はにぶい橙色。

106-5　Ｆ－２区より出土した土師器坏。復原口径15.0cm。器高3.0cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じるが、やや細やか。見込みは横ナデを数回施す。色調はにぶい橙色。

106-6　Ｅ－３区より出土した土師器坏。復原口径14.4cm。器高3.4cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じるが、やや細やか。見込みは横ナデを数回施す。底部は狭く、やや内湾気味に立ち上がる。色調は橙色。

106-7　Ｅ－３区より出土した土師器坏。復原口径13.7cm。器高2.1cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じるが細やか。見込みは横ナデを１回施す。色調は浅黄橙色。

106-8　Ｆ－１区より出土した土師器坏。復原口径16.0cm。器高3.7cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり粗い。胎土が厚くぼってりしている。見込みはヘラ状の器具で渦巻き状に施文。色調はにぶい黄橙色。

106-9　Ｆ－２区より出土した土師器皿。復原口径9.1cm。器高2.8cm。底部は糸切りで高台を張り付け、高坏状にする。口縁部は薄く引き上げ、見込みとの比高差がない。胎土には砂粒が少なく、きめ細やか。見込みは３回横ナデを施す。色調は橙色。

106-10　Ｆ－１区より出土した土師器坏。復原口径16.8cm。器高3.7cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく、比較的細かい。見込みはヘラ状の器具で渦巻き状に施文。体部は開く。色調はにぶい黄橙色。

106-11　Ｇ－３区より出土した白色土師器皿。復原口径10.0cm。体部外面上位は回転ナデ、下位は指押さえ及び指ナデで手づくね風。内面には押し出し技法によるコテあて痕がある。口縁部にはカーボンが付着する。胎土には砂粒が混じるが、比較的細やか。色調は灰白色。

106-12　Ｇ－３区より出土した土師器皿。口径7.0cm。器高1.5cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込み周辺をナデくぼめ、内部に横ナデはしない。色調はにぶい橙色。

106-13　Ｆ－２区より出土した土師器皿。復原口径9.6cm。底部に高台を張り付け、高坏状にする。口縁部は薄く引き上げ、見込みとの比高差がない。胎土には砂粒が少なく、きめ細やか。見込みは３回横ナデを施す。色調はにぶい黄橙色。

106-14　Ｅ－３区より出土した土師器皿。口径9.5cm。器高1.7cm。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。見込みは数回横ナデを施す。色調はにぶい黄橙色。

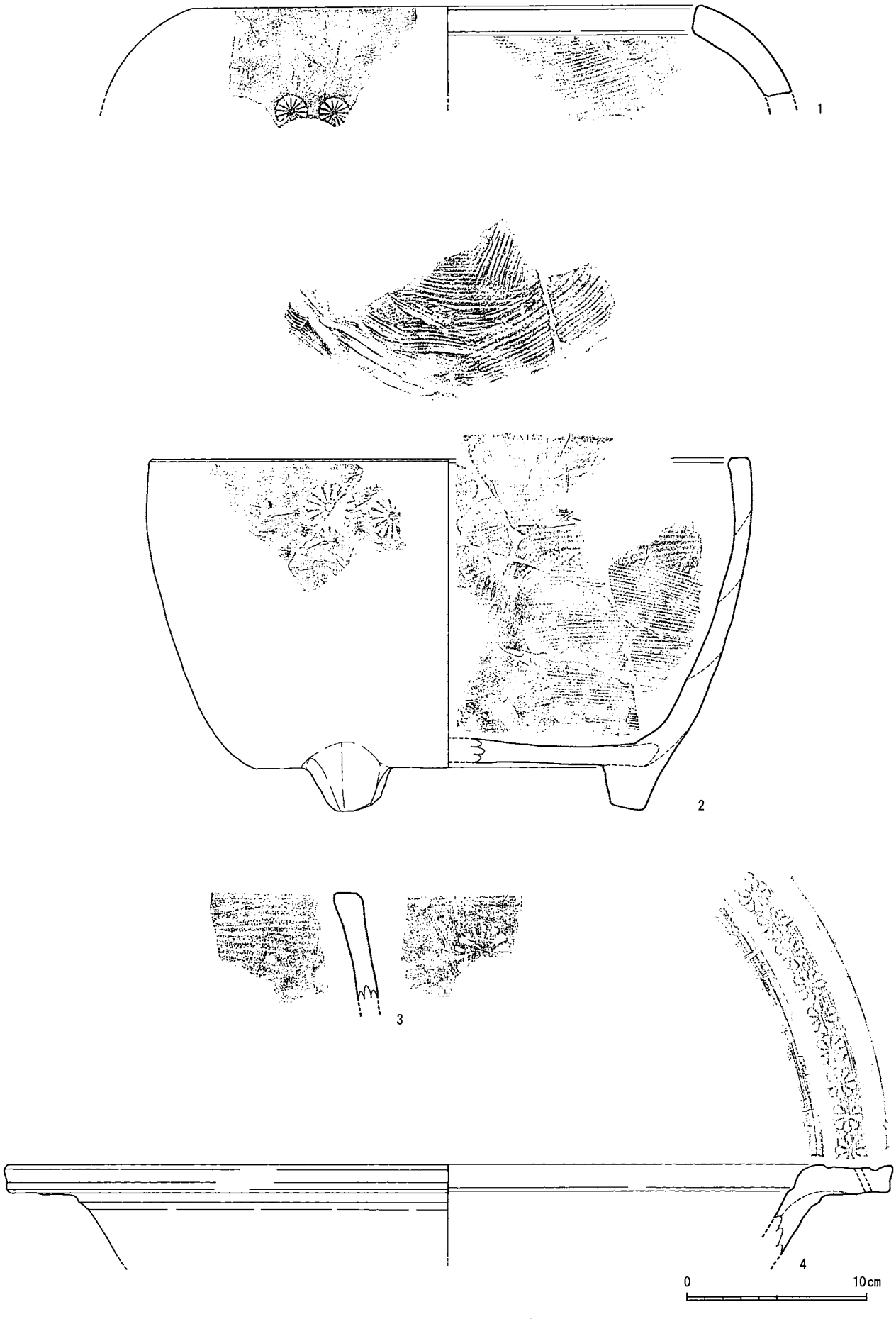
106-15　Ｆ－１区より出土した土師器皿。口径9.2cm。器高1.3cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。見込みは数回横ナデを施す。器肉は薄く、体部は開く。色調はにぶい黄橙色。

106-16　Ｅ－３区より出土した土師器皿。復原口径9.9cm。器高1.3cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく細やか。見込みは数回横ナデを施し、底部の器肉は薄い。色調はにぶい橙色。

106-17　Ｅ－３区より出土した土師器皿。復原口径7.9cm。器高1.3cm。底部は糸切りで板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく細やか。見込みは数回横ナデを施す。色調は淡黄色。

106-18　Ｆ－１区より出土した土師器皿。復原口径9.2cm。器高1.5cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。見込みは２回横ナデを施す。底部のナデが丁寧。色調はにぶい橙色。

106-19　Ｆ－１区より出土した土師器皿。口径8.9cm。器高1.3cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく細やか。見込みは横ナデを数回



第105図　Ⅶ層出土遺物実測図⑬（1/3）

行い、器肉が薄い。色調はにぶい橙色。

106-20　Ｆ－２区より出土した土師器皿。復原口径8.7cm。器高1.4cm。底部は糸切りで板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じるがキメ細かく良く焼き締まっている。見込みは横ナデを数回行い、底部の器肉は薄い。色調は黄橙色。

106-21　Ｅ－３区より出土した土師器皿。口径7.6cm。器高2.0cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込み周辺をナデくぼめ、内部に横ナデは行わない。色調はにぶい橙色。

106-22　Ｅ－３区より出土した土師器皿。復原口径9.2cm。器高2.1cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じるが、比較的細かい。見込み周辺をナデくぼめ、内部に横ナデはしない。色調は明黄褐色。

106-23　Ｅ－３区より出土した土師器皿。復原口径7.7cm。器高1.3cm。底部は糸切り。胎土に砂粒は少ないが、やや粗い。見込み周辺はナデくぼめ、内部に横ナデはしない。色調はにぶい橙色。

106-24　Ｇ－３区より出土した土師器皿。復原口径8.8cm。器高1.4cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なく、やや粗い。見込みに横ナデは不明。口縁部を折り曲げ、京都風をまねた在地の土師器皿である。口縁部にカーボンが付着する。色調はにぶい橙色。

106-25　Ｅ－３区より出土した土師器皿。口径5.9cm。器高1.4cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込みに横ナデはしない。色調はにぶい橙色。

106-26　Ｇ－３区より出土した土師器皿。復原口径5.1cm。器高1.4cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込みに横ナデはしない。色調はにぶい橙色。

106-27　Ｆ－１区より出土した土師器皿。復原口径9.2cm。器高1.5cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく、やや粗い。見込みに横ナデを数回施す。体部は低く直立気味。色調は橙色。

106-28　Ｅ－３区より出土した土師器皿。復原口径8.0cm。器高1.1cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込みに横ナデを数回施す。色調は浅黄橙色。

106-29　Ｆ－１区より出土した土師器皿。復原口径9.8cm。器高1.5cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込みに横ナデを数回施す。色調は灰白色。

106-30　Ｇ－３区より出土した土師器皿。復原口径6.4cm。器高2.0cm。底部は糸切り。体部下位で段を付け屈曲し、口縁部にかけて内湾する。見込み周辺をヘラ削りにより整形。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。色調はにぶい黄橙色。

106-31　Ｇ－３区より出土した土師器皿。復原口径9.1cm。器高2.6cm。底部は糸切りで板目圧痕が付く。見込みは横ナデを１度行う。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。色調はにぶい橙色。

106-32　Ｆ－２区より出土した土師器皿。復原口径9.0cm。器高1.1cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく細やか。見込みに横ナデを数回施し、器肉が薄い。口縁部は薄く引き上げる。色調はにぶい橙色。

106-33　Ｇ－３区より出土した土師器皿。復原口径8.0cm。器高1.9cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。内面と体部外面中位までタール状のものを付着させる。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。色調は浅黄橙色。

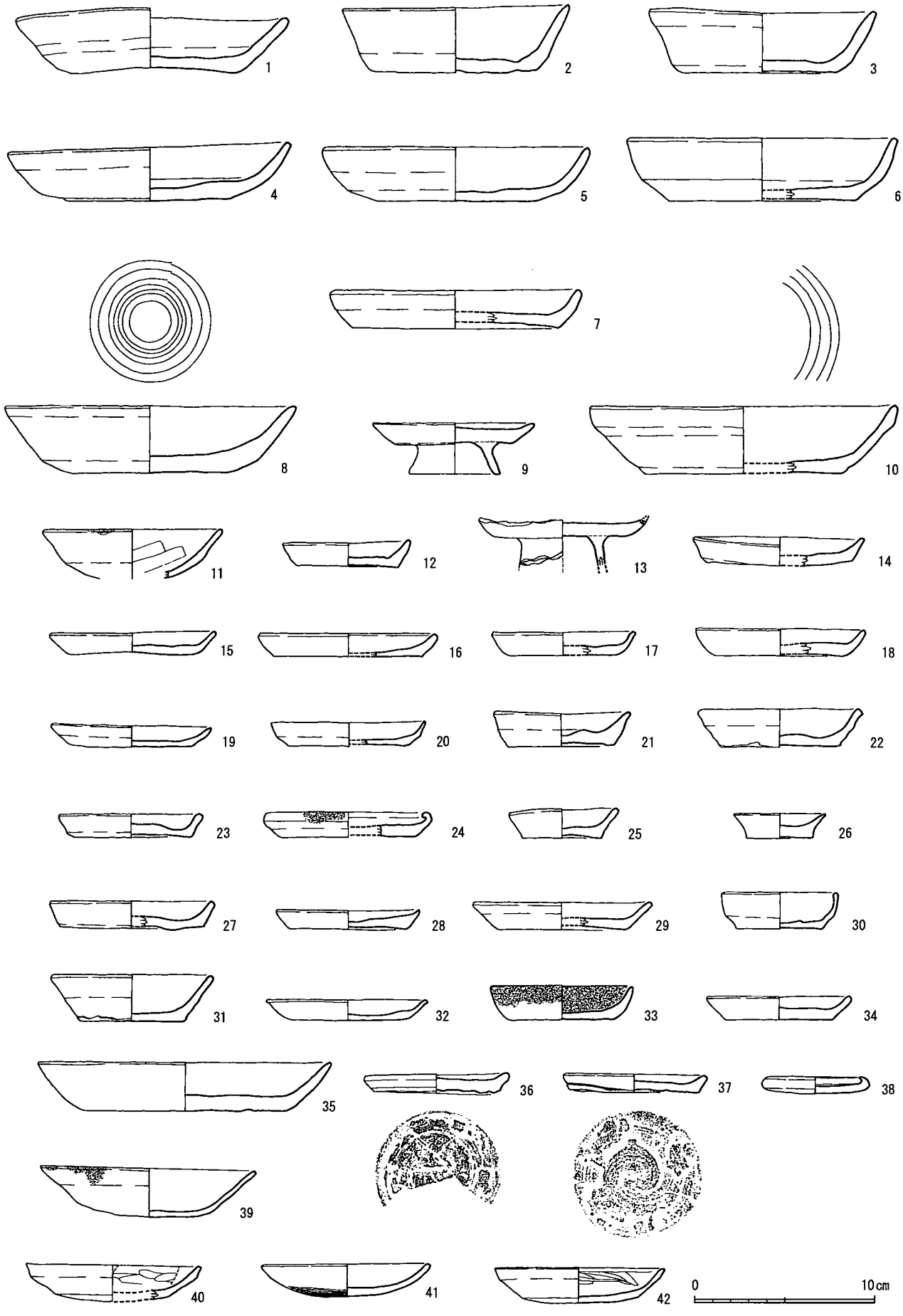
106-34　Ｅ－２区より出土した土師器皿。口径8.1cm。器高1.3cm。底部は糸切りで板目圧痕が付く。見込みは横ナデを数回度行う。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。色調はにぶい橙色。

106-35　Ｆ－２区より出土した土師器坏。復原口径16.0cm。器高2.7cm。底部は糸切りで板目圧痕が付く。見込みに横ナデは行わない。胎土には砂粒が混じるが、比較的細やか。色調はにぶい橙色。

106-36　Ｆ－２区より出土した土師器皿。口径7.9cm。器高1.1cm。底部はヘラ切り。見込みに横ナデは行わない。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。色調は橙色。

106-37　Ｇ－３区より出土した土師器皿。口径8.0cm。器高1.0cm。底部はヘラ切り。見込みに横ナデは行わない。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。色調は橙色。

106-38　Ｈ－３区より出土した白色土師器皿。京都産の折縁皿。復原口径6.0cm。器高1.0cm。手づくね



第106図　Ⅶ層出土遺物実測図⑭（1/3）

で成形し、指頭圧が残る。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。やや瓦質に焼成されており、色調は暗灰色と灰色。

106-39　G－3区より出土した白色土師器坏。口径12.1cm。器高2.9cm。口縁部内外面は回転ナデの痕跡が残り、押し出しにより底部を丸底化したもの。口縁部にカーボンが付着する。胎土には砂粒が少なく細やかで薄手。色調は灰白色。

106-40　F－2区より出土した瓦器皿。復原口径9.6cm。器高2.0cm。底部は糸切りで、内面からの押圧によりやや丸底化する。内面は体部内面を若干ヘラ磨きを施す。胎土には砂粒が少なく細やか。色調は灰白色。

106-41　F－2区他より出土した瓦器皿。復原口径9.5cm。器高1.7cm。口縁部外面には回転ナデの痕跡が残り、底部は押し出しにより丸底化している。内面はナデ調整により平滑。外面は口縁部以下をヘラ磨きしている。胎土には砂粒が少なく細やか暗灰色と灰色。

106-42　F－3区より出土した瓦器皿。口径7.3cm。器高2.0cm。底部は糸切りで内面の押圧により丸底化する。体部外面は回転ナデで、内面はまばらにヘラ磨きを行う。胎土には砂粒が少なく細やか。色調は灰白色。

107-1　G－2区より出土した瓦器皿。復原口径9.0cm。器高1.4cm。底部は糸切りで板目圧痕が付く。見込みに数回横ナデをし、体部の内外面はヘラ磨きを行う。胎土には砂粒が少なく細やか。色調は内面と外面体部中位までは黒色。底部は灰白色。

107-2　G－2区より出土した瓦器皿。復原口径9.1cm。器高1.9cm。底部は糸切りで板目圧痕が付く。体部内外面と見込みはヘラ磨きを施す。胎土には砂粒が少なく細やか。色調は外面と内面の一部は黒色。内面の多くは灰白色。

107-3　E－2区他より出土した瓦器埦。復原口径17.3cm。器高5.8cm。体部内面と外面上位は回転ナデ、底部は糸切りで板目圧痕が付く。体部内外面は回転ナデ調整。底部は内面からの押し出しにより丸底化する。回転台成形時の旧底部はヘラ削りを行い、体部中位に残る。体部外面下位は指ナデ及び指押さえ。ヘラ磨きは内外面とも行わない。胎土は砂粒が少なくやや細やか。色調の基本は暗灰色であるが、口縁部下に燻されていない灰色の帯が入る。

107-4　F－1区より出土した滑石製石鍋。復原口径29.4cm。口縁部下に鍔を持つ。体部外面は縦方向に細かなノミ削りを施し整形する。外面にはカーボンの付着有り。

107-5　F－2区より出土した滑石製石鍋。復原口径23.8cm。器高9.6cm。口縁部下に鍔を持つ。体部外面は縦に細かなノミ削りを行い成形する。外面にはカーボンの付着が著しい。

107-6　F－1区より出土した滑石製石鍋。口縁部下に鍔を持つ。体部外面のノミ削りの目はカーボンが付着し不明。

107-7　G－3区より出土した滑石製石鍋。復原口径6.6cm。口縁部付近に立て耳を付ける。体部外面は縦に細かなノミ削りを行う。

107-8　F－1区より出土した滑石製石鍋。復原口径11.0cm。口縁部付近に立て耳を付ける。体部外面は縦に細かなノミ削りを行う。

107-9　F－3区より出土した滑石加工品。縦2.2cm。横1.9cm。石鍋断面を方形に加工し、抉りを入れる。

107-10　F－2区より出土した滑石加工品。縦5.5cm。横3.2cm。石鍋を楕円形に整形した破片。

107-11　F－2区より出土した滑石製温石。縦10.0cm。横8.5cm。隅丸台形に加工する。穴を穿ちかけ、貫通していない。全体にカーボンが付着する。

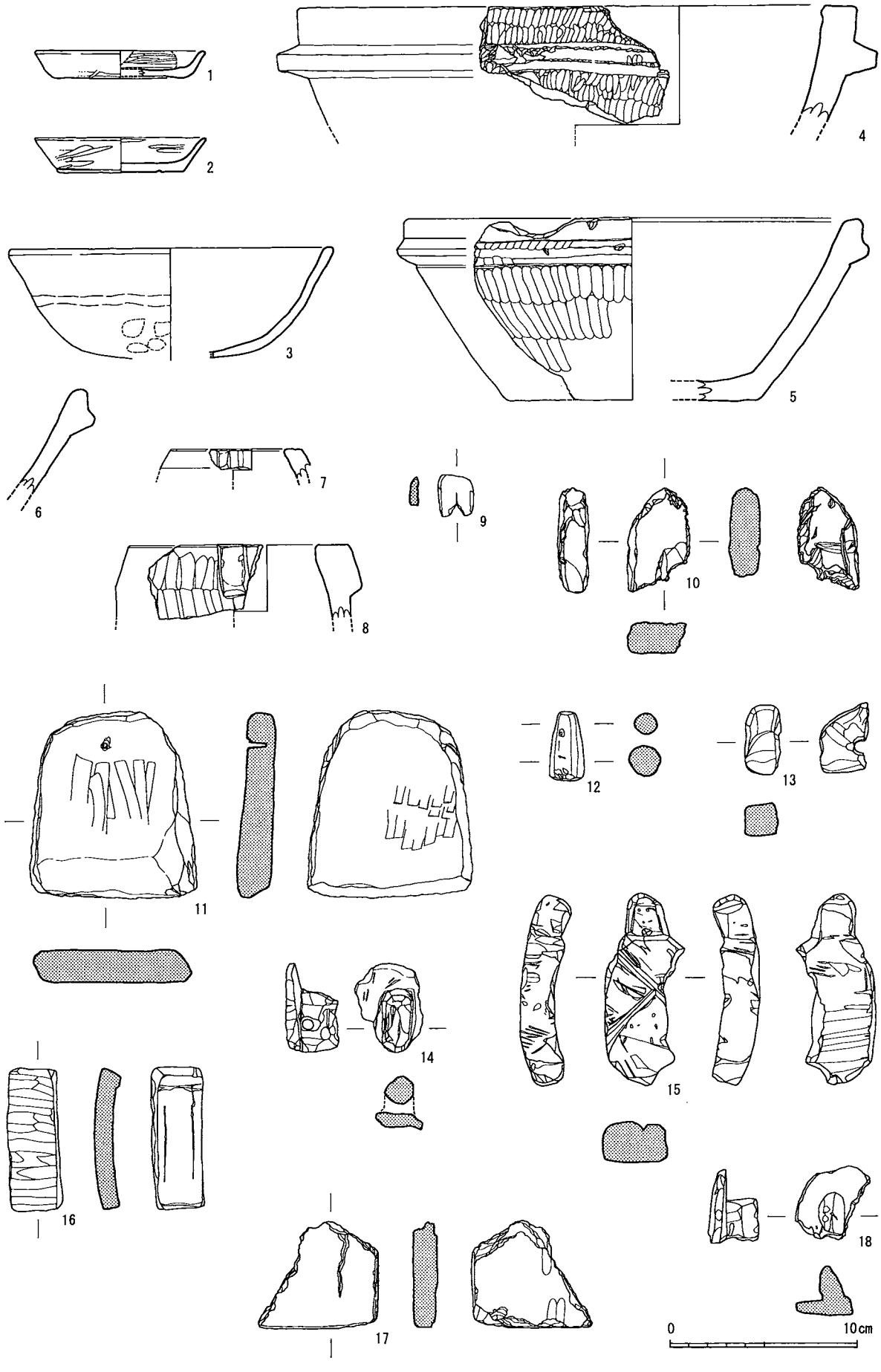
107-12　G－2区より出土した滑石加工品。縦3.7cm。横1.9cm。石鍋を弾丸形に2次加工する。

107-13　F－2区より出土した滑石加工品。馬棟状の石製品のつまみ部分。つまみを通すような形で穴を穿つ。耳のある面にはカーボンが付着する。

107-14　G－2区より出土した滑石加工品。馬棟状の石製品で、つまみ部分に穴を穿つ。

107-15　F－1区より出土した滑石加工品で、人形を象る。縦10.2cm。横4.0cm。石鍋をの胴部を利用し、内面に顔を象る。

107-16　G－3区より出土した滑石加工品。石鍋の胴部を方形に切り取り、内面に方形の溝を彫りかけ



第107図　Ⅶ層出土遺物実測図⑮（1/3）

て止めている。

107-17　G－3区より出土した滑石加工品。石鍋の胴部を方形に切り取りとった破片で温石か。

107-18　G－2区より出土した滑石加工品。馬棟状の石製品で、つまみ部分には穴は穿たない。

108-1　F－2区より出土した硯。縦14.2cm。横5.8cm。凹面が浅く、裏面はノミで彫りくぼめる。石材は頁岩。

108-2　F－2区より出土した硯の加工品。縦5.3cm。横0.8cm。破片を柱状に加工。石材は頁岩。

108-3　G－3区より出土した砥石加工品。方形に石材を切り取り、2ヶ穴を穿つ。石材は流紋岩。

108-4　F－2区より出土した土鐘。縦5.1cm。横1.3cm。

108-5　F－2区より出土した砥石。縦9.5cm。横3.1cm。使用面は上面。石材は流紋岩。

109-1　F－2区より出土した不明青銅製品。縦2.2cm。横2.7cm。板状の銅板に皿状の銅板を張り付ける。

109-2　F－3区より出土した不明青銅製品。縦1.9cm。横2.1cm。板状の製品で、周辺が欠損している。中央に鋲を通し、両端を留める。

109-3　G－2区より出土した不明青銅製品。縦3.2cm。横1.3cm。厚み0.6cm。

109-4　F－1区より出土した青銅製品。縦3.5cm。横3.8cm。地金の厚み0.1cm。腐食が激しいが、水滴か。

109-5　F－1区より出土した不明青銅製品。縦3.5cm。横2.5cm。円筒状の製品で、径の違うものを継いである。

109-6　E－3区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦10.4cm。錆による膨張で地金の厚みは不明。

109-7　G－3区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦5.6cm。断面0.5×0.5cm。

109-8　B－2区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦7.8cm。錆による膨張で地金の断面は不明。

109-9　F－1区より出土した板状の鉄製品。鎧か。縦5.0cm。横3.2cm。厚み0.5cm。

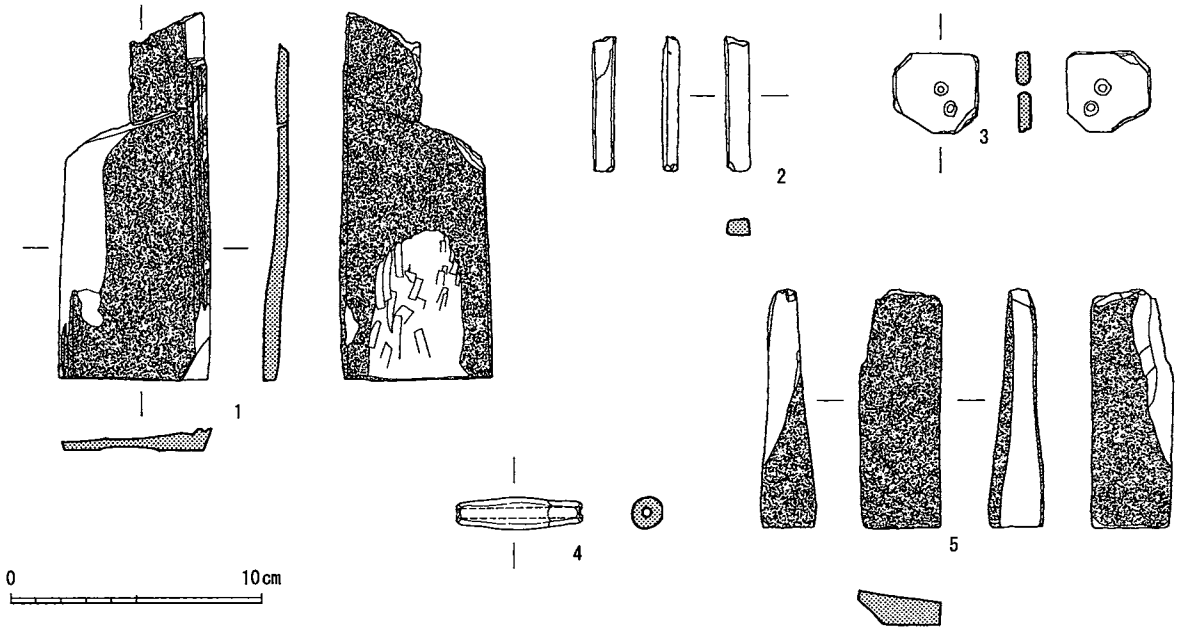
109-10　F－1区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦6.7cm。断面0.6×0.6cm。

109-11　E－1区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦6.4cm。断面0.6×0.4cm。

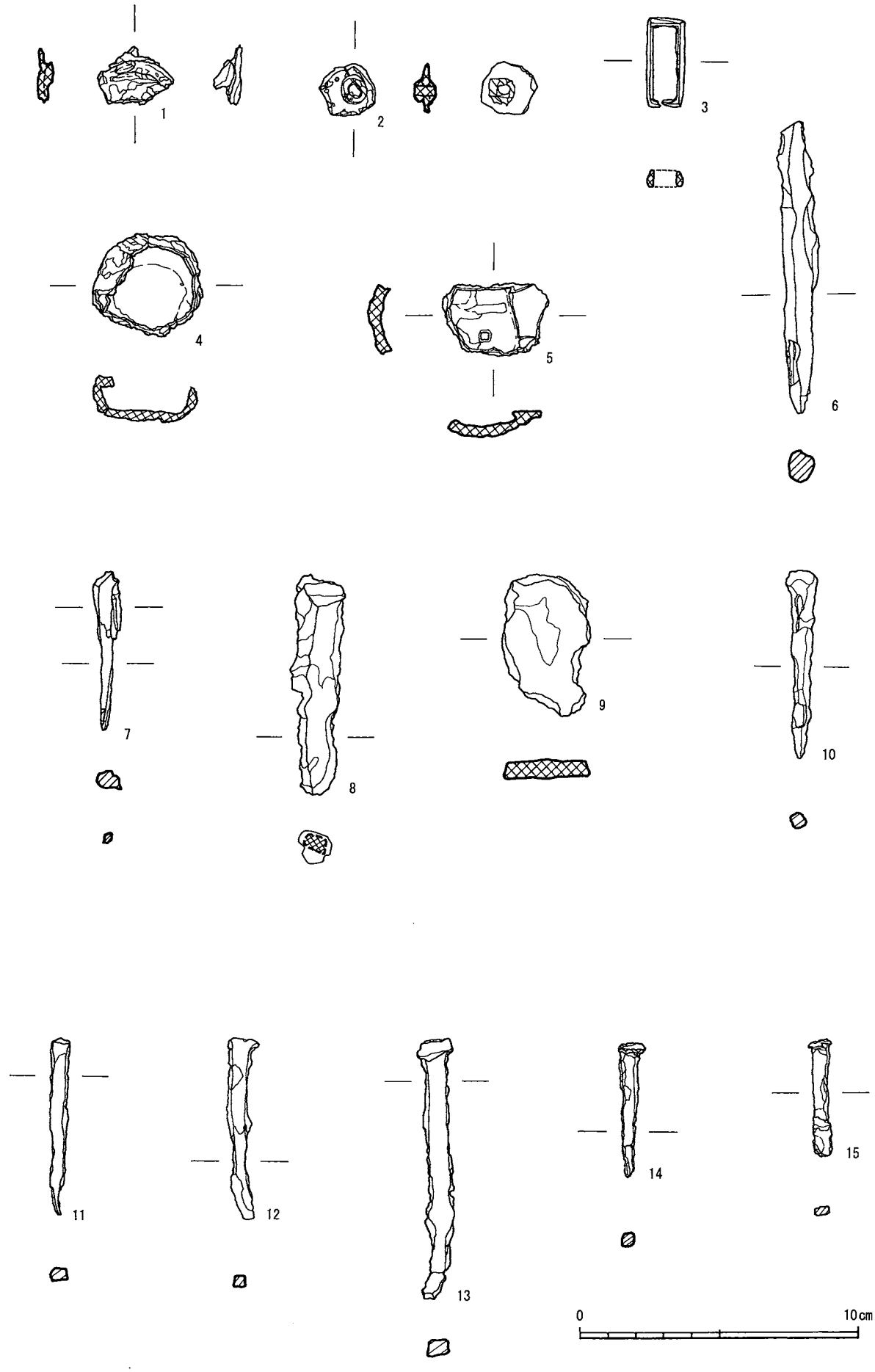
109-12　F－1区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦6.5cm。断面0.5×0.5cm。

109-13　F－1区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦9.3cm。断面0.7×0.4cm。

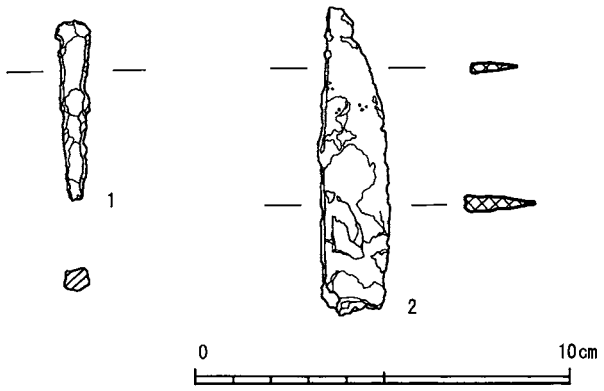
109-14　G－2区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦4.7cm。横0.5×0.5cm。



第108図　Ⅶ層出土遺物実測図⑯（1/3）



第109図　Ⅶ層出土遺物実測図⑰（1/2）



第110図　Ⅶ層出土遺物実測図⑱（1/2）

109-15　Ｆ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦4.2cm。断面0.5×0.3cm。

110-1　Ｆ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦4.7cm。断面0.7×0.6cm。

110-2　Ｆ－２区より出土した鉄製品で鍛造刀の先端部分。縦8.0cm。横1.8cm。厚み0.4cm。

5　Ⅵ層の遺物

Ⅶ層上面に焼土やカーボンが堆積した層があり、場所によってはカーボン層上面に小石を無数に敷き詰めた層があった。これは火災を受けた後の整地層と思われ、これは14世紀中頃、南北朝の動乱期に戦火に見舞われた館の様子を示す鍵層にあたるものと思われる。あるいは、『太平記』に記録に残る守護規矩高政の阿蘇氏攻撃の史実を示す層であるかもしれない。Ⅵ層はこの鍵層の上層にあたり、包含する遺物も14世紀後半以降の様相を示すものと思われる。

111-1　Ｅ－３区他より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅳ１ａ類。復原口径16.4cm。器高7.0cm。体部外面は回転ヘラ削りで、内外面とも無文。見込みに沈線を回す。口縁部は玉縁状に肥厚する。釉は灰黄白色で、体部下位まで施釉する。

111-2　Ｅ－１区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅳ２ａ類。復原口径10.0cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部を外反させる。釉は灰白色。

111-3　Ｇ－３区他より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅷ１ａ類。復原口径9.8cm。器高2.3cm。外面は回転ヘラ削りを行い、見込みにはヘラ先で施文する。釉は灰白色。

111-4　Ｆ－１区他より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅸ１ｄ類。復原口径11.4cm。器高2.9cm。外面は回転ヘラ削りを行い、見込み周辺は沈線を施す。口縁部は外反する。釉は灰白色で、全面施釉後、口縁部を釉剥ぎする。

111-5　Ｆ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅸ１ｃ類。外面体部は回転ヘラ削りを行い、口縁部は外反する。釉は灰白色で全面施釉の後、口縁部の釉を掻き取る。口縁部にはカーボンが付着する。

111-6　Ｇ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類。復原口径17.8cm。外面体部は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラ先で施文する。釉は淡黄緑色。

111-7　Ｅ－２区他より出土した青磁碗。大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂｃｄ類。体部外面は回転ヘラ削を行い、後ヘラ彫りで鎬蓮弁を削り出す。釉調は淡灰緑色。

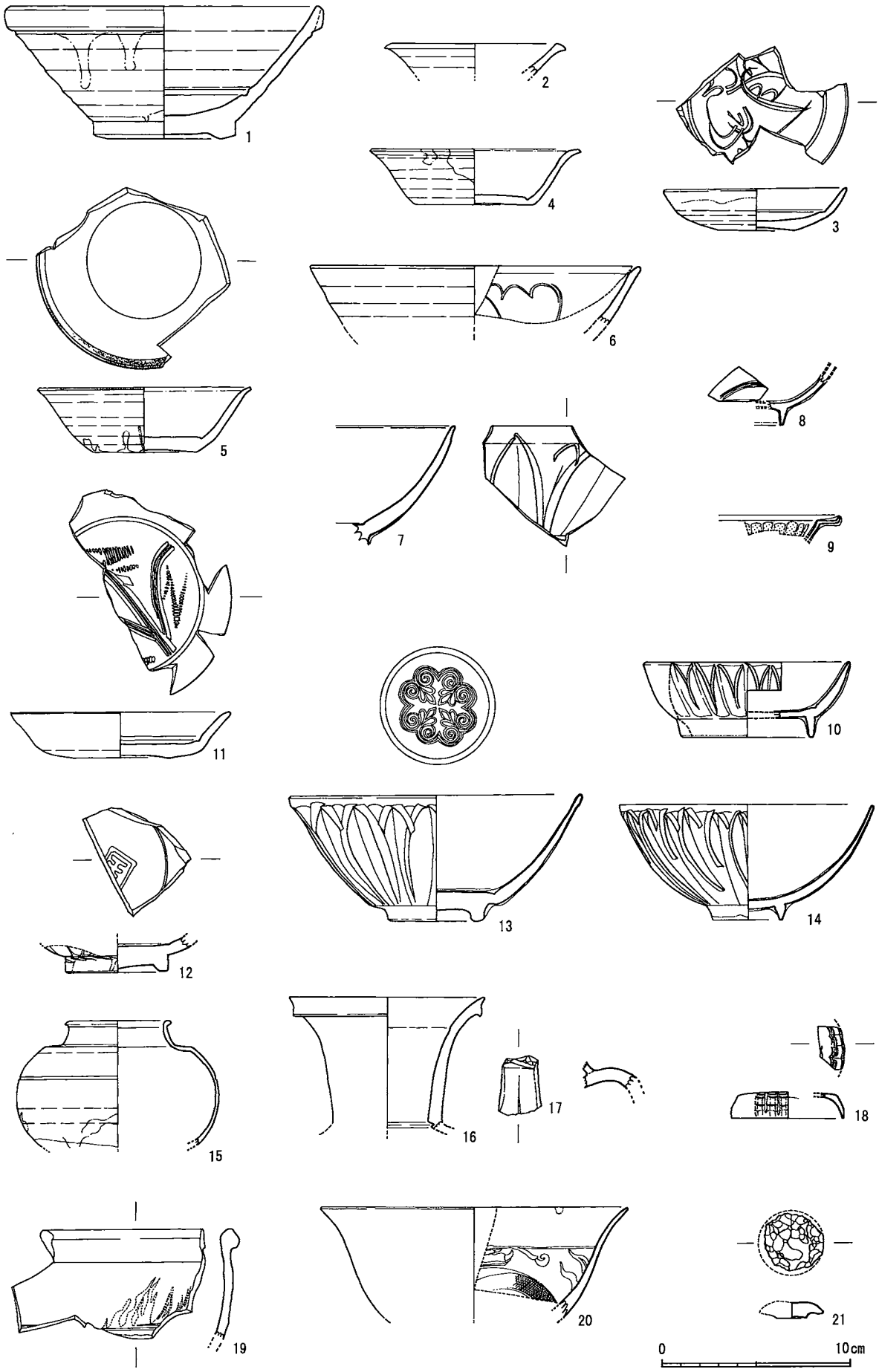
111-8　Ｆ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小碗Ⅲ１類。体部外面は回転ヘラ削りを行い無文。内面はクシで施文する。釉調は緑青色で、全面施釉の後、高台付近を掻き取る。

111-9　Ｄ－２区より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅲ３類。体部外面は回転ヘラ削りを行い無文。内面にヘラで花弁状に施文する。釉調は青緑色。

111-10　Ｆ－１区より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅲ５ｂ類。復原口径11.0cm。器高4.0cm。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラの片彫りで蓮弁を削り出す。釉はにぶい緑青色で豊かに施釉し、貫入が多い。全面施釉後畳付付近の釉を掻き取る。

111-11　Ｆ－３区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。復原口径11.6cm。器高2.4cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はクシと三叉工具で施文する。釉調はオリーブ黄色で、全面施釉の後、底部の釉を掻き取る。

111-12　Ｇ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編



第111図　Ⅵ層出土遺物実測図①（1/3）

年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｄ類。体部外面はヘラ彫りで蓮弁を削り出す。見込みには文字のスタンプを押す。釉調は淡緑青灰色。

111-13　Ｅ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｃ類。復原口径15.8㎝。器高6.6㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラの片彫りにより鎬蓮弁を象る。主弁の幅は1.5㎝で、間弁の幅はほぼ均等に彫り出す。見込みには幾何学文のスタンプを押す。釉調はオリーブ灰色。

111-14　Ｅ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅲ２類。復原口径13.4㎝。器高6.1㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラの片彫りにより鎬蓮弁文を象る。主弁の幅は1.0㎝で、間弁の幅は均等に彫り出す。釉は緑灰色で豊かに施釉する。畳付の釉は掻き取る。

111-15　Ｆ－２区他より出土した褐釉壺。丸みをおびた胴部に、肩部は内折して頸部を立ち上げる。外面は回転ヘラ削りで整形する。胎土は淡褐色でキメが細かく、よく焼き締まっており、器肉が薄い。釉調は暗褐色。

111-16、17　Ｇ－２区より出土した白磁水注または四耳壺。16は口縁部の破片で、復原口径10.6㎝。口唇部は肥厚する。体部外面は回転ヘラ削りを行う。17は把手の破片で、手づくね。他に同一個体と思われる破片が５点ある。釉調は灰白色。

111-18　Ｆ－２区他より出土した青白磁の合子蓋。復原口径6.0㎝。外面は型押しで菊花を象る。釉調は緑白色で外面全体に施釉。

111-19　Ｆ－２区他より出土した二彩盤。口縁部の破片で、口唇部は折り返し、肥厚する。体部外面はヘラ削りを行う。胎土は灰褐色で、砂粒が多く粗い。釉は内外面暗緑色で、見込み付近に褐色釉を施す。他に同一個体のものと思われる破片が２点ある。

111-20　Ｈ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ｂ類。いわゆる「枢府系」碗で、復原口径16.6㎝。口縁部は外反する。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は型押しで龍を象る。釉調は失透性の灰白色。

111-21　Ｇ－２区より出土した青白磁の小壺蓋。外面は打ちかいでいったように細かに剥離している。釉調は灰白色。

112-1　Ｆ－２区他より出土した須恵質土器で在地系の擂鉢。復原口径29.0㎝。器高9.5㎝。体部外面は縦にハケ目調整し、口縁部は回転ナデ調整。底部は回転台による強いハケ目調整。内面は斜め方向にハケ目調整を行う。擂り目は11本のクシ目。色調は灰色。

112-2　Ｆ－２区より出土した須恵質土器で在地系の捏鉢。復原口径20.0㎝。器高6.4㎝。体部外面は縦にハケ目調整し、口縁部は回転ナデ調整。底部は回転台による強いハケ目調整。内面は斜めにハケ目調整。良く焼き締まり、外面は黒色に焼き上がり、内面は灰色。

112-3　Ｆ－２区より出土した須恵質土器で在地系の擂鉢。見込み部分は円形に使用痕が残り、くぼんでいる。擂り目は６本のクシ目。色調は灰色。

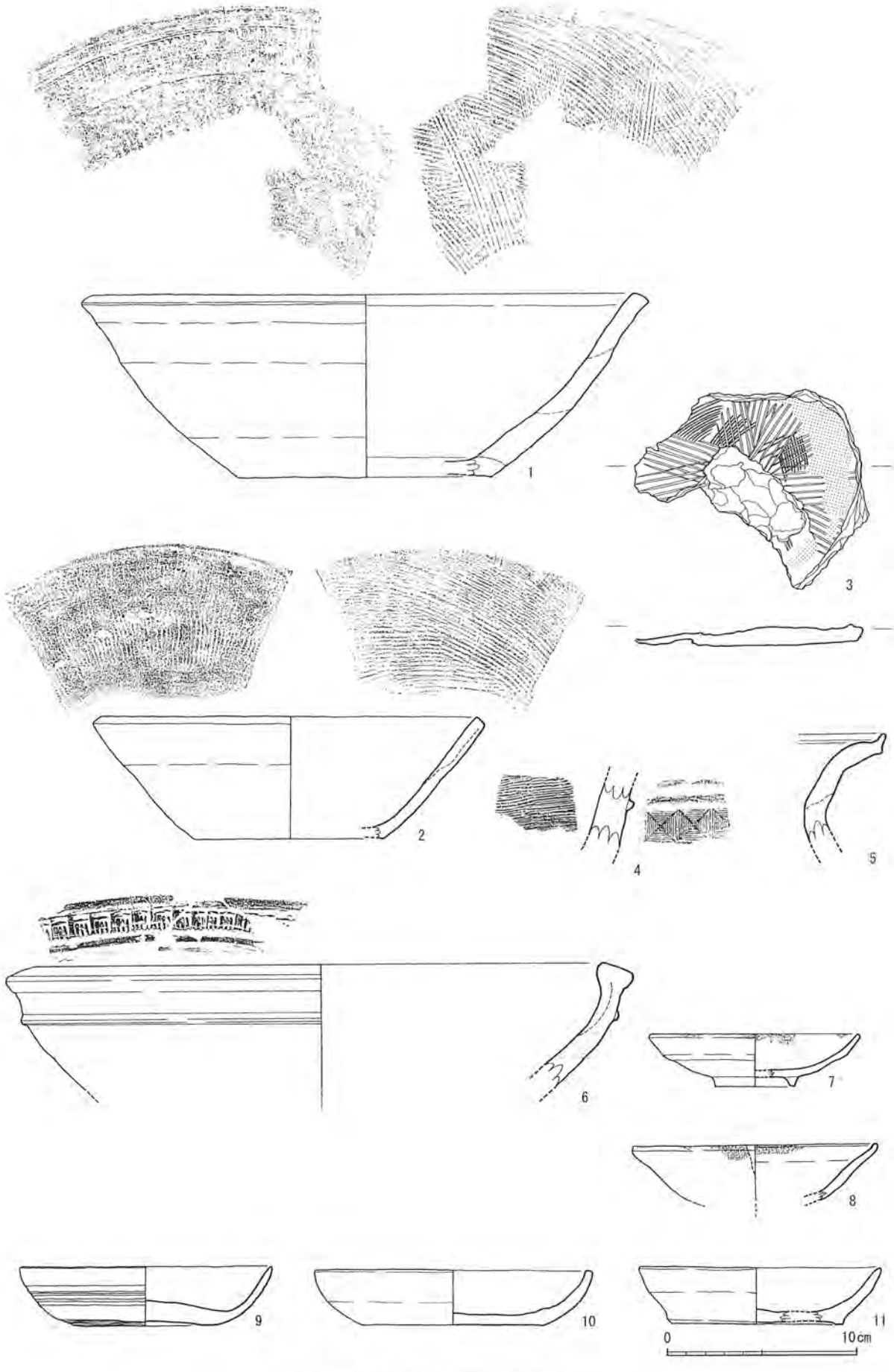
112-4　Ｂ－３区より出土した瓦質土器で風炉の破片。体部内面はハケ目調整。体部外面は磨きを施す。装飾に隆線とスタンプの連続文を押す。色調はにぶい橙色。

112-5　Ｅ－２区より出土した常滑窯の甕。内外面は回転ナデを行い、口縁部は外反し、口唇部を少し引き上げる。色調は暗赤褐色。

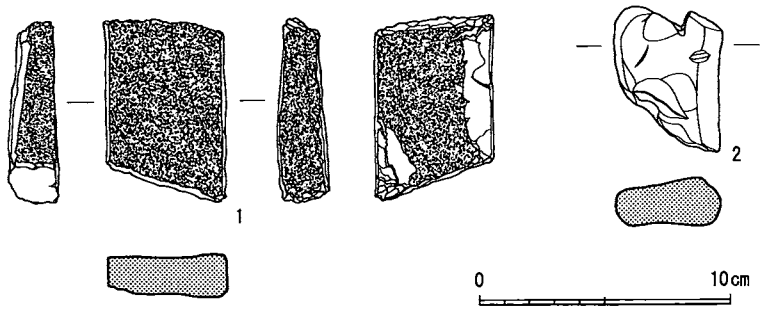
112-6　Ｇ－２区より出土した瓦質土器で火鉢。復原口径30.0㎝。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部を肥厚し、口縁部下に隆線を設け、間にスタンプを連続して押す。色調は、にぶい橙色で、胎土に雲母を多く含む。

112-7　Ｇ－２区より出土した白色土師器埦で吉備系のものと思われる。復原口径11.2㎝。器高2.8㎝。押し出し技法により丸底化し、高台を張り付ける。体部外面上位は回転ナデで、体部中位に旧底部の稜線が残る。体部下位は指ナデ及び指押さえ調整。内面はコテ当て痕が斜め方向に残る。口縁部にカーボンが付着する。胎土には砂粒が少なくやや細やか。色調は灰白色。

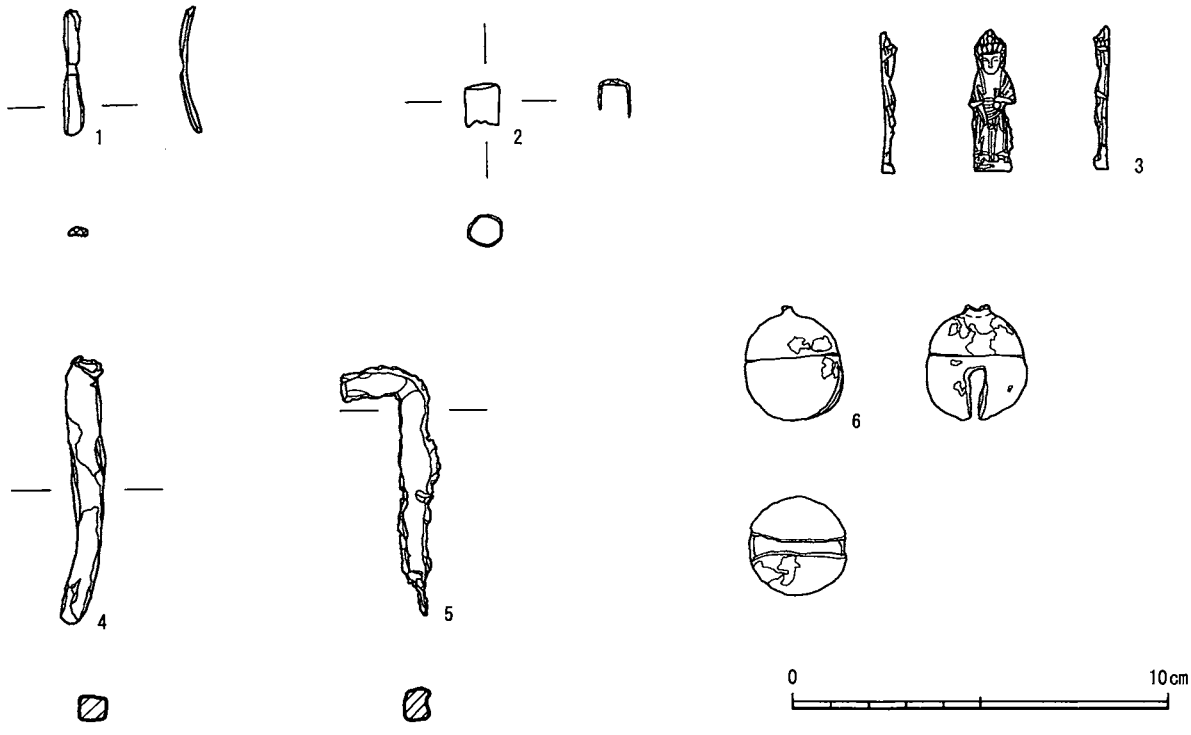
112-8　Ｅ－２区他より出土した白色土師器埦で京都風を真似ているものと思われる。復原口径12.9㎝。体部外面は手づくね状で、口縁部付近は回転ナデ。体部は開き、口縁部はやや上方に引き上げる。胎土



第112図　Ⅵ層出土遺物実測図②（1/3）



第113図　Ⅵ層出土遺物実測図③（1/3）



第114図　Ⅵ層出土遺物実測図④（1/2）

には砂粒が少なく細やか。口縁部にカーボンが付着する。色調は灰黄色。

112－9　Ｅ－３区より出土した土師器坏。復原口径13.3cm。器高3.2cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じるが、比較的細やか。見込みは横ナデをしない。体部はやや開き気味で、体部外面にはヘラで沈線を施す。色調は橙色。

112-10　Ｆ－２区より出土した土師器坏。復原口径14.9cm。器高2.9cm。底部は糸切り。胎土には砂粒・雲母が混じり、やや粗い。見込みは横ナデを数回施す。色調はにぶい橙色。

112-11　Ｅ－３区より出土した土師器坏。復原口径12.7cm。器高3.0cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じるが、比較的細やか。見込みに横ナデはしない。色調はにぶい橙色。

113-1　Ｆ－１区より出土した砥石。４面に使用痕がある。

113-2　Ｈ－３区より出土した滑石加工品。石鍋の製品内面を残しながら不定形に整形。

114-1　Ｇ－２区より出土した青銅製品。縦3.3cm。横0.5cm。厚み0.2cm。何らかの装飾的な銅製品で、片方が欠損している。

114-2　Ｆ－２区より出土した不明青銅製品。縦1.1cm。横1.0cm。円筒状で下部は欠損する。

114-3　Ｅ－３区より出土した青銅製仏。縦3.7cm。横1.3cm。型押しによる成形で、何かに貼付した物と思われ、背面は平面となる。

114-4　Ｆ－１区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦

7.0cm。断面0.8×0.7cm。

114-5　Ｇ－３区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦6.5cm。断面0.7×0.8cm。

114-6　Ｈ－２区より出土した青銅製鈴。縦2.9cm。横2.6cm。

6　Ⅴ層の遺物

Ⅴ層は黄褐色土層で、遺跡全体に見られる層ではなく、Ⅶ層上面に人為的に作られた層である。キメの細かい特殊な土であるこの層はすなわち、Ⅶ層上面の焼土やカーボン層の上の整地層として捉えることができる。よって、層の時期は、前項のⅥ層と同様と言えるが、整地をしたという性格から、Ⅵ層より短時間の時代幅に押さえることができるだろう。

115-1　Ｅ－３区他より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅱ１、２ａ類。復原口径14.8cm。体部外面は回転ヘラ削りで、内外面とも無文。口縁部は玉縁状に肥厚する。釉は灰黄白色で、体部中位まで施釉する。

115-2　Ｅ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅸ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。見込みに沈線を回す。釉は灰白色で、高台付近まで施釉する。

115-3　Ｅ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅶ類。内面をヘラの方彫りとクシで施文する。釉は灰白色。

115-4　Ｅ－３区他より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅷ類。外面は回転ヘラ削りを行う。釉は灰白色で、内面は体部中位までしか施釉しない。

115-5　Ｅ－２区より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅳ類。復原口径12.0cm。口縁部は大きく外反させる。外面体部は回転ヘラ削りを行い、その後に三叉工具で蓮弁を描く。内面は無文。釉は明青緑色。

115-6　Ｅ－２区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。口径11.0cm。器高2.0cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みはクシと三叉工具で施文する。釉調はにぶい黄色で、全面施釉の後、底部の釉を掻き取る。

115-7　Ｈ－３区より出土した白磁小碗で、大宰府編年の白磁小碗Ｄ類。体部外面は横に隆線が廻る。釉調は白色。

115-8　Ｇ－３区より出土した青白磁の合子蓋。外面は型押しによって連子状に整形。釉調は明青白色。

115-9　Ｇ－２区より出土した青白磁壺類。口縁部は外反し折り曲げ、下垂する。釉調は明青白色。

115-10　Ｇ－２区より出土した褐釉壺の口縁部。口縁部は内向し、直立した後口唇部を肥厚する。釉調は淡褐色。

115-11、12　Ｅ－２区他より出土した黄釉盤。11は口縁部の破片で、口唇部は折り返し、肥厚する。体部外面はナデ調整。胎土は灰褐色で、砂粒が多く粗い。黄色い化粧土を掛けた後、黄褐色の釉を内面と外面中位まで施釉する。口唇部付近は釉を掻き取る。12は底部で、内面は鉄絵を描く。

115-13　Ｅ－２区より出土した天目碗。復原口径12.0cm。器高6.1cm。体部は中位から内湾し、口縁部は直立する。口縁部下は僅かにくびれる。外面を回転ヘラ削りし、高台は円盤状に削り出す。釉は錆釉と黒釉を体部下半まで施釉する。

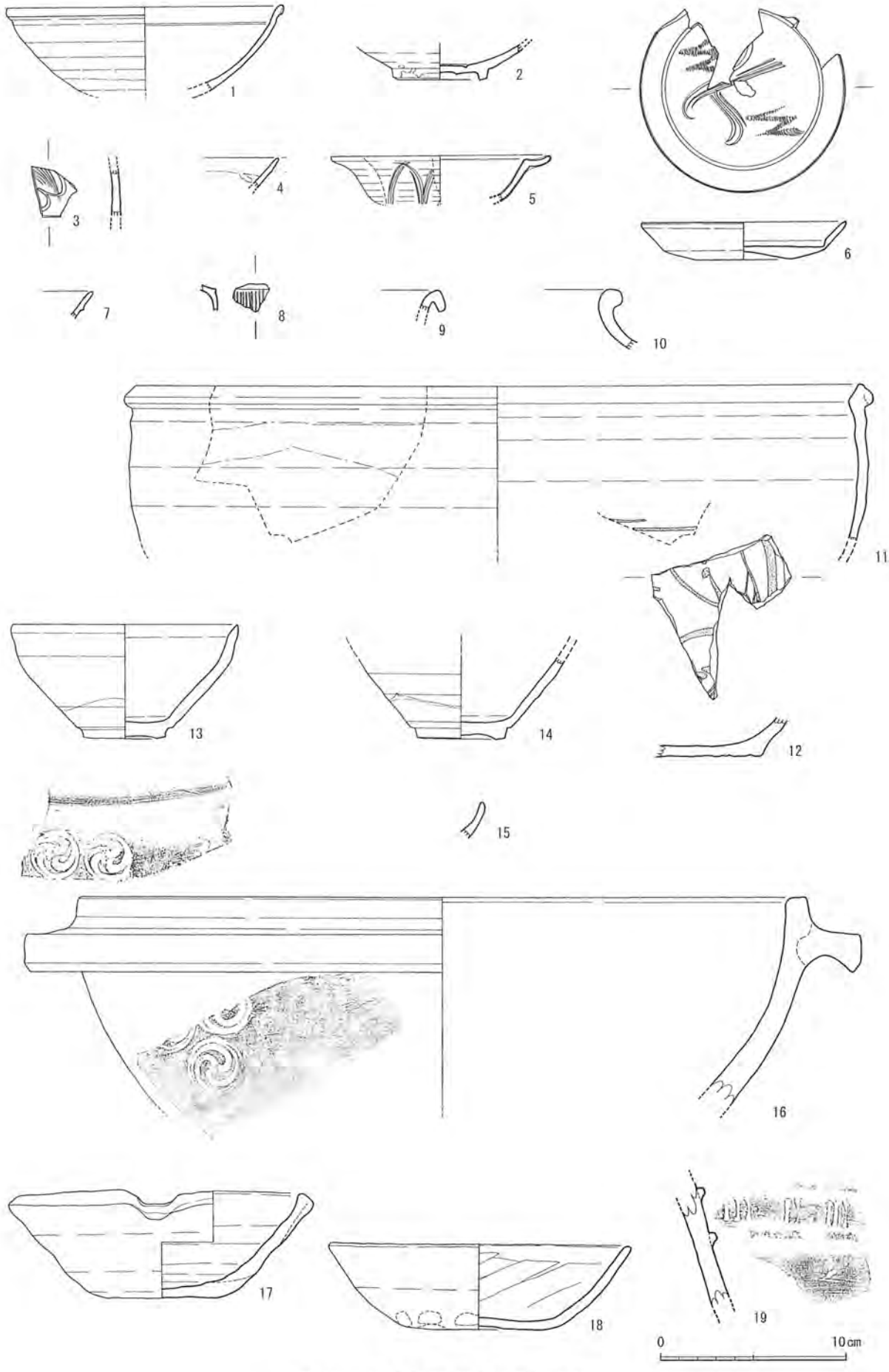
115-14　Ｆ－２区より出土した天目碗。体部は外面はヘラ削り。釉は錆釉を掛けた後に、黒釉を掛ける。

115-15　Ｇ－２区より出土した天目碗。口縁部の破片で、口唇部はやや内湾する。体部は外面は回転ヘラ削り。釉は錆釉を掛けた後に、黒釉を掛ける。

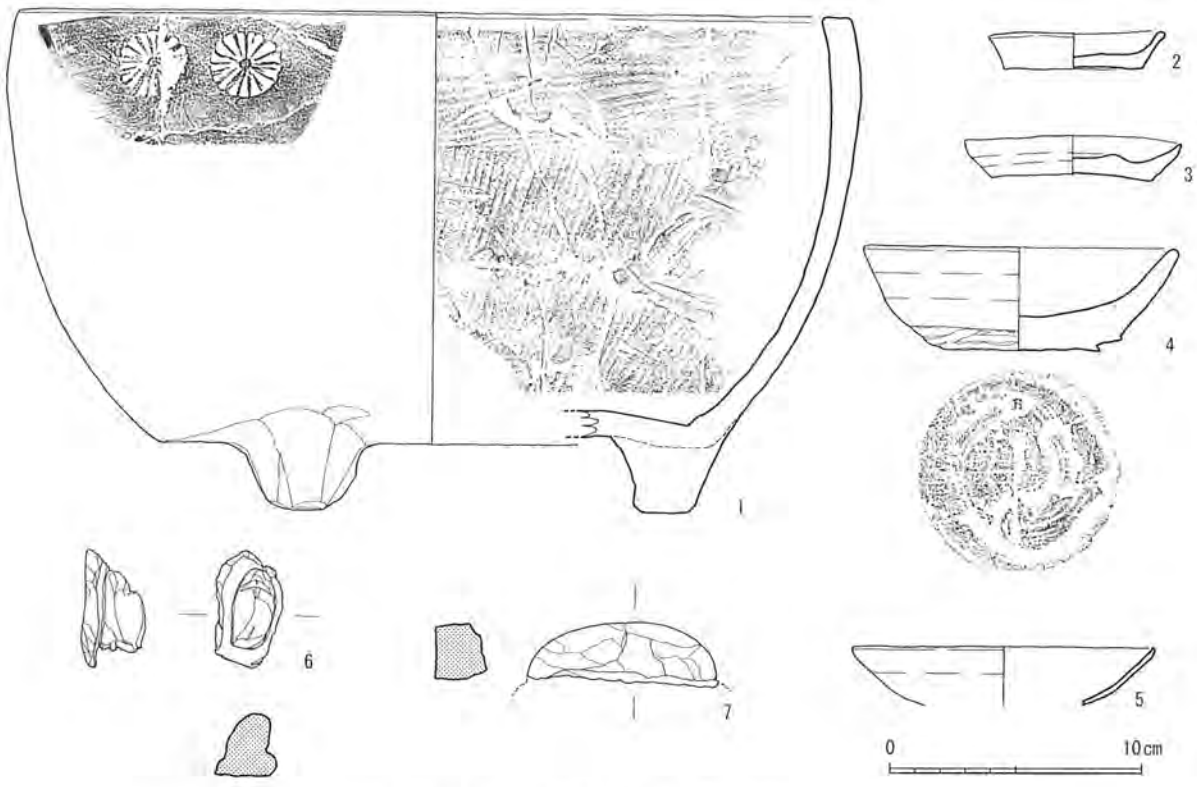
115-16　Ｅ－２区より出土した瓦質土器で火鉢。復原口径39.0cm。体部内外面はヘラ磨き調整。体部外面には鍔を張り付け鍔の上面と、鍔下の胴部に三巴のスタンプを押す。色調は黒色、部分灰色。

115-17　Ｅ－２区他より出土した須恵質土器で東播系の捏鉢。復原口径15.0cm。器高5.8cm。体部内外面は回転ナデ調整し、口縁部は指押さえで注口部を作る。底部は糸切りで、口縁部は重ね焼きにより黒変する。色調は暗灰色。

115-18　Ｅ－２区より出土した瓦器埦。復原口径16.3cm。器高4.6cm。体部外面上位は回転ナデ調整で体部内面より押し出し、丸底にする。外面下位はその後指押さえ及び指ナデで調整する。内面は斜め方向にハケ目調整をする。良く焼き締まり、口縁部



第115図　Ⅴ層出土遺物実測図①（1/3）



第116図　Ⅴ層出土遺物実測図②（1/3）

は灰色で、他は暗灰色にいぶしてある。

115-19　G－3区より出土した瓦質土器で火鉢。体部外面回転ナデ調整。隆線を2条回し、間に連子状にスタンプを押す。色調はにぶい褐色。

116-1　G－3区より出土した瓦質土器で火鉢。復原口径33.0cm。器高19.4cm。体部外面は縦・斜めにハケ目調整をし、その後ナデ調整を行う。口縁部付近はヘラ磨きを施す。内面はハケ目調整。色調は外面が暗灰色で内面は灰色。

116-2　E－3区より出土した土師器皿。口径6.8cm。器高1.3cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込みは1度横ナデをする。色調はにぶい橙色。

116-3　E－3区より出土した土師器皿。口径8.5cm。器高1.5cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込み周辺はナデくぼめ、内部は横ナデをしない。色調はにぶい橙色。

116-4　F－2区より出土した土師器坏。口径12.4cm。器高4.0cm。底部はヘラ切りで板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じるが、比較的細やか。見込みは2度ほど横ナデをする。器肉が厚く、体部は開く。色調は黄橙色。

116-5　F－3区他より出土した白色土師器埦。復原口径11.8cm。吉備系と思われ、押し出し技法により丸底化し、高台を張り付ける。体部外面上位は回転ナデで、体部下位はユビオサエ及びユビナデ。胎土には砂粒が混じるが細やか。色調は灰白色。

116-6　E－1区より出土した滑石加工品。破損しているが馬連状石製品と思われる。石鍋の耳部分を利用し、製品内面を残しながら不定形に整形。

116-7　E－3区より出土した硯。石材は頁岩。

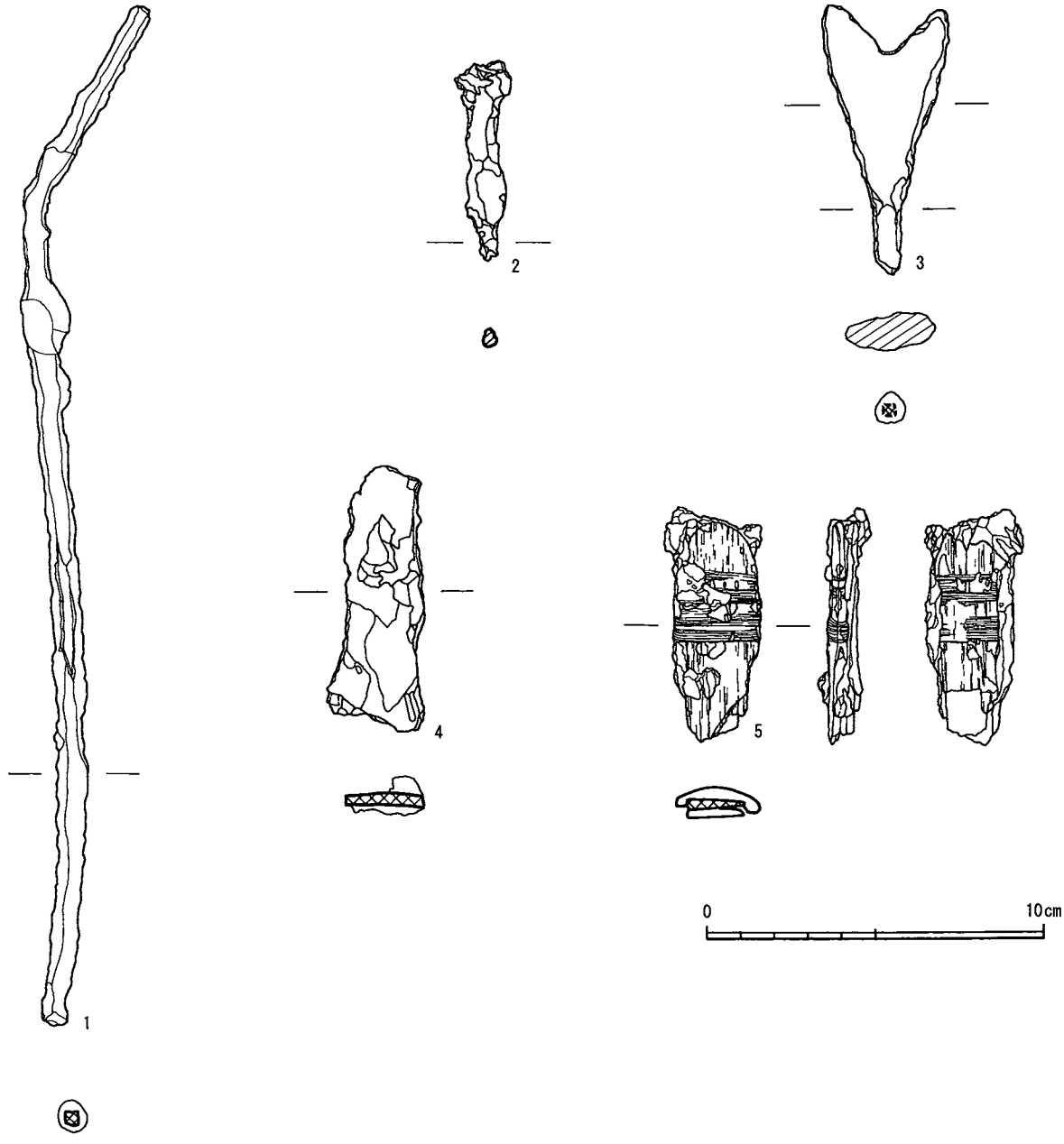
117-1　E－3区より出土した鉄製品。縦29.8cm。断面0.8×0.8cmの正方形。棒状の製品で用途は不明。

117-2　E－2区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦5.7cm。錆のため膨張しているが、地金の断面は0.5×0.6cmである。

117-3　E－3区より出土した鉄製品で狩俣。縦7.8cm。横2.7cm。厚み0.9cm。錆のため膨張している。

117-4　F－3区より出土した鉄製品で刀。縦7.7cm。横2.2cm。地金の厚み0.3cm。

117-5　F－3区より出土した鉄製品で刀。縦6.8cm。横2.5cm。柄の部分で茎も残る。茎部分は幅1.8cm。厚み0.3cm。



第117図　Ⅴ層出土遺物実測図③（1/2）

7　Ⅳ層の遺物

Ⅳ層は暗褐色土で、砂質であり、冠水を受けた際の堆積土層と思われる。かなり攪乱も多く、層の時期は14世紀後半を中心とするものと思われる。

118-1　Ｅ－１区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅸ１ａ類。復原口径7.9㎝。器高1.5㎝。体部外面は回転ヘラ削りで、内外面とも無文。釉は灰白色で、全面施釉の後、口唇部の釉を掻き取る。

118-2　Ｆ－２区より出土した初期高麗青磁碗。器形が不明であるが、体部外面は回転ヘラ削りを行い、外面無文で、内面には回転ヘラ描きが見られる。胎土に砂粒が多く、釉を通しても白い粒が点々と見える。釉はオリーブ灰色で、全面施釉する。

118-3　Ｆ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅰ１ｂ類。外面は回転ヘラ削りを行い、縦にクシ目を施す。釉はオリーブ灰色。

118-4　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂｃｄ類。復原口径13.6㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鎬蓮弁文を象る。主弁の幅は1.9㎝で、間弁は先端下位まで彫り出し、主弁の２／３ほどの幅がある。釉は明灰緑色。

118-5　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ６ｃ類。外面は回転ヘラ削りの後ヘラの片彫りで蓮弁を削り出し、クシ目を施す。内面はヘラで蓮華文を描く。釉は暗青緑色。

118-6　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅳ類。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鎬蓮弁文を象る。主弁の幅は1.5㎝で、間弁は主弁とほぼ同幅に下位まで彫り出す。口縁部は外反。釉は失透性でにぶい青緑色。

118-7　Ｆ－３区より出土した青磁皿で、大宰府編年の龍泉窯系青磁皿Ⅰ１ｂ類。復原口径12.8㎝。器高3.3㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みはヘラの片彫りとクシで施文する。釉調は明灰緑色で、全面施釉の後、底部の釉を掻き取る。

118-8　Ｇ－４区より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅲ３類。口縁部は強く外反し、端部は上方に屈曲する。器肉が薄く、釉が厚い。釉調は緑青色。

118-9　Ｇ－２区他より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅳ類。体部外面はヘラで縦方向に施文し、胴部から口縁部にかけて花弁状に凹凸を付ける。口縁部外面には隆線を横に回す。釉調は明緑灰色。

118-10　Ｈ－２区より出土した青白磁の合子蓋。外面は型押しによって菊花状に整形。釉調は明青白色。

118-11　Ｆ－３区より出土した白磁馬上坏で、大宰府編年の白磁Ｂ類(枢府系)。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は外反する。内面は型押しによって花弁状の施文を行う。釉調は失透性の灰白色。

118-12　Ｆ－２区より出土した白磁八角形坏で、大宰府編年のＤ類。口縁部と体部をヘラによって八角形に整形し、高台も抉り入れる。釉は灰黄白色で体部中位まで施釉。

118-13　Ｆ－３区他より出土した越州窯系青磁。器形より壺の底部と思われる。内面見込み部分には螺旋状にナデによる目が入る。釉はオリーブ灰色で、全面施釉をし、高台内に目積みの跡がある。

118-14　Ｈ－３区より出土した天目碗。外面は回転ヘラ削りを行い、釉は錆釉をかけた後、黒釉を体部下半まで掛ける。

118-15　Ｆ－３区他より出土した須恵質土器で在地系の甕。体部内面は横にハケ目調整し、口縁部は外反させる。色調は灰色。

118-16　Ｈ－３区より出土した須恵質土器の壺または甕。体部内面はナデ調整し、外面は格子目のタタキを施す。色調は灰色。

118-17　Ｅ－２区より出土した須恵質土器で在地系の擂鉢。体部外面は縦にハケ調整をしたあと、口縁部付近に回転ナデ調整。体部下半は静止ナデ。内面はロクロ回転によるハケ調整で、擂り目は７本のクシ目。色調は灰色。

118-18　Ｆ－３区より出土した須恵質土器の壺。復原口径22.0㎝。体部外面は格子目叩きを頸部まで施し、頸部より上は回転ナデ調整。内面はナデ調整。器肉が厚く、焼きが甘い。色調は灰色。

118-19　Ｈ－２区より出土した瓦質土器で鉢。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部は外折し、鍔状にする。口縁部上面には車輪状のスタンプを連続して押す。色調は灰色。

118-20　Ｅ－３区より出土した土師器皿。口径8.7㎝。器高1.5㎝。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込み周辺をナデくぼめ、見込み内の横ナデはしない。色調はにぶい橙色。

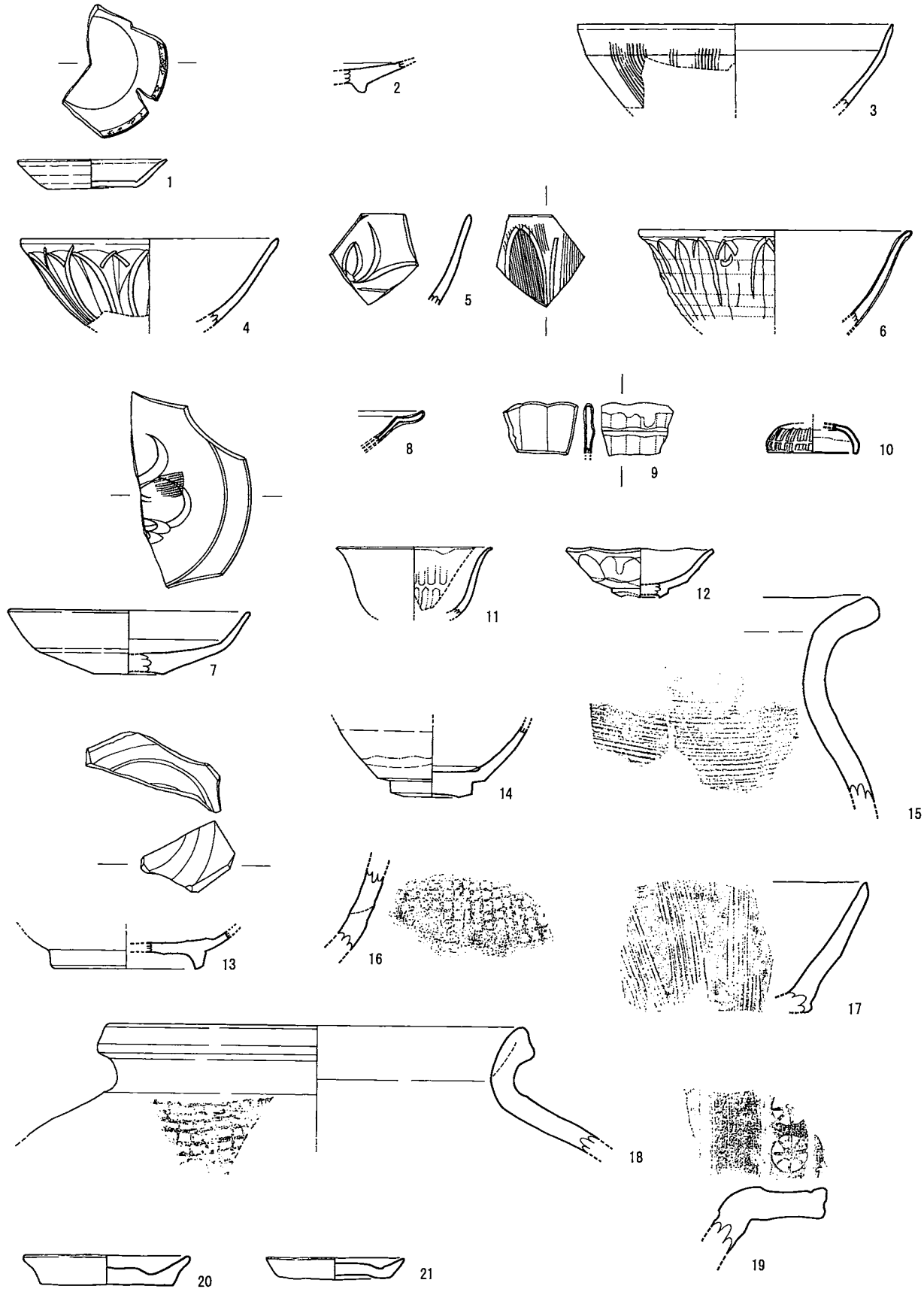
118-21　Ｇ－３区より出土した土師器皿。口径7.4㎝。器高1.1㎝。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり粗い。見込み周辺はヘラ削りによる沈線を施し、内部は横ナデをしない。色調はにぶい橙色。

119-1　Ｆ－３区他より出土した瓦質土器で火鉢。体部内面はクシ状の施文具による調整。外面は縦にハケ目調整をした後、ハケ調整を行う。底部には３つの足を張り付け、中央に穴を穿つ。色調は灰色。

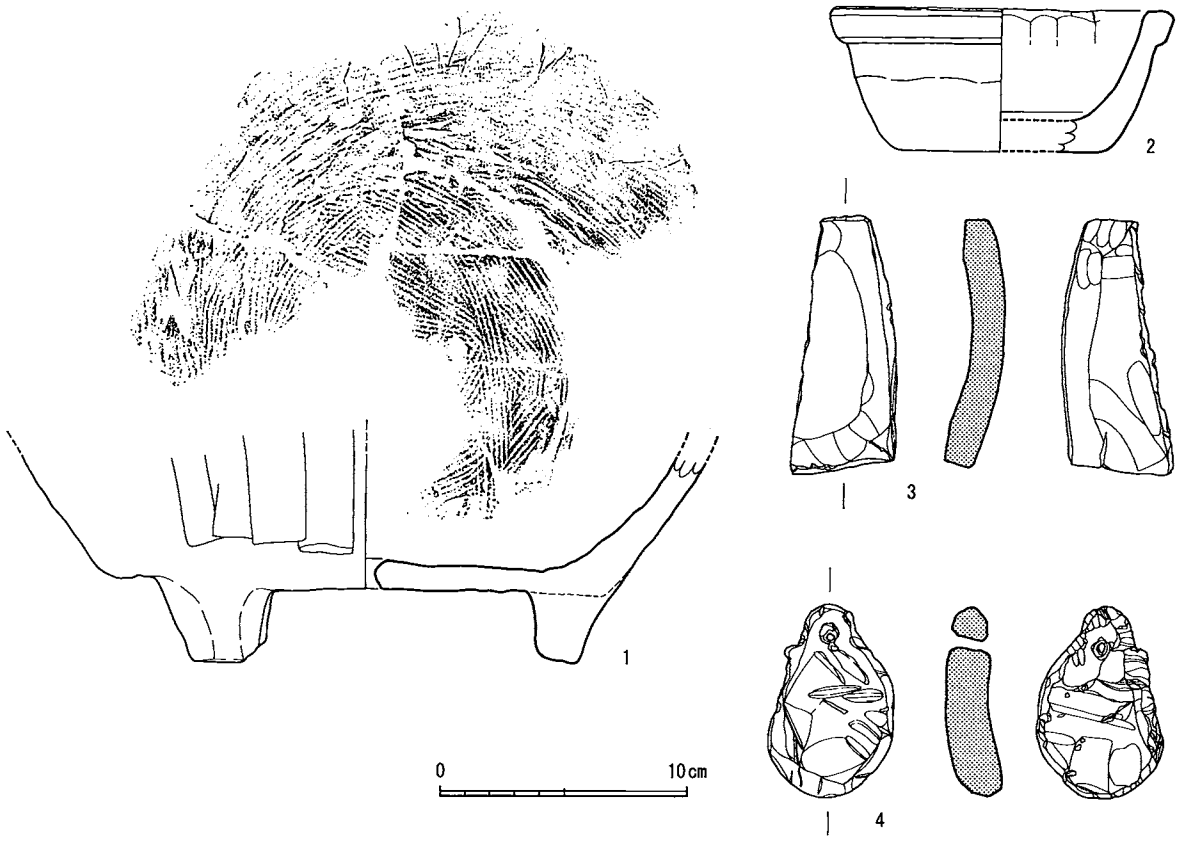
119-2　Ｇ－３区より出土した滑石加工品。復原口径13.0㎝。器高5.6㎝。口縁部を肥厚する。体部の内外面は、幅の広いノミ削り調整。

119-3　Ｅ－３区より出土した滑石加工品。石鍋の胴部を利用して方形に切り出し、旧内面側に窪みを付ける。

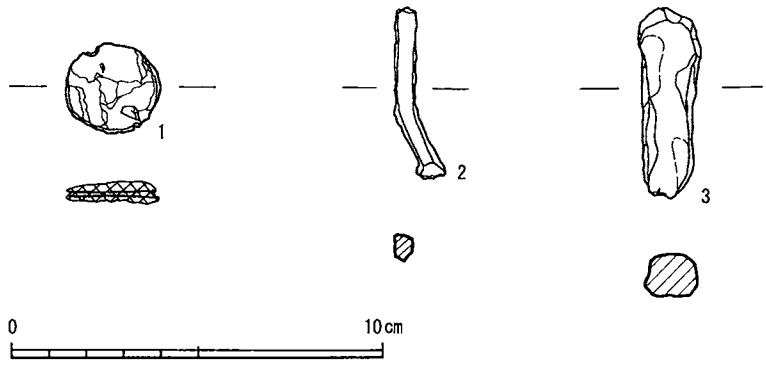
119-4　Ｆ－３区より出土した滑石加工品で、温石と思われる。ほぼ楕円形に切り出し、上部に突出部を作り、穴を穿つ。



第118図　Ⅳ層出土遺物実測図①（1/3）



第119図　Ⅳ層出土遺物実測図②（1/3）



第120図　Ⅳ層出土遺物実測図③（1/2）

120-1　G－3区より出土した青銅製品。直径2.5cm。円盤状の製品で、地金の厚さは0.1cm。

120-2　G－2区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦4.4cm。断面0.5×0.7cm。

120-3　F－3区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦4.9cm。錆による膨張で地金の断面は不明。

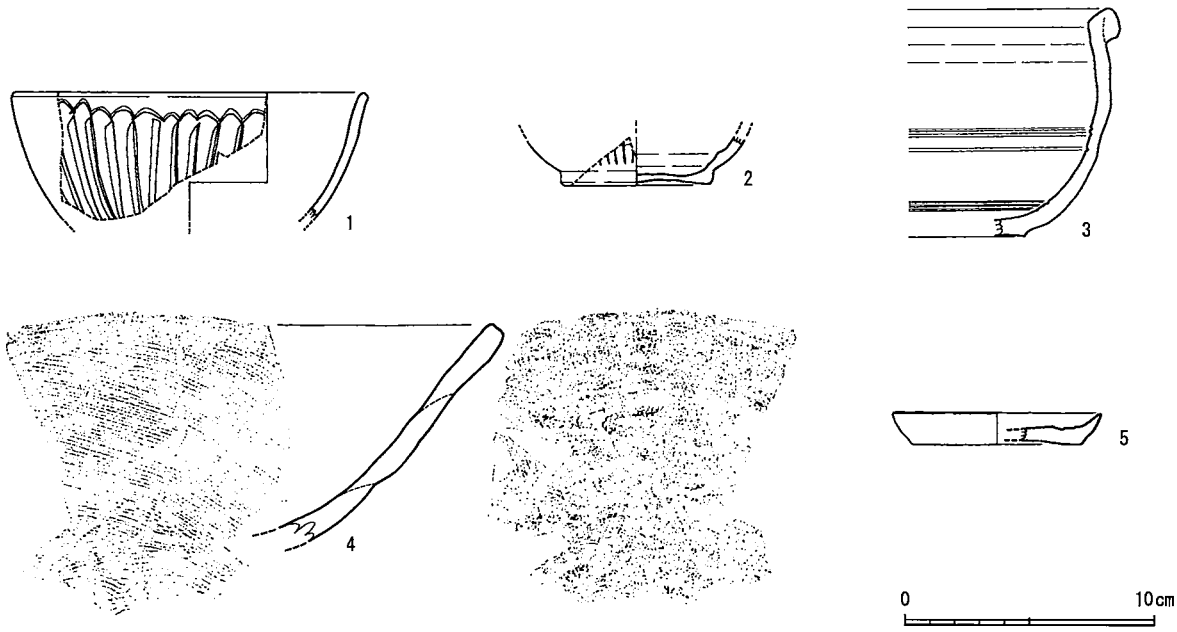
8　Ⅲ層の遺物

Ⅲ層は（暗褐色土）で、床土層の下層にあたり、攪乱の多い良好な包含層ではないが、若干の遺物も出ている。

121-1　E－3区より出土した青磁碗で、上田分類の龍泉窯系青磁碗BⅢ類。外面はヘラ先により蓮弁を描き出す。釉はオリーブ灰色。

121-2　G－3区より出土した青白磁小壺。外面は型押しで、菊花状の花弁を象る。釉は明青白色。

121-3　F－3区より出土した二彩盤。外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は肥厚する。内面は体部中位と見込み周辺に沈線を回す。両沈線の間に褐釉を



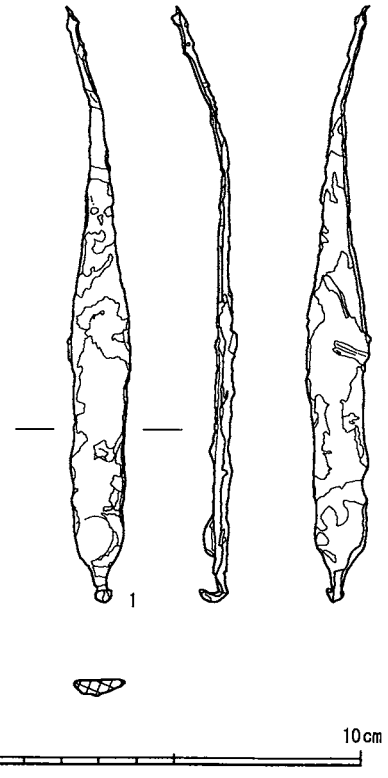
第121図　Ⅲ層出土遺物実測図①（1/3）

施す。他は内外面共に暗緑色。

121-4　Ｅ－１区他より出土した須恵質土器で在地系の捏鉢。体部内面は斜めにハケ目調整。外面は縦にハケ目調整をしたあと、口縁に回転ナデを施す。色調は灰色。

121-5　Ｇ－３区より出土した土師器皿。復原口径8.2cm。器高1.3cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込み周辺は回転させヘラ削りで調整し、見込み内の横ナデはしない。色調は橙色。

122-1　Ｆ－３区より出土した青銅製笄。縦15.2cm。横1.5cm。長軸の板状で両端にクシ状の先端部と耳掻きを付ける。



第122図　Ⅲ層出土遺物実測図②（1/2）

9　Ⅲ’層の遺物

Ⅲ’層は当初、包含層の中層にあたる層という認識で調査を進めた層であるが、後に層の中身が細分化できることがわかり、名称を変更している。よって旧Ⅲ’層はⅦ、Ⅵ、Ⅴ、層を含む黒褐色土で、遺物の包含も多い。

123-1　Ｆ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅰ類。口縁部は折り返し、玉縁状に肥厚する。釉は灰白色。

123-2　Ｅ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅱ３ｂ・４ｂ類。体部は回転ヘラ削りを行い、口縁部は真っ直ぐ引き上げる。内面には堆線がある。釉は浅黄色。

123-3　Ｆ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ４ｂ類。復原口径16.6㎝。外面は回転ヘラ削りを行い、内面はクシで施文。口縁部は外反し、口唇部を水平にする。釉は灰白色。

123-4　Ｅ－３区より出土した白磁碗Ⅴ２ａ類。復原口径18.0㎝。外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は外反する。釉は明オリーブ色。

123-5　Ｇ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅸ２類。外面体部は回転ヘラ削りを行う。釉は灰白色で口縁部付近を掻き取る。

123-6　Ｄ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁Ｂ類(枢府系)。復原口径18.6㎝。外面体部は回転ヘラ削りを行い、内面は型押しで施文する。釉は明灰白色。

123-7　Ｄ－３区他より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅲ１類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内面見込みを蛇の目状に釉剥ぎをする。釉は灰オリーブ色。

123-8　Ｃ－３区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅳ１ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みには沈線をめぐらす。釉は灰オリーブ色。

123-9　Ｆ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅷ１ａ類。復原口径9.7㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りで施文。釉は灰オリーブ色。

123-10　Ｆ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅷ１ａ類。復原口径10.2㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラで施文する。釉は灰オリーブ色。

123-11　Ｆ－１区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅷ類。口縁部に輪花を設ける。釉は灰オリーブ色。

123-12　Ｆ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅷ１ａ類。口径10.4㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りで施文する。釉は灰オリーブ色。

123-13　Ｅ－３区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅸ１ｂ類。復原口径10.6㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部の釉を掻き取る。口縁部にはカーボンが付着する。釉は灰白色。

123-14　Ｅ－３区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅸ１ｃ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は釉を掻き取り外反する。口縁部にはカーボン付着。釉は灰白色。

123-15　Ｆ－２区他より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ｄ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。体部から口縁部にかけて内湾する。内外面無文。釉は灰白色。

123-16　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の越州窯系青磁碗Ⅰ５類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。釉調はオリーブ灰色で、外面体部中位まで施釉する。

123-17　Ｆ－３区より出土した高麗青磁碗。体部外面には回転ヘラ削りを行い、体部内外面に花文状の白黒の象嵌を施す。釉調はオリーブ色。

123-18　Ｅ－１区より出土した高麗青磁碗。体部外面は回転ヘラ削りを行った後、内外面に花文状の白黒の象嵌を施す。釉調はオリーブ色。

123-19　Ｆ－３区他より出土した高麗青磁碗。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面中位を巡る象嵌を施す。釉調は淡緑青黄色。

123-20　Ｇ－２区より出土した高麗青磁碗。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は唐草状の白い象嵌を施す。釉調はオリーブ灰色。

123-21　Ｆ－３区より出土した初期高麗青磁碗。口

縁部を外反させ、口唇部を水平にする。一部を輪花状に折り曲げる。内外面は無文。釉調は明緑灰色。

124-1　Ｆ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅰ１ｂ類。復原口径17.2cm。器高7.8cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、縦にクシで施文する。内面はクシと三叉工具で施文する。釉調はにぶい黄緑色で濁る。

124-2　Ｆ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅰ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、縦にクシ目施文する。内面はクシと二叉工具で施文。釉調はオリーブ灰色で、体部下位まで施釉。

124-3　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅰ類。高台部分のみを残し、体部を打ち欠く。見込みに墨書あり。釉調は灰オリーブ色。

124-4　Ｅ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅲ１ａ類。口径17.7cm。器高7.8cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、縦に幅の広いクシ状の工具で施文する。内面は無文。釉調は灰オリーブ色。

124-5　Ｅ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みは「金玉満堂」のスタンプを押す。釉調は灰オリーブ色。

124-6　Ｆ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ４ｃ類。復原口径14.6cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は堆線を施し、器面分割する。釉調はにぶいオリーブ灰色。

124-7　Ｇ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りで蓮華文を描く。見込みはヘラの片彫りで花文状に施文。釉調は淡青緑色で、高台付近まで施文する。

124-8　Ｆ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。内面はヘラの片彫りで蓮華文を描くが、通常のⅠ２類より細いヘラ描きである。釉調は明緑灰色で、白磁に近い発色である。

124-9　Ｅ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗。体部外面は回転ヘラ削りを行い、体部中位に沈線で分割した下位には、二叉工具で蓮弁を描く。内面はヘラの片彫りでⅠ２類の様な花文を描く。釉調は灰白色で、白磁に近い発色である。

124-10　Ｇ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りとクシで花文を描くが、通常のⅠ２類と比べると異質である。高台内面を深く削り、青磁碗Ⅰ類とは異る。釉調は灰白色で、白磁に近い発色である。

124-11　Ｅ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類。復原口径15.4cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りとクシで施文する。釉調は淡暗緑色。

124-12　Ｇ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類。復原口径18.8cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りとクシで施文する。釉調は淡暗緑色。

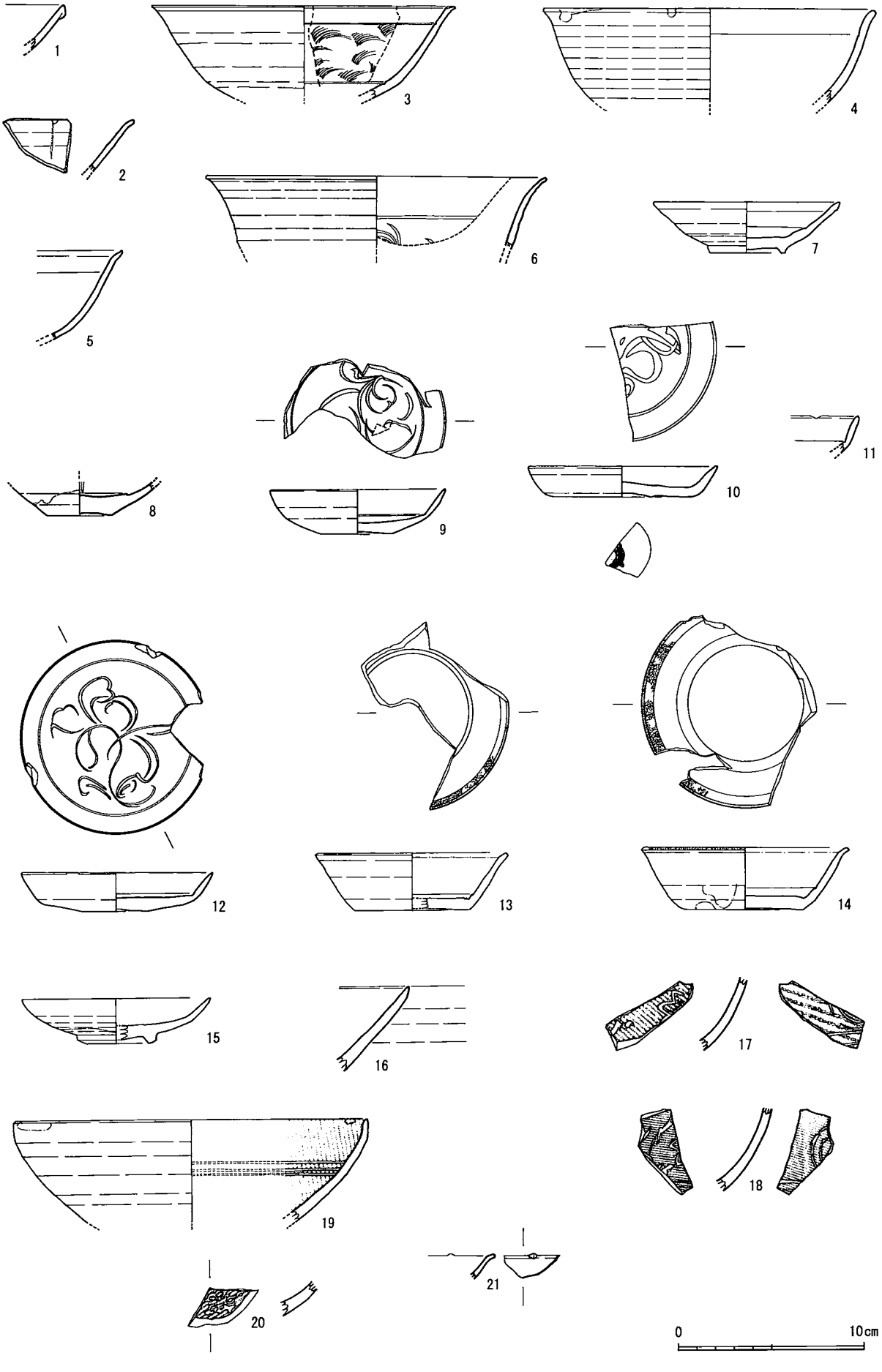
124-13　Ｅ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類。復原口径19.0cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りとクシで施文する。釉調は淡暗緑色。

125-1　Ｆ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ４ｂ類。復原口径15.8cm。器高6.9cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は二叉工具で５分割し、ヘラの片彫りで花文を施文する。釉調はオリーブ灰色で畳付付近まで施釉する。

125-2　Ｆ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ４ｂ類。復原口径16.2cm。器高7.5cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は二叉工具で５分割し、ヘラの片彫りで花文を施文する。見込みに二叉工具で花文を描く。釉調はオリーブ灰色で畳付付近まで施釉する。

125-3　Ｅ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ａ類。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより蓮弁文を象る。主弁の幅は2.5cmで、間弁は主弁と幅もほぼ一定で下位まで彫り出す。釉調はオリーブ色。

125-4　Ｆ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府



第123図　Ⅲ'層出土遺物実測図①（1/3）

編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂ類。復原口径17.9㎝。器高7.5㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、後にヘラで鎬蓮弁を削り出す。主弁の幅は2.6㎝。間弁は半分ほどの幅である。底部には墨書を描く。釉調は青緑色で畳付付近まで施釉する。

125-5　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂｃｄ類。体部外面はヘラ彫りにより鎬蓮弁を象る。蓮弁施文前の回転ヘラ削り時に、口縁部が玉縁になるよう削り出す。釉調はオリーブ色。

125-6　Ｅ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂｃｄ類。復原口径15.6㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鎬蓮弁を象る。主弁の幅は1.5㎝で、間弁は中位まで彫り出し、２／３ほどの幅である。釉調はオリーブ色。

125-7　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂｃｄ類。復原口径17.8㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鎬蓮弁を象る。主弁の幅は3.3㎝で、間弁は先端のみを作り出し、幅がせまい。釉調は淡緑青色。

125-8　Ｆ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｃ類。体部外面はヘラ彫りにより鎬蓮弁を描き出す。見込みに花文のスタンプを押す。釉調は灰緑色。

125-9　Ｅ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｃ類。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鎬蓮弁を象る。見込みには花文のスタンプを押す。釉調はオリーブ灰色。

125-10　Ｇ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ６ａ類。復原口径13.4㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより蓮弁文を象り、花弁にクシで施文する。釉調はオリーブ灰色で、被熱し釉が溶けている。

125-11　Ｇ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ６ｂ類。復原口径12.8㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより蓮弁文を象り、花弁にクシで施文する。内面はヘラとクシで施文する。釉調はオリーブ灰色。

125-12　Ｅ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅲ２類。復原口径12.8㎝。器高5.6㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、後にヘラで鎬蓮弁文を削り出す。主弁のみで幅は0.7㎝。釉調は灰緑色で全面施釉の後畳付の釉を掻き取る。

125-13　Ｅ－２区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅲ２類。口径16.3㎝。器高7.2㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、後にヘラで鎬蓮弁文を削り出す。主弁のみで幅は1.0㎝。釉調は失透性の灰緑色で全面施釉の後畳付の釉を掻き取る。焼成が悪く胎土は橙色。

125-14　Ｅ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅲ１類。口縁部は直に引き上げ、内外面無文。釉調は灰緑色。

125-15　Ｆ－３区より出土した青磁碗で、上田分類の龍泉窯系青磁小碗ＢⅡ類。外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ描きで雑な蓮弁文を描く。口縁部は内湾する。釉調はオリーブ灰色。

125-16　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、上田分類の龍泉窯系青磁碗ＢⅢ類。外面にはヘラ描きで、蓮弁を象る。釉調はオリーブ灰色。

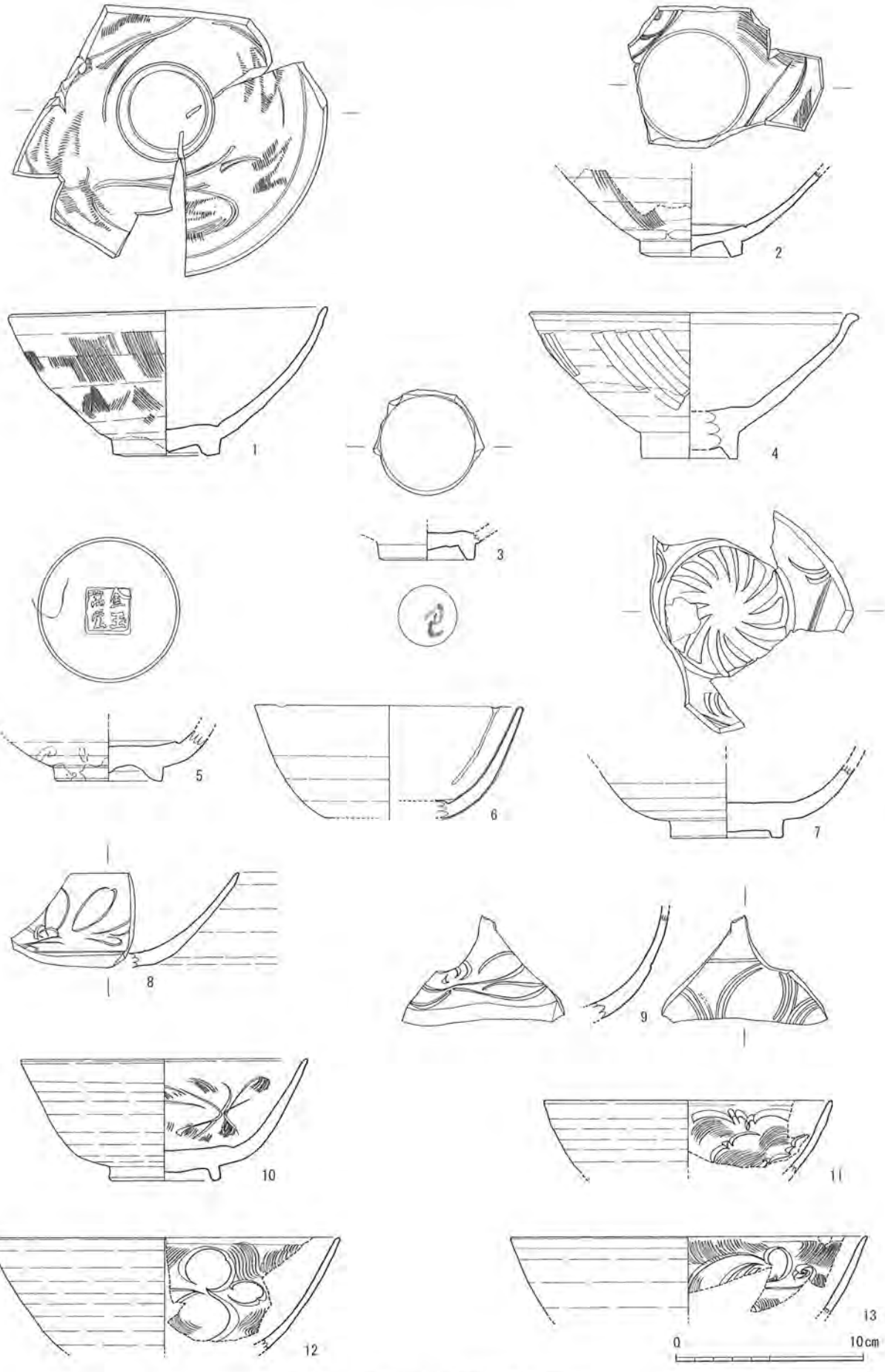
125-17　Ｇ－２区他より出土した青磁碗で、上田分類の龍泉窯系青磁碗ＣⅡ類。復原口径15.5㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、口縁部付近はヘラ彫りで雷文を、その下位には幅広蓮弁を象る。釉調はにぶい緑青色。

125-18　Ｇ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅳ類。復原口径15.7㎝。器高7.4㎝。口縁部は外反し、体部外面はヘラ削りを行う。外面にはヘラの片彫りでラマ式蓮弁を描く。内面及び見込みもヘラの片彫りで施文する。釉調は暗緑色で全面施釉の後に高台内側を蛇の目状に掻き取る。

126-1　Ｇ－２区より出土した青磁碗で、上田分類の龍泉窯系青磁碗Ｃ類。復原口径13.4㎝。外面は回転ヘラ削りの後、口縁部付近に雷文と沈線を巡らし、下位は幅広の蓮弁をヘラ彫りする。釉調は緑青色。

126-2　Ｆ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小碗Ⅰ類。外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りで、鎬蓮弁を象る。釉調はオリーブ灰色で、高台付近まで施釉する。

126-3　Ｅ－１区より出土した青磁小碗で、大宰府



第124図　Ⅲ'層出土遺物実測図②（1/3）

編年の龍泉窯系青磁小碗Ⅲ類。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鎬蓮弁を象る。焼成が甘く、胎土は橙色～灰色。釉調は失透性の灰緑青色。

126-4　Ｅ－２区より出土した青磁小碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小碗Ⅳ類。復原口径12.2㎝。器高5.1㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鎬蓮弁を象る。主弁の幅は0.8㎝で、間弁はない。口縁部は外反する。釉調は失透性の灰緑青色で全面施釉ののち畳付の釉を掻き取る。

126-5　Ｆ－２区他より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ１ｂ類。復原口径10.3㎝。器高2.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面にヘラとクシで施文する。釉調はオリーブ灰色で体部中位まで施釉する。

126-6　Ｅ－２区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ２ａ類。復原口径10.3㎝。器高2.0㎝。体部外面は回転ヘラ削り。内外面は無文。釉調はオリーブ灰色。

126-7　Ｆ－２区他より出土した青磁皿で、大宰府編年の龍泉窯系青磁皿Ⅰ２ｄ類。復原口径9.8㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面にヘラの片彫りで花文を描く。釉調は明緑青色。

126-8　Ｆ－１区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ１ｂ類。復原口径10.3㎝。器高3.2㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みは四叉工具とクシで施文する。釉調はオリーブ灰色で、体部中位まで施釉する。

126-9　Ｆ－３区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ１ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みはクシと二叉工具で施文する。底部に墨書あり。釉調はオリーブ灰色。

126-10　Ｇ－３区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ１ｂ類。復原口径10.8㎝。2.3㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みはクシと三叉工具で施文する。釉調はオリーブ灰色で、体部下半まで施文する。

126-11　Ｅ－１区他より出土した青磁皿で、大宰府編年の龍泉窯系青磁皿Ⅰ２ｃ類。復原口径10.7㎝。器高2.7㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みはクシと二叉工具で施文する。釉調はオリーブ色で全面施釉後底部の釉を掻き取る。

126-12　Ｆ－２区より出土した青磁皿で、大宰府編年の龍泉窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。復原口径11.4㎝。器高2.4㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、見込みにクシで施文する。釉調は黄オリーブ色で、全面施釉後、釉を掻き取る。

126-13　Ｆ－３区より出土した青磁小碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小碗Ⅳ類。復原口径12.6㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。口縁部は外反する。釉調は灰緑色。

126-14　Ｅ－１区より出土した白磁四耳壺または水注。口縁部の破片で、復原口径11.6㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は外反させ折り曲げる。他に同一個体と思われる破片が12点ある。釉調は灰オリーブ色。

126-15　Ｆ－２区より出土した白磁四耳壺または水注。胴部の破片で、体部外面は回転ヘラ削りを行い、縦にクシで施文する。他に同一個体と思われる破片が３点ある。釉調は灰白色。

126-16　Ｆ－３区より出土した白磁四耳壺または水注。口縁部の破片で、外反させ折り曲げる。他に同一個体と思われる破片が７点ある。釉調は灰白色。

126-17　Ｆ－３区より出土した青白磁の合子蓋。復原口径6.0㎝。器高1.6㎝。上面・外面は型押しで菊花を象る。釉調は淡青白色で体部内面以外は施釉する。

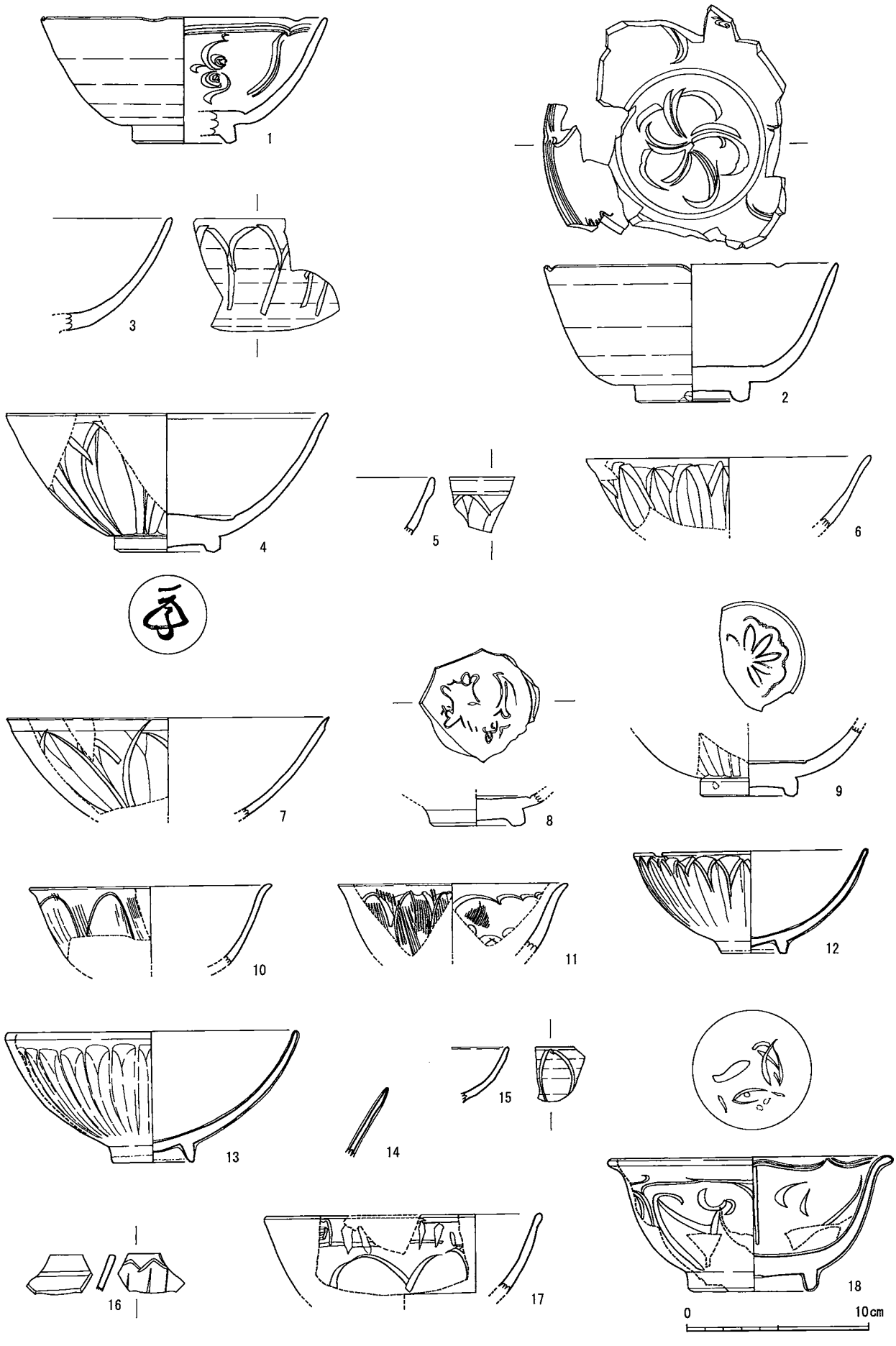
126-18　Ｆ－３区より出土した青白磁の合子蓋。八角形になるものと思われる。釉調は明青白色で体部内面以外は施釉し、外面端部は釉を掻き取っている。

126-19　Ｆ－２区より出土した白磁の合子蓋。復原口径4.8㎝。器高1.2㎝。外面は型押しで花文を象る。釉調は灰白色で外面全体に施釉。

126-20　Ｆ－３区より出土した青白磁の合子身。外面は型押しで花弁を象る。端部には受けを作る。釉調は灰白色で内面と外面は中位まで施釉する。口縁部は釉を掻き取る。

126-21　Ｃ－３区より出土した青白磁の合子の身。外面は型押しで花弁を象る。釉調は灰白色で外面全体に施釉。

126-22　Ｃ－３区より出土した白磁の小壺身。外面



第125図　Ⅲ'層出土遺物実測図③（1/3）

は回転ヘラ削り。釉調は灰白色で内面と外面底部付近まで施釉。

126-23　Ｆ－３区より出土した青白磁小壺の蓋。直径4.8㎝。上面は型押しで施文。釉調は灰白色で上面に施釉。

126-24　Ｆ－３区より出土した青白磁の小壺の身。復原口径4.2㎝。外面は下半は型押しで花弁を、上半を蓮華を象り、体部中位で接合している。釉調はにぶい灰緑色で外面は体部下半まで、内面は体部上位まで施釉し、口唇部の釉を掻き取る。

126-25　Ｆ－２区より出土した白磁小壺の身。外面は型押しで蓮弁を象る。釉調は灰白色で外面と内面中位まで施釉。

127-1　Ｅ－２区他より出土した青磁盤で、大宰府編年の龍泉窯系青磁盤Ⅲ類。復原口径22.4㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は外折し、口縁部は上方に引き上げる。内外面無文。焼成が悪く、胎土は灰褐色。釉調はオリーブで豊かに施釉し、貫入が多い。

127-2　Ｆ－３区より出土した青磁盤で、大宰府編年の龍泉窯系青磁盤Ⅳ類。体部外面は回転ヘラ削りを行う。口縁部は外折する。内面はヘラの片彫りで施文する。釉調は暗緑青色。

127-3　Ｅ－２区他より出土した青磁盤で、大宰府編年の龍泉窯系青磁盤Ⅳ類。復原口径30.5㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は外折する。内面はヘラの丸彫りで花文を描く。釉調は淡暗緑色豊かに施釉し、貫入が多い。

127-4　Ｅ－２区より出土した青磁盤で、大宰府編年の龍泉窯系青磁盤Ⅲ類。体部外面は回転ヘラ削り。内外面無文。釉調は青緑色で豊かに全面施釉した後、畳付の釉を掻き取る。

127-5　Ｇ－３区他より出土した青磁盤で、大宰府編年の龍泉窯系青磁盤Ⅲ類。復原口径23.1㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行う。口縁部は外折し、端部は上方へ引き上げる。内面は幅広のクシ状の工具で縦方向に施文する。釉調はにぶい暗緑色で豊かに施釉し、貫入が多い。

127-6　Ｃ－３区より出土した青磁盤Ⅳ類で、大宰府編年の龍泉窯系青磁盤Ⅳ類。見込みにはヘラの片彫りで施文する。釉調はにぶい緑青色で全面施釉の後、底部の釉を蛇の目状に掻き取る。

127-7　Ｅ－１区より出土した青磁で、大宰府編年の龍泉窯系青磁酒会壺Ⅲ類。体部対面は先端の丸い工具で縦に溝を彫る。釉調は緑青色で透明度が高い。

127-8　Ｆ－２区より出土した青白磁碗。体部外面は回転ヘラ削り。高台は内部を浅く削り出す。見込みにはヘラの片彫りで施文する。釉調は灰青白色。

127-9　Ｇ－２区より出土した青白磁碗。復原口径12.4㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は型押しで雷文と蓮弁を象る。釉調は明灰白色。

127-10　Ｅ－３区より出土した青白磁碗。体部外面は回転ヘラ削りを行い、ヘラの片彫りで縦に蓮弁状の施文。内部はヘラ描きで施文。釉調は灰白色。

127-11　Ｇ－２区より出土した青白磁碗。体部は花弁状に大きく型押しで外面に押し出し、押し出しの境には輪花を作る。内外面には押し出しによる花弁状の境がつき、内面には型押しによる施文がある。釉調は明青白色。

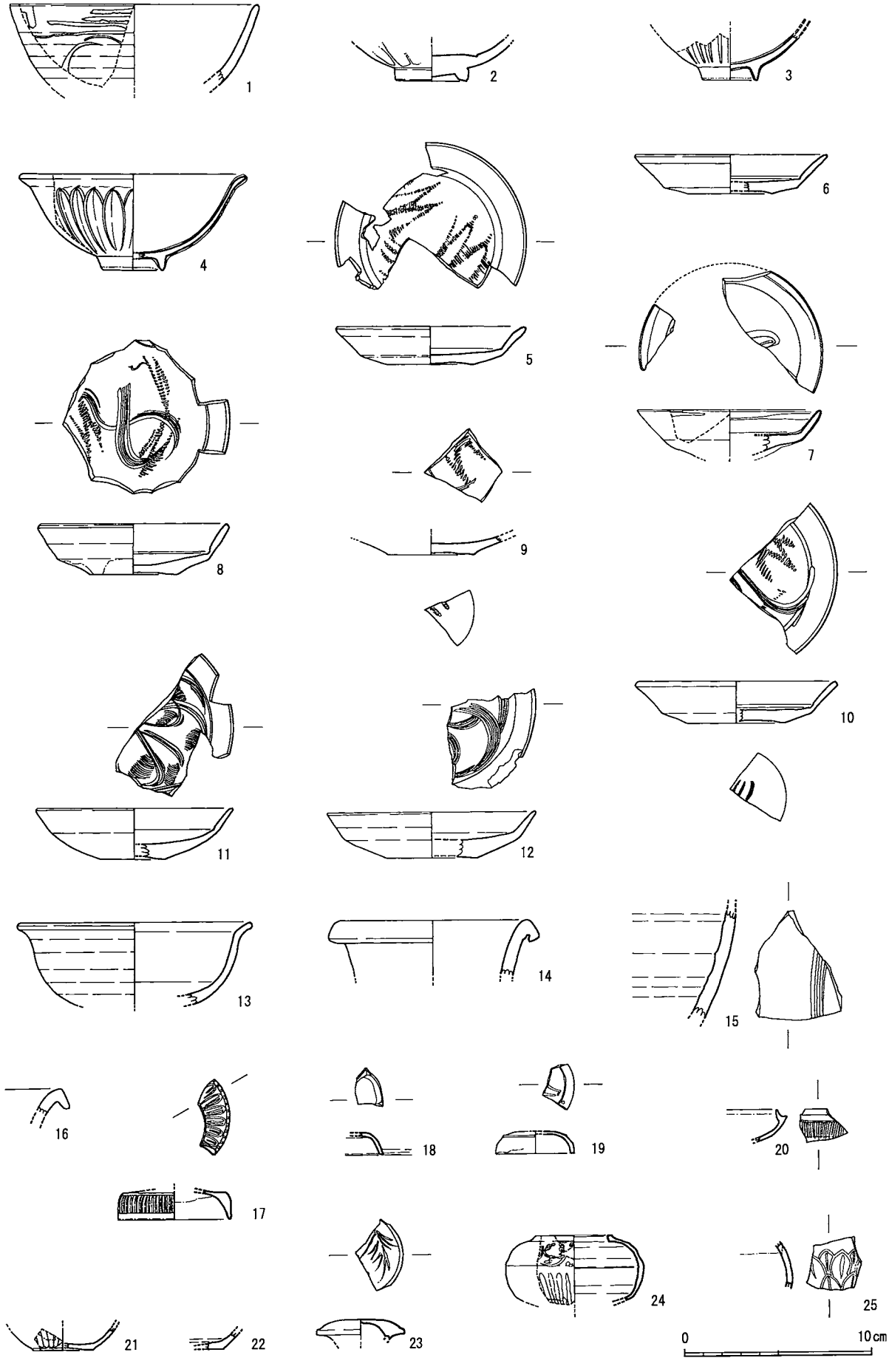
127-12　Ｇ－２区より出土した青白磁皿。体部高台ともに器肉が薄く、見込みはヘラの片彫りで施文。釉調は明緑白色で全面施釉し、畳付の一部に釉を掻き取った跡がある。

127-13　Ｆ－３区より出土した青白磁皿。口縁部は外反し、折り曲げて水平にする。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面には中位に沈線を巡らす。釉調は灰緑白色。

127-14、15、16　Ｅ－２区他より出土した青白磁梅瓶。14は口縁部はで、回転ヘラ削りにより段を付ける。15は肩部で、回転ヘラ削りのあとクシで施文する。16は底部で、外面は回転ヘラ削り。釉は底部まで施釉する。釉調は青白色。

127-17　Ｆ－２区より出土した青磁小壺で、越州窯のものと思われる。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は肥厚して外反させる。肩部には沈線を巡らす。胎土は灰褐色で砂粒が混じる。釉調はオリーブ灰色で、口唇部の釉を掻き取る。

127-18　Ｆ－３区より出土した青磁小壺で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小壺Ⅳ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、器体は口縁部にかけて細くなる。釉は



第126図　Ⅲ'層出土遺物実測図④（1/3）

オリーブ灰色で全面施釉後畳付の釉を掻き取る。釉に貫入多し。

127-19　Ｆ－３区他より出土した褐釉壺で、茶入。復原口径3.2cm。器高4.8cm。体部中位には沈線を巡らし、口縁部は、肩部より内折したあと外反する。底部には糸切り痕が残る。胎土は褐色で緻密。釉調は暗褐色で体部下位まで施釉する。

127-20　Ｆ－２区他より出土した黒釉壺。復原口径10.0cm。体部内外面は回転ナデ。口縁部は外折し、肩部に沈線を巡らす。釉調は黒釉で、胎土の砂粒の変化により茶色に変色する。胎土は暗灰色で砂粒が混じるが緻密。

127-21　Ｆ－２区より出土した黒釉壺。体部外面は回転ヘラ削りし、内外面とも無文。胎土は褐色で緻密。釉調は黒色。

127-22　Ｆ－２区より出土した黒釉壺。壺の口縁部で、受けの部分が欠損したものと思われる。内外面とも無文。胎土は暗褐色で緻密。釉調は黒色。

127-23　Ｆ－２区より出土した褐釉壺。体部外面は回転ヘラ削りを行う。胎土は暗褐色で緻密。外面の釉調は暗褐色。

127-24　Ｅ－２区より出土した褐釉壺。復原口径9.4cm。口縁部は内傾し、端部は肥厚し外反。胎土は灰色で砂粒が混じる。釉調は暗褐色。

128-1　Ｅ－２区より出土した天目碗。復原口径10.8cm。体部外面は回転ヘラ削りを施す。口縁部は内傾しくびれをもつ、いわゆる鼈口。釉調は黒褐色で、錆釉をしたのちに黒釉を体部中位まで施釉する。口縁部が褐色の帯が廻り、その下位は黒色が勝る。

128-2　Ｅ－２区他より出土した天目碗。体部外面は回転ヘラ削りを施す。口縁部は内傾しくびれをもつ、いわゆる鼈口。釉調は褐色で、錆釉をしたのちに黒釉を体部中位まで施釉し、黒釉が禾目状になる。

128-3　Ｆ－２区より出土した黄釉壺。口縁部の破片で、口縁部は折り曲げ肥厚する。釉は黄褐色。

128-4、5　Ｆ－２区他より出土した黄釉盤。４は口縁部の破片で、口唇部は肥厚し、口唇部が水平になる。５は底部の破片。両者の接点は不明だが、深い鉢状の器形である。体部外面はナデ調整。胎土は灰褐色で砂粒が多く粗い。化粧土を施した後、釉は内面と口縁部まで施釉し、体部外面は施釉しない。内面は黄褐色で、外面は灰黄色である。口唇部の一部の釉を掻き取り、目積みの跡がある。他に同一個体と思われる破片が２点ある。

128-6　Ｆ－２区より出土した緑釉盤。口縁部の破片で、口縁部は断面四角に肥厚する。胎土は灰色で砂粒が多く粗い。体部外面はナデ調整。釉は暗緑色で、内面と体部中位まで施釉する。他に同一個体と思われる破片が16点ある。

128-7　Ｄ－２区より出土した緑釉盤。口縁部の破片で、口縁部は断面四角に肥厚する。体部外面はナデ調整。胎土は灰色で砂粒が多く粗い。釉は暗緑色で、口唇部外側に目積みの跡がある。

128-8　Ｅ－１区他より出土した瀬戸窯合子。体部外面は回転ヘラ削りを行い、肩部に隆線状と円状の粘土を貼る。円盤の上には菊花状のスタンプを押す。釉は暗灰緑色で内面と外面底部付近まで施釉する。

128-9　Ｅ－１区他より出土した瀬戸窯の水注。把手の破片で、手づくねで整形し、外面はヘラで沈線を施す。釉は淡緑白色の灰釉で、把手内側には施釉しない。

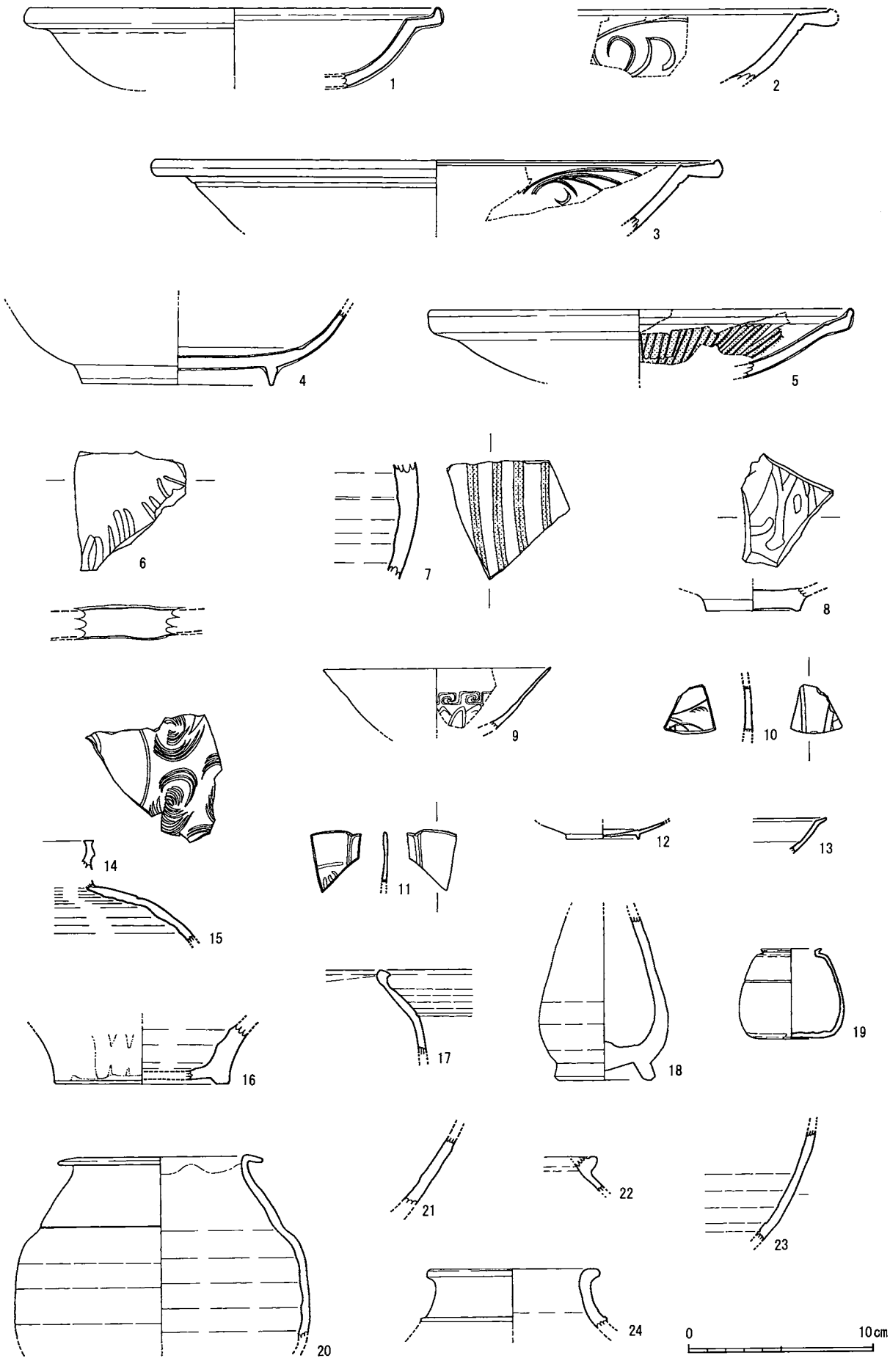
128-10　Ｆ－２区より出土した須恵質土器で壺または甕。体部外面には格子叩きを行い、内面は当て具痕を指でナデ消す。胎土は灰色で砂粒が少なく、比較的粗い。色調は灰色。

128-11　Ｅ－２区より出土した須恵質土器で壺または甕。体部外面には山形叩きを行い、内面は当て具痕をヘラ状の工具でナデ消す。胎土は灰色で比較的粗く、頁状に焼き上がる。色調は灰色。

128-12　Ｆ－３区より出土した須恵質土器で壺または甕。11と同一個体の可能性がある。体部外面は山形叩きと格子叩きが交差する。内面は剥離し観察できない。胎土は灰色で比較的粗く、頁状に焼き上がる。色調は灰色。

128-13　Ｆ－３区他より出土した須恵質土器で東播系の捏鉢。復原口径30cm。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部は断面三角に肥厚する。口縁部付近は重ね焼きにより黒変する。色調は灰色。

128-14　Ｇ－２区他より出土した須恵質土器で東播系の捏鉢。復原口径31cm。体部内外面は回転ナデ調



第127図　Ⅲ'層出土遺物実測図⑤（1/3）

整。口縁部は直に引き上げ、口唇部を水平にする。口縁部付近は重ね焼きにより黒変する。色調は灰色。

128-15　Ｇ－２区より出土した須恵質土器で東播系の捏鉢。復原口径28.0㎝。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部は断面三角に肥厚する。口縁部付近は重ね焼きにより暗灰色。体部の色調は灰白色。

128-16　Ｅ－２区より出土した須恵質土器で在地系の擂鉢。底部の破片で、見込み部分は円形に使用痕が残り、くぼんでいる。擂り目は４本のクシ目。色調は灰色。

128-17　Ｅ－２区より出土した須恵質土器で在地系の捏鉢。復原口径30.2㎝。器高9.9㎝。外面は縦にハケ目調整し、口縁部は回転ナデ調整。底部外面は回転方向に強いハケ目調整。内面はクシ状の工具で縦、斜め方向に調整を行い、見込み付近は円形に調整。色調は灰色。

129-1　Ｅ－２区他より出土した須恵質土器で在地系の擂鉢。外面は縦にハケ目調整し、口縁部は回転ナデ調整。内面はクシ状の工具で斜め方向に調整を行い、擂り目は９本単位のクシ目。胎土はにぶい橙色で、表が暗青灰色に変化し、硬質に焼き上がる。

129-2　Ｇ－２区より出土した常滑窯の甕。口縁部の破片で、内外面は回転ナデを行い、外反した口縁部の端部を僅かに上へ引き上げる。色調はにぶい赤褐色。

129-3　Ｅ－２区より出土した須恵質土器で在地系の鉢。復原口径45.5㎝。器高8.0㎝。外面は縦にハケ目調整し、口縁部は外反させ、回転ナデ調整。底部は回転による、強いハケ目調整。内面はクシ状の工具で横方向に調整を行う。胎土は灰白色で、砂粒が少ない。

129-4　Ｅ－２区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部外面には２条の凸帯を巡らし、間には大小の菊花型のスタンプを押す。スタンプ部分は回転ナデで、スタンプを押さない部分はヘラ磨き調整。内面はクシ状の工具で横と斜め方向に調整を加える。色調は灰色。

129-5　Ｆ－３区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部内外面は回転ナデ調整。外面には凸帯を巡らし、その下には幅広にヘラ彫りをする。色調は灰色。

129-6　Ｆ－２区より出土した須恵質土器で鉢の破片。体部外面は縦にハケ目調整を行い、口縁部は外折し回転ナデ調整を行う。内面は回転ナデ調整を行い、折り返した口縁上には竹管状のスタンプを押す。色調は灰色。

129-7　Ｆ－３区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部は肥厚し、その下に２条の凸帯を巡らす。凸帯の間には菊花状と連子状の２種類のスタンプを連続して押す。色調は、外面は黒色で、内面は灰色。

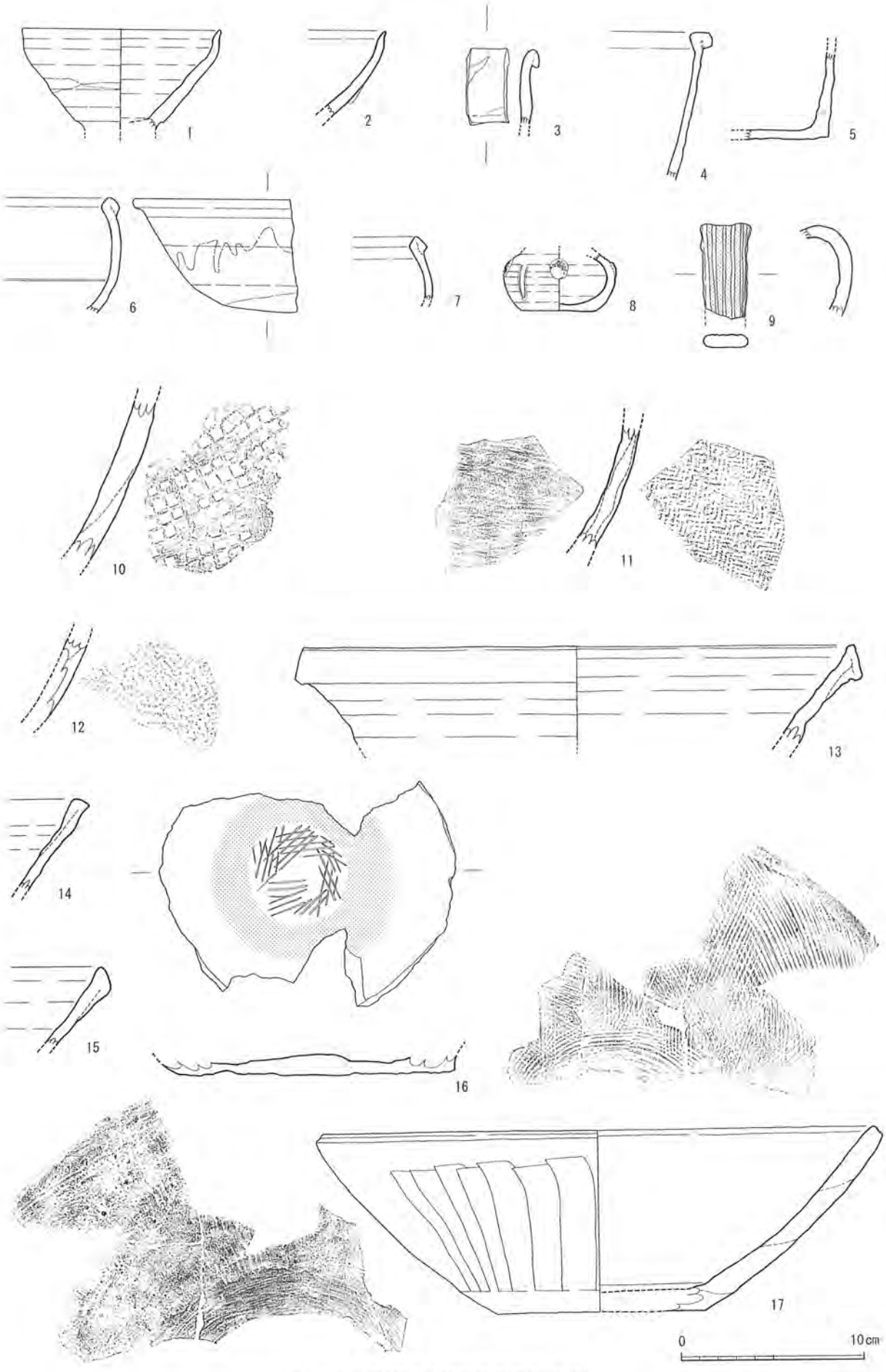
129-8　Ｇ－２区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部中位より内湾した口縁部にさらに口縁部を取り付けて外反させ、端部を水平にする。体部内外面は回転ナデ調整。体部外面の口縁部下には菱形のスタンプを連続して押し、スタンプの間には乳を張り付ける。色調は黒色。

129-9　Ｆ－２区より出土した須恵質土器で鉢の破片。体部外面はハケで縦に調整をし、口縁部は外折し鍔状の口縁部を作る。口縁部は回転ナデ調整を行う。底部外面は回転台で強いハケ目調整を行う。内面は横方向にクシ状の工具で横方向に調整。内面上位は回転ナデで消している。口縁部の屈曲した面には菊花状の大きなスタンプを押し、文様を象る。色調は灰色。

129-10　Ｅ－２区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部外面は縦方向にナデ調整。内面は口縁部を折り曲げた指頭圧のあと、クシ状の工具で斜め方向に調整を加える。外面には大型の菊花状のスタンプを押す。色調は灰色。

129-11　Ｅ－２区より出土した瓦質土器で風炉の破片。体部外面は口縁部付近に２条の凸帯を巡らし、凸帯の内側に雷文状のスタンプを連続して押す。凸帯以外の面はヘラ磨きを行う。凸帯下には窓を付ける。内面はクシ状の施文具で調整を行う。色調は、外面が黒色で内面が灰色。

129-12　Ｇ－２区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部外面はナデ調整で、菊花状のスタンプを３つ連続して押す。内面はクシ状の工具で横方向に調整。色調はにぶい黄橙色。



第128図　Ⅲ'層出土遺物実測図⑥（1/3）

130-1　Ｆ－２区より出土した土師器坏。復原口径19.0cm。器高3.2cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なくやや細やか。見込みの横ナデは不明。色調は橙色。

130-2　Ｆ－２区より出土した土師器坏。復原口径14.1cm。器高3.0cm。底部はヘラ切りで、ヘラ記号が付く。胎土には砂粒が少なく、比較的細かい。見込みは横ナデは行わない。色調は橙色。

130-3　Ｅ－２区より出土した土師器坏。口径13.1cm。器高4.3cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや細かい。見込みに横ナデは行わない。体部は直立気味で器高が高い。内面にカーボンが付着し、口縁部には芯跡が残る。色調は橙色。

130-4　Ｅ－２区より出土した土師器皿。口径7.8cm。器高1.6cm。底部はヘラ切り。胎土には砂粒が混じるが細やか。体部は開く。見込みの横ナデは行わない。色調は橙色。

130-5　Ｅ－２区より出土した土師器皿。復原口径7.7cm。器高2.0cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込みは横ナデは行わない。色調はにぶい橙色。

130-6　Ｅ－２区より出土した土師器皿。口径8.0cm。器高1.1cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく細やか。見込みは横ナデを数回施す。器高が低い。色調は橙色。

130-7　Ｅ－２区より出土した土師器坏。復原口径11.9cm。器高3.8cm。底部はヘラ切り。胎土には砂粒が混じるがやや細やか。体部は内湾気味に丸みを持つ。見込みは横ナデを２回施す。色調は橙色。

130-8　Ｅ－２区より出土した土師器皿。口径7.8cm。器高1.5cm。底部はヘラ切り。胎土には砂粒が少なく細かい。器肉が厚くぽってりしている。見込みの横ナデは行わない。色調は浅黄橙色。

130-9　Ｅ－２区より出土した土師器皿。復原口径9.0cm。器高2.0cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なく、比較的細かい。見込みのナデは不明。色調はにぶい橙色。

130-10　Ｅ－２区より出土した土師器皿。口径7.7cm。器高1.2cm。底部はヘラ切り。胎土には砂粒が少なく、比較的細かい。器肉が厚くぽってりしている。色調は浅黄橙色。

130-11　Ｆ－２区より出土した土師器皿。復原口径8.5cm。器高1.5cm。底部はヘラ切り。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。見込みの横ナデは不明。色調はにぶい橙色。

130-12　Ｆ－２区より出土した土師器皿。口径7.8cm。器高1.6cm。底部はヘラ切り。胎土には砂粒が混じるが細かい。見込みに横ナデはしない。器肉が厚くぽってりとしている。色調は橙色。

130-13　Ｅ－２区より出土した白色土師器皿で京都系のものと思われる。復原口径4.9cm。器高1.6cm。手づくねで成形し、体部内外面はナデ調整する。胎土には砂粒が少なくきめ細やか。色調は灰白色。

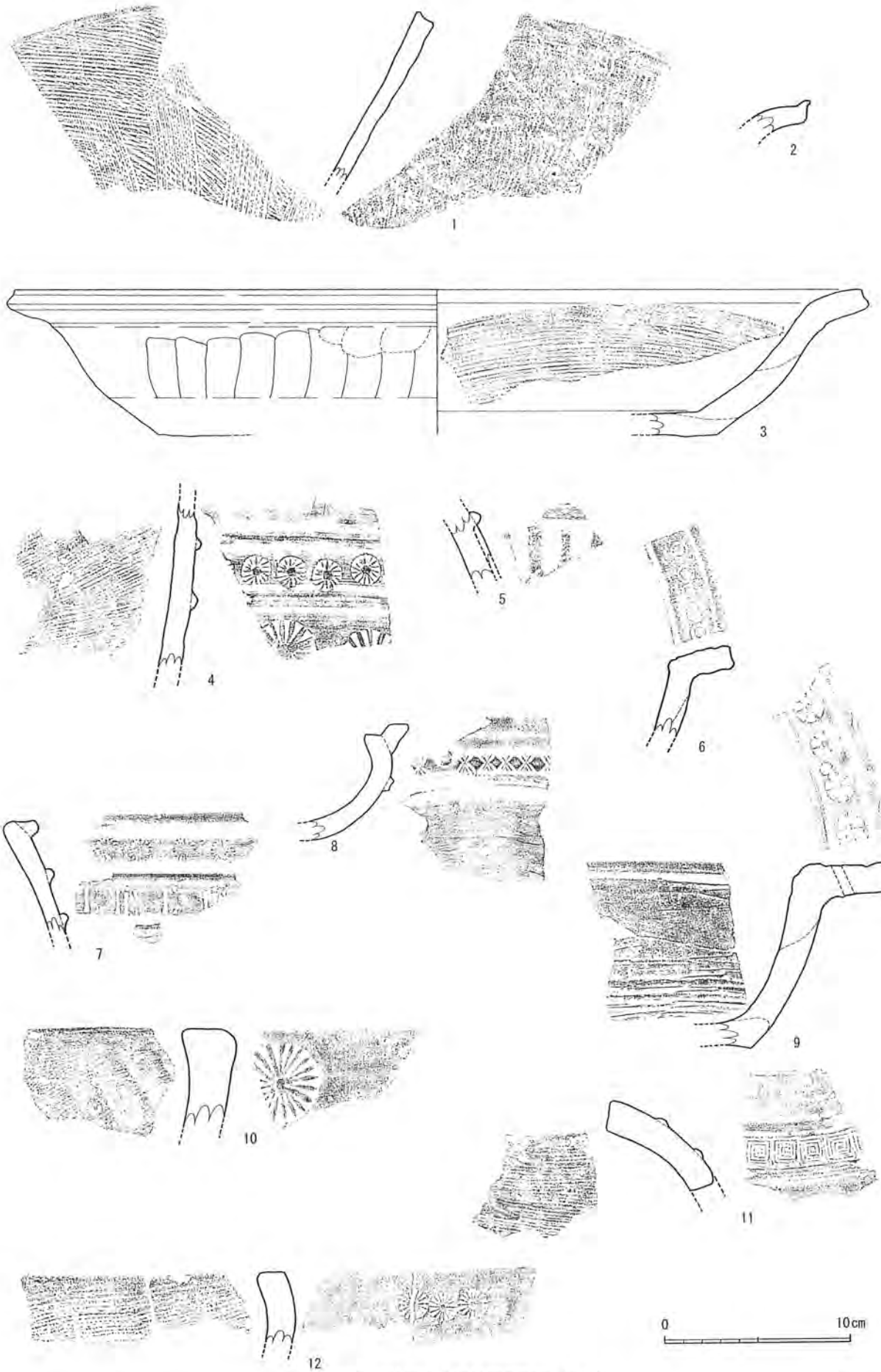
130-14　Ｅ－２区より出土した白色土師器皿で京都系のものと思われる。復原口径7.4cm。器高1.7cm。手づくねで成形し、体部内外面はナデ調整する。胎土には砂粒が少なくきめ細やか。色調は灰白色。

130-15　Ｆ－２区より出土した白色土師器埦で吉備系のものと思われる。復原口径11.0cm。体部外面は口縁部に回転ナデの痕跡があり、それより下位は斜め下方向に指ナデを行う。内面は回転ナデ。胎土には砂粒が少なく細やか。器肉は薄く、体部は開く。色調は灰白色。

130-16　Ｆ－２区より出土した白色土師器埦で吉備系のものと思われる。復原口径10.9cm。体部外面は口縁部に回転ナデの痕跡があり、それより下位は斜め下方向に指ナデを行う。内面は回転ナデ。胎土には砂粒が少なく細やか。器肉は薄く、体部は開く。色調は灰白色。

130-17　Ｅ－２区より出土した土師器埦で吉備系のものと思われる。復原口径12.0cm。体部外面は口縁部に回転ナデの痕跡があり、それより下位は斜め下方向に指ナデを行う。内面は回転ナデ。口縁部はやや外反気味。口縁部と内面にカーボンが付着する。胎土には砂粒が少なく細やか。浅黄橙色。

130-18　Ｆ－２区より出土した瓦器皿。復原口径8.6cm。器高2.5cm。底部は糸切りで、ヘラ磨きにより痕跡を消している。口縁部を外反させ、端部を平らにする。内外面、見込みともヘラ磨きにより丁寧に仕上げる。胎土には砂粒が少なく細かい。色調は



第129図　Ⅲ'層出土遺物実測図⑦（1/3）

灰黄褐色。

130-19　Ｆ－３区より出土した瓦器埦。復原口径13.1cm。体部外面中位までは回転ナデの痕跡があり、中位には、押し出しにより残った底部の端部をヘラにより削り取った痕跡がある。ヘラ削り痕より下位は粗い横ナデ調整を行う。胎土は砂粒が少なく細やか。色調は、重ね焼きにより口縁部外面と内面下位まで暗灰色。他は灰白色。

130-20　Ｇ－２区より出土した滑石製石鍋。復原口径13.0cm。口縁部下に鍔を持つ。体部外面は縦方向に細かなノミ削りを施し整形。鍔の下には２次加工のための切断面がある。外面にはカーボンの付着有り。

130-21　Ｆ－２区より出土した滑石製石鍋。ミニチュアの石鍋で、口縁部下に鍔を持つ。体部はノミにより丁寧に仕上げてある。

130-22　Ｇ－２区より出土した滑石製石鍋。復原口径4.0cm。器高1.4cm。ミニチュアの石鍋で、口縁部下に鍔を持つ。体部はノミにより丁寧に仕上げてある。

130-23　Ｅ－１区より出土した滑石製石鍋。復原口径22.4cm。口縁部下に鍔を持つ。体部外面は縦に粗いノミ削りを行う。

130-24　Ｅ－２区より出土した滑石製石鍋。復原口径21.0cm。口縁部下に鍔を持つ。体部外面は縦に細かなノミ削りを行う。体部外面にはカーボンが付着する。破片は２次加工のため、鋭く縦に切断してある。

130-25　Ｅ－１区より出土した滑石加工品。縦7.0cm。横5.0cm。石鍋を方形に加工し、中央部に穿孔する。

130-26　Ｆ－２区より出土した滑石加工品。縦3.5cm。横3.7cm。石鍋を馬楝状に整形し、つまみを付ける。つまみの穿孔部分には金属棒を通した痕跡がある。内外面共にカーボンが付着しており、石鍋の破損部の修理材として利用されたものであろう。

130-27　Ｆ－３区より出土した滑石加工品。縦4.8cm。横2.2cm。木の葉型に加工し、２カ所に穿孔するが、貫通していない。

130-28　Ｆ－２区より出土した滑石加工品。縦5.6cm。横2.6cm。台形に加工して２面にクシ目を入れており、何らかの工具の可能性がある。

131-1　Ｅ－１区より出土した滑石加工品でスタンプ原体か。縦5.4cm。横4.2cm。厚み1.1cm。原体面には綾杉状の陰刻を施し、背面は下部に稜を作り縦方向に穿孔する。

131-2　Ｅ－１区より出土した滑石加工品。縦5.5cm。横3.3cm。厚み1.0cm。方形に整形し、長軸の両断面より穿孔するが貫通はしない。広い面には擦過痕があり、何らかの工具の可能性がある。

131-3　Ｆ－３区より出土した滑石加工品。縦3.0cm。横2.0cm。弾丸型に加工し、一部に穿孔する。

131-4　Ｆ－３区より出土した滑石加工品で、石錘。縦4.1cm。横2.2cm。厚み1.1cm。石鍋の胴部を方形に切り取り、端部に抉りを入れる。

131-5　Ｅ－３区より出土した滑石加工品で念持仏。縦4.5cm。横2.6cm。厚み1.0cm。頭部は欠損するがノミで丁寧に成形する。石鍋を再利用したもので、背面は石鍋の旧製品面である。

131-6　Ｇ－２区より出土した硯。海の部分の破片。石材は頁岩。

132-1　Ｇ－２区より出土した不明青銅製品。縦3.2cm。横1.2cm。厚み0.6cm。

132-2　Ｆ－２区より出土した不明青銅製品。縦3.0cm。横1.3cm。厚み0.4cm。

132-3　Ｅ－３区より出土した不明青銅製品。縦3.1cm。横1.3cm。厚み0.6cm。

132-4　Ｂ－３区より出土した不明青銅製品。縦3.3cm。横1.5cm。厚み0.6cm。

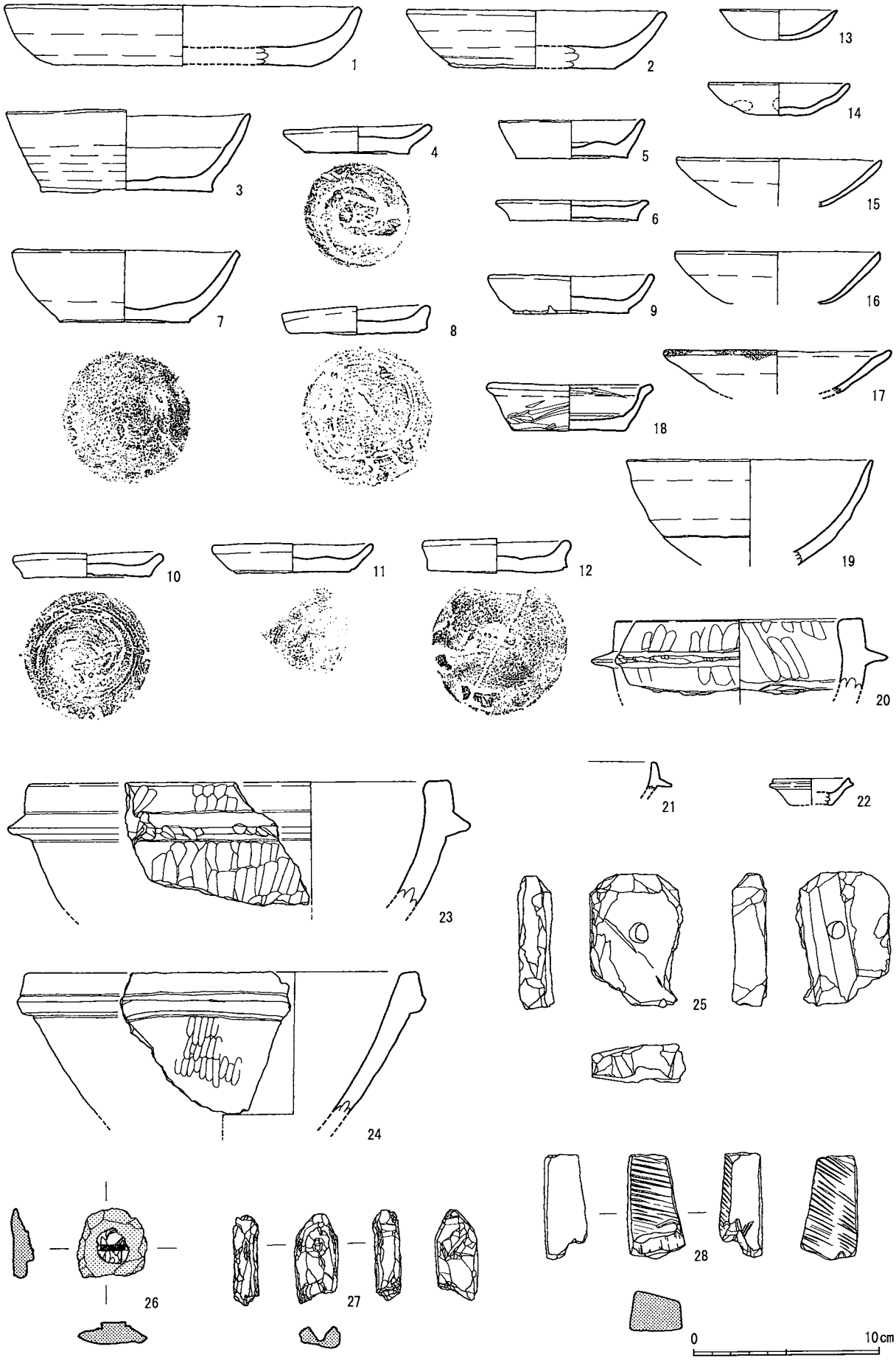
132-5　Ｇ－２区より出土した鋲状青銅製品。円盤部の直径は1.8cm。釘部分は1.0cm で、先端が欠けている。

132-6　Ｇ－２区より出土した鋲状青銅製品。円盤部は2.0×1.5cm の楕円形。釘部分は0.3cmで、先端が欠けている。

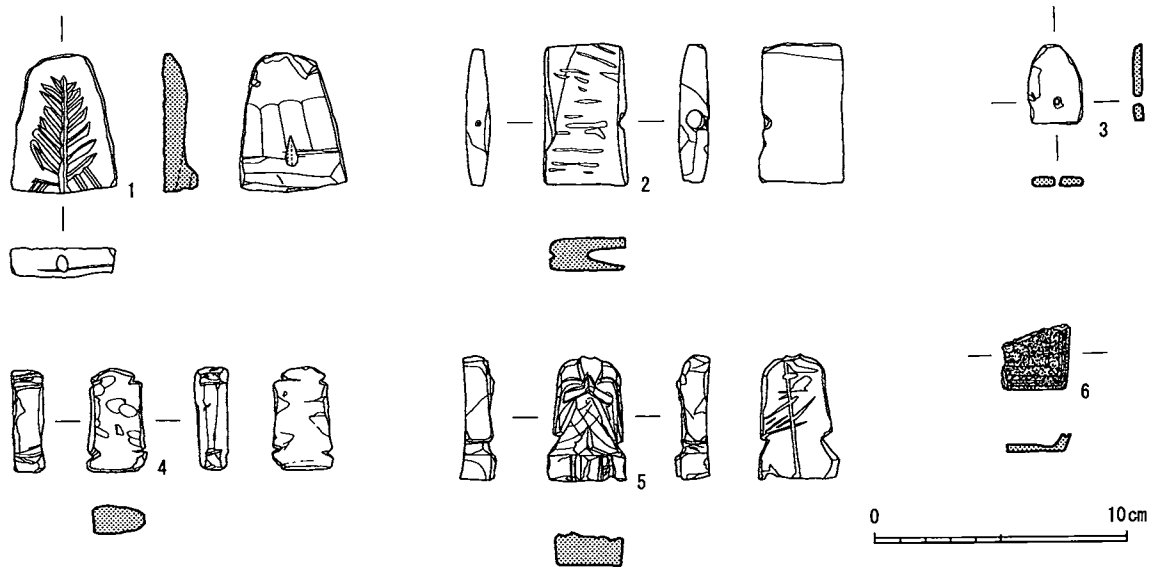
132-7　Ｆ－３区より出土した不明青銅製品。Ｔ字状を為す。縦1.5cm。横1.8cm。

132-8　Ｇ－２区より出土した青銅製品で耳掻き。縦9.7cm。横0.6cm。厚み0.4cm。

132-9　Ｆ－２区より出土した青銅製品。直径3.4



第130図　Ⅲ'層出土遺物実測図⑧（1/3）



第131図　Ⅲ'層出土遺物実測図⑨（1/3）

cmの皿状を為し、上半が欠損している。水滴か。

132-10　Ｅ－１区より出土した青銅製品。縦3.5cm。横1.5cm。蓮弁状を為す板状の製品で、何らかの装飾具と思われる。

132-11　Ｄ－３区より出土した青銅製品。縦3.5cm。横1.6cm。欠損をしているが、水注などの把手と思われる。

132-12　Ｂ－２区より出土した不明青銅製品。直径2.8cmの高台状のリングが付き、反面には直径2.0cmの凸帯状のリングが付く。器肉が薄く、周辺部は欠損している。

132-13　Ｇ－２区より出土した青銅製水滴。直径3.1cm、器高1.7cmの本体に直径1.1cmの口縁が付く。

132-14　Ｇ－２区より出土した青銅製品。縦2.4cm。横0.6cm。断面Ｕ字状で、何らかの縁を飾る装飾具。

132-15　Ｆ－３区より出土した鉄製刀。縦6.1cm。横2.3cm。厚み1.2cm。錆が激しく地金の断面は不明。

132-16　Ｅ－２区より出土した鉄製刀。縦3.7cm。横2.5cm。厚み1.1cm。錆が激しく地金の断面は不明。

132-17　Ｅ－２区より出土した鉄製刀。縦4.2cm。横1.2cm。地金の厚み0.6cm。

133-1　Ｆ－２区より出土した鉄製刀。縦14.9cm。横2.5cm。厚み0.6cm。錆が激しく地金の断面は不明。

133-2　Ｅ－２区より出土した鉄製刀。縦14.7cm。横2.2cm。地金の厚みは0.7cm。

133-3　Ｅ－２区より出土した鉄製刀。縦13.0cm。横1.9cm。厚み0.3cm。

133-4　Ｆ－２区より出土した鉄製刀。縦10.2cm。横2.8cm。厚み0.3cm。

133-5　Ｇ－２区より出土した鉄製刀。縦6.9cm。横2.0cm。厚み0.9cm。錆による膨張で地金の厚みは不明。

133-6　Ｆ－２区より出土した鉄製刀。縦4.9cm。横3.0cm。厚み0.3cm。

133-7　Ｆ－２区より出土した鉄製刀。縦8.2cm。横2.5cm。地金の厚み0.5cm。

133-8　Ｅ－２区より出土した鉄製刀。縦10.9cm。横1.8cm。地金の厚み0.3cm。

133-9　Ｅ－２区より出土した錐状鉄製品。縦12.0cm。木製の柄が付いており、金属部分は先端の尖る角柱で、一辺が0.6cmの正方形。

133-10　Ｅ－２区より出土した鉄製刀。縦12.8cm。横1.6cm。地金の厚み0.3cm。

133-11　Ｅ－２区より出土した鉄製刀。縦8.8cm。横1.3cm。厚み0.3cm。

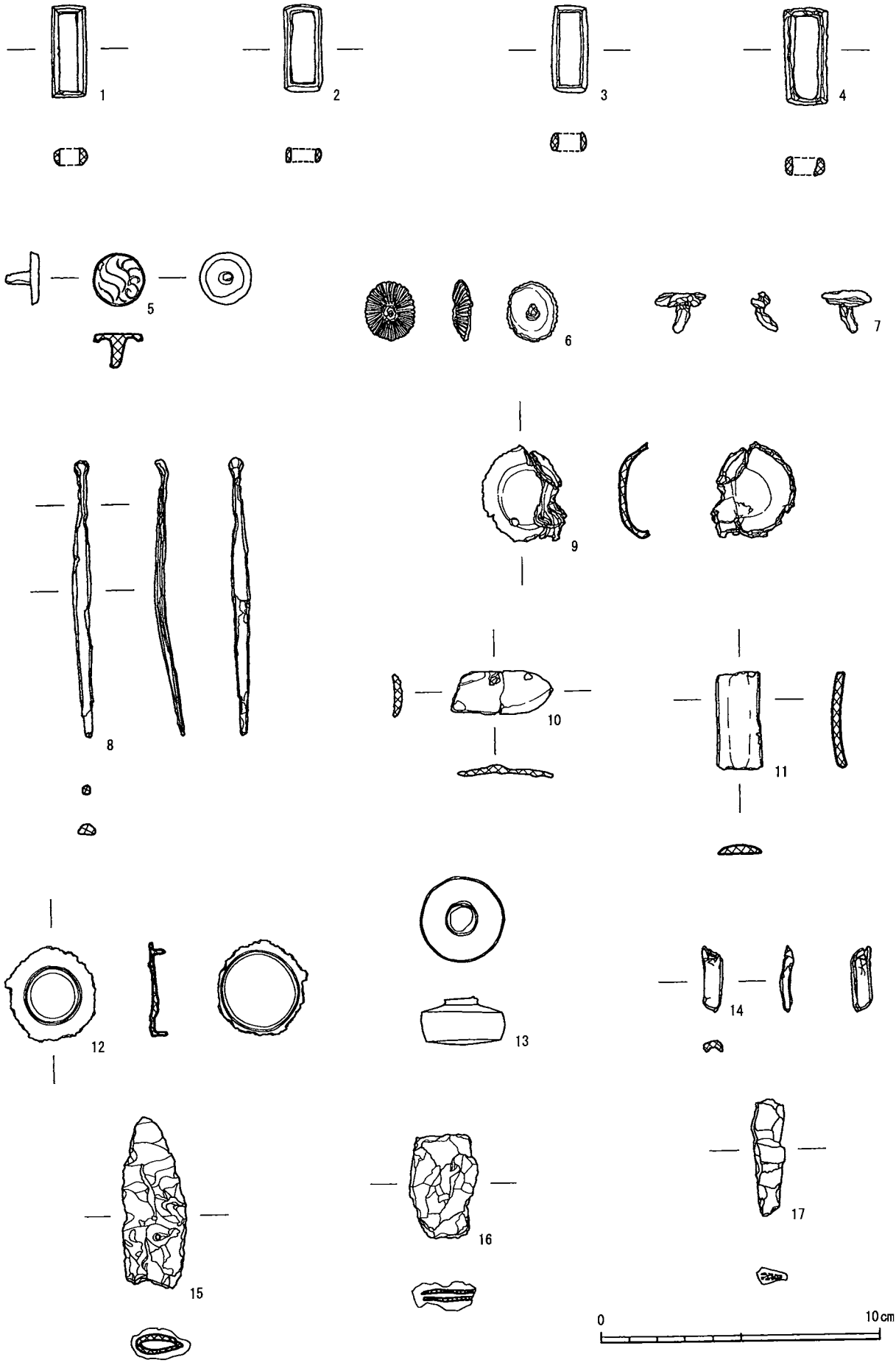
133-12　Ｅ－２区より出土した鉄製品。板状で鎧などの可能性がある。縦3.1cm。横3.1cm。

134-1　Ｃ－３区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦11.8cm。断面1.2×1.1cm。地金の厚みは不明。

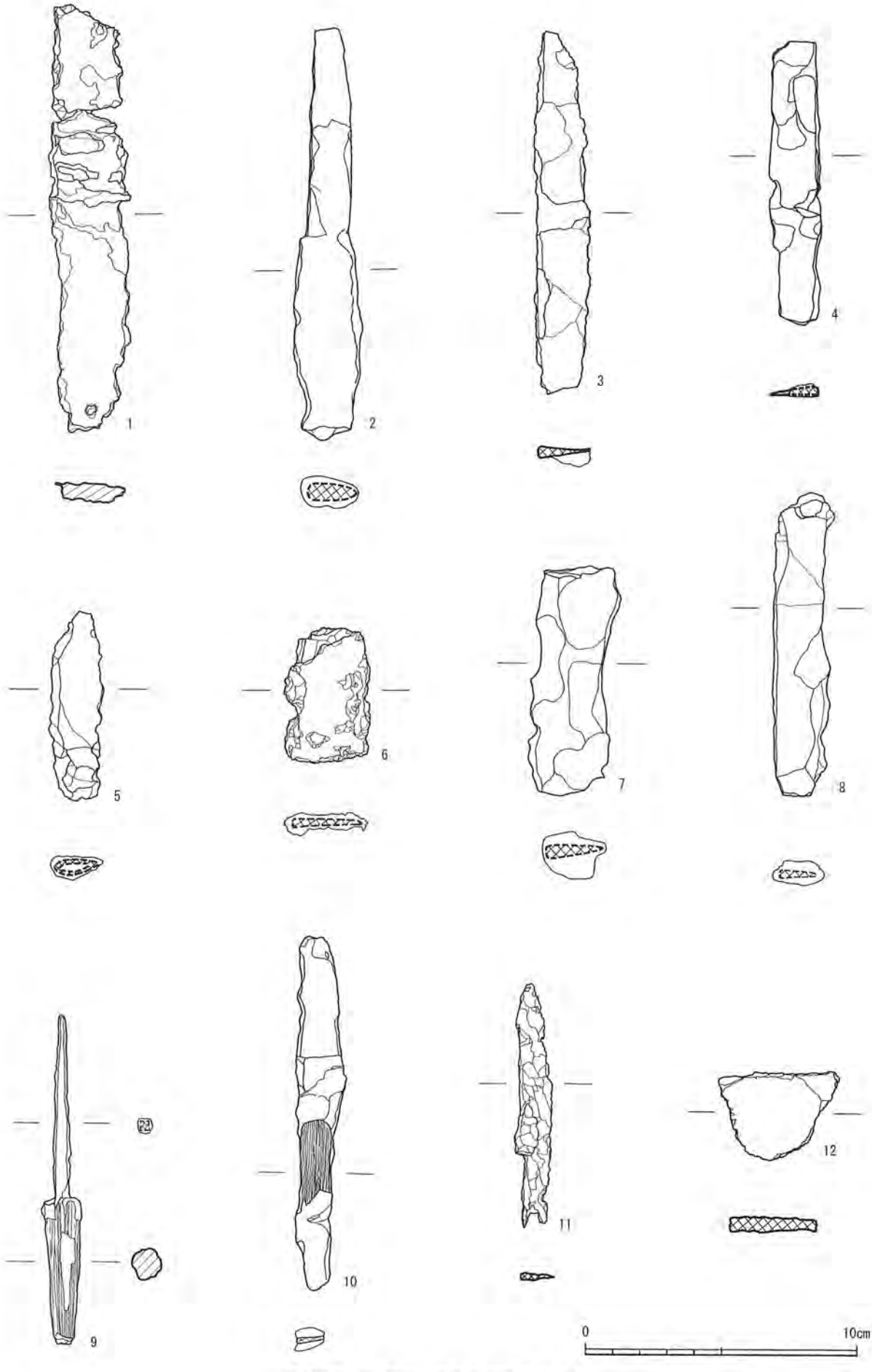
134-2　Ｅ－３区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦8.0cm。断面0.8×0.8cm。地金の厚みは不明。

134-3　Ｅ－３区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦6.8cm。断面1.0×0.9cm。地金の厚みは不明。

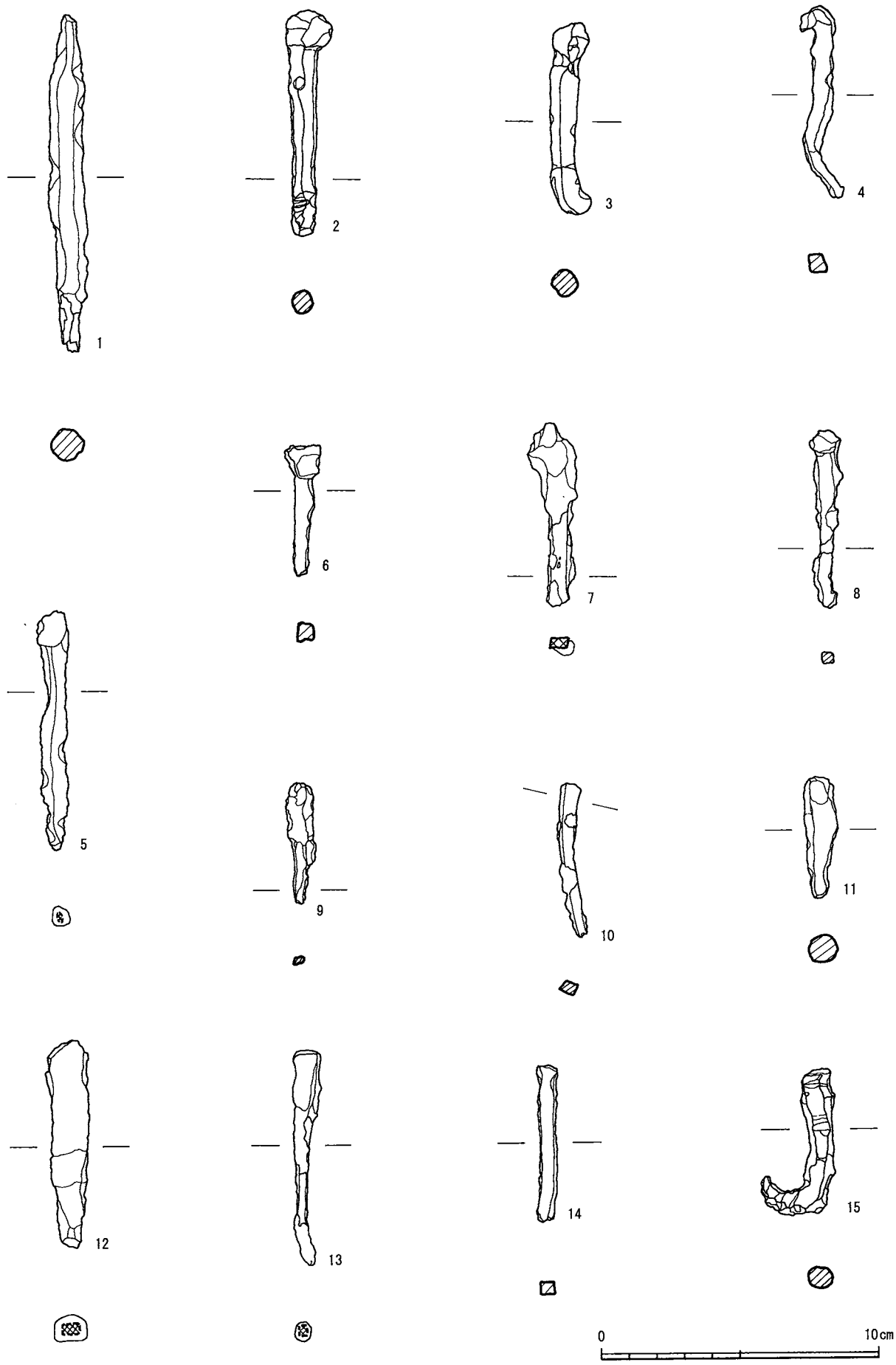
134-4　Ｅ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦



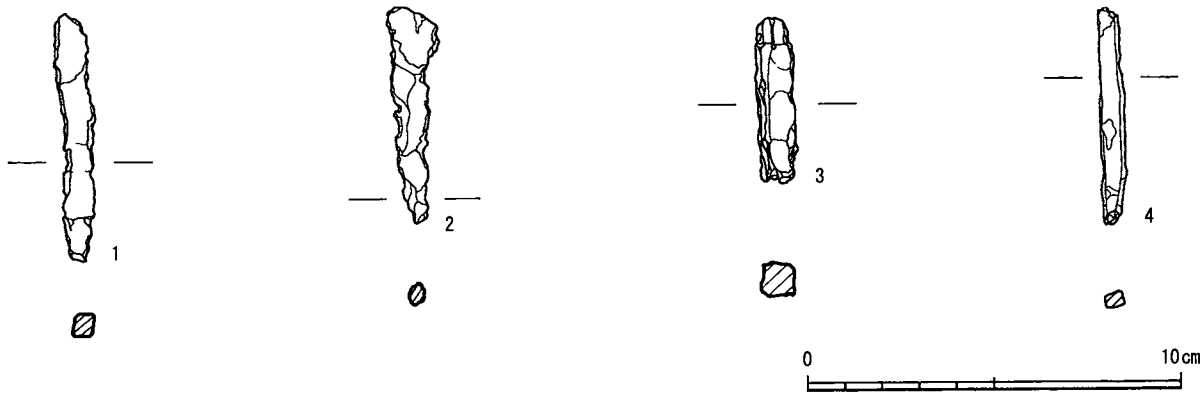
第132図　Ⅲ'層出土遺物実測図⑩（1/2）



第133図　Ⅲ'層出土遺物実測図⑪（1/2）



第134図　Ⅲ'層出土遺物実測図⑫（1/2）



第135図　Ⅲ'層出土遺物実測図⑬（1/2）

7.0cm。断面0.7×0.7cmの正方形。

134-5　Ｅ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦8.5cm。地金の断面は0.3×0.3cmの正方形。

134-6　Ｅ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦4.7cm。地金の断面は0.7×0.6cmのほぼ正方形。

134-7　Ｇ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦6.5cm。地金の断面は0.8×0.4cmの長方形。

134-8　Ｅ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦6.3cm。地金の断面は0.4×0.3cmのほぼ正方形。

134-9　Ｆ－３区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦4.2cm。地金の断面は0.4×0.3cmのほぼ正方形。

134-10　Ｅ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦5.3cm。地金の断面は0.5×0.4cmのほぼ正方形。

134-11　Ｆ－３区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦4.3cm。断面1.0×0.9cm。錆の膨張により地金の断面は不明。

134-12　Ｆ－３区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦7.4cm。地金の断面0.4×0.7cm。

134-13　Ｅ－１区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦7.2cm。地金の断面0.4×0.4cm。

134-14　Ｆ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦5.5cm。地金の断面0.5×0.4cmの正方形。

134-15　Ｅ－３区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦5.1cm。断面0.8×0.7cm。錆による膨張で地金の厚みは不明。

135-1　Ｆ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦6.5cm。地金の断面0.6×0.6cm。

135-2　Ｆ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦5.6cm。断面0.7×0.6cm。錆による膨張のため地金の断面は不明。

135-3　Ｆ－２区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦4.3cm。断面1.0×0.8cm。錆による膨張のため地金の断面は不明。

135-4　Ｅ－３区より出土した鉄製品で鍛造釘。縦5.5cm。地金の断面0.6×0.4cm。

10　その他の遺物

今までに述べた遺物の他に、層位が不明の状態の遺物の中から主なものを抽出してここで紹介する。

136-1　Ｅ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅱ３ｂ・４ｂ類。体部外面は回転ヘラ削りをし、口縁部は真っ直ぐ引き上げる。内面に堆線がある。釉は灰白色。

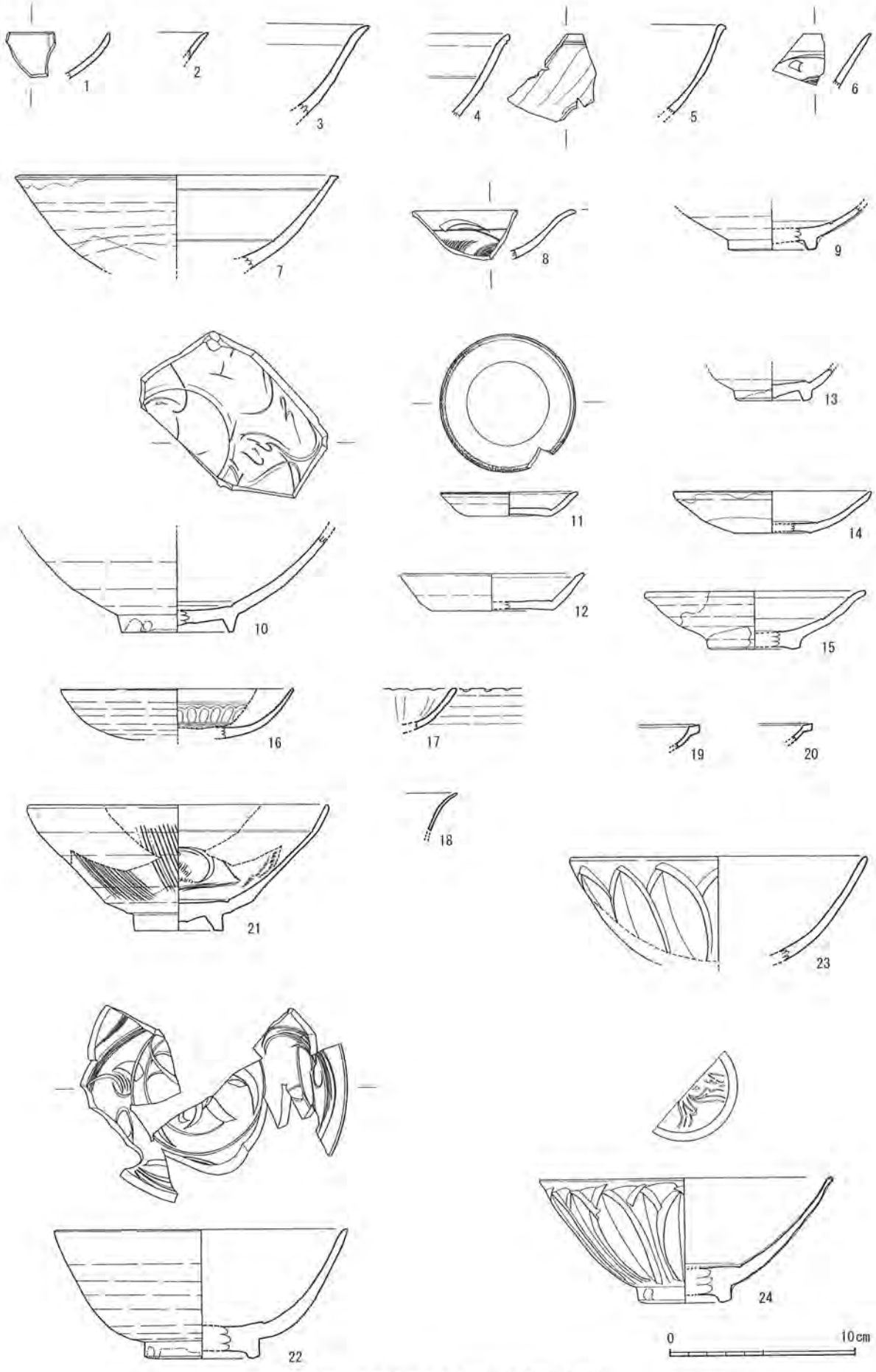
136-2　Ｃ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅱ３ａ・４ａ類。体部は回転ヘラ削りを行い、口縁部は真っ直ぐ引き上げる。釉はオリーブ黄色。

136-3　Ｂ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ２ａ類。外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。口縁部は外反する。釉は灰白色。

136-4　Ｂ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ２ｂ類。外面は回転ヘラ削りを行い、斜め上方にヘラ描きする。口縁部は外反する。釉は灰黄白色。

136-5　Ｂ－３区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅴ３類。外面体部は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。口縁部はやや外反し、端部を丸くする。釉は灰黄白色。

136-6　Ｄ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編



第136図　その他の出土遺物実測図①（1/3）

年の白磁碗Ⅶ類。外面体部は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りとクシで施文する。釉は灰白色。

136-7　Ｄ－３区他より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ｖ４ａ類。復原口径17.5㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。口縁部は外反し端部を水平にする。釉は灰オリーブ色。

136-8　Ｆ－１区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅵ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口縁部は外反させる。体部内面はヘラの片彫りとクシで施文。釉は灰オリーブ色。

136-9　大宰府編年の白磁碗Ⅸ類で、体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面見込みには沈線。釉は明青白色で、底部まで施釉。

136-10　Ｄ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁碗Ⅶ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラ描きで施文する。高台は細く削り出すが、Ⅴ類ほど高くはない。釉は灰オリーブ色。

136-11　Ｆ－３区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅸ１ａ類。口径7.5㎝。器高1.3㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。見込みには沈線を巡らす。釉は灰白色で、全面施釉の後に口縁部の釉を掻き取る。口縁部にはカーボンが付着する。

136-12　Ｄ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅸ１ｂ類。復原口径10.0㎝。器高2.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は外面無文。見込みには沈線を巡らす。釉は灰白色で、全面施釉の後、口縁部の釉を掻き取る。

136-13　Ｅ－１区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅲ２類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、高台を削り出す。釉は灰白色で、高台付近まで施釉。

136-14　Ｂ－３区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅵ１ｂ類。復原口径10.6㎝。器高2.3㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。見込みには沈線を巡らす。釉は灰黄白色で、体部外面中位まで施釉。

136-15　Ｂ－３区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁皿Ⅱ１ａ類。復原口径11.9㎝。器高3.1㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、高台を削り出す。内外面無文。口縁部は外反し、見込みには沈線を巡らす。釉は灰黄白色。

136-16　Ｅ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁Ｂ類(枢府系)。復原口径12.5㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は菊花状の文様を型押しする。釉は灰青白色。

136-17　Ｄ－２区より出土した白磁皿で、大宰府編年の白磁Ｅ類。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面は型押しで縦に隆線を付ける。口縁部は輪花を付ける。釉は白色。

136-18　Ｅ－２区より出土した白磁碗で、大宰府編年の白磁Ｂ類(枢府系)。内外面無文で、口縁部を外反させる。器肉は薄い。釉は灰青白色。

136-19　Ｄ－３区より出土した白磁小皿。型押しで整形し、口縁部は肥厚する。釉は灰黄白色で内面のみ施釉。

136-20　Ｄ－３区より出土した白磁小皿。型押しで整形し、口縁部は肥厚する。釉は灰黄白色で内面のみ施釉。19より口縁部が薄い。

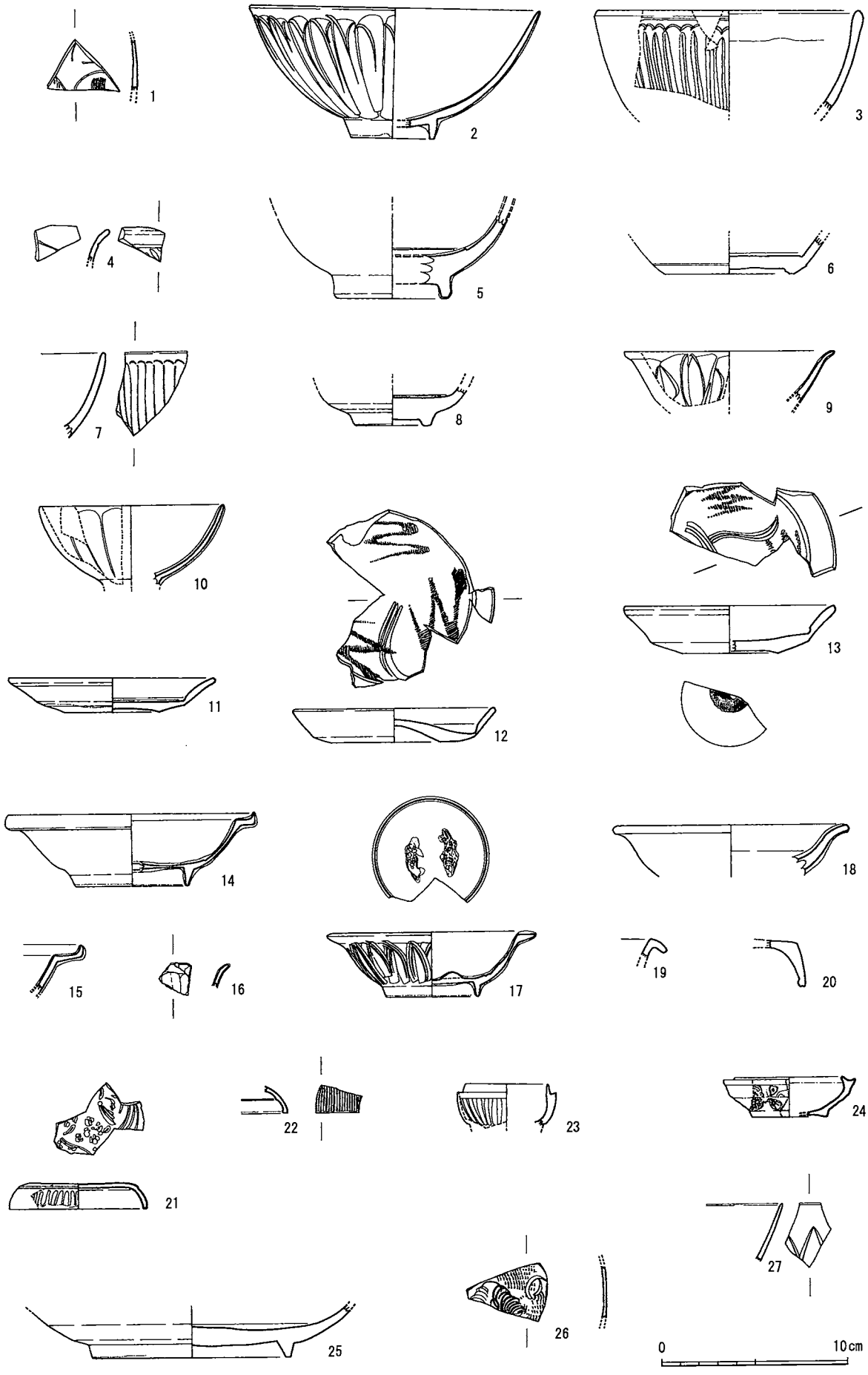
136-21　Ｇ－３区他より出土した青磁碗で、大宰府編年の同安窯系青磁碗Ⅰ１ｂ類。復原口径16.2㎝。器高6.7㎝。体部外面は回転ヘラ削りののち、クシで縦に施文する。口縁部下に連子状にヘラで施文をする。内部はクシと三叉工具で施文する。釉調はにぶい黄緑色で、体部下位まで施釉。

136-22　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類。復原口径15.8㎝。器高7.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はヘラの片彫りと三叉工具で施文。釉調はオリーブ灰色で、高台付近まで施釉。

136-23　Ｅ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂｃｄ類。復原口径16.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鏑蓮弁を象る。主弁の幅は2.7㎝で、間弁は鏑が下位まで伸び、幅がせまい。釉調はオリーブ色。

136-24　Ｆ－２区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｃ類。復原口径15.6㎝。器高6.7㎝。体部外面はヘラ削りの後、ヘラ彫りにより鏑蓮弁文を象る。主弁の幅は2.1㎝で、間弁は鏑が下位まで伸びる。釉調は明緑灰色。

137-1　Ｄ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編



第137図　その他の出土遺物実測図②（1/3）

年の龍泉窯系青磁碗Ⅲ１類。内面にヘラとクシで施文する。釉調は青緑色。

137-2　Ｄ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅲ２類。復原口径15.8cm。器高6.9cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、後にヘラにより鎬蓮弁を削り出す。主弁のみで幅は1.2cm。釉調は青緑色でゆたかに施釉し、全面施釉後に畳付の釉を掻き取る。

137-3　Ｅ－３区より出土した青磁碗で、上田分類の龍泉窯系青磁碗ＢⅣ類。復原口径14.4cm。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ先で蓮弁文を描く。主弁のみで、幅は0.4cm。釉調は淡青緑色。

137-4　Ｇ－３区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅳ類。体部外面は回転ヘラ削り。内外面に、ヘラ先で施文。釉調はオリーブ色。

137-5　Ｆ－１区より出土した青磁碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁碗Ⅳ類もしくは上田分類のＤ類。外面は回転ヘラ削りを行い、見込みには沈線を巡らす。釉はオリーブ色で全面施釉の後、高台内の釉を掻き取る。

137-6　Ｄ－２区より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅳ類。外面は回転ヘラ削りを行い、底部付近に沈線を巡らす。底部は碁笥底状に彫り込む。釉はオリーブ灰色で、畳付まで施釉し、高台に目積みの跡がある。

137-7　Ｅ－３区より出土した青磁碗で、上田分類のＢⅣ類。体部外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ先で蓮弁文を描く。主弁のみで、幅は0.3cm。釉調はオリーブ色。

137-8　Ｅ－１区より出土した青磁小碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小碗Ⅰ類。体部外面は回転ヘラ削りで内外面無文。釉調は青緑色。

137-9　Ｄ－２区より出土した青磁小碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小碗Ⅲ２類。復原口径11.2cm。外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りで蓮弁を象る。主弁の幅は1.1cm。口縁部は外反する。釉調は明青緑色。

137-10　Ｅ－１区より出土した青磁小碗で、大宰府編年の龍泉窯系青磁小碗Ⅲ２類。復原口径10.0cm。外面は回転ヘラ削りの後、ヘラ彫りで蓮弁を象る。主弁の幅は0.6cm。口縁部は直に引き上げる。釉調は緑青色。

137-11　Ｆ－２区他より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ１ａ類。口径11.1cm。器高1.9cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内外面無文。釉調は灰オリーブ色で体部中位まで施釉する。

137-12　Ｅ－２区他より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。口径11.0cm。器高1.8cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はクシと三叉工具で施文。底部は盛り上がる。釉調は灰オリーブ色で全面施釉の後、底部の釉を掻き取り、目積みの跡が残る。

137-13　Ｄ－３区より出土した青磁皿で、大宰府編年の同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類。復原口径11.3cm。器高2.5cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、内面はクシと二叉工具で施文。釉調は灰オリーブ色で全面施釉の後に底部の釉を掻き取る。底部には墨書がある。

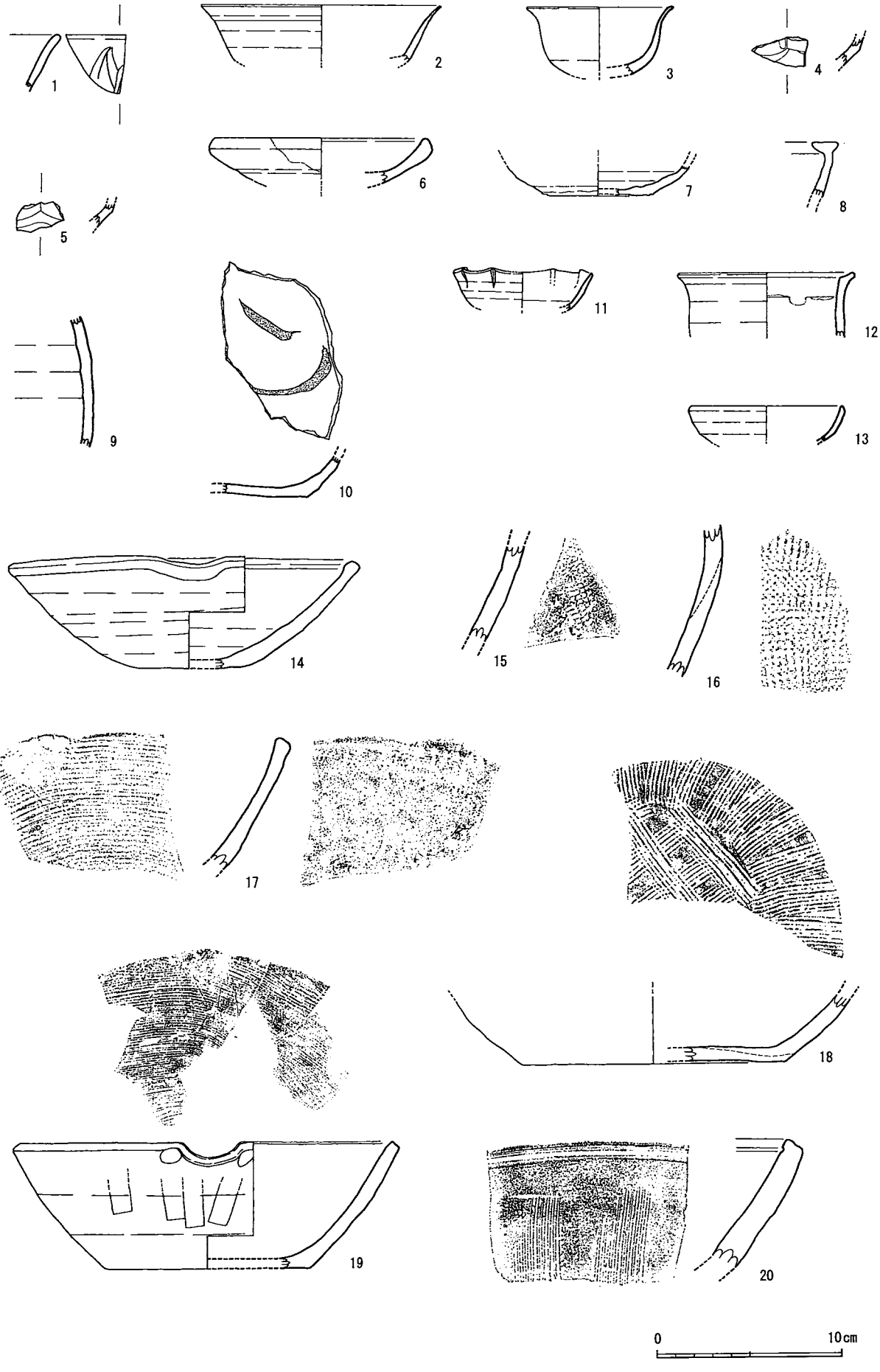
137-14　Ｆ－２区より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅲ３類。復原口径13.2cm。器高3.8cm。体部外面は回転ヘラ削り。口縁部は外折し、端部を上方に引き上げる。内外面は無文。釉調は緑青色。

137-15　Ｃ－２区より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅲ３類。口径の復原はできないが、大型の坏になる。体部外面は回転ヘラ削り。口縁部は外折し、端部を上方に引き上げる。内外面は無文。釉調は青緑色。

137-16　Ｇ－２区他より出土した青磁小碗で、体部外面はヘラ彫りで蓮弁を象る。器肉は薄く、胎土は暗褐色～暗灰色で半磁体である。釉調は失透性のにぶい青緑色で、南宋官窯風の特徴を備えている。

137-17　Ｅ－１区より出土した青磁坏で、大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅲ４ｂ類。復原口径11.4cm。器高3.5cm。口縁部は外折し水平にする。体部外面は二叉工具で蓮弁を描く。見込み周辺には沈線を巡らし、見込み内部には粘土で魚文を張り付ける。釉調は緑青色で豊かに全面施釉し、畳付の釉を掻き取る。

137-18　大宰府編年の龍泉窯系青磁坏Ⅲ～Ⅳ類。復原口径12.6cm。体部外面は回転ヘラ削りを行い、口



第138図　その他の出土遺物実測図③（1/3）

縁部は外反させる。見込みに張り付け文がある。釉調は青緑色で滑らかである。

137-19　Ｄ－１区より出土した白磁四耳壺または水注。口縁部の破片で、口縁部は外反させ折り曲げる。釉調は灰オリーブ色。

137-20　Ｄ－３区より出土した白磁の蓋で、かなり径が大きく、酒会壺などの特殊な壺に付属するものである。釉調は灰白色で外面のみ施釉する。

137-21　Ｇ－３区より出土した青白磁の合子蓋。復原口径7.4㎝。器高1.4㎝。上面は菊花の集合・外面は菊花弁を型押しで作る。釉調は淡青白色で体部内面以外は施釉する。

137-22　Ｅ－２区より出土した白磁の合子蓋。外面は細かな連子状の型押しをする。釉調は灰白色で体部内面以外は施釉する。

137-23　Ｆ－２区より出土した青白磁の合子身。復原口径4.4㎝。口縁端部には受けを削り出す。外面は型押しで菊花弁を象る。釉調は淡緑白色で内面全体と外面は体部下位まで施釉。

137-24　Ｄ－３区より出土した青白磁の合子身。外面は型押しで菊花の集合を象る。口縁端部には受けを削り出す。釉調は灰白色で内面全体と外面は中位まで施釉する。

137-25　Ｇ－２区より出土した青磁盤で、大宰府編年の龍泉窯系青磁盤Ⅲ類。体部外面は回転ヘラ削りで、内外面無文。焼成が悪く胎土もにぶい橙色である。釉調はオリーブ色で全面施釉の後、畳付の釉を掻き取る。

137-26　Ｂ－２区より出土した青白磁碗。器肉が極めて薄い。内面はヘラの片彫りとクシで複雑に施文する。釉調は白青色。

137-27　Ｆ－２区より出土した青白磁碗。器肉が極めて薄い。体部外面はヘラの片彫りで蓮弁を象る。内面は無文。釉調は白青色。

138-1　Ｅ－３区より出土した青白磁碗。体部外面はヘラの片彫りで蓮弁を象る。内部は無文。釉調は明青白色。

138-2　Ｅ－２区他より出土した白磁坏で、大宰府編年の白磁Ｂ類(枢府系)。復原口径13.0㎝。体部外面は回転ヘラ削りをし、内面は型押しで施文。釉調は失透性の灰白色。

138-3　Ｄ－２区より出土した白磁馬上坏で、大宰府編年の白磁Ｂ類(枢府系)。復原口径7.8㎝。体部外面は回転ヘラ削りをし、口縁部は外反する。内外面無文。釉調は失透性の灰白色。

138-4　Ｃ－２区より出土した白磁坏。大宰府編年の白磁Ｄ類。体部外面をヘラで８面の面取りを行う。胎土は白色で、焼成が悪く半磁胎である。釉は灰黄白色で貫入が多い。

138-5　Ｃ－２区より出土した白磁坏。大宰府編年の白磁Ｄ類。体部外面をヘラで８面の面取りを行う。胎土は白色で、焼成が悪く半磁胎である。釉は灰白色で貫入が多い。

138-6　Ｇ－３区他より出土した褐釉皿。口径12.0㎝。体部外面は口縁部付近に回転ナデを施し、境目となる中位以下は釉が厚く観察ができない。内面は平滑。体部外面中位に巡る線は、重ね焼きによる釉溜まりである。胎土は赤褐色でやや粗い。釉調は暗褐色で内外面に施釉。

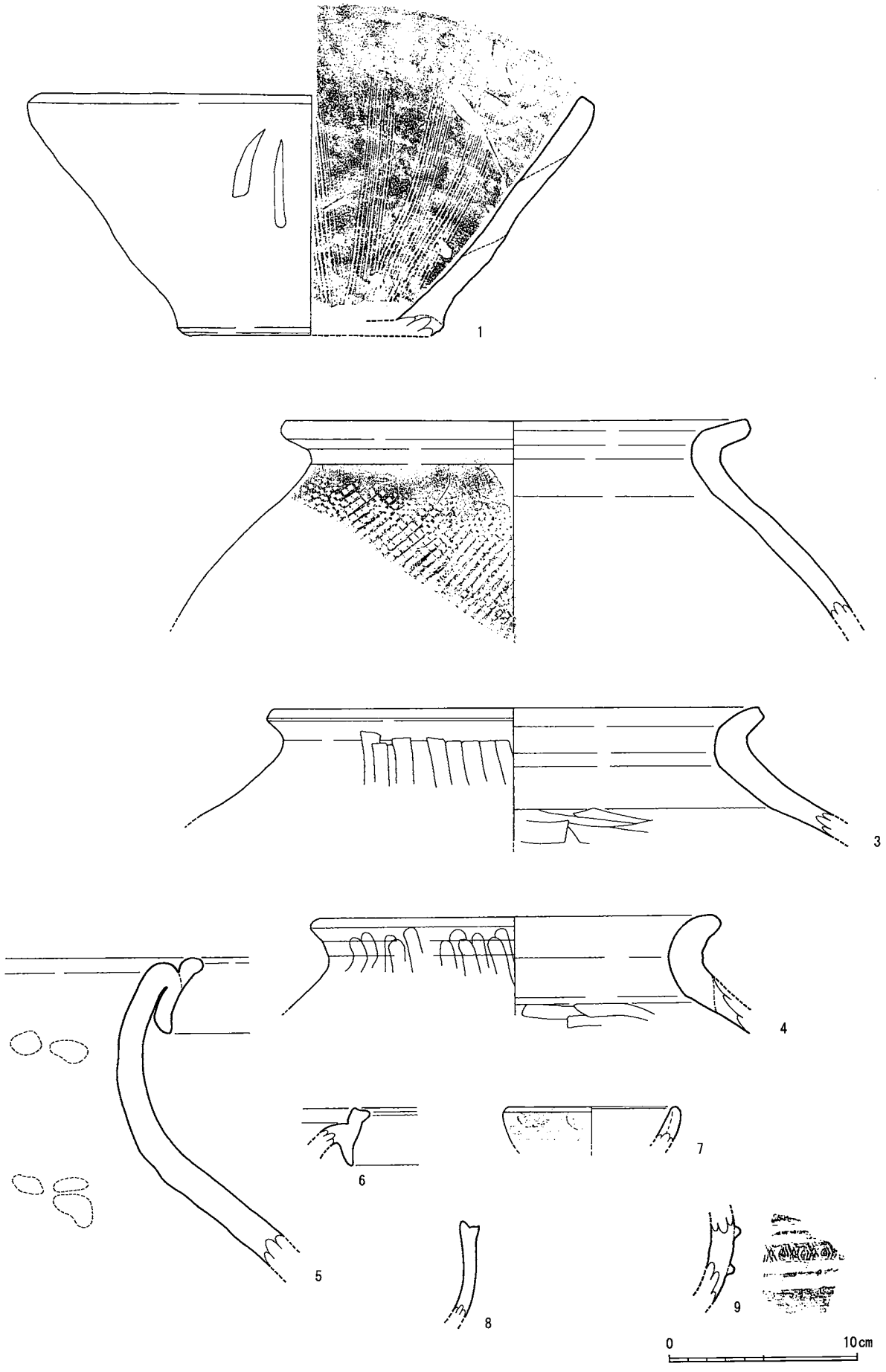
138-7　Ｄ－２区より出土した黒釉壺。体部内外面は回転ナデ調整。胎土は灰褐色で緻密。釉調はいわゆる天目釉で黒色であり、外面底部付近位まで施釉し、内面は施釉しない。

138-8　Ｂ－２区より出土した褐釉鉢。口縁端部を内向させ、上面を水平にする。口縁部外面はヘラによりくびれを付ける。胎土は淡灰褐色で緻密。釉調は緑褐色で内外面に施釉。

138-9　Ｇ－２区他より出土した褐釉壺。壺の破片と思われ、胴部と思われるものが10数点出土している。体部内外面は回転ナデ調整。胎土は赤褐色で砂粒が多い。外面の釉調は暗緑色、内面は暗褐色で滑らかに施釉し、胎土中の砂粒が点々と釉を破って胎土を見せている。生産地は中国南部～東南アジアか？

138-10　Ｆ－３区より出土した黄釉盤。底部の破片で、内外面ナデ調整。内面には鉄絵を描く。胎土は灰褐色で砂粒が多く粗い。釉は内面に施すが、その多くは剥げ落ちている。外面は無釉で、橙色に焼けている。

138-11　Ｈ－２区より出土した瀬戸窯の入子。復原



第139図　その他の出土遺物実測図④（1/3）

口径7.6cm。内外面回転ナデで、口縁部は数カ所、ヘラにより外面から内面へ押圧し、花弁状に整形する。自然釉が口唇部と見込みに掛かる。

138-12　H－2区より出土した瀬戸窯の筒形香炉。復原口径9.4cm。内外面回転ナデで、口縁部は外反させ、上面を水平にする。釉は淡緑白色の灰釉で内面は口縁部付近と、外面に掛かる。

138-13　E－1区より出土した瀬戸窯の仏供。復原口径8.4cm。内外面回転ナデ。自然釉が口縁部と内面に掛かる。

138-14　G－2区より出土した須恵質土器で東播系の捏鉢。口径19.0cm。器高6.0cm。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部の一端を指押さえで注口部を作る。口唇部は重ね焼きにより暗灰色に変色。色調は灰色。

138-15　D－2区より出土した須恵質土器で壺または甕。体部外面には細かな格子叩きを行い、ナデ消している。内面も当て具痕を指でナデ消す。胎土は灰色で比較的粗く、頁状に焼き上がる。色調は灰色。

138-16　D－2区より出土した須恵質土器で壺または甕。体部外面は細かな山形叩きを数回重複して行う。内面は当て具痕を指でナデ消す。胎土は暗灰色で比較的粗く、頁状に焼き上がり硬質。色調は青灰色。

138-17　E－1区より出土した須恵質土器で在地系の捏鉢。復原口径28.0cm。体部外面は縦にハケ目調整し、その後指押さえ及び、静止ナデでハケ目を消す。内面はクシ状の工具で横方向に調整を加える。口縁部は指押さえで注口部を作る。色調は灰色。

138-18　D－2区他より出土した須恵質土器で在地系の擂鉢。体部外面は縦にハケ目調整し、その後指押さえ及び、静止ナデでハケ目を消す。内面の調整は不明。擂り目は8本のクシ目。色調は灰色。

138-19　E－1区より出土した須恵質土器で在地系の捏鉢。復原口径20.0cm。器高6.8cm。体部外面は縦にハケ目調整し、口縁部は回転ナデ調整、底部は回転台による強いハケ目調整。内面は横方向にハケ目調整。口縁部は指押さえにより注口部を作る。良く焼き締まり、色調は外面黒色で内面は灰色。

138-20　D－2区より出土した須恵質土器の擂鉢。復原口径30.0cm。口縁部の破片で、内外面とも指押さえ及び静止ナデで、口縁部は回転ナデ調整。擂り目は9本のクシ目を入れる。色調は灰色。

139-1　D－2区より出土した須恵質土器で在地系の擂鉢。復原口径29.0cm。器高12.8cm。外面は指頭圧及び静止指ナデで調整し、口縁部は回転ナデ調整。内面は回転ナデ調整。擂り目は7本のクシ目。胎土は灰色でやや細かい。色調は灰色。

139-2　G－3区より出土した須恵質土器で壺。外面はハケで縦に調整をした後、格子目のタタキを施す。口縁部は外反させ回転ナデ調整。内面は回転ナデで、当て具痕を消す。胎土は灰色でやや細かい。色調は暗灰色。

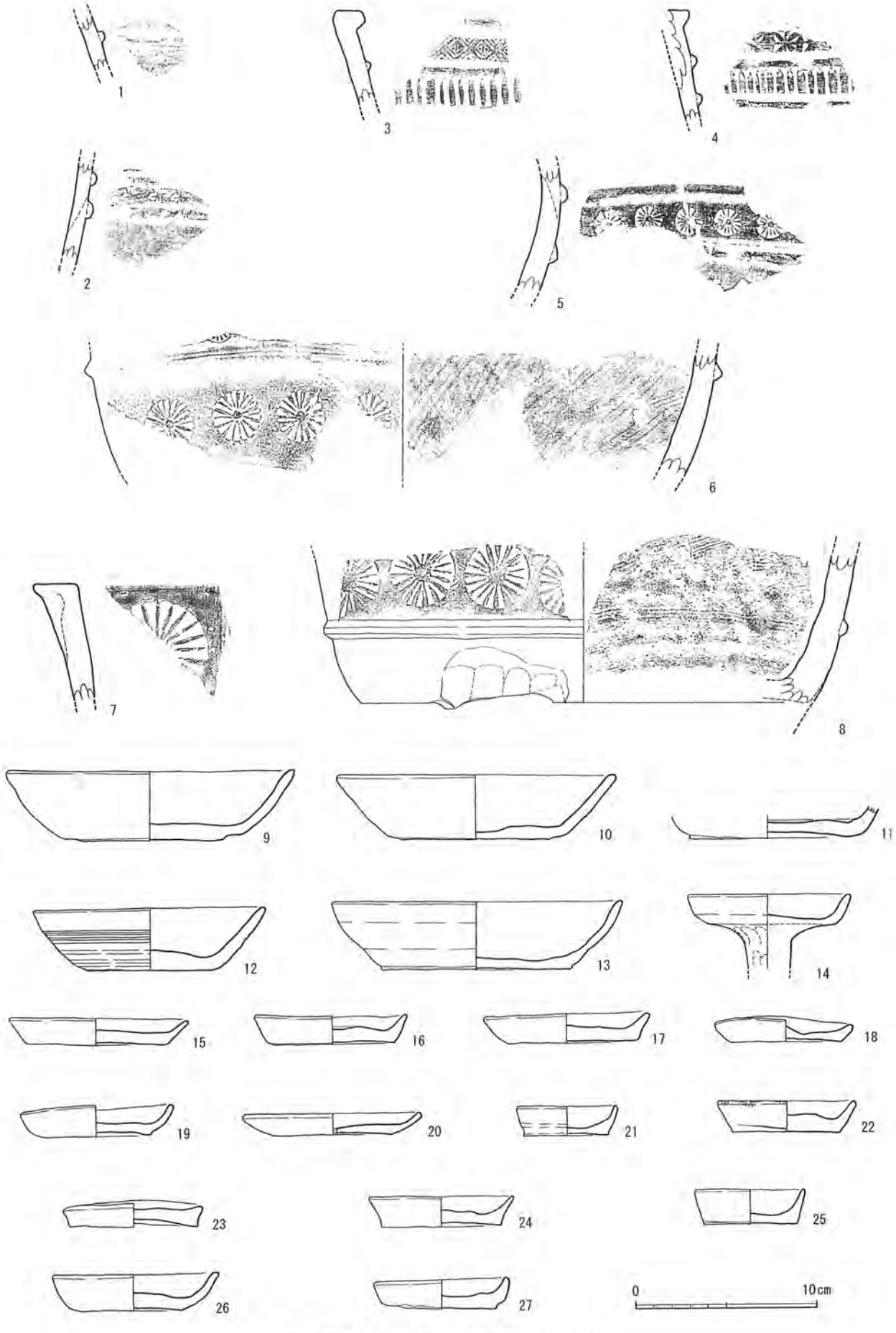
139-3　D－2区より出土した須恵質土器で在地系の壺。復原口径26.0cm。外面は格子タタキを施し、口縁部を外反させた後、頸部付近をハケで縦に調整する。外面のタタキは指押さえ及びナデで消すが、タタキ目は部分的に残る。内面は横方向にハケ目調整。口縁部付近は回転ナデ調整。胎土は灰白色で、砂粒が少ない。色調は灰色。

139-4　F－1区より出土した須恵質土器で在地系の壺。復原口径22.0cm。外面は格子タタキを施し、口縁部を外反させた後、頸部付近を指ナデで縦に調整する。内面は指押さえ及びナデで調整し、口縁部付近は回転ナデ調整。胎土は灰色で、砂粒が少ない。色調は淡灰色。

139-5　E－2区より出土した常滑窯の甕。口縁部の破片で、内外面は回転ナデを行う。内面には粘土紐の継ぎ目を指押さえした痕跡が残る。口縁部は外反させ、N字状に整形。口縁帯の幅は4.0cm。胎土は灰褐色で、色調は暗赤褐色。

139-6　D－2区より出土した常滑窯の甕。口縁部の破片で、内外面は回転ナデを行う。口縁部は外反させ、N字状に整形。口縁帯の幅は3.0cm。胎土は灰褐色で、色調は暗赤褐色。

139-7　F－3区より出土した瓦質土器で小型の鉢。復原口径9.0cm。体部内外面は回転ナデ調整。口縁部外面には菊花状のスタンプを巡らす。胎土は淡灰色比較的細かい。色調は外面は黒色で、内面は暗灰色。



第140図　その他の出土遺物実測図⑤（1/3）

139-8　G－2区より出土した瓦質土器で鉢。内湾した胴部を持ち、口縁部には受けを持つ。体部内外面はていねいな回転ナデ調整。器肉が薄く、胎土は暗褐色でやや細かい精品である。色調は暗褐色。

139-9　D－2区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部内面は回転ナデ調整し、2条の凸帯を付け、その間に重複したX字のスタンプを連続した押す。胎土は鈍い橙色で砂粒が多くやや粗い。色調はにぶい橙色。

140-1　D－2区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部外面に凸帯を巡らし、凸帯の下に花菱状のスタンプを連続して押す。体部は内外面ともナデ調整を行う。胎土は砂粒が多くてやや粗く、色調はにぶい黄橙色。

140-2　D－3区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部外面に2条の凸帯を巡らし、その間に花菱状のスタンプを連続して押す。体部内外面はナデ調整を行う。胎土は砂粒が多くてやや粗く、色調は橙色。

140-3　D－2区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。口縁部は肥厚し、体部外面の口縁部下には凸帯を巡らす。間には方形のスタンプ、凸帯下には連子状のスタンプを連続して押す。体部は内外面ともナデ調整を行う。胎土は砂粒が多くてやや粗く、色調は灰褐色。

140-4　D－2区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。口縁部は肥厚し、体部外面に2条の凸帯を巡らす。間には花菱状と連子状のスタンプを連続して押す。体部内外面はナデ調整を行う。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。色調はにぶい橙色。

140-5　D－3区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部外面に2条の凸帯を巡らし、間には菊花状のスタンプを連続して押す。体部外面は回転ナデ調整、内面はハケ目調整を行う。胎土は砂粒が混じりやや粗い。色調は暗灰色。

140-6　D－3区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部外面に凸帯を巡らし、下には菊花状のスタンプを連続して押す。体部外面は回転ナデ調整、内面は斜め方向にハケ目調整を行う。胎土は砂粒が多くてやや粗い。色調は暗灰色。

140-7　C－3区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。口縁部は肥厚し内向させる。体部内面は回転ナデ調整、外面はヘラ磨き調整を行い、外面には大きな菊花状のスタンプを押す。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調は暗灰色。

140-8　D－2区より出土した瓦質土器で火鉢の破片。体部外面に凸帯を巡らし、上には菊花状のスタンプを連続して押す。体部外面は回転ナデ調整で、底部には脚を付ける。内面中位は斜め方向、底部は横方向にハケ目調整を行う。胎土は砂粒が混じるがやや細かい。色調は暗灰色。

140-9　E－3区不明柱穴より出土した土師器坏。口径16.0cm。器高3.8cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なくやや細やか。見込みは1回横ナデを施す。底径が小さく体部が開く。色調は浅黄橙色。

140-10　F－3区不明柱穴より出土した土師器坏。口径15.6cm。器高3.5cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なくやや細やか。見込みに横ナデはしない。底径が小さく体部が開く。色調は浅黄橙色。

140-11　G－3区より出土した土師器坏。底部は糸切りで、板目圧痕付く。胎土には砂粒が混じりやや粗い。見込み周辺はヘラで窪みを付け、見込み内部は一度横ナデをする。色調はにぶい橙色。

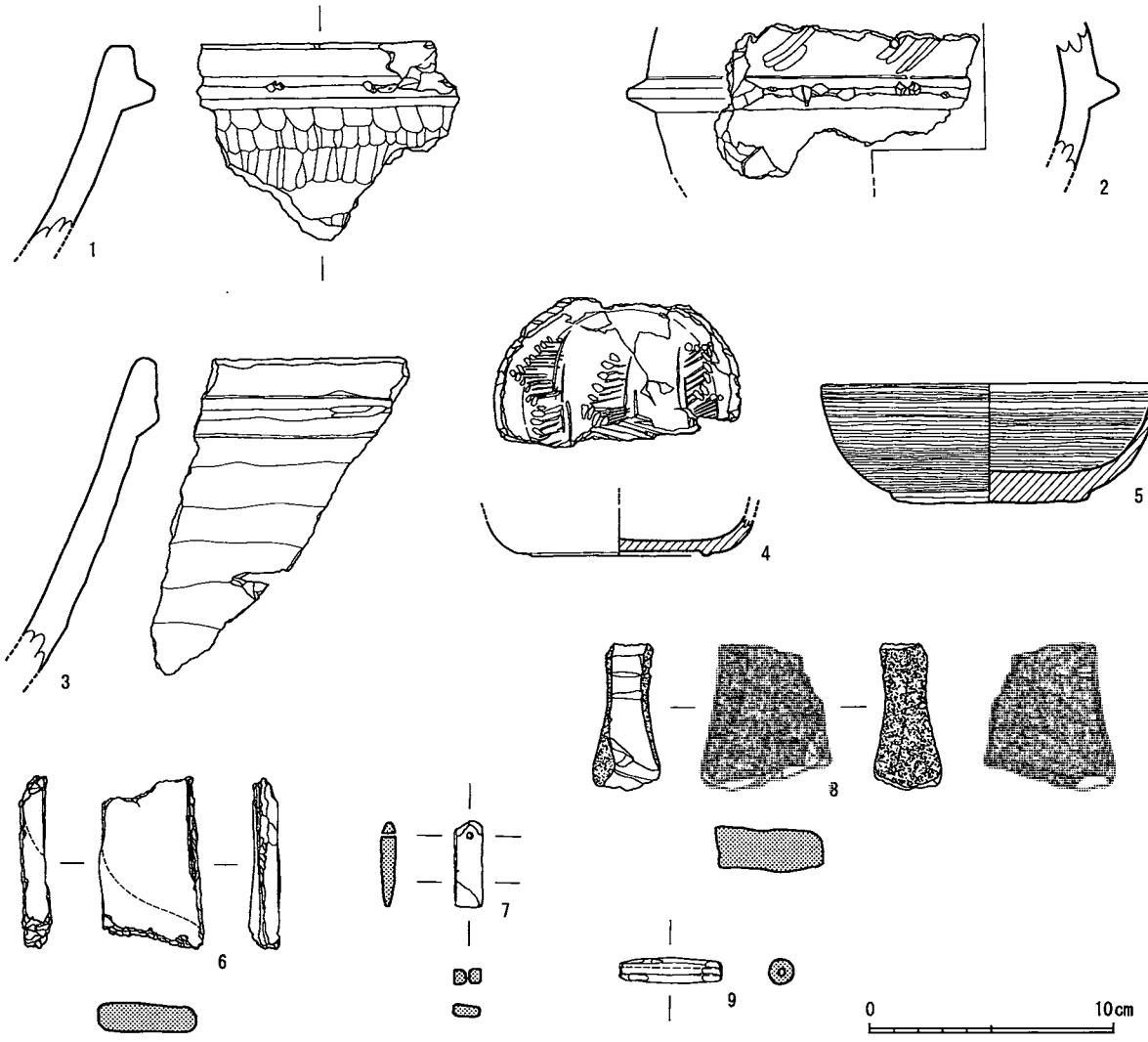
140-12　G－3区より出土した土師器坏。口径12.8cm。器高3.4cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なく細かい。見込みは横ナデをしない。体部外面は回転ヘラ削りを行う。底径が小さく体部は開く。色調は橙色で、良く焼き締まる。

140-13　F－1区より出土した土師器坏。復原口径15.9cm。器高3.7cm。底部は糸切りで板目圧痕がつく。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。見込みは横ナデを数回施す。色調は橙色。

140-14　G－3区より出土した高坏状土師器。復原口径8.7cm。底部の調整は不明で、底部に高坏状の脚を張り付ける。胎土には砂粒が多く混じり、粗い。見込みは横ナデを数回行う。色調はにぶい橙色。

140-15　F－2区より出土した土師器皿。口径9.9cm。器高1.5cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が混じるが、比較的細やか。見込みは横ナデを数回施す。色調はにぶい橙色。

第141図　その他の出土遺物実測図⑥（1/3）



第142図　その他の出土遺物実測図⑦（1/3）

140-16　Ｄ－２区より出土した土師器皿。口径8.3cm。器高1.7cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込み周辺をナデくぼめ、内部は横ナデをしない。色調はにぶい橙色。

140-17　Ｄ－２区より出土した土師器皿。口径8.9cm。器高1.6cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が混じり、やや粗い。見込み周辺をナデくぼめ、内部に横ナデをしない。色調はにぶい橙色。

140-18　Ｇ－３区より出土した土師器皿。口径7.5cm。器高1.4cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が多く粗い。見込み周辺に沈線を作り、内部の横ナデはしない。色調は橙色。

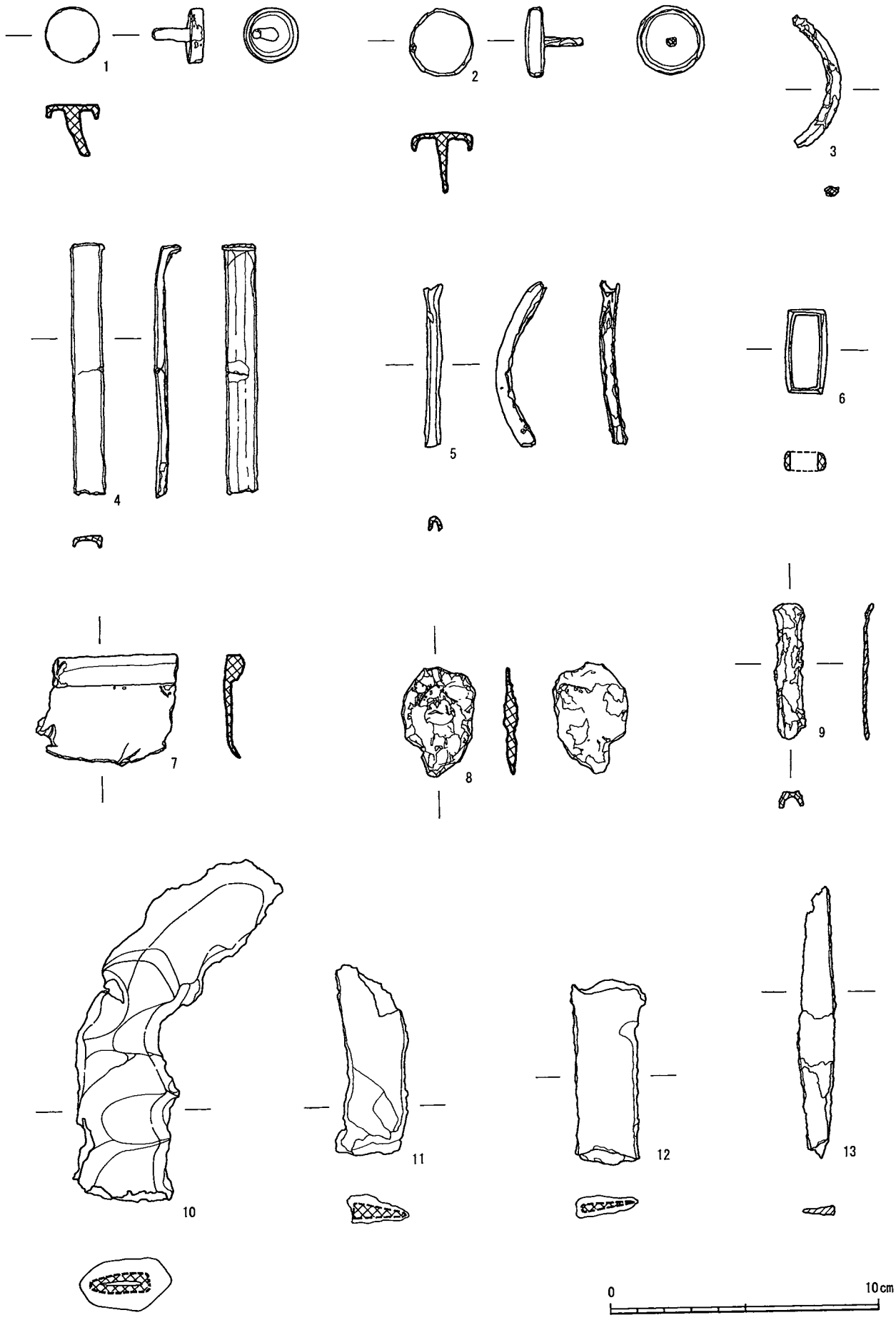
140-19　Ｄ－２区より出土した土師器皿。口径8.3cm。器高1.7cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なく、やや細かい。見込みの横ナデはしない。色調は橙色。

140-20　Ｆ－２区より出土した土師器皿。復原口径10.0cm。器高1.2cm。底部は糸切りで板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく比較的細やか。見込みは数回横ナデを行う。体部は大きく開く。色調は灰褐色。

140-21　Ｄ－２区より出土した土師器皿。復原口径5.3cm。器高1.6cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なくやや細かい。見込みの横ナデはしない。色調はにぶい橙色。

140-22　Ｄ－２区より出土した土師器皿。口径7.6cm。器高1.7cm。底部は糸切り。胎土には砂粒がまじり、やや粗い。見込み周辺をナデくぼめ、内部の横ナデは行わない。口縁部にカーボンが付着する。色調はにぶい橙色。

140-23　Ｅ－１区より出土した土師器皿。口径7.4cm。器高1.5cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土は、砂粒が混じるが比較的細やか。見込みは数



第143図　その他の出土遺物実測図⑧（1/2）

回横ナデを施す。体部が明確でない円盤状の皿である。色調はにぶい黄橙色。

140-24　Ｅ－２区より出土した土師器皿。口径8.1cm。器高1.7cm。底部は糸切り。胎土には砂粒が少なく細やか。見込み周辺をナデくぼめ、内部には１度横ナデは行う。口縁部は薄く引き上げる。色調はにぶい黄橙色。

140-25　Ｆ－２区より出土した土師器皿。復原口径6.1cm。器高2.0cm。底部は糸切りで板目圧痕が付く。口縁部は直に立ち上げ、見込みに横ナデはしない。胎土は砂粒が少ないが、やや粗い。色調は灰黄色。

140-26　Ｄ－２区より出土した土師器皿。口径9.0cm。器高2.0cm。底部は糸切りで、板目圧痕が付く。胎土には砂粒が少なく細やか。見込み周辺は軽くナデくぼめ、内部に横ナデは行わない。底部の径が小さく、体部は開く。色調は橙色。

140-27　Ｇ－３区より出土した土師器皿。復原口径7.6cm。器高1.8cm。底部は糸切りで板目圧痕が付く。全体に厚ぼったく、見込みに横ナデを２回する。胎土は砂粒が混じり、やや粗い。色調は橙色。

141-1　Ｅ－２区及びＳＤ02から出土した瓦器埦。復原口径17.6cm。器高5.3cm。体部外面は回転ヘラ削りの後、丁寧にヘラ磨きを施す。内面も丁寧なヘラ磨き。高台は低い角高台。胎土は砂粒が少なく細やか。色調は内面と体部外面中位までは黒銀色。底部は灰色。

141-2　Ｆ－１区より出土した土師質不明具。復原をすると厚さ1.4cmの円盤形となる。内側には２カ所の穿孔があり、復原中央部に複数の穿孔があったものと思われる。胎土は砂粒が多く粗い。色調は灰褐色で断面は橙色。

141-3　Ｅ－３区他より出土した滑石加工品。縦2.0cm。横1.0cm。石鍋の破片を円柱状に加工し、一端が折れる。

141-4　Ｅ－２区より出土した滑石加工品。縦4.0cm。横7.0cm。石鍋の破片を方形に成形し、２カ所穿孔する。口縁部を利用し、内外面と口唇部は旧製品面を残し、カーボンが付着している。

141-5　Ｄ－２区より出土した滑石加工品。縦7.0cm。横3.0cm。縦耳形の石鍋の破片を方形に成形し、耳横に穿孔する。口縁部を利用し、内外面と口唇部は旧製品面を残し、カーボンが付着している。

141-6　Ｂ－２区より出土した滑石加工品。縦5.8cm。横7.0cm。復原すれば円形になり、蓋状の製品になる。内面はノミなどの工具で窪みを付ける。旧製品面は残存しない。

141-7　出土地点不明の滑石加工品。縦13.6cm。横2.4cm。角柱状を呈し、外面は全て良く磨いてあり、ノミの痕跡が見られない。

141-8　Ｆ－１区より出土した滑石加工品。縦7.7cm。横3.4cm。石鍋の破片を楕円形に整形し、耳を利用したつまみがある。つまみ部分には穿孔がしてあるが、その部分を中心に割れている。上面とつまみは旧製品面を残す。

141-9　出土地点不明の滑石加工品。縦4.4cm。横3.8cm。楕円形に加工し、つまみを作り出す。つまみには穿孔し、それより上面が割れる。

141-10　Ｇ－３区より出土した滑石加工品。縦2.2cm。横2.2cm。石鍋の胴部を方形に切り取り、中央に円錐状に抉りを入れる。

141-11　Ｇ－２区柱穴より出土した滑石加工品。用途は温石と思われる。縦11.5cm。横9.6cm。方形に成形し、２カ所に穿孔する。全面黒色に燻してある。いずれの面にも石鍋の製品面は見られない。

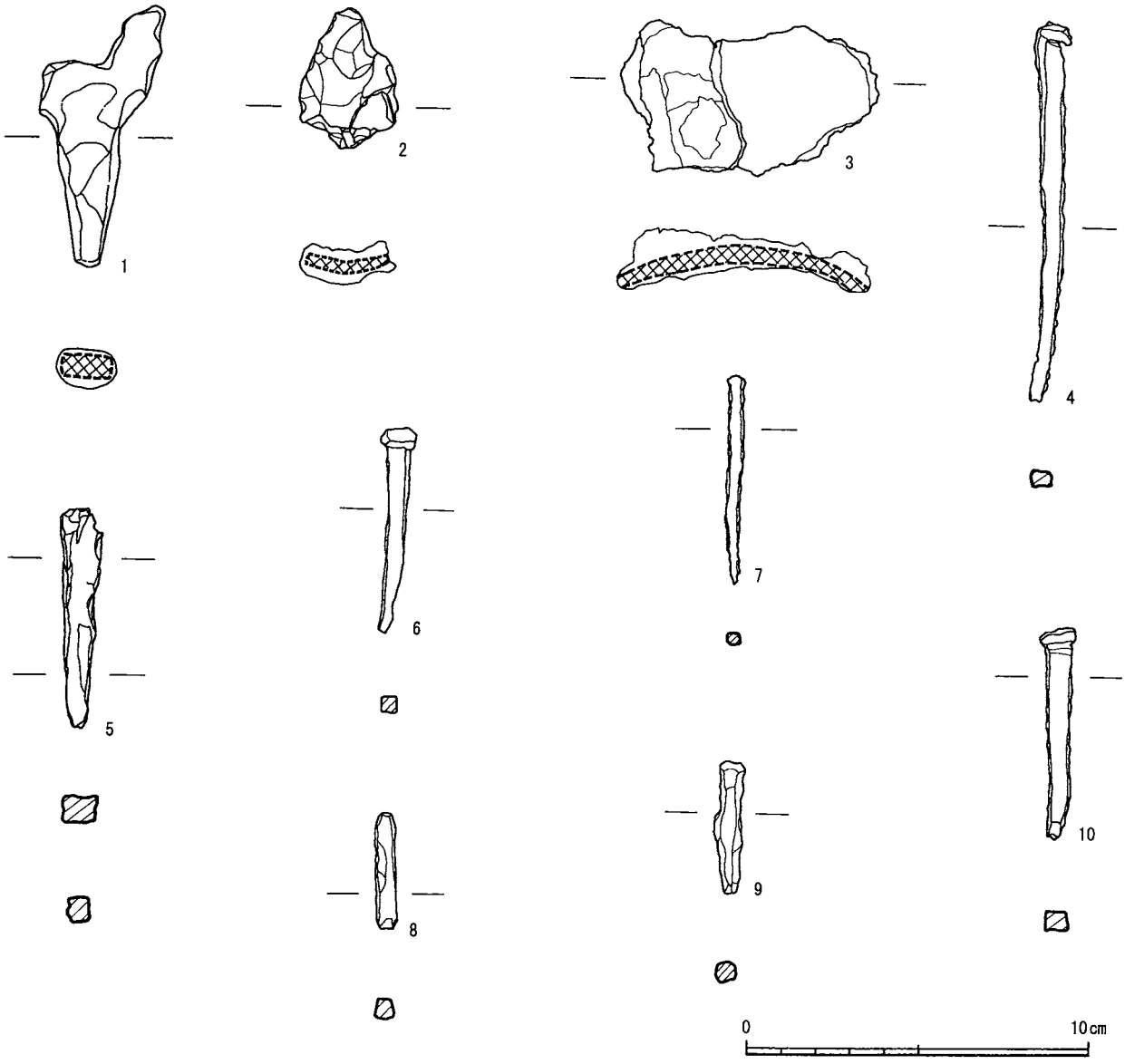
141-12　出土地点不明の滑石加工品。縦3.0cm。横6.0cm。楕円形に成形した加工品の破片。つまみのあった中央部付近はカーボンが付着する。石鍋の製品面は見られない。

141-13　Ａ－２区より出土した滑石加工品。用途は温石と思われる。縦9.0cm。横5.3cm。楕円形に成形し、１カ所に穿孔する。両平面には石鍋の製品面が見られる。

141-14　Ｇ－２区より出土した滑石製紡錘車。用途は紡錘車と思われる。直径6.0cm。円形に成形し、１カ所に穿孔する。片側平面にカーボンが付着する。

142-1　Ｅ－１区より出土した滑石製石鍋。復原口径23.0cm。口縁部下に鍔を持つ。口縁部は底部より真っ直ぐに大きく開く。体部外面は縦方向に丁寧なノミ削りを行う。体部外面にはカーボンが付着する。

142-2　Ｆ－１区他より出土した滑石製石鍋。復原



第144図　その他の出土遺物実測図⑨（1/2）

口径18.4cm。口縁部下に鍔を持つ。体部は口縁部にかけて内湾する。体部外面にはカーボンが付着し、調整が確認できない。

142-3　Ｅ－１区より出土した滑石製石鍋。口縁部下に小さな鍔を持つ。口縁部は底部より真っ直ぐに大きく開く。体部外面は横方向にノミ削りを行う。外面にはカーボンが付着する。

142-4　ＳＢ21より出土した漆器皿。口縁部が欠損している。復元底径7.2cm。内外面黒漆で、赤漆で文様を描く。高台は低い角高台。

142-5　Ｅ－２区から出土した木器椀。口径13.6cm。器高4.7cm。体部内外面は細かな回転ノミ削り行う。高台は低い円盤状で、口縁部は薄く削り上げる。木取りは板目。樹種はカツラ。

142-6　Ｄ－３区より出土した砥石。縦6.8cm。横4.0cm。実測図に示す片面のみに使用痕がある。石材は凝灰岩。

142-7　Ｃ－３区より出土した砥石加工品。縦3.5cm。横1.2cm。長方形に加工し、端部に穿孔する。穿孔部の反対は欠ける。

142-8　Ｄ－２区より出土した砥石。縦5.8cm。横4.4cm。一端を欠く。砥石として３面を利用。

142-9　Ｄ－２区より出土した土錘。縦4.2cm。横1.0cm。調整は手づくねでナデ調整。胎土は砂粒が混じり、色調は黒色。

143-1　Ｄ－２区より出土した鋲状青銅製品。円盤部の直径2.0cm。釘部の長さ横1.6cmで、先端は欠損している。

143-2　Ｂ－２区より出土した鋲状青銅製品。円盤部の直径2.3cm。釘部の長さ横2.0cmで、先端は欠損している。

143-3　Ｂ－２区より出土した不明青銅製品。リング状を為し、稜を持つ。断面は0.5×0.3cmの菱形を為す。

143-4　Ｅ－１区より出土した青銅製品。縦9.1cm。横1.1cm。断面Ｕ字状で、何らかの縁取りを為す装飾具と思われる。

143-5　Ｅ－１区より出土した青銅製品。縦6.0cm。横0.5cm。断面Ｕ字状で、何らかの縁取りを為す装飾具と思われる。

143-6　Ｅ－３区より出土した不明青銅製品。縦3.1cm。横1.5cm。

143-7　Ｅ－２区より出土した青銅製盤。口縁部を玉縁状に肥厚する。形状から92－１とは別固体と思われる。

143-8　Ｆ－１区より出土した青銅製鏡。縦4.0cm。横2.7cm。腐食が激しいが、鏡の中心部分で、乳と文様が観察できる。

143-9　Ｄ－３区より出土した青銅製品。縦4.9cm。横0.9cm。断面Ｕ字状で、何らかの縁取りを為す装飾具と思われる。

143-10　Ｄ－２区より出土した鉄製武具。縦12.5cm。横3.4cm。錆により膨張し、地金の厚さはわかりにくいが、厚さ0.6cm。

143-11　Ｄ－２区より出土した鉄製刀。縦7.0cm。横2.4cm。地金の厚さ0.5cm。

143-12　Ｄ－２区より出土した鉄製刀。縦6.8cm。横2.3cm。地金の厚み0.3cm。

143-13　Ｅ－１区より出土した鉄製刀。縦10.0cm。横1.2cm。地金の厚み0.3cm。

144-1　Ｅ－２区より出土した鉄製狩俣。縦7.6cm。地金の厚み0.7×1.7cm。鏃の片方の先が欠損している。

144-2　Ｂ－２区より出土した鉄製品。縦4.1cm。横2.9cm。地金の厚さ0.4cmの板状の製品で湾曲している。

144-3　Ｃ－３区より出土した鉄製品。縦3.7cm。横7.4cm。地金の厚さ0.6cm。板状の製品で、湾曲している。

144-4　Ｅ－１区より出土した鍛造の鉄製釘。縦11.0cm。断面は0.6×0.4の長方形。

144-5　Ｆ－２区より出土した鍛造の鉄製釘。縦6.2cm。断面0.7×0.8cmのほぼ正方形。

144-6　Ｅ－１区より出土した鍛造の鉄製釘。縦5.9cm。断面0.5×0.4cmのほぼ正方形。

144-7　Ｅ－１区より出土した鍛造の鉄製釘。縦5.9cm。断面0.4×0.4cm。

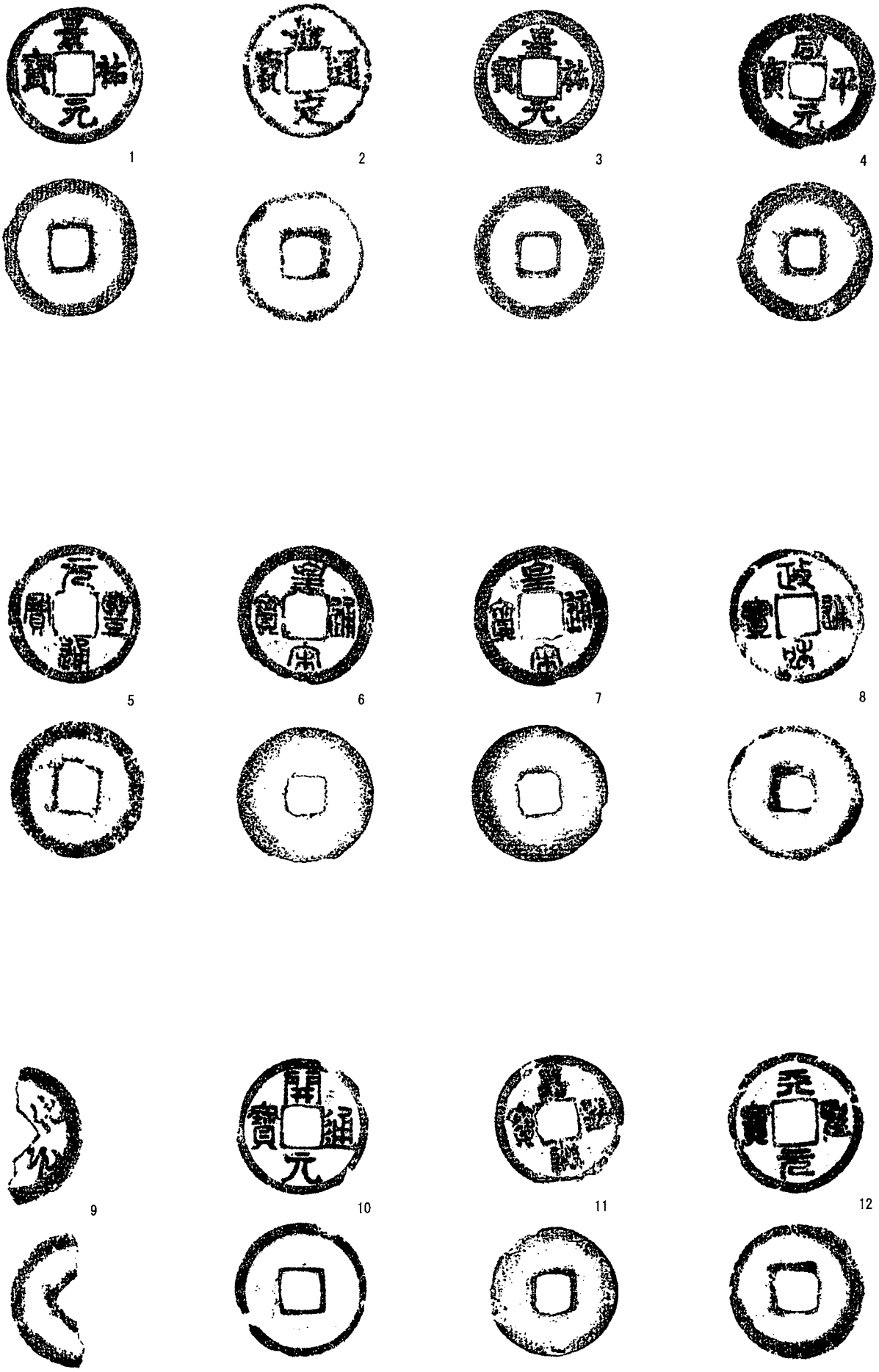
144-8　Ｅ－１区より出土した鍛造の鉄製釘。縦3.3cm。断面0.6×0.6cm。

144-9　出土地不明の鍛造の鉄製釘。縦3.8cm。厚み0.7×0.6cm。

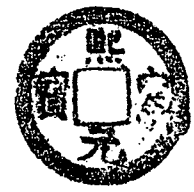
144-10　Ｆ－２区より出土した鍛造の鉄製釘。縦6.1cm。断面0.7×0.6cmの正方形。

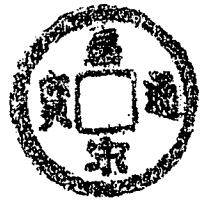
11　銅銭

銅銭は北宋銭を中心に139枚が確認できた。出土はＳＢの柱穴や、ＳＫなどの遺構と、包含層である。ここでは、出土が確認できた全種類の銅銭を拓本で示し、それらの銅銭とともに同一の種類のものも含めて、第４表に観察表を示した。

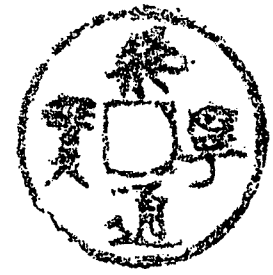


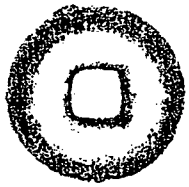
第145図　銅銭拓本①（1/1）

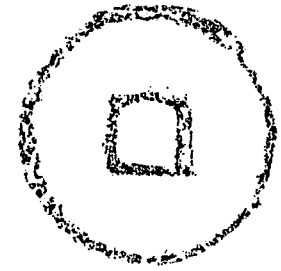

13


14

15


16



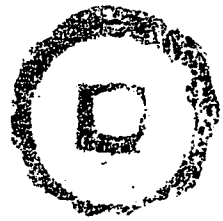


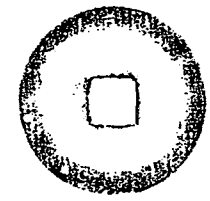
17

18

19

20



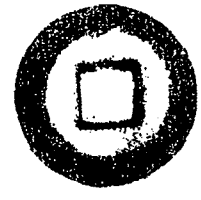


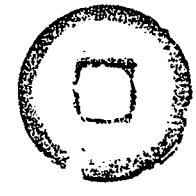
21

22

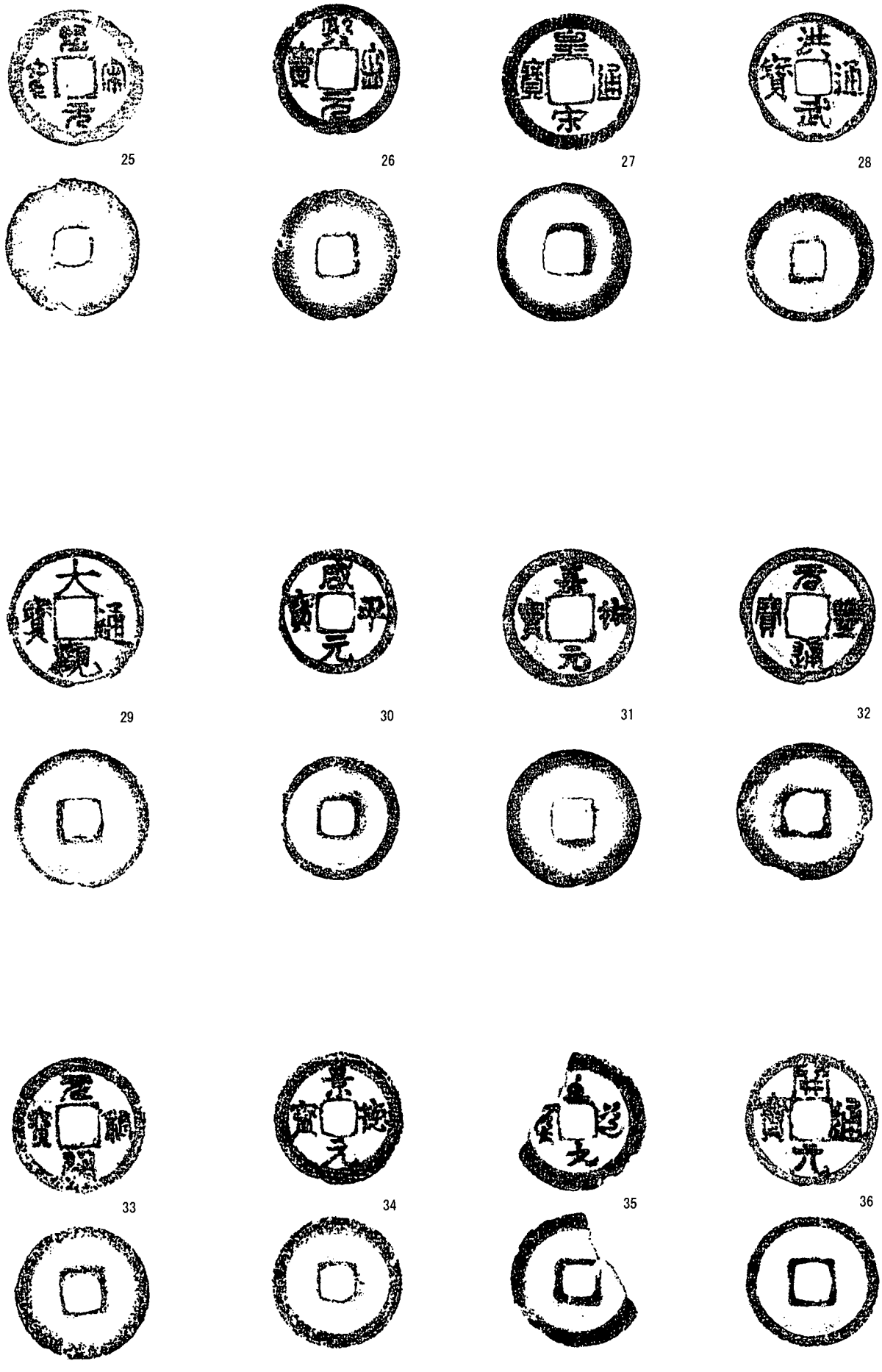
23

24

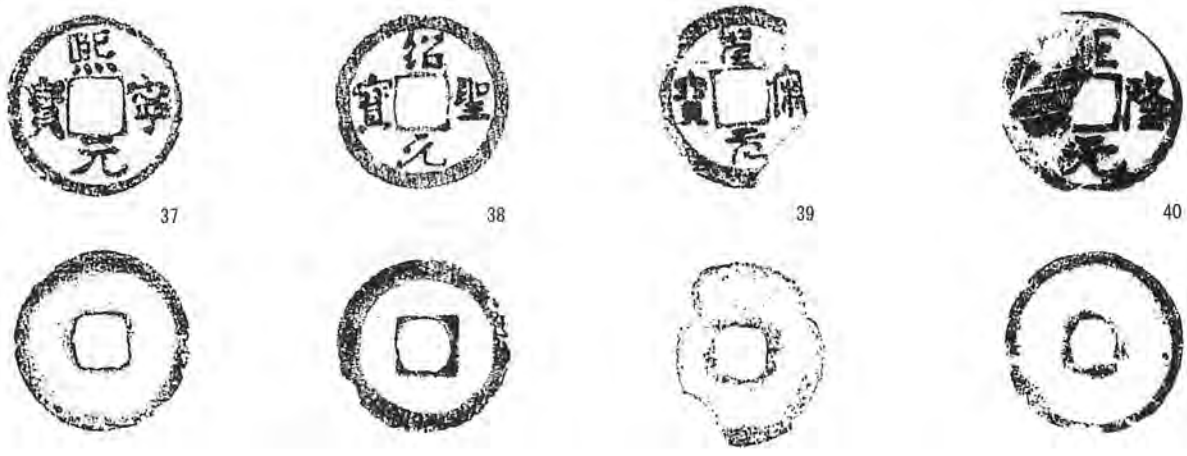


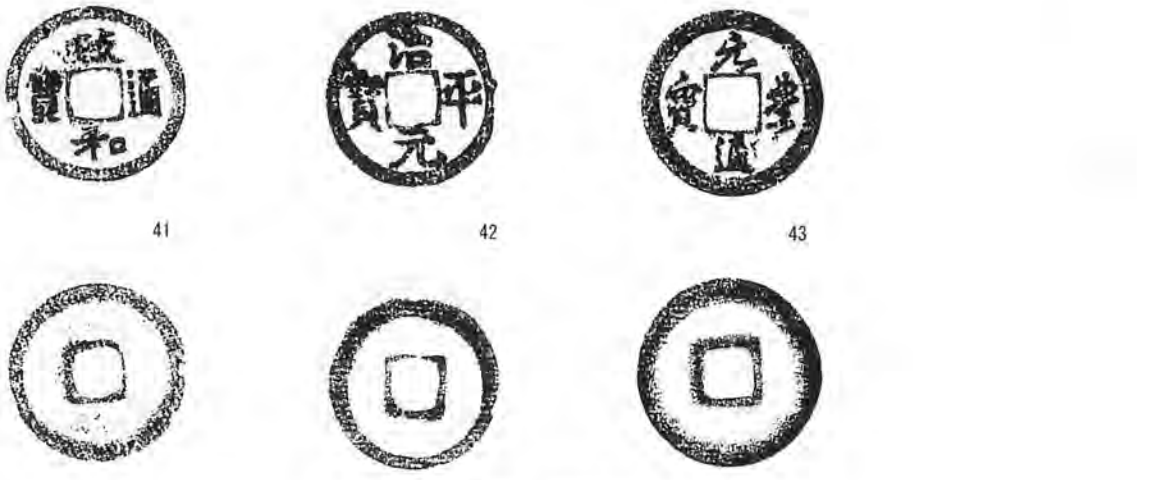


第146図　銅銭拓本②（1/1）



第147図　銅銭拓本③（1/1）





第148図　銅銭拓本④（1/1）

第4表　銅銭観察表

図版番号	銭貨名	国名	初鋳年	書体	遺構	調査地区	層位
145－1	景祐元寶	北宋	1034年	真書	SB13pit14	G－3	
145－2	嘉定通寶	南宋	1208年	真書	SB15pit04	E－2	
145－3	嘉祐元寶	北宋	1056年	真書	SB17pit09	F－1	
145－4	咸平元寶	北宋	998年	真書	SD01	C－2	
145－5	元豊通寶	北宋	1078年	篆書	SK09	B－1	
145－6	皇宋通寶	北宋	1038年	篆書	SK09	B－1	
145－7	皇宋通寶	北宋	1038年	篆書	SK09	B－1	
145－8	政和通寶	北宋	1111年	篆書	SK09	B－1	
145－9	（淳）化元（寶）	北宋	990年	行書		F－3	Ⅲ'
145－10	開元通寶	南唐	960年	真書		G－2	Ⅲ'
145－11	嘉祐通寶	北宋	1056年	篆書		D－1	Ⅲ'
145－12	天聖元寶	北宋	1023年	篆書		E－1	Ⅲ'
146－13	熙寧元寶	北宋	1068年	真書		E－1	Ⅲ'
146－14	皇宋通寶	北宋	1038年	真書		G－2	Ⅲ'
146－15	祥符元寶	北宋	1009年	真書		D－1	Ⅲ'
146－16	崇寧通寶（当十銭）	北宋	1103年	行書		G－2	Ⅲ'
146－17	聖宋元寶	北宋	1101年	行書		G－2	Ⅲ'
146－18	元豊通寶（折二銭）	北宋	1078年	行書		E－2	Ⅲ'
146－19	元符通寶	北宋	1098年	行書		C－2	Ⅴ
146－20	太平通寶	北宋	976年	真書		E－3	Ⅴ
146－21	祥符通寶	北宋	1009年	真書		F－3	Ⅵ
146－22	紹聖元寶	北宋	1094年	行書		E－3	Ⅵ
146－23	治平通寶	北宋	1064年	篆書		E－1	Ⅶ
146－24	元祐通寶	北宋	1086年	行書		F－2	Ⅶ
147－25	熙寧元寶	北宋	1068年	篆書		G－1	Ⅶ
147－26	熙寧元寶	北宋	1068年	篆書		G－2	Ⅶ
147－27	皇宋通寶	北宋	1038年	真書		F－2	Ⅶ
147－28	洪武通寶	明	1368年	真書		E－1	Ⅶ
147－29	大観通寶	北宋	1107年	真書		G－2	Ⅶ
147－30	咸平元寶	北宋	998年	真書		F－2	Ⅶ
147－31	嘉祐元寶	北宋	1056年	真書		D－3	Ⅸ
147－32	元豊通寶	北宋	1078年	篆書		D－1	Ⅸ
147－33	元祐通寶	北宋	1086年	篆書		F－2	
147－34	景徳元寶	北宋	1004年	真書		E－3	
147－35	至道元寶	北宋	995年	草書		D－3	
147－36	開元通寶	南唐	960年	真書		F－2	
148－37	熙寧元寶	北宋	1068年	真書		D－2	
148－38	紹聖元寶	北宋	1094年	行書		D－1	
148－39	聖宋元寶	北宋	1101年	篆書		E－3	
148－40	正隆元寶	金	1157年	真書		B－2	
148－41	政和通寶	北宋	1111年	真書		D－1	
148－42	治平元寶	北宋	1064年	真書		D－1	
148－43	元豊通寶	北宋	1078年	行書		D－2	

以下、不掲載

整理番号	銭貨名	国名	初鋳年	書体	遺構	調査地区	層位
51	元祐通寶	北宋	1086年	篆書		F－2	Ⅶ
52	元祐通寶	北宋	1086年	篆書		G－2	
53	元祐通寶	北宋	1086年	行書		D－1	中
54	元祐通寶	北宋	1086年	行書			Ⅶ
55	元祐通寶	北宋	1086年	行書			Ⅲ'
56	元祐通寶	北宋	1086年	行書	SX01	E－2	
57	元祐通寶	北宋	1086年	行書		G－3	Ⅳ
58	開元通寶	南唐	960年			D－3	中
59	開元通寶	南唐	960年	篆書		D－1	下
60	開元通寶	南唐	960年		SK09	D－1	
61	開元通寶	南唐	960年			D－1	中
62	開元通寶	南唐	960年			F－2	Ⅲ'
63	開元通寶	南唐	960年			F－3	Ⅶ
64	開元通寶	南唐	960年		SK09	B－1	
65	開元通寶	南唐	960年			D－1	中
66	開元通寶	南唐	960年			E－2	Ⅷ
67	開元通寶	南唐	960年			D－2	下
68	紹聖元寶	北宋	1094年	篆書		F－1	Ⅶ
69	紹聖元寶	北宋	1094年	行書		D－2	下
70	景祐元寶	北宋	1004年	真書		F－2	Ⅶ
71	景祐元寶	北宋	1004年	真書		E－2	Ⅵ
72	嘉祐通寶	北宋	1056年	真書		F－3	Ⅲ'
73	嘉祐通寶	北宋	1056年	真書		F－2	Ⅶ
74	嘉祐通寶	北宋	1056年	真書		B－3	
75	政和通寶	北宋	1111年	篆書		G－2	Ⅲ'

整理番号	銭貨名	国名	初鋳年	書体	遺構	調査地区	層位
76	政和通寶	北宋	1111年	篆書		D－1	
77	大観通寶	北宋	1107年			D－3	Ⅸ
78	治平元寶	北宋	976年			F－2	Ⅲ'
79	聖宋元寶	北宋	1101年	行書		G－3	Ⅴ
80	皇宋通寶	北宋	1038年	篆書		D－2	Ⅵ
81	皇宋通寶	北宋	1038年	篆書		E－1	Ⅲ'
82	皇宋通寶	北宋	1038年	篆書		D－1	
83	皇宋通寶	北宋	1038年	篆書		D－2	Ⅲ'
84	皇宋通寶	北宋	1038年	篆書		F－2	Ⅲ'
85	皇宋通寶	北宋	1038年	真書		G－2	Ⅲ'
86	皇宋通寶	北宋	1038年	真書	SK09	B－1	
87	皇宋通寶	北宋	1038年	真書	SK09	B－2	
88	皇宋通寶	北宋	1038年	真書		D－2	
89	熙寧元寶	北宋	1068年	篆書		D－2	
90	熙寧元寶	北宋	1068年	篆書		D－2	Ⅲ'
91	熙寧元寶	北宋	1068年	篆書		E－1	
92	熙寧元寶	北宋	1068年	篆書		G－3	Ⅵ
93	熙寧元寶	北宋	1068年	篆書		G－2	Ⅲ'
94	熙寧元寶	北宋	1068年	篆書		F－2	Ⅶ
95	熙寧元寶	北宋	1068年	真書		E－3	Ⅵ
96	熙寧元寶	北宋	1068年	真書		D－2	
97	熙寧元寶	北宋	1068年	真書			
98	熙寧元寶	北宋	1068年	真書		D－3	
99	熙寧元寶	北宋	1068年	真書	SK09	B－1	
100	熙寧元寶	北宋	1068年	真書	SK09	B－1	
101	天聖元寶	北宋	1023年	篆書		D－2	
102	天聖元寶	北宋	1023年	篆書		G－2	Ⅶ
103	天聖元寶	北宋	1023年	篆書		F－1	Ⅷ
104	天聖元寶	北宋	1023年	真書		D－1	
105	元豊通寶	北宋	1078年	篆書		D－2	Ⅷ
106	元豊通寶	北宋	1078年	篆書		G－3	Ⅶ
107	元豊通寶	北宋	1078年	篆書		D－1	
108	元豊通寶	北宋	1078年	篆書		F－2	Ⅲ'
109	元豊通寶	北宋	1078年	篆書		D－2	
110	元豊通寶	北宋	1078年	篆書		G－3	Ⅶ
111	元豊通寶	北宋	1078年	行書		D－1	
112	元豊通寶	北宋	1078年	行書		G－3	Ⅶ
113	元豊通寶	北宋	1078年	行書		E－3	
114	元豊通寶	北宋	1078年	行書		E－3	Ⅴ
115	元豊通寶	北宋	1078年	行書		E－2	Ⅶ
116	元豊通寶	北宋	1078年	行書		D－1	
117	元豊通寶	北宋	1078年	行書		G－2	Ⅶ
118	元豊通寶	北宋	1078年	行書	SK21	E－3	
119	元豊通寶	北宋	1078年	行書		G－2	Ⅲ'
120	祥符通寶	北宋	1009年			D－2	
121	祥符元寶	北宋	1009年			F－3	
122	太平通寶	北宋	976年			G－2	Ⅲ'
123	□□元寶					G－2	Ⅲ'
124	不明				SB01	E－2	
125	元□□□				SB01	E－2	
126	不明					D－2	
127	不明			篆書		B－3	
128	不明					E－2	Ⅲ'
129	不明					D－1	
130	□□元寶					F－2	
131	不明					G－3	Ⅲ、Ⅵ
132	不明					D－2	
133	□符通寶			行書		D－1	
134	不明					D－2	
135	元□□□				SK09	B－1	
136	□□元寶				SK09	B－1	
137	不明				SX01	E－2	
138	不明					D－1	
139	不明					B－3	
140	不明					E－3	Ⅴ
141	不明					E－1	Ⅲ'
142	不明					F－2	Ⅲ'
143	不明				SK09		
144	不明					E－2	Ⅲ'
145	不明					E－2	Ⅲ'
146	不明					F－2	Ⅶ

第Ⅳ章　自然科学分析

祇園遺跡から出土した木器等の樹種

祇園遺跡から出土した木製品等の樹種

パリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

祇園遺跡では、阿蘇カルデラ内南郷谷の白川と高木川に挟まれた場所に立地し、12世紀後半～14世紀半ばの建物跡、井戸、溝等が検出されている。本遺跡に隣接する二本木前遺跡でも同時期の水濠を有する建物跡が検出されており、「吾妻鏡」に登場する阿蘇氏の居館跡の可能性が指摘されている（水野・古森，1997）。

本報告では、建物跡や井戸跡等から出土した、構築材および木製品の樹種同定を行い、用材選択に関する資料を得る。

1．試料

試料は、各遺構から出土した木製品55点（試料番号1～55）である。各試料の詳細は、樹種同定結果と共に表1に記した。なお、遺構の時期区分等については、水野・古森（1997）を参考にした。

2．方法

剃刀の刃を用いて木口（横断面）・柾目（放射断面）・板目（接線断面）の3断面の徒手切片を作製し、ガム・クロラール（抱水クロラール，アラビアゴム粉末，グリセリン，蒸留水の混合液）で封入し、プレパラートを作製する。作製したプレパラートは、生物顕微鏡で観察・同定する。

3．結果

樹種同定結果を表1に示す。試料は、針葉樹3種類（モミ属・スギ・カヤ）、広葉樹15種類（ヤマモモ・オニグルミ・サワグルミ・アサダ・ブナ属・クリ・ケヤキ・モクレン属・カツラ・タブノキ・クスノキ科・シキミ・サクラ属・ニガキ・ミズキ属）に同定された。各種類の主な解剖学的特徴を以下に記す。

・モミ属（Abies）　マツ科

仮道管の早材部から晩材部への移行は急～やや緩やかで、晩材部の幅は狭い。放射組織は柔細胞のみで構成され、柔細胞壁は粗く、じゅず状末端壁が認められる。分野壁孔はスギ型で1分野に1～4個。放射組織は単列、1～20細胞高。

・スギ（Cryptomeria japonica (L. f.) D. Don）
スギ科スギ属

仮道管の早材部から晩材部への移行は急で、晩材部の幅は広い。樹脂細胞が晩材部に限って認められる。放射組織は柔細胞のみで構成され、柔細胞の壁は滑らか。分野壁孔はスギ型で、1分野に2～4個。放射組織は単列、1～15細胞高。

・カヤ（Torreya nucifera Sieb. et Zucc.）
イチイ科カヤ属

仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やか～やや急で、晩材部の幅は狭い。放射組織は柔細胞のみで構成され、柔細胞壁は滑らか。分野壁孔はトウヒ型～ヒノキ型で、1分野に1～4個。放射組織は単列、1～10細胞高。仮道管内壁には対をなしたらせん肥厚が認められる。

・ヤマモモ（Myrica rubra Sieb. et Zucc.）
ヤマモモ科ヤマモモ属

散孔材で、道管は単独または2～4個が複合して散在し、分布密度は高い。道管は、階段穿孔を有する。放射組織は異性Ⅱ～Ⅰ型、1～3細胞幅、1～30細胞高。

・オニグルミ（Juglans mandshurica Maxim. subsp. sieboldiana (Maxim.) Kitamura）
クルミ科クルミ属

散孔材で、道管は孔は単独または2～4個が複合して散在し、年輪界に向かって管径を漸減する。道管は単穿孔を有し、壁孔は密に交互状に配列する。放射組織は同性～異性Ⅲ型、1～4細胞幅、1～40細胞高。

・サワグルミ（Pterocarya rhoifolia Sieb. et Zucc.）
クルミ科サワグルミ属

散孔材で、道管は単独または２～４個が複合して散在し、分布密度は低い。道管は単穿孔を有し、壁孔は密に交互状に配列する。放射組織は同性～異性Ⅲ型、１～２細胞幅、１～20細胞高。

・アサダ（Ostrya japonica Sarg.）
カバノキ科アサダ属

散孔材で、管孔は単独または放射方向に２～４個が複合して散在する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は同性～異性Ⅲ型、１～４細胞幅、１～30細胞高。

・ブナ属（Fagus）　ブナ科

散孔材で、道管は単独または２～３個が複合して散在し、分布密度は高い。道管は単穿孔を主とするが、一部階段穿孔も認められ、壁孔は大型で対列状～階段状に配列する。放射組織は同性～異性Ⅲ型、単列、数細胞高のものから複合放射組織まである。

・クリ（Castanea crenata Sieb. et Zucc.）
ブナ科クリ属

環孔材で孔圏部は１～４列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列で稀に２列、１～15細胞高。

・ケヤキ（Zelkova serrata (Thunb.) Makino）
ニレ科ケヤキ属

環孔材で孔圏部はほぼ１列、孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減、塊状に複合し接線・斜方向の紋様をなす。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性Ⅲ型、１～８細胞幅、１～50細胞高で、結晶細胞が認められる。

・モクレン属（Magnolia）　モクレン科

散孔材で管壁厚は中庸～薄く、単独または２～４個が放射方向に複合して散在する。道管は単穿孔を有し、壁孔は階段状～対列状に配列する。放射組織は異性Ⅱ型、１～２細胞幅、１～40細胞高。

・カツラ（Cercidiphyllum japonicum Sieb. et Zucc.）
カツラ科カツラ属

散孔材で、管孔は単独または２～３個が複合して散在し、分布密度は高い。道管は階段穿孔を有する。放射組織は異性Ⅱ型、１～２細胞幅、１～30細胞高。

・タブノキ（Persea thunbergii (Sieb. et Zucc.) Kostermans）
クスノキ科タブノキ属

散孔材で管壁は厚く、横断面では楕円形、単独または２～３個が放射方向に複合して散在する。道管は単穿孔および階段穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性Ⅲ～Ⅱ型、１～３細胞幅、１～20細胞高。柔組織は周囲状、翼状および散在状。柔細胞はしばしば大型の油細胞となる。

・クスノキ科（Lauraceae）

散孔材で管壁は薄く、横断面では角張った楕円形、単独まれに２～３個が放射方向に複合して散在する。道管は単穿孔および階段穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は異性Ⅲ型、１～２細胞幅、１～20細胞高。油細胞が認められるが目立たない。

・シキミ（Illicium anisatum L.）
シキミ科シキミ属

散孔材で管壁厚は中庸～薄く、横断面では多角形、単独または２～４個が複合して散在し、分布密度は高い。道管は階段穿孔を有し、壁孔は階段状～対列状に配列する。放射組織は異性ＩＩ～Ｉ型、１～２細胞幅、１～20細胞高。

・サクラ属（Prunus）　バラ科

散孔材で管壁厚は中庸、横断面では角張った楕円形、単独または２～８個が複合して散在し、晩材部へ向かって管径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、内壁にはらせん肥厚が認めら

れる。放射組織は異性Ⅲ型、1～5細胞幅、1～50細胞高。

・ニガキ(Picrasma quassioides (D. Don) Benn.)
ニガキ科ニガキ属

環孔材で孔圏部は2～3列、孔圏外で急激～やや緩やかに管径を減じたのち漸減する。道管は単穿孔を有し、壁孔は小型で密に交互状に配列する。放射組織は同性、1～4細胞幅、1～40細胞高。

・ミズキ属（Cornus）　ミズキ科

試料は保存状態が悪く、年輪界を挟んだ一部の組織のみの観察。散孔材で、観察できた範囲ではほぼ単独で配列、年輪界を挟んだ道管径の変化はあまりない。柾目面は良好な切片が作製できなかったが、階段穿孔を有している。放射組織は異性Ⅱ型、1～6細胞幅、1～30細胞高。

4．考察

樹種同定を行った試料は、中世の建物跡等の構築材と木製品に大別される。時期は、層序の観察から3時期に分類されているが（水野・古森，1997)、詳細が不明のものもある。

構築材は、柱材と敷板に大別される。柱材には、落葉広葉樹のクリと針葉樹のカヤが比較的多いが、全体で13種類が認められ、様々な種類が利用されていたことがうかがえる。このうち、ＳＢ21では、11点の試料について樹種同定を行っている。その結果を見ると、クリが多いものの、その他にもカヤ、タブノキ、クスノキ科、アサダなども認められる。この結果から、1棟の建物でも複数の種類が柱材として利用されていたことが推定される。

比較的多く見られたクリとカヤは、耐朽性や強度に優れており、これまで各地で行われた調査でも柱材などに確認例がある(島地･伊東,1988;伊東,1991;山田，1993)。今回の結果から、強度や耐朽性に優れたクリやカヤを柱材として利用していたことが推定される。また、アサダやオニグルミなど、その他の広葉樹材にも強度が高い種類が多く見られることから、同様に強度の高い木材を選択していた様子がうかがえる。一方、ブナ属は、大材は得やすいが、保存性が低く腐りやすいため、他の種類と比較するとあまり適材とはいえない。しかし、寺院などの建築材にブナが利用されている例もあり（斉藤，1985)、柱材などにも利用可能であったことが推定される。

敷板は、いずれも針葉樹材でスギとカヤが認められた。針葉樹材は板状の加工が比較的容易であり、選択的に利用された可能性がある。

木製品は、椀、皿、突起付木器、木簡に分けられる。木簡にモミ属が確認された以外は全て広葉樹材であった。木簡のモミ属は、敷板と同様に、板に加工しやすいモミ属の材を選択したものと考えられる。一方、椀と皿には合計3種類（ケヤキ・カツラ・ミズキ属）が認められた。これらの種類は、挽物の木地として一般的な種類であり、とくにケヤキとカツラは高森町や矢部町で現在でも木地として利用されている（橋本，1979；中川，1985)。いずれの種類も各地の遺跡で出土例が報告されている（島地・伊東，1988；伊東，1991；山田，1993)。本地域では、隣接する二本木前遺跡や熊本市高橋南貝塚などで、中世の椀などにケヤキやカツラが認められており（古環境研究所，1998；大迫，1978)、今回の結果とも一致する。また、二本木前遺跡では、今回確認された種類の他にもトチノキ、クリが確認されていることから、本遺跡でもこれらの種類が利用されていた可能性がある。

民俗事例では、環孔材の木材組織を有するケヤキと、散孔材のカツラ、ミズキ、トチノキは、別のグループに扱われ、それぞれ利用される用途も若干異なる（橋本，1979)。このような違いは、江戸時代の試料でもその傾向が見られる（北村，1999)。しかし、本遺跡や二本木前遺跡の結果を見る限り、樹種による利用状況の違いは認められない。そのため、中世の段階では、種類による用途の違いは明確ではなかった可能性もある。今後さらに類例を蓄積して傾向を把握したい。

引用文献

橋本鉄男（1979）ものと人間の文化史31
ろくろ．444p.，法政大学出版局.

伊東隆夫（1991）日本の遺跡から出土した木材の樹種とその用途Ⅱ．木材研究・資料,26,p.91-189,京都大学木材研究所.

株式会社古環境研究所（1998）二本木前遺跡出土木器の同定．熊本県文化財調査報告第167集「二本木前遺跡」，p.165-171，熊本県教育委員会.

北野信彦（1999）生産技術面からみた江戸遺跡出土漆器の生産・流通・消費．江戸遺跡研究会第12回大会　江戸の物流　－陶磁器・漆器・瓦から－〔発表要旨〕，p.5-24.

水野哲郎・古森政次（1997）二本木前遺跡と祇園遺跡．考古学ジャーナル，415，p.9-14.

中川重年（1985）木地屋の世界　その移動と森林の変化.「ブナ帯文化」，p.165-184，思索社.

大迫靖雄（1978）高橋南貝塚出土木製品の樹種鑑定.熊本県文化財調査報告第28集「高橋南貝塚　本文」，p.77-84，熊本県教育委員会.

斉藤　功（1985）ブナ材利用の変遷.「ブナ帯文化」，p.185-199，思索社.

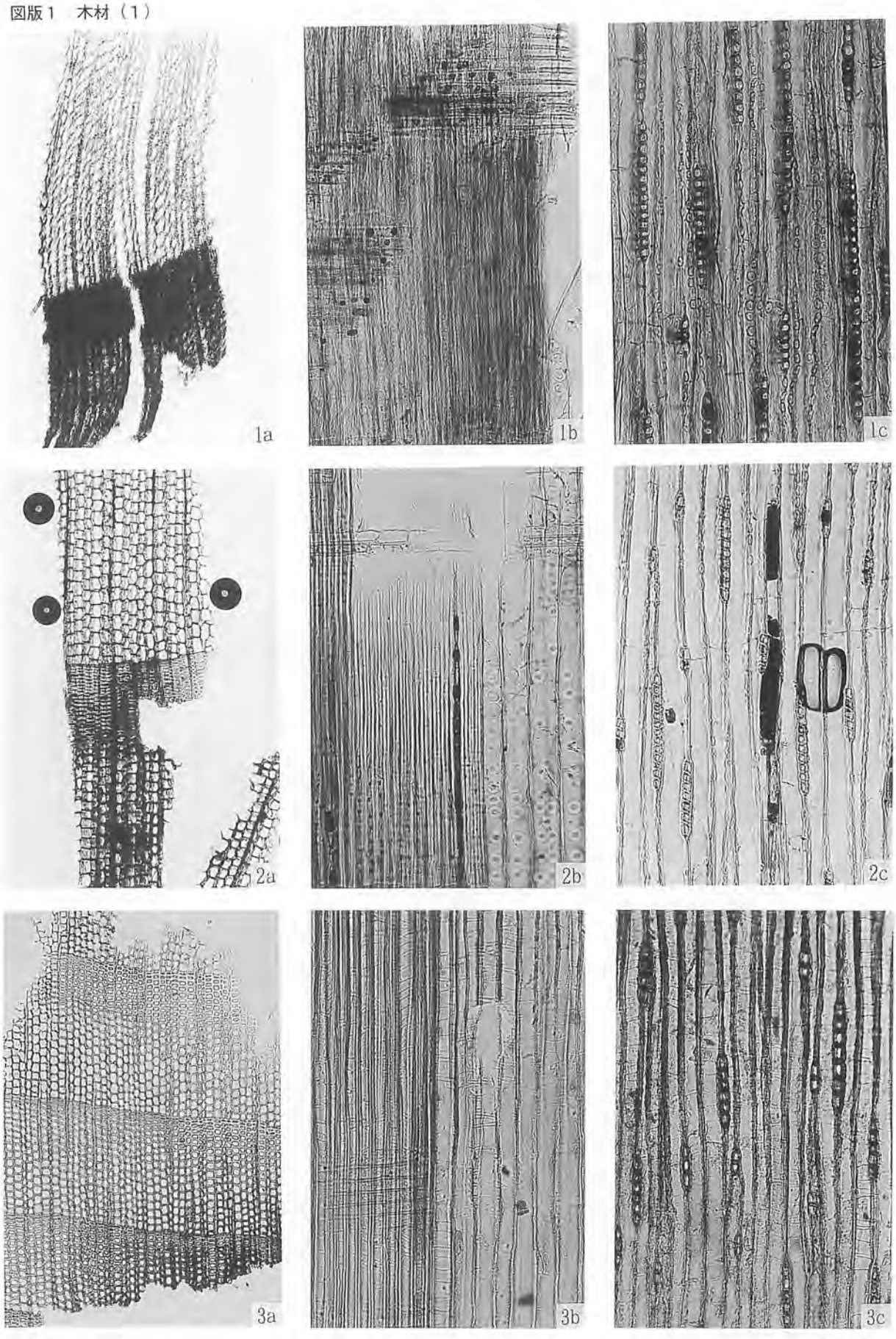
島地　謙・伊東隆夫編（1988）日本の遺跡出土木製品総覧．296p.，雄山閣.

山田昌久（1993）日本列島における木質遺物出土遺跡文献集成　－用材から見た人間・植物関係史.植生史研究特別第１号，242p.，植生史研究会.

第5表　樹種同定表

番　号	遺　構　名	図版No.	用　途　な　ど	樹　種	木器番号
1	ＳＥ02		縦角材	モミ属	47
2	ＳＥ02		横角材	クリ	19
3	ＳＡ09　pit02	(157)	柱材（丸）	モミ属	59
4	ＳＢ21　pit09	(144)	柱材（角）	クリ	60
5	ＳＢ21　pit05	(142)	柱材（角）	クリ	61
6	ＳＢ21　pit03	(140)	柱材（丸）	クリ	62
7	ＳＢ21　pit10	(146)	柱材（面取り）	クリ	63
8	ＳＢ08　pit04	(119)	柱材（角）	カヤ	64
9	ＳＢ10　pit02	(126)	柱材（丸）	シキミ	65
10	ＳＢ21　pit07	(143)	柱材（角）	タブノキ	66
11	ＳＢ18　pit11	(137)	柱材（丸）	カヤ	67
12	ＳＢ23　pit06	(151)	柱材（面取り）	カヤ	68
13	ＳＢ22　pit11	(149)	柱材（丸・保存穴有）	クリ	69
14	ＳＢ21　pit09	(145)	柱材（樹皮付き）	クスノキ科	70
15	ＳＢ11　pit26	(131)	柱材（面取り）	クリ	71
16	ＳＢ08　pit20	(121)	柱材（丸）	クリ	72
17	ＳＢ11　pit14	(127)	柱材（丸）	カヤ	73
18	ＳＢ21　pit02	(138)	柱材（面取り）	カヤ	74
19	（ＳＢ44　pit03）消滅		柱材（丸）	ブナ属	75
20	ＳＢ08　pit06	(120)	柱材（丸）	カヤ	76
21	ＳＢ22　pit22	(150)	柱材（丸）	クリ	77
22	ＳＢ11　pit17	(129)	柱材（角）	ブナ属	78
23	ＳＢ21　pit18	(139)	柱材（角）	クリ	79
24	ＳＢ21　pit04	(141)	柱材（角：面取り、丸の可能性有）	アサダ	80
25	ＳＢ23　pit09	(152)	柱材（角）	カヤ	81
26	ＳＢ11　pit20	(130)	柱材（角）	アサダ	82
27	ＳＢ21　pit17	(148)	柱材（面取り）	カヤ	83
28	ＳＢ39　pit05	(155)	柱材（面取り）	オニグルミ	84
29	ＳＡ08　pit01	(156)	柱材（丸）	クリ	85
30	ＳＢ39　pit03	(153)	柱材（丸）	クリ	86
31	ＳＢ39　pit04	(154)	柱材（丸）	モミ属	87
32	ＳＢ11　pit14	(128)	敷板	スギ	88
33	ＳＢ07　pit39	(118)	敷板	カヤ	89
34	（ＳＢ11　pit14）消滅		敷板	スギ	90
35	ＳＢ11　pit29	(132)	柱材（角）	サクラ属	91
36	ＳＢ21　pit16	(147)	柱材（面取り）	クリ	92
37	ＳＢ13　pit31	(134)	柱材（角）	ニガキ	93
38	（ＳＢ11　pit10）消滅		柱材（面取り）	クリ	94
39	ＳＢ09　pit02	(123)	柱材（角）	クリ	95
40	ＳＢ09　pit10	(125)	柱材（角）	クリ	96
41	ＳＢ08　pit34	(122)	柱材（丸）	サワグルミ	97
42	ＳＢ09　pit07	(124)	柱材（細身面取り）	ヤマモモ	98
43	（ＳＢ11　pit10）消滅		柱材（角）	クリ	99
44	ＳＢ13　pit33	(135)	柱材（角）	クリ	100
45	ＳＢ15　pit11	(136)	柱材（面取り）	モミ属	101
46	ＳＢ12　pit07	(133)	敷板	カヤ	102
47	ＳＢ08　pit56		椀	カツラ	104
48	ＳＢ08　pit01		椀底	ミズキ属	105
49	ＳＢ11　pit23		椀底	ケヤキ	107
50	Ｅ－２区		椀	カツラ	108
51	ＳＢ22　pit02		椀底	ケヤキ	109
52	ＳＥ02		木簡	モミ属	111
53	ＳＥ02		小皿	カツラ	112
54	ＳＥ02		突起付木器	モクレン属	119
55	ＳＥ02		突起付木器	カツラ	120

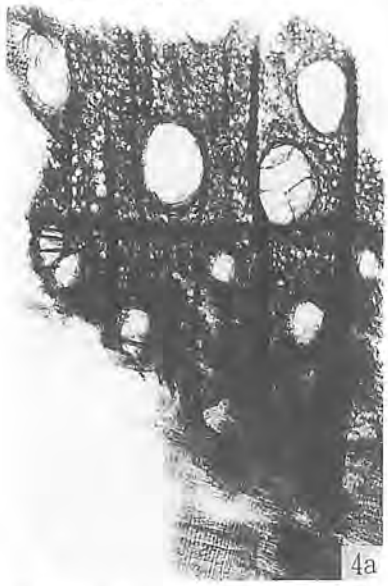
図版１　木材（１）

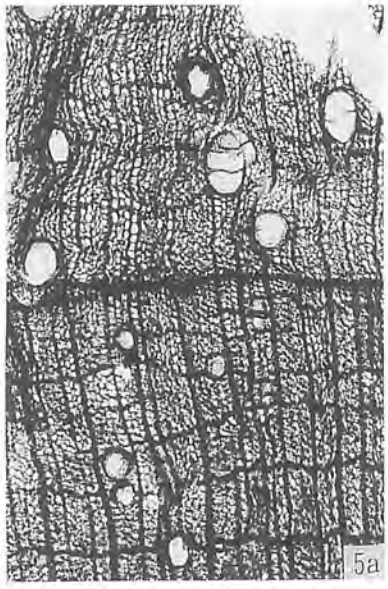


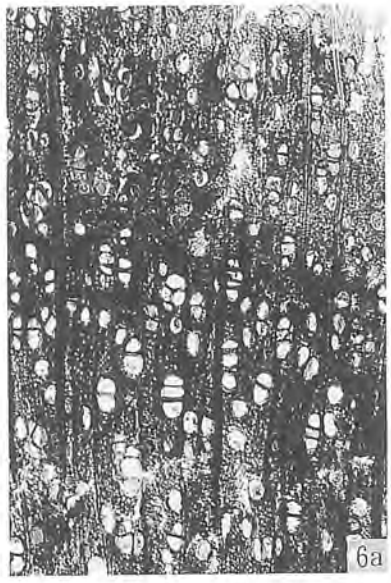
１．モミ属（試料番号１）
２．スギ（試料番号32）
３．カヤ（試料番号８）
　ａ：木口，ｂ：柾目，ｃ：板目

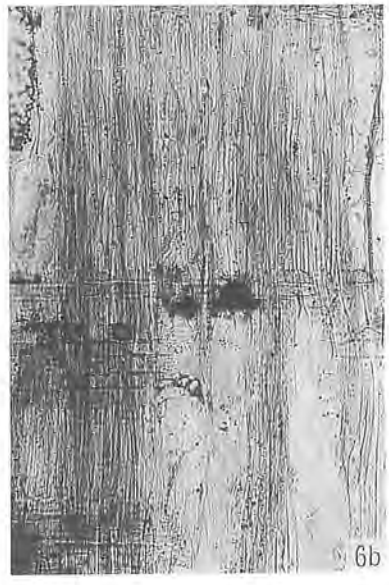
200μm：a
200μm：b，c

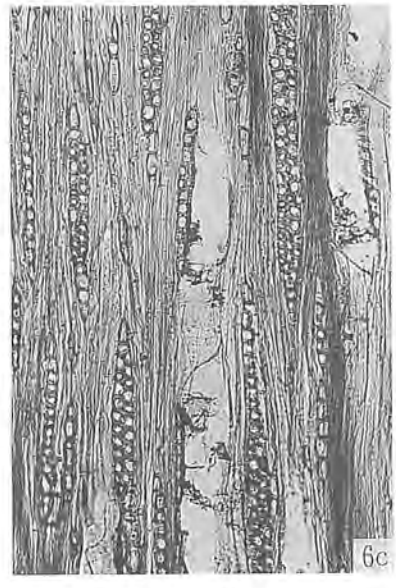
図版２　木材（２）







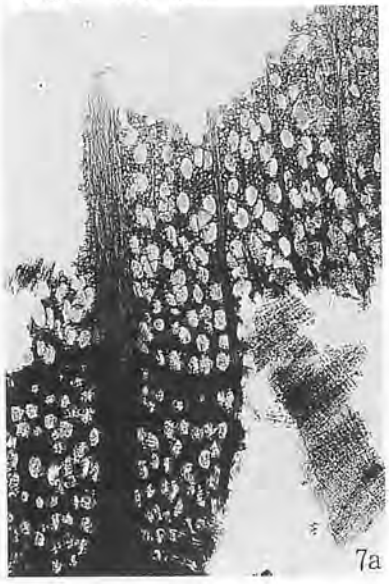


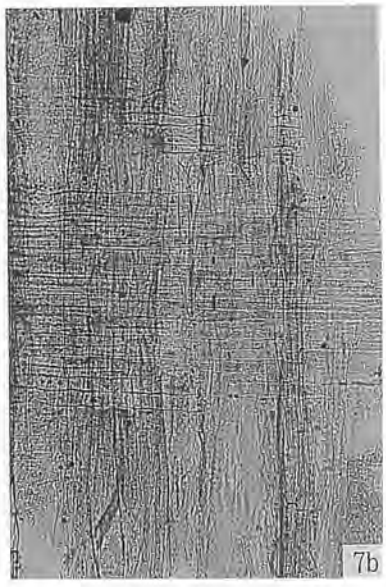


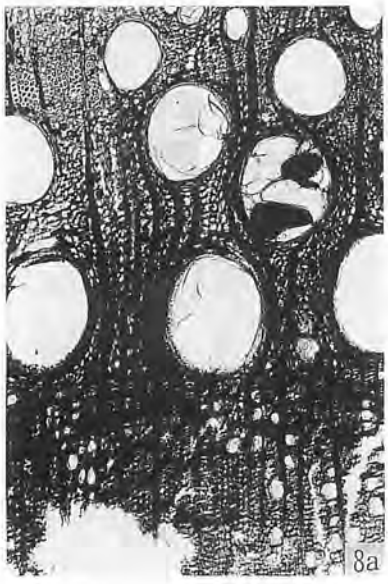
200 μm：a
200 μm：b，c

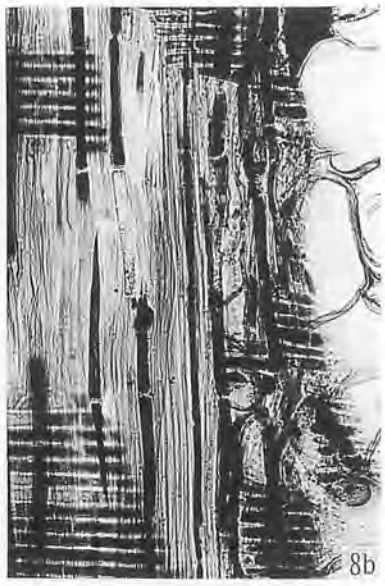
4．オニグルミ（試料番号28）
5．サワグルミ（試料番号41）
6．アサダ（試料番号24）
　a：木口，b：柾目，c：板目

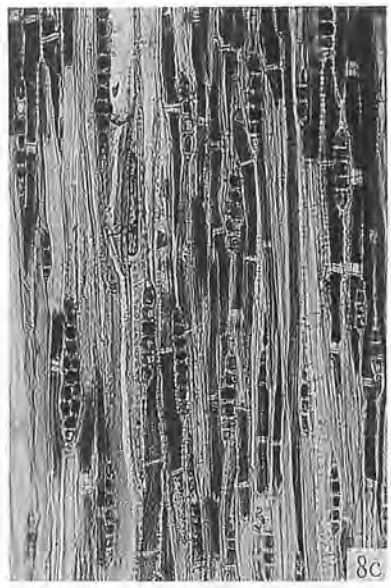
図版３　木材（３）

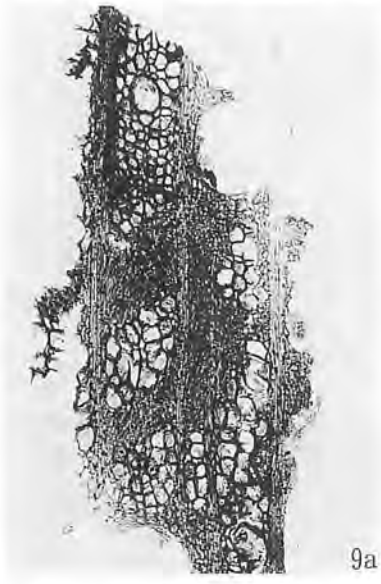










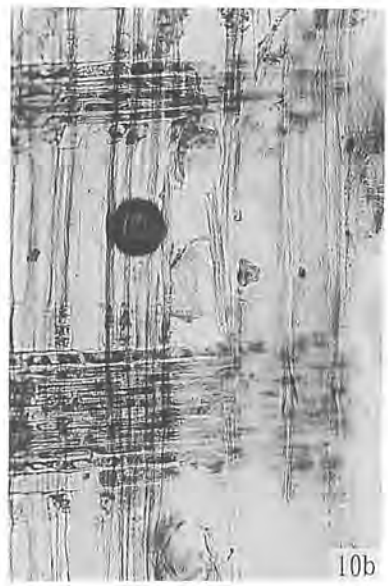


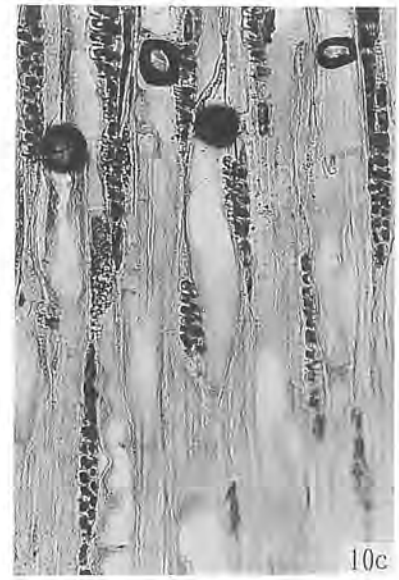
200 μm：a

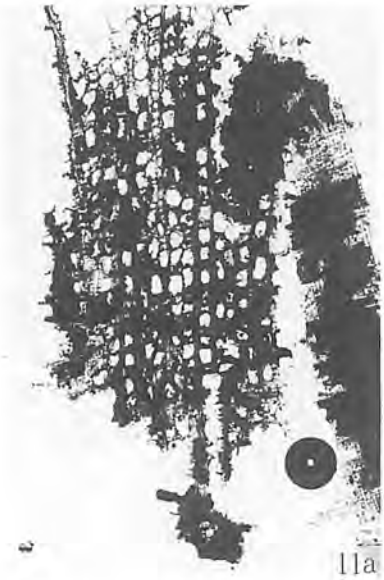
200 μm：b，c

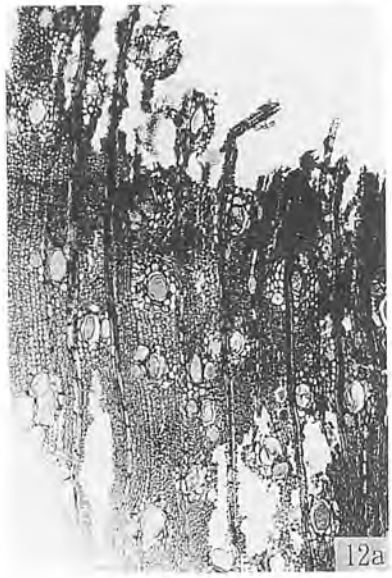
7．ブナ属（試料番号19）
8．クリ（試料番号２）
9．ケヤキ（試料番号49）
　a：木口，b：柾目，c：板目

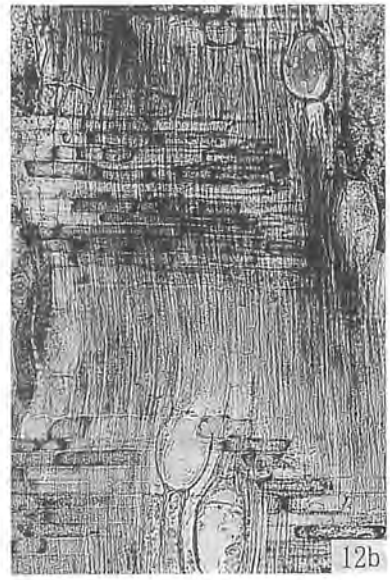
図版4　木材（4）

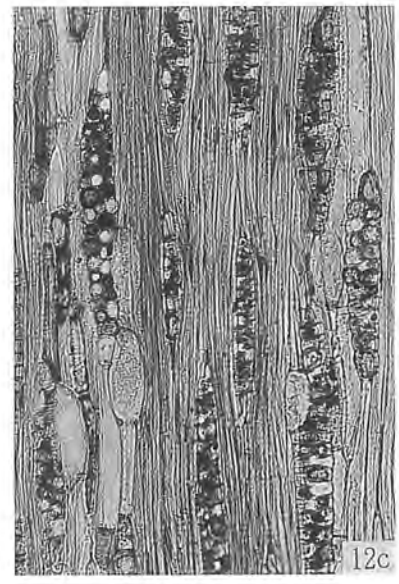










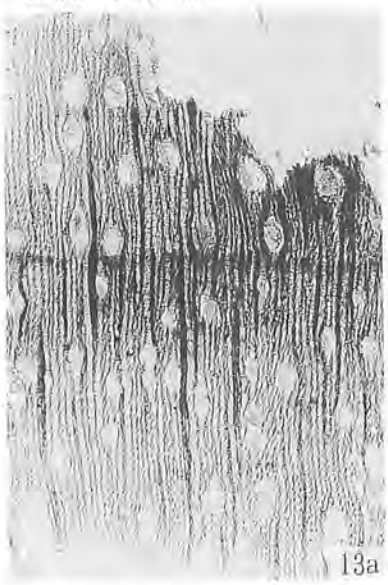


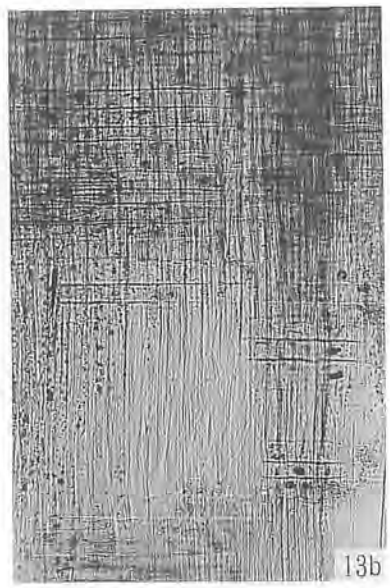
200 μm：a

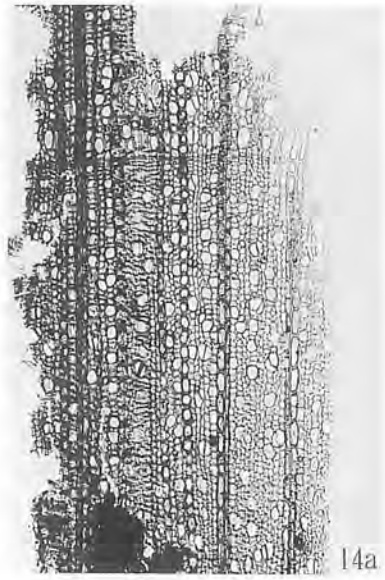
200 μm：b，c

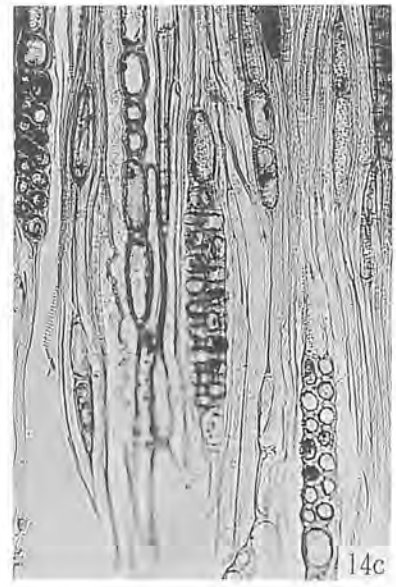
10．モクレン属（試料番号54）
11．カツラ（試料番号47）
12．タブノキ（試料番号10）
　a：木口，b：柾目，c：板目

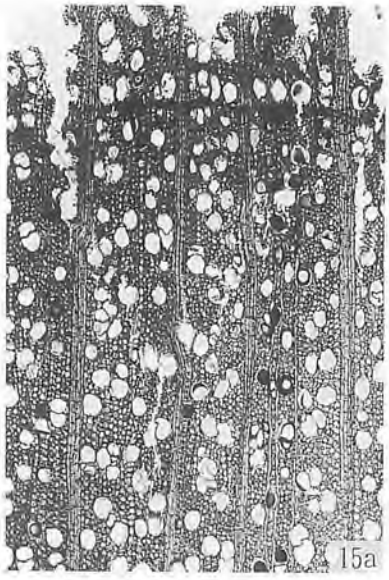
図版5　木材（5）

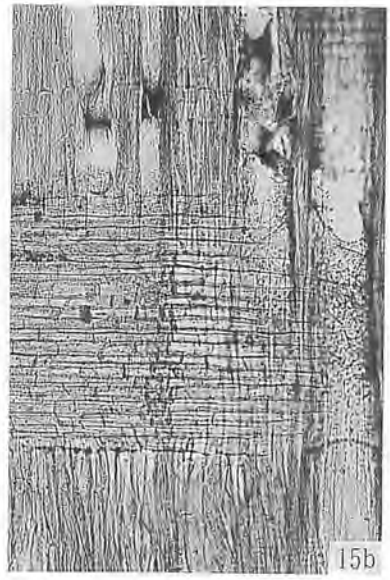


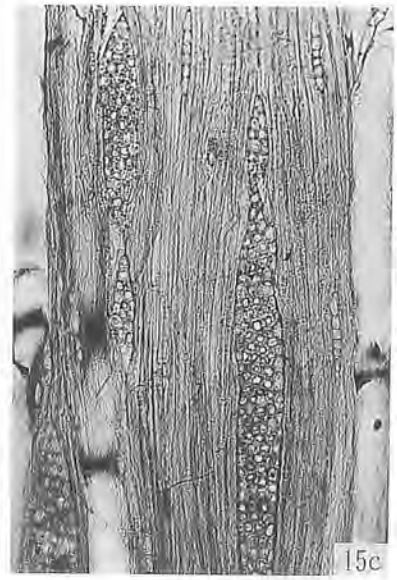










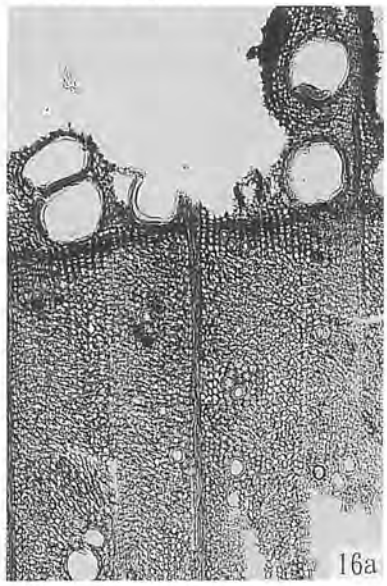


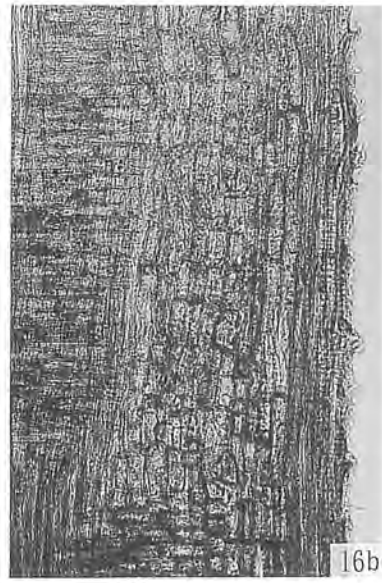
200 μm：a

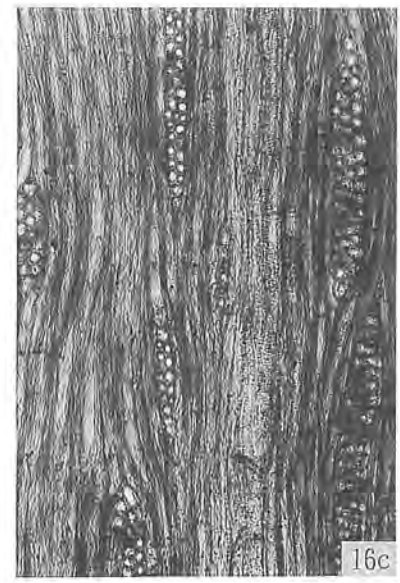
200 μm：b，c

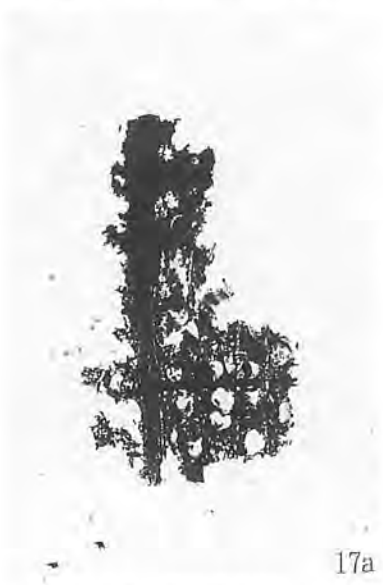
13. クスノキ科（試料番号14）
14. シキミ（試料番号９）
15. サクラ属（試料番号35）
　a：木口，b：柾目，c：板目

図版6　木材（6）


16a


16b


16c


17a

17b

17c

200 μm：a
200 μm：b，c

16．ニガキ（試料番号37）
17．ミズキ属（試料番号48）
a：木口，b：柾目，c：板目

第Ⅴ章　まとめ

第１節　遺構の変遷

第２節　出土遺物の傾向

第１節　遺構の変遷

本遺跡では１棟の礎石建物、38棟の掘立柱建物をはじめ、多くの遺構が検出された。それぞれに各時代の特徴を示す遺構であるが、ここでは第６、７表と第149、150図をもとに、建物を中心とした遺構の変遷を考えてみたい。建物の多くはⅧ層上面で検出をしたものであり、時期決定の決め手になったものは柱穴の埋土、柱穴の深さ、柱間隔、出土遺物、桁行きの軸方向、遺存する柱材などの諸条件である。

遺跡全体を見ると建物の集中する地域は北と南の大きなブロックに分けることができる。北のブロックは建物が小規模で、柱列の並びも不均等なものが多い。一方南のブロックは建物の規模が大きく、整然と並んでいるものが多い。建物の切り合いも激しく、南のブロックで28棟の建物が検出できた。後者は館的な建物群で、前者は家臣団の住居などにあたる小規模な建物群ということができるだろう。

また、本遺跡は二本木前遺跡（1998年３月熊本県文化財調査報告第167集）とほぼ同時期に存在した同様の性格を持つ中世遺跡で、両者を関連づけて考察しなければならない。両遺跡は距離にして100ｍほどしか離れておらず、両者とも時期的問題、遺構の規模、遺物の出土内容より、文献資料に登場する「南郷大宮司」館（阿蘇家館）に比定することが可能である。前述の報告書では、二本木前遺跡の方形居館の廃棄状況より、館の変遷論を展開した。しかし、本報告書をまとめるにあたって、二本木前遺跡での方形居館の造営期である12世紀後半にも大型の建物と大量の遺物が出土していることがわかり、祇園遺跡の場合、13世紀前半に館機能が移転したというより、12世紀段階より連綿と大型の館的な建物が造営されていたということが言え、両遺跡は同時期に存在し、機能的な分化により造営されていると言わなければならない。

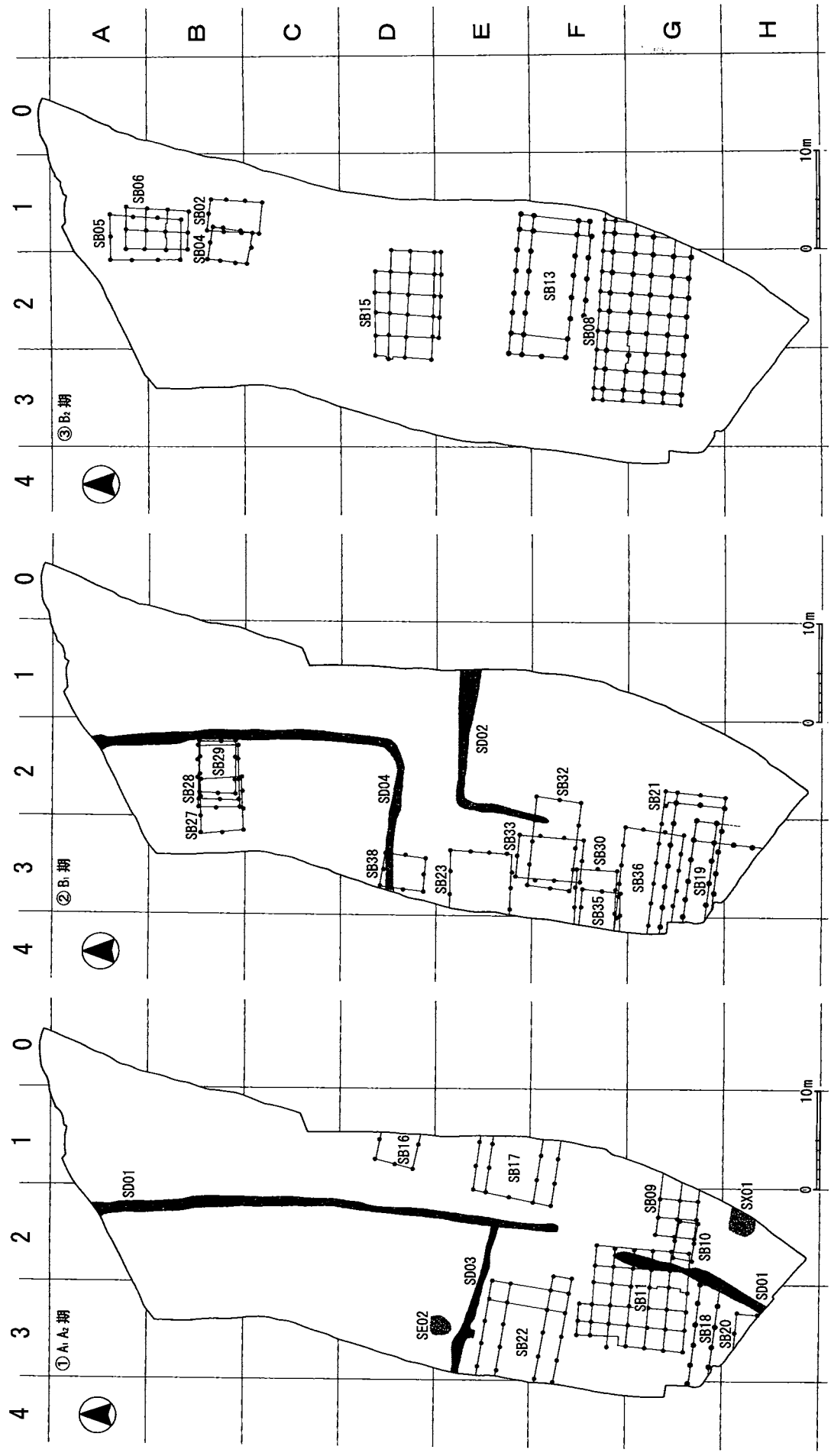
以上の観点から、第149、150図と第７表を基に遺構の変遷を考えてみたい。第７表のＳＢ消長表は12～14世紀を前・中・後期に分けてアルファベットの枝番で示した。従って建物の消長を示す時間尺は約30年の単位となる、おおまかなものである。建物も、明らかにその時期に存在したと言えるものは網掛けをしたが、推測の多いものについては（　）書きで示した。なお、点線で示した時間幅の長いものは、建物存続時期の上下限の可能性を示すもので、実際にそのように長く存在したものではない。

12世紀中後期にあたるＡ$_1$、Ａ$_2$期には８軒の掘立柱建物と２条の溝、１基の井戸と１基の不明遺構がある。この時期の掘立柱建物はⅧ層の埋土を持ち、柱穴も深い。遺存する柱材から、この時期の柱材は細かな単位で面取りをした円形の柱であることが判る。建物の桁行軸は東軸より10°近く南に振れている。一様に館的な大型の建物が多い。ＳＢ11は総柱建物で、建物の軸方向からも多少異質であり、ややＢ期に寄った建物の可能性がある。また、遺跡内はＳＤ01とＳＤ03により遺跡内が南北・東西に分割されているが、溝の存続の年代は比較的短いようである。他に遺跡中央にはⅧ層の埋土を持つＳＥ02があり、南東隅には石組みの不明遺構ＳＸ01がある。

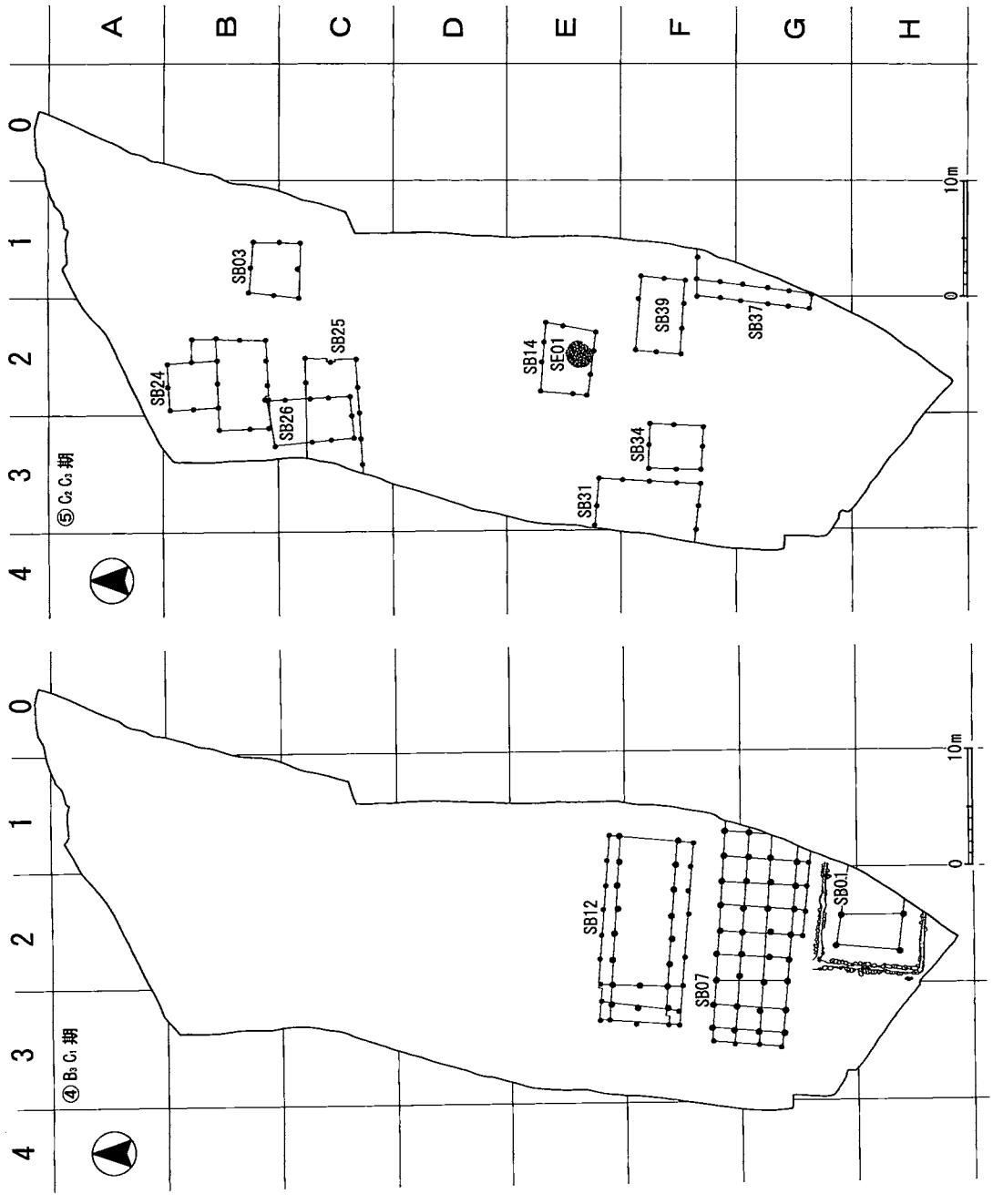
二本木前遺跡ではこの時期に方１町の濠を持つ方形居館が営まれている。二本木前遺跡は上面がかなり削平されているとは言え、祇園遺跡はこの時期にあたる遺物が多く、さらに古代末期的な遺物の様相も持っている。よって考え併せれば、阿蘇氏が本格的に拠点を南郷へ移す以前の、南郷における荘園管理を為す拠点であった可能性があるだろう。

13世紀前期にあたるＢ$_1$期には12棟の掘立柱建物と２条の溝を比定した。切り合いが激しく同時期に存在するものではないが、南側のＳＢ19、21といった大型建物を中心に、遺跡西側に建物が集中する。柱穴の埋土はⅦ層のもので、遺存する柱材から、この時期の柱材は４面に面取りをした角柱であることが判る。建物の桁行軸は東軸より５°前後、南に振れている。他にはＳＤ02、04が遺跡中央部でそれぞれ南北に流れを変えて存在し、屋敷の区画の表すような作りとなっている。

二本木前遺跡ではこの時期より方形居館の衰退が始まり、濠の浚渫も行われず自然流路への変容を遂げていく。二本木前遺跡で濠が廃れる原因は、中層に大量に残る人頭大の川原石より土石流の襲来の可能性を指摘したが、本遺跡でもⅧ層上面に同様の川



第149図　遺構変遷図（1）



第150図　遺構変遷図（２）

第6表　ＳＢ観察表

ＳＢ名	グリッド	間数	桁　長		梁　長		向き	型　式	方　位	庇		桁行平均			梁間平均			礎盤	柱穴直径	柱穴深さ	柱材	重　複
			m	尺	m	尺					m		m	尺		m	尺		cm	cm		
ＳＢ01	Ｈ－２	(2)×１	(6.9)	(23.0)	5.4	18.0	東西	礎石建物	Ｅ７°Ｓ			不等	2.9	9.7					40～60	6～20		ＳＢ10、18、19、21
ＳＢ02	Ｂ･Ｃ－１	3×２	5.4	18.0	3.2	10.6	南北	側柱	Ｎ５°Ｅ			等	1.8	6.0	等･不等	1.6	5.3	○	48～60	60～80		ＳＢ03、04
ＳＢ03	Ｂ･Ｃ－１	2×２	4.4	14.7	4.4	14.7	南北	側柱	Ｎ５°Ｅ			等	2.2	7.3	不等	2.4	8.0		24～32	20～28		ＳＢ02、04
ＳＢ04	Ｂ･Ｃ－１･２	3×２	4.1	13.7	3.0	10.0	南北	側柱	Ｎ５°Ｅ			不等	1.4	4.7	等･不等	1.6	5.3		20～32	20～44		ＳＢ02、04、03、ＳＤ01
ＳＢ05	Ａ･Ｂ－１･２	3×２	7.3	24.3	4.2	14.0	南北	側柱	Ｎ１°Ｗ			等･不等	2.4	8.0	等･不等	2.1	7.0		20～40	20～78		ＳＢ06
ＳＢ06	Ａ･Ｂ－１	3×２	6.3	21.0	4.2	14.0	南北	総柱	真北			等･不等	2.1	7.0	不等	2.1	7.0		20～40	20～64		ＳＢ05、ＳＡ07
ＳＢ07	Ｆ･Ｇ－１･２･３	(8)×３	(18.2)	(60.7)	6.4	21.3	東西	総柱	Ｅ５°Ｓ	西 南	1.1 1.1	不等	2.1	7.0	不等	2.1	7.0	○	40～60	0～68	○	ＳＢ08、09、10、11、21、34、36、37
ＳＢ08	Ｆ･Ｇ－１･２･３	(8)×４	(18.4)	(61.3)	9.0	3.0	東西	総柱	Ｅ５°Ｓ	東 西 北	1.2 1.2 1.2	不等	2.0	6.7	不等	2.0	6.7	○	28～60	20～68	○	ＳＢ07、09、10、11、21、34、36、37
ＳＢ09	Ｇ－１･２	(3)×２	(5.4)	(18.0)	4.1	13.7	東西	総柱	Ｅ12°Ｓ			等	1.8	6.0	不等	2.0	6.7		36～44	60～80	○	ＳＢ01、07、08、10、37
ＳＢ10	Ｇ－２	2×１	4.0	13.3	2.1	7.0	東西	側柱	Ｅ10°Ｓ			不等	2.0	6.7	等	2.1	7.0		28～36	20～68	○	ＳＢ01、07、08、09、11
ＳＢ11	Ｆ･Ｇ－２･３	5×４	11.2	37.0	10.3	34.3	南北	総柱	Ｎ５°Ｅ	西 北	1.4 1.6	不等	1.9	6.3	不等	2.0	6.7	○	30～60	20～60	○	ＳＢ07、09、10、21、34、36
ＳＢ12	Ｅ･Ｆ－１･２･３	7×２	15.8	52.7	7.5	25.0	東西	側柱	Ｅ５°Ｓ	西 南 北	1.2 1.3 1.1	等･不等	2.0	6.7	不等	2.5	8.3	○	50～70	20～50	○	ＳＢ13、17、22、32、33、34、39
ＳＢ13	Ｅ･Ｆ－１･２･３	5×２	13.0	43.3	7.4	24.7	東西	側柱	Ｅ５°Ｓ	東 西 南 北	1.4 1.0 1.4 1.2	等･不等	2.1	7.0	不等	2.3	7.7	○	36～60	20～50	○	ＳＢ12、17、22、32、33、34、39
ＳＢ14	Ｅ－２	3×２	5.6	18.7	4.2	14.0	東西	側柱	Ｅ９°Ｓ			不等	1.8	6.0	不等	2.1	7.0		20～40	20～52		ＳＤ01、02、03、ＳＥ01、ＳＡ10
ＳＢ15	Ｄ･Ｅ－１･２･３	5×３	10.8	36.0	6.8	22.7	東西	総柱	Ｅ２°Ｓ	南	0.7	不等	2.1	7.0	不等	2.0	6.7		28～44	20～80	○	ＳＤ01、04
ＳＢ16	Ｄ－１	(2)×２	(3.4)	(11.3)	4.1	13.7	東西	側柱	Ｅ12°Ｓ				2.1	7.0	不等	2.0	6.7		26～60	30～50		ＳＡ12
ＳＢ17	Ｅ･Ｆ－１･２	(3)×２	(6.7)	(22.3)	8.3	27.7	東西	側柱	Ｅ８°Ｓ	南 北	1.8 1.2	等	2.3	7.7	不等	2.6	8.7	○	50～64	50～80		ＳＢ12、13、39、ＳＡ08、ＳＤ02、05
ＳＢ18	Ｇ･Ｈ－２･３	(5)×？	(10.9)	(36.3)			東西	側柱	Ｅ７°Ｓ	北	2.1	不等	2.1	7.0					48～56	16～80	○	ＳＢ01、19、20、ＳＤ01
ＳＢ19	Ｇ･Ｈ－２･３	(4)×(3)	(10.4)	(34.7)	(7.0)	(23.3)	東西	側柱	Ｅ４°Ｓ	東 北	1.9 2.0	等	2.1	7.0	不等	2.0	6.7	○	50～60	24～48		ＳＢ01、18、20、21、ＳＤ01
ＳＢ20	Ｈ－３	(2)×(1)	(3.9)	(11.0)	(1.2)	(4.0)	東西	側柱	Ｅ６°Ｓ				2.1	7.0		2.2	7.3		40.0	20～60		ＳＢ18、19
ＳＢ21	Ｇ･Ｈ－２･３･４	(6)×２	(14.7)	(49.0)	6.1	20.3	東西	側柱	Ｅ６°Ｓ	東 北	1.2 1.2	不等	2.1	7.0	等	2.5	8.3		40～64	70.0	○	ＳＢ01、07、08、11、18、19、36、ＳＤ01
ＳＢ22	Ｅ･Ｆ－２･３	(3)×２	(9.4)	(31.3)	8.2	27.3	東西	側柱	Ｅ９°Ｓ	東 南 北	1.8 2.1 2.1	等	2.4	8.0	等	2.1	7.0		48～68	64～80	○	ＳＢ12、13、23、31、32、33、34
ＳＢ23	Ｅ－３	(3)×３	(6.1)	(20.3)	6.3	21.0	東西	側柱	Ｅ２°Ｓ			不等	1.8	6.0	等	2.1	7.0	○	20～36	16～40	○	ＳＢ22、31、ＳＤ03
ＳＢ24	Ａ･Ｂ－２･３	4×２ 2×２	7.8 4.3	26.0 14.3	4.5 4.1	15.0 13.7	東西	側柱	Ｅ１°Ｓ			不等 不等	1.9 2.2	6.3 7.3	不等 不等	2.2 2.0	7.3 6.7		18～44	16～36		ＳＢ26、27、28、29
ＳＢ25	Ｃ－２･３	(4)×２	(9.8)	(32.7)	4.3	14.3	東西	側柱	Ｅ３°Ｎ			不等	2.2	7.3	不等	2.1	7.0		24～40	24～42		ＳＢ26
ＳＢ26	Ｂ･Ｃ－２･３	4×２	7.2	24.0	3.6	12.0	南北	側柱	Ｎ５°Ｗ			不等	2.0	6.7	不等	1.8	6.0		20～40	24～56		ＳＢ24、25、27
ＳＢ27	Ｂ･Ｃ－２･３	3×２	5.4	18.0	4.3	14.3	東西	側柱	Ｅ１°Ｎ			不等	1.8	6.0	不等	1.8	6.0		20～40	24～56		ＳＢ24、26、28、29
ＳＢ28	Ｂ－２･３	3×２	6.6	22.0	4.0	13.3	東西	側柱	Ｅ１°Ｎ	西	1.3	不等	1.7	5.6	不等	1.8	6.0		18～38	8～36		ＳＢ24、27、29
ＳＢ29	Ｂ－２･３	3×２	5.5	18.3	4.4	14.7	東西	側柱	Ｅ１°Ｓ			不等	1.8	6.0	不等	2.1	7.0		24～40	20～48		ＳＢ24、27、28
ＳＢ30	Ｆ－３	(3)×２	(6.1)	(20.3)	4.2	14.0	東西	側柱	Ｅ１°Ｓ			等･不等	2.1	7.0	不等	2.1	7.0		30～40	20～44		ＳＢ07、08、11、31、33
ＳＢ31	Ｅ･Ｆ－３	4×(2)	9.0	30.0	(5.0)	(16.7)	南北	側柱	Ｎ１°Ｅ			不等	2.2	7.3	不等	2.0	6.7	○	24～64	8～24		ＳＢ22、23、30、32、33、35
ＳＢ32	Ｆ－２･３	4×２	9.0	30.0	4.5	15.0	東西	側柱	Ｅ７°Ｓ			不等	2.2	7.3	不等	2.3	7.7	○	32～48	12～36		ＳＢ12、13、22、31、33、34
ＳＢ33	Ｅ･Ｆ－３	3×２	6.8	22.7	4.8	16.0	南北	側柱	Ｎ５°Ｅ			不等	2.2	7.3	不等	2.2	7.3		28～52	8～36	○	ＳＢ12、13、22、31、32
ＳＢ34	Ｆ－３	2×２	4.6	15.3	3.8	12.7	南北	側柱	Ｎ５°Ｅ			不等	2.3	7.7	不等	1.9	6.3	○	36～64	8～44	○	ＳＢ07、08、11、12、13、22、32、33
ＳＢ35	Ｆ･Ｇ－３	(2)×２	(3.9)	(13.0)	4.2	14.0	東西	側柱	Ｅ５°Ｓ				2.1	7.0	等	2.1	7.0		36～44	20～44		ＳＢ30、31、36
ＳＢ36	Ｆ･Ｇ－３	(6)×３	(10.8)	(36.0)	6.2	20.7	東西	側柱	Ｅ５°Ｓ			不等	1.7	5.6	不等	2.0	6.7	○	24～50	20～48		ＳＢ07、08、11、21、30、35
ＳＢ37	Ｆ－１､Ｇ－１･２	5×(2)	10.0	33.3	(3.9)	(13.0)	南北	側柱	Ｎ９°Ｅ	西	1.3	不等	2.0	6.7	不等	1.6	5.3		24～44	20～64		ＳＢ07、08、09、ＳＡ14
ＳＢ38	Ｄ－３	2×２	4.6	15.3	3.4	11.3	南北	側柱	Ｎ10°Ｅ			不等	2.3	7.7	等	1.7	5.6		28～40	20～32		ＳＤ04
ＳＢ39	Ｆ－１･２	3×２	6.2	20.7	3.9	11.0	東西	側柱	Ｅ３°Ｓ			不等	2.1	7.0	等	1.9	6.3	○	24～48	16～36	○	ＳＢ12、13、17、ＳＤ01、06

第7表　ＳＢ消長表

12 世 紀		13 世 紀			14 世 紀		
A 1	A 2	B 1	B 2	B 3	C 1	C 2	C 3
				SB01			
			(SB02	-----	-----	-----	)
					(SB03	-----	)
			(SB04	-----	-----	-----	)
			(SB05	-----	-----	-----	)
			(SB06	-----	-----	-----	)
				SB07			
			SB08				
(SB09	-----	-----	)				
	(SB10	-----	)				
(SB11	-----	-----	)				
				SB12			
			SB13				
					(SB14	-----	)
			(SB15	-----	-----	-----	)
(SB16	-----	-----	)				
SB17							
	SB18						
		(SB19	-----	)			
	(SB20)						
		(SB21)					
SB22							
		(SB23)					
					(SB24	-----	)
					(SB25	-----	)
					(SB26	-----	)
		(SB27	-----	-----	)		
		(SB28	-----	-----	)		
		(SB29	-----	-----	)		
		(SB30	-----	-----	)		
					(SB31	-----	)
		(SB32	-----	-----	)		
		(SB33	-----	-----	)		
					(SB34	-----	)
		(SB35	-----	-----	)		
		(SB36	-----	-----	)		
					(SB37	-----	)
		(SB38	-----	-----	)		
					(SB39	-----	)

原石を大量に見ることができ、同時期の鍵層とすることができる。

13世紀中期にあたるB$_2$期には7軒の掘立柱建物がある。SB08、13といった大型建物を中心に、整然と建物が並ぶ。柱穴の埋土はⅦ層のもので、SB08、13、02には礎盤が敷いてあり、重量のある大型建物が存在したことが判る。建物の桁行軸は東軸より5°前後南に振れている。SB08南側には板石を敷いた配石遺構が伴う可能性がある。

二本木前遺跡では、かつての人工的な濠も自然の流路に変容し、目立った建物を見ることはできない。祇園遺跡では大型の建物が建ち並び始め、ここに至って館の機能は完全に祇園遺跡へ移ったものと言えるだろう。

13世紀後期、14世紀前期にあたるB$_3$C$_1$期には2軒の掘立柱建物と1軒の礎石建物がある。中心となるSB07、12はSB08、13を建て替えるような形で北にずれている。また、SB07の南には簡易な基壇を持つSB01が建っており、3つの建物が整然と並ぶ。他の建物の様相はこの時期に比定する決め手に欠け、不明である。

二本木前遺跡は同様に荒れた状態で、大型建物が建て替えられて存続する祇園遺跡が館の機能を持っていると考えられる。同時期、阿蘇氏は菊池氏と共に反幕府運動の中心となり、博多において菊池氏とともに鎮西探題を攻撃した後、肥後国守護規矩高政に館を攻められるなど、南郷の地も戦禍に巻き込まれる。Ⅶ層の上面には広くカーボンの層が広がり、その上面は砂利や化粧土であるⅤ層で整地されるなど、本遺跡に戦乱などによる大きな変化があったことが推測される。

14世紀中期、14世紀後期にあたるC$_2$C$_3$期には9軒の掘立柱建物と1基の井戸がある。それぞれの建物は柱穴の規模が小さく、目立って大きな建物はない。柱穴の埋土はⅥ層のものである。この時期は南北朝争乱期にあたり、鎌倉末期のB$_3$C$_1$期の建物が火災にあった後整地された層の上面に立てられたものである。SE01は大量にⅥ層の埋土が入っており、井戸の使用開始は前代のB$_3$C$_1$期であるかもしれない。

阿蘇氏は中央の政情と軌を一にし、阿蘇氏内でも南朝方と北朝方に分裂し抗争を続ける。北朝方は矢部に、南朝方は南郷に拠点を置いたとあるが、本遺跡は既に南朝方の館ではなくなっているようである。二本木前遺跡では「阿蘇氏女」により「光照律寺」が建立され、寺に伴う建物遺構が多く検出され、再び遺跡は活況を呈する。逆に本遺跡では建物の規模も小さくなり、遺構の数も減る。

阿蘇谷に古墳文化の華を開かせた阿蘇氏は、霊山阿蘇を祀ることで中央との結びつきを深め、一方で阿蘇郡全体の在地領主との結びつきをも深め、郡全体の開発を進めていった。史料によりその勢力拡大の過程を詳らかに追うことはできないが、12世紀前半には大宮司職を手に入れていることが判る。大宮司職は神主職と異なり、中央の正式任命により官印を持った責任ある管理職権を認められた身分であり、結果として、国司の勤務評定や監査の対象外となったことを意味する。阿蘇氏はこれに先立て、承暦年間（1077～1080）に阿蘇郡の四境を阿蘇社領として国庁宣を受けている。四境とは現在比定する限り、阿蘇谷と南郷谷を中心とする範囲と考えられる。このように立券された阿蘇荘は白河天皇の皇室領と見ることができ、奈良時代初期以来私営田領主として出発した阿蘇氏は、11世紀中葉の承暦年間までに、阿蘇谷及び南郷谷にその領主権を確立しており、その領主権を保ちながら皇室領荘園として阿蘇荘が立件されたのである。

大宮司職を世襲し、阿蘇郡内において土地と祭祀を統括する阿蘇氏は、古代末より武家の棟梁としての性格を強め、12世紀には南郷に拠点を移している。健軍・甲佐・郡浦の三末社の形成と末社領の完成は阿蘇社領の完成を意味し、神田に起源を持つ阿蘇谷より、開発による南郷谷・三末社領のある南方への進出は、阿蘇氏の勢力拡大と阿蘇社領の私領化の方向性を示すものだろう。二本木前遺跡と祇園遺跡は、まさにこのような拡大傾向を示す12世紀半ばより起源を持つ遺跡であり、「南郷大宮司」館そのものを伺わせる遺跡と言えるであろう。

第２節　出土遺物の傾向

１　はじめに

第Ⅲ章第２節で紹介したように、本遺跡には良好な中世の包含層が残っており、それより大量の遺物が出土した。ここではその遺物を供膳具・貯蔵具・煮炊具に限って数量化し、その出土傾向の分析を試みる。数量化は、出土遺物を主な種別に分類をし、それを大グリッドと層位を基に分別してそれぞれの重量を量った。この場合、そのグリッドに位置する遺構から出土した遺物については計量しておらず、包含層出土の遺物のみである。種別分類は各遺物によって基準が異なり、大きくは器種・器形による分類を行っているが、特に陶磁器に関しては、大宰府の編年に基づいて細かく型式分類を行い、計測を行った。

以上の方法に基づき、計量を行った各遺物についてそれぞれに大グリッド、層位の軸を作り、出土した遺物の総量を重量（ｇ）で示したのが表８である。種別は96である(遺物の前に数字で表示)。次に白磁、青磁については器種で合計し（遺物の前に小文字のアルファベットで表示)、陶磁器のそれぞれの総計を出した(遺物の前に大文字のアルファベットで表示)。最後に各種別ごと（①～④）の総量を合算し、遺物総量を出した。

遺物の量を数値化するにあたって、その破片数を数える、重量を量る、などといった方法が考えられるが、今回は後者の方法を採った。破片数を数える際の問題は、各破片によって大きさの差がありすぎるという点があげられる。これは、分類・接合作業を突き詰めていくことによって大小それぞれの破片でも、１個体に準ずるもの、という認識を持ち得ることによって解決できる。しかし、本遺跡では遺物の量が膨大で、整理期間が限られているということもあり、なかなかそのような認識に至ることはできなかった。そこで、重量の計測をすることによってある程度、空間的・層位的広がりを押さえることができると判断し、分析を試みることにした次第である。勿論、重量を計測する方法は、手軽である一方でいくつかの問題点を抱えている。すなわち、遺物の比重の問題が第１点で、例えば、滑石製石鍋と土師器皿では単純に重量を計測した数値の比較だけで、その時代の遺物の組成を論じることはできないだろう。また、完形遺物の大小が第２点で、甕などの大型品と白磁合子などの小型品を破片の重量比で比較した場合に、小型品が圧殺されてしまうという問題点もある。ただ、以上の問題点を考慮しながらも本遺跡のように様々なバリエーションを持つ大量の遺物が出土したところでは、限られた時間内に大まかな傾向を掴むのに有効と判断した。

２　層位ごとの出土傾向

本遺跡の包含層から出土した遺物の総量は1,013,764ｇで（表８－★)、その構成比を示したのがグラフ１である。種別による構成比は土師器坏・皿の割合が圧倒的に多く75.1％を占める。その中で、陶磁器（白磁・青磁・青白磁・陶器）の占める割合は9.4％である。残りが常滑、東播系須恵器等の広域流通雑器と、在地系の須恵質土器、瓦質土器等の雑器が占める。壺・甕・鉢類は重量が重いため重量比に占める割合が多く、他の遺物との個体数の比較は考慮しなければならないが、在地系のものと広域系のものが同じ割合で搬入されていることがわかる。ただ、広域流通品雑器に比重の大きい滑石製石鍋を入れており、この区分のデータは割り引いて考える必要があるだろう。また、ここに抜けている大きなブランクとして、木製品があることを指摘しなければならない。周知のとおり木製品は特殊な条件が揃わなければ遺存することは難しいが、ほぼ同時期にあたる二本木前遺跡では、濠から大量の木器椀が出土しており、特に椀形態としては無視することのできない量を持つものと思われる。

次に全体構成比を基準に、遺物の包含状況が良好なⅨ～Ⅳ層の構成比を順次見てみる。

Ⅸ層（グラフ２）は12世紀半ば～後半にあたる層であり、遺物出土量は全体の3.8％を占める。土師器坏・皿の占める割合は79％と高く、陶磁器の割合は7.1％で全体構成比よりやや落ちる。陶磁器の構成比では白磁の占める割合が高い。在地系の雑器が全体構成比よりやや低く、広域流通雑器より比率が

低い。

Ⅷ層（グラフ3）はⅨ層とほぼ同位の層と思われる。遺物出土量は全体の16.6%である。土師器坏・皿の占める割合は78.9%とやはり高く、陶磁器の割合は9.3%で全体構成比に近い。陶磁器の構成比では白磁の占める割合が高い。雑器は全体構成比より低いが、広域流通品と在地系の雑器はほぼ同比である。

Ⅶ層（グラフ4）は13世紀初頭～13世紀後半にあたる層である。遺物出土量は全体の24.1%と、一括・Ⅲ'を除けば最も多い。土師器坏・皿の占める割合は72.6%と全体比より低く、逆に陶磁器の割合は11.4%で全体構成比よりやや落ちる。陶磁器の構成比では青磁の占める割合が高くなる。雑器の占める割合は全体構成比のそれに近くなるが、広域流通品の占める割合は高くなる。

Ⅵ層（グラフ5）は14世紀初頭～14世紀半ばにあたる層である。遺物出土量は全体の5.2%。土師器坏・皿の占める割合は75.1%と全体比と同じであり、陶磁器の割合は7.1%で全体構成比より落ちる。陶磁器の構成比では青磁の占める割合が高い。雑器の占める割合は全体構成比のそれより高く、広域流通品と在地系の占める割合はほぼ同じである。

Ⅴ層（グラフ6）はⅥ層と同位にあたる層である。遺物出土量は全体の3.3%。土師器坏・皿の占める割合は75.8%と全体比よりやや多く、陶磁器の割合は7.5%で全体構成比より落ちる。陶磁器の構成比では青磁の占める割合が高い。雑器の占める割合は全体構成比のそれより高く、広域流通品の方が在地系の占める割合より高い。

Ⅳ層（グラフ7）は14世紀半ば～15世紀初頭にかけての層である。遺物出土量は全体の2.1%。土師器坏・皿の占める割合は66.1%と全体比よりかなり少ない。陶磁器の割合は15.9%で全体構成比より多い。陶磁器の構成比では青磁の占める割合が高い。雑器の占める割合も全体構成比のそれより高く、広域流通品の方が在地系の占める割合より高い。

以上のように種別の構成比で見て行くと各層位ごとに変化があることが判る。土師器は全体に7割強を占めるが、12世紀段階では更に割合が高く、時代が下るに従い割合を低くして行く。一方で、12世紀段階では雑器の割合が比較的低く、時代が下るにつれて割合を増やして行く傾向にある。陶磁器の割合はⅣ層で最大であるが、大体1割前後で推移する。

3　陶磁器の出土傾向

祇園遺跡では、様々な種類とともに大量の陶磁器が出土したことにその特徴の1つを求めることができる。阿蘇という山間部に大量の陶磁器が搬入されたということに注目されるが、ここでは、大宰府の陶磁器編年に照らし合わせながら陶磁器組成と、量的な出土状況にについて考えてみたい。

陶磁器の出土量は全体で96,831gである（表8－①）。この中身を各層位ごとに考えて行きたいが、大宰府の陶磁器編年に照らし合わせて、各層にあてはめてみると、Ⅸ・Ⅷ層がC・（D）期、Ⅶ層がD・E・F期、Ⅵ・Ⅴ・Ⅳ層がG期にあてはまると思われる。層位ごとに出土量に違いがあるが、Ⅶ層よりの出土が圧倒的に多く、次にⅧ層と続く（グラフ13）。Ⅸ～Ⅳ層までの陶磁器の組成を比較すると（グラフ12）、Ⅸ・Ⅷといった古い層ほど白磁の占める割合が多く、以後、青磁がその割合を増やして行くことが判る。ただ白磁も、Ⅶ層にいたってその絶対量を減らすわけではなく、むしろⅧ層よりその出土量は多い（グラフ13）。Ⅶ層は遺物の絶対量の多さもさることながら、陶磁器内の各遺物の量も他の層位よりも多く、Ⅶ層が遺跡の最盛期であることを示している。

また、大グリッドごとに出土量を観察してみたい（グラフ14）。白磁の出土量の多さが目立つのはE－1・2、F－2・3、G－2・3区である。前節で示した図版（第149図）で見ると、A1・A2期の遺構であるSB11、17、18、22やSD01がある所であり、それに伴うものと思われる。また青磁の出土量が多いのは、E－2・3、F－2・3、G－2・3区である。SB07、08、12、13が集中する所であり、それらの遺物に伴うものと思われる。

白磁・青磁の組成を器種ごとに比較したグラフが8～11である。グラフ10によりまず白磁の組成を見

ると、碗が圧倒的に多く67.8％である。次にⅢの23.3％と続くが、水注・四耳壺の7.2％という多さも注目される。12世紀後半より大量の青磁が流入し始めるが、青磁の需要の中心は碗形態であったことがグラフの11により判る。量も白磁を凌ぐが、構成比からも青磁碗の占める割合は白磁碗のそれを凌駕し、それに次ぐⅢの割合も低い。盤等の大型品の割合も意外に低く、白磁における大型品の水注・四耳壺類よりも遙かに少ない。

次に、その組成の中心である碗形態の型式を比較すると、白磁碗の場合（グラフ８）は、Ⅳ・Ⅴ類が全体の76.2％を占め、その２つの型式で圧倒的な割合を示していることが判る。それに比べて青磁碗の場合は比較的分散しており、最も多い型式がⅠ－５類で28.8％である。しかし、それを時期的な観点から見ると特徴を見て取ることができる。Ⅰ－５類は磁器区分のＥ期を代表する型式であるが、Ｄ期を代表するⅠ－１～４、６類と同安窯系碗Ⅰ類を合わせると63％を占めて、Ⅰ－５類を凌駕し、青磁碗の流入はＤ期の方が圧倒的に多いことが判る。

次に表８－１～96を参考に陶磁器をはじめ各位物の分類ごとの出土状況を個別に観察する。

Ａ期の標準磁器として認められるのは白磁碗Ⅰ類（表８－１、以下表８は省く）がある。同碗はⅧ層より出土をしているが、Ⅷ層を10世紀まで上らせることはできず、伝世的なものであろう。また、越州窯系の青磁碗（－63）や壺（－62）も同期のものと思われるが、それぞれⅦ・Ⅲ’層から出ており、Ａ期に比定できるものではない。

Ｃ期の標準磁器として認められるものは白磁碗Ⅱ（－２）、Ⅳ（－３）、Ⅴ（－４）、Ⅵ（－５）、ⅢⅡ（－12）、Ⅳ（－15、16）、Ⅵ（－17）類がある。Ｃ期に比定しているⅨ・Ⅷ層にピークが来るものは碗Ⅳ、Ⅴ－２、３類とⅢⅡ・Ⅳ・Ⅵ類である。一方Ⅶ層にも多くの白磁が出土しており、白磁碗のⅡ・Ⅴ－４・Ⅵ類とⅢⅢ２類はⅦ層の比重が多い。また、水注類（－24）、合子・壺類（－25）、小碗Ⅳ類（－11）はⅦ層に出土のピークがある。

また、準標識磁器として初期龍泉窯・同安窯系碗０類（－55）があるが、ピークはⅧ・Ⅸ層である。

Ｄ期の標準磁器にあたるものは龍泉窯系青磁碗Ⅰ－１（－26）、－２（－27）、Ⅰ－３（－28）、Ⅰ－４（－29）、Ⅰ－６（－31）類とⅢⅠ類（－50、51）、同安窯系青磁碗Ⅰ類（－56）とⅢⅠ類（－59、60）をあげることができる。Ｄ期に比定しているⅦ期にピークが来るものは龍泉窯系青磁碗Ⅰ－２、３、４類とⅢⅠ類、同安窯系青磁碗Ⅰ類とⅢⅠ類である。龍泉窯青磁碗Ⅰ－５類はⅦ層に出土比率が高い。同Ⅰ－６類は絶対量も少なく、Ⅴ層という整地層に含まれており伝世の長いものと言えるであろう。

また、準標識磁器として白磁碗Ⅶ（－６）、Ⅷ（－７）、Ⅴ４（－４’’’’）類とⅢⅧ１（－18）、Ⅲ（－13、14）類がある。白磁碗Ⅶ、Ⅷ類はⅨ・Ⅷ層とⅦ層との割合が同比であるが、白磁碗Ⅴ－４類はⅦ層の割合が多い。白磁ⅢⅢ－１類はⅨ・Ⅷ層とⅦ層は同比であるが、Ⅲ－２類はⅦ層の割合が多い。白磁ⅢⅢ－１類はⅧ層の比率が多い。

Ｅ期の標準磁器にあたるものは龍泉窯系青磁碗Ⅰ－５ａｂ類（－30）があり、Ⅶ層出土の比率が多い。また、準標準磁器に白磁碗Ⅷ２類があるが、Ⅶ層出土の割合が46％である。

Ｆ期の標準磁器に龍泉窯系青磁Ⅲ類（－32、33、40、41、44、45、46、47、48、52）と白磁Ⅸ類（－20）類がある。青磁Ⅲ類はⅢ’層が多いが、基本的にはⅦ層を中心とした層位に多い。白磁Ⅸ類はⅦ層を出土の中心とし、一部Ⅵ層にも出土の中心を持つ。

また、準標識磁器には龍泉窯系青磁碗Ⅰ－５ｃ類（－30’’’）があるが、Ⅶ層出土の割合が高い。白磁Ⅹ類（－９）も準標識磁器であるが、Ⅷ層から出土しており、攪乱の可能性もある。

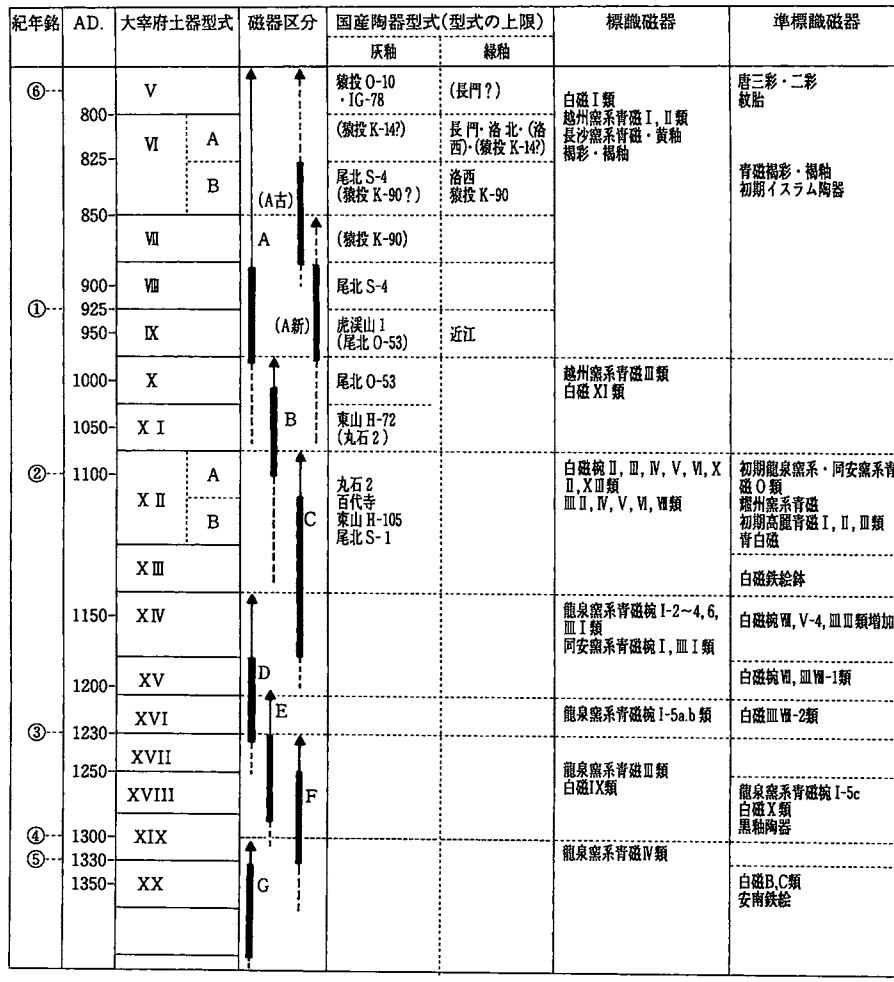
Ｇ期の標準磁器には龍泉窯系青磁Ⅳ類（－34、42、49、53）がある。いずれもⅢ’層を中心に出土をしているため断定はできないが、Ⅶ層からⅥ層にかけての層位であると思われる。

また、準標識磁器とした白磁Ｂ類（－23）があるが、Ⅵ層より出土の比率が高い。

他に層位ごとに特徴的なものをあげると、Ⅷ層で比率の高いものは同安窯系青磁碗Ⅱ類（－57）、黒釉壺（－74）、黄釉盤（－79）、瓦器埦・Ⅲ（－81）、

滑石製石鍋（－92）で、黄釉盤、瓦器埦・皿、滑石製石鍋はⅦ層とほぼ同比率である。Ⅶ層で比率の高いものは高麗青磁碗（－61）、青白磁合子･小壺（－69）、褐釉壺（－75）、黄釉壺（－76）、緑釉盤（－78）、瀬戸窯製品（－82）、東播系須恵質甕（－85）、在地系須恵質甕（－86）、東播系須恵質捏鉢（－88）、在地系須恵質捏鉢（－89）、在地系須恵質擂鉢（－90）、瓦質火鉢（－91）などである。特徴的には、Ⅶ層では輸入陶器の数量も増え、国内産の広域・在地の雑器類も増え始める。青白磁はほとんど、一括、Ⅲ’層のものが多く資料性に欠けるが、Ⅶ層より上位のものが多いと思われる。陶器の盤は黄釉が時代的に早く出現し、緑釉は磁器区分のＥ期にピークがあるようである。Ⅵ層では天目碗の比率が高いのが目を引く。またⅥ層では備前窯擂鉢の比率がⅦ層とほぼ同比で高い。

大宰府土器形式と国産陶器・貿易陶器編年



紀年銘資料
① AD. 927　延長５年，大宰府74次 SD205A 溝
② AD. 1091　寛治５年，平安京左京４条１坊 SE８井戸
③ AD. 1224　貞応３年，大宰府33次 SD605溝
④ AD. 1304　嘉元２年，大宰府109，111次 SD3200溝
⑤ AD. 1330　元徳２年，大宰府45次 SX1200池
⑥ AD. 784　延暦２年，長岡京102次 SD10201溝

①九州歴史資料館『大宰府史跡昭和56年度発掘調査概報』1982
②田辺昭三・吉川義彦『平安京跡発掘調査報告左京四条一坊』1975　平安京調査会
③九州歴史資料館『大宰府史跡昭和49年度発掘調査概報』1975
④九州歴史資料館『大宰府史跡昭和63年度発掘調査概報』1989
⑤九州歴史資料館『大宰府史跡昭和52年度発掘調査概報』1978
⑥長岡京市埋蔵文化財センター『長岡京市埋蔵文化財調査報告書第１集』1988

中世土器研究会編『概説　中世の土器・陶磁器』より

第8表　出土遺物数量表

1　白磁碗Ⅰ類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2	3									3	10.7
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	7									7	25.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3	2									2	7.1
E－1										0	0.0
E－2							3			3	10.7
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2		3								3	10.7
F－3			6					4		10	35.7
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	12	3	6	0	0	0	0	7	0	28	100.0
%	42.9	10.7	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	100.0	

2　白磁碗Ⅱ類（合計）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	37									37	1.3
A－1										0	0.0
A－2	4									4	0.1
A－3								8		8	0.3
B－1										0	0.0
B－2	71								5	76	2.7
B－3	60						91	8		159	5.6
B－4					5					5	0.2
C－1	5									5	0.2
C－2	11						2			13	0.5
C－3	7			38						45	1.6
D－1	79								18	97	3.4
D－2	32								7	39	1.4
D－3	46				7		10		33	96	3.4
E－1	59			16	10		79	30		194	6.9
E－2	5			80		43	45	41	59	273	9.7
E－3	8			14	15		18	21	32	16	124	4.4
F－1				6	4		42	72	25		149	5.3
F－2	13			156	16		4	257	71		516	18.3
F－3	14			176	2		1	40	31		264	9.4
F－4				34							34	1.2
G－1	56								17		73	2.6
G－2	17			65	1		31	179	59	4	356	12.6
G－3	5				4			44	121		174	6.2
G－4						2		3	6		11	0.4
H－1											0	0.0
H－2	9				8	2		11	3		33	1.2
H－3						3	13		21		37	1.3
合計	538	0		585	71	50	109	854	473	142	2822	100.0
%	19.1	0.0		20.7	2.5	1.8	3.9	30.3	16.8	5.0	100.0	

2'　白磁碗Ⅱ－1、2類（口縁部）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	7									7	1.4
A－1										0	0.0
A－2	4									4	0.8
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	4									4	0.8
B－3	10									10	1.9
B－4										0	0.0
C－1	5									5	1.0
C－2	7									7	1.4
C－3	2		2							4	0.8
D－1	3								6	9	1.7
D－2	8								4	12	2.3
D－3	3								11	14	2.7
E－1	14					13				27	5.2
E－2	4		9			23	15	11		62	12.0
E－3			10	3		11	18	11		53	10.3
F－1			6			26	5			37	7.2
F－2			20		1	17	24			62	12.0
F－3			27	2	1	14	1			45	8.7
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2	9		8	1	22	33	13			86	16.6
G－3						6	37			43	8.3
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				6	2	3				11	2.1
H－3					3		12			15	2.9
合計	80	0	82	12	5	24	146	125	43	517	100.0
%	15.5	0.0	15.9	2.3	1.0	4.6	28.2	24.2	8.3	100.0	

2''　白磁碗Ⅱ－3、4類（口縁部）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2							2			2	4.9
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1							3			3	7.3
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1							5			5	12.2
F－2										0	0.0
F－3			15							15	36.6
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2							4	5	7	16	39.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	0	0	15	0	0	1	15	7	0	41	100.0
%	0.0	0.0	36.6	0.0	0.0	9.8	36.6	17.1	0.0	100.0	

3　白磁碗Ⅴ類（合計）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	452						24			476	4.5
A－1										0	0.0
A－2	71								4	75	0.7
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	237						33			270	2.6
B－3	112			4			3			119	1.1
B－4										0	0.0
C－1	150									150	1.4
C－2	124									124	1.2
C－3	19		95							114	1.1
D－1	72							74	60	206	2.0
D－2	134		15			4	4	33	43	233	2.2
D－3	86			120					165	371	3.5
E－1	260		36				270	346		912	8.7
E－2	43		253	8		14	301	463	41	1123	10.7
E－3	40		36			181	188	183	309	939	8.9
F－1	59		74				476	53		662	6.3
F－2	56		430	61	19	10	424	694		1694	16.1
F－3	1		181	85	11		170	207	197	852	8.1
F－4			9							9	0.1
G－1							141	5		146	1.4
G－2	20		198	5	30	35	210	344		842	8.0
G－3				23	24	31	285	568		931	8.8
G－4				14						14	0.1
H－1										0	0.0
H－2				18	5	6	1	20		50	0.5
H－3	2			21		23		178		224	2.1
合計	1938	0	1329	359	89	304	2530	3168	819	10536	100.0
%	18.4	0.0	12.6	3.4	0.8	2.9	24.0	30.1	7.8	100.0	

3'　白磁碗Ⅴ－1類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	232									232	6.7
A－1										0	0.0
A－2	37									37	1.1
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	195									195	5.6
B－3	42									42	1.2
B－4										0	0.0
C－1	127									127	3.7
C－2										0	0.0
C－3				67						67	1.9
D－1								58		58	1.7
D－2									32	32	0.9
D－3									104	104	3.0
E－1	200						110			310	9.0
E－2				36	8		15	228	28	315	9.1
E－3							145	19	202	366	10.6
F－1	5						98	13		116	3.3
F－2	6			169	26	3		217		421	12.2
F－3					85		104	58	197	444	12.8
F－4										0	0.0
G－1							6			6	0.2
G－2	6			15			103	155		279	8.1
G－3							42	115		157	4.5
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3								155		155	4.5
合計	850	0	287	119	3	0	623	1018	563	3463	100.0
%	24.5	0.0	8.3	3.4	0.1	0.0	18.0	29.4	16.3	100.0	

3''　白磁碗Ⅴ－2類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	83									83	13.9
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3				116						116	19.4
E－1						92				92	15.4
E－2		27								27	4.5
E－3					150					150	25.1
F－1						130				130	21.7
F－2										0	0.0
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	83	0	27	116	0	150	130	92	0	598	100.0
%	13.9	0.0	4.5	19.4	0.0	25.1	21.7	15.4	0.0	100.0	

4　白磁碗Ⅴ類（合計）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	188									188	2.3
A－1										0	0.0
A－2	22									22	0.3
A－3										0	0.0
B－1	11									11	0.1
B－2	212						170	15		397	4.8
B－3	185								5	190	2.3
B－4	4							1		5	0.1
C－1	2									7	0.0
C－2	51						15			66	0.8
C－3	64		28							92	1.1
D－1	20							4	6	30	0.4
D－2	119		19					38	6	182	2.2
D－3	174			5		16			143	338	4.1
E－1	59		25		33	3	235	42		397	4.8
E－2	16		416		29	45	218	185	118	1027	12.4
E－3	24		71	75	18	22	325	182	44	761	9.2
F－1	4		22	9		19	411	169		634	7.7
F－2	164		343	21	22	20	604	277		1451	17.6
F－3	28		79	4		6	117	186		420	5.1
F－4			18							18	0.2
G－1							141	57		198	2.4
G－2	148		248	6	12	16	353	31		814	9.9
G－3	79		7	42	3		342	190		657	8.0
G－4				7						7	0.1
H－1										0	0.0
H－2	32		15	19	10	5	49			130	1.6
H－3	5		6	2	47	11	5	145		221	2.7
合計	1605	0	1282	186	183	168	2941	1571	322	8258	100.0
%	19.4	0.0	15.5	2.3	2.2	2.0	35.6	19.0	3.9	100.0	

4'　白磁碗Ⅴ－1類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	44									44	2.1
A－1										0	0.0
A－2	3									3	0.1
A－3										0	0.0
B－1	5									5	0.2
B－2	26									26	1.2
B－3	46						5			51	2.4
B－4	4									4	0.2
C－1	2									2	0.1
C－2	17									17	0.8
C－3	37		6							43	2.0
D－1	10				4			13	5	32	1.5
D－2	33		6					28	5	72	3.4
D－3	39								3	42	2.0
E－1	20		11		33	3	55	44		166	7.7
E－2	5		72			26	50	63	63	279	13.0
E－3	15		28	5	8	5	21	45	25	152	7.1
F－1				5		4	52	12		73	3.4
F－2	17		91	7	22		193	80		410	19.1
F－3			94	3		6	66	134		303	14.1
F－4			18				14			32	1.5
G－1							9			9	0.4
G－2			115			9	34	4		162	7.6
G－3	15			32			72	55		174	8.1
G－4				5						5	0.2
H－1										0	0.0
H－2				12				6		18	0.8
H－3	5		6					7		18	0.8
合計	343	0	447	69	67	53	571	491	101	2142	100.0
%	16.0	0.0	20.9	3.2	3.1	2.5	26.7	22.9	4.7	100.0	

4''　白磁碗Ⅴ－2類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2	4									4	0.7
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	40									40	6.8
B－3	5									5	0.9
B－4								1		1	0.2
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3	5									5	0.9
D－1										0	0.0
D－2	2						2			4	0.7
D－3										0	0.0
E－1	10						2	2		14	2.4
E－2	2		2						4	8	1.4
E－3	8		31					16	6	61	10.4
F－1							18			18	3.1
F－2			60			20	48	15		143	24.4
F－3			8					9		17	2.9
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			2		9		8			19	3.2
G－3							31	21		52	8.9
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				3		2		28		33	5.6
H－3				2			5	155		162	27.6
合計	76	0	103	5	9	22	112	249	10	586	100.0
%	13.0	0.0	17.6	0.9	1.5	3.8	19.1	42.5	1.7	100.0	

4'''　白磁碗Ⅴ－3

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2						3	4			7	18.9
E－3										0	0.0
F－1				4		16				20	54.1
F－2										0	0.0
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	10	0	0	4	0	0	0	19	4	37	100.0
%	27.0	0.0	0.0	10.8	0.0	0.0	0.0	51.4	10.8	100.0	

4''''　白磁碗Ⅴ－4類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	28									28	0.7
A－1										0	0.0
A－2	15									15	0.4
A－3										0	0.0
B－1	6									6	0.2
B－2	111							15		126	3.3
B－3	111								5	116	3.1
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	34						15			49	1.3
C－3	22		22							44	1.2
D－1	8									8	0.2
D－2	59		13					8		80	2.1
D－3	124			5		16			117	262	7.0
E－1	29		12				117	3		161	4.3
E－2	8		84		10	17	145	91	48	403	10.7
E－3			12			27	42	118	11	210	5.6
F－1	4		22			15	282	22		345	9.2
F－2	12		207				362	185		766	20.4
F－3	10		146				84	44		284	7.5
F－4										0	0.0
G－1							20			20	0.5
G－2	33		126	6	3	6	146	27		347	9.2
G－3	57		7	10	3		166	108		351	9.3
G－4				2						2	0.1
H－1										0	0.0
H－2	32				19	8	4	14		77	2.0
H－3					47			16		63	1.7
合計	703	0	651	23	82	89	1383	651	181	3763	100.0
%	18.7	0.0	17.3	0.6	2.2	2.4	36.8	17.3	4.8	100.0	

5　白磁碗Ⅵ－1類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括							11			11	1.2
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	104						17			121	13.2
B－3	31									31	3.4
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	10									10	1.1
C－3	3									3	0.3
D－1							34			34	3.7
D－2	43								14	57	6.2
D－3	56									56	6.1
E－1	13		21				35			69	7.5
E－2					21		8		1	30	3.3
E－3			6		4	8		35	16	69	7.5
F－1	11		8			8	65	24		116	12.6
F－2	3		20			2	7	5		37	4.0
F－3			8	1				53		62	6.8
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2							104			104	11.3
G－3						19	4	52		75	8.2
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2	11					22				33	3.6
H－3										0	0.0
合計	285	0	63	1	25	59	285	169	31	918	100.0
%	31.0	0.0	6.9	0.1	2.7	6.4	31.0	18.4	3.4	100.0	

6　白磁碗Ⅴ類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	5									5	2.1
D－3	92									92	38.8
E－1										0	0.0
E－2								7		7	3.0
E－3				2			35	58		96	40.1
F－1							9			9	3.8
F－2										0	0.0
F－3						8	6			14	5.9
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2							4			4	1.7
G－3							11			11	4.6
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	97	0	2	0	0	8	65	65	0	237	100.0
%	40.9	0.0	0.8	0.0	0.0	3.4	27.4	27.4	0.0	100.0	

7　白磁碗Ⅵ類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1							20			20	1.5
A－2								6		6	0.5
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2								16		16	1.2
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2								24		24	1.8
D－3								31		31	2.4
E－1							124	140		264	20.2
E－2			67				104		9	180	13.8
E－3	17				7					24	1.8
F－1	7		39				11	22		79	6.0
F－2			33				90	192		315	24.1
F－3			18							18	1.4
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			97				9			106	8.1
G－3			71					26		97	7.4
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2							113			113	8.7
H－3						7		6		13	1.0
合計	24	0	325	0	7	7	471	463	9	1306	100.0
%	1.8	0.0	24.9	0.0	0.5	0.5	36.1	35.5	0.7	100.0	

8　白磁碗Ⅸ類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	31									31	7.1
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	5									5	1.1
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1								17	11	28	6.4
E－2	9				19			17		45	10.3
E－3							27			27	6.2
F－1							14			14	3.2
F－2			39		2	9	12			62	14.2
F－3			11	28				11		50	11.5
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			37					6		43	9.9
G－3	14						117			131	30.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	59	0	87	28	21	9	170	51	11	436	100.0
%	13.5	0.0	20.0	6.4	4.8	2.1	39.0	11.7	2.5	100.0	

9　白磁碗Ⅹ類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2										0	0.0
E－3									1	1	4.8
F－1										0	0.0
F－2										0	0.0
F－3								14		14	66.7
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3							5			5	23.8
G－4							1			1	4.8
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	6	15	0	21	100.0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	71.4	0.0	100.0	

10　白磁碗Ⅺ類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1							5			5	100.0
F－2										0	0.0
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	100.0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	

11　白磁小碗Ⅳ

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3							43			43	20.2
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1	13									13	6.1
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2							37	3		40	18.8
E－3				9						9	4.2
F－1										0	0.0
F－2								34		34	16.0
F－3								42		42	19.7
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3								32		32	15.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	13	0	0	9	0	0	80	111	0	213	100.0
%	6.1	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	37.6	52.1	0.0	100.0	

12　白磁皿Ⅰ類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3	31									31	15.3
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1								7		7	3.5
E－2	8							19		27	13.4
E－3	5							42		47	23.3
F－1							8			8	4.0
F－2								4		4	2.0
F－3						22				22	10.9
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3								56		56	27.7
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	44	0	0	0	0	22	8	128	0	202	100.0
%	21.8	0.0	0.0	0.0	0.0	10.9	4.0	63.4	0.0	100.0	

13　白磁皿Ⅱ－1類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3	50									50	15.0
E－1							4	39		43	12.9
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1							31			31	9.3
F－2							64	81		145	43.4
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1							43			43	12.9
G－2										0	0.0
G－3								22		22	6.6
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	50	0	0	0	0	0	142	142	0	334	100.0
%	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.5	42.5	0.0	100.0	

14　白磁皿Ⅱ－2類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2							67			67	37.9
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2							92			92	52.0
F－3								18		18	10.2
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	159	18	0	177	100.0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	89.8	10.2	0.0	100.0	

15　白磁皿Ⅳ－1類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	6									6	1.3
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3			62							62	13.7
D－1				100						100	22.1
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1	4						23			27	6.0
E－2							6	2		8	1.8
E－3								7	5	12	2.7
F－1							9			9	2.0
F－2			51				21	3		75	16.6
F－3			14				2	96		112	24.8
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2								5		5	1.1
G－3							27			27	6.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2						3				3	0.7
H－3								6		6	1.3
合計	10	0	127	100	0	3	88	119	5	452	100.0
%	2.2	0.0	28.1	22.1	0.0	0.7	19.5	26.3	1.1	100.0	

16　白磁皿Ⅳ－2類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	4									4	4.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	8									8	8.1
C－3			62							62	62.6
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2					14					14	14.1
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2								3		3	3.0
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4							8			8	8.1
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	12	0	62	0	14	0	8	3	0	99	100.0
%	12.1	0.0	62.6	0.0	14.1	0.0	8.1	3.0	0.0	100.0	

17　白磁皿Ⅵ類（合計）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	33									33	1.0
A－1										0	0.0
A－2	11									11	0.3
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	20			1			1	2	1	25	0.7
B－3	20						6	15		41	1.2
B－4					2			3		5	0.1
C－1										0	0.0
C－2	49					13				62	1.8
C－3	22			30			10			62	1.8
D－1	24						5	12	1	42	1.2
D－2	100			15		9		20	18	162	4.8
D－3	39				1				18	58	1.7
E－1	54			6			76	6	5	147	4.4
E－2	12			97	7	10	18	43	41	22	250	7.4
E－3	10			59	15	3	13	62	95	15	272	8.1
F－1	11			7		4	9	94	29	8	162	4.8
F－2	24			92	23	29	21	148	94	9	440	13.0
F－3	11			121	3	6		44	144	19	348	10.3
F－4				21							21	0.6
G－1	4						1	33			38	1.1
G－2	15			175			34	75	133		432	12.8
G－3	80			4	17	27	10	206	268	1	613	18.2
G－4					2	1		2	3		8	0.2
H－1							2				2	0.1
H－2	2				13	1	8		43		67	2.0
H－3	1				11	2	21	19	17		71	2.1
合計	542	0	628	94	92	151	823	925	117	3372	100.0	
%	16.1	0.0	18.6	2.8	2.7	4.5	24.4	27.4	3.5	100.0	

17'　白磁皿Ⅵ－1ａ類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	28									28	1.7
A－1										0	0.0
A－2	2									2	0.1
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	9								1	10	0.6
B－3	9						6	15		30	1.8
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	19									19	1.1
C－3	3			22						25	1.5
D－1	24							7		31	1.9
D－2	45			7		9		7	4	72	4.3
D－3	21								13	34	2.0
E－1	25						46	5	5	81	4.8
E－2	4			76	7	5	13	20	28	3	156	9.3
E－3	6			38				23	63	3	133	7.9
F－1	10			4			9	44		8	75	4.5
F－2	8			58		27	8	121	70	3	295	17.6
F－3				56	3	6		16	57	1	139	8.3
F－4											0	0.0
G－1							1	12			13	0.8
G－2	10			107			34	21	64		236	14.1
G－3	3			3	16	5	6	141	73	1	248	14.8
G－4											0	0.0
H－1											0	0.0
H－2	2				11		4		10		27	1.6
H－3	1						6		12		19	1.1
合計	229	0	371	37	52	81	450	411	42	1673	100.0	
%	13.7	0.0	22.2	2.2	3.1	4.8	26.9	24.6	2.5	100.0	

17''　白磁皿Ⅵ－1ｂ類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	5									5	0.3
A－1										0	0.0
A－2	8									8	0.5
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	11		1					2		14	0.9
B－3	21									21	1.3
B－4				2				3		5	0.3
C－1										0	0.0
C－2	30					12				42	2.6
C－3	19		8					10		37	2.3
D－1								5	5	11	0.7
D－2	55		8					13	14	90	5.5
D－3	18			1					4	23	1.4
E－1	29		6					29	1	65	4.0
E－2	8		19		5	4	22	13	16	87	5.3
E－3	4		21	15	3	13	25	32	12	125	7.7
F－1	1		2		4		50	29		86	5.3
F－2	13		34	23	2	13	27	24	6	142	8.7
F－3			64				28	81	18	191	11.7
F－4			21							21	1.3
G－1							16			16	1.0
G－2	3		68				53	66		190	11.7
G－3	77		1	1	22	4	63	181		349	21.4
G－4				2	1		2	3		8	0.5
H－1						2				2	0.1
H－2				2	1	4		33		40	2.5
H－3				10	2	15	19	5		51	3.1
合計	302	0	253	56	40	67	349	491	71	1629	100.0
%	18.5	0.0	15.5	3.4	2.5	4.1	21.4	30.1	4.4	100.0	

17'''　白磁皿Ⅵ２類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2										0	0.0
F－3	10									10	29.4
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3								8		8	23.5
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3								16		16	47.1
合計	10	0	0	0	0	0	0	24	0	34	100.0
%	29.4	0	0	0	0	0	0	70.6	0	100.0	

18　白磁皿Ⅵ－1類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1	3									3	0.4
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	15									15	1.8
C－3			15							15	1.8
D－1			3							3	0.4
D－2	6									6	0.7
D－3	6									6	0.7
E－1	15						4	8		27	3.3
E－2					21			4		25	3.0
E－3			114				13	47		174	21.0
F－1			3			13	5			21	2.5
F－2	4		177				10			191	23.1
F－3			50					112		162	19.6
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			12				68	15		95	11.5
G－3				2	9	7	40	22		80	9.7
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				2						2	0.2
H－3				3						3	0.4
合計	49	0	374	7	30	20	140	208	0	828	100.0
%	5.9	0.0	45.2	0.8	3.6	2.4	16.9	25.1	0.0	100.0	

19　白磁皿Ⅵ－２類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	7									7	2.7
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1							8			8	3.1
F－2			20	13		6				39	15.0
F－3			42	23			29			94	36.2
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2								29		29	11.2
G－3							83			83	31.9
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	7	0	62	36	0	6	120	29	0	260	100.0
%	2.7	0.0	23.8	13.8	0.0	2.3	46.2	11.2	0.0	100.0	

20　白磁皿Ⅸ類（合計）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	35									35	1.5
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2			11							11	0.5
B－3	24			1						25	1.1
B－4				9						9	0.4
C－1										0	0.0
C－2	17							9		26	1.1
C－3										0	0.0
D－1	46									46	2.0
D－2	46		7			21	3	13		90	3.9
D－3	41								7	48	2.1
E－1	105		40				70	17		232	10.1
E－2			89		67		71	22	14	263	11.5
E－3			4	12	70	15	2	22	3	128	5.6
F－1	4		6			45	70			125	5.5
F－2	5		141		7	85	136	13		390	17.1
F－3	40		222	15		37	21	15		350	15.3
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2	6		69				61	20		176	7.7
G－3				54	44	20	155	33		306	13.4
G－4				7						7	0.3
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3				5		15				20	0.9
合計	369	0	612	102	188	239	589	164	24	2287	100.0
%	16.1	0.0	26.8	4.5	8.2	10.5	25.8	7.2	1.0	100.0	

20'　白磁皿Ⅸ－１ａ類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	4									4	1.1
C－3										0	0.0
D－1	8									8	2.1
D－2	3							3		6	1.6
D－3	5									5	1.3
E－1	20		17							37	9.8
E－2			20		22				2	44	11.7
E－3			4		32		2			38	10.1
F－1			6			19				25	6.6
F－2			21			6	41	13		81	21.5
F－3	40		21	9		30				100	26.5
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			4			4				8	2.1
G－3						4	12			16	4.2
G－4				3						4	1.1
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	80	0	93	13	54	37	73	27	0	377	100.0
%	21.2	0.0	24.7	3.4	14.3	9.8	19.4	7.2	0.0	100.0	

20''　白磁皿Ⅸ－１ｂ類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	5									5	5.3
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1								17		17	17.9
E－2								6		6	6.3
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2			11	2						13	13.7
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2								6		6	6.3
G－3								48		48	50.5
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	5	0	11	0	2	0	48	29	0	95	100.0
%	5.3	0.0	11.6	0.0	2.1	0.0	50.5	30.5	0.0	100.0	

20'''　白磁皿Ⅸ－１ｃ類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	35									35	4.6
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2			11							11	1.4
B－3	4									4	0.5
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	8						9			17	2.2
C－3										0	0.0
D－1	18									18	2.4
D－2	9							5		14	1.8
D－3	5									5	0.7
E－1	17		7				4			28	3.7
E－2			50		29		21			100	13.1
E－3										0	0.0
F－1						12	7			19	2.5
F－2	5		43			75				123	16.1
F－3			154				9	3		166	21.7
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2	6		33				25	14		78	10.2
G－3				31		17	69	14		131	17.1
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3						15				15	2.0
合計	107	0	298	31	29	119	135	45	0	764	100.0
%	14.0	0.0	39.0	4.1	3.8	15.6	17.7	5.9	0.0	100.0	

20''''　白磁皿Ⅸ－１ｄ類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	12		7					8		27	6.5
D－3	5								7	12	2.9
E－1	10		16				38			64	15.4
E－2			5		16		9	9	14	53	12.8
E－3								17	3	20	4.8
F－1					33	18				51	12.3
F－2			17		5	4	18			44	10.5
F－3			6	6			6	12		30	7.2
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			39				19			58	14.0
G－3				7	21	3	22			53	12.8
G－4				3						3	0.7
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	27	0	90	16	42	40	130	46	24	415	100.0
%	6.5	0.0	21.7	3.9	10.1	9.6	31.3	11.1	5.8	100.0	

20'''''　白磁皿Ⅸ－２類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2										0	0.0
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

20'''''' 白磁皿Ⅸ－3類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1	26									26	100.0
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2										0	0.0
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	26	0	0	0	0	0	0	0	0	26	100.0
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

21 白磁皿D類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	8									8	4.5
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2			7							7	3.9
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2								3		3	1.7
E－3	16									16	9.0
F－1							1			1	0.6
F－2			32			17	65			114	64.0
F－3						22		3		25	14.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3				1	3					4	2.2
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	24	0	39	1	3	39	66	6	0	178	100.0
%	13.5	0.0	21.9	0.6	1.7	21.9	37.1	3.4	0.0	100.0	

22 白磁皿E類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1							5			5	100.0
F－2										0	0.0
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	5	0	0	5	100.0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0	

23 白磁B類（枢府系）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	13		21							34	28.3
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2	12		5					10		27	22.5
E－3								8		8	6.7
F－1										0	0.0
F－2										0	0.0
F－3				6						6	5.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2						44				44	36.7
H－3					1					1	0.8
合計	25	0	26	6	1	44	0	18	0	120	100.0
%	20.8	0.0	21.7	5.0	0.8	36.7	0.0	15.0	0.0	100.0	

24 白磁水注・四耳壺（合計）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	5									5	0.2
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3							5			5	0.2
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3			12							12	0.5
D－1	33									33	1.3
D－2	35						10			45	1.8
D－3	35									35	1.4
E－1	120		17				98	11		246	9.6
E－2			97		12		64	12	28	213	8.3
E－3			28			7	21	67	9	132	5.2
F－1	9		11				29	180		229	8.9
F－2	13		71				68	16		168	6.6
F－3			55	81	21		398	110	7	672	26.2
F－4			6							6	0.2
G－1							95			95	3.7
G－2	1		136				229	9		375	14.6
G－3	11		16	5			26	116		174	6.8
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2						46		67		113	4.4
H－3								5		5	0.2
合計	262	0	449	86	33	53	1043	593	44	2563	100.0
%	10.2	0.0	17.5	3.4	1.3	2.1	40.7	23.1	1.7	100.0	

24' 白磁四耳壺

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2							10			10	2.1
D－3										0	0.0
E－1	5							3		8	1.7
E－2					12		12			24	5.0
E－3										0	0.0
F－1							5			5	1.0
F－2	13		15				35			63	13.0
F－3			8					21		29	6.0
F－4										0	0.0
G－1							84			84	17.4
G－2			24				135	3		162	33.5
G－3								18		18	3.7
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2						25		55		80	16.6
H－3										0	0.0
合計	18	0	47	0	12	25	281	100	0	483	100.0
%	3.7	0.0	9.7	0.0	2.5	5.2	58.2	20.7	0.0	100.0	

24'' 白磁水注

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3							5			5	0.4
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1	10									10	0.9
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1	100						23			123	10.8
E－2			50				31	12	13	106	9.3
E－3								67	9	76	6.7
F－1	9		11					180		200	17.6
F－2			5				218	44	7	274	24.2
F－3							91			91	8.0
F－4										0	0.0
G－1							3			3	0.3
G－2			66				80			146	12.9
G－3	11						26	30		67	5.9
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2						21		12		33	2.9
H－3										0	0.0
合計	130	0	132	0	0	21	477	345	29	1134	100.0
%	11.5	0.0	11.6	0.0	0.0	1.9	42.1	30.4	2.6	100.0	

24''' 白磁四耳壺（特別品）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3	10									10	9.2
E－1							32			32	29.4
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2										0	0.0
F－3			23					32		55	50.5
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2	1									1	0.9
G－3								6		6	5.5
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3								5		5	4.6
合計	11	0	23	0	0	0	32	43	0	109	100.0
%	10.1	0.0	21.1	0.0	0.0	0.0	29.4	39.4	0.0	100.0	

25 白磁合子・小壺

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2			4							4	3.3
B－3	6									6	5.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3			3							3	2.5
D－1										0	0.0
D－2	4									4	3.3
D－3	3								1	4	3.3
E－1	8									8	6.7
E－2										0	0.0
E－3									6	6	5.0
F－1										0	0.0
F－2			2							2	1.7
F－3			13							13	10.8
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3					1	2	64	3		70	58.3
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	21	0	22	0	1	2	64	3	7	120	100.0
%	17.5	0.0	18.3	0.0	0.8	1.7	53.3	2.5	5.8	100.0	

26 龍泉窯系青磁碗Ⅰ－1類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	18									18	0.3
A－1										0	0.0
A－2	23									23	0.4
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	5									5	0.1
B－3	1						20			21	0.4
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	32									32	0.6
C－3	9		17							26	0.5
D－1	33							6	12	51	0.9
D－2	194		46			78		16	21	355	6.4
D－3	51			3					37	91	1.6
E－1	114		38			15	124	24	2	317	5.7
E－2	5		426	1	119	8	48	145	6	758	13.6
E－3	24		66	19	2	4	123	146	22	406	7.3
F－1	26		11		1	12	96	9		155	2.8
F－2	24		324	2	113	73	300	191		1027	18.5
F－3	14		624	62		110	192	61		1063	19.1
F－4			9							9	0.2
G－1							68	7		75	1.4
G－2	58		156	108	10	29	94	80		535	9.6
G－3	34			84	17		196	168		499	9.0
G－4				20						20	0.4
H－1										0	0.0
H－2				13		4	3			20	0.4
H－3				4	13	31		1		49	0.9
合計	665	0	1717	316	275	364	1264	854	100	5555	100.0
%	12.0	0.0	30.9	5.7	5.0	6.6	22.8	15.4	1.8	100.0	

27 龍泉窯系青磁碗Ⅰ－2類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	11									11	0.2
A－1	27									27	0.5
A－2	4									4	0.1
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	73		2							75	1.4
B－3	2									2	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	37						1			38	0.7
C－3			13							13	0.2
D－1	118									118	2.2
D－2	41							11	16	68	1.2
D－3	56								33	89	1.6
E－1	11		21		1	55	135	15		238	4.3
E－2	126		111	1	18	28	82	24	5	395	7.2
E－3			63	13	43		127	127	66	439	8.0
F－1	1		164			50	428			643	11.7
F－2	43		310		11	34	346	27		771	14.1
F－3	19		376	91		20	306	171		983	17.9
F－4			155							155	2.8
G－1	34			5			53			92	1.7
G－2			243	38		7	107	54		449	8.2
G－3	94			7	82	17	459	120	4	783	14.3
G－4				12			2			14	0.3
H－1										0	0.0
H－2	2			29	5			6		42	0.8
H－3				25		7				32	0.6
合計	699	0	1458	221	160	218	2046	555	124	5481	100.0
%	12.8	0.0	26.6	4.0	2.9	4.0	37.3	10.1	2.3	100.0	

28 龍泉窯系青磁碗Ⅰ－3類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	8									8	0.9
C－3	3									3	0.3
D－1	3									3	0.3
D－2	2		14					2		18	1.9
D－3	5								2	7	0.7
E－1	13						21			34	3.6
E－2	7		2	2		10	15	28		64	6.9
E－3	39						109	31	14	193	20.7
F－1			76			2	44			122	13.1
F－2	6		54				36	6		102	10.9
F－3			77		7		14	8		106	11.3
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			27							27	2.9
G－3	38			18		28	55	87		226	24.2
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2	18									18	1.9
H－3	3									3	0.3
合計	145	0	250	20	7	40	294	162	16	934	100.0
%	15.5	0.0	26.8	2.1	0.7	4.3	31.5	17.3	1.7	100.0	

29　縄泉窯系青磁碗Ⅰ－4類（合計）

	一括	Ⅱ	Ⅱ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	25									25	0.4
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	17								16	33	0.5
B－3	9					10	13	72	7	111	1.8
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	45									45	0.7
C－3	17		5							22	0.4
D－1	3									3	0.0
D－2	43							38		81	1.3
D－3	12								34	46	0.8
E－1	181		74				60	5		320	5.2
E－2	393		137			3	340	26	61	960	15.7
E－3	21		114	192			109	274	20	730	11.9
F－1	9		105				189	21		324	5.3
F－2	121		666	47	25		463	47		1369	22.4
F－3			338			6	455	64	9	872	14.3
F－4			12							12	0.2
G－1							9			9	0.1
G－2	14		136			45	163	43		401	6.6
G－3	12			131	92		254	131		620	10.1
G－4				1						1	0.0
H－1										0	0.0
H－2				18		20	5	55		98	1.6
H－3				15		16	4			35	0.6
合計	922	0	1587	404	117	100	2064	776	147	6117	100.0
%	15.1	0.0	25.9	6.6	1.9	1.6	33.7	12.7	2.4	100.0	

29'　縄泉窯系青磁碗Ⅰ－4ａ，ｂ類

	一括	Ⅱ	Ⅱ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	25									25	0.4
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	17								16	33	0.6
B－3	9					10	13	72	7	111	1.9
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	45									45	0.8
C－3	17			5						22	0.4
D－1	3									3	0.1
D－2	21							38		59	1.0
D－3	12								34	46	0.8
E－1	173		74				51	5		303	5.1
E－2	393		137			3	340	26	61	960	16.2
E－3	21		114	192			109	274	20	730	12.3
F－1	9		105				189	21		324	5.5
F－2	121		626	47	25		463	23		1305	22.0
F－3			317				443	64	9	833	14.0
F－4			12							12	0.2
G－1										0	0.0
G－2			136			45	163	43		387	6.5
G－3				131	92		254	131		608	10.2
G－4				1						1	0.0
H－1										0	0.0
H－2				18		20	5	55		98	1.7
H－3				15		16				31	0.5
合計	866	0	1526	404	117	94	2030	752	147	5936	100.0
%	14.6	0.0	25.7	6.8	2.0	1.6	34.2	12.7	2.5	100.0	

29''　縄泉窯系青磁碗Ⅰ－4ｃ類（増額）

	一括	Ⅱ	Ⅱ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	22									22	12.2
D－3										0	0.0
E－1	8						9			17	9.4
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2			40					24		64	35.4
F－3			21			6	12			39	21.5
F－4										0	0.0
G－1							9			9	5.0
G－2	14									14	7.7
G－3	12									12	6.6
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3							4			4	2.2
合計	56	0	61	0	0	6	34	24	0	181	100.0
%	30.9	0.0	33.7	0.0	0.0	3.3	18.8	13.3	0.0	100.0	

30　縄泉窯系青磁碗Ⅰ－5類（合計）

	一括	Ⅱ	Ⅱ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	184									184	1.6
A－1										0	0.0
A－2	24									24	0.2
A－3										0	0.0
B－1	4									4	0.0
B－2	60									60	0.5
B－3	63							10		73	0.6
B－4										0	0.0
C－1	11									11	0.1
C－2	122		113							235	2.0
C－3	5		9							14	0.1
D－1	93								22	115	1.0
D－2	256		41						26	323	2.8
D－3	206		24						18	248	2.1
E－1	588		189					71		848	7.3
E－2	389		730			51		5	18	1207	10.5
E－3	2		427			12		229	19	721	6.2
F－1	41		55			10	48	490	10	654	5.7
F－2	28		1005	147	11	89	388	77		1745	15.1
F－3	8		855	130	10	145	288	265	11	1712	14.8
F－4			70							70	0.6
G－1	11							73		84	0.7
G－2	228		591	52	38	122	488	107		1626	14.1
G－3	12		38	96	42	214	665	138		1205	10.4
G－4	51			73						124	1.1
H－1										0	0.0
H－2				92	12	46	6	10		166	1.4
H－3				24		49	8	8		89	0.8
合計	2386	0	4147	614	186	713	2721	652	123	11542	100.0
%	20.7	0.0	35.9	5.3	1.6	6.2	23.6	5.6	1.1	100.0	

30'　縄泉窯系青磁碗Ⅰ－5ａ類

	一括	Ⅱ	Ⅱ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	9									9	1.2
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3	4						10			14	1.9
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	8									8	1.1
C－3	5		9							14	1.9
D－1									22	22	3.0
D－2	8								26	34	4.7
D－3									18	18	2.5
E－1							32			32	4.4
E－2			86				5	18	14	123	17.0
E－3	2		50		12		34	19	32	149	20.6
F－1			36			24	14			74	10.2
F－2			28				16			44	6.1
F－3			25				22	16		63	8.7
F－4			21							21	2.9
G－1							7			7	1.0
G－2			33				14			47	6.5
G－3	6			4			35			45	6.2
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	42	0	288	4	12	24	189	53	112	724	100.0
%	5.8	0.0	39.8	0.6	1.7	3.3	26.1	7.3	15.5	100.0	

30''　縄泉窯系青磁碗Ⅰ－5ｂｃｄ類

	一括	Ⅱ	Ⅱ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	175									175	1.8
A－1										0	0.0
A－2	24									24	0.2
A－3										0	0.0
B－1	4									4	0.0
B－2	60									60	0.6
B－3	59									59	0.6
B－4										0	0.0
C－1	11									11	0.1
C－2	114		113							227	2.3
C－3										0	0.0
D－1	93									93	0.9
D－2	248		41							289	2.9
D－3	206		24							230	2.3
E－1	588		189							777	7.8
E－2	238		560			51				849	8.5
E－3			119				109			228	2.3
F－1	41		19			10	24	476	10	580	5.8
F－2	28		897	147	11	89	372	77		1621	16.2
F－3	8		830	130	10	145	266	249	11	1649	16.5
F－4			49							49	0.5
G－1	11						66			77	0.8
G－2	226		558	52	38	122	376	107		1481	14.8
G－3	6		38	92	42	169	630	138		1115	11.2
G－4	51			73						124	1.2
H－1										0	0.0
H－2				92	12	46	6	10		166	1.7
H－3				24		49	8	8		89	0.9
合計	2193	0	3437	610	174	644	2309	599	11	9977	100.0
%	22.0	0.0	34.4	6.1	1.7	6.5	23.1	6.0	0.1	100.0	

30'''　縄泉窯系青磁碗Ⅰ－5ｃ類（底部のみ）

	一括	Ⅱ	Ⅱ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1							39			39	4.6
E－2	151		84							235	27.9
E－3			258				86			344	40.9
F－1										0	0.0
F－2			80							80	9.5
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2							98			98	11.7
G－3					45					45	5.4
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	151	0	422	0	0	45	223	0	0	841	100.0
%	18.0	0.0	50.2	0.0	0.0	5.4	26.5	0.0	0.0	100.0	

31　縄泉窯系青磁碗Ⅰ－6類

	一括	Ⅱ	Ⅱ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3									2	2	0.8
E－1										0	0.0
E－2									4	4	1.6
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2			16	14						30	12.1
F－3							4			4	1.6
F－4										0	0.0
G－1					4					4	1.6
G－2	2		16		3	2				23	9.3
G－3				133	9	18	20			180	72.9
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	2	0	32	14	133	16	24	20	6	247	100.0
%	0.8	0.0	13.0	5.7	53.8	6.5	9.7	8.1	2.4	100.0	

32　縄泉窯系青磁碗Ⅱ－1類

	一括	Ⅱ	Ⅱ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	14									14	2.3
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3	5									5	0.8
E－1										0	0.0
E－2	182		343							525	86.5
E－3										0	0.0
F－1			7				5			12	2.0
F－2							21			21	3.5
F－3							4			4	0.7
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2	1		17	3						21	3.5
G－3			5							5	0.8
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	202	0	372	3	0	0	30	0	0	607	100.0
%	33.3	0.0	61.3	0.5	0.0	0.0	4.9	0.0	0.0	100.0	

33　縄泉窯系青磁碗Ⅱ－2類

	一括	Ⅱ	Ⅱ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	2									2	0.1
A－1	3									3	0.2
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	9									9	0.6
B－3	12									12	0.8
B－4				2						2	0.1
C－1										0	0.0
C－2	8									8	0.6
C－3	6									6	0.4
D－1	16						3	9	8	36	2.5
D－2	26		36						13	75	5.2
D－3	64			1					32	97	6.8
E－1	61		61				112	2		236	16.5
E－2			84			47	3	5	2	141	9.8
E－3			10					22	8	40	2.8
F－1	7		37			14	63	5		126	8.8
F－2			73	5	16	3	13	20		130	9.1
F－3	9		109	5			11	15	2	151	10.5
F－4										0	0.0
G－1							17			17	1.2
G－2	141		1			4	14	32		192	13.4
G－3	19			63			22	29		133	9.3
G－4	3			6						9	0.6
H－1										0	0.0
H－2							6			6	0.4
H－3					1					1	0.1
合計	386	0	411	82	16	69	264	139	65	1432	100.0
%	27.0	0.0	28.7	5.7	1.1	4.8	18.4	9.7	4.5	100.0	

34　縄泉窯系青磁碗Ⅳ類

	一括	Ⅱ	Ⅱ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2				27						27	3.9
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2			59							59	8.5
E－3								22		22	3.2
F－1							127			127	18.2
F－2							157			157	22.5
F－3			223				43			266	38.3
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			34							34	4.9
G－3	2						3			5	0.7
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	2	0	316	27	0	0	330	22	0	697	100.0
%	0.3	0.0	45.3	3.9	0.0	0.0	47.3	3.2	0.0	100.0	

35　縄泉窯系青磁碗上田分類B類

	一括	Ⅱ	Ⅱ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	12									12	8.5
C－3			8							8	5.7
D－1								5		5	3.5
D－2	18									18	12.8
D－3	4									4	2.8
E－1										0	0.0
E－2			12							12	8.5
E－3				8				27		35	24.8
F－1										0	0.0
F－2		4								4	2.8
F－3		6								6	4.3
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3			35							35	24.8
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				2						2	1.4
H－3										0	0.0
合計	34	0	65	2	8	0	0	32	0	141	100.0
%	24.1	0.0	46.1	1.4	5.7	0.0	0.0	22.7	0.0	100.0	

36　縄泉窯系青磁碗上田分類C類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2	2									2	1.3
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3	5									5	3.2
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	6									6	3.8
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2							21			21	13.5
D－3	4									4	2.6
E－1										0	0.0
E－2				4						4	2.6
E－3					33					33	21.2
F－1										0	0.0
F－2				19						19	12.2
F－3				20	2					22	14.1
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2				11						11	7.1
G－3	3			10			11	3		27	17.3
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3						2				2	1.3
合計	20	0	64	35	0	2	32	3	0	156	100.0
%	12.8	0.0	41.0	22.4	0.0	1.3	20.5	1.9	0.0	100.0	

37　縄泉窯系青磁小碗Ⅰ－1類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	2									2	0.6
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	5									5	1.6
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	25									25	7.9
D－3										0	0.0
E－1						3				3	0.9
E－2						2				2	0.6
E－3							13		9	22	7.0
F－1								4		4	1.3
F－2						4		53		57	18.0
F－3						13		4		17	5.4
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2						20		3		23	7.3
G－3					4	20	10	120		154	48.7
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2							2			2	0.6
H－3										0	0.0
合計	32	0	42	4	33	15	181	9	0	316	100.0
%	10.1	0.0	13.3	1.3	10.4	4.7	57.3	2.8	0.0	100.0	

38　縄泉窯系青磁小碗Ⅰ－2類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	6									6	2.9
D－3										0	0.0
E－1	14		8		56		3			81	39.3
E－2			13				15			28	13.6
E－3										0	0.0
F－1							3			3	1.5
F－2	1		7				15			23	11.2
F－3			27							27	13.1
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2							5			5	2.4
G－3			19					11		30	14.6
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2			3							3	1.5
H－3										0	0.0
合計	21	0	77	0	56	0	41	11	0	206	100.0
%	10.2	0.0	37.4	0.0	27.2	0.0	19.9	5.3	0.0	100.0	

39　縄泉窯系青磁小碗Ⅰ－5類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3			6							6	2.7
D－1										0	0.0
D－2	4									4	1.8
D－3										0	0.0
E－1	2									2	0.9
E－2							8			8	3.7
E－3					34	3		33		70	32.0
F－1							4			4	1.8
F－2			5			3	2			10	4.6
F－3			99					5		104	47.5
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2							1			1	0.5
G－3				2		3				5	2.3
G－4		5								5	2.3
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	6	0	110	5	36	6	17	39	0	219	100.0
%	2.7	0.0	50.2	2.3	16.4	2.7	7.8	17.8	0.0	100.0	

40　縄泉窯系青磁小碗Ⅱ－1類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	8									8	5.4
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	1									1	0.7
D－3	8									8	5.4
E－1	13			14						27	18.4
E－2				47		2			8	57	38.8
E－3										0	0.0
F－1	2						2			4	2.7
F－2				12						12	8.2
F－3						13				13	8.8
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3							17			17	11.6
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	32	0	73	0	2	13	19	8	0	147	100.0
%	21.8	0.0	49.7	0.0	1.4	8.8	12.9	5.4	0.0	100.0	

41　縄泉窯系青磁小碗Ⅱ－2類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2								1		1	0.6
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2								9		9	5.2
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3	2		1							3	1.7
D－1	2									2	1.2
D－2	2									2	1.2
D－3	15									15	8.7
E－1	21		3							24	13.9
E－2			3		1		1	2		7	4.0
E－3	3							4	3	10	5.8
F－1							3			3	1.7
F－2	3		24				5	1		33	19.1
F－3			2				4			6	3.5
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			10	6			2			18	10.4
G－3	11			6	7		7	6		37	21.4
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				2				1		3	1.7
H－3										0	0.0
合計	59	0	43	14	8	0	22	24	3	173	100.0
%	34.1	0.0	24.9	8.1	4.6	0.0	12.7	13.9	1.7	100.0	

42　縄泉窯系青磁小碗Ⅳ類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	24									24	34.8
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2										0	0.0
F－3			45							45	65.2
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	24	0	45	0	0	0	0	0	0	69	100.0
%	34.8	0.0	65.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

43　縄泉窯系青白口碗Ⅰ類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3	11									11	39.3
E－1							8			8	28.6
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2										0	0.0
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3							9			9	32.1
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	11	0	0	0	0	8	9	0	0	28	100.0
%	39.3	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	32.1	0.0	0.0	100.0	

44　縄泉窯系青磁坏Ⅱ－1類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3	41									41	100.0
E－1										0	0.0
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2										0	0.0
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	41	0	0	0	0	0	0	0	0	41	100.0
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

45　縄泉窯系青磁坏Ⅱ－2類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2										0	0.0
F－3			8				23			31	67.4
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3							15			15	32.6
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	0	0	8	0	0	0	38	0	0	46	100.0
%	0.0	0.0	17.4	0.0	0.0	0.0	82.6	0.0	0.0	100.0	

46　縄泉窯系青磁杯Ⅱ－3類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	12									12	7.1
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	7		40							47	27.6
D－3	7									7	4.1
E－1	47									47	27.6
E－2							16			16	9.4
E－3										0	0.0
F－1							20			20	11.8
F－2										0	0.0
F－3			6							6	3.5
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2								8		8	4.7
G－3										0	0.0
G－4				7						7	4.1
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	73	0	46	7	0	0	36	8	0	170	100.0
%	42.9	0.0	27.1	4.1	0.0	0.0	21.2	4.7	0.0	100.0	

47　縄泉窯系青磁坏Ⅱ－4類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	10									10	2.4
A－1										0	0.0
A－2							6			6	1.4
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4				7						7	1.7
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	2				2					2	0.5
D－3	15									15	3.6
E－1	76		7		2					85	20.5
E－2	6						10	2	7	25	6.0
E－3								35		35	8.4
F－1	5									5	1.2
F－2			12				13			25	6.0
F－3	12		11		2		52		4	81	19.5
F－4										0	0.0
G－1							9			9	2.2
G－2							46			46	11.1
G－3			5				9			14	3.4
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				1		49				50	12.0
H－3										0	0.0
合計	126	0	35	8	4	49	139	43	11	415	100.0
%	30.4	0.0	8.4	1.9	1.0	11.8	33.5	10.4	2.7	100.0	

48　温泉窯系資組坏Ⅱ～5類

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1						46	8			54	55.1
F－2							9			9	9.2
F－3			19							19	19.4
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			7							7	7.1
G－3	9									9	9.2
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	9	0	26	0	0	46	17	0	0	98	100.0
%	9.2	0.0	26.5	0.0	0.0	46.9	17.3	0.0	0.0	100.0	

49　温泉窯系資組坏Ⅳ類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	38									38	48.7
D－3										0	0.0
E－1	6									6	7.7
E－2						12			1	13	16.7
E－3									3	3	3.8
F－1										0	0.0
F－2				7						7	9.0
F－3				3						3	3.8
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2					8					8	10.3
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	44	0	10	8	12	0	0	4	0	78	100.0
%	56.4	0.0	12.8	10.3	15.4	0.0	0.0	5.1	0.0	100.0	

50　温泉窯系資組皿Ⅰ－1類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	7									7	2.4
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1								2		2	0.7
D－2	26									26	8.8
D－3	6									6	2.0
E－1							39			39	13.3
E－2			8					11		19	6.5
E－3								10		10	3.4
F－1			2				11			13	4.4
F－2			11	27			9			47	16.0
F－3	11			78						89	30.3
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2							4			4	1.4
G－3	19						9			28	9.5
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				4						4	1.4
H－3										0	0.0
合計	69	0	21	109	0	0	72	23	0	294	100.0
%	23.5	0.0	7.1	37.1	0.0	0.0	24.5	7.8	0.0	100.0	

51　温泉窯系資組皿Ⅰ－2類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1			34							34	9.3
E－2										0	0.0
E－3							1	2	25	28	7.7
F－1			3							3	0.8
F－2			102				88			190	51.9
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3					11					11	3.0
G－4							94			94	25.7
H－1										0	0.0
H－2			6							6	1.6
H－3										0	0.0
合計	0	0	139	6	11	0	183	2	25	366	100.0
%	0.0	0.0	38.0	1.6	3.0	0.0	50.0	0.5	6.8	100.0	

52　温泉窯系資組皿Ⅱ類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3	82									82	32.9
E－1										0	0.0
E－2			109							109	43.8
E－3								19		19	7.6
F－1							39			39	15.7
F－2										0	0.0
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	82	0	109	0	0	0	39	19	0	249	100.0
%	32.9	0.0	43.8	0.0	0.0	0.0	15.7	7.6	0.0	100.0	

53　温泉窯系資組皿Ⅳ類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2									40	40	10.6
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2				171						171	45.5
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2										0	0.0
F－3				165						165	43.9
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	0	0	336	0	0	0	0	0	40	376	100.0
%	0.0	0.0	89.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.6	100.0	

54　温泉窯系資組皿（器不明）

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3	3									3	0.5
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	8									8	1.2
C－3										0	0.0
D－1	29									29	4.5
D－2			4							4	0.6
D－3	30									30	4.7
E－1	58						27	12		97	15.1
E－2	37						6			43	6.7
E－3								45		45	7.0
F－1							10	4		14	2.2
F－2	57		11				4			72	11.2
F－3			63	23			20			106	16.5
F－4										0	0.0
G－1							42			42	6.5
G－2	6		26			28		3		63	9.8
G－3	23				13		35	3		74	11.5
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				2		10				12	1.9
H－3										0	0.0
合計	251	0	104	25	13	38	144	67	0	642	100.0
%	39.1	0.0	16.2	3.9	2.0	5.9	22.4	10.4	0.0	100.0	

55　初期段窯跡・同安窯系資組碗Ｏ類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	5									5	1.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	14		6					137		157	31.0
D－3										0	0.0
E－1							4			4	0.8
E－2	5						13	20		38	7.5
E－3								8	35	43	8.5
F－1								24		24	4.7
F－2			48				108			156	30.8
F－3								3		3	0.6
F－4							2			2	0.4
G－1										0	0.0
G－2			17							17	3.4
G－3							16	41		57	11.3
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	24	0	71	0	0	0	143	233	35	506	100.0
%	4.7	0.0	14.0	0.0	0.0	0.0	28.3	46.0	6.9	100.0	

56　同安窯系資組碗Ⅰ類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	121									121	1.8
A－1										0	0.0
A－2	3									3	0.0
A－3										0	0.0
B－1	1									1	0.0
B－2	17									17	0.2
B－3	34		8				4			46	0.7
B－4				2						2	0.0
C－1										0	0.0
C－2	16									16	0.2
C－3	5		16							21	0.3
D－1	14							32	4	50	0.7
D－2	29		1					22	5	57	0.8
D－3	63								7	70	1.0
E－1	136					11	66	7		220	3.2
E－2	15		164	2	25	2	146	61	47	462	6.7
E－3	7		183	20	8	10	62	276	77	643	9.4
F－1	23		47			16	330	2		418	6.1
F－2	15		869	9	2	17	320	112		1344	19.5
F－3	122		575	24	10	10	553	410		1704	24.8
F－4										0	0.0
G－1							38			38	0.6
G－2	36		249	3		27	256	39		601	8.7
G－3	3		23	21	45		438	121	17	668	9.7
G－4					67					67	1.0
H－1										0	0.0
H－2	3			27		54	31	142		257	3.7
H－3						38		11		49	0.7
合計	663	0	2126	108	157	185	2244	1235	157	6875	100.0
%	9.6	0.0	30.9	1.6	2.3	2.7	32.6	18.0	2.3	100.0	

57　同安窯系資組碗Ⅱ類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3	3									3	10.3
E－1						1				1	3.4
E－2										0	0.0
E－3							3	12		15	51.7
F－1										0	0.0
F－2				8						8	27.6
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3							2			2	6.9
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	3	0	8	0	0	0	6	12	0	29	100.0
%	10.3	0.0	27.6	0.0	0.0	0.0	20.7	41.4	0.0	100.0	

58　同安窯系資組碗Ⅲ類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	56									56	12.8
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	12									12	2.7
C－3			1							1	0.2
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2			279							279	63.8
E－3										0	0.0
F－1							26	27		53	12.1
F－2							4	20		24	5.5
F－3									12	12	2.7
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	68	0	280	0	0	0	30	47	12	437	100.0
%	15.6	0.0	64.1	0.0	0.0	0.0	6.9	10.8	2.7	100.0	

59　同安窯系資組皿Ⅰ－1類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2										0	0.0
E－3			16	9						25	5.1
F－1			40			7	5			52	10.6
F－2			53				53			106	21.7
F－3			8				7	1		16	3.3
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2	7									7	1.4
G－3			66				162			228	46.6
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2						2		3		5	1.0
H－3						50				50	10.2
合計	7	0	167	0	0	59	243	13	0	489	100.0
%	1.4	0.0	34.2	0.0	0.0	12.1	49.7	2.7	0.0	100.0	

60　周安窯系青磁皿Ⅰ－2類

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	5									5	0.2
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	1		3							4	0.2
B－3							3			3	0.1
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	12									12	0.6
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	9									9	0.4
D－3	19				2					21	1.0
E－1	8		55			18	4			85	4.2
E－2	87		95		2	95	9			288	14.2
E－3	4		18	11	33	5	31	42		144	7.1
F－1	18		22			108				148	7.3
F－2	85		108	8	7	61	45			314	15.5
F－3			164	18	8	2	131	108	3	434	21.4
F－4										0	0.0
G－1							2			2	0.1
G－2	9		23			3	173	7		215	10.6
G－3	11			1	9	8	161	63		253	12.5
G－4				14				4		18	0.9
H－1										0	0.0
H－2				16		7	6	10		39	1.9
H－3						8		26		34	1.7
合計	268	0	488	68	61	89	747	262	45	2028	100.0
%	13.2	0.0	24.1	3.4	3.0	4.4	36.8	12.9	2.2	100.0	

61　高麗青磁碗

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1	9									9	10.0
E－2										0	0.0
E－3			1							1	1.1
F－1										0	0.0
F－2				15						15	16.7
F－3			9				30			39	43.3
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			16				5			21	23.3
G－3			5							5	5.6
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	9	0	31	15	0	0	35	0	0	90	100.0
%	10.0	0.0	34.4	16.7	0.0	0.0	38.9	0.0	0.0	100.0	

62　越州窯系青磁碗

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3	5						3			8	2.3
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	4									4	1.1
C－3										0	0.0
D－1	10									10	2.9
D－2	3		39							42	12.0
D－3										0	0.0
E－1			64							64	18.3
E－2			118							118	33.8
E－3							5			5	1.4
F－1										0	0.0
F－2			10							10	2.9
F－3			5				75			80	22.9
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3			8							8	2.3
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	22	0	244	0	0	0	83	0	0	349	100.0
%	6.3	0.0	69.9	0.0	0.0	0.0	23.8	0.0	0.0	100.0	

63　越州窯（碗）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2										0	0.0
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2			20							20	100.0
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	0	0	20	0	0	0	0	0	0	20	100.0
%	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

64　青磁不明

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2									32	32	7.9
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3	100									100	24.8
D－1										0	0.0
D－2	18						2			20	5.0
D－3	23						2			25	6.2
E－1	3					3	5			11	2.7
E－2			17		4		17			38	9.4
E－3	8						4	13		25	6.2
F－1			8							8	2.0
F－2			17		9					26	6.5
F－3			18			3	5	3		29	7.2
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2	25		7			3	10			45	11.2
G－3						21	17			38	9.4
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				6						6	1.5
H－3										0	0.0
合計	177	0	67	6	13	24	33	35	48	403	100.0
%	43.9	0.0	16.6	1.5	3.2	6.0	8.2	8.7	11.9	100.0	

65　青白磁碗

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	8									8	4.6
C－3	5									5	2.9
D－1										0	0.0
D－2	9									9	5.2
D－3	7									7	4.0
E－1										0	0.0
E－2	21									21	12.1
E－3										0	0.0
F－1	11									11	6.3
F－2	58									58	33.3
F－3	15									15	8.6
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2	10									10	5.7
G－3	12									12	6.9
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2	9									9	5.2
H－3	9									9	5.2
合計	174	0	0	0	0	0	0	0	0	174	100.0
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

66　青白磁碗（口はげ）

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	2									2	2.2
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	3									3	3.3
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1	2									2	2.2
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3	3									3	3.3
E－1										0	0.0
E－2	13									13	14.3
E－3	21									21	23.1
F－1	5									5	5.5
F－2	3									3	3.3
F－3	20									20	22.0
F－4	3									3	3.3
G－1										0	0.0
G－2	4									4	4.4
G－3	11									11	12.1
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2	1									1	1.1
H－3										0	0.0
合計	91	0	0	0	0	0	0	0	0	91	100.0
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

67　青白磁皿

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	1									1	0.5
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	1									1	0.5
C－3	1									1	0.5
D－1	1									1	0.5
D－2	33									33	18.1
D－3										0	0.0
E－1	18									18	9.9
E－2	16									16	8.8
E－3	9									9	4.9
F－1	8									8	4.4
F－2	33									33	18.1
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1	1									1	0.5
G－2	9									9	4.9
G－3	51									51	28.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	182	0	0	0	0	0	0	0	0	182	100.0
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

68　青白磁皿（口はげ）

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1	3									3	8.3
E－2	9									9	25.0
E－3	3									3	8.3
F－1										0	0.0
F－2	6									6	16.7
F－3	2									2	5.6
F－4										0	0.0
G－1	5									5	13.9
G－2	4									4	11.1
G－3	4									4	11.1
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	36	0	0	0	0	0	0	0	0	36	100.0
%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

69　青白磁合子・小壺

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	5									5	1.8
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2								7		7	2.5
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3			4							4	1.4
D－1										0	0.0
D－2	6		1							7	2.5
D－3	1									1	0.4
E－1							1			1	0.4
E－2			1				11		3	15	5.3
E－3			6				1	4	2	13	4.6
F－1						2	19			21	7.5
F－2	5		6				4	9		24	8.5
F－3			38				23	5		66	23.5
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			16			7	5	8		36	12.8
G－3	6				1	1	36	26		70	24.9
G－4								1		1	0.4
H－1										0	0.0
H－2				3		2				5	1.8
H－3						3	2			5	1.8
合計	23	0	72	3	1	15	102	53	12	281	100.0
%	8.2	0.0	25.6	1.1	0.4	5.3	36.3	18.9	4.3	100.0	

70　青白磁水注

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2								9		9	34.6
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2										0	0.0
F－3			17							17	65.4
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	0	0	17	0	0	0	0	9	0	26	100.0
%	0.0	0.0	65.4	0.0	0.0	0.0	0.0	34.6	0.0	100.0	

71　青白磁梅瓶

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	3									3	0.7
C－3										0	0.0
D－1	9									9	2.0
D－2	88									88	19.6
D－3										0	0.0
E－1	2		54							56	12.4
E－2	10		80				15			105	23.3
E－3	22									22	4.9
F－1										0	0.0
F－2	23		10							33	7.3
F－3	36		32				15			83	18.4
F－4	7									7	1.6
G－1										0	0.0
G－2	10									10	2.2
G－3	34									34	7.6
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	244	0	176	0	0	0	30	0	0	450	100.0
%	54.2	0.0	39.1	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	100.0	

72　青白磁その他

	一括	II	III'	IV	V	VI	VII	VIII	IX	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	4									4	1.2
D－3										0	0.0
E－1							3			3	0.9
E－2							83		4	87	26.7
E－3	6		8					19		33	10.1
F－1										0	0.0
F－2			36				44	7		87	26.7
F－3			4					3		7	2.1
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			14			17	10			41	12.6
G－3						10	40	14		64	19.6
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	10	0	62	0	0	27	180	43	4	326	100.0
%	3.1	0.0	19.0	0.0	0.0	8.3	55.2	13.2	1.2	100.0	

73　褐釉碗（天目）

	一括	III	III'	IV	V	VI	VII	VIII	IX	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	9									9	1.2
B－3	5									5	0.7
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1	6									6	0.8
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1				2				6		8	1.1
E－2				152		120	8	3		283	39.0
E－3	34			4				25	10	73	10.1
F－1				4				1		5	0.7
F－2	3			13		5	9	1		31	4.3
F－3				9				13	21	43	5.9
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2	26			32						58	8.0
G－3	6					32	4	83		125	17.2
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2							21			21	2.9
H－3					58					58	8.0
合計	89	0	216	58	157	42	125	38	0	725	100.0
%	12.3	0.0	29.8	8.0	21.7	5.8	17.2	5.2	0.0	100.0	

74　褐釉壺

	一括	III	III'	IV	V	VI	VII	VIII	IX	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2									10	10	5.1
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3										0	0.0
E－1	35									35	17.8
E－2	3									3	1.5
E－3			7					51		58	29.4
F－1							4			4	2.0
F－2			6		30		9			45	22.8
F－3			12					2		14	7.1
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			3	10			5	10		28	14.2
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	38	0	28	10	30	0	18	63	10	197	100.0
%	19.3	0.0	14.2	5.1	15.2	0.0	9.1	32.0	5.1	100.0	

75　褐釉瓶

	一括	III	III'	IV	V	VI	VII	VIII	IX	合計	%
一括	12									12	1.5
A－1										0	0.0
A－2	4									4	0.5
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	25									25	3.1
B－3	3									3	0.4
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1	9									9	1.1
D－2	33									33	4.1
D－3	27						4			31	3.8
E－1	4					8	24	2		38	4.7
E－2			20		6	51	63	5	15	160	19.7
E－3	6						1	18	14	39	4.8
F－1							43			43	5.3
F－2	13		100					28		141	17.3
F－3	7		35	6		3	2	5	9	67	8.2
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			66		16		41	3		126	15.5
G－3		6					20	14		40	4.9
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2		4								4	0.5
H－3		12	3					23		38	4.7
合計	143	0	221	28	25	62	198	98	38	813	100.0
%	17.6	0.0	27.2	3.4	3.1	7.6	24.4	12.1	4.7	100.0	

76　貿易壺

	一括	II	III'	IV	V	VI	VII	VIII	IX	合計	%
一括	16									16	2.2
A－1	5									5	0.7
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3	7									7	1.0
E－1							14			14	1.9
E－2			4					13	4	21	2.9
E－3								10		10	1.4
F－1										0	0.0
F－2			11							11	1.5
F－3			4				26			30	4.1
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2			11				250	23		284	38.6
G－3				27	12	21	258			318	43.2
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				8						8	1.1
H－3						12				12	1.6
合計	28	0	30	35	12	33	548	46	4	736	100.0
%	3.8	0.0	4.1	4.8	1.6	4.5	74.5	6.3	0.5	100.0	

77　東南アジア産褐釉陶器

	一括	III	III'	IV	V	VI	VII	VIII	IX	合計	%
一括	6									6	3.5
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	52									52	30.4
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2				5						5	2.9
D－3										0	0.0
E－1						5				5	2.9
E－2				30						30	17.5
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2				29						29	17.0
F－3				5			8			13	7.6
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2								6		6	3.5
G－3					11		14			25	14.6
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	58	0	69	11	0	5	22	6	0	171	100.0
%	33.9	0.0	40.4	6.4	0.0	2.9	12.9	3.5	0.0	100.0	

78　越州窯盤

	一括	III	III'	IV	V	VI	VII	VIII	IX	合計	%
一括	21									21	0.9
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4				4						4	0.2
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3	16									16	0.7
D－1	37									37	1.6
D－2	50		23					15	48	136	6.0
D－3	3									3	0.1
E－1	23		27				8	32	7	97	4.3
E－2	12		323		23		28	58	43	487	21.5
E－3	23		2				8	7	36	76	3.3
F－1	2		15				119			136	6.0
F－2			52		2	57	60	38		209	9.2
F－3			203	2			30	84		319	14.1
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2	3		71				408	13		495	21.8
G－3	3			15		49	117	14		198	8.7
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				33	1					34	1.5
H－3							1	8		21	0.9
合計	193	0	716	54	26	122	822	265	91	2269	100.0
%	8.5	0.0	31.6	2.4	1.1	5.4	35.3	11.7	4.0	100.0	

79　貿易盤

	一括	II	III'	IV	V	VI	VII	VIII	IX	合計	%
一括	88									88	2.8
A－1							2			2	0.1
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	9									9	0.3
B－3	4									4	0.1
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	47									47	1.5
C－3	1		3							4	0.1
D－1	16			1				28		45	1.4
D－2	59		7					33	10	109	3.5
D－3	36								20	56	1.8
E－1	126		14			2	74	99		315	10.1
E－2	6		201	5	49	8	46	21	32	368	11.9
E－3	60		66	7		6	164	107	13	423	13.6
F－1	25		81				181	24		311	10.0
F－2	5		155	2		13	16	126		317	10.2
F－3	23		193	11		14	39	182		462	14.9
F－4			29							29	0.9
G－1	13									13	0.4
G－2	8		64				121	28		221	7.1
G－3	6			57	2	6	52	64		187	6.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2	10		35				4			49	1.6
H－3			21			11	8	6		46	1.5
合計	542	0	813	139	51	60	707	718	75	3105	100.0
%	17.5	0.0	26.2	4.5	1.6	1.9	22.8	23.1	2.4	100.0	

80　農書資祖・白祖

	一括	III	III'	IV	V	VI	VII	VIII	IX	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2										0	0.0
D－3	34									34	2.0
E－1							21			21	1.3
E－2									52	52	3.1
E－3				106			11	142	2	259	15.6
F－1							121			121	7.3
F－2			385			130				515	30.9
F－3			9				279	110		398	23.9
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2							17			17	1.0
G－3						28	96	123		247	14.8
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	34	0	394	106	0	158	545	375	52	1664	100.0
%	2.0	0.0	23.7	6.4	0.0	9.5	32.8	22.5	3.1	100.0	

81　瓦胎碗・皿

	一括	III	III'	IV	V	VI	VII	VIII	IX	合計	%
一括	18									18	1.6
A－1										0	0.0
A－2	12									12	1.1
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	44						3			47	4.1
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	19									19	1.7
C－3	8									8	0.7
D－1	17							10		27	2.4
D－2	5						21	14	19	59	5.2
D－3	53								18	71	6.3
E－1	49						20	5		74	6.5
E－2			39			100	16	45	13	23	236	20.8
E－3			34	6				6	12		58	5.1
F－1			4					15	4		23	2.0
F－2	3		41			10	49	36			139	12.2
F－3			65				11	55			131	11.5
F－4											0	0.0
G－1											0	0.0
G－2	8		13				52	63			136	12.0
G－3				14			17	28			59	5.2
G－4							2				2	0.2
H－1											0	0.0
H－2											0	0.0
H－3						1		15			16	1.4
合計	236	0	196	20	100	27	241	255	60	1135	100.0
%	20.8	0.0	17.3	1.8	8.8	2.4	21.2	22.5	5.3	100.0	

82　瀬戸窯製品

	一括	III	III'	IV	V	VI	VII	VIII	IX	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	28									28	6.5
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1	3									3	0.7
D－2	125									125	28.9
D－3										0	0.0
E－1	6		30							36	8.3
E－2			102							102	23.6
E－3										0	0.0
F－1										0	0.0
F－2			22				60			82	18.9
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2	20		30							50	11.5
G－3							1			1	0.2
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2	6									6	1.4
H－3										0	0.0
合計	188	0	184	0	0	0	61	0	0	433	100.0
%	43.4	0.0	42.5	0.0	0.0	0.0	14.1	0.0	0.0	100.0	

83　常滑窯製

	一括	II	III'	IV	V	VI	VII	VIII	IX	合計	%
一括	588									588	1.4
A－1										0	0.0
A－2	143									143	0.3
A－3								600		600	1.4
B－1	189									189	0.5
B－2							172			172	0.4
B－3	268						46	127		441	1.1
B－4										0	0.0
C－1	265									265	0.6
C－2	2847									2847	6.8
C－3	530									530	1.3
D－1	338							29	29	396	1.0
D－2	1800		32					400	12	2244	5.4
D－3	748								117	865	2.1
E－1	2122		179		48		269	249		2867	6.9
E－2	979		1883		458	279	488	283	717	5087	12.2
E－3	400		27	4	323	395	666	685	53	2553	6.1
F－1	28		407				1462	477		2374	5.7
F－2	49		2086			296	2608	582		5621	13.5
F－3	175		1252	242		735	2959	665		6028	14.5
F－4										0	0.0
G－1							297			297	0.7
G－2	467		726	267	92	146	996	260		2954	7.1
G－3	246			38		75	2083	71		2513	6.0
G－4				82	158					240	0.6
H－1										0	0.0
H－2				447			548			995	2.4
H－3				41	157	509		93		800	1.9
合計	12182	0	6633	1237	1079	2435	12594	3921	1528	41609	100.0
%	29.3	0.0	15.9	3.0	2.6	5.9	30.3	9.4	3.7	100.0	

84　備前窯甕

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	329									329	2.9
A－1										0	0.0
A－2								54		54	0.5
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	92									92	0.8
B－3	50									50	0.4
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1	367				39					406	3.6
D－2	1093								191	1284	11.5
D－3	569								33	602	5.4
E－1	141						152	66		359	3.2
E－2						191	765	328	86	1370	12.2
E－3			221			106	255	549	296	1427	12.8
F－1							742	9		751	6.7
F－2	33		687			686	521			1927	17.2
F－3	29		236	90	229			47		631	5.6
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2	117						61			178	1.6
G－3	80				328	29	49			486	4.3
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				276			276			552	4.9
H－3				443		247				690	6.2
合計	2900	0	1144	809	596	1259	2821	1053	606	11188	100.0
%	25.9	0.0	10.2	7.2	5.3	11.3	25.2	9.4	5.4	100.0	

85　東播系須恵質甕

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2	32							40		72	15.9
D－3										0	0.0
E－1										0	0.0
E－2										0	0.0
E－3								68		68	15.0
F－1							99			99	21.9
F－2			97							97	21.4
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3							56			56	12.4
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				61						61	13.5
H－3										0	0.0
合計	32	0	97	61	0	0	155	108	0	453	100.0
%	7.1	0.0	21.4	13.5	0.0	0.0	34.2	23.8	0.0	100.0	

86　在地系須恵質甕

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	237									237	1.3
A－1									7	7	0.0
A－2	77									77	0.4
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	106						15	130		251	1.4
B－3	24									24	0.1
B－4										0	0.0
C－1	156									156	0.8
C－2	487									487	2.6
C－3	114									114	0.6
D－1	209							109	15	333	1.8
D－2	1323						24	84	158	1589	8.6
D－3	263								604	867	4.7
E－1	455		68				265	146		934	5.1
E－2	71		373		91	33	304	613	17	1502	8.1
E－3	189		248	87	267	813	2192	658	188	4642	25.2
F－1	29		71				260	318		678	3.7
F－2	95		1287			248	1286	138		3054	16.5
F－3			559	312			536	343		1750	9.5
F－4										0	0.0
G－1							63			63	0.3
G－2	22		255	23			98	151		549	3.0
G－3				84		211	371	227		893	4.8
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				89		37	22			148	0.8
H－3						61		41		102	0.6
合計	3857	0	2861	595	358	1403	5436	2958	989	18457	100.0
%	20.9	0.0	15.5	3.2	1.9	7.6	29.5	16.0	5.4	100.0	

87　備前窯擂鉢

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1										0	0.0
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1										0	0.0
D－2								62		62	7.2
D－3										0	0.0
E－1					78					78	9.1
E－2						292	255			547	63.9
E－3						50	119			169	19.7
F－1										0	0.0
F－2										0	0.0
F－3										0	0.0
F－4										0	0.0
G－1										0	0.0
G－2										0	0.0
G－3										0	0.0
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3										0	0.0
合計	0	0	0	0	78	342	374	62	0	856	100.0
%	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	40.0	43.7	7.2	0.0	100.0	

88　東播系須恵質捏鉢

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	403									403	2.3
A－1				17			13		19	49	0.3
A－2	170									170	1.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	324									324	1.9
B－3	42									42	0.2
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	461									461	2.6
C－3	88									88	0.5
D－1								197	70	267	1.5
D－2	637		26					46	2	711	4.1
D－3	164									164	0.9
E－1	792		107			38	201	111		1249	7.2
E－2	50		1145		838	45	524	187	347	3136	18.0
E－3	10		19	30	81		142	674	103	1059	6.1
F－1	34		120		10	57	673	122		1216	7.0
F－2	68		1464		168	317	751	169		2937	16.9
F－3	122		1477		16		323	380		2318	13.3
F－4			71							71	0.4
G－1						14	76			90	0.5
G－2	77		548	19	28	33	788	119		1612	9.3
G－3	77		12	12	53	38	446	188	13	839	4.8
G－4				25						25	0.1
H－1										0	0.0
H－2				40		15		122		177	1.0
H－3						11				11	0.1
合計	3519	0	4989	143	1194	568	4137	2315	554	17419	100.0
%	20.2	0.0	28.6	0.8	6.9	3.3	23.7	13.3	3.2	100.0	

89　在地系須恵質捏鉢

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	165									165	1.3
A－1					50			31	152	233	1.9
A－2	22									22	0.2
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	61									61	0.5
B－3	44			34						78	0.6
B－4										0	0.0
C－1	32									32	0.3
C－2	69									69	0.6
C－3	158									158	1.3
D－1	69							456	54	579	4.7
D－2	738						12	55	185	990	8.1
D－3	347							48	63	458	3.7
E－1	787		86		10		227	60		1170	9.6
E－2			738		113	234	254	118	205	1662	13.6
E－3	36			22	70	290	155	552	22	1147	9.4
F－1	94		149		105	115	1061			1524	12.4
F－2			806		51	90	72	94		1113	9.1
F－3			823	152	65	35	149	280		1504	12.3
F－4										0	0.0
G－1							12			12	0.1
G－2	16		237				114	49		416	3.4
G－3	79					17	309	108		513	4.2
G－4				6						6	0.0
H－1										0	0.0
H－2						169	29	59		257	2.1
H－3	29			32		15				76	0.6
合計	2746	0	2839	246	464	965	2394	1910	681	12245	100.0
%	22.4	0.0	23.2	2.0	3.8	7.9	19.6	15.6	5.6	100.0	

90　在地系須恵質擂鉢

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	361									361	1.9
A－1	58									58	0.3
A－2	28									28	0.1
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	63						145			208	1.1
B－3	7									7	0.0
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1	103							61	255	419	2.2
D－2	1877							51		1928	10.3
D－3	786								208	994	5.3
E－1	532		378			20	59			989	5.3
E－2			2124		194	75	74	148		2615	13.9
E－3	230		76	118	237	117	51	1583	5	2417	12.9
F－1	171		118				620			909	4.8
F－2	28		1321		115	368	987			2819	15.0
F－3	79		914	236		40	2171	223		3663	19.5
F－4										0	0.0
G－1							237			237	1.3
G－2	77		64				359	45		545	2.9
G－3				30	31	128	80			269	1.4
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2				62	11					73	0.4
H－3						232				232	1.2
合計	4400	0	4995	446	588	980	4783	2111	468	18771	100.0
%	23.4	0.0	26.6	2.4	3.1	5.2	25.5	11.2	2.5	100.0	

91　瓦質火鉢

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	260									280	0.7
A－1									9	9	0.0
A－2	16									16	0.0
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	9									9	0.0
B－3	98									98	0.2
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	90									90	0.2
C－3	173									173	0.4
D－1	408							208	13	629	1.6
D－2	2353							52	142	2547	6.3
D－3	2693								289	2982	7.4
E－1	3267		129		16	25	590	568	41	4636	11.5
E－2	228	747	2903		415	525	293	394	61	5566	13.8
E－3			88	156	158	342	272	1959	109	3084	7.7
F－1	520		23			20	1887	67		2517	6.2
F－2	60	230	1193		48	479	1188	218		3416	8.5
F－3	78		3984	156	103	58	2565	1674	33	8651	21.5
F－4			19							19	0.0
G－1							140			140	0.3
G－2	69		613		257	226	570	481		2216	5.5
G－3	123			207	169	638	1071	104	29	2341	5.8
G－4				41						41	0.1
H－1						24				24	0.1
H－2			13	258	38	78	35			422	1.0
H－3						248	107	22		377	0.9
合計	10465	977	8965	818	1204	2663	8718	5747	726	40283	100.0
%	26.0	2.4	22.3	2.0	3.0	6.6	21.6	14.3	1.8	100.0	

92　滑石製石鍋

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	1206									1206	9.5
A－1									202	202	1.6
A－2	81							9		90	0.7
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2	483									483	3.8
B－3	183						114			297	2.3
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2	237				60					297	2.3
C－3	158									158	1.2
D－1	112			3					19	134	1.1
D－2	139		13					107	54	313	2.5
D－3	105								11	116	0.9
E－1	661		218			14	163	108		1164	9.2
E－2	49		501		130		66	324	180	1250	9.9
E－3			190		49		215		182	636	5.0
F－1							602			602	4.8
F－2	12		660			41	935	608		2256	17.8
F－3	14		592		14	30	157	623		1430	11.3
F－4										0	0.0
G－1							15			15	0.1
G－2	243		95				553	257	86	1234	9.8
G－3	258		54	89			8	315		724	5.7
G－4	6									6	0.0
H－1										0	0.0
H－2										0	0.0
H－3						28				28	0.2
合計	3947	0	2323	92	253	113	2828	2351	734	12641	100.0
%	31.2	0.0	18.4	0.7	2.0	0.9	22.4	18.6	5.8	100.0	

93　土師器坏

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1									37	37	0.1
A－2										0	0.0
A－3										0	0.0
B－1	28									28	0.1
B－2	233									233	0.5
B－3										0	0.0
B－4										0	0.0
C－1	32									32	0.1
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1								47	160	207	0.4
D－2	3309						231	1206	105	4851	10.4
D－3	233								1651	1884	4.0
E－1	741		73		67	202	107	233		1423	3.1
E－2			4783		1592	877	1116	1306	932	10606	22.7
E－3	767		403		791	1026	1699	1267	1148	7101	15.2
F－1	170						1497	545		2212	4.7
F－2	37		2485		57	172	3202	401		6354	13.6
F－3	137		1003	115	83			1683	468	3489	7.5
F－4										0	0.0
G－1	83						137			220	0.5
G－2	72		1091		27	103	159	839		2291	4.9
G－3	1762			429	63	152	1949	965		5320	11.4
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2	52					63		53		168	0.4
H－3				16		92		70		178	0.4
合計	7656	0	9838	560	2660	2687	10097	8615	4501	46634	100.0
%	16.4	0.0	21.1	1.2	5.7	5.8	21.7	18.5	9.7	100.0	

94　土師皿

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括										0	0.0
A－1							46		103	149	0.4
A－2										0	0.0
A－3								31		31	0.1
B－1										0	0.0
B－2	94							81		175	0.5
B－3	18									18	0.0
B－4										0	0.0
C－1	31									31	0.1
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1	110							78	100	288	0.8
D－2	3447						132	514	661	4754	12.8
D－3	354								430	784	2.1
E－1	632		89			173	270	216		1380	3.7
E－2			3768		692	350	1035	1049	447	7341	19.7
E－3	58		324	58	603	808	831	1184	632	4498	12.1
F－1	108		77				813	245		1243	3.3
F－2	439		2138		398	160	2456	212		5803	15.6
F－3	93		1919	11	167	211	2091	1530	484	6506	17.5
F－4										0	0.0
G－1	28						72			100	0.3
G－2			420			79	590	225		1314	3.5
G－3	429			93	162	106	1025	658		2473	6.6
G－4				24			42	26		92	0.2
H－1										0	0.0
H－2						23				23	0.1
H－3				40		47	71	92		250	0.7
合計	5841	0	8735	226	2022	1957	9474	6141	2857	37253	100.0
%	15.7	0.0	23.4	0.6	5.4	5.3	25.4	16.5	7.7	100.0	

95　土師器皿・坏

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	4785									4785	0.7
A－1	94						152			246	0.0
A－2	4098							95		4193	0.6
A－3								82		82	0.0
B－1	24							11		35	0.0
B－2	5016						41	52		5109	0.8
B－3	3249							42		3291	0.5
B－4										0	0.0
C－1	384									384	0.1
C－2	5277									5277	0.8
C－3	2583									2583	0.4
D－1	5373							1154	1875	8402	1.2
D－2	44326		361		6		1495	2003	4301	52492	7.8
D－3	12506								3257	15763	2.3
E－1	17892		3305	169	1094	1432	5171	5977		35040	5.2
E－2	1991		38775	253	5732	5073	17312	9016	8095	86247	12.8
E－3	7118		4195	903	3855	3453	4204	24886	4326	52940	7.9
F－1	2828		4457			1772	29276	3673		42006	6.2
F－2	2480		49625		3144	7109	28959	14630		105947	15.7
F－3	1693		56827	1919	2445	1968	20493	21699	1020	108064	16.0
F－4			1855							1855	0.3
G－1							3946			3946	0.6
G－2	1225		22077	357	460	1165	14485	7945		47714	7.1
G－3	3083			4796	3036	8282	30178	20606		70181	10.4
G－4				2862	228			1554		4644	0.7
H－1										0	0.0
H－2	647			1658	220	1430	645			4600	0.7
H－3	440			572	85	3084	570	3755		8506	1.3
合計	127112	0	181477	13489	20305	34768	156927	117380	22874	674332	100.0
%	18.9	0.0	26.9	2.0	3.0	5.2	23.3	17.4	3.4	100.0	

96 白色土壌

	一括	II	II'	IV	V	VI	VII	VIII	IX	合計	%
一括	18									18	1.1
A－1										0	0.0
A－2	5									5	0.3
A－3										0	0.0
B－1										0	0.0
B－2										0	0.0
B－3							3			3	0.2
B－4										0	0.0
C－1										0	0.0
C－2										0	0.0
C－3										0	0.0
D－1	6									6	0.4
D－2	63								10	73	4.3
D－3	16								11	27	1.6
E－1	26		1				7	4		38	2.3
E－2	18		121	4	14	3	21	32	14	227	13.5
E－3			6		3		17	42	7	75	4.5
F－1							19			19	1.1
F－2	10		468		23	20	13	14	33	581	34.6
F－3			109	17		5	77	44		252	15.0
F－4			2							2	0.1
G－1							8			8	0.5
G－2			57	4		10	44	18		133	7.9
G－3	4			6	12	24	95	9		150	8.9
G－4										0	0.0
H－1										0	0.0
H－2			1	21	11	5	8			46	2.7
H－3						7	11			18	1.1
合計	166	0	765	52	63	74	323	163	75	1681	100.0
%	9.9	0.0	45.5	3.1	3.7	4.4	19.2	9.7	4.5	100.0	

a　白磁碗・小碗総量（1～11）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	708	0	0	0	0	0	35	0	0	743	3.0
A－1	0	0	0	0	0	0	20	0	0	20	0.1
A－2	100	0	0	0	0	0	0	6	4	110	0.4
A－3	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8	0.0
B－1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0.0
B－2	631	0	0	0	0	0	220	15	5	871	3.5
B－3	388	0	0	4	0	0	137	8	5	542	2.2
B－4	4	0	0	5	0	0	0	1	0	10	0.0
C－1	157	0	0	0	0	0	0	0	0	157	0.6
C－2	201	0	3	0	0	0	17	16	0	237	1.0
C－3	93	0	161	0	0	0	0	0	0	254	1.0
D－1	184	0	0	0	0	0	34	78	84	380	1.5
D－2	333	0	34	0	0	4	4	95	70	540	2.2
D－3	456	0	0	132	0	16	10	31	341	986	4.0
E－1	391	0	98	10	33	3	743	575	11	1864	7.5
E－2	73	0	816	8	112	59	713	719	228	2728	11.0
E－3	89	0	131	99	29	229	596	491	385	2049	8.3
F－1	81	0	149	13	0	69	1063	293	0	1668	6.7
F－2	236	3	1021	97	43	45	1394	1273	0	4112	16.6
F－3	43	0	479	120	11	15	333	548	197	1746	7.0
F－4	0	0	61	0	0	0	0	0	0	61	0.2
G－1	56	0	0	0	0	0	282	79	0	417	1.7
G－2	185	0	645	12	42	82	864	440	4	2274	9.2
G－3	92	0	78	69	27	50	804	989	0	2109	8.5
G－4	0	0	0	21	2	0	3	6	0	32	0.1
H－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－2	52	0	0	41	26	38	130	72	0	359	1.4
H－3	7	0	6	23	50	54	5	350	0	495	2.0
合計	4571	3	3682	654	375	664	7407	6093	1334	24783	100.0
%	18.4	0.0	14.9	2.6	1.5	2.7	29.9	24.6	5.4	100.0	

b　白磁皿総量（12～20）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	78	0	0	0	0	0	0	0	0	78	1.0
A－1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0.0
A－2	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0.1
A－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－2	27	0	12	0	0	1	0	2	1	43	0.5
B－3	75	0	0	0	0	1	6	15	0	97	1.2
B－4	0	0	0	11	0	0	0	3	0	14	0.2
C－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－2	89	0	0	0	0	13	0	9	0	111	1.4
C－3	22	0	169	0	0	0	10	0	0	201	2.5
D－1	70	0	3	100	0	0	5	12	1	191	2.4
D－2	152	0	22	0	9	21	3	33	18	258	3.2
D－3	136	0	0	1	0	0	0	0	25	162	2.0
E－1	178	0	46	0	0	0	177	77	5	483	6.0
E－2	20	0	186	7	112	18	187	88	36	654	8.2
E－3	15	0	177	27	73	28	77	213	23	633	7.9
F－1	15	0	16	0	4	67	225	29	8	364	4.5
F－2	33	0	484	36	36	112	471	198	9	1379	17.2
F－3	51	0	449	41	6	59	96	385	19	1106	13.8
F－4	0	0	21	0	0	0	0	0	0	21	0.3
G－1	4	0	0	0	0	1	76	0	0	81	1.0
G－2	21	0	276	0	0	34	204	202	0	737	9.2
G－3	80	0	4	73	80	37	511	401	1	1187	14.8
G－4	0	0	0	9	1	0	10	3	0	23	0.3
H－1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0.0
H－2	2	0	0	15	1	11	0	43	0	72	0.9
H－3	1	0	0	19	2	36	19	23	0	100	1.2
合計	1083	0	1865	339	324	441	2077	1736	146	8011	100.0
%	13.5	0.0	23.3	4.2	4.0	5.5	25.9	21.7	1.8	100.0	

c　白磁BDE類総量（21～23）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
A－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
A－2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
A－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	2.6
C－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
D－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
D－2	13	0	28	0	0	0	0	0	0	41	13.5
D－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
E－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
E－2	12	0	5	0	0	0	0	13	0	30	9.9
E－3	16	0	0	0	0	0	0	8	0	24	7.9
F－1	0	0	0	0	0	0	6	0	0	6	2.0
F－2	0	0	32	0	0	17	65	0	0	114	37.6
F－3	0	0	0	6	0	22	0	3	0	31	10.2
F－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
G－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
G－2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
G－3	0	0	0	1	3	0	0	0	0	4	1.3
G－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－2	0	0	0	0	0	44	0	0	0	44	14.5
H－3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.3
合計	49	0	65	7	4	83	71	24	0	303	100.0
%	16.2	0.0	21.5	2.3	1.3	27.4	23.4	7.9	0.0	100.0	

d　白磁壺・合子類総量（24～25）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0.1
A－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
A－2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
A－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－2	0	0	4	0	0	0	0	0	0	4	0.1
B－3	6	0	0	0	0	0	10	0	0	16	0.4
B－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－3	0	0	15	0	0	0	0	0	0	15	0.3
D－1	43	0	0	0	0	0	0	0	0	43	1.0
D－2	39	0	0	0	0	0	20	0	0	59	1.3
D－3	48	0	0	0	0	0	0	0	1	49	1.1
E－1	233	0	17	0	0	0	153	24	0	427	9.7
E－2	0	0	147	0	24	0	107	24	41	343	7.8
E－3	0	0	28	0	0	7	21	134	24	214	4.8
F－1	18	0	22	0	0	0	34	360	0	434	9.8
F－2	26	0	93	0	0	0	321	60	7	507	11.5
F－3	0	0	99	81	21	0	489	163	7	860	19.5
F－4	0	0	6	0	0	0	0	0	0	6	0.1
G－1	0	0	0	0	0	0	182	0	0	182	4.1
G－2	2	0	226	0	0	0	444	12	0	684	15.5
G－3	22	0	16	5	1	2	116	173	0	335	7.6
G－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－2	0	0	0	0	0	92	0	134	0	226	5.1
H－3	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10	0.2
合計	442	0	673	86	46	101	1697	1094	80	4419	100.0
%	10.0	0.0	15.2	1.9	1.0	2.3	42.9	24.8	1.8	100.0	

e　青磁碗・小碗総量（26～43・55～58・61・63）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	457	0	0	0	0	0	0	0	0	457	1.1
A－1	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0.1
A－2	56	0	0	0	0	0	0	1	0	57	0.1
A－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0.0
B－2	189	0	2	0	0	0	0	9	16	216	0.5
B－3	126	0	8	0	0	10	47	72	7	270	0.6
B－4	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0.0
C－1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0.0
C－2	308	0	59	0	0	0	0	0	0	367	0.9
C－3	47	0	76	0	0	0	0	0	0	123	0.3
D－1	282	0	0	0	0	0	3	52	46	383	0.9
D－2	661	0	144	27	0	78	32	231	39	1212	2.9
D－3	507	0	24	4	0	0	0	0	165	700	1.7
E－1	1154	0	411	0	57	89	597	53	2	2363	5.6
E－2	1122	0	2416	6	216	98	676	337	139	5010	11.9
E－3	96	0	863	277	112	17	762	1010	277	3414	8.1
F－1	109	0	502	0	11	142	1814	98	0	2676	6.4
F－2	241	0	3448	224	178	219	2231	501	0	7042	16.8
F－3	172	0	3389	252	137	304	1878	1032	34	7198	17.2
F－4	0	0	246	0	0	0	2	0	0	248	0.6
G－1	45	0	0	5	0	4	258	7	0	319	0.8
G－2	480	0	1519	210	48	240	1131	378	0	4006	9.6
G－3	228	0	130	430	440	278	2295	875	21	4697	11.2
G－4	54	0	0	117	67	0	2	0	0	240	0.6
H－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－2	23	0	0	183	17	126	51	214	0	614	1.5
H－3	6	0	0	68	13	144	12	20	0	263	0.6
合計	6409	0	13237	1807	1296	1749	11791	4890	746	41925	100.0
%	15.3	0.0	31.6	4.3	3.1	4.2	28.1	11.7	1.8	100.0	

f　青磁坏総量（44～49）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1.2
A－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
A－2	0	0	0	0	0	0	0	6	0	6	0.7
A－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－4	0	0	0	7	0	0	0	0	0	7	0.8
C－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1.4
C－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
D－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
D－2	47	0	40	0	0	0	0	0	0	87	10.3
D－3	63	0	0	0	0	0	0	0	0	63	7.4
E－1	129	0	7	0	2	0	0	0	0	138	16.3
E－2	6	0	0	0	12	0	26	3	7	54	6.4
E－3	0	0	0	0	0	0	0	38	0	38	4.5
F－1	5	0	0	0	0	46	28	0	0	79	9.3
F－2	0	0	19	0	0	0	22	0	0	41	4.8
F－3	12	0	47	0	2	0	75	0	4	140	16.5
F－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
G－1	0	0	0	0	0	0	9	0	0	9	1.1
G－2	0	0	7	8	0	0	46	8	0	69	8.1
G－3	9	0	5	0	0	0	24	0	0	38	4.5
G－4	0	0	0	7	0	0	0	0	0	7	0.8
H－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－2	0	0	0	1	0	49	0	0	0	50	5.9
H－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	293	0	125	23	16	95	230	55	11	848	100.0
%	34.6	0.0	14.7	2.7	1.9	11.2	27.1	6.5	1.3	100.0	

g　青磁皿総量（50～51・59～60）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0.4
A－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
A－2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
A－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－2	1	0	3	0	0	0	0	0	0	4	0.1
B－3	0	0	0	0	0	0	3	0	0	3	0.1
B－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0.4
C－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
D－1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0.1
D－2	35	0	0	0	0	0	0	0	0	35	1.1
D－3	25	0	0	0	2	0	0	0	0	27	0.8
E－1	8	0	89	0	0	0	57	4	0	158	5.0
E－2	87	0	103	0	2	0	95	20	0	307	9.7
E－3	4	0	18	11	33	0	22	52	67	207	6.5
F－1	18	0	67	0	0	7	124	0	0	216	6.8
F－2	85	0	274	35	7	61	195	0	0	657	20.7
F－3	11	0	172	96	8	2	138	109	3	539	17.0
F－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
G－1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	0.1
G－2	16	0	23	0	0	3	177	7	0	226	7.1
G－3	30	0	66	1	20	8	332	63	0	520	16.4
G－4	0	0	0	14	0	0	94	4	0	112	3.5
H－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－2	0	0	0	26	0	9	6	13	0	54	1.7
H－3	0	0	0	0	0	58	0	26	0	84	2.6
合計	344	0	815	183	72	148	1245	300	70	3177	100.0
%	10.8	0.0	25.7	5.8	2.3	4.7	39.2	9.4	2.2	100.0	

h　青磁盤・壺総量（52～54・62）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
A－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
A－2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
A－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－3	8	0	0	0	0	0	3	0	0	11	0.7
B－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0.7
C－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
D－1	39	0	0	0	0	0	0	0	0	39	2.4
D－2	3	0	43	0	0	0	0	0	40	86	5.3
D－3	112	0	0	0	0	0	0	0	0	112	6.9
E－1	58	0	64	0	0	0	27	12	0	161	10.0
E－2	37	0	398	0	0	0	6	0	0	441	27.3
E－3	0	0	0	0	0	0	5	64	0	69	4.3
F－1	0	0	0	0	0	0	49	4	0	53	3.3
F－2	57	0	21	0	0	0	4	0	0	82	5.1
F－3	0	0	233	23	0	0	95	0	0	351	21.7
F－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
G－1	0	0	0	0	0	0	42	0	0	42	2.6
G－2	6	0	26	0	0	28	0	3	0	63	3.9
G－3	23	0	8	0	13	0	35	3	0	82	5.1
G－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－2	0	0	0	2	0	10	0	0	0	12	0.7
H－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	355	0	793	25	13	38	266	86	40	1616	100.0
%	22.0	0.0	49.1	1.5	0.8	2.4	16.5	5.3	2.5	100.0	

A　白磁総量（a～d）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	791	0	0	0	0	0	35	0	0	826	2.2
A－1	3	0	0	0	0	0	20	0	0	23	0.1
A－2	111	0	0	0	0	0	0	6	4	121	0.3
A－3	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8	0.0
B－1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0.0
B－2	658	0	16	0	0	1	220	17	6	918	2.4
B－3	469	0	0	4	0	1	153	23	5	655	1.7
B－4	4	0	0	16	0	0	0	4	0	24	0.1
C－1	157	0	0	0	0	0	0	0	0	157	0.4
C－2	298	0	3	0	0	13	17	25	0	356	0.9
C－3	115	0	345	0	0	0	10	0	0	470	1.3
D－1	297	0	3	100	0	0	39	90	85	614	1.6
D－2	537	0	84	0	9	25	27	128	88	898	2.4
D－3	640	0	0	133	0	16	10	31	367	1197	3.2
E－1	802	0	161	10	33	3	1073	676	16	2774	7.4
E－2	105	0	1154	15	248	77	1007	844	305	3755	10.0
E－3	120	0	336	126	102	264	694	846	432	2920	7.8
F－1	114	0	187	13	4	136	1328	682	8	2472	6.6
F－2	295	3	1630	133	79	174	2251	1531	16	6112	16.3
F－3	94	0	1027	248	38	96	918	1099	223	3743	10.0
F－4	0	0	88	0	0	0	0	0	0	88	0.2
G－1	60	0	0	0	0	1	540	79	0	680	1.8
G－2	208	0	1147	12	42	116	1512	654	4	3695	9.8
G－3	194	0	98	148	111	89	1431	1563	1	3635	9.7
G－4	0	0	0	30	3	0	13	9	0	55	0.1
H－1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0.0
H－2	54	0	0	56	27	185	130	249	0	701	1.9
H－3	8	0	6	42	53	90	24	383	0	606	1.6
合計	6145	3	6285	1086	749	1289	11452	8947	1560	37516	100.0
%	16.4	0.0	16.8	2.9	2.0	3.4	30.5	23.8	4.2	100.0	

B　青磁総量（e～h・64）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	479	0	0	0	0	0	0	0	0	479	1.0
A－1	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	0.1
A－2	56	0	0	0	0	0	0	7	32	95	0.2
A－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0.0
B－2	190	0	5	0	0	0	0	9	16	220	0.5
B－3	134	0	8	0	0	10	53	72	7	284	0.6
B－4	0	0	0	11	0	0	0	0	0	11	0.0
C－1	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0.0
C－2	344	0	59	0	0	0	0	0	0	403	0.8
C－3	147	0	76	0	0	0	0	0	0	223	0.5
D－1	321	0	0	0	0	0	3	54	46	424	0.9
D－2	764	0	227	27	0	78	32	233	79	1440	3.0
D－3	730	0	24	4	2	0	0	2	165	927	1.9
E－1	1352	0	571	0	59	89	684	74	2	2831	5.9
E－2	1252	0	2934	6	234	98	803	377	146	5850	12.2
E－3	108	0	881	288	145	17	789	1168	357	3753	7.8
F－1	132	0	577	0	11	195	2015	102	0	3032	6.3
F－2	383	0	3779	259	194	280	2452	501	0	7848	16.4
F－3	195	0	3859	371	147	306	2189	1146	44	8257	17.2
F－4	0	0	246	0	0	0	2	0	0	248	0.5
G－1	45	0	0	5	0	4	311	7	0	372	0.8
G－2	527	0	1582	218	48	274	1364	396	0	4409	9.2
G－3	290	0	209	431	473	307	2703	941	21	5375	11.2
G－4	54	0	0	138	67	0	96	4	0	359	0.7
H－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－2	23	0	0	218	17	194	57	227	0	736	1.5
H－3	6	0	0	68	13	202	12	46	0	347	0.7
合計	7578	0	15037	2044	1410	2054	13565	5366	915	47969	100.0
%	15.8	0.0	31.3	4.3	2.9	4.3	28.3	11.2	1.9	100.0	

C　青白磁総量（65～72）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	8	0	0	0	0	0	0	0	0	8	0.5
A－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
A－2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
A－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－2	3	0	0	0	0	0	0	0	7	10	0.6
B－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.1
C－2	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0.8
C－3	6	0	4	0	0	0	0	0	0	10	0.6
D－1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0.6
D－2	140	0	1	0	0	0	0	0	0	141	9.0
D－3	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	0.7
E－1	23	0	54	0	0	0	4	0	0	81	5.2
E－2	69	0	81	0	0	0	109	9	7	275	17.6
E－3	61	0	14	0	0	0	1	23	2	101	6.4
F－1	24	0	0	0	0	2	19	0	0	45	2.9
F－2	128	0	52	0	0	0	48	16	0	244	15.6
F－3	73	0	91	0	0	0	38	8	0	210	13.4
F－4	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0.6
G－1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0.4
G－2	37	0	30	0	0	24	15	8	0	114	7.3
G－3	118	0	0	0	1	11	76	40	0	246	15.7
G－4	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.1
H－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－2	10	0	0	3	0	2	0	0	0	15	1.0
H－3	9	0	0	0	0	3	2	0	0	14	0.9
合計	760	0	327	3	1	42	312	105	16	1566	100.0
%	48.5	0.0	20.9	0.2	0.1	2.7	19.9	6.7	1.0	100.0	

D　陶器総量（73～79）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	143	0	0	0	0	0	0	0	0	143	1.8
A－1	5	0	0	0	0	0	2	0	0	7	0.1
A－2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0.0
A－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－2	43	0	0	0	0	0	0	0	0	43	0.5
B－3	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12	0.1
B－4	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4	0.0
C－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－2	99	0	0	0	0	0	0	0	10	109	1.3
C－3	17	0	3	0	0	0	0	0	0	20	0.2
D－1	68	0	0	1	0	0	0	28	0	97	1.2
D－2	142	0	35	0	0	0	0	48	58	283	3.5
D－3	73	0	0	0	0	0	4	0	20	97	1.2
E－1	188	0	43	0	0	23	144	114	0	512	6.3
E－2	21	0	730	5	198	67	140	97	94	1352	16.7
E－3	123	0	79	7	0	14	197	232	27	679	8.4
F－1	27	0	100	0	0	0	347	25	0	499	6.1
F－2	21	0	366	2	37	79	86	192	0	783	9.6
F－3	30	0	461	19	0	17	118	294	9	948	11.7
F－4	0	0	29	0	0	0	0	0	0	29	0.4
G－1	13	0	0	0	0	0	0	0	0	13	0.2
G－2	37	0	247	10	16	0	825	83	0	1218	15.0
G－3	15	0	0	116	46	80	544	92	0	893	11.0
G－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－2	10	0	0	80	1	121	4	0	0	216	2.7
H－3	0	0	0	91	3	23	9	29	0	155	1.9
合計	1091	0	2093	335	301	424	2420	1234	218	8116	100.0
%	13.4	0.0	25.8	4.1	3.7	5.2	29.8	15.2	2.7	100.0	

① 陶磁器経量（A～D・80）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	1421	0	0	0	0	0	35	0	0	1456	1.5
A－1	38	0	0	0	0	0	22	0	0	60	0.1
A－2	171	0	0	0	0	0	0	13	36	220	0.2
A－3	0	0	0	0	0	0	0	8	0	8	0.0
B－1	16	0	0	0	0	0	0	0	0	16	0.0
B－2	894	0	21	0	0	1	220	26	29	1191	1.2
B－3	615	0	8	4	0	11	206	95	12	951	1.0
B－4	4	0	0	31	0	0	0	4	0	39	0.0
C－1	170	0	0	0	0	0	0	0	0	170	0.2
C－2	753	0	62	0	0	13	17	25	10	880	0.9
C－3	285	0	428	0	0	0	10	0	0	723	0.7
D－1	696	0	3	101	0	0	42	172	131	1145	1.2
D－2	1583	0	347	27	9	103	59	409	225	2762	2.9
D－3	1488	0	24	137	2	16	14	33	552	2266	2.3
E－1	2365	0	829	10	92	115	1926	864	18	6219	6.4
E－2	1447	0	4899	26	680	242	2059	1327	604	11284	11.7
E－3	412	0	1310	527	247	295	1692	2411	818	7712	8.0
F－1	297	0	864	13	15	333	3830	809	8	6169	6.4
F－2	827	3	6212	394	310	663	4837	2240	16	15502	16.0
F－3	392	0	5447	638	185	419	3542	2657	276	13556	14.0
F－4	10	0	363	0	0	0	2	0	0	375	0.4
G－1	124	0	0	5	0	5	851	86	0	1071	1.1
G－2	809	0	3006	240	106	414	3733	1141	4	9453	9.8
G－3	617	0	307	695	631	515	4850	2759	22	10396	10.7
G－4	54	0	0	168	70	0	109	14	0	415	0.4
H－1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0.0
H－2	97	0	0	357	45	502	191	476	0	1668	1.7
H－3	23	0	6	201	69	318	47	458	0	1122	1.2
合計	15608	3	24136	3574	2461	3967	28294	16027	2761	96831	100.0
%	16.1	0.0	24.9	3.7	2.5	4.1	29.2	16.6	2.9	100.0	

② 国内広域流通経器経量（82～88・92）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	2526	0	0	0	0	0	0	0	0	2526	3.0
A－1	0	0	0	17	0	0	13	0	221	251	0.3
A－2	394	0	0	0	0	0	0	63	0	457	0.5
A－3	0	0	0	0	0	0	0	0	600	600	0.7
B－1	189	0	0	0	0	0	0	0	0	189	0.2
B－2	927	0	0	0	0	0	172	0	0	1099	1.3
B－3	543	0	0	0	0	0	160	127	0	830	1.0
B－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－1	265	0	0	0	0	0	0	0	0	265	0.3
C－2	3545	0	0	0	60	0	0	0	0	3605	4.3
C－3	776	0	0	0	0	0	0	0	0	776	0.9
D－1	820	0	0	3	39	0	0	226	118	1206	1.4
D－2	3826	0	71	0	0	0	0	655	259	4811	5.7
D－3	1566	0	0	0	0	0	0	0	161	1747	2.1
E－1	3722	0	534	0	126	52	785	534	0	5753	6.8
E－2	1078	0	3631	0	1426	807	2098	1122	1330	11492	13.6
E－3	410	0	457	34	453	551	1397	1976	634	5912	7.0
F－1	62	0	527	0	10	57	3778	608	0	5042	6.0
F－2	162	0	5016	0	168	1340	4875	1359	0	12920	15.3
F－3	340	0	3557	332	259	765	3439	1715	0	10407	12.3
F－4	0	0	71	0	0	0	0	0	0	71	0.1
G－1	0	0	0	0	0	0	14	388	0	402	0.5
G－2	924	0	1399	286	120	179	2398	636	86	6028	7.1
G－3	661	0	66	139	381	142	2643	574	13	4619	5.5
G－4	6	0	0	107	158	0	0	0	0	271	0.3
H－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－2	6	0	0	824	0	15	824	122	0	1791	2.1
H－3	0	0	41	600	0	795	0	93	0	1529	1.8
合計	22768	0	15370	2342	3200	4717	22970	9810	3422	84599	100.0
%	26.9	0.0	18.2	2.8	3.8	5.6	27.2	11.6	4.0	100.0	

③ 在地系器経量（81・89～91）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	824	0	0	0	0	0	0	0	0	824	1.1
A－1	58	0	0	0	50	0	0	31	161	300	0.4
A－2	78	0	0	0	0	0	0	0	0	78	0.1
A－3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
B－2	177	0	0	0	0	0	148	0	0	325	0.4
B－3	149	0	0	34	0	0	0	0	0	183	0.3
B－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－1	32	0	0	0	0	0	0	0	0	32	0.0
C－2	178	0	0	0	0	0	0	0	0	178	0.2
C－3	339	0	0	0	0	0	0	0	0	339	0.5
D－1	597	0	0	0	0	0	0	735	322	1654	2.3
D－2	4973	0	0	0	0	0	33	172	346	5524	7.6
D－3	3879	0	0	0	0	0	0	48	578	4505	6.2
E－1	4635	0	593	0	26	45	896	633	41	6869	9.5
E－2	228	747	5804	0	822	850	666	673	289	10079	13.9
E－3	266	0	198	302	465	749	484	4106	136	6706	9.3
F－1	785	0	294	0	105	135	3583	71	0	4973	6.9
F－2	91	230	3361	0	214	947	2296	348	0	7487	10.3
F－3	157	0	5786	544	168	133	4896	2232	33	13949	19.3
F－4	0	0	19	0	0	0	0	0	0	19	0.0
G－1	0	0	0	0	0	0	389	0	0	389	0.5
G－2	170	0	927	0	257	226	1095	638	0	3313	4.6
G－3	202	0	0	251	200	753	1477	240	29	3182	4.4
G－4	0	0	0	47	0	0	2	0	0	49	0.1
H－1	0	0	0	0	0	24	0	0	0	24	0.0
H－2	0	0	13	320	49	247	64	59	0	752	1.0
H－3	29	0	0	32	0	496	107	37	0	701	1.0
合計	17847	977	16995	1530	2356	4635	16136	10023	1935	72434	100.0
%	24.6	1.3	23.5	2.1	3.3	6.4	22.3	13.8	2.7	100.0	

④ 土師器経量（93～96）

	一括	Ⅲ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	4803	0	0	0	0	0	0	0	0	4803	0.6
A－1	94	0	0	0	0	0	198	0	140	432	0.1
A－2	4103	0	0	0	0	0	0	95	0	4198	0.6
A－3	0	0	0	0	0	0	0	113	0	113	0.0
B－1	52	0	0	0	0	0	0	11	0	63	0.0
B－2	5343	0	0	0	0	0	41	133	0	5517	0.7
B－3	3267	0	0	0	0	0	3	42	0	3312	0.4
B－4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
C－1	447	0	0	0	0	0	0	0	0	447	0.1
C－2	5277	0	0	0	0	0	0	0	0	5277	0.7
C－3	2583	0	0	0	0	0	0	0	0	2583	0.3
D－1	5489	0	0	0	0	0	0	1279	2135	8903	1.2
D－2	51145	0	361	0	6	0	1858	3723	5077	62170	8.2
D－3	13109	0	0	0	0	0	0	0	5349	18458	2.4
E－1	19291	0	3458	169	1161	1807	5555	6430	0	37861	5.0
E－2	2009	0	47447	257	8030	6303	19484	11403	9488	104421	13.7
E－3	7943	0	4928	961	5252	5287	6751	27379	6113	64614	8.5
F－1	3106	0	4534	0	0	1772	31605	4463	0	45480	6.0
F－2	2966	0	54716	0	3622	7461	34630	15257	33	118685	15.6
F－3	1923	0	59858	2062	2695	2184	22661	24956	1972	118311	15.6
F－4	0	0	1857	0	0	0	0	0	0	1857	0.2
G－1	111	0	0	0	0	0	4163	0	0	4274	0.6
G－2	1297	0	23545	361	487	1357	15278	9027	0	51432	6.8
G－3	5278	0	0	5324	3273	8564	33247	22438	0	78124	10.3
G－4	0	0	0	2886	228	0	42	1580	0	4736	0.6
H－1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
H－2	699	0	1	1679	231	1521	653	53	0	4837	0.6
H－3	440	0	0	628	85	3230	652	3917	0	8952	1.2
合計	140775	0	200815	14327	25070	39486	176821	132299	30307	759900	100.0
%	18.5	0.0	26.4	1.9	3.3	5.2	23.3	17.4	4.0	100.0	

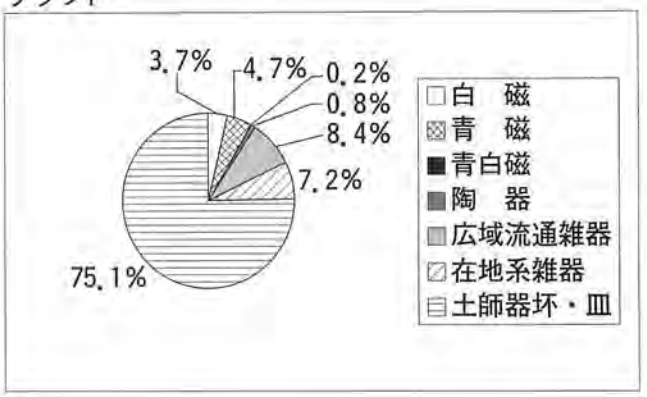
★ 遺物経量（①～④）

	一括	Ⅱ	Ⅲ'	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	合計	%
一括	9574	0	0	0	0	0	35	0	0	9609	0.9
A－1	190	0	0	17	50	0	233	31	522	1043	0.1
A－2	4746	0	0	0	0	0	171	36	0	4953	0.5
A－3	0	0	0	0	0	0	0	121	600	721	0.1
B－1	257	0	0	0	0	0	0	11	0	268	0.0
B－2	7341	0	21	0	0	1	581	159	29	8132	0.8
B－3	4574	0	8	38	0	11	369	264	12	5276	0.5
B－4	4	0	0	31	0	0	0	4	0	39	0.0
C－1	914	0	0	0	0	0	0	0	0	914	0.1
C－2	9753	0	62	0	60	13	17	25	10	9940	1.0
C－3	3963	0	428	0	0	0	10	0	0	4401	0.4
D－1	7602	0	3	104	39	0	42	2412	2706	12908	1.3
D－2	61527	0	779	27	15	103	1950	4959	5907	75267	7.4
D－3	20062	0	24	137	2	16	14	81	6640	26976	2.7
E－1	30013	0	5424	179	1405	2019	9162	8461	59	56722	5.6
E－2	4762	747	61781	283	10958	8202	24307	14525	11711	137276	13.5
E－3	9031	0	6893	1824	6417	6882	10324	35872	7701	84944	8.4
F－1	4290	0	6219	13	130	2297	42796	9951	8	61664	6.1
F－2	4046	233	69305	394	4314	10411	46638	19204	49	154594	15.2
F－3	2812	0	74648	3576	3307	3501	34538	31560	2281	156223	15.4
F－4	10	0	2310	0	0	0	2	0	0	2322	0.2
G－1	235	0	0	5	0	19	5791	86	0	6136	0.6
G－2	3200	0	28977	887	970	2176	22504	11442	90	70246	6.9
G－3	6756	0	373	6409	4485	10004	42217	26011	64	96321	9.5
G－4	60	0	0	3208	456	0	153	1594	0	5471	0.5
H－1	0	0	0	0	0	26	0	0	0	26	0.0
H－2	802	0	14	3180	323	2285	1732	710	0	9048	0.9
H－3	492	0	47	1461	154	4839	806	4505	0	12304	1.2
合計	196998	980	257316	21773	33087	52805	244221	168159	38425	1013764	100.0
%	19.4	0.1	25.4	2.1	3.3	5.2	24.1	16.6	3.8	100.0	

全体種別構成比

種別	%	総量（g）
白磁	3.7%	37516
青磁	4.7%	47969
青白磁	0.2%	1566
陶器	0.8%	8016
広域流通雑器	8.4%	84599
在地系雑器	7.2%	72434
土師器坏・皿	75.1%	759900
合計		1012000

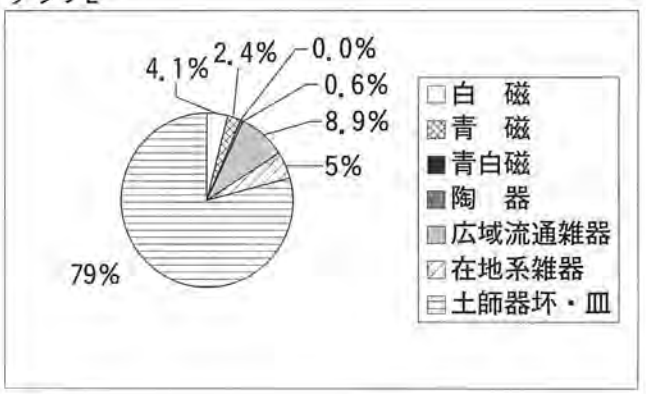
グラフ1



Ⅸ層種別構成比

種別	%	総量（g）
白磁	4.1%	1560
青磁	2.4%	915
青白磁	0.0%	16
陶器	0.6%	218
広域流通雑器	8.9%	3422
在地系雑器	5.0%	1935
土師器坏・皿	79.0%	30307
合計		38373

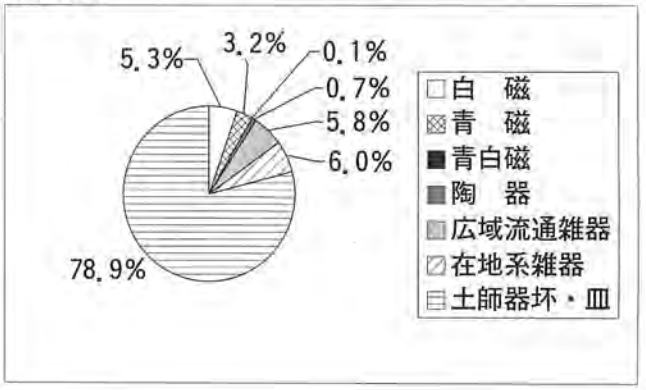
グラフ2



Ⅷ層種別構成比

種別	%	総量（g）
白磁	5.3%	8947
青磁	3.2%	5366
青白磁	0.1%	105
陶器	0.7%	1234
広域流通雑器	5.8%	9810
在地系雑器	6.0%	10023
土師器坏・皿	78.9%	132299
合計		167784

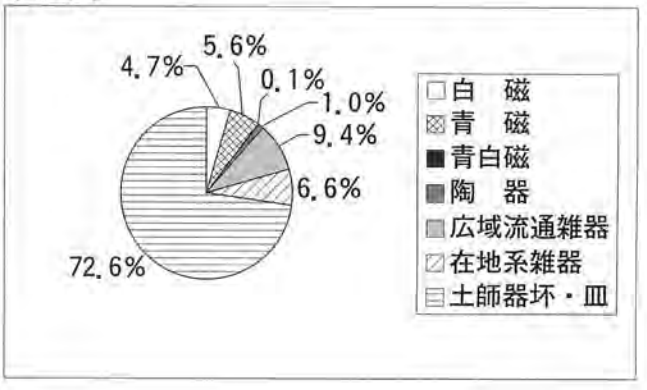
グラフ3



Ⅶ層種別構成比

種別	%	総量（g）
白磁	4.7%	11452
青磁	5.6%	13565
青白磁	0.1%	312
陶器	1.0%	2420
広域流通雑器	9.4%	22970
在地系雑器	6.6%	16136
土師器坏・皿	72.6%	176821
合計		243676

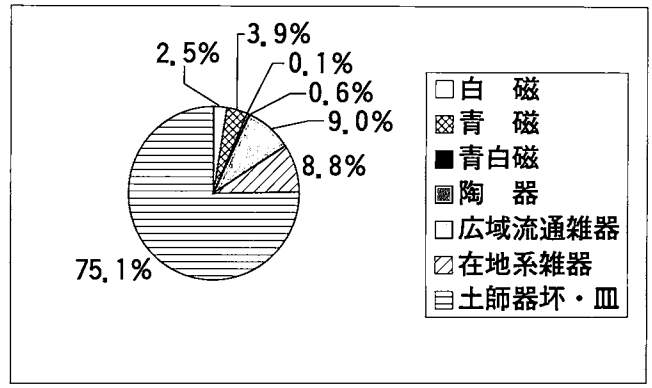
グラフ4



Ⅵ層種別構成比

種別	%	総量（g）
白磁	2.5%	1289
青磁	3.9%	2054
青白磁	0.1%	42
陶器	0.6%	324
広域流通雑器	9.0%	4717
在地系雑器	8.8%	4635
土師器坏・皿	75.1%	39486
合計		52547

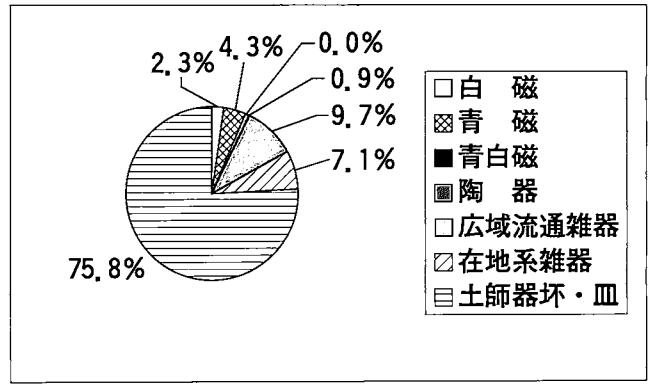
グラフ5



Ⅴ層種別構成比

種別	%	総量（g）
白磁	2.3%	749
青磁	4.3%	1410
青白磁	0.0%	1
陶器	0.9%	301
広域流通雑器	9.7%	3200
在地系雑器	7.1%	2356
土師器坏・皿	75.8%	25070
合計		33087

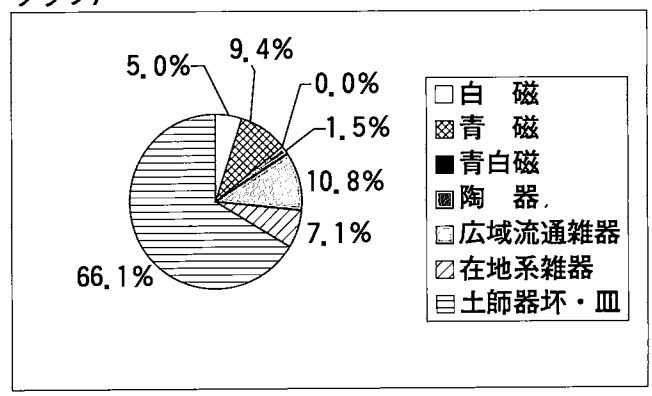
グラフ6



Ⅳ層種別構成比

種別	%	総量（g）
白磁	5.0%	1086
青磁	9.4%	2044
青白磁	0.0%	3
陶器	1.5%	335
広域流通雑器	10.8%	2342
在地系雑器	7.1%	1530
土師器坏・皿	66.1%	14327
合計		21667

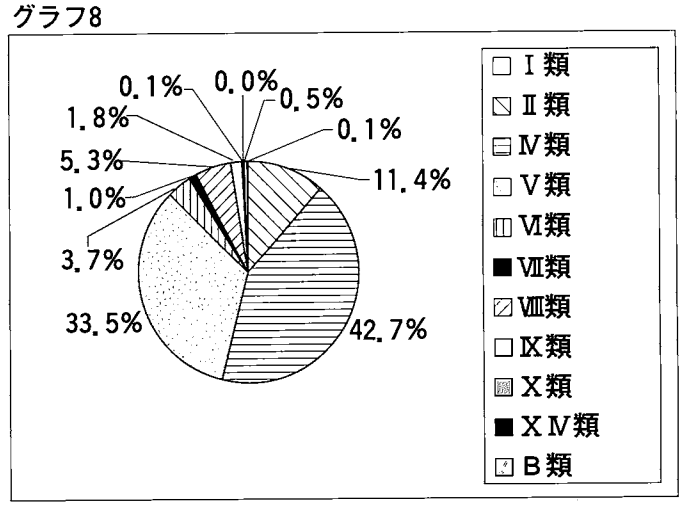
グラフ7



白磁碗型式構成比

型式	%	総量（g）
Ⅰ類	0.1%	28
Ⅱ類	11.4%	2822
Ⅳ類	42.7%	10536
Ⅴ類	33.5%	8258
Ⅵ類	3.7%	918
Ⅶ類	1.0%	237
Ⅷ類	5.3%	1306
Ⅸ類	1.8%	436
Ⅹ類	0.1%	21
ⅩⅣ類	0.0%	5
B類	0.5%	120
合計		24687

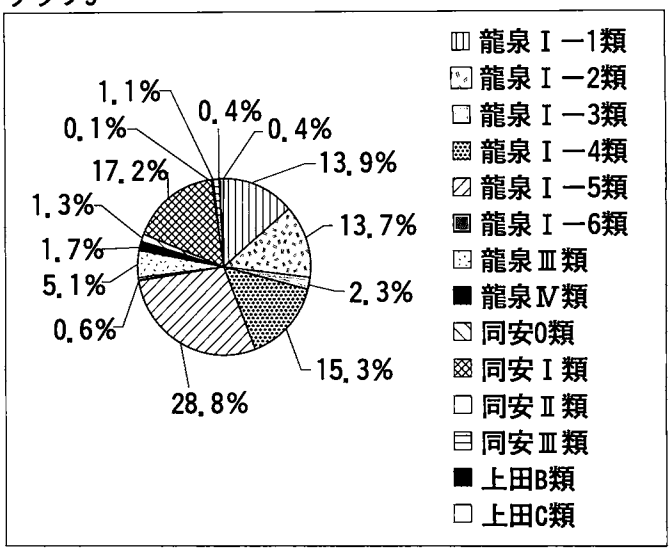
グラフ8



青磁碗型式構成比

型式	%	総量（g）
龍泉Ⅰ－１類	13.9%	5555
龍泉Ⅰ－２類	13.7%	5481
龍泉Ⅰ－３類	2.3%	934
龍泉Ⅰ－４類	15.3%	6117
龍泉Ⅰ－５類	28.8%	11542
龍泉Ⅰ－６類	0.6%	247
龍泉Ⅲ類	5.1%	2039
龍泉Ⅳ類	1.7%	697
同安０類	1.3%	506
同安Ⅰ類	17.2%	6875
同安Ⅱ類	0.1%	29
同安Ⅲ類	1.1%	437
上田Ｂ類	0.4%	141
上田Ｃ類	0.4%	156
合計		40022

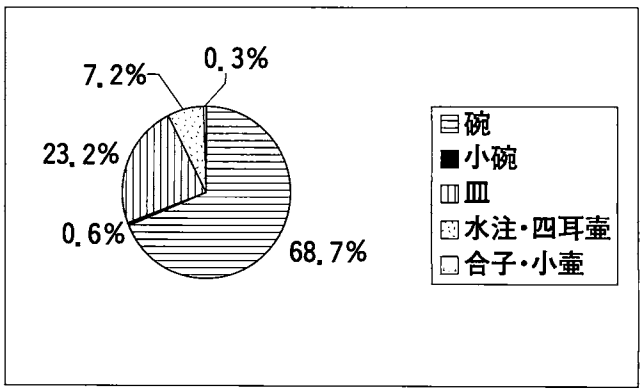
グラフ9



白磁器種構成比

器種	%	総量（g）
碗	68.7%	24570
小碗	0.6%	213
皿	23.2%	8314
水注・四耳壺	7.2%	2563
合子・小壺	0.3%	120
合計		35780

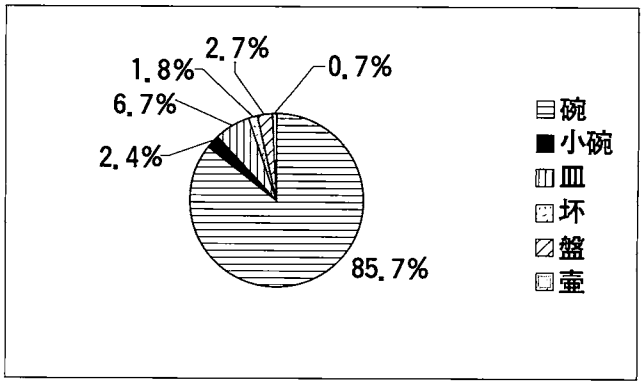
グラフ10



青磁器種構成比

器種	%	総量（g）
碗	85.7%	40767
小碗	2.4%	1158
皿	6.7%	3177
坏	1.8%	848
盤	2.7%	1267
壺	0.7%	349
合計		47566

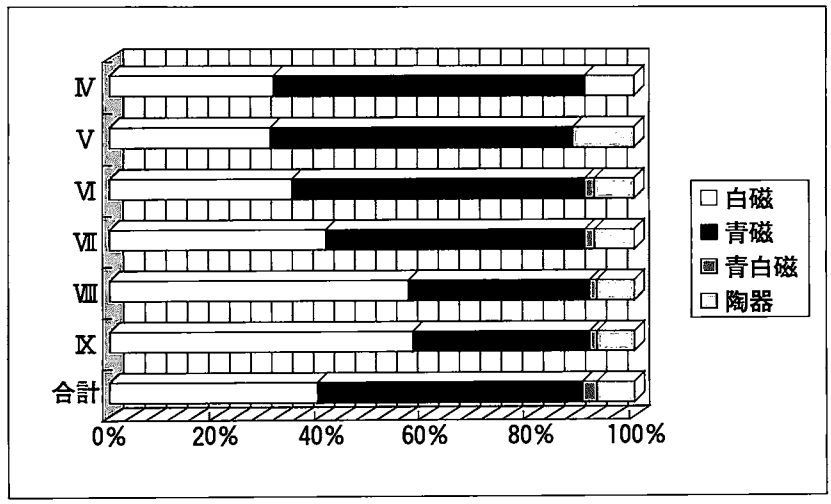
グラフ11



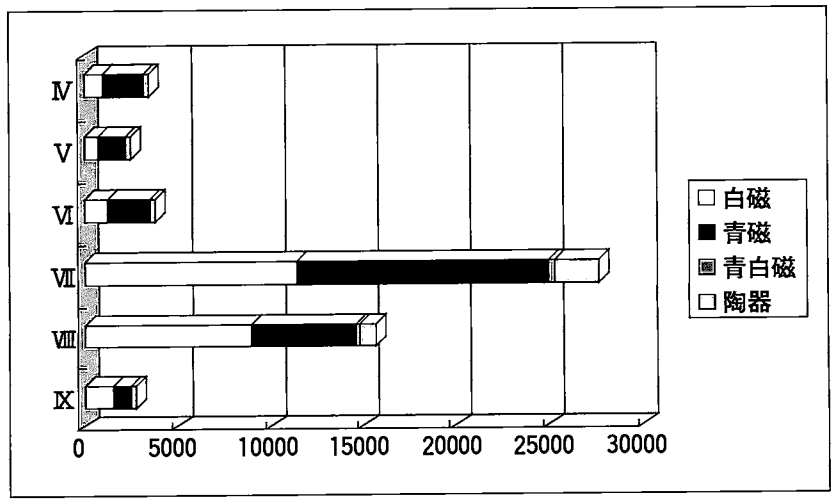
陶磁器構成比（層位）

	合計	Ⅸ	Ⅷ	Ⅶ	Ⅵ	Ⅴ	Ⅳ
白磁	37516	1560	8947	11452	1289	749	1086
青磁	47969	915	5366	13565	2054	1410	2044
青白磁	1566	16	105	312	42	1	3
陶器	8016	218	1234	2420	324	301	335

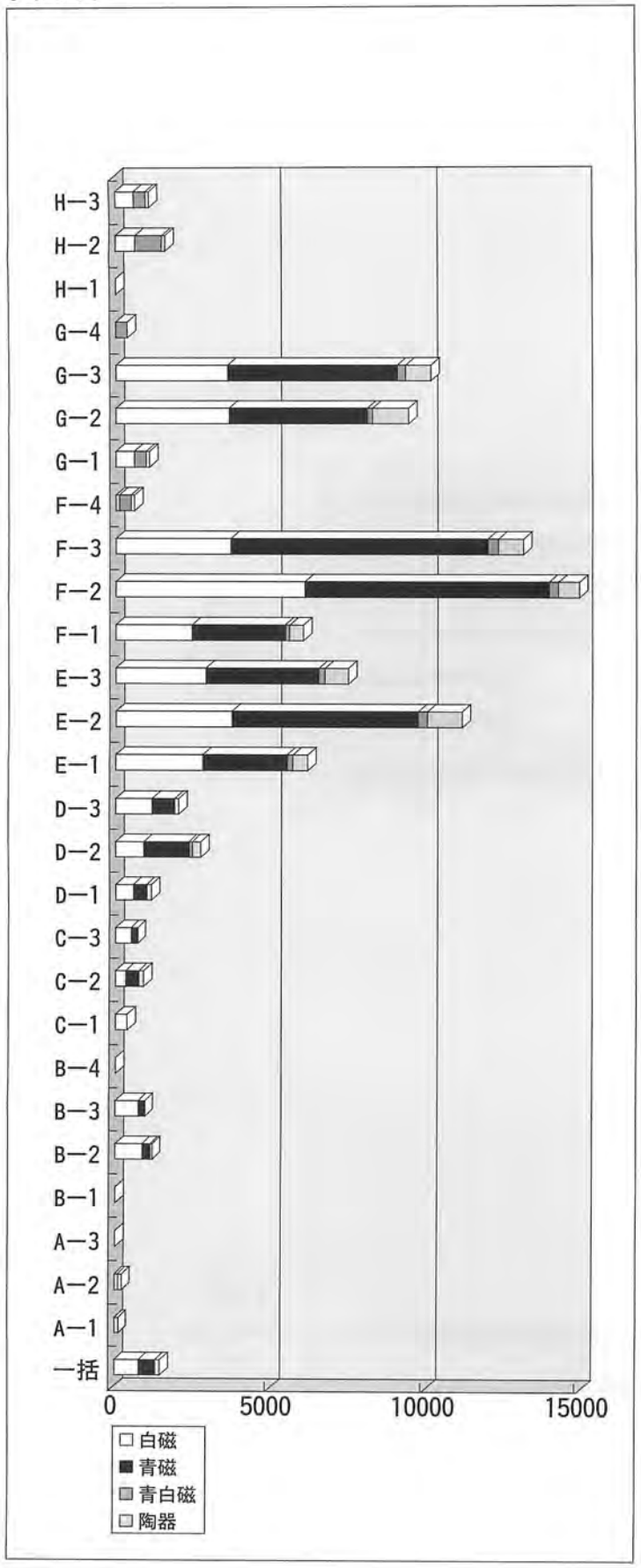
グラフ12



グラフ13



グラフ14



陶磁器構成比（層位）

	白磁	青磁	青白磁	陶器
一括	826	479	8	143
A－1	23	30	0	7
A－2	121	95	0	4
A－3	8	0	0	0
B－1	11	5	0	0
B－2	918	220	10	43
B－3	655	284	0	12
B－4	24	11	0	4
C－1	157	11	2	0
C－2	356	403	12	109
C－3	470	223	10	20
D－1	614	424	10	97
D－2	898	1440	141	283
D－3	1197	927	11	97
E－1	2774	2831	81	512
E－2	3755	5850	275	1352
E－3	2920	3753	101	679
F－1	2472	3032	45	499
F－2	6112	7848	244	783
F－3	3743	8257	210	948
F－4	88	248	10	29
G－1	680	372	6	13
G－2	3695	4409	114	1218
G－3	3635	5375	246	893
G－4	55	359	1	0
H－1	2	0	0	0
H－2	701	736	15	216
H－3	606	347	14	155
合計	37516	47969	1566	8116

第９表　出土遺物観察表

図版番号	種　　別	遺　構	色　調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
020－01	白磁碗Ⅳ１ａ類	SB01トレンチ	灰白	(16.4)	(5.8)	7.0	(17.2)	1.0	(5.8)	F－1
020－02	白磁碗Ⅴ類	SB01pit 7	灰白							GH－2
020－03	白磁碗Ⅴ類	SB01溝	灰白		6.0			1.1	6.0	H－2
020－04	白磁碗Ⅴ類	SB01	灰白		6.2			1.7	6.2	GH－2
020－05	白磁碗	SB01	灰白							G－H
020－06	白磁碗	SB01溝	灰白							G－2
020－07	白磁皿Ⅱ１ｂ類	SB01pit 3	灰白	8.6	3.6	2.9	8.6	0.6	3.6	G－2
020－08	同安窯系青磁碗Ⅲ１ａ類	SB01	オリーブ黄							G－3
020－09	同安窯系青磁碗　Ⅰ１ｂ類	SB01	オリーブ	(16.4)	(5.2)	7.1	(16.4)	0.8	(5.2)	GH－2
020－10	龍泉窯系青磁碗Ⅰ１類	SB01まじる	オリーブ黄	(17.0)						
020－11	龍泉窯系青磁坏Ⅲ３ａ類	SB01	暗オリーブ	(11.0)	(4.8)	(3.6)	(11.0)	0.8	(4.8)	G－2
020－12	白磁水注or四耳壺	SB01	灰白							G－2
020－13	青白磁合子身	SB01ベルト	青白	(4.8)	(4.8)	2.1	(5.0)			H－2
020－14	青白磁碗	SB01	灰白	(17.3)			(17.3)			GH－2
020－15	褐釉壺	SB01	暗緑							F－2
020－15	褐釉壺	SB01	暗緑							DGH－2
020－16	瓦質火鉢	SB01	黒灰		(29.3)					G－2,H－2
021－01	土師器坏	SB01	橙	11.8	9.0	3.0	12.7			GH－2
021－02	土師器坏	SB01	にぶい橙	12.4	8.4	3.2	12.6			GH－2
021－03	土師器坏	SB01	にぶい橙	12.7	9.6	3.3	12.9			GH－2
021－04	土師器皿	SB01	にぶい黄橙	(9.1)	(7.8)	1.3	(9.2)			GH－2
021－05	土師器皿	SB01	にぶい黄橙	8.9	8.9	1.3	9.0			GH－2
021－06	土師器皿	SB01	にぶい橙	(8.9)	(8.9)	1.3	(9.0)			C－H
021－07	土師器皿	SB01	にぶい黄橙	(8.7)	7.3	(1.4)	(8.8)			C－H
021－08	土師器皿	SB01	にぶい黄橙	(7.8)	(5.8)	1.0	(8.0)			G－H
021－09	土師器皿	SB01	にぶい橙	(8.2)	(7.2)	1.0	(8.5)			C－H
021－10	土師器皿	SB01pit 7	にぶい橙	(9.7)	(7.0)	1.3	(9.8)			G－H
021－11	瓦器碗	SB01	黒灰		(8.0)			0.6	(8.0)	G－2
049－01	白磁皿Ⅲ１類	SB07	灰オリーブ	(9.2)	4.0	2.3	(9.2)	0.4	4.0	G－2
049－02	白磁皿Ⅷ１ａ類	SB08pit22	灰黄白	9.2	4.2	2.0				G－3
049－03	白磁碗Ⅷ２類	SB08pit20	オリーブ黄	(16.0)		5.8	(16.0)			E－2
049－04	白磁碗Ⅷ２類	SB08pit22	明オリーブ灰	16.1	6.3	5.8	16.1	1.0	6.3	G－3
049－05	青白磁碗	SB08pit 1	明緑灰	(16.9)			(16.9)			G－8
049－06	青白磁碗	SB08pit23	明緑灰							G－3
049－07	白色土師器埦	SB08pit11	灰白	13.0			13.0			
049－08	土師器皿	SB08	にぶい橙	8.0	5.5	1.7	8.0			
049－09	土師器皿	SB08pit36	にぶい橙	8.6	7.4	1.2	8.6			
049－10	土師器皿	SB08pit 6	にぶい橙	7.8	6.3	1.3	7.8			G－2
049－11	土師器皿	SB08pit18	にぶい橙	9.6	6.6	1.6	9.6			
049－12	黒色土器Ａ類	SB08pit17	黒、にぶい橙	(8.6)	(6.3)	(1.3)	(8.6)			
049－13	木器椀	SB08pit56		13.2	7.7	3.5	13.2			
049－14	面子底	SB08pit 6		8.4	8.1	1.1				
049－15	鉄製刀	SB02, SK20		14.9	2.1	2.1				B－2
049－16	木器椀	SB11pit 6			7.0					
049－17	青白磁碗	SB12pit10	灰白		5.3			0.5	5.3	
049－18	青白磁梅瓶	SB12pit 6	明青白							F－3
049－19	褐釉壺	SB12pit13								
049－20	瓦質火鉢	SB12pit37	青黒	(48.0)	(40.4)	16.1	(48.6)			E－1
050－01	土師器皿	SB12pit13	橙	(8.4)	(6.2)	1.4	(8.8)			
050－02	土師器皿	SB12pit19	にぶい橙	7.9	6.3	1.5	8.2			
050－03	土師器皿	SB12pit 9	橙	(7.4)	(6.3)	1.4	(8.0)			
050－04	土師器皿	SB12pit19	橙	(7.3)	(6.6)	1.1	(7.4)			
050－05	土師器皿	SB12pit 9	明灰	(9.7)	(7.6)	1.4	(9.8)			
050－06	白磁皿Ⅷ１ｂ類	SB08pit 7	明灰	(10.5)	4.3	2.2	(10.5)			G－3
050－07	土師器皿	SB14pit 9	にぶい橙	8.5	6.2	1.7				
050－08	白磁水注or四耳壺	SB16pit20	灰白	(13.1)						
050－09	白磁皿Ⅵ１ａ類	SB17pit 7	オリーブ灰	(10.8)	(2.6)	2.7	(10.8)	0.2	(2.6)	E－1
050－10	土師器皿	SB16pit 5	にぶい橙	(7.8)	(5.5)	2.0	(8.0)			
050－11	土師器坏	SB17pit 6	にぶい橙	16.0	11.7	3.1	16.6			E－1
050－12	土師器皿	SB12pit 5	浅黄橙	(8.5)	(6.8)	1.4	(8.7)			
050－13	土師器皿	SB17pit 7	にぶい橙	(8.8)	(7.0)	1.2	9.0			E－1
050－14	土師器皿	SB18pit10	橙	(9.0)	7.0	1.6	(9.0)			
050－15	木器椀	SB18pit 5			7.4					
050－16	土師器皿	SB19pit13	橙	(8.2)	7.0	1.2	8.2			
050－17	土師器皿	SB19pit 2	にぶい橙	9.4	7.6	1.5	9.4			
050－18	同安窯系青磁碗Ⅲ１類	SB27pit 5	オリーブ灰		5.6				5.6	B－1
050－19	須恵質壺or甕	SB21pit12	青灰							
050－20	土師器皿	SB21pit 4	にぶい橙	(9.0)	(7.0)	1.7	(9.2)			
050－21	土師器皿	SB21	にぶい橙	(8.2)	(6.6)	1.2	(8.4)			
050－22	土師器皿	SB22pit 9	にぶい橙	(7.9)	(7.0)	1.1	(8.0)			
050－23	土師器皿	SB22pit 2	にぶい橙	(8.2)	(5.6)	1.2	(8.2)			
050－24	木器椀	SB22pit 2			7.0					
050－25	龍泉窯系青磁碗Ⅰ６ｂ類	SB23	オリーブ灰		(5.2)			0.8	(5.2)	G－3
050－26	青白磁碗	SB23	淡青白	(13.0)			(13.0)			
050－27	土師器坏	SB23	にぶい橙	(12.1)	(8.8)	3.1	(12.6)			
050－28	白磁碗Ⅴ１ｃ類	SB33pit 9	灰白	(18.1)		3.5	(18.1)			F－3
050－29	土師器皿	SB29pit 7	橙	8.6	6.5	1.4				B－2
050－30	土師器皿	SB37pit 5	灰褐	(8.2)	(6.5)	1.5	(8.2)			
050－31	面子底	SB39pit 2	灰褐	8.0	7.3	0.8				

図版番号	種別	遺構	色調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
050－32	龍泉窯系青磁碗Ⅰ４ａ類	SB32pit 4	オリーブ	(16.2)			(16.2)			
051－01	瓦質風炉	SB39pit 1	灰				(37.8)			E－1,2
051－02	滑石製温石	SK21		8.1	4.5	1.0				E－2他
052－01	双六の駒	SB12pit13	褐	1.8						
061－01	黒釉碗（天目碗）	SK01	黒褐	(11.8)	(4.6)	6.0	(11.8)	0.7	(4.6)	D－3
061－02	龍泉窯系青磁坏Ⅲ４類	SK04	青緑	(12.6)	(5.3)	3.7	(12.6)	0.7	(5.3)	B－2
061－03	常滑窯甕	SK20	暗灰							B－1
061－04	須恵質甕	SK20	灰	(24.0)						B－1
061－05	滑石加工品	SK20		6.7	5.6	1.2				B－1
061－06	鉄器かすがい？	SK20		29.6	1.0	1.2				B－2
061－07	白磁皿Ⅲ１類	SK21	灰白	(9.7)	4.2	3.1		0.6		F－2
061－08	木器建材	SX01		22.0	2.4	1.7				GH－2
062－01	常滑窯甕	SK09	暗灰色	(50.0)			(90.0)			C－2
068－01	初期龍泉窯・同安窯系青磁碗０類	SE01	灰緑青		4.2	(3.1)		0.8		E－2
068－02	龍泉窯系青磁坏Ⅳ類	SE01	暗オリーブ灰							E－3
068－03	青白磁梅瓶	SE01	明青白色							E－2
068－04	白磁合子身	SE01	灰白		(5.6)	0.7				E－2
068－05	土師器坏	SE01	橙	(11.0)	(8.2)	3.1	(119.0)			E－2
068－06	土師器坏	SE01	にぶい黄橙	(12.0)	(7.6)	3.1	(12.0)			E－2
068－07	土師器皿	SE01	にぶい橙	(9.0)	(6.8)	1.8	(9.0)			E－2
068－08	土師器皿	SE01	にぶい橙	(7.6)	(5.0)	1.3	(7.6)			E－2
068－09	木器皿	SE01		8.4	5.8	1.6	8.4			
068－10	白色土師器埦	SE01	暗灰白	(9.0)	(7.5)		(9.0)			
068－11	木器皿	SE01		8.0	6.6	1.3	8.0			
068－12	木器椀	SE01			7.4					
068－13	突起付木器	SE01		6.7	6.5	2.0				
068－14	突起付木器	SE01		5.6	5.2	2.0				
068－15	突起付木器	SE01		9.0	6.7	3.8				
068－16	羽子板状木器	SE01		16.3	3.7	0.2				
068－17	不明木器	SE01		7.0	5.4	1.6				
068－18	面子底	SE01		10.5	2.6	0.5				
068－19	楔	SE01		13.5	2.0	2.0				
068－20	木器箸	SE01		12.5	0.7	0.6				
068－21	木器箸	SE01		13.0	0.6	0.4				
068－22	木器箸	SE01		14.4	0.7	0.4				
068－23	耳掻き	SE01		16.5	0.6	0.4				
068－24	木簡	SE01		12.5	2.5	0.4				
068－25	土師器坏	SE02	にぶい橙	15.0	11.0	4.0	15.4			E－3
068－26	土師器皿	SE02	にぶい橙	(8.4)	(6.2)	1.3	(8.5)			E－3
068－27	滑石製温石	SE02		6.0	4.0	1.9				E－3
069－01	土師器坏	SD01	橙	(14.0)	(9.5)	3.2	(14.0)			C－2
069－02	土師器坏	SD01	にぶい橙	15.1	10.0	4.2	15.1			D－2
069－03	土師器坏	SD01	明褐灰	15.4	10.3	3.2	15.4			F－2
069－04	土師器皿	SD01	浅黄橙	(7.8)	6.4	1.3	(8.0)			A－2
069－05	土師器皿	SD01	にぶい橙	8.5	7.2	1.6	8.6			E－2
069－06	土師器皿	SD01	にぶい黄橙	(8.5)	(7.0)	1.2	(8.6)			AB－2
069－07	瓦器碗１類	SD01	灰白	(17.2)			(17.2)			AB－2
069－08	白磁碗Ⅳ１ａ類	SD02, SD03	オリーブ灰	(15.2)	6.6	6.2	(16.0)	0.9	5.6	E－2
069－09	白磁碗Ⅵ１ｂ類	SD02	オリーブ灰	(10.5)			(10.5)			E－2
069－10	白磁皿Ⅲ２新	SD02	オリーブ灰	10.8	4.4	2.6	10.8	0.5	4.4	E－2
069－11	白磁皿Ⅳ１ａ類	SD02	灰白	11.0	3.6	3.1	11.0			D－1
069－12	白磁皿Ⅳ２ｂ類	SD02	灰白	(10.8)	(3.2)	2.4	(10.8)			E－2
069－13	白磁皿Ⅵ１ａ類	SD02	オリーブ灰	(10.8)	3.4	3.3	(10.8)	0.1	3.3	E－2
069－14	初期龍泉窯・同安窯系青磁碗０類	SD02	オリーブ	(16.6)			(16.6)			E－1
069－15	須恵質壺or甕	SD02	灰							E－2
069－16	土師器皿	SD02	橙	9.0	7.6	1.1	9.0			E－2
069－17	土師器皿	SD02	にぶい橙	(8.0)	(6.1)	1.0	(8.0)			E－1
069－18	土師器皿	SD02	にぶい橙	9.0	7.8	1.1	9.0			E－2
069－19	滑石製温石	SD02		4.0	3.6	0.8				E－2
069－20	土師器坏	SD03	橙	(16.6)	(9.0)	4.0	16.6			E－2
069－21	土師器皿	SD03	橙	(9.0)	(7.6)	1.2	(9.0)			E－3
069－22	同安窯系青磁碗Ⅱ類	SD04	オリーブ灰		5.6			1.3	5.6	D－3
069－23	初期龍泉窯・同安窯系青磁碗０類	SD04	オリーブ灰							E－3
069－24	土師器皿	SD04	にぶい橙	(9.0)	(7.8)	1.2	(9.1)			
069－25	土師器皿	SD04	にぶい橙	(8.3)	(6.2)	1.3	8.5			
071－01	土師器坏	土器溜１	にぶい黄橙	16.9	11.2	3.7	7.2		11.2	F－2
071－02	土師器坏	土器溜１	にぶい橙	16.9	12.3	3.6	17.2		12.3	F－2
071－03	土師器坏	土器溜１	にぶい橙	(15.8)	(12.4)	3.4	16.2		(12.4)	F－2
071－04	土師器坏	土器溜１	にぶい橙	16.4	11.8	4.0	16.8		11.8	F－2
071－05	土師器坏	土器溜１	にぶい橙	15.3	10.8	3.6	15.6		10.8	
071－06	土師器坏	土器溜１	にぶい橙	16.0	12.0	3.4	16.3			F－3他
071－07	土師器坏	土器溜１	橙	15.5	11.5	3.8	15.8			F－2
071－08	土師器坏	土器溜１	にぶい橙	15.9	11.3	3.6	16.2			F－2
071－09	土師器皿	土器溜１	にぶい黄橙	9.6	8.0	1.2	9.7			F－2
071－10	土師器皿	土器溜１	にぶい黄橙	(8.6)	(7.1)	1.4	(8.7)		7.1	F－2
071－11	土師器皿	土器溜１	にぶい橙	9.3	7.5	1.1	9.3			F－2
071－12	土師器皿	土器溜１	にぶい橙	9.0	7.4	1.0	9.0			F－2他
071－13	土師器皿	土器溜１	橙	8.8	7.5	1.0	8.8			
071－14	土師器皿	土器溜１	にぶい橙	9.6	8.0	1.2	9.6			F－2

図版番号	種別	遺構	色調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
071－15	土師器皿	土器溜1	にぶい橙	8.5	7.1	1.0	8.6		7.1	F－2
071－16	土師器皿	土器溜1	にぶい橙	9.8	7.8	1.2	9.8			
073－01	土師器坏	土器溜2	にぶい橙	12.7	9.4	3.2	12.7			E－2
073－02	土師器坏	土器溜2	にぶい橙	12.3	9.1	3.0	12.0			E－2
073－03	土師器坏	土器溜2	にぶい橙	11.8	9.0	2.6				E－2
073－04	土師器坏	土器溜2	にぶい橙	11.6	8.4	3.2	11.8			E－2
073－05	土師器坏	土器溜2	にぶい橙	12.0	8.1	3.2	12.1		8.1	E－2
073－06	土師器坏	土器溜2	にぶい橙	12.0	9.1	2.7	12.0			E－2
073－07	土師器皿	土器溜2	にぶい橙	8.1	6.9	2.1	8.3		6.9	E－2
073－08	土師器皿	土器溜2	にぶい橙	8.6	7.2	1.9	8.6			
073－09	土師器皿	土器溜2	橙	9.0	7.8	1.3	9.0			E－2
073－10	土師器皿	土器溜2	橙	7.9	7.2	1.5	8.2			E－2
073－11	土師器皿	土器溜2	にぶい橙	8.2	7.3	1.5	8.2			E－2,F－2
073－12	土師器皿	土器溜2	橙	8.1	6.7	2.0	8.6			E－2
073－13	土師器皿	土器溜2	橙	8.1	6.3	1.9	8.2			E－2
073－14	土師器皿	土器溜2	にぶい橙	(8.6)	(7.2)	1.4	(8.8)			E－2
073－15	土師器皿	土器溜2	橙	8.4	7.0	1.7	8.6			E－2
073－16	鉄製釘	土器溜2	にぶい橙	7.2	0.6	0.7				E－2
075－01	土師器坏	土器溜3	にぶい橙	12.2	9.8	3.4	12.4			D－3
075－02	土師器坏	土器溜3	にぶい橙	(11.8)	(8.1)	3.4	(12.2)			D－2
075－03	土師器坏	土器溜3	にぶい橙	12.6	9.2	3.2	12.7			
075－04	土師器皿	土器溜3	にぶい橙	8.2	6.6	1.6	8.4		6.6	D－2
075－05	土師器皿	土器溜3	にぶい橙	8.3	6.6	1.6	8.5		6.6	D－2
075－06	土師器皿	土器溜3	にぶい橙	8.0	6.4	1.6	8.3		6.4	D－2
075－07	土師器皿	土器溜3	にぶい黄橙	8.4	6.6	1.8	8.6		6.6	D－2
075－08	土師器皿	土器溜3	にぶい橙	8.4	6.1	2.1	8.5			D－2
075－09	土師器皿	土器溜3	にぶい黄橙	(8.9)	(5.6)	2.6	(9.6)		(5.6)	D－2
077－01	土師器坏	土器溜4	浅黄橙	15.1	11.3	3.5	15.2			H－2
077－02	土師器皿	土器溜4	にぶい黄橙	8.9	7.7	1.3	9.0			H－2
077－03	土師器皿	土器溜4	橙	8.2	7.2	1.2	8.2		7.3	H－2
077－04	土師器皿	土器溜4	にぶい橙	8.1	7.3	1.1	8.2		7.3	H－2
077－05	土師器皿	土器溜4	にぶい橙	8.6	7.6	1.2	8.7		7.6	H－2
077－06	土師器皿	土器溜4	にぶい橙	8.3	7.6	1.0	8.5		7.6	H－2
077－07	土師器皿	土器溜4	にぶい黄橙	9.0	8.3	1.3	9.1			H－2,8
078－01	同安窯系青磁皿Ⅰ１ｂ類	土器溜5	オリーブ灰	10.2	4.8	2.2	10.2			E－3
078－02	白磁碗Ⅴ４ａ類	土器溜5	明オリーブ灰	(18.0)	6.4	6.5	(18.0)	1.6	6.4	F－3
078－03	土師器坏	土器溜5	橙	(15.0)		2.9	15.2			
078－04	土師器坏	土器溜5	にぶい橙	(12.2)	8.0	3.3	(12.2)			E－3
078－05	土師器坏	土器溜5	にぶい橙	(12.0)	(9.3)	3.0				E－3
078－06	土師器坏	土器溜5	にぶい橙	(11.9)	8.2	3.0				E－3
078－07	土師器皿	土器溜5	にぶい黄橙	8.6	6.2	1.7	8.9			E－3
078－08	土師器皿	土器溜5	にぶい橙	8.4	6.2	1.3	8.6			E－3
078－09	土師器皿	土器溜5	にぶい橙	(7.8)	(6.0)	1.4	(7.9)		(6.0)	E－3
078－10	土師器皿	土器溜5	にぶい橙	(9.2)	(6.8)	1.2	(9.3)			E－3
080－01	龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類	土器溜6	オリーブ灰		6.3			0.8	6.3	
080－02	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	12.6	8.5	3.2	12.9			
080－03	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	(11.9)	(7.6)	3.0	(11.9)			
080－04	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	(11.3)	6.9	2.4	(11.8)			
080－05	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	13.2	9.3	3.1	13.2			
080－06	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	(12.1)	8.9	2.9				
080－07	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	(11.8)	8.3	3.7	(11.8)			E－3
080－08	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	(13.4)	(10.8)	3.1	(13.4)			
080－09	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	(10.4)	8.0	3.0				
080－10	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	(11.9)	9.4	3.3	(11.9)			
080－11	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	11.6	9.0	3.2				
080－12	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	12.8	8.8	2.9	13.2			
080－13	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	(12.2)	9.0	3.7	(12.4)			
080－14	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	12.3	9.0	3.4	12.5			
080－15	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	11.6	8.4	2.7	11.7			
080－16	土師器坏	土器溜6	橙	11.5	8.0	2.9	11.7			E－3
080－17	土師器坏	土器溜6	橙	12.0	8.3	3.2	12.1			E－3
080－18	土師器坏	土器溜6	橙	12.6	7.9	2.6	12.7			
080－19	土師器坏	土器溜6	橙	12.0	8.8	2.9	12.1			
080－20	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	(13.8)	8.9	3.6	(14.1)			
080－21	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	(15.2)	(9.1)	3.5	15.5			
080－22	土師器坏	土器溜6	にぶい橙	(13.7)	(8.9)	3.3				
080－23	土師器皿	土器溜6	橙	8.3	6.4	1.8				
080－24	土師器皿	土器溜6	にぶい橙	8.3	6.7	1.7				
080－25	土師器皿	土器溜6	にぶい橙	8.6	6.4	1.8				
080－26	土師器皿	土器溜6	にぶい橙	8.6	6.8	1.7				
080－27	土師器皿	土器溜6	にぶい橙	8.3	6.8	1.5				
080－28	土師器皿	土器溜6	にぶい橙	8.1	6.5	2.0				
080－29	土師器皿	土器溜6	にぶい橙	8.4	6.7	2.0				
080－30	土師器皿	土器溜6	浅黄橙	(6.7)	4.6	2.2	(6.8)			
080－31	土師器皿	土器溜6	橙	8.2	6.6	1.6	8.4			
080－32	土師器皿	土器溜6	にぶい橙	8.1	6.6	1.7				
080－33	土師器皿	土器溜6	にぶい橙	7.7	5.7	1.8	7.8			
080－34	土師器皿	土器溜6	にぶい橙	8.3	5.7	2.2	8.3			
080－35	土師器皿	土器溜6	橙	8.1	5.5	2.0				

図版番号	種　　別	遺　構	色　調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
081－01	土師器皿	土器溜６	にぶい橙	8.1	5.6	2.3	8.1			
081－02	土師器皿	土器溜６	にぶい橙	(7.8)	5.6	2.1	(7.9)			
081－03	滑石製石鍋	土器溜６		(18.4)						
083－01	土師器坏	土器溜７	にぶい橙	12.9	7.9	3.7	13.1			
083－02	土師器坏	土器溜７	にぶい橙	12.2	8.7	3.6				
083－03	土師器坏	土器溜７	にぶい橙	13.0	9.0	3.0	13.0			
083－04	土師器坏	土器溜７	にぶい橙	13.0	10.0	3.0	13.0			
083－05	土師器坏	土器溜７	橙	12.8	8.8	3.1	12.8			
083－06	土師器皿	土器溜７	にぶい橙	8.2	6.6	1.8	8.3			
083－07	土師器皿	土器溜７	にぶい褐	8.4	6.2	1.8	8.6			
083－08	土師器皿	土器溜７	にぶい橙	8.2	5.9	1.8	8.4			
083－09	土師器皿	土器溜７	にぶい橙	8.3	6.4	2.2	8.6			
083－10	土師器皿	土器溜７	にぶい橙	(8.2)	(6.8)	1.7	(8.4)			
083－11	土師器皿	土器溜７	にぶい橙	8.2	6.2	1.6	8.4			
083－12	土師器皿	土器溜７	にぶい橙	8.0	6.2	1.9	8.3			
083－13	硯	土器溜７	暗赤灰	9.2	8.8	2.6				E－3
084－01	白磁碗Ⅱ２・４類		淡黄		(5.3)			0.9	5.3	E－2
084－02	白磁碗Ⅱ３・４類		オリーブ黄							D－3
084－03	初期龍泉窯・同安窯系青磁碗０類		オリーブ灰							E－3
084－04	龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ａ類		オリーブ灰	(17.0)			(17.0)			D－3
084－05	龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂ類		緑灰		5.4			0.9	5.4	E－3
084－06	同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類		オリーブ灰		(4.6)					E－2
084－07	青磁合子蓋		暗青緑							D－3
084－08	青白磁合子蓋		淡青緑	(5.6)		1.5	(5.6)			ABC－2
084－09	龍泉窯系青磁盤Ⅳ類		青緑							D－2
084－10	青白磁碗		淡青白							E－2
084－11	褐釉壺		暗褐色							E－3
084－12	須恵質捏鉢（東播系）		灰白	(28.0)			(28.0)			F－2
084－13	常滑窯甕		暗灰							E－2
084－14	陶質擂鉢		暗灰							F－2他
084－15	常滑窯甕		にぶい赤褐							F－3
084－16	土師器坏		にぶい橙	(12.2)	9.2	3.5	(12.5)			E－3
084－17	土師器坏		にぶい橙	(9.7)	(5.2)	3.3	(10.0)			ABC－2,3
084－18	灰釉皿		灰白	6.1	5.0	1.7	6.2			E－2
084－19	土師器皿		にぶい橙	8.4	5.9	2.2	8.6			E－3
084－20	土師器皿		にぶい橙	7.7	6.0	2.0	7.8			E－3
084－21	土師器皿		橙	8.8	6.3	1.4	8.8			ABC－2,3
084－22	土師器皿		橙	(8.8)	(6.1)	2.8	(8.8)			D－3
084－23	土師器皿		にぶい橙	(8.4)	(6.8)	2.0	(8.5)			ABC－2,3
084－24	滑石製石鍋			(9.0)						D－1
084－25	滑石製石鍋			(13.5)			(18.5)			G－2
084－26	滑石加工品			3.4	6.0	2.5				D－3
085－01	青銅製品			5.6	2.4	1.0				D－3
085－02	鉄器			3.8	3.5	0.5				E－3
086－01	白磁碗Ⅱ３ａ類		浅黄	(14.2)	(5.8)	6.0	(14.2)	0.8	(5.8)	G－2
086－02	白磁碗Ⅱ1，2類		灰黄白							G－3
086－03	白磁碗Ⅱ3，4類		灰黄白							E－1
086－04	白磁碗Ⅳ２ａ類		灰白		5.8			0.9	5.8	E－1
086－05	白磁碗Ⅴ類		オリーブ灰					0.8		G－3
086－06	白磁碗Ⅴ類		浅黄		(6.6)			1.6	(6.6)	F－3
086－07	白磁碗Ⅴ類		オリーブ灰		6.3			1.8	6.3	E－3
086－08	白磁碗Ⅴ２ｂ類		オリーブ灰	(16.6)			(16.6)			G－3
086－09	白磁碗Ⅴ４ａ類		明オリーブ灰							E－3
086－10	白磁碗Ⅴ４類		明オリーブ灰							F－2
086－11	白磁碗Ⅵ類		浅黄							F－2
086－12	白磁碗Ⅶ類		オリーブ灰							G－3
086－13	白磁碗Ⅴ４ｃ類		オリーブ灰							E－2
086－14	白磁碗Ⅶ類		灰白		6.4			0.8	6.4	E－3
086－15	白磁皿Ⅲ１類		明オリーブ		4.4			0.6	4.4	F－1
086－16	白磁碗Ⅹ類		灰白							G－3
086－17	白磁皿Ⅱ１ａ類		灰白		4.4			0.5	4.4	G－3
086－18	白磁皿Ⅲ１類		灰白	11.4	4.8	2.1	11.4	0.4	4.8	F－2
086－19	白磁皿Ⅲ２類		灰白	11.4	4.8	2.6	11.4	0.6	4.8	E－2
086－20	白磁皿Ⅲ１類		明オリーブ灰		(4.4)			0.5	4.4	G－3
086－21	白磁皿Ⅵ１ａ類		オリーブ灰	(10.6)	3.2	2.8	(10.6)		3.2	G－3
086－22	白磁皿Ⅵ１ｂ類		灰白	(10.0)	(4.2)	2.9	(10.0)			E－2
086－23	白磁皿Ⅵ１ｂ類		灰白	(10.0)	(3.6)	2.7	(10.0)			F－1
086－24	白磁皿Ⅵ１ｂ類		オリーブ灰	(10.0)	3.6	2.4	(10.0)			G－5
086－25	白磁皿Ⅵ１ｂ類		オリーブ灰	(11.1)	(4.0)	2.6	(11.1)			F－3
086－26	白磁皿Ⅵ２ａ類		オリーブ黄		(3.7)				(3.7)	G－3,H－3
086－27	白磁皿Ⅷ類		灰白	(10.3)	(5.2)	2.1	(10.3)			F－1
086－28	白磁皿Ⅹ類		灰白							E－3
086－29	白磁皿Ｄ類		灰白	(9.4)	(5.2)	2.6	(9.4)	0.6	(5.2)	E－3
086－30	白磁皿Ⅷ１ｂ類		灰白	10.0	3.9	2.3	10.0			F－3
086－31	初期龍泉窯・同安窯系青磁碗０類		明青緑		5.1			1.0	5.1	D－2
087－01	龍泉窯系青磁碗Ⅰ類		明青緑		(5.5)			0.7	(5.5)	G－3
087－02	龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類		オリーブ灰		(5.4)			0.9	(5.4)	G－3
087－03	龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類		明緑青		(6.0)	(2.2)		0.8	(6.0)	G－3
087－04	龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類		黄緑	(17.0)	(8.0)		(17.0)			F－3

図版番号	種別	遺構	色調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
087－05	龍泉窯系青磁碗Ⅰ3類		オリーブ灰	(15.6)			(15.6)			G－3
087－06	龍泉窯系青磁碗Ⅰ4a類		にぶい黄緑	(16.8)			(16.8)			E－2
087－07	龍泉窯系青磁小碗Ⅰ類		青緑		(4.2)			0.8	(4.2)	E－3
087－08	龍泉窯系青磁小碗Ⅳ類		灰緑青	(10.2)			(10.2)			E－3
087－09	龍泉窯系青磁皿Ⅰ1a類		灰青		(4.3)					E－3
087－10	初期龍泉窯・同安窯系青磁碗0類		淡オリーブ		3.8	(2.2)		0.6	3.8	G－3
087－11	同安窯系青磁碗Ⅰ1b類		灰青緑		4.9			0.6		E－2
087－12	同安窯系青磁皿Ⅱb類		オリーブ灰	11.0	5.0	2.4	11.0			E－2
087－13	同安窯系青磁皿Ⅰ2b類		オリーブ灰							G－3
087－14	同安窯系青磁皿Ⅱb類		オリーブ灰	10.2	4.9	2.1	10.2			G－3
087－15	白磁四耳壺		灰白							H－2
087－16	白磁水注		オリーブ灰	(10.2)		9.7				F－1,3
087－17	青白磁水注		明青白							F－3
087－18	青白磁水注		明青白							E－2
088－01	白磁特別品		明オリーブ灰							H－3
088－02	白磁特別品		明オリーブ灰							F－3
088－03	白磁特別品		灰白	(3.4)						G－3
088－04	白磁特別品		灰白							G－3
088－05	青白磁合子蓋		明緑灰	(6.1)		1.7	(6.1)			F－3
088－06	青白磁合子蓋		明青白	6.1		1.8	6.1			G－3
088－07	青白磁合子蓋		淡青白	(5.6)		1.5	(5.6)			G－2
088－08	白磁合子蓋		オリーブ灰	(4.5)		1.2	(4.5)			E－3
088－09	青白磁合子蓋		淡青白	(7.4)		(1.7)				G－2
088－10	青白磁合子蓋		明青白	(3.7)		1.3	(3.7)			F－2
088－11	青白磁合子蓋		明青白	(4.8)			(4.8)			F－2
088－12	青白磁合子蓋		明青白							E－3
088－13	青白磁合子身		明緑灰		(4.5)					G－3
088－14	青白磁小壺身		明青白							H－2
088－15	青白磁小壺蓋		にぶい青白							F－2
088－16	龍泉窯系青磁盤Ⅳ類		暗緑青							E－3
088－17	青白磁碗		灰緑青							F－2
088－18	青白磁碗		灰青白							F－3
088－19	白磁碗Ⅶ類		明緑灰	(16.8)			(16.8)			E－3
088－20	白磁碗Ⅹ類		淡黄白		(3.9)			0.3	(3.9)	F－3
088－21	青白磁小碗		明緑灰	(10.4)		2.9	(10.4)			E－3
088－22	青白磁皿		明緑灰	(10.3)	(3.1)	(3.0)	(10.3)		(3.0)	E－3
088－23	褐釉壺		暗褐	(9.4)						G－3
088－24	褐釉壺		暗褐		(10.4)					G－2
088－25	褐釉壺		黒褐							E－2
088－26	黒釉碗（天目碗）		黒褐	(11.6)			(11.6)			F－3
088－27	緑釉盤		暗緑							E－3
088－28	黄釉盤Ⅰ2類		明黄							G－3
088－29	須恵質壺		黒褐	(17.6)						F－2
089－01	須恵質壺or甕		灰							E－3
089－02	須恵質捏鉢		灰							F－3
089－03	須恵質捏鉢		灰	(18.0)			(19.0)			E－2,E－3
089－04	須恵質捏鉢		灰白	(30.0)						E－2
089－05	須恵質捏鉢		灰白	(35.0)			(35.0)			F－3
089－06	須恵質擂鉢		灰白	(30.5)			(32.2)			E－3
089－07	須恵質甕		灰							E－3
089－08	須恵質壺or甕		灰							D－2
089－09	須恵質擂鉢		にぶい橙							D－2他
089－10	常滑窯甕		灰褐							D－1
089－11	備前窯甕		暗灰							E－2
089－12	備前窯擂鉢		暗赤							D－3,E－3
089－13	備前窯擂鉢		褐、灰							E－2
089－14	常滑窯甕		暗赤褐	(29.2)						G－2他
090－01	土師器坏		にぶい橙	(15.8)	(11.0)	3.6	(16.0)			F－1
090－02	土師器坏		浅黄橙	(15.3)	(9.4)	3.2	(16.0)			F－2
090－03	土師器皿		浅黄橙	8.9	6.8	1.0	9.0			E－3
090－04	土師器皿		橙	(9.8)	(8.0)	1.1	(9.9)			E－3
090－05	土師器皿		にぶい橙	(7.9)	(6.1)	1.0	(8.2)			F－2
090－06	土師器皿		にぶい橙	(8.3)	(6.6)	1.1	(8.7)			E－3
090－07	土師器皿		橙	9.0	6.5	1.1	9.0			F－2
090－08	土師器皿		にぶい橙	(9.0)	(6.1)	1.5	(9.0)			F－2
090－09	土師器皿		にぶい橙	(8.1)	(6.0)	1.2	(8.3)			F－2
090－10	土師器皿		にぶい褐	(7.2)	(6.0)	0.9	(7.4)			E－1
090－11	土師器皿		にぶい橙	8.4	6.7	1.7	8.4			E－2
090－12	土師器皿		にぶい橙	8.4	6.1	1.8	8.6			E－2
090－13	土師器皿		にぶい黄褐	5.1	3.8	1.5				E－3
090－14	土師器皿		にぶい橙	(8.2)	(6.0)	1.4	(8.4)			F－2
090－15	土師器皿		にぶい橙	(10.4)	(9.2)	1.3	(10.8)			F－2
090－16	白色土師器皿		灰白	7.2	4.2	2.5	7.2			F－3
090－17	白色土師器皿		灰白		(4.0)					E－3
090－18	白色土師器皿		灰白	(9.2)	(7.2)		(9.2)			E－2
090－19	土師器小壺		にぶい黄橙		(4.6)					F－3
090－20	土師器皿		黒、灰褐	(7.8)	(6.0)	1.3	(7.9)			H－2
090－21	瓦器皿		灰白、黒色	9.3	6.2	1.6	9.3			G－2
090－22	瓦器皿		黒色	(9.0)	(6.5)	1.9	(9.1)			F－2

図版番号	種別	遺構	色調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
090－23	滑石加工品									G－2
090－24	滑石製温石			5.7	3.5	2.0				G－3
090－25	滑石加工品			3.7	3.0	2.3				G－3
090－26	滑石加工品			8.0	3.8	1.4				F－2
090－27	滑石製温石			10.2	6.8	2.4				C－1
090－28	滑石加工品			5.3	5.3	1.4				F－3
090－29	滑石加工品			5.2	4.6	1.0				F－3
091－01	滑石加工品			7.6	3.7	2.0				E－2
091－02	滑石加工品			3.4	3.5	1.3				F－2
091－03	滑石加工品			4.8	2.1	0.4				D－2
091－04	紡錘車		灰白	5.6	1.2					G－2
091－05	砥石		灰白	9.0	3.0	2.6				G－3
091－06	砥石			7.0	4.5	2.4				G－3
091－07	砥石			13.3	3.8	3.2				F－2
091－08	四葉形石硯		灰赤	3.5	8.2	2.1				D－2
092－01	青銅製盤			5.0	4.3	0.3				E－2
092－02	青銅製品			4.2	0.3	0.2				F－2
092－03	鉄製品（留め具）			5.1	0.7	0.4				F－2
092－04	鉄製刀			7.6	1.9	0.3				F－2
092－05	鉄製品（鎧）			16.2	10.4	0.4				E－3
092－06	鉄製刀			8.6	1.6	0.4				F－3
092－07	鉄製釘			9.0	0.7	0.5				E－3
092－08	鉄製釘			8.0	0.7	0.5				E－3
092－09	鉄製釘			7.6	0.7	0.5				F－2
092－10	鉄製釘			4.9	0.8	0.7				A－2
092－11	鉄製釘			6.9	0.9	1.0				A－2
093－01	白磁碗Ⅱ１ａ・３ａ類		浅黄		(5.8)			1.0	(5.8)	B－3
093－02	白磁碗Ⅱ３ｂ・４ｂ類		灰黄白							G－3
093－03	白磁碗Ⅱ１・２類		灰黄白							F－3
093－04	白磁碗Ⅳ１ａ類		灰黄白	(15.6)	5.9	7.0	(16.2)	0.6	6.5	F－2
093－05	白磁碗Ⅳ１ａ類		灰白	(14.2)	(6.4)	6.3	(14.6)	0.9	6.4	E－3,F－3
093－06	白磁碗Ⅴ３ｂ類		灰白							F－2
093－07	白磁碗Ⅴ１ｃ類		オリーブ灰							F－2
093－08	白磁碗Ⅴ１新		灰白							F－3
093－09	白磁碗Ⅴ２ｂ類		オリーブ灰							G－3
093－10	白磁碗Ⅴ類		灰白		6.1			1.3	6.1	F－2
093－11	白磁碗Ⅴ４ｂ類		灰白	(16.2)			(16.2)			F－1
093－12	白磁碗Ⅵ１ａ類		浅黄	(14.4)	5.5	4.8	(14.4)	0.9	5.5	B－2
093－13	白磁碗Ⅵ１ｂ類		淡黄白	(14.0)	5.5	4.5	(14.1)	0.8	5.5	F－1
093－14	白磁碗Ⅶ類		オリーブ灰							F－3
093－15	白磁碗Ⅴ類		浅黄							F－1
093－16	白磁碗Ⅶ類		オリーブ灰							E－3
093－17	白磁碗Ⅶ類		オリーブ灰							F－1
093－18	白磁碗Ⅹ類		灰白			2.2				G－2
093－19	白磁碗ⅩⅣ類		明オリーブ							E－1
093－20	白磁碗Ｅ類		灰白							F－1
093－21	白磁皿Ⅱ１ａ類		灰白	(10.0)			(10.2)			F－2
093－22	白磁皿Ⅲ１類		オリーブ灰	(8.9)	3.8	2.1	8.9	0.5	3.8	F－2
093－23	白磁皿Ⅲ２類		灰白	(11.0)			(10.9)			F－2
093－24	白磁皿Ⅲ類		灰オリーブ	(11.0)	4.9	2.7	10.8	0.6	4.9	F－2
093－25	白磁皿Ⅲ類		灰オリーブ							E－1
093－26	白磁皿Ⅵ１ｂ類		明オリーブ		4.4			0.6	4.4	F－1
093－27	白磁皿Ⅳ１ａ類		灰白	(11.3)	(3.8)	2.7	(11.3)			E－2
093－28	白磁皿Ⅳ１ｂ類		明オリーブ	(10.4)			(10.4)			E－1
093－29	白磁皿Ⅳ２ｂ類		明オリーブ灰							G－2
093－30	白磁皿Ⅷ１ｃ類		灰白		(3.8)				(3.8)	G－2
093－31	白磁皿Ⅷ１ａ類		オリーブ灰	(10.0)			(10.0)			G－2
093－32	白磁皿Ⅷ２ｂ類		オリーブ灰	(13.0)	4.4	2.4	(13.0)			G－3
094－01	白磁皿Ⅸ１ａ類		灰白	8.8	4.9	1.7	8.8			F－2
094－02	白磁皿Ⅸ１ｂ類		灰白	(10.8)	(6.8)	2.5	(10.8)			G－3
094－03	白磁皿Ⅸ１ｃ類		オリーブ灰	(10.2)	(7.4)	3.0	(10.2)			G－3
094－04	白磁皿Ⅸ２ｃ類		灰白	(9.0)	(5.4)	2.8				G－3
094－05	白磁皿Ⅵ１ａ類		灰黄白	9.7	4.2	2.1	9.7			G－2
094－06	白磁皿Ⅵ１ａ類		オリーブ灰		2.9					G－2
094－07	初期龍泉窯・同安窯系青磁碗０類		オリーブ	(17.0)			(17.0)			F－2
094－08	同安窯系青磁碗Ⅰ１ｂ類		オリーブ							F－1
094－09	同安窯系青磁碗Ⅰ１ａ類		オリーブ灰	(15.5)	(5.2)	6.8	(15.5)	0.7	(5.2)	F－3
094－10	同安窯系青磁碗Ⅰ１ｂ類		オリーブ黄							F－3
094－11	龍泉窯系青磁碗Ⅰ１類		オリーブ灰		(6.6)			0.7	(6.6)	F－2
094－12	龍泉窯系青磁碗Ⅰ１類		オリーブ灰	(16.2)			(16.2)			E－1
094－13	龍泉窯系青磁碗Ⅰ１類		オリーブ灰	(16.8)			(16.8)			E－3
094－14	龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類		オリーブ灰	(15.8)	(7.0)		(15.8)			F－1
094－15	龍泉窯系青磁碗Ⅰ２ａ類		オリーブ	(15.8)	(5.8)	6.6	(15.8)			G－3
094－16	龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類		オリーブ灰							E－2
094－17	龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類		オリーブ	(16.0)			(16.0)			F－3
094－18	龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類		にぶい黄緑	(16.2)			(16.2)			E－3
095－01	龍泉窯系青磁碗Ⅰ２ｂ類		灰緑	(16.2)	5.7	6.8	(16.2)	0.8	5.7	F－2
095－02	龍泉窯系青磁碗Ⅰ２ｂ類		オリーブ灰		5.9			1.0	5.9	E－2
095－03	龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類		オリーブ灰		(5.8)			0.9	(5.8)	E－3

図版番号	種　　別	遺　構	色　調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
095—04	龍泉窯系青磁碗Ⅰ3類		暗緑青							F—2
095—05	龍泉窯系青磁碗Ⅰ4a類		灰緑	(16.0)	(7.0)		(16.0)			E—2
095—06	龍泉窯系青磁碗Ⅰ4b類		オリーブ灰	(16.2)	(6.0)		(16.2)			F—2
095—07	龍泉窯系青磁碗Ⅰ4c類		オリーブ灰	(15.2)			(15.2)			F—3
095—08	龍泉窯系青磁碗Ⅰ4c類		オリーブ灰	16.0	6.0	7.1	16.0	0.8	6.0	F—2
095—09	龍泉窯系青磁碗Ⅰ4c類		オリーブ黄							F—1
095—10	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5～B類		灰オリーブ	(16.0)		(4.2)	(16.0)			E—1
095—11	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5a類		暗オリーブ	(16.0)			(16.0)			E—2
095—12	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5c類		暗緑青		5.0			0.8	5.0	G—2
095—13	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5bcd類		オリーブ灰	(17.7)			(17.7)			E—3
095—14	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5bcd類		緑灰	(16.4)			(16.4)			F—2
096—01	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5bcd類		緑灰	(16.0)			(16.0)			F—1
096—02	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5c類		緑青		(5.1)			1.0	(5.1)	E—1
096—03	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5c類		緑青		4.7			1.1	4.7	F—1
096—04	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5c類		オリーブ灰		4.9			0.6	4.9	E—3
096—05	龍泉窯系青磁碗Ⅲ1類		緑青							F—2
096—06	龍泉窯系青磁碗Ⅳ類		オリーブ灰							G—3
096—07	龍泉窯系青磁碗Ⅲ2類		暗緑							G—2
096—08	龍泉窯系青磁碗Ⅳ類		オリーブ灰							F—1
096—09	龍泉窯系青磁小碗Ⅰ類		緑青		3.3			0.5	3.3	G—3
096—10	龍泉窯系青磁碗Ⅳ類		にぶい緑青	(17.0)			(17.2)			G—2
096—11	龍泉窯系青磁碗Ⅳ類		にぶい緑青		5.4			1.2	5.9	F—2
096—12	龍泉窯系青磁碗C類		灰緑青							D—2
096—13	龍泉窯系青磁小碗Ⅰ2b類		灰緑青	(11.0)			(11.4)			G—3
096—14	龍泉窯系青磁皿Ⅰ1b類		明灰緑	(13.4)	(3.8)	3.1	(13.4)			F—2
096—15	龍泉窯系青磁小碗Ⅰ1b類		オリーブ灰	10.4	3.2	4.6	10.4	0.6	3.2	G—3
096—16	龍泉窯系青磁曲口碗		緑青							G—3
096—17	龍泉窯系蓋付小碗		オリーブ	(8.7)	(3.2)	4.5	(8.7)	0.6	4.5	F—2
096—18	龍泉窯系青磁坏Ⅲ類		暗オリーブ							E—2
096—19	龍泉窯系青磁坏Ⅲ4類		緑青							F—3
096—20	龍泉窯系青磁坏Ⅲ4類		緑青							F—1
096—21	龍泉窯系青磁皿Ⅰ1b類		青緑	(12.0)	(4.4)	2.9	(12.0)			E—1
096—22	龍泉窯系青磁皿Ⅰ2b類		オリーブ	(10.4)	3.2	2.6	(10.4)			G—4
096—23	龍泉窯系青磁坏Ⅲ2類		暗緑	(13.2)	(6.4)	4.4	(13.2)	0.8	(6.4)	E—1
097—01	同安窯系青磁皿Ⅰ2b類		灰オリーブ	11.6	5.8	2.6	11.6			G—3
097—02	同安窯系青磁皿Ⅰ2b類		オリーブ灰	11.0	5.0	2.5	11.0			G—2
097—03	同安窯系青磁皿Ⅰ2b類		灰緑青	11.2	5.4	2.1	11.2			F—1
097—04	同安窯系青磁皿Ⅰ2b類		灰緑青	(11.0)	(4.6)	1.9	(11.0)			F—3
097—05	同安窯系青磁皿Ⅰ2b類		淡灰青	(10.4)	(5.1)	2.3	(10.4)			G—3
097—06	同安窯系青磁皿Ⅰ2b類		明青緑							E—1
097—07	白磁四耳壺		灰白							F—2
097—08	白磁四耳壺		オリーブ白				(14.5)			F—1
097—09	白磁四耳壺		オリーブ白							F—2
097—10	白磁四耳壺		明オリーブ	(11.6)						G—2
097—11	白磁四耳壺		明オリーブ							
097—12	白磁水注		明オリーブ							F—2
097—13	白磁水注		明オリーブ							E—2
097—14	白磁水注		明オリーブ							F—3, G—2
097—15	白磁四耳壺		明オリーブ							B—3
097—16	白磁四耳壺		明オリーブ				16.3			E—1
098—01	白磁四耳壺or水注		明オリーブ	(11.8)		6.8				E—3
098—02	白磁水注		明白							D—3
098—03	白磁水注		明白							F—3
098—04	白磁水注		灰白	10.6						E—2
098—05	白磁水注		灰白							F—1
098—06	白磁四耳壺or水注		明オリーブ	(10.3)		2.9				F—1
098—07	白磁水注		オリーブ黄							E—3
098—08	白磁水注		オリーブ黄							G—3
098—09	白磁合子蓋		灰白	(7.4)		2.3	(7.4)			F—3
098—10	白磁合子蓋		灰白	(8.0)		2.2	(8.0)			E—1
098—11	白磁合子蓋		オリーブ灰	6.4		1.7	6.4			G—3, H—3
098—12	白磁合子蓋		オリーブ灰	(7.2)			(7.2)			G—3
098—13	青白磁合子蓋		明緑灰	(5.2)		1.1	(5.2)			F—1
098—14	青白磁合子蓋		淡青白	(4.0)		1.3	(4.0)			G—3
098—15	青白磁合子身		淡青緑	(6.2)	(6.0)	1.9	(7.8)	0.2	(5.9)	F—1
098—16	白磁合子身		にぶい灰黄	7.0	7.1	1.6	8.2			G—3
098—17	青白磁合子身		灰青白	(6.2)	(4.5)	2.0	(7.4)	0.1	(4.5)	E—2
098—18	青白磁合子身		にぶい灰青白	(4.2)	(4.0)	(2.1)	(5.1)			E—2
098—19	青白磁小壺		明緑灰							E—2
098—20	青白磁小壺		明緑灰				(5.9)			G—3
098—21	青白磁小壺蓋		明緑灰	(9.9)		1.5	(9.9)			F—3
098—22	青白磁小壺身		明緑灰	(6.8)		2.8	(8.6)			G—2
098—23	青白磁小壺身		にぶい緑灰	(9.0)	(4.6)			0.3	(4.6)	G—2
098—24	青白磁小壺身		にぶい緑灰	(8.4)			(10.0)			F—2
098—25	青白磁小壺身		淡緑	(5.0)			(7.1)			G—3
099—01	青白磁碗		明黄緑		(5.2)			0.3	(5.2)	E—2
099—02	龍泉窯系青磁盤Ⅲ類		青緑		(10.3)			0.8	(10.3)	F—1
099—03	青白磁碗		明青白	(9.0)			(9.0)			G—3
099—04	青白磁碗		明緑白	(9.5)			(9.6)			F—2

図版番号	種別	遺構	色調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
099—05	白磁碗Ⅸ類		明青	(16.2)			(16.2)			G—3
099—06	青白磁皿		明青白							G—2
099—07	青白磁皿		淡灰白							F—2
099—08	青白磁碗		明緑白	(12.4)	3.5	4.1	(12.4)	0.5	3.5	F—2
099—09	青白磁皿		明青白							E—3
099—10	青白磁皿		明青白							G—2
099—11	青白磁皿		明青白							F—3
099—12	青白磁皿		青白							E—1
099—13	青白磁皿		明青白	(10.3)			(10.3)			G—3
099—14	青白磁坏		淡青白	(11.0)	(4.2)	3.2	(11.2)	1.5	(4.2)	G—2
099—15	青白磁皿		明青白		(3.4)				(3.4)	G—2
099—16	青白磁皿		明青白							G—3
099—17	青白磁皿		明青白	(10.4)	3.4	2.7	(10.4)		3.2	E—2
099—18	青白磁壺？		灰白		(7.6)					G—3
099—19	青白磁梅瓶		明青白	(5.6)						F—3
099—20	青白磁梅瓶		明青白							F—3
099—21	青白磁梅瓶		明青白		(11.0)					E—2
099—22	青白磁香炉		青白							G—3
099—23	越州窯系青磁小壺		オリーブ灰	4.8			6.8			F—3
099—24	黒釉碗（天目碗）		黒褐	(11.2)	3.3	5.8	(11.2)			F—3
099—25	黒釉碗（天目碗）		黒褐	(12.6)	(4.2)	7.7	(12.6)	0.9	(4.2)	G—3
099—26	褐釉壺（茶入）		暗褐		2.7		5.8			E—2
099—27	褐釉壺（茶入）		黒褐							E—3
100—01	褐釉壺		暗緑褐							E—2
100—02	褐釉壺		黒褐							F—1
100—03	褐釉壺		黒褐							F—2
100—04	褐釉壺		暗褐							G—3
100—05	褐釉壺		暗褐							G—3
100—06	黄釉四耳壺		灰黄							E—1
100—07	黄釉四耳壺		灰黄							G—3
100—08	黄釉四耳壺		灰黄							G—3
100—09	黄釉四耳壺		灰黄							
100—10	黄釉盤		黄褐							E—3
100—11	黄釉盤		黄褐							E—3
100—12	黄釉盤		にぶい黄							F—1
100—13	黄釉盤		にぶい黄							E—2
100—14	黄釉盤		にぶい黄							E—1
100—15	黄釉盤		オリーブ黄							E—1
100—16	黄釉盤		オリーブ黄							E—1
100—17	黄釉盤		にぶい黄							F—2
100—18	黄釉盤		オリーブ黄							F—1
100—19	黄釉盤		オリーブ黄							F—2
100—20	黄釉盤		にぶい黄							E—2
101—01	緑釉盤		暗緑							F—1
101—02	緑釉盤		暗緑							G—2
101—03	緑釉盤		暗緑							G—2
101—04	二彩盤		暗緑							E—1
101—05	二彩盤		暗緑		(24.4)					E—2
101—06	緑釉盤		淡緑							F—3
101—07	緑釉盤		淡緑							E—2
101—08	緑釉盤		淡緑							G—2
101—09	緑釉盤		暗緑							G—3
101—10	二彩盤		暗緑							C—3
101—11	緑釉盤		淡緑							E—2
101—12	緑釉水注		淡緑							G—3
101—13	緑釉水注		淡緑							F—3
101—14	緑釉水注		淡緑							G—2
102—01	瀬戸窯卸皿		灰黄白	(15.2)	6.8	4.1	(15.2)			G—1
102—02	瀬戸袴腰形香炉		暗黄緑		(6.0)					G—2
102—03	瀬戸窯瓶子		灰緑							F—2
102—04	瀬戸窯入子			(6.6)	(4.0)	2.0	(6.6)			G—2
102—05	瀬戸窯仏供		灰白	(10.0)			(10.2)			G—3
102—06	瀬戸窯小坏		灰白			1.1				F—2
102—07	瀬戸窯碗		淡緑							F—2
102—08	須恵質捏鉢		灰、黒灰	(18.5)	(8.0)	(5.9)	(18.5)			F—2
102—09	須恵質擂鉢		灰							F—1他
102—10	須恵質擂鉢		灰白							F—1
102—11	須恵質捏鉢		灰	24.2	11.5	10.0	25.5			F—3
102—12	須恵質捏鉢		灰白	(31.0)			(31.0)			E—2,E—1
102—13	須恵質擂鉢		灰	(27.8)	(14.2)	9.7	29.3		(14.2)	F—3
102—14	須恵質鉢		灰	(45.4)			(46.0)			F—1,F—2
103—01	須恵質捏鉢		暗灰	30.0	16.0	9.5				F—3
103—02	須恵質埦		灰	18.0						E—3,F—1
103—03	須恵質擂鉢		暗灰							G—2
103—04	須恵質擂鉢		灰	(21.4)	(10.6)	7.2	(22.4)		(10.6)	F—2
103—05	須恵質捏鉢		灰	(33.0)						G—3,F—3
103—06	須恵質捏鉢		灰	24.6	8.4	9.7	25.5			E—1
103—07	須恵質捏鉢		灰	(28.0)			(28.0)			F—1,E—3
103—08	須恵質甕		灰	(19.4)						E—1

図版番号	種別	遺構	色調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
103—09	須恵質壺or甕		灰							F—1
103—10	須恵質壺or甕		暗灰							E—3, E—2
103—11	須恵質壺or甕		暗灰							G—3
103—12	須恵質壺or甕		灰							F—1
103—13	須恵質小壺		灰				9.1			G—2
103—14	備前窯甕		暗赤褐							F—2
103—15	備前窯甕		暗赤褐							F—1他
104—01	瓦質風炉		橙							F—3
104—02	瓦質鉢		にぶい橙							E—2, F—2
104—03	瓦質火鉢		灰、黒							G—3
104—04	瓦質火鉢		黒褐							G—3
104—05	瓦質鉢			(50.0)			(50.0)			F—3
104—06	瓦質火鉢		黒							F—1
104—07	瓦質鉢		灰							E—2
104—08	瓦質火鉢		黒	(30.0)						E—3, F—2
105—01	瓦質風炉		灰	(28.4)						G—3
105—02	瓦質火鉢		灰	(33.1)	(22.0)	19.5	33.9			F—3
105—03	瓦質火鉢		灰							G—3
105—04	瓦質鉢		灰	(49.6)	(49.9)					F—2, G—2
106—01	土師器坏		浅黄橙	15.0	9.4	3.6	15.3			E—3
106—02	土師器坏		にぶい橙	12.8	9.2	3.7	12.9			E—3
106—03	土師器坏		にぶい橙	12.4	8.5	3.5	12.7			E—3
106—04	土師器坏		にぶい橙	15.5	9.3	3.3	15.9			F—1
106—05	土師器坏		にぶい橙	(15.0)	(8.5)	3.0	(15.0)			F—2
106—06	土師器坏		橙	(14.4)	(10.2)	3.4	(15.0)			E—3
106—07	土師器坏		浅黄橙	(13.7)	(11.7)	2.1	(14.3)			E—3
106—08	土師器坏		にぶい黄橙	(16.0)	8.4	3.7	(16.2)			F—1
106—09	土師器皿（高坏状）		橙	(9.1)	6.5	2.8		1.7		F—2
106—10	土師器坏		にぶい黄橙	(16.8)	10.8	3.7	17.0			F—1
106—11	白色土師器皿		灰白	(10.0)	(7.6)		(10.0)			G—3
106—12	土師器皿		にぶい橙	7.0	5.6	1.5	7.1			G—3
106—13	土師器皿（高坏状）		にぶい黄橙	(9.6)	7.5		(9.6)	(1.7)	4.8	F—2
106—14	土師器皿		にぶい黄橙	9.5	8.2	1.7	9.6			E—3
106—15	土師器皿		にぶい黄橙	9.2	7.1	1.3				F—1
106—16	土師器皿		にぶい橙	(9.9)	(8.4)	1.3	(10.0)			E—3
106—17	土師器皿		淡黄	(7.9)	(6.0)	1.3	(8.0)			E—3
106—18	土師器皿		にぶい橙	(9.2)	(7.0)	1.5	(9.3)			F—1
106—19	土師器皿		にぶい橙	8.9	7.0	1.3				F—1
106—20	土師器皿		黄橙	(8.7)	(6.6)	1.4	(8.2)			F—2
106—21	土師器皿		にぶい橙	7.6	6.0	2.0	7.7			E—3
106—22	土師器皿		明黄褐	(9.2)	6.5	2.1	(9.2)			F—3
106—23	土師器皿		にぶい橙	(7.7)	6.5	1.3				E—3
106—24	土師器皿		にぶい橙	(8.8)	(7.4)	1.4	(9.5)			G—3
106—25	土師器皿		にぶい橙	5.9	4.4	1.4	6.1			E—3
106—26	土師器皿		にぶい橙	(5.1)	(3.7)	1.4				G—3
106—27	土師器皿		橙	(9.2)	(8.0)	1.5	(9.2)			F—1
106—28	土師器皿		浅黄橙	(8.0)	(6.1)	1.1	(8.0)			E—3
106—29	土師器皿		灰白	(9.8)	(7.0)	1.5	(10.0)			F—1
106—30	土師器皿		にぶい黄橙	(6.4)	(4.8)	2.0	(6.4)			G—3
106—31	土師器皿		にぶい橙	(9.1)	5.8	2.6	(9.1)			G—3
106—32	土師器皿		にぶい橙	(9.0)	(6.6)	1.1	(9.0)			F—2
106—33	土師器皿		浅黄橙	(8.0)	(4.0)	1.9	(8.0)			G—3
106—34	土師器皿		にぶい橙	8.1	3.9	1.3	8.1			E—2
106—35	土師器坏		にぶい橙	(16.0)	(11.6)	2.7				F—2
106—36	土師器皿		橙	7.9	6.8	1.1	8.2			F—2
106—37	土師器皿		橙	8.0	7.2	1.0	8.0			G—3
106—38	白色土師器皿		暗灰	(6.0)	4.0	1.0	5.0			H—3
106—39	白色土師器坏		灰白	12.1		2.9	12.1			G—3
106—40	瓦器皿		灰白	9.6	6.5	2.0	9.0			F—2
106—41	瓦器皿		暗灰、灰	(9.5)	(4.5)	1.7	(9.5)			F—1, 2
106—42	瓦器皿		灰白	7.3	6.7	2.0	2.0			F—3
107—01	瓦器皿		灰白、黒	(9.0)	(7.0)	1.4	(9.2)			G—2
107—02	瓦器皿		灰白、黒	(9.1)	(6.5)	1.9				G—2
107—03	瓦器碗		暗灰、灰	(17.3)	(9.2)	5.8				E—3他
107—04	滑石製石鍋			(29.4)						F—1
107—05	滑石製石鍋			(23.8)	(6.5)	9.6	(25.2)			E—3
107—06	滑石製石鍋									F—1
107—07	滑石製石鍋			(6.6)						G—3
107—08	滑石製石鍋			(11.0)						F—1
107—09	滑石加工品			2.2	1.9	0.5				F—3
107—10	滑石加工品			5.5	3.2	1.6				F—2
107—11	滑石製温石			10.0	8.5	8.6				F—2
107—12	滑石加工品		黄灰	3.7	1.9	1.5				G—2
107—13	滑石加工品			3.6	2.6	1.8				F—2
107—14	滑石加工品		暗灰	4.7	3.5	0.8				G—2
107—15	滑石加工品			10.2	4.0					F—1
107—16	滑石加工品			7.5	2.7	1.1				G—3
107—17	滑石加工品			5.7	6.4	1.8				G—3
107—18	滑石加工品		灰							G—2

図版番号	種　　別	遺　構	色　調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
108－01	硯			14.2	5.8	0.9				F－2,G－2
108－02	硯加工品		暗灰	5.3	0.8					F－2
108－03	砥石加工品		灰	3.1	3.4	0.5				G－3
108－04	土錘			5.1	1.3					F－2
108－05	砥石			9.5	3.1	1.5				E－3
109－01	不明青銅製品			2.2	2.7	1.0				F－2
109－02	不明青銅製品			1.9	2.1	0.8				F－3
109－03	不明青銅製品			3.2	1.3	0.6				G－2
109－04	青銅製品			3.5	3.8	0.1				F－3
109－05	不明青銅製品			3.5	2.5	0.5				F－1
109－06	鉄製釘			10.4	1.0	1.1				E－3
109－07	鉄製釘			5.6	0.5	0.5				G－3
109－08	鉄製釘			7.8	1.3	1.1				B－2
109－09	鉄製鎹			5.0	3.2	0.5				F－1
109－10	鉄製釘			6.7	0.6	0.6				F－1
109－11	鉄製釘			6.4	0.6	0.4				E－1
109－12	鉄製釘			6.5	0.5	0.5				F－1
109－13	鉄製釘			9.3	0.7	0.4				F－1
109－14	鉄製釘			4.7	0.5	0.5				G－2
109－15	鉄製釘			4.2	0.5	0.3				F－2
110－01	鉄製釘			4.7	0.7	0.6				F－2
110－02	鉄製刀			8.0	1.8	0.4				F－2
111－01	白磁碗Ⅳ１ａ類		灰黄白	(16.4)	(6.1)	7.0	(17.0)	0.9	7.6	F－3,G－3
111－02	白磁皿Ⅳ２ａ類		灰白	(10.0)			(10.0)			E－1
111－03	白磁皿Ⅷ１ａ類		灰白	(9.8)	4.1	2.3	(9.8)			G－3
111－04	白磁皿Ⅸ１ｄ類		灰白	(11.4)	6.4	2.9	(11.4)			F－1
111－05	白磁皿Ⅸ１ｃ類		灰白	(11.4)	6.5	3.4	(11.4)			F－2
111－06	龍泉窯系青磁碗Ⅰ３類		淡黄緑	(17.8)		(3.2)	(17.8)			G－3
111－07	龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂｃｄ類		淡灰緑							E－2
111－08	龍泉窯系青磁小碗Ⅲ１類		緑青							F－3
111－09	龍泉窯系青磁坏Ⅲ３類		青緑							H－2
111－10	龍泉窯系青磁坏Ⅲ５ｂ類		にぶい緑青	(11.0)	(6.9)	4.0	(11.0)	1.0	(6.9)	F－1
111－11	同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類		オリーブ黄	(11.6)	(5.0)	2.4	(11.6)			G－3
111－12	龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｄ類		淡緑青灰		(5.5)			0.9	(5.5)	G－3
111－13	龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｃ類		オリーブ灰	(15.8)	5.3	6.6	(15.8)	0.6	5.3	E－2
111－14	龍泉窯系青磁碗Ⅲ２類		緑灰	(13.4)	(13.7)	6.1	(13.4)	0.8	(3.7)	E－2
111－15	褐釉壺（茶入）		暗褐	(5.4)			(10.8)			E－3
111－16	白磁水注or四耳壺		灰白	(10.6)		6.9				F－2
111－17	白磁水注or四耳壺		灰白							G－3
111－18	青白磁合子蓋		緑白	(6.0)		1.4	(6.0)			H－3
111－19	二彩盤		暗緑							F－2
111－20	白磁碗Ｂ類（枢府系）		灰白	(16.6)			(16.6)			H－2
111－21	青白磁小壺蓋		灰白		(1.6)		(3.4)			G－2
112－01	須恵質擂鉢		灰	(29.0)	(11.6)	9.5	(30.2)			F－2,3
112－02	須恵質捏鉢		黒灰	(20.0)	(10.0)	6.4	(21.0)			F－2
112－03	須恵質擂鉢		灰							F－2
112－04	瓦質風炉		にぶい橙							G－3
112－05	常滑窯甕		暗赤褐							E－2
112－06	瓦質火鉢		にぶい橙	(30.0)			33.4			G－2
112－07	白色土師器埦（吉備系）		灰白	(11.2)	(4.2)	2.8	(11.2)	0.5	(4.2)	F－2
112－08	白色土師器埦（京都系）		灰黄	(12.9)		(2.9)	(13.0)			E－2
112－09	土師器坏		橙	(13.3)	(7.7)	3.2	(13.3)			E－3
112－10	土師器坏		にぶい橙	(14.9)	9.6	2.9	(14.9)			F－2
112－11	土師器坏		にぶい橙	(12.7)	9.2	3.0	(12.9)			E－3
113－01	砥石		淡黄	6.6	4.7	1.7				F－1
113－02	滑石加工品			5.3	4.2	1.8				H－3
114－01	青銅製品			3.3	0.5	0.2				G－2
114－02	不明青銅製品			1.1	1.0	0.7				F－3
114－03	青銅製仏			3.7	1.3	0.3				E－3
114－04	鉄製釘			7.0	0.8	0.7				F－1
114－05	鉄製釘			6.5	0.7	0.8				G－3
114－06	青銅製鈴			2.9	2.6	2.5				H－2
115－01	白磁碗Ⅱ1，2ａ類		灰黄白	(14.8)			(15.0)			E－2,3
115－02	白磁碗Ⅸ類		灰白		(5.2)			0.6	(5.2)	E－2
115－03	白磁碗Ⅶ類		灰白							E－2
115－04	白磁皿Ⅷ類		灰白							E－2
115－05	龍泉窯系青磁坏Ⅳ類		明青緑	(12.0)			(12.0)			E－2
115－06	同安窯系青磁皿Ⅰ２ｂ類		にぶい黄	11.0	5.1	2.0	11.0			E－2
115－07	白磁小碗Ｄ類		白							H－3
115－08	青白磁合子蓋		明青白							G－3
115－09	青白磁壺		明青白							E－2
115－10	褐釉壺		淡褐							G－2
115－11	黄釉盤		黄褐	(40.4)				(40.4)		E－2
115－12	黄釉盤		黄褐							E－2
115－13	黒釉碗（天目碗）		黒	(12.0)	4.4	6.1	(12.0)	0.4	4.4	E－3
115－14	黒釉碗（天目碗）				(4.8)	4.4		0.6		G－3
115－15	黒釉碗（天目碗）		黒褐							G－2
115－16	瓦質火鉢		灰	(39.0)			(45.0)			E－2
115－17	須恵質捏鉢		暗灰	(15.0)	(6.0)	5.8	(16.4)			E－2

図版番号	種別	遺構	色調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
115—18	瓦器埦		暗灰	(16.3)	(8.6)	4.6				E—2,3
115—19	瓦質火鉢		にぶい褐							G—3
116—01	瓦質火鉢		暗灰、灰	(33.0)	(21.6)	19.4	(34.0)			G—3他
116—02	土師器皿		にぶい橙	6.8	5.4	1.3	6.9			E—3
116—03	土師器皿		にぶい橙	8.5	6.3	1.5	8.5			E—3
116—04	土師器坏		黄橙	12.4	7.6	4.0	12.4			F—2
116—05	白色土師器埦（吉備系）		灰白	(11.8)						F—2
116—06	滑石加工品									E—1
116—07	硯			2.4	7.6	2.1				E—3
117—01	鉄製品	焼土下		29.8	0.8	0.8				E—3
117—02	鉄製釘			5.7	0.5	0.6				E—2
117—03	鉄製品（狩俣）			7.8	2.7	0.9				E—3
117—04	鉄製刀			7.7	2.2	0.7				F—3
117—05	鉄製刀			6.8	2.5	0.3				F—3
118—01	白磁皿Ⅸ１ａ類		灰白	(7.9)	(4.6)	1.5	(7.9)			E—1
118—02	初期高麗青磁碗		オリーブ灰					0.5		F—2
118—03	同安窯系青磁碗Ⅰ１ｂ類		オリーブ灰	(16.4)			(16.6)			F—3
118—04	龍泉窯系青磁碗Ⅰ５ｂｃｄ類		明灰緑	(13.6)			(13.6)			E—3
118—05	龍泉窯系青磁碗Ⅰ６ｃ類		暗青緑							F—2
118—06	龍泉窯系青磁碗Ⅳ類		にぶい青緑	(14.4)			(14.4)			G—2
118—07	龍泉窯系青磁皿Ⅰ１ｂ類		明灰緑	(12.8)	3.6	3.3	(12.8)			F—3
118—08	龍泉窯系青磁坏Ⅲ３類		緑青							G—4
118—09	龍泉窯系青磁坏Ⅳ類		明緑灰							G—2
118—10	青白磁合子蓋		明青白	(4.7)		1.5	(4.7)			H—2
118—11	白磁馬上杯Ｂ類（枢府系）		灰白	(8.4)			(8.4)			F—3
118—12	白磁八角形坏		灰黄白	(7.8)	(3.0)	(2.6)	(7.9)	0.5	2.0	F—2
118—13	越州窯系青磁壺		オリーブ灰		(8.2)			1.0	(8.2)	F—3
118—14	黒釉碗（天目碗）		黒		(4.4)			0.8	(4.4)	H—3
118—15	須恵質甕		灰							D—3他
118—16	須恵質壺or甕		灰							H—3
118—17	須恵質擂鉢		灰							E—3他
118—18	須恵質壺		灰	(22.0)						F—3
118—19	瓦質鉢		灰							H—2
118—20	土師器皿		にぶい橙	8.7	7.0	1.5	8.8			E—3
118—21	土師器皿		にぶい橙	7.4	6.0	1.1	7.4			G—3
119—01	瓦質火鉢		灰		(17.0)			2.8		D—3他
119—02	滑石加工品			(13.0)	(7.4)	5.6	(13.6)			G—3
119—03	滑石加工品			10.0	3.7	1.3				E—3
119—04	滑石加工品			(7.6)	4.8	1.7				E—3
120—01	青銅製品			2.5	2.5	0.1				G—3
120—02	鉄製釘			4.4	0.5	0.7				G—2
120—03	鉄製釘			4.9	1.4	1.1				F—3
121—01	龍泉窯系青磁碗Ｂ Ⅲ類		オリーブ灰	(14.2)			(14.2)			E—2
121—02	青白磁小壺		明青白		(6.1)					G—3
121—03	二彩盤		暗緑、褐							F—3
121—04	須恵質捏鉢		灰							E—1
121—05	土師器皿		橙	(8.2)	(6.7)	1.3				G—3
122—01	青銅製笄			15.2	1.5	0.4				F—3
123—01	白磁碗Ⅰ類		灰白							F—3
123—02	白磁碗Ⅱ３ｂ、４ｂ類		浅黄							E—2
123—03	白磁碗Ⅴ４ｂ類		灰白	(16.6)			(16.6)			F—2
123—04	白磁碗Ⅴ２ａ類		明オリーブ	(18.0)			(18.0)			E—3
123—05	白磁碗Ⅸ２類		灰白							B—2
123—06	白磁碗Ｂ類（枢府系）		明灰白	(18.6)			(18.6)			D—2
123—07	白磁皿Ⅲ１類		灰オリーブ	(10.0)	(4.1)	2.7	(10.0)	0.4	(4.1)	D—2
123—08	白磁皿Ⅳ１ｂ類		灰オリーブ		3.5				3.5	C—3
123—09	白磁皿Ⅷ１ａ類		灰オリーブ	(9.7)	(4.1)	2.3	(9.7)			F—2
123—10	白磁皿Ⅷ１ａ類		灰オリーブ	(10.2)	(7.6)	1.7	(10.2)			F—2
123—11	白磁皿Ⅷ類		灰オリーブ							F—3
123—12	白磁皿Ⅷ１ａ類		灰オリーブ	10.4	3.5	2.2	10.4			F—2
123—13	白磁皿Ⅸ１ｂ類		灰白	(10.6)	(6.3)	3.1	(10.6)			G—2
123—14	白磁皿Ⅸ１ｃ類		灰白	(11.2)	6.3	3.4	(11.2)			E—3
123—15	白磁皿Ｄ類		灰白	(10.2)	(4.3)	2.4	(10.2)	0.5	(4.3)	F—2
123—16	越州窯系青磁碗Ⅰ５類		オリーブ灰							F—2
123—17	高麗青磁碗		オリーブ							F—3
123—18	高麗青磁碗		オリーブ							E—1
123—19	高麗青磁碗		淡緑青黄	(19.3)			(19.3)			G—2
123—20	高麗青磁碗		オリーブ灰							G—3
123—21	初期高麗青磁碗		明緑灰							F—3
124—01	同安窯系青磁碗Ⅰ１ｂ類		にぶい黄緑	(17.2)	5.7	7.8	(17.2)	1.0	5.7	F—3
124—02	同安窯系青磁碗Ⅰ類		オリーブ灰		5.4			0.9	5.4	F—2
124—03	同安窯系青磁碗Ⅰ類		灰オリーブ		5.2			0.8	5.2	F—2
124—04	同安窯系青磁碗Ⅲ１ａ類		灰オリーブ	17.7	(5.1)	7.8		1.4		E—2
124—05	龍泉窯系青磁碗Ⅰ類		灰オリーブ		5.8			0.7	5.8	E—2
124—06	龍泉窯系青磁碗Ⅰ４ｃ類		オリーブ灰	(14.6)			(14.6)			G—2
124—07	龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類		淡青緑		6.0	(3.8)		0.9	6.0	G—2
124—08	龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類		明緑灰							F—3
124—09	龍泉窯系青磁碗		灰白							E—2
124—10	龍泉窯系青磁碗Ⅰ２類		灰白	(15.4)	(6.0)	6.5	(15.4)	0.8	(6.0)	F—4

図版番号	種　別	遺　構	色　調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
124－11	龍泉窯系青磁碗Ⅰ3類		淡暗緑	(15.4)			(15.4)			E－1
124－12	龍泉窯系青磁碗Ⅰ3類		淡暗緑	(18.8)			(18.8)			G－3
124－13	龍泉窯系青磁碗Ⅰ3類		淡暗緑	(19.0)			(19.0)			E－3
125－01	龍泉窯系青磁碗Ⅰ4ｂ類		オリーブ灰	(15.8)	(5.8)	6.9	(15.8)	1.0	(5.8)	F－2
125－02	龍泉窯系青磁碗Ⅰ4ｂ類		オリーブ灰	(16.2)	6.3	7.5	(16.2)	1.0	6.3	F－2
125－03	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5ａ類		オリーブ							E－2
125－04	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5ｂ類		青緑	(17.9)	5.7	7.5	(17.9)	0.9	(5.9)	F－2
125－05	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5ｂｃｄ類		オリーブ							F－2
125－06	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5ｂｃｄ類		オリーブ	(15.6)			(15.6)			E－2
125－07	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5ｂｃｄ類		淡緑青	(17.8)			(17.8)			F－2
125－08	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5ｃ類		灰緑		5.4			0.9	5.4	E－3
125－09	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5ｃ類		オリーブ灰		5.4			1.0	5.4	E－2
125－10	龍泉窯系青磁碗Ⅰ6ａ類		オリーブ灰	(13.4)			(13.4)			G－2
125－11	龍泉窯系青磁碗Ⅰ6ｂ類		オリーブ灰	(12.8)			(12.8)			G－2
125－12	龍泉窯系青磁碗Ⅲ2類		灰緑	12.8	3.5	5.6	12.8	0.5	3.5	E－2
125－13	龍泉窯系青磁碗Ⅲ2類		橙	16.3	4.5	7.2	16.3	0.9	4.5	E－2
125－14	龍泉窯系青磁碗Ⅲ1類		灰緑							E－2
125－15	龍泉窯系青磁小碗ＢⅡ類		オリーブ灰							F－3
125－16	龍泉窯系青磁碗ＢⅢ類		オリーブ灰							F－2
125－17	龍泉窯系青磁碗ＣⅡ類		にぶい緑青	(15.5)			(15.5)			G－2
125－18	龍泉窯系青磁碗Ⅳ類		暗緑	(15.7)	7.1	7.4	(15.7)	1.0	7.1	F－3
126－01	龍泉窯系青磁碗Ｃ類		緑青	(13.4)			(13.4)			F－2
126－02	龍泉窯系青磁小碗Ⅰ類		オリーブ灰		4.0				4.0	F－3
126－03	龍泉窯系青磁小碗Ⅲ類		灰緑青		(3.0)			0.7	3.0	E－1
126－04	龍泉窯系青磁小碗Ⅳ類		灰緑青	(12.2)	(3.3)	5.1	(12.2)	0.7	(3.3)	E－2
126－05	同安窯系青磁皿Ⅰ1ｂ類		オリーブ灰	10.3	4.6	2.0	10.3			F－2
126－06	同安窯系青磁皿Ⅰ2ａ類		オリーブ灰	(10.3)	(4.4)	2.0	(10.3)		4.4	E－2
126－07	龍泉窯系青磁皿Ⅰ2ｄ類		明緑青	(9.8)			(9.8)			F－2
126－08	同安窯系青磁皿Ⅰ1ｂ類		オリーブ灰	(10.3)	4.6	3.2	(10.3)			F－1
126－09	同安窯系青磁皿Ⅰ1ｂ類		オリーブ灰							F－3
126－10	同安窯系青磁皿Ⅰ1ｂ類		オリーブ灰	(10.8)	(5.1)	2.3	(10.8)			G－3
126－11	龍泉窯系青磁皿Ⅰ2ｃ類		オリーブ灰	(10.7)	(3.6)	2.7	(10.6)			E－1
126－12	龍泉窯系青磁皿Ⅰ2ｂ類		黄オリーブ	(11.4)	(5.0)	2.4	(11.4)			F－2
126－13	龍泉窯系青磁小碗Ⅳ類		灰緑	(12.6)			(12.6)			F－3
126－14	白磁水注or四耳壺		灰オリーブ	(11.6)						E－1
126－15	白磁水注or四耳壺		灰白							F－3
126－16	白磁水注or四耳壺		灰白							F－3
126－17	青白磁合子蓋		淡青白	(6.0)		1.6	(6.0)			F－3
126－18	青白磁合子蓋		明青白							F－3
126－19	白磁合子蓋		灰白	(4.8)	(4.3)	(1.2)	(4.3)			F－2
126－20	青白磁合子身		灰白							F－3
126－21	青白磁合子身		灰白		3.3					C－3
126－22	白磁小壺身		灰白							C－3
126－23	青白磁小壺蓋		灰白	(4.8)			(4.8)			F－3
126－24	青白磁小壺身		にぶい灰緑	(4.2)			7.4			F－3
126－25	白磁小壺身		灰白							F－2
127－01	龍泉窯系青磁盤Ⅲ類		オリーブ	(22.4)						E－2
127－02	龍泉窯系青磁盤Ⅳ類		暗緑青							F－3
127－03	龍泉窯系青磁盤Ⅳ類		淡暗緑	(30.5)			(31.0)			E－2
127－04	龍泉窯系青磁盤Ⅲ類		青緑		(10.4)			1	(10.4)	E－2
127－05	龍泉窯系青磁盤Ⅲ類		にぶい暗緑	23.1			23.1			H－3
127－06	龍泉窯系青磁盤Ⅳ類		にぶい緑青							C－3
127－07	龍泉窯系青磁酒会壺Ⅲ類		緑青							E－1
127－08	青白磁碗		灰青白	(5.0)						F－2
127－09	青白磁碗		明灰白	(12.4)			(12.4)			G－2
127－10	青白磁碗		灰白							E－3
127－11	青白磁碗		明青白							E－3
127－12	青白磁皿		明緑白		(4.0)			0.3	(4.0)	G－2
127－13	青白磁皿		灰緑白							F－3
127－14	青白磁梅瓶		青白							F－3
127－15	青白磁梅瓶		青白							F－3
127－16	青白磁梅瓶		青白							E－1
127－17	越州窯系青磁小壺		オリーブ灰							F－2
127－18	龍泉窯系青磁小壺Ⅳ類		オリーブ灰		5.4		(7.0)	0.9	5.4	E－2
127－19	褐釉壺（茶入）		暗褐	(3.2)	(4.2)	(4.8)	(5.6)			F－3
127－20	黒釉壺		黒	(10.0)			(15.9)			E－2
127－21	黒釉壺		黒							E－1
127－22	黒釉壺		黒							F－2
127－23	褐釉壺		暗褐							F－2
127－24	褐釉壺		暗褐	(9.4)		(2.9)				E－2
128－01	黒釉碗（天目碗）		黒褐	(10.8)		(5.5)	(10.8)			E－2
128－02	黒釉碗（天目碗）		褐							G－2
128－03	黄釉壺		黄褐							F－2
128－04	黄釉盤		黄褐							F－2
128－05	黄釉盤		黄褐							F－1
128－06	緑釉盤		暗緑							E－2
128－07	緑釉盤		暗緑							D－2
128－08	瀬戸窯合子		暗灰緑		(4.2)		(6.2)			E－1
128－09	瀬戸窯水注		淡緑白							E－1

図版番号	種別	遺構	色調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
128－10	須恵質壺or甕		灰							F－3,F－2
128－11	須恵質壺or甕		灰							E－2
128－12	須恵質壺or甕		灰							F－3
128－13	須恵質捏鉢		灰	(30.0)			(31.0)			F－3
128－14	須恵質捏鉢		灰	(31.0)			(31.0)			G－2,F－2
128－15	須恵質捏鉢		灰白	(28.0)			(28.0)			G－2
128－16	須恵質擂鉢		灰		15.3					E－2
128－17	須恵質捏鉢		灰	(30.2)	(11.2)	9.9	(31.0)			E－2,D－2
129－01	須恵質擂鉢		暗青灰							E－2
129－02	常滑窯甕		にぶい赤褐							G－2
129－03	須恵質鉢		灰白	(45.5)	(30.2)	8.0	40.3			E－2
129－04	瓦質火鉢		灰							E－2
129－05	瓦質火鉢		灰							F－3
129－06	須恵質鉢		灰							F－2
129－07	瓦質火鉢		灰、青黒							F－3
129－08	瓦質火鉢		黒							G－2
129－09	須恵質鉢		灰							F－2
129－10	瓦質火鉢		灰							E－2
129－11	瓦質風炉		黒、灰							E－2
129－12	瓦質火鉢		にぶい黄橙							G－2
130－01	土師器坏		橙	(19.0)	(13.8)	3.2	(19.0)			F－2
130－02	土師器坏		橙	(14.1)	(8.8)	3.0	(14.1)			F－2
130－03	土師器坏		橙	13.1	9.3	4.3	13.2			E－2
130－04	土師器皿		橙	7.8	5.6	1.6	8.1			E－2
130－05	土師器皿		にぶい橙	(7.7)	(6.0)	2.0				E－2
130－06	土師器皿		橙	8.0	6.9	1.1	8.3			E－2
130－07	土師器坏		橙	(11.9)	7.1	3.8	(12.2)			E－2
130－08	土師器皿		浅黄橙	7.8	7.0	1.5	8.1			E－2
130－09	土師器皿		にぶい橙	(9.0)	(6.2)	2.0	(9.0)			E－2
130－10	土師器皿		浅黄橙	7.7	6.8	1.2	8.1			E－2
130－11	土師器皿		にぶい橙	(8.5)	(6.0)	1.5	(8.7)			F－2
130－12	土師器皿		橙	7.8	7.4	1.6	8.1			F－2
130－13	白色土師器皿（京都系）		灰白	(4.9)		1.6				E－2
130－14	白色土師器皿（京都系）		灰白	(7.4)		1.7	7.6			F－2
130－15	白色土師器埦（吉備系）		灰白	(11.0)						F－2
130－16	白色土師器埦（吉備系）		灰白	(10.9)						F－2
130－17	土師器埦（吉備系）		浅黄橙	(12.0)			(12.1)			E－2
130－18	瓦器皿		灰黄褐	(8.6)	(6.0)	2.5	(9.0)			F－2
130－19	瓦器埦		暗灰、灰白	(13.1)						F－2
130－20	滑石製石鍋			(13.0)			(15.8)			G－2
130－21	滑石製石鍋									F－2
130－22	滑石製石鍋			(4.0)	(2.2)	1.4	(4.4)			G－2
130－23	滑石製石鍋			(22.4)			(25.0)			E－1
130－24	滑石製石鍋			(21.0)						E－2
130－25	滑石加工品			7.0	5.0	1.6				E－1
130－26	滑石加工品			3.5	3.7	0.7				F－2
130－27	滑石加工品			4.8	2.2	1.2				F－3
130－28	滑石加工品			5.6	2.6	2.1				F－2
131－01	滑石加工品		灰赤	5.4	4.2	1.1				E－1
131－02	滑石加工品		褐灰	5.5	3.3	1.0				E－1
131－03	滑石加工品		灰白	3.0	2.0	0.4				F－3
131－04	滑石加工品（石錘）			4.1	2.2	1.1				F－3
131－05	滑石加工品（念持仏）			4.5	2.6	1.0				E－3
131－06	硯		暗灰	2.5	2.7	0.3				G－2
132－01	不明青銅製品			3.2	1.2	0.6				G－2
132－02	不明青銅製品			3.0	1.3	0.4				F－2
132－03	不明青銅製品			3.1	1.3	0.6				E－3
132－04	不明青銅製品			3.3	1.5	0.6				B－3
132－05	鋲状青銅製品			1.8		1.7				G－2
132－06	鋲状青銅製品			2.0	1.5	0.3				G－2
132－07	不明青銅製品			1.5	1.8	0.7				F－3
132－08	青銅製品（耳掻き）			9.7	0.6	0.4				G－2
132－09	青銅製品			3.4	2.7	0.3				F－2
132－10	青銅製品			3.5	1.5	0.2				E－1
132－11	青銅製品（把手）			3.5	1.6	0.3				D－3
132－12	不明青銅製品			(3.3)	(3.0)	0.5				B－2
132－13	青銅製水滴			3.1	3.1	1.7				G－2
132－14	青銅製品			2.4	0.6	0.3				G－2
132－15	鉄製刀			6.1	2.3	1.2				F－3
132－16	鉄製刀			3.7	2.5	1.1				E－2
132－17	鉄製刀			4.2	1.2	0.6				E－2
133－01	鉄製刀			14.9	2.5	0.6				F－2
133－02	鉄製刀			14.7	2.2	0.7				E－2
133－03	鉄製刀			13.0	1.9	0.3				E－2
133－04	鉄製刀			10.2	2.8	0.3				F－2
133－05	鉄製刀			6.9	2.0	0.9				G－2
133－06	鉄製刀			4.9	3.0	0.3				F－2
133－07	鉄製刀			8.2	2.5	0.5				F－2
133－08	鉄製刀			10.9	1.8	0.3				E－2

図版番号	種別	遺構	色調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
133—09	錐状鉄製品			12.0	0.6	0.6				E—2
133—10	鉄製刀			12.8	1.6	0.3				E—2
133—11	鉄製刀			8.8	1.3	0.3				E—2
133—12	鉄製品（鎧）			3.1	3.1	0.5				E—2
134—01	鉄製釘			11.8	1.2	1.1				C—3
134—02	鉄製釘			8.0	0.8	0.8				E—3
134—03	鉄製釘			6.8	1.0	0.9				E—3
134—04	鉄製釘			7.0	0.7	0.7				E—2
134—05	鉄製釘			8.5	0.3	0.3				E—2
134—06	鉄製釘			4.7	0.7	0.6				E—2
134—07	鉄製釘			6.5	0.8	0.4				G—2
134—08	鉄製釘			6.3	0.4	0.3				E—2
134—09	鉄製釘			4.2	0.4	0.3				F—3
134—10	鉄製釘			5.3	0.5	0.4				E—2
134—11	鉄製釘			4.3	1.0	0.9				F—3
134—12	鉄製釘			7.4	0.4	0.7				F—3
134—13	鉄製釘			7.2	0.4	0.4				E—1
134—14	鉄製釘			5.5	0.5	0.4				F—2
134—15	鉄製釘			5.1	0.8	0.7				E—3
135—01	鉄製釘			6.5	0.6	0.6				F—2
135—02	鉄製釘			5.6	0.7	0.6				F—2
135—03	鉄製釘			4.3	1.0	0.8				F—2
135—04	鉄製釘			5.5	0.6	0.4				E—3
136—01	白磁碗Ⅱ3，4b類		灰白							E—3
136—02	白磁碗Ⅱ3a，4a類		オリーブ黄							C—2
136—03	白磁碗Ⅴ2a類		灰白							B—2
136—04	白磁碗Ⅴ2b類		灰黄白							B—2
136—05	白磁碗Ⅴ3類		灰黄白							B—3
136—06	白磁碗Ⅶ類		灰白							D—2
136—07	白磁碗Ⅴ4a類		灰オリーブ	(17.5)			(17.5)			F—2
136—08	白磁碗Ⅵ類		灰オリーブ							F—1
136—09	白磁碗Ⅸ類		明青白		(4.8)			0.6	(4.8)	
136—10	白磁碗Ⅶ類		灰オリーブ		(6.0)			1.0	(6.0)	D—3
136—11	白磁皿Ⅸ1a類		灰白	7.5	4.5	1.3	7.5			F—3
136—12	白磁皿Ⅸ1b類		灰白	(10.0)	(6.6)	2.0	(10.0)			D—2
136—13	白磁皿Ⅲ2類		灰白		4.1			0.5	4.1	E—1
136—14	白磁皿Ⅵ1b類		灰黄白	(10.6)	(4.0)	2.3	(10.6)		2.3	B—3
136—15	白磁皿Ⅱ1a類		灰黄白	(11.9)	(5.0)	3.1	(11.9)	0.5	(5.0)	B—3
136—16	白磁皿B類（枢府系）		灰青白	(12.5)			(12.5)			E—2
136—17	白磁皿E類		白							E—3
136—18	白磁碗B類（枢府系）		灰青白							E—2
136—19	白磁小皿		灰黄白							D—3
136—20	白磁小皿		灰黄白							D—3
136—21	同安窯系青磁碗Ⅰ1b類		にぶい黄緑	(16.2)	4.8	6.7	(16.2)	0.8	4.8	G—3
136—22	龍泉窯系青磁碗Ⅰ3類		オリーブ灰	(15.8)	6.2	7.0	(15.8)	1.0	6.2	G—3
136—23	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5bcd類		オリーブ	(16.0)			(16.0)			E—2
136—24	龍泉窯系青磁碗Ⅰ5c類		明緑灰	(15.6)	(5.6)	6.7	(15.6)	0.9	(5.0)	E—2
137—01	龍泉窯系青磁碗Ⅲ1類		青緑							D—3
137—02	龍泉窯系青磁碗Ⅲ2類		青緑	(15.8)	(4.6)	6.9	(15.8)	1.0	(4.6)	E—2
137—03	青磁碗BⅣ類		淡青緑	(14.4)			14.4			E—3
137—04	龍泉窯系青磁碗Ⅳ類		オリーブ							G—3
137—05	龍泉窯系青磁碗Ⅳ類orD類		暗緑		(6.2)			1.2	(6.0)	F—1
137—06	龍泉窯系青磁坏Ⅳ類		オリーブ灰		(6.8)			0.3	(6.8)	D—2
137—07	青磁碗BⅣ類		オリーブ							E—3
137—08	龍泉窯系青磁小碗Ⅰ類		青緑		(4.4)			0.7	(4.4)	E—1
137—09	龍泉窯系青磁小碗Ⅲ2類		明青緑	(11.2)			(11.2)			D—2
137—10	龍泉窯系青磁小碗Ⅲ2類		緑青	(10.0)			(10.0)			E—1
137—11	同安窯系青磁皿Ⅰ1a類		灰オリーブ	11.1	5.0	1.9	11.1		5.0	F—2
137—12	同安窯系青磁皿Ⅰ2b類		灰オリーブ	(11.0)	(7.0)	1.8	(11.0)			
137—13	同安窯系青磁皿Ⅰ2b類		灰オリーブ	(11.3)	(5.1)	2.5	(11.3)		(5.1)	D—3
137—14	龍泉窯系青磁坏Ⅲ3類		緑青	(13.2)	(6.1)	3.8	(13.4)	0.8	(6.1)	
137—15	龍泉窯系青磁坏Ⅲ3類		青緑							C—2
137—16	青磁小碗（官窯？）		暗褐、青緑							G—2
137—17	龍泉窯系青磁坏Ⅲ4b類		緑青	(11.4)	5.1	3.5	(11.4)	0.6	5.1	E—1
137—18	龍泉窯系青磁坏Ⅲ～Ⅳ類		青緑	(12.6)			(12.6)			
137—19	白磁水注or四耳壺		灰オリーブ							D—2
137—20	白磁蓋		灰白							D—3
137—21	青白磁合子蓋		淡青白	(7.4)		1.4				G—3
137—22	白磁合子蓋		灰白							E—1
137—23	青白磁合子身		淡緑白	(4.4)			(5.5)			F—2
137—24	青白磁合子身		灰白	(5.5)	(4.0)	2.1	(7.0)			D—3
137—25	龍泉窯系青磁盤Ⅲ類		オリーブ		(10.6)				(10.0)	D—3
137—26	青白磁碗		白青							B—2
137—27	青白磁碗		白青							F—2
138—01	青白磁碗		明青白							E,F—3
138—02	白磁坏B類（枢府系）		灰白	(13.0)			(13.0)			E—2
138—03	白磁馬上坏B類（枢府系）		灰白	(7.8)			(7.8)			D—2
138—04	白磁坏D類		灰黄白							C—2
138—05	白磁坏D類		灰白							C—2

図版番号	種別	遺構	色調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
138－06	褐釉皿		暗褐	12.0						
138－07	黒釉壺		黒		(5.8)	(1.6)				D－2
138－08	褐釉鉢		緑褐							B－2
138－09	褐釉壺		暗緑、暗褐							C－2
138－10	黄釉盤		橙							E・F－3
138－11	瀬戸窯入子		淡灰	(7.6)			(7.6)			H－2
138－12	瀬戸窯筒形香炉		淡緑白	(9.4)						B－2
138－13	瀬戸窯仏供		灰褐	(8.4)			(8.4)			E－1
138－14	須恵質捏鉢		灰	19.0	4.6	6.0	19.0			
138－15	須恵質壺or甕		灰							D－2
138－16	須恵質壺or甕		青灰							D－2
138－17	須恵質捏鉢		灰	(28.0)			(28.0)			E－1
138－18	須恵質擂鉢		灰		(14.0)					D－2
138－19	須恵質捏鉢		黒、灰	(20.0)	(11.0)	6.8	20.8			E－1
138－20	須恵質擂鉢		灰	(30.0)						D－3
139－01	須恵質擂鉢		灰	(29.0)	(19.4)	12.8	30.5			D－2他
139－02	須恵質壺		暗灰	(24.8)						G－3
139－03	須恵質壺		灰	(26.0)						D－2
139－04	須恵質壺		淡灰	(22.0)						F－1
139－05	常滑窯甕		暗赤褐							E－2
139－06	常滑窯甕		暗赤褐							D－2
139－07	瓦質小型鉢		黒、暗灰	(9.0)						G－2
139－08	瓦質鉢		暗褐	(20.0)						D－3
139－09	瓦質火鉢		にぶい橙							D－2
140－01	瓦質火鉢		にぶい黄橙							D－3
140－02	瓦質火鉢		橙							D－3
140－03	瓦質火鉢		灰褐							D－2
140－04	瓦質火鉢		にぶい橙							D－2
140－05	瓦質火鉢		暗灰							D－3
140－06	瓦質火鉢		暗灰							D－3
140－07	瓦質火鉢		暗灰							D－3
140－08	瓦質火鉢		暗灰		(25.0)					D－2
140－09	土師器坏		浅黄橙	16.0	9.8	3.8	16.0			E－3
140－10	土師器坏		浅黄橙	15.6	9.6	3.5	15.6			F－3
140－11	土師器坏		にぶい橙		9.4					G－3
140－12	土師器坏		橙	12.8	7.0	3.4	12.8			G－3
140－13	土師器坏		橙	(15.9)	(10.4)	3.7	(16.1)			F－1
140－14	高坏状土師器		にぶい橙	(8.7)						G－3
140－15	土師器皿		にぶい橙	9.9	7.7	1.5				F－2
140－16	土師器皿		にぶい橙	8.3	6.7	1.7	8.6			D－2
140－17	土師器皿		にぶい橙	8.9	7.2	1.6	9.3			D－2
140－18	土師器皿		橙	7.5	6.2	1.4	7.5			G－3
140－19	土師器皿		橙	8.3	5.7	1.7	8.6			D－2
140－20	土師器皿		灰褐	(10.0)	(6.7)	1.2	(10.0)			G－1
140－21	土師器皿		にぶい橙	(5.3)	4.9	1.6				D－2
140－22	土師器皿		にぶい橙	7.6	5.9	1.7	7.6			D－2
140－23	土師器皿		にぶい黄橙	7.4	7.1	1.5	7.8			E－1
140－24	土師器皿		にぶい黄橙	8.1	6.6	1.7	8.1			E－2
140－25	土師器皿		灰黄	(6.1)	(5.1)	2.0	(6.1)			F－2
140－26	土師器皿		橙	9.0	5.4	2.0	9.1			D－2
140－27	土師器皿		橙	7.6	6.5	1.8	7.6			G－3
141－01	瓦器埦		黒銀、灰	(17.6)	(8.0)	5.3	19.0	0.4	5.3	E－2
141－02	土師質不明具		灰褐、橙	10.0	5.2	1.4				F－1
141－03	滑石加工品			2.0	1.0	1.0				
141－04	滑石加工品			4.0	7.0	2.0				E－2
141－05	滑石加工品			7.0	3.0	2.2				C－2
141－06	滑石加工品			5.8	7.0	1.0				B－2
141－07	滑石加工品			13.6	2.4	1.9				
141－08	滑石加工品		褐灰	7.7	3.4	1.2				F－1
141－09	滑石加工品			4.4	3.8	0.7				
141－10	滑石加工品			2.2	2.2	1.4				G－3
141－11	滑石製温石			11.5	9.6	1.6				G－2
141－12	滑石加工品			3.0	6.0					
141－13	滑石製温石			9.0	5.3	1.5				A－2
141－14	滑石製紡錘車			6.0	1.0					G－2
142－01	滑石製石鍋			(23.0)			(23)			E－1
142－02	滑石製石鍋			(18.4)						
142－03	滑石製石鍋			(26.0)						E－1,F－1
142－04	漆器皿				(7.2)					
142－05	木器椀			13.6	8.0	4.7				
142－06	砥石			6.8	4.0	1.0				D－3
142－07	砥石加工品			3.5	1.2	0.6				C－3
142－08	砥石			5.8	4.4	2.0				D－2
142－09	土錘			4.2	1.0					D－2
143－01	鋲状青銅製品			2.0	1.6	1.9				D－2
143－02	鋲状青銅製品			2.3	2.0	2.2				B－2
143－03	不明青銅製品			5.2	1.5	0.3				B－2
143－04	青銅製品（装飾具）			9.1	1.1	0.5				E－1
143－05	青銅製品（装飾具）			6.0	0.5	0.2				G－3

図版番号	種　　別	遺　構	色　調	口径・タテ	底径・ヨコ	器高・アツミ	最大径	高台高	高台径	大グリッド
143—06	不明青銅製品			3.1	1.5	0.7				E—3
143—07	青銅製盤									E—2
143—08	青銅製鏡			4.0	2.7	0.5				F—1
143—09	青銅製品（装飾具）			4.9	0.9	0.2				D—3
143—10	鉄製武具			12.5	3.4	0.6				D—2
143—11	鉄製刀			7.0	2.4	0.5				D—2
143—12	鉄製刀			6.8	2.3	0.3				D—2
143—13	鉄製刀			10.0	1.2	0.3				E—1
144—01	鉄製品（狩俣）			7.6	1.7	0.7				E—2
144—02	鉄製品			4.1	2.9	0.4				B—2
144—03	鉄製品			3.7	7.4	0.6				G—3
144—04	鉄製釘			11.0	0.6	0.4				E—1
144—05	鉄製釘			6.2	0.7	0.8				F—2
144—06	鉄製釘			5.9	0.5	0.4				E—1
144—07	鉄製釘			5.9	0.4	0.4				E—1
144—08	鉄製釘			3.3	0.6	0.6				E—1
144—09	鉄製釘			3.8	0.7	0.6				
144—10	鉄製釘			6.1	0.7	0.6				F—2

参 考 文 献

木崎康弘編　1993『狩尾遺跡群』熊本県文化財調査報告書第131集

江本　直　　1993『柏木谷遺跡』熊本県文化財調査報告書第134集

水野哲郎　1998『二本木前遺跡』熊本県文化財調査報告書第167集

山本信夫　1983『太宰府条坊Ⅱ』太宰府の文化財第７集

山本信夫　1984『太宰府条坊Ⅲ』太宰府の文化財第８集

杉本尚雄　1959『中世の神社と社領－阿蘇氏の研究－』吉川公文館

本田秀行　1984『阿蘇南郷谷史覚書』

竹内理三編　1991『角川日本地名大辞典43熊本県』角川書店

松本雅明監修　1985『日本歴史地名大系第44巻熊本県の地名』平凡社

甲元真之・嶋津義昭編　1983『えとのす第22号特集・阿蘇／海と山と里の文化』新日本教育図書

「新・熊本の歴史」編集委員会編　1979『新・熊本の歴史３中世』熊本日日新聞社

工藤敬一・平野敏也　1997『図説　熊本県の歴史』河出書房新社

工藤敬一他　1999『熊本県の歴史』山川出版社

古森政次　1996「熊本県阿蘇郡白水村二本木前遺跡」『考古学年報』47

阿蘇品保夫　1999『阿蘇社と大宮司』一の宮町史　自然と文化　阿蘇選書②

阿蘇品保夫　1997「中世における阿蘇大宮司居館の変遷」『月刊考古学ジャーナルNo.415』ニュー・サイエンス社

水野哲郎・古森政次　1997「二本木前遺跡と祇園遺跡」『月刊考古学ジャーナルNo.415』ニュー・サイエンス社

長谷部楽爾編　1977『世界陶磁全集12宋』小学館

三上次男編　1981『世界陶磁全集13遼・金・元』小学館

長谷部楽爾監修　1995『中国の陶磁12日本出土の中国陶磁』平凡社

中世土器研究会編　1995『概説中世の土器・陶磁器』真陽社

森田勉・横田賢次郎　1978「太宰府出土の輸入中国陶磁器について」『九州歴史資料館研究論集』第４集

森田勉　1982「14～16世紀の白磁の形式分類と編年」『貿易陶磁研究』第２号

上田秀夫　1982「14～16世紀の青磁椀の分類」『貿易陶磁研究』第２号

山本信夫　1988「北宋貿易陶磁器の編年－大宰府出土例を中心として－」『貿易陶磁研究No.8』

山本信夫　1992「太宰府の陶磁器」貿易陶磁研究会1992年度九州大会資料

瀬戸市埋蔵文化財センター設立５周年記念シンポジウム　1996『古瀬戸をめぐる中世陶磁器の世界』資料

森田　稔　1986「東播系中世須恵器生産の成立と展開」『神戸市立博物館研究紀要第３号』

山村信榮　1990「大宰府出土の瓦質土器」『中近世土器の基礎研究Ⅵ』

徳永貞紹　1990「肥前における中世後期の在地土器」『中近世土器の基礎研究Ⅵ』

森　隆　1992「中世土器の生産にみる地域型の提唱と工人集団の系譜について」『中近世土器の基礎研究Ⅷ』

中島恒次郎　1992「大宰府における椀形態の変遷」『中近世土器の基礎研究Ⅷ』

木戸雅寿　1993「石鍋の生産と流通について」『中近世土器の基礎研究Ⅸ』

近江俊秀　1997「広域に流通した中世大和の土器」『中近世土器の基礎研究ＸⅡ』

網田龍生　1994「肥後における回転台土師器の成立と展開」『中近世土器の基礎研究Ｘ』

美濃口雅朗　1994「熊本県における中世前期の土師器について」『中近世土器の基礎研究Ｘ』

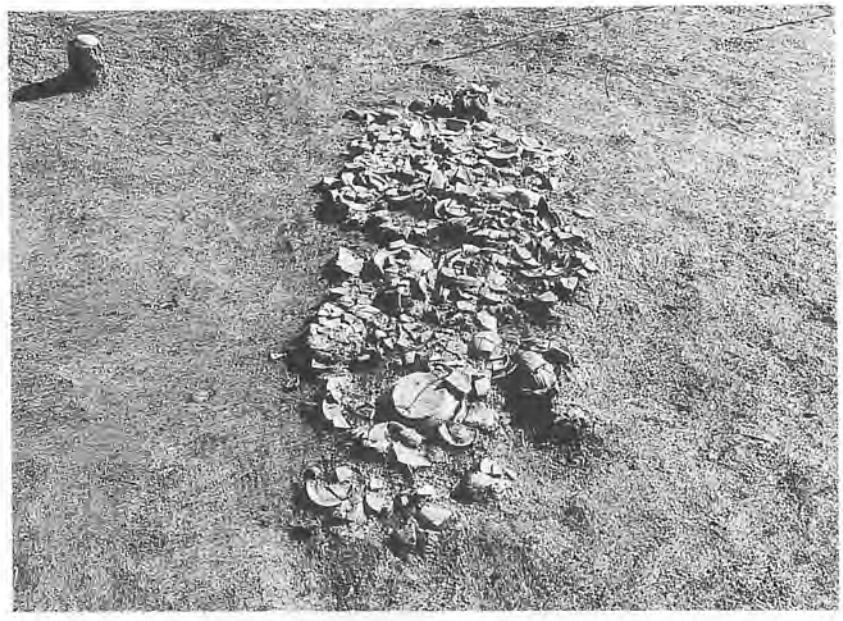
美濃口雅朗　1997「樺万丈窯跡の中世須恵器（１）」『肥後考古』10号

永井久美男編　1994『中世の出土銭』兵庫埋蔵銭調査会

写 真 図 版

（4）ＳＥ01

（5）ＳＥ02



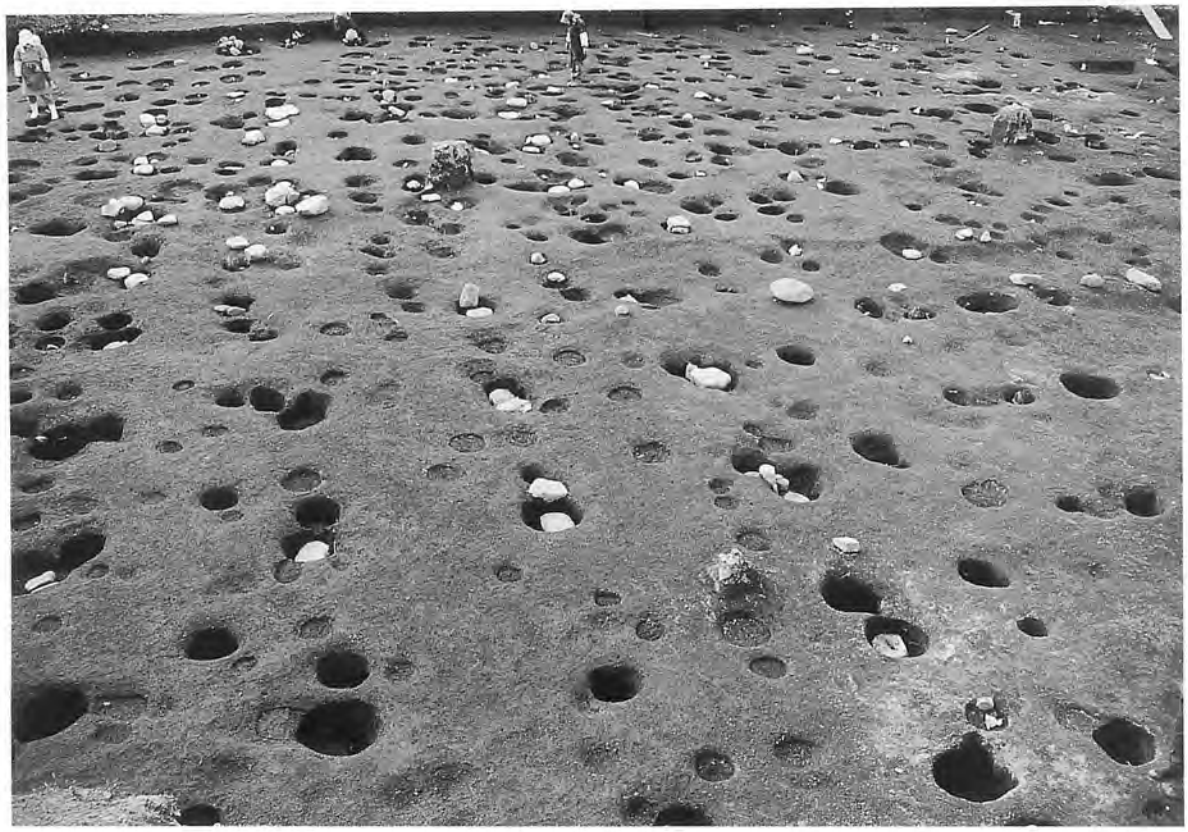
（6）
土器溜 1

（7）
土器溜 4

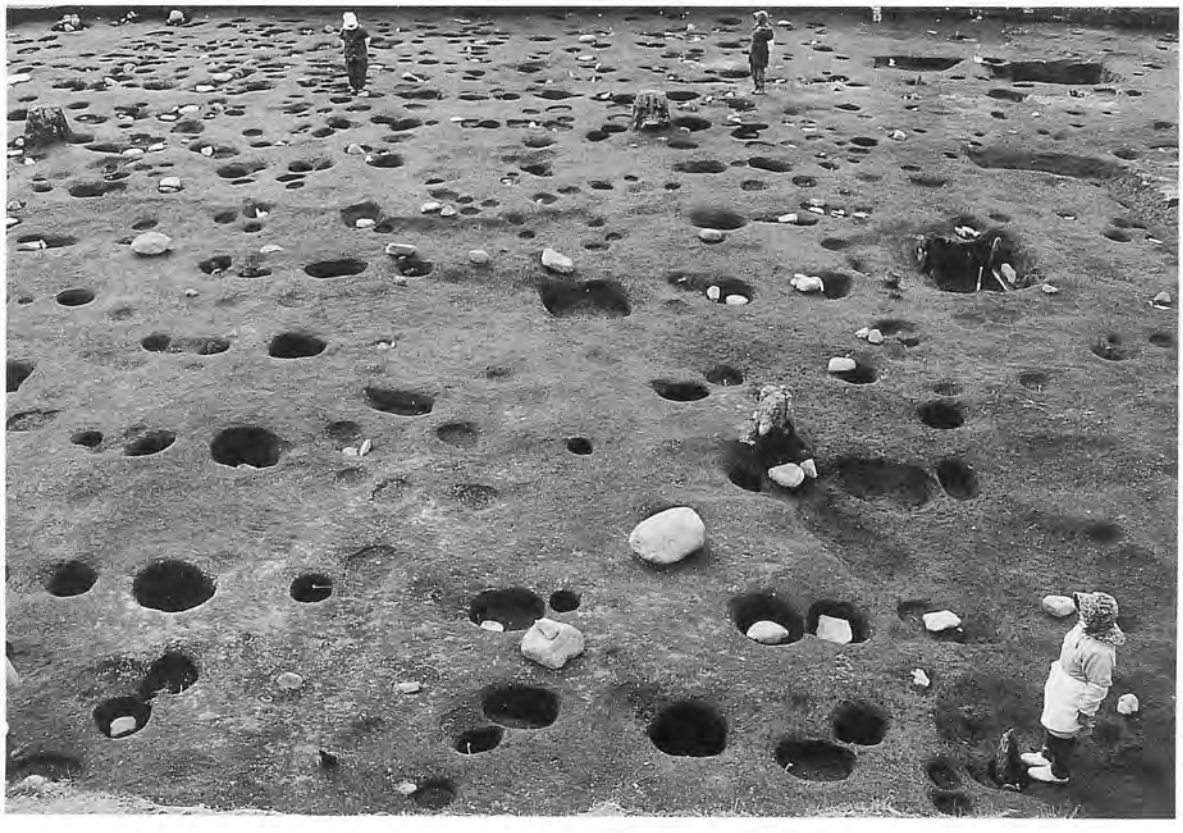
（8）
土器溜 6

（9）ＳＢ01

（10）ＳＸ01



(11) S B07, 08



(12) S B12, 13

(13) S B17

(14) S B18

(15) S B19

(16) S B21

(17) S B22

(18) S B23

(19) S B25

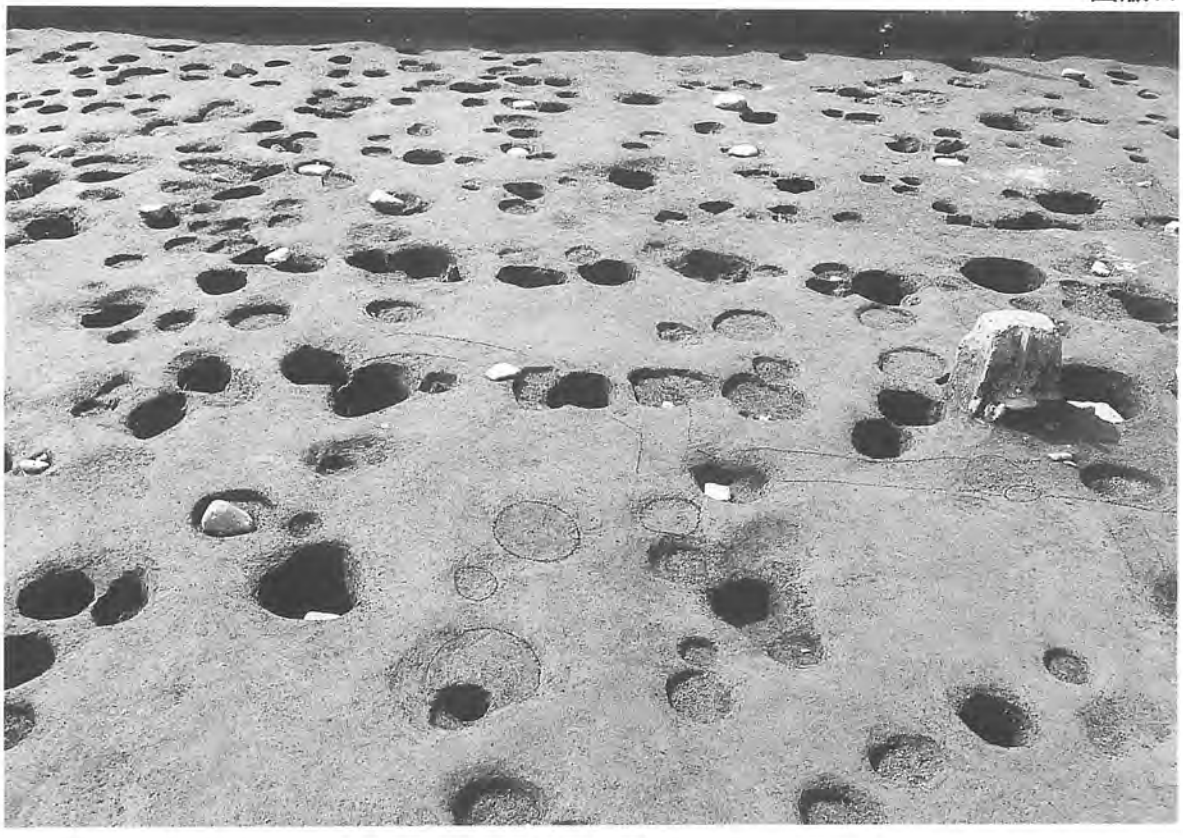
(20) S B26

(21) S B27

(22) S B28, 29

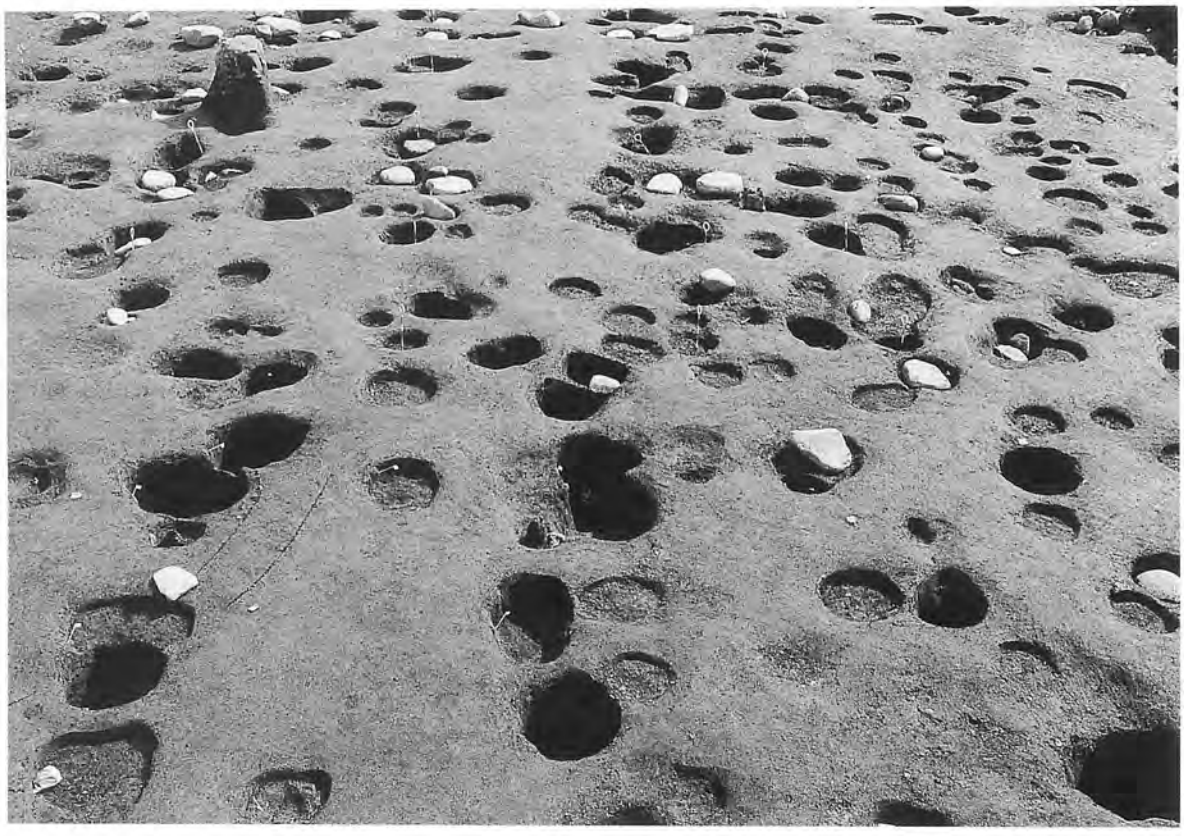
(23) S B30

(24) S B31



(25) S B32

(26) S B33



(27) S B34

(28) S B35

(29)
Ⅷ層出土白磁
86－1，8，18，19，21，30

(30)
Ⅷ層出土青磁
87－4，6，11，12，14

(31)
Ⅶ層出土白磁碗
93－4，5，12，13

(32)
Ⅷ層出土白磁皿
93—22, 24, 32
94— 1 , 5

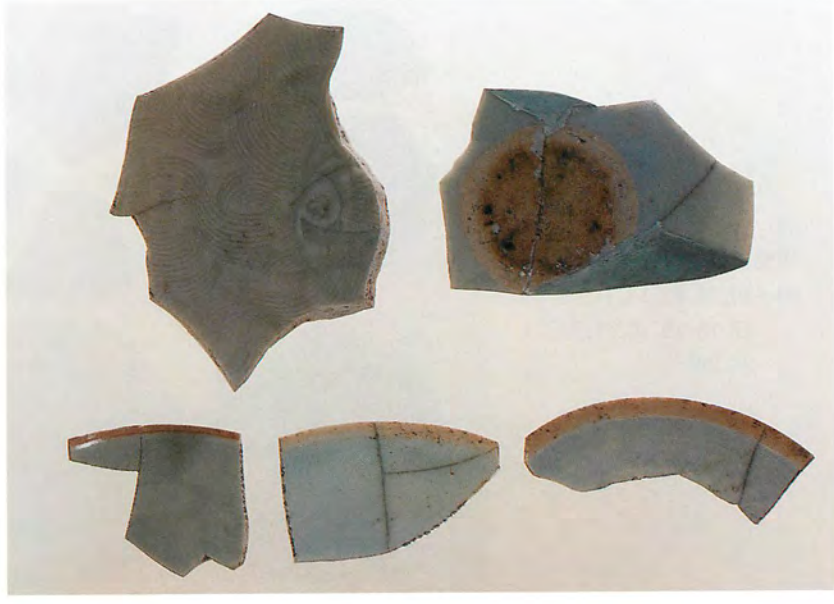
(33)
Ⅷ層出土白磁水注
97— 8 , 9

(34)
Ⅷ層出土青磁碗
94— 9 , 15
95— 1 , 5 , 6 , 8 , 13

(35)
Ⅶ層出土青磁皿
96－22
97－1，2，3

(36)
Ⅶ層出土青磁小碗・坏
96－15,17,23

(37)
Ⅶ層出土青白磁碗・皿
99－1，3，4，13,17



(38)
Ⅶ層出土青白磁梅瓶
99—19, 20, 21

(39)
Ⅶ層出土瀬戸窯製品
102-1，2，4

(40)
Ⅶ層出土青白磁合子
98—10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 17, 18, 19, 20, 21, 22, 23, 24, 25

(41)
Ⅶ層出土黄釉四耳壺
100-6，7，8，9

(42)
Ⅶ層出土黄釉盤
100-18,19

(43)
Ⅶ層出土緑釉盤
101-1，2，3

(44)
Ⅵ層出土青磁・白磁
111-5,10,13,14

(45)
Ⅲ'層出土青磁碗
124-1,4

(46)
Ⅲ'層出土青磁碗
125-1,2,4,12,13,18

(47)
Ⅲ'層出土青磁盤
127-1，3，4，5

(48)
ＳＢ01溝出土土師器坏・皿
21－1，2，3，4，5

(49)
ＳＤ02出土白磁碗・皿
69－8，10，11，12

(50)
土器溜 1 出土遺物

(51)
土器溜 2 出土遺物

(52)
土器溜 3 出土遺物

(53)
土器溜 4 出土遺物

(54)
土器溜 5 出土遺物

(55)
土器溜 6 出土遺物

(56)
土器溜 7 出土遺物

(57)　龍泉窯系青磁碗Ⅰ 3 類　124-11, 12, 13

(58)　龍泉窯系青磁碗Ⅲ類　137- 2

(59)　龍泉窯系青磁坏Ⅲ 4 類　137-17

(60)　高麗青磁碗　123-17, 18, 19, 20

(61)　初期龍泉窯・同安窯系青磁碗 0 類　84－ 3

(62)　白磁皿Ⅱ 1 b 類　20－ 7

(63)　白磁皿Ⅷ 1 a 類　50－ 6

(64)　白磁碗Ⅴ 4 類　93－10

(65)　白磁碗Ⅷ 2 類　49－ 4

(66)　白磁碗Ⅹ類　88－20

(67)　白磁水注　87—16

(68)　青白磁水注　87—17,18

(69)　白磁壺　88—1，2

(70)　龍泉窯系青磁小壺　127-18

(71)　越州窯系青磁小壺　99—23

(72)　越州窯系青磁壺　118-13

(73)　青白磁小碗・皿　88—21,22

(74)　褐釉茶入　99—26

(75)　黒釉壺　127-20

(76)　天目碗（瀬戸）　61—1

(77)　天目碗（中国）　99—25

(78)　天目碗（中国）　115-12

(79)　瀬戸瓶子・碗　102-3，7

(80)　瀬戸合子　128-8

(81)　官窯様青磁　137-16

(82)　白色土師器皿・坏　130-13,14

(83)　ガラス玉

(84)　螺鈿

(85)
緑釉盤
101-4，5

(86)
初期龍泉窯・同安窯系青磁碗
0類
94－7

(87)
須恵質捏鉢
102-11

(88)
須恵質捏鉢
115-16

(89)
須恵質捏鉢
138-14

(90)
須恵質捏鉢
103-6

(91)
須恵質捏鉢
102-13

(92)
瓦質火鉢
104-5

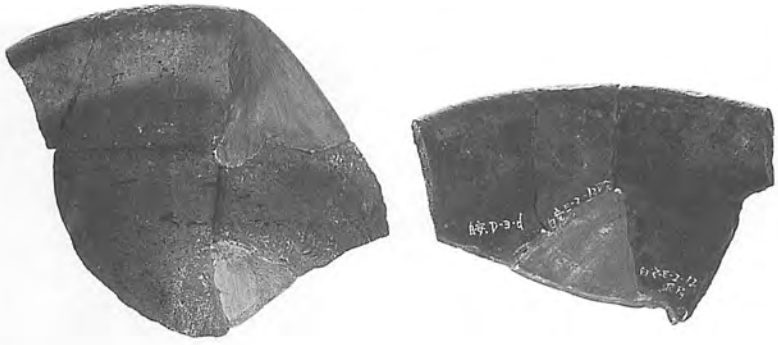
(93)
瓦質火鉢
104-5,105-2

(94)
瓦質火鉢
49—20

(95)
常滑窯甕
89—14

(96)
瓦器埦
115-17

(97)
瓦器埦
107-3



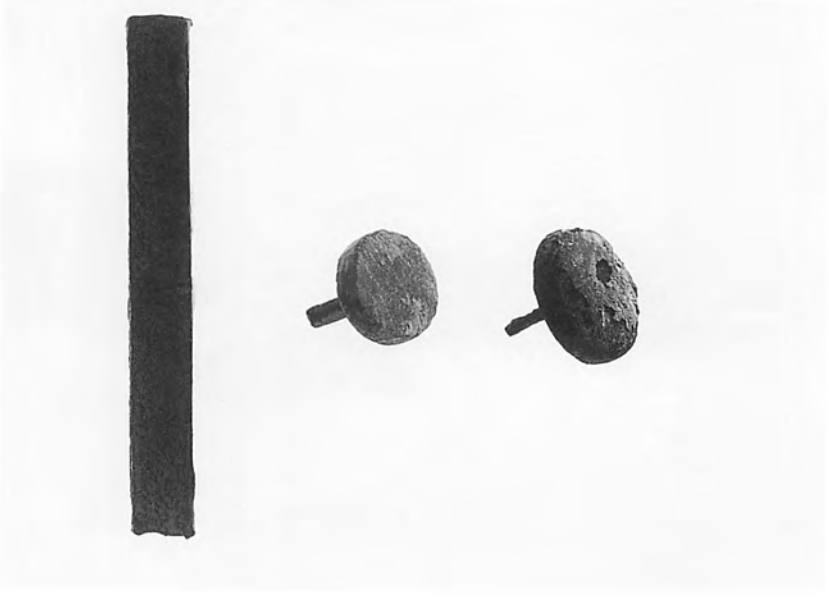
(98)
瓦器皿
90—21,22

(99)
瓦器皿
106-40,41,42

(100)
滑石製石鍋
107-5

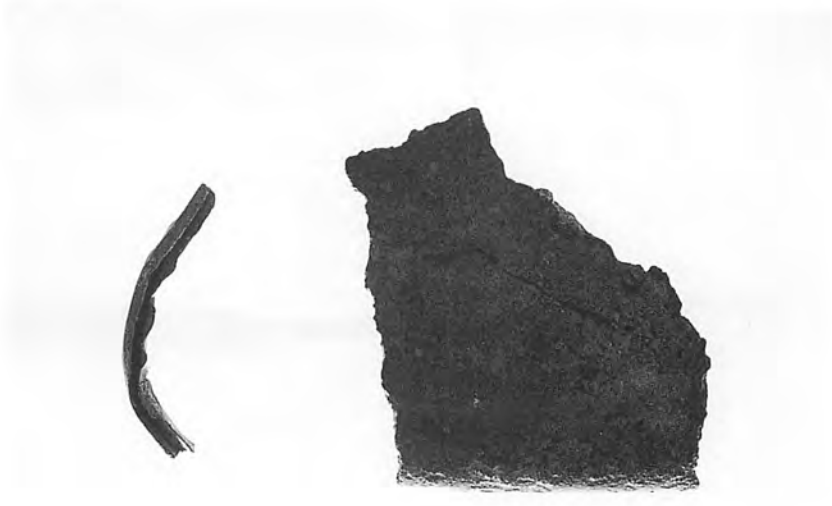
(101)
青銅製水滴
132-13

(102)
青銅製品
143-1，2，4



(103)
青銅製品
85－1

(104)
青銅製盤
92－1
92－2

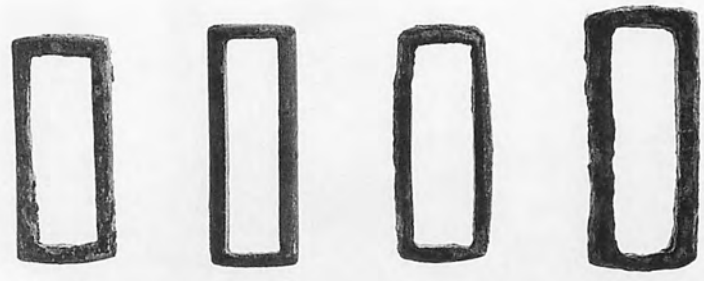


(105)
青銅製仏像
114-3

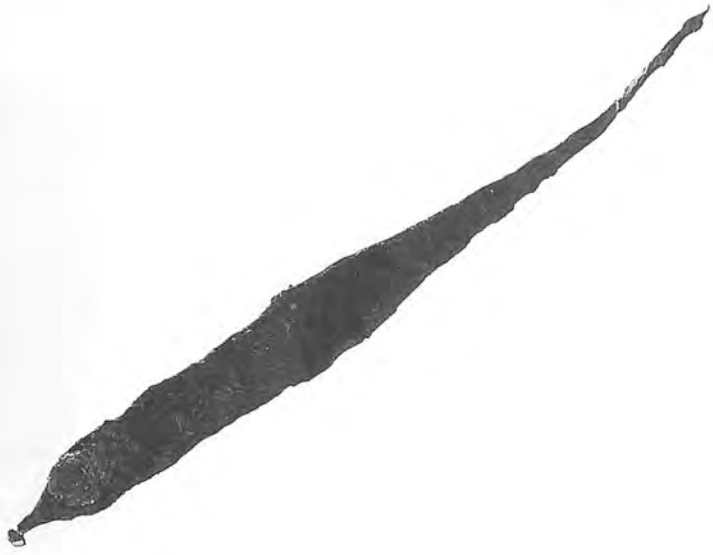
(106)
青銅製鈴
114-6

(107)
青銅製耳掻き
132-8

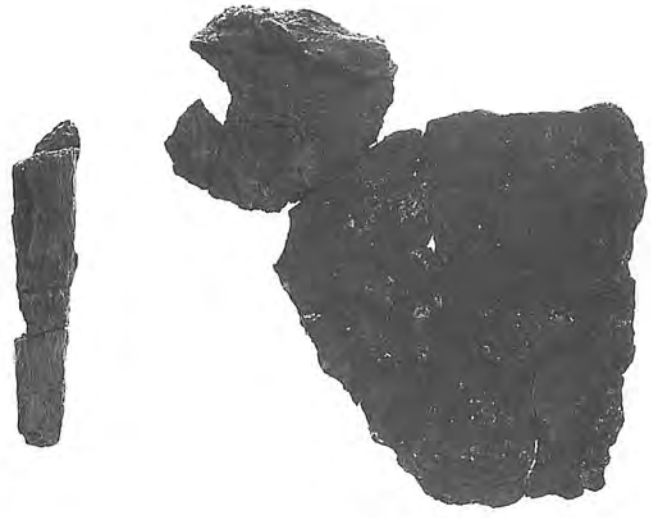
(108)
青銅製品
132-1，2，3，4



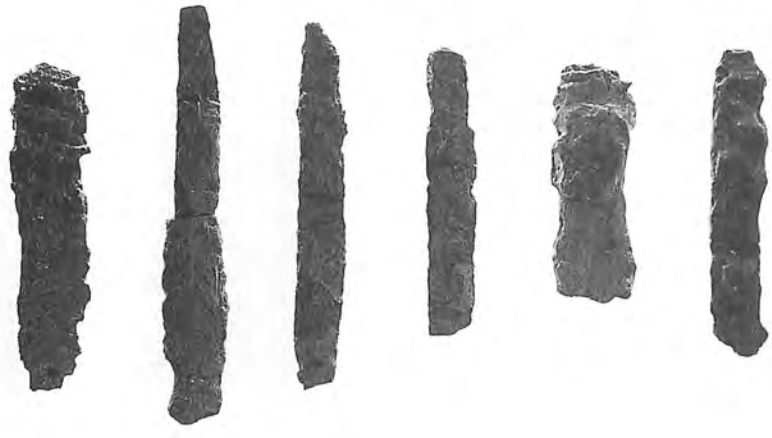
(109)
青銅製斧
122-1



(110)
鉄製鎧(部分)
92ー5



(111)
鉄製刀
133-1, 2, 3, 4, 7, 8



(112)
鉄製刀
117-5

(113)
鉄製狩俣
117-3

(114)
滑石製仏像
スタンプ原体
131-1，5

(115)
白色土師器埦・皿
106-38,39

(116)
土師器坏・皿
130-3,4,7,8,10,12

(117)
白色土師器埦・皿
90—16,17,18

(118)　S B07，Pit39　柱材

(119)　S B08，Pit04　柱材

(120)　S B08，Pit06　柱材

(121)　S B08，Pit20　柱材

(122)　S B08，Pit34　柱材

(123)　S B09，Pit02　柱材

(124)　S B09, Pit07　柱材

(125)　S B09, Pit10　柱材

(126)　S B10, Pit02　柱材

(127)　S B11, Pit14　柱材

(128)　S B11, Pit14　敷板

(129)　S B11, Pit17　柱材

(130)　S B11，Pit20　柱材

(131)　S B11，Pit26　柱材

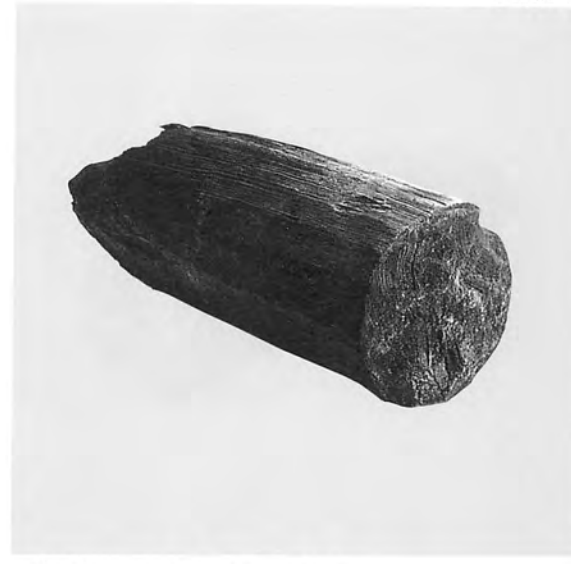
(132)　S B11，Pit29　柱材

(133)　S B12，Pit07　敷板

(134)　S B13，Pit31　柱材

(135)　S B13，Pit33　柱材

(136)　S B15，Pit11　柱材



(137)　S B18，Pit11　柱材

(138)　S B21，Pit02　柱材

(139)　S B21，Pit18　柱材

(140)　S B21，Pit03　柱材

(141)　S B21，Pit04　柱材

(142)　S B21，Pit05　柱材

(143)　S B21，Pit07　柱材

(144)　S B21，Pit09　柱材

(145)　S B21，Pit09　柱材

(146)　S B21，Pit10　柱材

(147)　S B21，Pit16　柱材

(148)　S B21，Pit17　柱材

(149)　S B22，Pit11　柱材

(150)　S B22，Pit22　柱材

(151)　S B23，Pit06　柱材

(152)　S B23，Pit09　柱材

(153)　S B39，Pit03　柱材

(154)　S B39，Pit04　柱材

(155)　S B39，Pit05　柱材

(156)　S A08，Pit01　柱材

(157)　S A09，Pit02　柱材

あ と が き

緑風渡るなだらかな草原にのんびりと草を喰む赤牛。真夏の青空にもくもくと灰色の噴煙を上げる中岳。厳冬の空に突き刺さる、凛とした根子岳の鋭角の頂。戦国武士の祈りを身に受け、柔らかな春空に花を開く一心行の桜。その雄大な自然と、太古からの信仰の対象であった霊山と相まって、阿蘇を取り巻く環境というのはどこか非日常的である。幸運にもその阿蘇の地で調査をすることに成った自分は、どこかうきうきとした気持ちであった。

しかし、実際に調査を始めてみると、遺跡に姿を現してくるものは大規模な建物群の遺構と夥しい中世の陶磁器・土器類であった。当初の予定より調査期間を延長したとは言え、遺構の規模と遺物の絶対量からすれば、一日の密度の高い大急ぎの調査であった。

また、冬場の阿蘇地方の調査であったため、積雪、遺構面の凍結など、調査を妨げる自然条件にも悩まされた。日中も気温の上がらない日などは、写真撮影のため遺構面の清掃を行った先からむくむくと霜柱が立ち始めるなど、春風が吹くまで厳しい調査の日々が続いた。このような条件であるため、折角良好な包含層が残っているにも係わらず、各層ごとに面を追うような十分な調査が行えなかったのは、今でも悔恨の至りで、果たしてこの遺跡から十分な情報を引き出すことができたのかどうか甚だ不安である。

しかし、調査に参加していただいた地元の方はとても逞しくて、寒中での作業も明るい笑いが絶えることがなく、日々重圧を感じる私にとって何よりの励みになった。また、調査も終盤にさしかかり、特に寒さも厳しい時期に磁州窯系の壺が完形で出土したときは現場中に歓声が上がり、明るい話題を提供した。

返す返すも、このような厳しい自然条件と調査日程の中で無事日程を終えられたのも、これらの作業員の皆様のお陰であると心より感謝を申し上げたい。

また、整理作業でも夥しい遺物を前にして、私の煩瑣な注文にも快く応えて整理作業を続けて下さったみなさんにも並々ならぬ苦労をお掛けした。ここに全ての作業に携わって下さったみなさんのお名前を記して感謝の意に代えたい。（順不動、敬称略）

調査作業員

安達　洋子	井野ソヨ子	岩代喜美子	衛藤　栄子	後藤ノリ子
高宮　昭代	高宮　悦子	高宮　和子	高宮スマ子	高宮タズ子
武内シズカ	田所　トキ	友岡ミツ子	友岡ユリ子	藤本サエ子
成瀬　和彦	渡辺クミ子	松岡喜久代	甲斐テイ子	甲斐ヤチヨ
後藤　雅子	後藤　照美	甲斐　　薫		

整理作業員

今村　幸枝	津留富美枝	早野　弘子	水本寿美子	山内　洋子
山下千栄子	大塚トシ子	池辺　雅子	荒牧　陽子	河崎　節子
重永　照代	浦田　和恵			

報 告 書 抄 録

フ リ ガ ナ	ギオンイセキ
書　　名	祇園遺跡
副 書 名	県営圃場整備事業に伴う埋蔵文化財の調査
巻　　次	
シ リ ー ズ 名	熊本県文化財調査報告
シリーズ番号	第１８８集
編 著 者	水野　哲郎
編 集 機 関	熊本県教育委員会
所 在 地	〒862-8570　熊本県熊本市水前寺６丁目18番１号
発 行 年	2000年３月31日

フリガナ 所収遺跡	フ リ ガ ナ 所　在　地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
祇園（ギオン）	クマモトケンアソグンハクスイムラ 熊本県阿蘇郡白水村 オオアザイチゼキアザギオン 大字一関字祇園	43429		32° 49’ 14”	131° 03’ 06”	H．7．9．1 ～ H．8．3．31	1,600㎡	県営圃場整備事業

所収遺跡	種　別	主な時代	主 な 遺 構	主　な　遺　物	特注事項
祇園（ギオン）	包含地 館	平安時代 鎌倉時代 室町時代	楚石建物１棟 掘立柱建物38棟 柱列15基 土坑28基 井戸２基 溝５条 不明遺構１基	白磁（碗、皿、合子、水注四耳壺等） 青磁（碗、皿、坏、盤等） 青白磁（碗、皿、合子、梅瓶等） 褐釉陶器（四耳壺等） 黒釉陶器（天目茶碗等） 緑釉陶器（盤等） 黄釉陶器（盤等） 常滑焼、備前焼、瀬戸焼 滑石製石鍋 瓦質土器、須恵質土器 土師器（坏、皿） 木器（椀、皿等）	

熊本県文化財調査報告　第１８８集

祇園遺跡

発行年月日　平成12年３月31日

編　集
発　行　熊本県教育委員会
〒862-8609 熊本市水前寺６丁目18番１号

印　刷　中央印刷紙工株式会社
〒860-0053 熊本市田崎２丁目５番38号

１１　教　教文
②　００５

この電子書籍は、熊本県文化財調査報告第 188 集を底本として作成しました。閲覧を目的としていますので、精確な図版などが必要な場合には底本から引用してください。

底本は、熊本県内の市町村教育委員会と図書館、都道府県の教育委員会と図書館、考古学を教える大学、国立国会図書館などにあります。所蔵状況や利用方法は、直接、各施設にお問い合わせください。

書名：祇園遺跡
発行：熊本県教育委員会
〒862-8609　熊本市中央区水前寺 6 丁目 18 番 1 号
電話：　096-383-1111
URL：http://www.pref.kumamoto.jp/
電子書籍制作日：2015 年 12 月 24 日

なお、熊本県文化財保護協会が底本を頒布している場合があります。詳しくは熊本県文化財保護協会にお問い合わせください。

熊本県文化財保護協会
URL：http://www.kumamoto-bunho.jp/